D01407201K

TASCAM Sonicview 16 Sonicview 24 Digital Mixer

リファレンスマニュアル

V2.2



目次

第	1章	はじめに	. 5
	本機の	概要	5
	本書の	表記	5
	商標お	よび著作権に関して	6
	SDカ-	ード/ USB メモリーについて	6
	取り	扱い上の注意	6
	SD 2	カードのライトプロテクトについて	6
	フォ	ーマットについて	6
	本機の	特徴	7
	主な	、特徴	7
	主な	: 仕様	7
笋	2音	冬部の冬称と働き	8
ЯJ	エー	日前の石がと面で パオル	. ט ג
		ハイル	0 12
	ノロノ	「 ・ ハ ヘ アル	12 12
	0,77	ネル	15
	GFI 未継の	U端丁に りいて	16
	半成の	/ 埜 牛 馃 F	10 17
	小一五	回回	17 17
	CHJ	-40 モジュールのホーム画面	11 22
	211	NI-2 モンユール/ FX RINI-4 モンユールの小ーム 画面 1.22 エジュール / MAINI-/ D フラク・エジュールの	22
		1-22 モジュール/ MAIN L/R マスターモジュールの	~~
	示一	- ム 画 面	26
	DCA	、モジュールのホーム 画面 ーー	30
	Х二그	一画面	31
	XI	- ユー画面の操作	31
	XI	_ ユーの 構成	32
第	3章	準備	34
	別売の	拡張カードを取り付ける	34
	電源を	オンにする/オフにする	34
	内蔵時	計の日時を設定する	34
	SDカ-	−ド/ USBメモリ―を装着する/取り外す	35
	SD 2	カードのライトプロテクトスイッチについて	35
	cn +-		~ -
	20 /1-	- ト/ USB メモリーを 使えるように 9 る	35
	本機で	- ト/ USB メモリーを 使えるように 9 る - 使用する SD カード/ USB メモリー	35 35
笋	SD //- 本機で 4 音 ミ	- ト/ USBメモリーを使えるようにする 使用する SD カード/ USB メモリー	35 35 35 36
第	3D JJ= 本機で 4章ミ	- ト/ USBメモリーを使えるようにする 使用する SD カード/ USBメモリー ミキサーのコンフィギュレーション/各種設定 CLOCK画面	35 35 36
第	本機で 4章ミ SYNC	- ト/ USBメモリーを使えるようにする 使用する SD カード/ USB メモリー ミ キサーのコンフィギュレーション/各種設定 CLOCK画面	35 35 36 36
第	3Dカー 本機で 4章ミ SYNC サン	- ト / USBメモリーを使えるようにする 使用する SD カード / USB メモリー ミキサーのコンフィギュレーション / 各種設定 CLOC K画面	35 35 36 36 37 37
第	本機で 4章 SYNC サン マス	- ト / USB メモリーを使えるようにする 使用する SD カード / USB メモリー ミキサーのコンフィギュレーション / 各種設定 CLOC K画面 /プリング 周波数を 設定する	35 35 36 36 37 37
第	本機で 4章 SYNC サン マス PREFE	- ト / USB メモリーを使えるようにする 使用する SD カード / USB メモリー ミキサーのコンフィギュレーション / 各種設定 CLOCK画面	35 35 36 36 37 37 39
第	本機で 4章 SYNC サン マス PREFE ON	- ト/ USBメモリーを使えるようにする 使用する SD カード/ USB メモリー ミキサーのコンフィギュレーション/各種設定 CLOCK画面 パプリング 周波数を設定する タークロックを設定する RENCES画面 AIR Tally入力中の操作制限	35 35 36 36 37 37 37 39 42
第	本機で 4章 SYNC サン マス PREFE ON METEI	- ト / USB メモリーを使えるようにする 使用する SD カード / USB メモリー ミキサーのコンフィギュレーション / 各種設定 にCLOCK画面 パプリング 周波数を設定する タークロックを設定する RENCES画面 AIR Tally入力中の操作制限	35 35 36 36 37 37 39 42 44
第	本機で 4章 SYNC サン マス PREFE ON METEI METEI	- ト / USB メモリーを使えるようにする 使用する SD カード / USB メモリー ミキサーのコンフィギュレーション / 各種設定 にCLOCK画面	35 35 36 36 37 37 37 39 42 44 46
第	本機で	- F / USB メモリーを使えるようにする 使用する SD カード / USB メモリー ミキサーのコンフィギュレーション / 各種設定 にCLOCK画面	35 35 36 36 37 37 37 39 42 44 46 46
第	本機で	- F / USB メモリーを使えるようにする 使用する SD カード / USB メモリー ミキサーのコンフィギュレーション / 各種設定 CLOCK画面 マプリング 周波数を設定する	35 36 36 37 37 37 39 42 44 46 46 46
第	本機で	- F / USB メモリーを使えるようにする 使用する SD カード / USB メモリー ミキサーのコンフィギュレーション / 各種設定 CLOCK画面 プリング周波数を設定する	35 36 36 37 37 37 39 42 44 46 46 46 47
第	本機で	- F / USB メモリーを使えるようにする 使用する SD カード / USB メモリー ミキサーのコンフィギュレーション / 各種設定 CLOCK画面	35 36 36 37 37 37 39 42 44 46 46 47 48 48
第	本機で	 ト/ USBメモリーを使えるようにする	35 36 36 37 37 39 42 46 46 46 47 48 48 50
第	本機で な な な な な な な な な な な た て ス た の い い い い い い い い い い い い い	 ト/ USBメモリーを使えるようにする	35 36 37 37 39 42 46 46 47 48 50 50
第	本機で な機で な機で SYNC サン マス PREFE ON METEL METEL METEL LOCK SEL MIXER CHJ	 ト/ USBメモリーを使えるようにする	35 36 36 37 37 39 42 46 46 47 48 46 47 48 50 51
第	本機で 4 章 SYNC サン マス PREFE ON METEI METEI METEI LOCK SEL MIXER CHJ LOCS	FV/USBメモリーを使えるようにする	35 36 36 37 39 42 44 46 47 48 46 47 48 50 51 51 53
第	本機で 4 章 SYNC サン マス PREFE ON METEI METEI METEI LOCK SEL MIXER CHI LOCK BUS USER	ト/ USBメモリーを使えるようにする	35 36 37 37 39 44 46 47 48 50 51 53 54 53
第	本機で 4 章 SYNC サン マス PREFE ON METEI METEI METEI METEI LOCK SEL MIXER CHJ LOCS USER USER	FV/USBメモリーを使えるようにする	35 36 37 37 39 42 46 47 48 46 47 48 50 51 53 54 72
第	本機で な機で SYNC サン マス PREFE ON METEI METEI METEI LOCK SEL MIXER CHJ LOCS USER USE USE USE	FV/USBメモリーを使えるようにする	35 36 37 37 39 44 46 47 48 50 51 53 51 53 72 74
第	本機で な な な な な な な な て て る な た の い た で の い た の い た で の い た の い た の い の い た に の い の い の い の い た に の い の い た に の い の い た に の い の い た に に い た い こ の い た い こ の い た い こ の い た に い た い こ の い た に に い た い こ の い の い た に い た い こ の い の い た い こ の い の い た い こ の い た い こ の い い こ い た い こ の い た い こ の い た い こ の い た い こ の い い こ の い た い こ の い た い こ の い し の に い こ い こ い こ い こ い こ い こ い い い こ い こ い い い こ い い い こ い い い い こ い い い こ い い い い い い い い い い い い い	FV/USBメモリーを使えるようにする	35 36 37 37 37 37 37 37 44 46 47 48 46 47 48 50 51 53 54 72 74 74
第	本機で な な な な な な な な な な な た て く な な た て く な た て の た の の の の の の の の の の の の の	FV/USBメモリーを使えるようにする	35 36 36 37 37 37 37 37 37 44 46 47 48 50 51 53 54 72 74 74 75
第	本機でで な な な な な な な な な な な た て な た て の た の の の の の の の の の の の の の	FV/USBメモリーを使えるようにする	35 36 36 37 39 44 46 47 48 50 51 53 74 75 75
第	本 着 章 SYNC PREFE METEI METEI METEI METEI LOCK SEL MIXER CHI LOCK USER USER USE Foo GPI フェ	FV/USBメモリーを使えるようにする	35 36 36 37 39 44 46 47 48 50 51 37 44 46 50 51 51 74 75 75 75 75
第	本 着 章 SYNC サマス PREFE METEI METEI METEI METEI LOCK SEL MIXER CHI LOCK USER USER USER USER	FV/USBメモリーを使えるようにする	35 36 36 37 39 44 46 47 48 50 51 37 74 75 77 77 77 77 77 77 77
第	本 着 章 SYNC サマス PREFE METEI METEI METEI METEI LOCK SEL MIXER USER USER USER USER USER STATU	FV/USBメモリーを使えるようにする	35 36 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37
第	本 着 章 SYNC サマス PREFE METEI METEI METEI METEI LOCK SEL MIXER CHJ LOCK USER USER USER USER STATU MU	FV/USBメモリーを使えるようにする	35 36 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37
第	本 着 章 SYNC マス PREFE NETEI METEI METEI METEI LOCK SEL MIXER USER USER USER USER USER STATU SOL	FV/USBメモリーを使えるようにする	35 36 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37
第	本 着 章 SYNC マス PREFE ON METEI METEI METEI LOCK SEL MIXER LOCK USER USER USER USER USER USER STATU SOL Layer	FV/USBメモリーを使えるようにする	35 36 37 392 44 46 47 48 50 51 72 74 75 77 77 77 77 77 77 77
第	A 本 着 章 SYNC マス PREFE ON METEI METEI METEI LOCK SEL MIXER LOCK USER USER USER USER USER USER STATU SOL Layer Cus	FV/USBメモリーを使えるようにする	33533333333333333333333333333333333333
第	A な の の 本 着 章 SYNC ンス PREFE ON METEL METEL METEL LOCK SEL MIXER LOCK SEL MIXER USER USER USER STATU SOL Layer Cus スクス	FV/USBメモリーと使えるようにする	3353 36 36 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37

RETURN TALKBACKの設定8	37
MONITOR出力の設定	90
MONITOR SOURCE ASSIGN画面	93
追加設定ウィンドウ	94
SOLOと内蔵オシレーターの設定	96
Dante SETUP画面	98
Dante Settings タブ画面	98
I/O Device タブ 画面	99
SB-16Dを使用する10	01
SB-16Dのコントロール11	10
GPIO拡張機能を使う12	20
SB-16DとのDante接続手順12	20
	26
Dante ネットワークとの 接続方法	26
Dante Controller使用万法	27
SLOT SETUP画面	29
IF-DA64(Dante リート)を 装有 可	29
IF-AE16(AES/EBU ルート)を装有可	30
IF-MA04/EXまだはIF-MA04/BN(MADIカート)を装有吋…に IF AN16/OUT(フナログ山カカード)を注美時 11	5U 51
IF-ANIO/UUI(ゲノロク 西川ガート)を 表有時	ΣT
IF-MIRSZ(マルナトノックレコーナインクカート)を 壮美時	21
表有吋	21 21
II-512110(512110))「)を表有吋	27
LADLE SET OF 回面	22 22
MODILIELABELタブ画面 13	ς 2
INPLIT PORT LABEL タブ画面 13	34
OUTPUT PORT LABEL タブ画面 13	35
USER LABEL (INPUT PORT / OUTPUT PORT) 画面 13	35
Network Setup画面	36
カレント設定の保存	38
第5音 ルーティング 1/	10
第5章 ルーフィング	+U 40
複数のチャンネル問の入力ソースを一括で設定すろ 1/	+0 12
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング	+0 42 43
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング	+0 42 43 43
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング	42 43 44 46
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング インサート入出力ルーティング 出力ルーティング	42 43 44 46 48
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング14 インサート入出力ルーティング14 出力ルーティング14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する14 INPUT SOURCE SELECT画面14	42 43 44 46 48 49
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング14 インサート入出力ルーティング14 出力ルーティング14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する14 INPUT SOURCE SELECT画面14 DIRECT OUT PORT SELECT画面	+0 42 43 44 46 48 49 51
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング	 +0 +12 +3 +4 +46 +48 +49 51 53
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング	42 43 44 46 48 49 51 53 55
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング	42 43 44 46 48 49 51 53 55 57
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング	 +0 +2 +3 +4 +6 +8 +9 51 55 57 59
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング	40 42 43 44 46 48 49 51 53 57 59 59
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング	42 43 44 46 48 49 51 53 55 57 59 59 50
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 出力ルーティング 14 増数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 NPUT SOURCE SELECT画面 14 DIRECT OUT PORT SELECT画面 15 INSERT SEND PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 OUTPUT PORT SELECT画面 15 NUTPUT PORT SELECT画面 15 NUTPT PORT SUTUR 16 INPUT MODULE SUTUR 16	42 43 44 46 48 49 51 53 55 57 59 59 60 62
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 オカルーティング 14 増数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 NPUT SOURCE SELECT画面 14 DIRECT OUT PORT SELECT画面 15 INSERT SEND PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 OUTPUT PORT SELECT画面 15 ルーティング画面 15 ルーティング画面の構成 15 INPUT PORT タブ画面 16 INPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT MODULE タブ画面 16	+0 +0 +2 +3 +4 +6 +8 +9 51 53 55 59 50 52 54
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 出力ルーティング 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 INPUT SOURCE SELECT画面 14 DIRECT OUT PORT SELECT画面 15 INSERT SEND PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 OUTPUT PORT SELECT画面 15 ルーティング画面 15 ルーティング画面の構成 15 INPUT PORT タブ画面 16 INPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT タブ画面 16	+0 +0 +2 +3 +4 +6 +8 +9 51 53 55 59 50 52 54 55 57 59 50 52 54 55 57 59 50 52 54 55 57 59 50 52 54 55 56 57 58 59 50 52 54 55 56 57 58 59 50 52 53 54 55 56 57 58 59
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 出力ルーティング 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 加PUT SOURCE SELECT画面 14 DIRECT OUT PORT SELECT画面 15 INSERT SEND PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 UTPUT PORT SELECT画面 15 UNFORT SELECT画面 15 INPUT PORT SELECT画面 15 UNPUT PORT SELECT画面 15 UNPUT PORT SELECT画面 15 UNPUT PORT SELECT画面 16 UNPUT PORT SELECT画面 17 UNPUT PORT SELECT画面 16 UNPUT PORT SELECT画面 17 UN-ティング画面 16 UNPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT タブ画面 16 OUTPUT PORT A.GAIN (INPUT) タブ画面 16	40 42 43 44 46 48 51 53 57 59 60 62 63 64 55 57 59 60 62 63 64 65 66 65 66
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 増力ルーティング 14 増次のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 INPUT SOURCE SELECT画面 14 DIRECT OUT PORT SELECT画面 15 INSERT SEND PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 OUTPUT PORT SELECT画面 15 NUーティング画面 15 INPUT PORT ST pola 16 INPUT PORT タブ画面 16 OUTPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT タブ画面 16 OUTPUT PORT AGJIN (INPUT) タブ画面 16 PORT to PORT A.GAIN (INPUT) タブ画面 16	40 42 43 44 46 48 49 53 55 59 60 62 64 53 55 56 63 56 57 59 60 63 56 57 59 50 52 53 56 57 59 50 52 53 54 55 56 57 59 50 52 53 54 55 56 57 58
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 増力ルーティング 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 NPUT SOURCE SELECT画面 14 DIRECT OUT PORT SELECT画面 15 INSERT SEND PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 UTPUT PORT SELECT画面 15 ルーティング 画面 15 ルーティング画面の構成 15 INPUT PORT タブ画面 16 OUTPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT AGAIN (INPUT) タブ画面 16 PORT to PORT A.GAIN (INPUT) タブ画面 16 MODULE画面 16	+0 +2 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +44 +5 +
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 出力ルーティング 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 NPUT SOURCE SELECT画面 14 DIRECT OUT PORT SELECT画面 15 INSERT SEND PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 UN-ティング 画面 15 ルーティング 画面 15 INPUT PORT SELECT画面 15 NPUT PORT SELECT画面 15 NPUT PORT SELECT画面 15 NPUT PORT SELECT画面 15 NPUT PORT SELECT画面 16 OUTPUT PORT SELECT画面 16 NPUT PORT タブ画面 16 OUTPUT PORT タブ画面 16 OUTPUT PORT タブ画面 16 OUTPUT PORT A.GAIN (INPUT) タブ画面 16 PORT to PORT A.GAIN (INPUT) タブ画面 16 MODULE画面 16 MODULE画面の構成 16	+0 +2 +3 +42 +3 +4 +6 +7 +6 +7
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 出力ルーティング 14 増数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 INPUT SOURCE SELECT画面 12 INFUT SOURCE SELECT画面 15 INSERT SEND PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 UN-ティング画面 15 ルーティング画面の構成 15 INPUT PORT タブ画面 16 OUTPUT PORT AJ 画面 16 OUTPUT PORT AGAIN (INPUT) タブ画面 16 OUTPUT PORT AGAIN (INPUT) タブ画面 16 MODULE画面の構成 16 MODULE画面の 16 MODULE 17	+0 +2 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +42 +3 +4 +5
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 カルーティング 14 地力ルーティング 14 地方ルーティング 14 地方ルーティング 14 地方ルーティング 14 地方ルーティング 14 NPUT SOURCE SELECT画面 14 INPUT SOURCE SELECT画面 15 INSERT SEND PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 OUTPUT PORT SELECT画面 15 ルーティング画面 15 ルーティング画面の構成 15 INPUT PORT タブ画面 16 OUTPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT タブ画面 16 MODULE タブ画面 16 MODULE 回面の構成 16 MODULE画面の構成 16 MODULE (OVERVIEW) 画面 17 CH1-40 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 17	+0 +2 +2 +3 +42 +44 +45 +55 +56 +56 +56 +56 +56 +56 +56 +56 +56 +56 +56 +56 +56 +56 +56 +56 +56 +56 +56 </td
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 出力ルーティング 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 INPUT SOURCE SELECT画面 14 DIRECT OUT PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 OUTPUT PORT SELECT画面 15 ルーティング画面 15 ルーティング画面の構成 15 INPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT AJ 画面 16 OUTPUT PORT AJ 画面 16 MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT AJ 画面 16 MODULE aJ 画面 16 MODULE aJ 画面 16 MODULE aJ 画面 16 MODULE 面の構成 17 CH1-40 モジュールのMODULE (OVERVIEW) 画面 17 ST IN1-2 モジュールのMODULE (OVERVIEW) 画面 17	+0 +2 +3 +42 +3 +42 +44 +46 +57 </td
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 カルーティング 14 増力ルーティング 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 NPUT SOURCE SELECT画面 14 DIRECT OUT PORT SELECT画面 15 INSERT SEND PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 OUTPUT PORT SELECT画面 15 Nレーティング画面 15 ルーティング画面の構成 15 INPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT タブ画面 16 OUTPUT PORT AJ 画面 16 OUTPUT PORT AJ 画面 16 MODULE タブ画面 16 MODULE クORT A.GAIN (INPUT) タブ画面 16 MODULE 画面の構成 16 MODULE (OVERVIEW) 画面 17 CH1-40 モジュールのMODULE (OVERVIEW) 画面 17 ST IN1-2 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 17 FX RTN1-4 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 17	+0 +2 +3 +42 +3 +42 +44 +46 +57 </td
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 カルーティング 14 地力ルーティング 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 INPUT SOURCE SELECT画面 14 DIRECT OUT PORT SELECT画面 15 INSERT SEND PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 OUTPUT PORT SELECT画面 15 ルーティング画面 16 ルーティング画面 16 INPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT AJ画面 16 MODULE タブ画面 16 MODULE タブ画面 16 MODULE ロロの構成 17 MODULE ロロの構成 17 K1-40 モジュールのMODULE (OVERVIEW) 画面 17 ST IN1-2 モジュールのMODULE (OVERVIEW) 画面 17 FX RTN1-4 モジュール MAIN L/Rマスターモジュールの	+0 +12 +1
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 オカルーティング 14 地力ルーティング 14 地方ルーティング 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 INPUT SOURCE SELECT画面 14 DIRECT OUT PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 ルーティング画面 15 ルーティング画面 16 INPUT PORT ST SELECT画面 16 INPUT PORT SELECT画面 17 ルーティング画面 16 INPUT PORT SELECT画面 16 NPUT PORT SELECT画面 17 NPUT PORT SELECT画面 16 NPUT PORT SELECT画面 16 NPUT PORT タブ画面 16 OUTPUT PORT タブ画面 16 OUTPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT A.GAIN (INPUT) タブ画面 16 MODULE (OVERVIEW) 画面 17 CH1-40 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 17 GH1-40 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 17 FX RTN1-4 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 17	+0 +12 +1
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 出力ルーティング 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 NPUT SOURCE SELECT画面 14 DIRECT OUT PORT SELECT画面 15 INSERT SEND PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 OUTPUT PORT SELECT画面 15 <i>ルーティング</i> 画面 16 <i>ルーティング</i> 画面の構成 17 <i>ルーティング</i> 画面 16 INPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT タブ画面 16 OUTPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT A.GAIN (INPUT) タブ画面 16 OUTPUT PORT A.GAIN (INPUT) タブ画面 16 MODULE画面の構成 17 CH1-40 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 17 ST IN1-2 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 17 FX RTN1-4 モジュール/ MAIN L/R マスターモジュールの 17 MODULE (INPUT) 画面 18 MODULE (INPUT) 画面 18	40 42 43 446 49 53 57 59 502 566 58 570 567 570 567 570 570 567 570
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 出力ルーティング 14 地力ルーティング 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 INPUT SOURCE SELECT画面 14 DIRECT OUT PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 UTPUT PORT SELECT画面 15 ルーティング画面 16 ルーティング画面の構成 17 ルーティング画面の構成 16 OUTPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT AJ 画面 16 OUTPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT AJ 画面 16 MODULE (OVERVIEW) 画面 17 CH1-40 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 17 FX RTN1-4 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 17 FX RTN1-4 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 17 FX RTN1-4 モジュール 18 MODULE (INPUT) 画面 18 <t< td=""><td>42 43 446 489 53 57 59 62 63 63 64 64 65 66 67 68 68 68 67 76 826 60 826</td></t<>	42 43 446 489 53 57 59 62 63 63 64 64 65 66 67 68 68 68 67 76 826 60 826
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング	42 43 446 55 57 56 57
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング	42 43 46 49 55 56 57 59 52 53 55 56 58 58 59 56 58 58 59 50 56 57 59 50
複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する 14 ダイレクトアウト信号の出力ルーティング 14 インサート入出力ルーティング 14 地力ルーティング 14 複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する 14 NPUT SOURCE SELECT画面 14 DIRECT OUT PORT SELECT画面 15 INSERT SEND PORT SELECT画面 15 INSERT RETURN PORT SELECT画面 15 OUTPUT PORT SELECT画面 15 NPUT PORT SELECT画面 16 NUーティング画面の構成 16 INPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT MODULE タブ画面 16 OUTPUT PORT AJJ画面 16 OUTPUT PORT AJJ画面 16 OUTPUT PORT AJJ画面 16 OUTPUT PORT AJJ画面 16 OUTPUT PORT AJJ 画面 16 OUTPUT PORT AJJ 画面 17 CH1-40 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 17 CH1-40 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 17 FX RTN1-4 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 17 FX RTN1-4 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面 18 MIX1-22 モジュール/ MAIN L/R マスターモジュールの 18 MODULE (OVERVIEW) 画面 18 デジタルトリム値を一括で設定する 19 <t< td=""><td>42 44 46 49 55 56 57 56 57</td></t<>	42 44 46 49 55 56 57 56 57

MODULE (EQ) 画面	
MODULE (GEQ) 画面	199
MODULE (COMP / DUCKER) 画面	200
ダイナミクスパラメーター	
KFY IN SOURCE SELECT画面	202
MODIII F (SEND/PAN) 画面	203
	203 207
MODULE (OUTPOT) 画面	207
MODULE (Audio Follow Video) 画面	
AFV TRIGGER SOURCE SELECT 画面	211
MODULE メニュー	212
第7章 その他モジュールパラメーター設定画面	214
SENDS ON FADER機能	
SENDS ON FADER画面	214
SEND OVERVIEW画面	
SEND OVERVIEW回回	212
MIXI-22 バスの SEND OVERVIEW画面	
FX1-4 バスの SEND OVERVIEW画面	
MAIN L/R バスの SEND OVERVIEW画面	220
SEND OVERVIEW メニュー	223
Mute Group機能と DCA機能	225
Mute Group機能	225
DCA(Digital Control Amplifier)機能	
DCA Z U U = - K	225
DCA/Mute Group SETUP画面	220 276
DCA Accign タブ画面	220 ວວຣ
DCA ASSign タノ画面	
Mute Group Assign タノ画面	
Mute Group Master タフ 画面	
MODULE LABEL画面	229
USER MODULE LABELの登録/編集方法	230
モジュール 設定色の 変更方法	231
モジュールアイコンの 設定方法	232
AUTO MIXER機能	233
AUTO MIXERについて	233
AUTO MIVED 機能を 使うための 進供 / 手順	
	/ 5 5
	233 222
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順	233
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 宇順 AUTOMATIC MIXER画面 第8章 設定データの保存/呼び出し	233 233 240
AUTOMIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面 第8章 設定データの保存/呼び出し Snapshot機能	233 233 240 240
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面 第8章 設定データの保存/呼び出し Snapshot機能メニュー画面上部でのSnapshot機能の操作	233 233 240 240 241
AUTOMIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面 第8章 設定データの保存/呼び出し Snapshot機能メニュー画面上部でのSnapshot機能の操作 SnapshotをSTOREする	233 233 240 240 241 242
AUTOMIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面 第8章 設定データの保存/呼び出し Snapshot機能メニュー画面上部でのSnapshot機能の操作 SnapshotをSTOREする Snapshotを RECALLする	233 233 240 240 241 242 243
AUTOMIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面 第8章 設定データの保存/呼び出し Snapshot機能メニュー画面上部でのSnapshot機能の操作 SnapshotをSTOREする Snapshotを RECALLする Snapshot リスト画面.	233 233 240 240 241 241 242 243 243
AUTOMIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面 第8章 設定データの保存/呼び出し Snapshot機能メニュー画面上部でのSnapshot機能の操作 Snapshotを STOREする Snapshotを RECALLする Snapshot リスト画面	233 233 240 240 241 242 243 245 245 247
AUTOMIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面 第8章 設定データの保存/呼び出し Snapshot機能メニュー画面上部でのSnapshot機能の操作 Snapshotを STOREする Snapshotを RECALLする Snapshot リスト画面	233 233 240 240 241 242 243 245 247 248
AUTOMIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面 第8章 設定データの保存/呼び出し Snapshot機能メニュー画面上部でのSnapshot機能の操作 Snapshotを STOREする Snapshotを RECALLする Snapshot リスト画面 ライブラリーメニュー Snapshotをコピーする Snapshotをコピーする	233 233 240 240 241 242 243 245 247 248 248
AUTOMIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面 第8章 設定データの保存/呼び出し Snapshot機能メニュー画面上部でのSnapshot機能の操作 Snapshotを STOREする Snapshotを RECALLする Snapshot リスト画面 ライブラリーメニュー Snapshotをコピーする SNAPSHOT RECALL SAFE画面	233 233 240 240 241 242 243 245 247 248 248 248
AUTOMIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面 第8章 設定データの保存/呼び出し Snapshot機能メニュー画面上部でのSnapshot機能の操作 Snapshotを STOREする Snapshotを RECALLする Snapshotを RECALLする Snapshotを RECALLする Snapshotをコピーする SNAPSHOT RECALL SAFE画面 PARAMETER SAFE タブ画面	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手機 AUTOMATIC MIXER画面	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手機 AUTOMATIC MIXER画面	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面 第8章 設定データの保存/呼び出し Snapshot機能メニュー画面上部での Snapshot機能の操作 Snapshotを STOREする Snapshotを RECALLする Snapshotを RECALLする Snapshotをコピーする SNAPSHOT RECALL SAFE画面 PARAMETER SAFE タブ画面 MODULE SAFE タブ画面 SNAPSHOT IMPORT / EXPORT画面 Snapshotをエクスポートする Snapshotをインポートする	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面	233 233 240 240 241 242 243 243 245 247 248 249 249 250 251 251 254 254 254 254
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手機 AUTOMATIC MIXER画面	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面	233 233 240 240 241 242 243 243 243 243 249 249 249 250 251 251 252 254 254 254 258 258 258
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順	233 233 240 240 241 242 243 245 247 248 249 249 249 250 251 251 252 254 254 254 254 258 258 258 258
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順	233 233 240 240 241 242 243 243 243 243 249 249 249 250 251 251 252 254 254 254 258 258 258 258 260 261
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面	
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面	233 233 240 240 241 242 245 247 248 249 249 249 249 249 250 251 252 254 254 258 260 261 261 265 266 266 266 266
AUTOMATIC MIXER機能を使うための準備/ 手順 AUTOMATIC MIXER画面	233 233 240 240 241 242 243 243 245 247 248 249 249 249 249 249 250 251 252 254 254 254 254 255 258 258 260 261 261 261 262 263 266 266 266 266

	OPEN SOURCE SOFTWARE LICENSE画面 Sonicview 16 / 24 エラー画面 SYSTEM エラー/	269
	アラートメッセージー覧	270
	Media Manage画面	276
	メディアをフォーマットする	276
	Version Information画面	277
	ファームウェアアップデート 手順	278
第	§ 10 章 録音/再生	.280
	SDカードのフォーマットについて	280
	本機で使用する SD カード / USB メモリー	280
	RECORDER / PLAYER画面	280
	RECORDER部	280
	PLAYER部	281
	BROWSE画面	283
	録音フォルダー選択のBROWSE画面	283
	再生メディア/再生ファイル/再生フォルダー選択の	
	BROWSE画面	285
	録音フォルダーの設定方法	287
	再生フォルダーの設定方法	288
第	5 11 章 USBオーディオインターフェース	.290
	専用ソフトウェアをインストールする	290
	Windows 専用ソフトウェアのインストール	290
	専用ソフトウェアをアンインストールする	291
	Windows 専用ソフトウェアのアンインストール	291
	専用ソフトウェアを開く	291
	Windows	291
	入力遅延	291
	ビット深度	292
	サウンドプロパティについて	292
	ASIO/WDMの同時再生について	293
	OBS Studioなどの 配信用アプリケーションで	
	使用するための設定方法	293
第	5 12 章 マルチトラックレコーダー	.296
第	§ 12 章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間	.296 296
第	§ 12 章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SD カードのフォーマットについて	.296 296 296
第	§ 12 章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間	.296 296 296 296
第	 12 章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用するSDカード	.296 296 296 296 296
第	5 12 章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード	.296 296 296 296 296 296
第	5 12 章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面	.296 296 296 296 296 296 297
第	5 12 章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SD カードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SD カード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行	.296 296 296 296 296 296 297 302
第	12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SD カードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SD カード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え	.296 296 296 296 296 296 297 302 304
第	12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間	.296 296 296 296 296 296 297 302 304 305
第	12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SD カードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SD カード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面	.296 296 296 296 296 296 297 302 304 305 307
第	12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SD カードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SD カード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面	.296 296 296 296 296 296 297 302 304 305 307 309
第	5 12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SD カードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SD カード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について	.296 296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310
第	5 12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成	.296 296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310 310
第	5 12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成 録音ファイル名	.296 296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310 310
第	12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成 録音ファイル名 ファイルフォーマットについて	.296 296 296 296 296 296 297 302 304 305 307 310 310 311
第	12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成 録音ファイル名 ファイルフォーマットについて プロジェクトの管理	.296 296 296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310 310 311 311
第	5 12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成 録音ファイル名 ファイルフォーマットについて プロジェクトリスト/テイクリストを見る	.296 296 296 296 296 296 297 302 304 307 309 310 310 311 311
第	5 12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成 録音ファイル名 ファイルフォーマットについて プロジェクトの管理 プロジェクトリスト/テイクリストを見る プロジェクト 操作	.296 296 296 296 297 302 304 305 307 310 310 311 311 311
第	12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成 録音ファイル名 ファイルフォーマットについて プロジェクトの管理 プロジェクトリスト/テイクリストを見る プロジェクト 操作 新しいプロジェクトを作成する	.296 296 296 296 297 302 304 305 307 310 310 311 311 311 311
第	12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成 録音ファイル名 ファイルフォーマットについて プロジェクトの管理 プロジェクトリスト/テイクリストを見る プロジェクト 操作 新しいプロジェクトを 準成する プロジェクトを 選択する	.296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310 311 311 311 311 312 312
,	5 12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SD カードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SD カード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成 録音ファイル名 ファイルフォーマットについて プロジェクトリスト/テイクリストを見る プロジェクト 操作 新しいプロジェクトを作成する プロジェクトを選択する プロジェクトを削除する	.296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310 311 311 311 311 312 312 312
第	5 12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SD カードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SD カード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成 録音ファイル名 ファイルフォーマットについて プロジェクトリスト/テイクリストを見る プロジェクト 操作 新しいプロジェクトを作成する プロジェクトを選択する プロジェクトを目除する プロジェクトを目除する プロジェクトを目除する プロジェクトを目除する	.296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310 311 311 311 311 312 312 312
第	J 2 章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SD カードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SD カード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成 録音ファイル名 ファイルフォーマットについて プロジェクトリスト/テイクリストを見る プロジェクトトを作成する プロジェクトを選択する プロジェクトを選択する プロジェクト名を変更する	.296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310 311 311 311 311 312 312 313
第	12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成 録音ファイル名 ファイルフォーマットについて プロジェクトリスト/テイクリストを見る プロジェクトを選択する プロジェクトを選択する プロジェクトをと受更する 基本レコーディング MTRの入力ソースを選択する	.296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310 311 311 311 311 312 312 313 313
第	12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成について ファイルフォーマットについて プロジェクトの管理 プロジェクトトを選択する プロジェクトを選択する プロジェクトを追除する プロジェクトを認知する プロジェクトを変更する 基本レコーディング MTRの入力ソースを選択する	.296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310 311 311 311 311 312 312 313 313 313
第	12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成について ファイルフォーマットについて プロジェクトの管理 プロジェクトトを作成する プロジェクトを選択する プロジェクトをと戦けする プロジェクトをと戦けする プロジェクトを変更する 基本レコーディング MTRの入力ソースを選択する レコーディングした音声を確認する (再生する)	.296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310 310 311 311 311 312 312 313 313 313 313
· 第	12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成について ファイルフォーマットについて プロジェクトの管理 プロジェクト ゆ管理 プロジェクト と手イク プロジェクト とティク プロジェクトを消除する プロジェクトを削除する プロジェクトを削除する プロジェクトを削除する プロジェクトを削除する プロジェクトを削除する プロジェクトを膨胀する レコーディング MTRの入力ソースを選択する レコーディングはた音声を確認する(再生する) レコーディングした音声を確認する(再生する)	.296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310 310 311 311 311 312 312 313 313 313 314 315 315
· 第	12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成について フォルダー構成 録音ファイル名 ファイルフォーマットについて プロジェクトの管理 プロジェクトの管理 プロジェクトレリスト/テイクリストを見る プロジェクトを選択する プロジェクトを選択する プロジェクトを割除する プロジェクトを削除する プロジェクトを削除する プロジェクトを選択する レコーディング MTRの入力ソースを選択する レコーディングした音声を確認する(再生する) レコーダー機能 ロケート機能	.296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310 310 311 311 311 311 312 313 313 313 314 315 315
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	5 12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面 フォルダー構成 録音ファイル名 ファイルフォーマットについて プロジェクトの管理 プロジェクト 物管理 プロジェクト りスト / テイクリストを見る プロジェクト とぞれの プロジェクトを プロジェクトを変更する 基本レコーディング MTRの入力ソースを選択する レコーディングはた音声を確認する(再生する) レコーダー機能 リピート再生機能	.296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310 311 311 311 311 312 313 313 313 313 314 315 315 316
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	5 12章 マルチトラックレコーダー 録音可能時間 SDカードのフォーマットについて IF-MTR32 で使用する SDカード プロジェクトとテイク MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER画面 AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モード MULTI TRACK RECORDER = man. AUTO ROUTINGの実行 MTR動作モードの切り換え REC READY / INPUT MONITORの設定 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面 MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面. フォルダー構成 録音ファイル名 ファイルフォーマットについて プロジェクトの管理 プロジェクトリスト/テイクリストを見る プロジェクト 操作 新しいプロジェクトを 作成する プロジェクトト 操作 新しいプロジェクトを 修飾除する プロジェクトを 削除する プロジェクトを 激振する プロジェクトを 微能 レコーディング MTRの 入力ソースを 選択する レコーディングはた音声を確認する (再生する)	.296 296 296 296 297 302 304 305 307 309 310 311 311 311 311 312 313 313 313 313 314 315 316 316

パンチイン/アウト 機能	317
オートパンチイン/アウト 機能	318
パンチインアウト 操作を 取り 消す(アンドゥ)	320
テイクの 編集	320
テイク名を変更する	320
テイクを削除する	321
外部機器で録音したファイルを取り込む	321
ファイル名フォーマット	321
取り込み前の準備	322
取り込んだファイルを本機で扱う	322
マーク機能	322
マークボイントを登録する	322
	323
任意のマークボイントを削除する	323
第 13 章 拡張カード IF-ST2110	.324
ST 2110 SETUP画面	324
Audio Network Config.タブ画面	324
HOME (Source / Destination) タブ 画面	326
第 14 章 ネットワーク 経由での 外部制御	.328
TASCAM Sonicview Controlで本機を制御する	328
外部制御プロトコル(Ember+)で本機を制御する	328
Ember+デバイスの接続台数について	328
監視・制御について	328
メーターデータの 取得について	328
仕様書の入手方法	328
SNMPで本機を監視する	329
第15章 フェーダーとタッチパネルのキャリブレーション	.330
キャリブレーションモードの記動と終了	330
CALIBRATION MODE画面表示	330
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作	330 330
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION	330 330 331
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION	330 330 331 331
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK	330 330 331 331 332
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION	330 330 331 331 332 332
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK	330 331 331 332 332 332 333
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 筆 16音 ショートカット操作の一覧表	330 331 331 332 332 333
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 第 16章 ショートカット操作の一覧表	330 331 331 332 332 333 .334
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 第 16章 ショートカット操作の一覧表 第 17章 トラブルシューティング	330 331 331 332 332 333 .334 .336
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 第 16章 ショートカット操作の一覧表 第 17章 トラブルシューティング 第 18章 仕様/定格	330 331 331 332 332 333 334 .336 .338
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 第 16章 ショートカット操作の一覧表 第 17章 トラブルシューティング 第 18章 仕様/定格 内部処理	330 331 331 332 332 333 .334 .336 .338 338
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 第 16章 ショートカット操作の一覧表 第 17章 トラブルシューティング 第 18章 仕様/定格 内部処理 オーディオ性能	330 331 331 332 332 333 .334 336 338 338
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 第 16章 ショートカット操作の一覧表 第 17章 トラブルシューティング 第 18章 仕様/定格 内部処理 オーディオ性能 アナログオーディオ入出力定格	330 331 331 332 333 334 .336 .338 338 339 339
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 第 16章 ショートカット操作の一覧表 第 17章 トラブルシューティング 第 18章 仕様/定格 内部処理 オーディオ性能 アナログオーディオ入出力定格 デジタルオーディオ入出力定格	330 330 331 332 332 333 334 338 338 339 339 340
<pre>CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION. FADER SPEED CALIBRATION. FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 第 16章 ショートカット操作の一覧表 第 17章 トラブルシューティング 第 18章 仕様/定格 内部処理 オーディオ性能 アナログオーディオ入出力定格 ジタルオーディオ入出力定格 コントロール入出力定格</pre>	330 330 331 332 332 333 334 338 338 339 340 340
CALIBRATION MODE画面表示	330 330 331 331 332 333 333 334 338 339 340 340 340
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作	330 330 331 331 332 332 333 334 338 338 339 339 340 340 340 340
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 第 16章 ショートカット操作の一覧表 第 17章 トラブルシューティング 第 18章 仕様/定格 内部処理 オーディオ性能 アナログオーディオ入出力定格 デジタルオーディオ入出力定格 コントロール入出力定格 その他の入出力定格 レコーダー部仕様 OS /動作条件	330 331 331 332 332 333 334 336 338 339 340 340 340 341 341
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK. 第 16章 ショートカット操作の一覧表 第 17章 トラブルシューティング 第 18章 仕様/定格 内部処理 オーディオ性能 アナログオーディオ入出力定格 デジタルオーディオ入出力定格 ロントロール入出力定格 レコーダー部仕様 OS /動作条件 Windows	330 331 331 332 332 333 334 336 338 339 340 340 341 341 341
CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 第 16 章 ショートカット操作の一覧表 第 17 章 トラブルシューティング 第 18 章 仕様 / 定格 内部処理 オーディオ性能アナログオーディオ入出力定格 デジタルオーディオ入出力定格 マナロール入出力定格 レコーダー部仕様 OS / 動作条件 Windows macOS	330 331 331 331 332 333 334 336 338 339 340 341 341 341
<pre>CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 第 16章 ショートカット操作の一覧表 第 17章 トラブルシューティング 第 18章 仕様/定格 内部処理 オーディオ性能 アナログオーディオ入出力定格 デジタルオーディオ入出力定格 ロントロール入出力定格 レコーダー部仕様 OS /動作条件 Windows macOS ー般</pre>	330 331 331 331 332 332 333 334 336 338 339 339 340 341 341 341 341
<pre>CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 第 16章 ショートカット操作の一覧表 第 17章 トラブルシューティング 第 18章 仕様/定格 内部処理 オーディオ性能 アナログオーディオ入出力定格 デジタルオーディオ入出力定格 ジタルオーディオ社様 ロントロール入出力定格 レコーダー部仕様 OS /動作条件 Windows macOS ー般 寸法図</pre>	330 331 331 331 332 333 334 336 338 338 339 340 341 341 341 341 341 341
CALIBRATION MODE画面表示	330 331 331 332 332 333 334 336 338 338 338 339 340 340 340 341 341 341 342 343
CALIBRATION MODE画面表示	330 331 331 332 332 333 334 338 338 338 339 339 340 340 341 341 341 341 342 343 344
 CALIBRATION MODE画面表示	330 331 331 332 332 333 334 338 338 339 339 340 340 341 341 341 342 344 344 344
<pre>CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 第 16章 ショートカット操作の一覧表 第 17章 トラブルシューティング 第 18章 仕様/定格 内部処理 オーディオ性能アナログオーディオ入出力定格 デジタルオーディオ社能 フントロール入出力定格 レコーダー部仕様 OS / 動作条件 Windows macOS 一般 寸法図 第 19章 ブロックダイヤグラム 第 20章 資料 Sonicview 16/24 Mixer Basic Parameters (FX)</pre>	330 331 331 332 332 333 334 338 338 338 338 338 339 340 340 341 341 341 342 344 344 344 344
<pre>CALIBRATION MODE画面表示 キャリブレーションモードメニュー操作 FADER CALIBRATION. FADER SPEED CALIBRATION. FADER CALIBRATION CHECK TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 第 16章 ショートカット操作の一覧表 第 17章 トラブルシューティング 第 17章 仕様/定格 内部処理 オーディオ性能 アナログオーディオ入出力定格 デジタルオーディオ入出力定格 ロントロール入出力定格 レコーダー部仕様 OS /動作条件 Windows macOS 一般 寸法図 第 19章 ブロックダイヤグラム 第 20章 資料 Sonicview 16/24 Mixer Basic Parameters (FX) Sonicview 16/24 Preset List</pre>	330 331 331 332 332 333 334 338 338 338 338 338 339 340 340 341 341 341 341 342 344 344 344 350 353

第1章 はじめに

本機の概要

本機は、2つ(Sonicview 16)または3つ(Sonicview 24)のカ ラータッチスクリーンを装備、16ch(Sonicview 16)または24ch (Sonicview 24)のマイクプリアンプ、44インプットチャンネル/ 24バス、DanteインターフェースとUSBオーディオインターフェー スを搭載したデジタルミキサーです。

主な特長

- ●2つの7インチカラータッチスクリーン搭載(Sonicview 16)
- 3 つの 7 インチカラータッチスクリーン 搭載(Sonicview 24)
- 96kHz 54bit float FPGA ハードウェアミキシングエンジン
- 超低レイテンシー : ミキシングエンジン 遅延:20.8 µ sec、2 サ ンプル、アナログ to アナログ 遅延:0.51ms
- 96kHz/32bit ADC、HDIAマイクプリ搭載
- 44 入力チャンネル / 22 フレックスバス+MAIN L/Rバス(全バスに 31 バンド GEQを搭載) / 4 つの Loop タイプの FX
- 16 XLR Mic/Line入力(最大入力+32dBu)(Sonicview 16)
- 24 XLR Mic/Line入力(最大入力+32dBu)(Sonicview 24)
- 16 XLR Line出力
- 64in/64outのDanteインターフェース内蔵(リダンダント対応)
- 2 TASCAM スロット(別売カード: MADI、AES/EBU、Analog out、Dante、32 トラックMTRに対応)
- 32bit、32in/32out USB オーディオインターフェース
- 8 TRS Line入 力 (Sonicview 16:CH9-16 / Sonicview 24: CH17-24)
- 2 INSERT (Sonicview 16 : CH7-8 / Sonicview 24 : CH15-16)
- 2 系統のステレオ RCA ST IN入力
- XLR TALKBACK入力
- 個別および外部トークバック機能を搭載
- XLR MONITOR出力
- φ 6.3mm (1/4") と φ 3.5mm (1/8") の 2 つのヘッドホン出力
- ●2系統のモニターセクション
- ワンマンDJ向けのロケーション設定
- 16+1 100mm モーターフェーダー(Sonicview 16)
- 24+1 100mm モーターフェーダー(Sonicview 24)
- ●専用アプリケーション「TASCAM Sonicview Control」(macOS / Windows / iPadOS)でリモートコントロール、オフライン 編集が可能
- ミキシングエンジンとコントロールサーフェースをハードウェ ア/OSともに完全分離した高安定性
- Library : Snapshot / Module / Effect / EQ / GEQ / Gate / Comp
- 18 アサイナブルUSER KEYS、7 カスタムレイヤー、モジュール アサイナブルMASTERセクション、8 つのDCA
- 16/24 カラー LED付きロータリーエンコーダーノブ
- 16/24 カラー LED付きチャンネルネーム LCD(入力レベルメー ター、ゲインリダクションメーターの表示にも対応)
- ステレオ録音(SDカード)/ステレオ再生(SDカード/ USB メモリー)
- WORD IN / OUT / THRU
- 1000BASE-T ギガビット イーサネット
- 8in/8out GPIO
- TS FOOT SW
- XLR-4-31 LAMP端子

● ガード 付き 電源スイッチ

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- ●本機には、操作可能なボタンがトップパネルのボタンとタッチ スクリーンの画面表示ボタンの2種類あります。トップパネル にあるボタンを「MUTEキー」のように表記します。
- タッチスクリーンの下に並ぶ8つのつまみをLCDノブと呼び、 左から順にLCDノブ1~LCDノブ8と表記します。
- ●「SDHC/SDXC メモリーカード」のことを「SD カード」と表記します。
- ●「USBフラッシュドライブ」のことを「USBメモリー」と表記 します。
- ステレオ 信号を扱う以下のモジュールを「ステレオモジュール」 と呼びます。
 - Stereo Link設定がオンのCH1-40 モジュール
 - Stereo Link設定がオンの MIX1-22 モジュール
 - ST IN1-2 モジュール
 - FX RTN1-4 モジュール
 - MAIN L/Rマスターモジュール
- 最後にStore/RecallしたSnapshotを「カレントSnapshot」と 表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」と して記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載し ます。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、機器が壊れたり、データが失われたりする 可能性がある場合に記載します。

⚠ 注意

指示を守らないと、人がけがをする可能性がある場合に記載し ます。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の 商標です。



• VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH, registered in Europe and other countries.



- Microsoft、Windows およびWindows Media は、米国 Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国におけ る登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iPad、iPadOS および iTunes は、米国 および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- etherCONは、Neutrik AGの登録商標です。
- Audinate[®], the Audinate logo and Dante are trademarks of Audinate Pty Ltd.

www.audinate.com/patents

 ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標および ソフトウェアです。



● その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の 商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あ くまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的 財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの 保証を示すものではございません。したがいまして、上記第三者 の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により 発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますの でご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上 権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。 弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担 致しません。

SD カード/ USB メモリーについて

本機では、SDカードを使って録音や再生を行います。 使用できる SDカードは、Class10 以上の SDHC / SDXC規格に対 応した SDカードです。

USBメモリーを使って、メモリー内のファイルを再生したり、本 機にデータを取り込んだり、本機のデータをバックアップしたり します。

本機にて動作が確認されたSDカード/USBメモリーのリストが、 TASCAMのウェブサイトに掲載されています。

Sonicview 16

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_16/support

Sonicview 24

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_24/support

このリストに掲載されている SD カード/ USB メモリーをご使用く ださい。もしくは、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わ せください。

取り扱い上の注意

SDカード/ USBメモリーは、精密にできています。 SDカード/ USBメモリーの破損を防ぐため、取り扱いに当たっ て以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高いあるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を載せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- ●録音、再生状態やデータ転送などアクセス中に、抜き差しを行わないこと。
- 持ち運ぶ際、メモリーカードケースなどに入れて運ぶこと。

SDカードのライトプロテクトについて

本機は、録音/再生フォルダーの設定情報をメディアに書き込み ます。ライトプロテクトをされたSDカードには設定情報の書き込 みなどができないため、再起動時に録音/再生フォルダーの設定 を保持していないなどの影響が出ます。

フォーマットについて

本機でSDカード/ USBメモリーを使用する際は、必ず本機にて フォーマットを行ってください。(→ 276 ページ「Media Manage 画面」)

他の機器、パソコンなどでフォーマットしたSDカード/ USBメモリーを使用した場合は、動作に影響が出る場合があります。

注意

- フォーマットを行うと、SDカード/USBメモリー上のデータ はすべて消去されます。
- 本機でフォーマットされたSDカードは、録音時の性能向上のために最適化されています。そのため、本機で使用するSDカードは本機でフォーマットを行ってください。他の機器、パソコンなどでフォーマットされたSDカードは、本機での録音時にエラーになる可能性があります。

本機の特徴

主な特徴

8 つのLCDノブを備えたタッチスクリーンを8 つのチャンネルモジュールごとに装備し、各チャンネルの各種パラメーターを同時に俯瞰・確認しながら直観的な操作ができます。



主な仕様

同時処理能力

- 入力:モノラル 40 チャンネル、ステレオ 2 チャンネル
- 出力バス:AUX/GROUP切り 換え可能な 22 のバスとステレオメインバス
- 4 つの内蔵 FX、4 つの FX Send バス、4 つのステレオ FX Return チャンネル

入出力ポート

- 16 または 24 マイク/ライン入力
- 2 系統のステレオ RCA入力
- 16 アナログライン出力
- ステレオアナログ MONITOR出力
- リダンダント対応のDante I/Oポート
- ●2つの拡張スロット
- 32 入力、32 出力の USB Audio I/Fポート

内部処理

● 96kHz /浮動小数点 54bit演算

第2章 各部の名称と働き

トップパネル

ここでは、トップパネルの表示器・操作子について説明します。

メモ

インジケーター付きの各種キーは、消灯時も淡く光り、暗い場所 での視認性・操作性を確保しています。

チャンネルセクション





- 抵抗膜方式(感圧式)のタッチパネルを搭載した 800x480 ピクセルのカラー LCDです。
- 各種情報を表示します。
- 表示中の画面をタップやスワイプして、画面を操作します。
- 2 か所以上同時に押して操作することはできません。
- 明るさは、PREFERENCES画面で設定します。(→ 39 ページ「PREFERENCES画面」)

② LCD ノブ/インジケーター

- タッチスクリーンに表示されている画面に対応して、操作 が可能なLCDノブのインジケーターが点灯します。
- LCDノブを回して、タッチスクリーンに表示されている各 種パラメーターを調節します。

マスターセクション





- LCD ノブでのパラメーター調節
 - LCDノブを押さずに回すと、LCDノブの1クリックでパ ラメーター値が1ステップ変化します。細かいパラメー ター調節ができます。
 - LCDノブで高分解能のパラメーターを調節する際、LCD ノブを押しながら回すと、LCDノブの1クリックでパラ メーター値が数ステップ変化します。効率良くパラメー ターを調節することができます。
- HOMEキーを押しながらいずれかのLCDノブを回すと、タッ チスクリーン/チャンネル画面/各種インジケーター/リア パネルのLAMP端子に接続しているランプの輝度を一括で調 節することができます。
- HOMEキーを押しながらいずれかのLCDノブを押し回しす ると、タッチスクリーン/チャンネル画面の輝度を一括で 調節することができます。

MENUキーを押しながらいずれかのLCDノブを回すと、回したLCDノブに対応したチャンネル画面のコントラストを調節することができます。(→334ページ「第16章 ショートカット操作の一覧表」)

③ MUTEキー/インジケーター

- 選択したレイヤーにアサインされているモジュールの MUTEのオン/オフを切り換えます。
- このキーがオン(キー点灯)のとき、対応モジュールの信号 がMUTEされます。
- DCAまたはMute GroupによりMUTEされている場合は、キー が点滅します。
- SENDS ON FADERキーがオン (Sends On Faderモード・オン)のとき、選択したレイヤーにアサインされている各モジュールから選択されたバスへの SEND ON/OFFを切り換えます (MUTEキー点灯時:SEND OFF、MUTEキー消灯時:SEND ON)。ただし、操作対象バスへの SEND ON/OFF機能がないモジュール(例:操作対象バスがFX1 でモジュールがFX RTN 1、操作対象バスがMIX1 でモジュールがMIX1)の場合は、該当するモジュールのMUTE ON/OFFを切り換えます。
- ④ SOLOキー/インジケーター
 - 選択したレイヤーにアサインされているモジュールのSOLO のオン/オフを切り換えます。
 - このキーがオン(キー点灯)のとき、対応モジュールの信号 がSOLO L/Rバスに送られます。
 - DCAにより SOLOがオンになっている 場合は、キーが 点滅します。

メモ

MENUキーを押しながらこのキーを押すと、SOLOの各種設 定を行うTALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面の SOLO / OSCILLATORタブ画面に切り換わります。(\rightarrow 96 ペー ジ「SOLOと内蔵オシレーターの設定」、 \rightarrow 334 ページ「第16 章 ショートカット操作の一覧表」)

⑤ SELキー/インジケーター

- このキーを押すと、選択したレイヤーにアサインされている モジュールの MODULE画面が表示され、キーが点灯します。 タッチスクリーン上で MODULE画面に表示するモジュール を切り換えた場合は、対応する SEL キーが点灯します。
- 点灯しているSELキーを押すと、押したモジュールの MODULE画面がSELキーに対応するタッチスクリーンに表示 されていない場合は、押したモジュールのMODULE画面が 表示されます。押したモジュールのMODULE画面がSELキー に対応するタッチスクリーンに表示されている場合は、押 したSELキーに対応するMODULE画面を閉じてSELキーが 消灯します。

メモ

HOMEキーを押しながらこのキーを押すと、対応するモジュー ルのFADERレベル(Sends On Fader モード・オン時は SENDレ ベル)の設定を「0dB」に設定します。(\rightarrow 334 ページ「第 16 章 ショートカット操作の一覧表」)

- ⑥ チャンネル画面
 - 選択したレイヤーにアサインされているモジュールの以下の 情報を表示します。



(A) MODULE LABEL Sub

DISPLAY MODE タブ画面の MODULE LABEL Subで設定し た表示モードの MODULE LABELを表示します。(→132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)

初期設定では、FIXED MODULE LABELが表示されます。

MODULE LABEL Main

DISPLAY MODE タブ 画 面 の MODULE LABEL Mainで設 定した表示モードの MODULE LABELを表示します。(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」) 初期設定では、USER MODULE LABELが表示されます。

メモ

 MODULE LABEL MainおよびMODULE LABEL Subの表示 モードは、以下の3種類です。

表示モード	内容
USER MODULE LABEL	ユーザーが設定したモ ジュール名
FIXED MODULE LABEL	「CH1」や「MIX1」のような モジュールごとに決められ たモジュール名
PORT LABEL	入出力端子名

- USER MODULE LABELの登録は、MODULE LABEL画面で 行います。(→ 230 ページ「USER MODULE LABELの登 録/編集方法」)
- ⑥ GATE / EXPANDER / DE-ESSER ゲインリダクションメー ター
- ① COMP / DUCKERゲインリダクションメーター
- ① モジュールアイコン
 - モジュールアイコンの設定は、229ページ「MODULE LABEL画面」で行います。
- ①フェーダーレベル値
- ⑥ モジュールメーター(設定されている Metering Pointの 信号レベルを表示)
 - モジュールがステレオモジュールのとき、モジュール メーターはステレオ表示になります。
 - モジュールメーターの最上部は、オーバーロードイン ジケーターです。信号レベルが-0.00026dBFS(16bit フルスケール値)以上のときに点灯します。
 - モジュールメーター下端の-60dBFS以下のエリアは、
 -70dBFS以上で点灯します。

第2章 各部の名称と働き

• SENDS ON FADER キーがオン (Sends On Fader モード・オン) のとき、白黒反転して表示し、画面下部に黒い帯で「SEND to バス名」と表示します。



 ● FIX LAYERキー (22)でレイヤーを固定された 8 チャンネルブ ロックでは、画面上部に白い帯で「FIXED LAYER」と表示し ます。



• Sends On Faderモードがオン、かつレイヤーを固定された 8 チャンネルブロックでは、白黒反転して表示し、画面下部 に黒い帯で「SEND to バス名」「FIXED LAYER」と表示します。



● チャンネル画面の明るさとコントラストは、PREFERENCES 画面で調節します。(→39ページ「PREFERENCES画面」)

⑦ チャンネルカラーバー

選択したレイヤーにアサインされているモジュールの設定色で 点灯します。(→231ページ「モジュール設定色の変更方法」)

⑧ チャンネルフェーダー

- SENDS ON FADER キーがオフ (Sends On Fader モード・オフ) のとき、選択したレイヤーにアサインされている各モジュー ルの FADER レベルを 調節します。
- SENDS ON FADER キーがオン (Sends On Fader モード・オン) のとき、選択したレイヤーにアサインされている各モジュー ルから選択されたバスへのSENDレベルを調節します。

⑨ OUTPUT メーター

MAIN L/RバスのOUTPUT メーターを表示します。 OVERインジケーターは、-0.00026dBFS (16bit フルスケール値) 以上で赤く点灯します。

一番下のインジケーターは、-70dBFS以上で点灯します。

10 HOME +-

- メニュー画面および各種設定画面を表示中に押すと、すべ てのタッチスクリーンがホーム画面に戻ります。
- このキーとMENUキーを同時に5秒間押し続けると、LOCK SETUP画 面 に切り換わります。(→48ページ「LOCK SETUP画面」)

メモ

このキーとの組み合わせで各種ショートカット操作ができます。 詳細については、334 ページ「第 16 章 ショートカット 操作の 一覧表」をご参照ください。

11 MENU +-

- このキーを押すと、右端のタッチスクリーンにメニュー画面 を表示します。
- このキーとHOMEキーを同時に5秒間押し続けると、LOCK SETUP画 面 に切 り 換 わ り ま す。(→ 48 ペ - ジ「LOCK SETUP画面」)

メモ

このキーとの組み合わせで各種ショートカット操作ができます。 詳細については、334 ページ「第 16 章 ショートカット 操作の 一覧表」をご参照ください。

12 USER KEYS A-F キー/インジケーター

ユーザーが自由に機能や色をアサインできるキーです。ステー タスを持つ機能を設定した場合には、ステータスに合わせてキー が点灯/点滅/消灯します。(→ 54 ページ「USER DEFINED CONTROLS画面」)

メモ

MENUキーを押しながらこのキーを押すと、このキーにアサイ ンされた機能に対応した画面に切り換わります。(→ 334 ペー ジ「第16章 ショートカット操作の一覧表」)

③ MUTEキー/インジケーター(MASTER)

- MUTEのオン/オフを切り換えます。
- SENDS ON FADER キーがオフ (Sends On Fader モード・オフ) のとき、Layer Key SETUP画面のCustom Layer SETUPタブ 画面のMASTERスロットにアサインされたモジュール(初期 値:MAIN L/R)のMUTEキーになります。
- SENDS ON FADER キーがオン (Sends On Fader モード・オン) のとき、選択されたバスマスターモジュールのMUTEキーに なります。
- このキーがオン(キー点灯)のとき、対応モジュールの信号 がMUTEされます。
- DCAまたはMute GroupによりMUTEされている場合は、キー が点滅します。

14 SOLO CLEAR キー/インジケーター

- いずれかのモジュールのSOLOがオンのとき、SOLO CLEAR インジケーターが点灯します。
- SOLO CLEARインジケーターが点灯しているときに押すと、 全チャンネルの SOLOを 解除します。

メモ

MENUキーを押しながらこのキーを押すと、TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面の SOLO / OSCILLATOR タブ 画面に切り換わります。(→ 96 ページ「SOLOと内蔵オシレー ターの設定」、→ 334 ページ「第 16 章 ショートカット 操作 の一覧表」)

15 SOLOキー/インジケーター (MASTER)

- SOLOのオン/オフを切り換えます。
- SENDS ON FADERキーがオフ (Sends On Faderモード・オフ) のとき、Layer Key SETUP画面の Custom Layer SETUP タブ 画面の MASTER スロットにアサインされたモジュール(初期 値: MAIN L/R)の SOLOキーになります。
- SENDS ON FADERキーがオン (Sends On Fader モード・オン) のとき、選択されたバスマスターモジュールの SOLOキーに なります。
- このキーがオン(キー点灯)のとき、対応モジュールの信号 がSOLO L/Rバスに送られます。
- DCAによりSOLOがオンになっている場合は、キーが点滅します。

メモ

MENUキーを押しながらこのキーを押すと、SOLOの各種設 定を行うTALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面の SOLO / OSCILLATORタブ画面に切り換わります。(\rightarrow 96 ペー ジ「SOLOと内蔵オシレーターの設定」、 \rightarrow 334 ページ「第16 章 ショートカット操作の一覧表」)

16 SELキー/インジケーター(MASTER)

- SENDS ON FADERキーがオフ (Sends On Faderモード・オフ) のとき、Layer Key SETUP画面の Custom Layer SETUP タブ 画面の MASTER スロットにアサインされたモジュール(初期 値: MAIN L/R)の SELキーになります。
- SENDS ON FADERキーがオン (Sends On Fader モード・オン) のとき、選択されたバスマスターモジュールの SEL キーにな ります。
- このキーを押すと、押したモジュールのMODULE画面が右端タッチスクリーンに表示され、キーが点灯します。タッチスクリーン上でMODULE画面に表示するモジュールを切り換えた場合、対応する SEL キーが点灯します。
- 点灯しているSELキーを押すと、押したモジュールの MODULE画面がSELキーに対応するタッチスクリーンに表示 されていない場合は、押したモジュールのMODULE画面が 表示されます。押したモジュールのMODULE画面がSELキー に対応するタッチスクリーンに表示されている場合は、押 したSELキーに対応するMODULE画面を閉じてSELキーが 消灯します。

メモ

HOMEキーを押しながらこのボタンを押すと、対応するモジュー ルのFADERレベル/ SENDレベルを「0dB」に設定します。(→ 334 ページ「第 16 章 ショートカット操作の一覧表」)

1 L/Rインジケーター

- SENDS ON FADERキーがオフ (Sends On Faderモード・オフ) で、Layer Key SETUP画面のCustom Layer SETUPタブ画面 のMASTERスロットにアサインされたモジュールがMAIN L/ Rのときは、トップパネルのマスターセクションのMUTE / SOLO / SEL /カラーバー/ MASTERフェーダーがMAIN L/ Rマスターモジュールの操作子/表示器になり、インジケー ターが点灯します。
- SENDS ON FADERキーがオン (Sends On Faderモード・オン)、または、SENDS ON FADERキーがオフでLayer Key SETUP画面のCustom Layer SETUPタブ画面のMASTERスロットにアサインされたモジュールがMAIN L/R以外のときは、インジケーターが消灯します。

18 SENDインジケーター

- SENDS ON FADERキーがオフ (Sends On Fader モード・オフ) のときは、インジケーターが消灯します。
- SENDS ON FADERキーがオン (Sends On Fader モード・オン) のときは、トップパネルのマスターセクションのMUTE / SOLO / SEL / カラーバー / MASTERフェーダーが SENDS ON FADER操作対象バス (MIX1-22 バス / FX1-4 バス)の操 作子/表示器になり、インジケーターが点灯します。

19 カラーバー(MASTER)

- SENDS ON FADERキーがオフ (Sends On Fader モード・オフ) のとき、Layer Key SETUP画面の Custom Layer SETUP タブ 画面の MASTER スロットにアサインされたモジュール (初期 値: MAIN L/R)の設定色で点灯します。(→ 231 ページ「モ ジュール設定色の変更方法」)
- SENDS ON FADERキーがオン (Sends On Fader モード・オン) のとき、選択されたバスマスターモジュールの設定色で点灯 します。(→231ページ「モジュール設定色の変更方法」)

② LAYER KEYS 1-7 キー/インジケーター

- このキーを押すと、レイヤーが切り換わります。最後に押したキーが点灯し、現在選択中であることがわかります。レイヤーを切り換えると、各モジュールのフェーダー、MUTE / SOLO / SELキー、チャンネル画面、カラーバー、タッチスクリーンが現在のレイヤーの状態に応じて変化します。
- 各キーに割り当てるレイヤーとキーの点灯色は、メニュー 画面 > Front Panel Setupメニュー >「Layer / Master Fader Setup」で自由に設定できます。(→80ページ「Layer Key SETUPタブ画面」)

メモ

MENUキーを押しながらこのキーを押すと、選択したLAYERキー のLayer Key SETUP画面に切り換わります。(\rightarrow 80 ページ 「Layer Key SETUPタブ画面」、 \rightarrow 334 ページ「第 16 章 ショー トカット操作の一覧表」)

② MASTER フェーダー

- SENDS ON FADERキーがオフ (Sends On Fader モード・オフ) のとき、Layer Key SETUP画面の Custom Layer SETUP タブ 画面の MASTER スロットにアサインされたモジュール(初期 値: MAIN L/R)の FADER レベルを調節します。
- SENDS ON FADERキーがオン (Sends On Fader モード・オン) のとき、選択されたバスマスターモジュールの FADER レベル を調節します。

② FIX LAYER キー/インジケーター

- このキーを押しながら、レイヤーを固定したいブロックのいずれかのSELキーを押すと、該当の8チャンネルブロックが現在のレイヤーで固定されます。また、このキーと固定されたレイヤーに対応したLAYER KEYSが点滅します。さらに、対応したチャンネル画面上部に白い帯で「FIXED LAYER」と表示します。
- このキーを押しながら、レイヤーが固定されたブロックの いずれかのSELキーを押すと、該当の8チャンネルブロッ クのレイヤー固定が解除されます。また、このキーと固定 が解除されたレイヤーに対応したLAYER KEYSの点滅が解除 されます。さらに、対応したチャンネル画面上部の「FIXED LAYER」表示が消えます。
- 固定できるブロックは、左端または右端の8チャンネルブロックのいずれか一方だけです。

② USB端子(5V----0.5A)

USB Type-Cの USB ポートです。(USB 2.0 に対応)

- USBキーボードを接続し、名前などの入力に使用します。工場出荷時の設定は、日本語用キーボードに設定されています。英語用キーボードは日本語用キーボードと配列が異なるため、英語用キーボードを使用する場合にはPREFERENCES画面で設定を変更してください。(→39ページ「PREFERENCES画面」)
- USBメモリーを装着し、メモリー内のファイルを再生したり、
 本機にデータを取り込んだり、本機のデータをバックアップしたりします。
- マウスなどのポインティングデバイスには非対応です。

24 SDカードスロット

SDカードを装着するカードスロットです。(→ 35 ページ「SD カード/ USBメモリーを装着する/取り外す」) SDカードを装着し、メモリー内のファイルを再生したり、メモ リーに録音したり、本機にデータを取り込んだり、本機のデー タをバックアップしたりします。

② MONITOR OUT ボリューム

MONITOR OUT L / R端子の出力レベルを調節します。

26 TALKBACKボリューム

TALKBACKの入力レベルを 調節します。

② TALKBACKキー/インジケーター

- TALKBACKのオン/オフを切り換えるキーです。このキーを 押してすぐに離すと、オン/オフを切り換えます。このキー を押し続けると、押している間だけオンになります。
- MENUキーを押しながらこのキーを押すと、TALKBACKの各 種設定を行うTALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画 面のTALKBACKタブ画面に切り換わります。(→ 84 ページ 「TALKBACKの設定」、→ 334 ページ「第 16 章 ショートカッ ト操作の一覧表」)

28 SENDS ON FADERキー/インジケーター

- Sends On Fader モードのオン/オフを切り換えます。
- SENDS ON FADERキーがオン (Sends On Fader モード・オン) のとき、このキーが点灯し、本機が以下の状態になります。
 - ・一番右のタッチスクリーンが SENDS ON FADER画面に切 り換わります。(→ 214 ページ「SENDS ON FADER機能」)
 - チャンネル画面がSends On Faderモード表示に切り換わります。
 - チャンネルフェーダーが選択バスへのSENDレベルの位置に移動します。
 - MASTERフェーダーが選択バスのFADERレベルの位置に 移動します。
- SENDS ON FADER画面を表示中にこのキーを押すと、Sends On Fader モードが解除されます。SENDS ON FADER画面が 閉じて、チャンネルフェーダー/MASTERフェーダー、およ びチャンネル 画面が通常表示に戻ります。(→ 214 ページ 「SENDS ON FADER機能」)

② USER KEYS 1-12 キー/インジケーター

- ユーザーが自由に機能や色をアサインできるキーです。ス テータスを持つ機能を設定した場合には、ステータスに 合わせてキーが点灯/点滅/消灯します。(→54ページ 「USER DEFINED CONTROLS画面」)
- MENUキーを押しながらこのキーを押すと、このキーにア サインされた機能に対応した画面に切り換わります。(→ 334ページ「第16章 ショートカット操作の一覧表」)

フロントパネル



30 ヘッドホン端子(ステレオミニジャック)

ステレオヘッドホンを接続するためのφ3.5mm(1/8["])ステレ オミニジャックです。

- ③ ヘッドホン端子(ステレオフォンジャック) ステレオヘッドホンを接続するためのφ6.3mm(1/4")ステレ オフォンジャックです。
- ③ ヘッドホンボリューム

ヘッドホンの出力レベルを調節します。

⚠ 注意

ヘッドホンを接続する前には、ヘッドホンボリュームで音量を 最小にしてください。突然大きな音が出て、聴覚障害などの原 因となることがあります。

リアパネル

Sonicview 16



Sonicview 24



③ LAMP端子

トップパネルを照らすグースネックランプを接続します。 XLR 4pin コネクターのランプを使用することができます。 ランプの輝度は、PREFERENCES画面で調節します。(→39 ページ「PREFERENCES画面」)

• XLR 4pin メス (4pin:+12V、3pin:GND)

34 MIC/LINE入力端子

XLR バランスタイプのマイク/ライン入力端子です。

• XLR (1: GND, 2: HOT, 3: COLD)

③ LINE IN (BAL) 端子(TRS フォンジャック)

φ 6.3mm(1/4")TRSフォンジャックタイプのライン入力端子 です。

• TRS (Tip:HOT、Ring:COLD、Sleeve:GND)

メモ

- 本機には2種類の入力端子(XLRとTRS)を持つチャンネル があります。同じチャンネルのXLR端子とTRS端子には、同時に信号を入力しないでください。同時に信号を入力すると、 信号が正しく入力されません。
- ファンタム電源が供給される入力端子は、MIC/LINE入力端子(34)だけです。

36 INSERT端子(TRSフォンジャック)

φ 6.3mm(1/4")TRS フォンジャックタイプの外部機器(エフェ クターなど)をインサートする 端子です。

• TRS (Tip:SEND, Ring:RETURN, Sleeve:GND)

③ TALKBACK入力端子

- トークバックマイクを接続します。
- TALKBACKボリューム(20)でTALKBACKの入力レベルを 調節し、TALKBACKキー(20)でオン/オフを切り換えます。
- TALKBACKの各種設定は、TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面のTALKBACKタブ画面で行います。(→ 84ページ「TALKBACKの設定」)

38 アナログ出力端子

XLRタイプのアナログ出力端子です。

• XLR (1: GND, 2: HOT, 3: COLD)

③ Dante PRIMARY端子

メインの etherCON Cat5e互換の Dante通信端子です。 常時、Dante ネットワークに接続します。接続に使用する LAN ケーブルは、カテゴリー 5e以上の STP ケーブルをご使用くださ い。(→126 ページ「Dante ネットワークとの接続方法」) 内蔵 Dante モジュールの設定は、Dante SETUP画面で行います。 (→98 ページ「Dante SETUP画面」)

④ Dante SECONDARY端子

サブの etherCON Cat5e互換のDante通信端子です。モードに よって、用途が切り換わります。

Redundant(二重化)モード時は、二重化した Dante ネットワー クのうち、セカンダリーネットワークに接続します。

Switched(デイジーチェーン)モード時は、数珠つなぎで Dante機器と接続する際に使用します。接続に使用するLANケー ブルは、カテゴリー 5e以上のSTPケーブルをご使用ください。 (\rightarrow 126ページ「Danteネットワークとの接続方法」) 内蔵Danteモジュールの設定は、Dante SETUP画面で行います。 (\rightarrow 98ページ「Dante SETUP画面」)

④ 拡張カードスロット(SLOT 1 / SLOT 2)

別売の拡張カードを搭載するためのカードスロットです。 SLOTの設定は、SLOT SETUP画面で行います。(→ 129 ページ 「SLOT SETUP画面」)

④ WORD THRU/OUT端子

BNC コネクターのワードクロック出力端子です。 ワードクロック信号をスルー出力/出力します。 スルー/ワード出力の切り換えは、SYNC CLOCK画面で行いま す。(→ 36 ページ「SYNC CLOCK画面」)

43 WORD IN端子

BNCコネクターのワードクロック入力端子です。 ワードクロック信号を入力します。 本機を他の機器のワードクロックと同期するとき、この端子に ワードクロック信号を接続します。

44 FOOTSWITCH端子

φ 6.3mm(1/4")TSフォンジャックタイプのフットスイッチ接 続端子です。

フットスイッチに割り当てる機能の設定は、USER DEFINED CONTROL画面のFoot Switchタブ画面で行います。(→74 ページ「Foot Switchタブ画面」)

• TS (Tip: HOT, Sleeve: GND)

45 USB to PC端子

USB Type-Bの USBポートです。 USB ケーブル(Type-A - Type-B)を使って、パソコンと接続す ることができます。

注意

パソコンとの接続は、USBハブを経由せずに直接接続してくだ さい。また、ケーブルが長すぎるとパソコンと正常に通信でき なくなる恐れがあります。

46 ETHERNET端子

イーサネット 端子です。

ネットワーク接続し、主に専用アプリケーション「TASCAM Sonicview Control」から本機をリモートコントロールする目的 で使用します。

ネットワークの設定は、Network Setup画面で行います。(→ 136 ページ「Network Setup画面」)

「TASCAM Sonicview Control」については、アプリケーション の取扱説明書をご参照ください。「TASCAM Sonicview Control」 およびアプリケーションの取扱説明書は、TASCAMのウェブサ イトからダウンロードすることができます。

Sonicview 16

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_16/support

Sonicview 24

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_24/support

④ GPIO端子

D-sub 25 ピンのパラレルコントロール入出力端子です。 8 入力 / 8 出力の制御コマンドを送受信します。ピンアサイン については、15 ページ「GPIO端子について」をご参照ください。 GPIO入力端子に割り当てる機能の設定は、USER DEFINED CONTROL画面のGPIO-INタブ画面で行います。(\rightarrow 75 ページ「GPIO-INタブ画面」)

GPIO出力端子に割り当てる機能の設定は、USER DEFINED CONTROL画面のGPIO-OUTタブ画面で行います。(→75 ペー ジ「GPIO-OUTタブ画面」)

48 MONITOR OUT L / R端子

XLRタイプのアナログ出力端子です。

MONITOR出力の各種設定は、TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面のMONITOR 1 / 2 タブ画面で行います。(→ 90 ページ「MONITOR出力の設定」)

• XLR (1:GND、2:HOT、3:COLD)

④ ST IN 1 / ST IN 2 端子

RCAピンジャックタイプのアナログライン入力端子です。 RCAケーブルを使用してCDプレイヤーなどを接続します。

50 POWERスイッチ

電源のオン/オフを切り換えます。

⚠注意

電源を入れる前や切る前には、接続機器の音量を最小にして ください。突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となるこ とがあります。

メモ

- 本機が動作中(録音中、再生中、SDカードやUSBメモリー にデータを書き込み中など)には電源を切らないでください。
 録音が正しく行われなかったり、録音したデータが破損したりする可能性があります。
- 電源を切る前にメニュー画面のSave Current Settingsを実施することをお勧めします。(→138ページ「カレント設定の保存」)

⑤ AC IN端子

付属の電源コードを接続します。

GPIO端子について

リアパネルにある GPIO端子は、外部機器から本機器の制御、本機 器から外部機器の制御を行うためのパラレルコントロール端子です。 GPIO端子の機能の設定内容は、USER DEFINED CONTROLS画面の GPIO-INタブ画面/ GPIO-OUTタブ画面で変更することができま す。(→54 ページ「USER DEFINED CONTROLS画面」) ピンアサインは、以下の通りです。

Pin No.	機能	IN / OUT
1	GND	-
2	GPIO IN 2	IN
3	GPIO IN 4	IN
4	GPIO IN 6	IN
5	GPIO IN 8	IN
6	NC	-
7	NC	-
8	NC	-
9	GPIO OUT 2	OUT
10	GPIO OUT 4	OUT
11	GPIO OUT 6	OUT
12	GPIO OUT 8	OUT
13	NC	-
14	GPIO IN 1	IN
15	GPIO IN 3	IN
16	GPIO IN 5	IN
17	GPIO IN 7	IN
18	NC	-
19	NC	-
20	GND	-
21	GPIO OUT 1	OUT
22	GPIO OUT 3	OUT
23	GPIO OUT 5	OUT
24	GPIO OUT 7	OUT
25	+5V	-

IN:コマンド入力用

• 内部回路で+5Vにプルアップ

50msec以上のLOW信号の入力で動作

OUT:コマンド/タリー出力用

- 内部回路は、オープンコレクタ(出力インピーダンス: 10Ω)
- 耐圧 20V、最大電流 35mA

+5V:最大供給電流 50mA

本機の基本操作

タッチスクリーン操作

タッチスクリーン上で操作したいものをタップ/スワイプして操作します。

特別なタッチスクリーン操作

押し続ける	+48Vボタンを押し続けると、ファンタム電源(+48V)のオン/オフを切り換えます。
タップする/押し続ける	TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面の MONITOR 1 / 2 タブ画面の DIM ボタン、および TALKBACK タブ画面の TALKBACK ボタン、TARGET ボタン、SELECTED ボタンは、タップするとオン/オ フを切り換え、押し続けると押している間だけオンになります。



LCDノブ 操作

LCDノブを使用して、その上のタッチスクリーンに表示/選択されているパラメーターを操作します。 操作可能なLCDノブは、対応するインジケーターが点灯します。

LCDノブ操作の種類	説明
押さずに回す	1クリックで1ステップずつ細かく調節できます。
押しながら回す	パラメーターを 端から 端まで 素早く 調節できます。

トップパネルのキー操作

トップパネルのキーを押して操作します。 以下は、特殊な操作方法のキーです。

+-	内容
TALKBACK +-	このキーを押してすぐに離すと、TALKBACKのオン/オフを切り換えます。 このキーを押し続けると押している間だけオンになります。
HOMEキー+MENUキー	HOMEキーとMENUキーを同時に5秒間押し続けると、LOCK SETUP画面に切り換えます。

メモ

本機ではパラメーターごとに下記のような統一したイメージカラーを持っており、色によってパラメーターの種類を判別しやすくなっています。

- GAIN/Level系:赤
- GATE系: 黄緑
- EQ:青
- COMP系:緑
- FX: 黄緑
- AUXモードバス:オレンジ
- GROUPモードバス:紫
- PAN:黄色
- FADER:水色

ホーム画面

本機のホーム画面は、レイヤーごとに複数あり、各レイヤーにア サインされたモジュールの名前、各種パラメーター、メーターなど を一覧表示します。

ホーム画面の表示は、LAYER KEYS 1-7 キーを押して切り換えます。 メモ

メニュー画面および各種設定画面を表示中にHOMEキーを押すと、 ホーム画面に戻ります。

CH1-40 モジュールのホーム 画面







[ホーム画面・CH1-40 モジュール詳細]

① INPUTエリア

● 選択した入力ソースの入力の設定状態を表示します。(右側: ステレオモジュール)



「入力ソースが「ANALOG」または「内蔵 Dante経由で 接続された SB-16D」で、PORT LABELの表示モードが「FIXED」のとき、また はPORT LABELの表示モードが「USER」でUSER PORT LABELが 未定義の場合のINPUTエリア表示]



[入力ソースが「ANALOG」または「内蔵 Dante経由で 接続された SB-16D」以外で、PORT LABELの表示モードが「FIXED」のとき、 または PORT LABELの表示モードが「USER」で USER PORT LABEL が未定義の場合のINPUTエリア表示]

④ 入力ソース名を表示します。

- PORT LABELの表示モードが「USER」に設定されて いる場合は、USER PORT LABEL(ユーザーが設定し た端子名)を表示します。USER PORT LABELが未定 義の場合には、FIXED PORT LABELを表示します。(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ 画面」)
- PORT LABELの表示モードが「FIXED」に設定されて いる場合は、FIXED PORT LABEL(「ANALOG 1」や 「Dante 1」のような端子ごとに決められた端子名)を 表示します。(→132ページ「DISPLAY MODEタブ画 面」)
- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポート を選択した場合は、「SB#[ID] ポート番号」と表示します。



また、バーチャルマウントされたSB-16Dの場合は、 ポート名左下に 😡 マークを表示します。



 ステレオモジュールのとき、左右で隣接していない入 カソースを選択している場合は、以下のような略称で 左右に分割して入力ソースのFIXED PORT LABELを表 示します。



入力ソース名	入力ソース名の略称
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
USB	US
ST IN 1	ST1
PLAYER	PL

 ステレオモジュールのとき、マウント済みSB-16Dが アサインされたDanteポートを選択した場合は、「#[ID] ポート番号」と表示します。



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、「#」 の背景を 黄色で表示します。



- ⑧ 入力レベルに応じてインジケーターが以下の色でハイラ イト表示になります。また、ステレオモジュールのとき、 2つのモジュールのインジケーターを左右に分けて表示 します。
 - 赤:- 3dBFS、緑:- 40dBFS
- ①入力信号の位相(フェーズ)の設定状態を表示します。 また、ステレオモジュールのとき、2つのモジュールの 位相(フェーズ)の設定状態を左右に分けて表示します。

φ	正相(ノーマル)
φ	逆相(リバース)

 ① 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内 蔵 Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、-20dBのパッ ドの設定状態を表示します。オンのとき、アイコンがハ イライト表示になります。

ステレオモジュールで入力ソースがL/Rチャンネルとも に「ANALOG」または「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」の場合は、L/Rチャンネルで設定が異なるときはボ タンの左右で色が違う状態になります。



① 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内蔵 Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、ファンタム電源(+48V)の設定状態を表示します。オンのとき、アイコンがハイライト表示になります。

ステレオモジュールで入力ソースがL/Rチャンネルとも に「ANALOG」または「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」の場合は、L/Rチャンネルで設定が異なるときはボ タンの左右で色が違う状態になります。



- ⑦ HPFの設定状態を表示します。オンのとき、アイコンが ハイライト表示になります。
- ⑥ 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または 「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、Analog GAINノブが表示され、本機またはSB-16DのMIC/LINE入 力端子からの入力レベル値を表示します。また、ステレ オモジュールのとき、2つのモジュールのノブ表示と入 カレベル値を表示します。

入力ソースが制御権のない SB-16Dの 場合は、黒いノブで 表示されて操作できません。



- ① 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内蔵 Dante経由で接続されたSB-16D」以外のとき、D.TRIMノブが表示され、デジタルトリム値を表示します。また、ステレオモジュールのとき、2つのモジュールのノブ表示とデジタルトリム値を表示します。
- この部分をタップすると、選択枠を表示します。選択枠を 表示中は、対応するLCDノブを使って、表示中のパラメーター を調節することができます。
- 選択枠を表示中にこの部分をタップすると、選択したモジュールのMODULE (INPUT) 画面に切り換わります。(→ 186ページ「MODULE (INPUT) 画面」)
- ② GATE / EXPANDER / DE-ESSERエリア
 - ダイナミクスエフェクトの特性グラフとゲインリダクション メーターを表示します。
 - この部分をタップすると、選択したモジュールの MODULE (GATE / EXPANDER / DE-ESSER) 画面に切り換わりま す。(→194ページ「MODULE (GATE / EXPANDER / DE-ESSER) 画面」)
- ③ HPF / EQエリア
 - HPFとEQの周波数特性グラフを表示します。
 - この部分をタップすると、選択したモジュールの MODULE (EQ) 画面に切り 換わります。(→ 196 ページ「MODULE (EQ) 画面」)
- ④ COMP / DUCKERエリア
 - ダイナミクスエフェクトの特性グラフとゲインリダクション メーターを表示します。
 - この部分をタップすると、選択したモジュールの MODULE (COMP / DUCKER) 画面に切り換わります。(→ 200 ページ 「MODULE (COMP / DUCKER) 画面」)

⑤ INSERTマーク表示

CH1-40 モジュールの INSERT ボタンがオンのとき、 **I** マークを 表示します。

⑥ レベルメーター

設定されている Metering Pointの信号レベルを表示します。(→ 46 ペ ー ジ「METERING POINTタ ブ 画 面 」、→ 170 ペ ー ジ 「MODULE (OVERVIEW) 画面」)

メモ

- 選択したモジュールがステレオモジュールのとき、レベル メーターはステレオ表示になります。
- 各レベルメーターの最上部は、オーバーロードインジケー ターです。信号レベルが-0.00026dBFS(16bitフルスケー ル値)以上のときに赤くハイライト表示します。
- レベルのオーバーロードが発生すると、バーメーター全体が 赤くなります。
- レベルメーター下端の-60dBFS以下のエリアは、-70dBFS 以上で点灯します。

⑦ SENDエリア

 MIX1-22 バスおよび FX1-4 バスへの SENDの 設定状態を 4 つ ずつ表示します。また、Audio Follow Video機能のパラメー ターも表示します。





- MIX1-22 モジュールおよびFX RTN1-4 モジュールの MODULE LABEL Mainで設定したMODULE LABELを表示 します。(→132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」)

 MODULE LABEL Mainの表示モードが「USER」に設定 されている場合に、該当モジュールのUSER MODULE LABELが未定義の場合は、「MIX 1」や「FX 1」のような FIXED MODULE LABELを表示します。
- ⑧ MIX1-22 バスおよび FX1-4 バスへの PRE / POSTの設定 状態を表示します。

表示なし	POST設定
PRE	PRE設定

⑥ AUX モードの MIX1-22 バスおよび FX1-4 バスへのアサイン状態および SEND レベルを表示します。

MIX1-22 バス	オレンジ色にハイライト表示
FX1-4 バス	緑色にハイライト表示

アサイン状態がオフのときには、グレーアウト表示にな ります。

ステレオリンクされた MIX バスや FX バスの 場合は、SEND レベルが 2 本のバーで表示されます。

- ① GROUPモードのMIX1-22 バスは、ON時に紫色でハイラ イト表示する角丸ボタンを表示します。ホーム画面では 表示のみで、ON / OFFの切り換え操作はできません。
- SENDレベルをタップすると、選択枠を表示します。選択枠 を表示中に、対応するLCDノブを使って、表示中のSENDレ ベルを調節することができます。
- 選択枠を表示中にこの部分をタップすると、選択したモジュールのMODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。(→ 203 ページ「MODULE (SEND/PAN) 画面」)
- HOMEキーを押しながら SEND レベルをタップすると、タップしたバスの SEND レベルを「0dB」に設定します。(→ 334ページ「第16章 ショートカット操作の一覧表」)

⑧ 🚼 ボタン

このボタンをタップすると、SENDエリアに表示するパラメー ターの選択ウィンドウを表示します。



パラメーター選択ボタン

- パラメーター選択ボタンをタップすると、選択されたパラ メーター群をSENDエリアに表示します。
- ・ 選択ウィンドウ左上の 図 ボタンをタップすると、ウィンド ウを閉じます。
- ボタンがオフ(図)のとき、パラメーター選択ボタンをタッ プすると自動的にこのウィンドウを閉じます。
- ボタンがオン(■)のとき、パラメーター選択ボタンをタップしてもこのウィンドウを閉じずに表示を維持します。
- AFVボタンをタップすると、SENDエリアにAudio Follow Video機能の代表的な4つのパラメーターを表示します。



 ④ 選択モジュールのAudio Follow Video機能のON / OFF ボタン

- このボタンをタップすると、選択したモジュールの Audio Follow Video機能のON / OFFが切り換わりま す。ONのとき、ボタンがハイライト表示になります。
- AFV TRIGGER SOURCE SELECT画面で選択したAFV TRIGGER SOURCE名を表示します。
- (B) WAIT

AFV ON イベントを受けてから、フェードを開始するまでの時間を調節します。

C RISE

AFV ONイベントを受けたときの、フェード 開始から ON LEVELに到達するまでのフェード 時間を 調節します。 ① FALL

- AFV OFFイベントを受けたときの、フェード 開始から OFF LEVELに到達するまでのフェード時間を調節します。
- ⑧ ~ ⑩をタップすると、選択枠を表示します。選択枠 を表示中に、対応するLCDノブを使って、表示中のパラ メーターを調節することができます。
- 選択枠を表示中にこの部分をタップすると、選択したモジュールのMODULE (Audio Follow Video) 画面に切り換わります。(→210ページ「MODULE (Audio Follow

Video) 画面」)

 AUTO MIXERボタンをタップすると、CH1-16 モジュールの SENDエリアにAUTO MIXER機能のパラメーターやメーター を表示します。このとき、CH1-16 モジュール以外のモジュー ルのSENDエリアは空欄になります。



④ AUTO MIXER GROUPボタン

- 対応するチャンネルモジュールが属する AUTO MIXER グループ(A/B/C/D)の名前を表示します。
 AUTO MIXER対象外のグループが選択されているとき、 「---」を表示します。
- TOP PRIORITY対象として選択されたグループの場合、ボタン左下に「TOP」のアイコンが表示されます。 TOP PRIORITY設定がONのとき、この「TOP」アイコンがハイライトになります。
- グループのAUTO MIXER機能がOFFのときには、暗い 色で表示されます。
- このボタンをタップすると、AUTOMATIC MIXER画面 に切り換わります。(→ 233 ページ「AUTO MIXER機 能」)

⑧ AUTO MIXER GAIN レベルメーター

AUTO MIXERにより 自動調整された GAIN レベルを表示します。

① AUTO MIXER GATE インジケーター

AUTO MIXER内の該当チャンネルのGATEが閉じているか どうかを示すインジケーターです。

AUTO MIXERへの入力レベルが – 90dB以下でGATEが閉 じているときに点灯、AUTO MIXERへの入力レベルが – 84dB以上でGATEが開いているときに消灯します。

- AUTO MIXER WEIGHT設定値インジケーター
 - AUTO MIXERの WEIGHT値を表示します。
 - このエリアをタップすると、選択枠を表示します。選 択枠を表示中に、対応するLCDノブ(水色で点灯)を 使って、表示中のWEIGHT値を調整することができます。

⑨ SEND/PANボタン

このボタンをタップすると、MODULE (SEND/PAN) 画面に切り 換わります。(→ 203 ページ「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

1 BUS ASGN ボタン (📟)

● このボタンをタップすると、通常表示から BUS ASSIGN表示 に切り換わります。



 MIX1-22 バス / FX1-4 バス / MAIN L/RバスへのSEND の設定状態を下記のように表示します。(→ 203 ページ 「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

アイコン	SEND ON/OFF	PRE/POST
1	ON	POST
1	ON	PRE
1	OFF	POST
1	OFF	PRE

MIX1-22 モジュールの BUS モードの設定状態を下記のように表示します。(→53 ページ「BUS CONFIG タブ画面」)

アイコン	内容
1	BUS モードが「AUX」の MIX1-22 モジュー ル
1	BUSモードが「GROUP」のMIX1-22モ ジュール
1 2	MIX1-22 モジュールの Stereo Link設定 のオン

● BUS ASSIGN表示を表示中に 圖 ボタンをタップすると、通常 表示に戻ります。

① PANエリア

- MAIN L/Rバスに送り出す信号のパン/バランスの設定状態 と MAIN L/Rバスへのアサイン状態を表示します。
- この部分をタップすると、選択枠を表示します。選択枠を 表示中は、対応するLCDノブを使って、送り出す信号のパ ン/バランスを調節することができます。
- HOMEキーを押しながらこの部分をタップすると、タップしたパン/バランスの設定を中央(C)に設定します。(→ 334ページ「第16章 ショートカット操作の一覧表」)
- ・選択枠を表示中にこの部分をタップすると、MODULE (SEND/ PAN) 画面に切り換わります。(→203ページ「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

12 MODULE LABELエリア

- ・上段左側には、DISPLAY MODE タブ画面のMODULE LABEL Subで設定した表示モードのMODULE LABELを表示します。 初期設定では、FIXED MODULE LABELが表示されます。(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
- 上段右側の上部にMute Groupへのアサイン状態、下部に DCAへのアサイン状態を表示します。アサインされている Mute Group番号は赤い数字、アサインされているDCA番号 は黄色い数字で表示します。



Mute Groupへのアサイン状態の変更は、227 ページ「Mute Group Assign タブ 画 面 」または170 ページ「MODULE (OVERVIEW) 画面」で行います。

DCAへのアサイン状態の変更は、226 ページ「DCA Assignタ ブ画面」または 170 ページ「MODULE (OVERVIEW) 画面」で 行います。

- 下段には、DISPLAY MODEタブ画面の MODULE LABEL Main で設定した表示モードの MODULE LABELを表示します。初 期設定では、USER MODULE LABELが表示されます。(→ 132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」)
- MODULE LABEL エリアの背景色は、アサインされている モジュールの設定色になります。モジュール設定色の変更 は、231 ページ「モジュール設定色の変更方法」で行います。
- ・ このエリアをタップすると、MODULE (OVERVIEW) 画面に切り換わります。(→ 170ページ「MODULE (OVERVIEW) 画面」)

メモ

MODULE LABEL Mainおよび MODULE LABEL Subの表示モードは、以下の3種類です。

表示モード	内容
USER MODULE LABEL	ユーザーが設定したモジュール 名
FIXED MODULE LABEL	「CH1」や「MIX1」のようなモ ジュールごとに決められたモ ジュール名
PORT LABEL	入出力端子名

 USER MODULE LABELの登録は、MODULE LABEL画面で行います。(→ 230 ページ「USER MODULE LABELの登録/編 集方法」) ST IN1-2 モジュール/ FX RTN1-4 モジュールのホー ム 画面



[ホーム画面・ST IN1-2 / FX RTN1-4 モジュール]



[ホーム画面・ST IN1-2 / FX RTN1-4 モジュール詳細]

① INPUTエリア

● 選択した入力ソースの入力の設定状態を表示します。



[入力ソースが「ANALOG」または「内蔵 Dante経由で接続された SB-16D」以外のときのINPUTエリア表示]





④ 入力ソース名を表示します。

- PORT LABELの表示モードが「USER」に設定されている場合は、USER PORT LABEL(ユーザーが設定した端子名)を表示します。USER PORT LABELが未定義の場合には、FIXED PORT LABELを表示します。(→ 132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」)
- PORT LABELの表示モードが「FIXED」に設定されている場合は、FIXED PORT LABEL(「ANALOG 1」や「Dante 1」のような端子ごとに決められた端子名)を表示します。(→132ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
 - マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、「SB#[ID] ポート番号」と表示します。



また、バーチャルマウントされたSB-16Dの場合は、 ポート名左下に **②** マークを表示します。



 ステレオモジュールのとき、左右で隣接していない 入力ソースを選択している場合は、以下のような 略称で左右に分割して入力ソースのFIXED PORT LABELを表示します。



入力ソース名	入力ソース名の略称
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
USB	US
ST IN 1	ST1
PLAYER	PL

 ステレオモジュールのとき、マウント済みSB-16D がアサインされたDanteポートを選択した場合は、 「#[ID] ポート番号」と表示します。



また、バーチャルマウントされたSB-16Dの場合は、 「#」の背景を黄色で表示します。



 ⑧ 入力レベルに応じてインジケーターが以下の色でハイラ イト表示になります。

赤:- 3dBFS、緑:- 40dBFS

①入力信号の位相(フェーズ)の設定状態を表示します。



- ① 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内 蔵Dante経由で接続されたSB-16D」以外のとき、D.TRIM ノブが表示され、デジタルトリム値を表示します。
- ③ 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内蔵 Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、-20dBのパッドの設定状態を表示します。オンのとき、アイコンがハイライト表示になります。

ステレオモジュールで入力ソースがL/Rチャンネルとも に「ANALOG」または「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」の場合は、Lチャンネルの設定を表示します。

⑦ 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内蔵 Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、ファンタム電源(+48V)の設定状態を表示します。オンのとき、アイコンがハイライト表示になります。

ステレオモジュールで入力ソースがL/Rチャンネルとも に「ANALOG」または「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」の場合は、Lチャンネルの設定を表示します。

 ⑥ 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または 「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、2つの Analog GAINノブが表示され、本機またはSB-16DのMIC/ LINE入力端子からの入力レベル値を2つ表示します。 入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合は、黒いノブで 表示されて操作できません。



- この部分をタップすると、選択枠を表示します。選択枠を 表示中は、対応するLCDノブを使って、表示中のパラメーター を調節することができます。
- 選択枠を表示中にこの部分をタップすると、選択したモジュールのMODULE (INPUT) 画面に切り換わります。(→ 186ページ「MODULE (INPUT) 画面」)

② FXエリア

- エフェクト名とメインのエフェクトパラメーターを表示します。
- この部分をタップすると、選択枠を表示します。選択枠を 表示中は、対応するLCDノブを使って、表示中のエフェクト パラメーターを調節することができます。
- 選択枠を表示中にこの部分をタップすると、選択したモジュールのMODULE (FX) 画面に切り換わります。(→191ページ「MODULE (FX) 画面」)
- MODULE (FX) 画面のFX SEND MUTEボタンがオンのとき、 FX RTN1-4 モジュールのホーム画面でも赤くハイライト表示されます。



- ③ EQエリア
 - EQの周波数特性グラフを表示します。
 - この部分をタップすると、選択したモジュールの MODULE (EQ) 画面に切り 換わります。(→ 196 ページ「MODULE (EQ) 画面」)

④ レベルメーター

設定されている Metering Pointの信号レベルを表示します。(→ 46 ページ「METERING POINTタブ 画面」、→ 176 ページ「ST IN1-2 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面」、→ 180 ペー ジ「FX RTN1-4 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面」)

メモ

- ST IN1-2 モジュール / FX RTN 1-4 モジュールはステレオモ ジュールのため、レベルメーターはステレオ表示になります。
- レベルメーターの最上部は、オーバーロードインジケーターです。信号レベルが-0.00026dBFS(16bitフルスケール値)以上のときに赤くハイライト表示します。
- レベルのオーバーロードが発生すると、バーメーター全体が 赤くなります。
- レベルメーター下端の-60dBFS以下のエリアは、-70dBFS 以上で点灯します。

⑤ SENDエリア

 MIX1-22 バスおよびFX1-4 バスへのSENDの設定状態を4つ ずつ表示します。また、Audio Follow Video機能のパラメー ターも表示します。





④ MIX1-22 モジュールおよびFX RTN1-4 モジュールの MODULE LABEL Mainで設定したMODULE LABELを表示 します。(→132ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)

MODULE LABEL Mainの表示モードが「USER」に設定 されている場合に、該当モジュールのUSER MODULE LABELが未定義の場合は、「MIX 1」や「FX 1」のような FIXED MODULE LABELを表示します。

 ⑧ MIX1-22 バスおよび FX1-4 バスへの PRE / POSTの設定 状態を表示します。

表示なし	POST設定
PRE	PRE設定

⑥ AUX モードの MIX1-22 バスおよび FX1-4 バスへのアサイン状態および SEND レベルを表示します。

MIX1-22 バス	オレンジ色にハイライト表示
FX1-4 バス	緑色にハイライト表示

アサイン 状態がオフのときには、グレーアウト 表示にな ります。

ステレオリンクされた MIX バスや FX バスの 場合は、SEND レベルが 2 本のバーで表示されます。

- ① GROUPモードのMIX1-22 バスは、ON時に紫色でハイラ イト表示する角丸ボタンを表示します。ホーム画面では 表示のみで、ON / OFFの切り換え操作はできません。
- ※ FX RTNモジュールのFX1-4 エリアには、 ⑧ / ⑥ / ① は表示されません。



- SENDレベルをタップすると、選択枠を表示します。選択枠 を表示中に、対応する LCD ノブを使って、表示中の SENDレ ベルを調節することができます。
- HOMEキーを押しながらSENDレベルをタップすると、タッ プしたバスのSENDレベルを「0dB」に設定します。(→ 334ページ「第16章 ショートカット操作の一覧表」)

⑥ 🗧 ボタン

このボタンをタップすると、SENDエリアに表示するパラメー ターの選択ウィンドウを表示します。



パラメーター選択ボタン

- パラメーター選択ボタンをタップすると、選択されたパ ラメーター群をSENDエリアに表示します。
- ・ 選択ウィンドウ左上の 図 ボタンをタップすると、ウィン ドウを閉じます。
- ボタンがオフ(■)のとき、パラメーター選択ボタン をタップすると自動的にこのウィンドウを閉じます。
- ボタンがオン(■)のとき、パラメーター選択ボタン をタップしてもこのウィンドウを閉じずに表示を維持し ます。

 AFVボタンをタップすると、SENDエリアにAudio Follow Video機能の代表的な4つのパラメーターを表示します。



- ④ 選択モジュールのAudio Follow Video機能のON / OFF ボタン
 - このボタンをタップすると、選択したモジュールの Audio Follow Video機能のON / OFFが切り換わりま す。ONのとき、ボタンがハイライト表示になります。
 - AFV TRIGGER SOURCE SELECT画面で選択したAFV TRIGGER SOURCE名を表示します。

(B) WAIT

AFV ON イベントを受けてから、フェードを開始するまでの時間を調節します。

C RISE

AFV ON イベントを受けたときの、フェード開始からON LEVELに到達するまでのフェード 時間を 調節します。

1 FALL

AFV OFFイベントを受けたときの、フェード開始から OFF LEVELに到達するまでのフェード時間を調節します。

- ⑧ ~ ⑩をタップすると、選択枠を表示します。選択枠 を表示中に、対応するLCDノブを使って、表示中のパラ メーターを調節することができます。
- 選択枠を表示中にこの部分をタップすると、選択したモジュールのMODULE (Audio Follow Video) 画面に切り換わります。(→210ページ「MODULE (Audio Follow Video) 画面」)
- AUTO MIXERボタンをタップすると、CH1-16 モジュールのSENDエリアにAUTO MIXER機能のパラメーターやメーターを表示します。このとき、CH1-16 モジュール以外のモジュールのSENDエリアは空欄になります。

⑦ SEND/PANボタン

このボタンをタップすると、MODULE (SEND/PAN) 画面に切り 換わります。(→ 203 ページ「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

⑧ BUS ASGN ボタン (IIII)

 このボタンをタップすると、通常表示からBUS ASSIGN表示 に切り換わります。



 MIX1-22 バス / FX1-4 バス / MAIN L/R バスへのSEND の設定状態を下記のように表示します。(→ 203 ページ 「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

アイコン	SEND ON/OFF	PRE/POST
1	ON	POST
1	ON	PRE
1	OFF	POST
1	OFF	PRE

MIX1-22 モジュールの BUS モードの設定状態を下記のように表示します。(→53 ページ「BUS CONFIG タブ画面」)

アイコン	内容
1	BUSモードが「AUX」のMIX1-22モ ジュール
1	BUSモードが「GROUP」のMIX1-22モ ジュール
1 2	MIX1-22 モジュールの Stereo Link設定 のオン

 BUS ASSIGN表示を表示中に 圖ボタンをタップすると、通常 表示に戻ります。

⑨ PAN エリア

- MAIN L/Rバスに送り出す信号のパン/バランスの設定状態 と MAIN L/Rバスへのアサイン状態を表示します。
- この部分をタップすると、選択枠を表示します。選択枠を 表示中は、対応するLCDノブを使って、送り出す信号のパ ン/バランスを調節することができます。
- HOMEキーを押しながらこの部分をタップすると、タップしたパン/バランスの設定を中央(C)に設定します。(→ 334ページ「第16章 ショートカット操作の一覧表」)
- 選択枠を表示中にこの部分をタップすると、MODULE (SEND/ PAN) 画面に切り換わります。(→ 203 ページ「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

10 MODULE LABELエリア

- ・ 上段左側には、DISPLAY MODE タブ画面の MODULE LABEL Subで設定した表示モードの MODULE LABELを表示します。 初期設定では、FIXED MODULE LABELが表示されます。(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
- 上段右側の上部にMute Groupへのアサイン状態、下部に DCAへのアサイン状態を表示します。アサインされている Mute Group番号は赤い数字、アサインされているDCA番号 は黄色い数字で表示します。



Mute Groupへのアサイン状態の変更は、227 ページ「Mute Group Assign タブ 画 面 」 ま た は 170 ペ ー ジ「MODULE (OVERVIEW) 画面」で行います。

DCAへのアサイン状態の変更は、226 ページ「DCA Assign タブ画面」または 170 ページ「MODULE (OVERVIEW) 画面」 で行います。

- 下段には、DISPLAY MODE タブ画面の MODULE LABEL Main で設定した表示モードの MODULE LABELを表示します。初 期設定では、USER MODULE LABELが表示されます。(→ 132ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
- MODULE LABEL エリアの背景色は、アサインされている モジュールの設定色になります。モジュール設定色の変更 は、231 ページ「モジュール設定色の変更方法」で行います。
- このエリアをタップすると、MODULE (OVERVIEW) 画面に 切り換わります。(→176ページ「ST IN1-2 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面」)

メモ

MODULE LABEL Mainおよび MODULE LABEL Subの表示モードは、以下の3種類です。

表示モード	内容
USER MODULE LABEL	ユーザーが設定したモジュール 名
FIXED MODULE LABEL	「CH1」や「MIX1」のようなモ ジュールごとに決められたモ ジュール名
PORT LABEL	入出力端子名

 USER MODULE LABELの登録は、MODULE LABEL画面で行います。(→ 230 ページ「USER MODULE LABELの登録/編 集方法」) MIX1-22 モジュール/ MAIN L/R マスターモジュー ルのホーム 画面



[ホーム画面・MIX1-22 モジュール/ MAIN L/Rマスターモジュール]



[ホーム画面・MIX1-22モジュール/MAINL/Rマスターモジュール詳細]

① OUTPUT エリア

- PORT LABELの表示モードが「USER」に設定されている場合、 USER PORT LABEL(ユーザーが設定した端子名)を表示し ます。USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABELを表示します。(→132ページ「DISPLAY MODEタブ 画面」)
- PORT LABELの表示モードが「FIXED」に設定されている場合、 FIXED PORT LABEL(「ANALOG 1」や「Dante 1」のような 端子ごとに決められた端子名)を表示します。(→132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
- 出力ポートのアサイン状態を表示します。
 - マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選 択した場合は、「SB#[ID]ポート番号」と表示します。



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、ポー ト名左に 😡 マークを表示します。



 ステレオモジュールのとき、以下のような略称で左右に 分割して出力ポートのFIXED PORT LABELを表示します。



出力ポート名	出力ポート名の略称
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
USB	US

ステレオモジュールのとき、マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、「#[ID] ポート番号」と表示します。



また、バーチャルマウントされたSB-16Dの場合は、「#」 の背景を黄色で表示します。



 この部分をタップすると、選択したモジュールの MODULE (OUTPUT) 画面に切り換わります。(→ 207 ページ「MODULE (OUTPUT) 画面」)

② EQエリア

- EQの周波数特性グラフを表示します。
- この部分をタップすると、選択したモジュールの MODULE (EQ) 画面に切り 換わります。(→ 196 ページ「MODULE (EQ) 画面」)

③ GEQエリア

- GEQの周波数特性グラフを表示します。
- この部分をタップすると、選択したモジュールのMODULE (GEQ) 画面に切り換わります。(→199ページ「MODULE (GEQ) 画面」)

④ COMP / DUCKERエリア

- ダイナミクスエフェクトの特性グラフとゲインリダクション メーターを表示します。
- この部分をタップすると、選択したモジュールの MODULE (COMP / DUCKER) 画面に切り換わります。(→ 200 ページ 「MODULE (COMP / DUCKER) 画面」)

⑤ INSERT マーク表示

MIX1-22 モジュールおよびMAIN L/Rマスターモジュールの INSERTボタンがオンのとき、 I マークを表示します。

⑥ レベルメーター

設定されている Metering Pointの信号レベルを表示します。 (→46ページ「METERING POINTタブ画面」、→182ペー ジ「MIX1-22 モジュール/ MAIN L/Rマスターモジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面」)

メモ

- 選択したモジュールがステレオモジュールのとき、レベル メーターはステレオ表示になります。
- 各レベルメーターの最上部は、オーバーロードインジケー ターです。信号レベルが-0.00026dBFS(16bitフルスケー ル値)以上のときに赤くハイライト表示します。
- レベルのオーバーロードが発生すると、バーメーター全体が 赤くなります。
- レベルメーター下端の-60dBFS以下のエリアは、-70dBFS 以上で点灯します。

⑦ SENDエリア

 MIX1-22 バスおよび FX1-4 バスへの SENDの 設定状態を 4 つ ずつ表示します。また、Audio Follow Video機能のパラメー ターも表示します。





- MIX1-22 モジュールおよびFX RTN1-4 モジュールの MODULE LABEL Mainで設定したMODULE LABELを表示 します。(→132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」) MODULE LABEL Mainの表示モードが「USER」に設定 されている場合に、該当モジュールのUSER MODULE LABELが未定義の場合は、「MIX 1」や「FX 1」のような FIXED MODULE LABELを表示します。
- ⑧ MIX1-22 バスおよび FX1-4 バスへの PRE / POSTの設定 状態を表示します。

表示なし	POST設定	
PRE	PRE設定	

⑥ AUX モードのMIX1-22 バスおよびFX1-4 バスへのアサイン状態およびSENDレベルを表示します。

MIX1-22 バス	オレンジ色にハイライト表示
FX1-4 バス	緑色にハイライト表示

アサイン状態がオフのときには、グレーアウト表示にな ります。

ステレオリンクされた MIX バスや FX バスの 場合は、SEND レベルが 2 本のバーで表示されます。

- ① GROUPモードのMIX1-22 バスは、ON時に紫色でハイラ イト表示する角丸ボタンを表示します。ホーム画面では 表示のみで、ON / OFFの切り換え操作はできません。
- ※ 該当するモジュール自身のバスエリアには、
 ⑧ / ⑥ /
 ⑨ は表示されません。また、MAIN L/RマスターモジュールのFX1-4 エリアには、
 ⑨ / ⑧ / ⑧ は表示されません。



- SENDレベルをタップすると、選択枠を表示します。選択枠 を表示中に、対応するLCDノブを使って、表示中のSENDレ ベルを調節することができます。
- HOMEキーを押しながらSENDレベルをタップすると、タップしたバスのSENDレベルを「0dB」に設定します。(→ 334ページ「第16章 ショートカット操作の一覧表」)

⑧ ; ボタン

このボタンをタップすると、SENDエリアに表示するパラメー ターの選択ウィンドウを表示します。



パラメーター選択ボタン

- パラメーター選択ボタンをタップすると、選択されたパラ メーター群をSENDエリアに表示します。
- 選択ウィンドウ左上の 図 ボタンをタップすると、ウィンド ウを閉じます。
- ズタンがオフ(図)のとき、パラメーター選択ボタンをタッ プすると自動的にこのウィンドウを閉じます。
- ボタンがオン(▼)のとき、パラメーター選択ボタンをタッ プしてもこのウィンドウを閉じずに表示を維持します。
- AFVボタンをタップすると、SENDエリアにAudio Follow Video機能の代表的な4つのパラメーターを表示します。



 ⑧ 選択モジュールの Audio Follow Video機能の ON / OFF ボタン

- このボタンをタップすると、選択したモジュールの Audio Follow Video機能のON / OFFが切り換わりま す。ONのとき、ボタンがハイライト表示になります。
- AFV TRIGGER SOURCE SELECT画面で選択したAFV TRIGGER SOURCE名を表示します。
- (B) WAIT

AFV ON イベントを受けてから、フェードを開始するまでの時間を調節します。

^(C) RISE

AFV ON イベントを受けたときの、フェード 開始から ON LEVELに到達するまでのフェード 時間を 調節します。

1 FALL

AFV OFFイベントを受けたときの、フェード開始から OFF LEVELに到達するまでのフェード時間を調節します。

- ⑧ ~ ⑩をタップすると、選択枠を表示します。選択枠 を表示中に、対応するLCDノブを使って、表示中のパラ メーターを調節することができます。
- 選択枠を表示中にこの部分をタップすると、選択したモジュールのMODULE (Audio Follow Video) 画面に切り換わります。(→210ページ「MODULE (Audio Follow

Video) 画面」)

AUTO MIXERボタンをタップすると、CH1-16 モジュールのSENDエリアにAUTO MIXER機能のパラメーターやメーターを表示します。このとき、CH1-16 モジュール以外のモジュールのSENDエリアは空欄になります。

⑨ SEND/PANボタン

このボタンをタップすると、MODULE (SEND/PAN) 画面に切り 換わります。(→ 203 ページ「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

1 BUS ASGN ボタン()

 このボタンをタップすると、通常表示からBUS ASSIGN表示 に切り換わります。

ANALOG 1 Dante 1	ANALOG 2 Dante 2	ANALOG 3 Dante 3	ANALOG 4 Dante 4	ANALOG 5 Dante 5	ANALOG 6 Dante 6	ANALOG 7 Dante 7	ANALOG 8 Dante 8
MIX 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 13 14 4 9 20	1 34 5678 9101112 1314 (5)6	12 4 5678 9101112 1314(5)6	123 5678 9101112 1314(5)6	1234 678 9101112 1314 (5)(6	1234 578 9101112 1314 (5)(6	1234 568 910112 1314 (516	1234 567 9101112 12141516
21 1 22	21 1 22	21 1 22	21 1 22	21 1 22	21 1 22	21 1 22	21][22
x 1 2 3 4	1234	1234	1234	1234	1234	1234	1234
	LR C T MAIN	LR C T MAIN	LR C V MAIN	LR C T MAIN	LR C T MAIN	LR C T MAIN	LR BUS ASGN
MIX 1	MIX2 MIX 2	MIX 3 MIX 3	MEX4 MIX 4	MIX 5 MIX 5	MIX6 MIX 6	MIX7 MIX7	MIX 8

 MIX1-22 バス / FX1-4 バス / MAIN L/RバスへのSEND の設定状態を下記のように表示します。(→ 203 ページ 「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

アイコン	SEND ON/OFF	PRE/POST
1	ON	POST
1	ON	PRE
1	OFF	POST
1	OFF	PRE

MIX1-22 モジュールのBUSモードの設定状態を下記のように表示します。(→53 ページ「BUS CONFIGタブ画面」)

アイコン	内容
1	BUSモードが「AUX」のMIX1-22 モ ジュール
1	BUSモードが「GROUP」のMIX1-22モ ジュール
1 2	MIX1-22 モジュールの Stereo Link設定 のオン

 BUS ASSIGN表示を表示中に I ボタンをタップすると、通常 表示に戻ります。

① PANエリア(MIX1-22 モジュールのみ)

- MAIN L/Rバスに送り出す信号のパン/バランスの設定状態 とMAIN L/Rバスへのアサイン状態を表示します。
- この部分をタップすると、選択枠を表示します。選択枠を 表示中は、対応するLCDノブを使って、送り出す信号の定 位/バランスを調節することができます。
- HOMEキーを押しながらこの部分をタップすると、タップしたパン/バランスの設定を中央(C)に設定します。(→ 334ページ「第16章 ショートカット操作の一覧表」)
- ・選択枠を表示中にこの部分をタップすると、MODULE (SEND/ PAN) 画面に切り換わります。(→203ページ「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

12 MODULE LABELエリア

- 上段左側には、DISPLAY MODE タブ画面の MODULE LABEL Subで設定した表示モードの MODULE LABELを表示します。

 が期設定では、FIXED MODULE LABELが表示されます。(→ 132ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
- 上段右側の上部にMute Groupへのアサイン状態、下部に DCAへのアサイン状態を表示します。アサインされている Mute Group番号は赤い数字、アサインされているDCA番号 は黄色い数字で表示します。



Mute Groupへのアサイン状態の変更は、227 ページ「Mute Group Assign タブ画面」または170 ページ「MODULE (OVERVIEW)画面」で行います。 DCAへのアサイン状態の変更は、226 ページ「DCA Assign タブ画面」または170 ページ「MODULE (OVERVIEW)画面」 で行います。

- 下段には、DISPLAY MODE タブ画面の MODULE LABEL Main で設定した表示モードの MODULE LABELを表示します。初 期設定では、USER MODULE LABELが表示されます。(→ 132ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
- MODULE LABELエリアの背景色は、アサインされている モジュールの設定色になります。モジュール設定色の変更 は、231ページ「モジュール設定色の変更方法」で行います。
- このエリアをタップすると、MODULE (OVERVIEW) 画面に切り換わります。(→ 182 ページ「MIX1-22 モジュール/ MAIN L/Rマスターモジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面」)

メモ

MODULE LABEL Mainおよび MODULE LABEL Subの表示モードは、以下の3種類です。

表示モード	内容
USER MODULE LABEL	ユーザーが 設定したモジュール 名
FIXED MODULE LABEL	「CH1」や「MIX1」のようなモ ジュールごとに決められたモ ジュール名
PORT LABEL	入出力端子名

 USER MODULE LABELの登録は、MODULE LABEL画面で行います。(→ 230 ページ「USER MODULE LABELの登録/編 集方法」)

DCAモジュールのホーム画面



[ホーム画面・DCAモジュール]



[ホーム画面・DCAモジュール詳細]

① DCAアサイン表示エリア

- ・ 対象のDCAにアサインされているモジュールのFIXED MODULE LABELと USER MODULE LABELを表示します。
- この部分をタップするとDCA/Mute Group SETUP画面の DCA Assign タブ画面に切り換わります。(→ 226 ページ「DCA Assign タブ画面」)

② MODULE LABELエリア

- ・上段左側には、DISPLAY MODEタブ画面のMODULE LABEL Subで設定した表示モードのMODULE LABELを表示します。 初期設定では、FIXED MODULE LABELが表示されます。(→ 132 ページ「DISPLAY MODEタブ画面」)
- 上段右側の上部にMute Groupへのアサイン状態、下部に DCAへのアサイン状態を表示します。アサインされている Mute Group番号は赤い数字、アサインされているDCA番号 は黄色い数字で表示します。



Mute Groupへのアサイン状態の変更は、227 ページ「Mute Group Assign タブ画面」で行います。

DCAへのアサイン状態の変更は、226 ページ「DCA Assignタ ブ画面」で行います。

- 下段には、DISPLAY MODE タブ 画面の MODULE LABEL Main で設定した表示モードの MODULE LABELを表示します。初 期設定では、USER MODULE LABELが表示されます。(→ 132ページ「DISPLAY MODE タブ 画面」)
- MODULE LABELエリアの背景色は、アサインされている モジュールの設定色になります。モジュール設定色の変更 は、231ページ「モジュール設定色の変更方法」で行います。
- ・ このエリアをタップすると、USER MODULE LABELおよびモジュール設定色を変更する MODULE LABEL画面に切り換わります。(→ 229 ページ「MODULE LABEL画面」)

メモ

MODULE LABEL Mainおよび MODULE LABEL Subの表示モードは、以下の3種類です。

表示モード	内容
USER MODULE LABEL	ユーザーが設定したモジュール 名
FIXED MODULE LABEL	「CH1」や「MIX1」のようなモ ジュールごとに決められたモ ジュール名
PORT LABEL	入出力端子名

 USER MODULE LABELの登録は、MODULE LABEL画面で行います。(→ 230 ページ「USER MODULE LABELの登録/編 集方法」)

③ DCA Spillボタン

対象のDCAにモジュールがアサインされているとき、このボタ ンが表示されます。 このボタンをタップすると、DCAスピルモード表示に変わりま

す。(→225 ページ「DCAスピルモード」)

メニュー画面

各種設定画面の呼び出しやSnapshot機能の操作を行う画面です。 MENUキーを押すと、右端のタッチスクリーンに表示されます。



① Snapshot機能項目表示エリア

Snapshot機能に関連するアイテムを表示しています。 Snapshot機能の操作については、240 ページ「Snapshot機能」 をご参照ください。

② メニュー項目表示エリア

メニュー項目を表示します。

メニュー項目をタップすると、サブメニュー項目を表示します。

③ サブメニュー項目表示エリア

サブメニュー項目を表示します。サブメニュー項目が9項目以 上ある場合は、サブメニュー項目表示エリアを上下にスワイプ してスクロールさせます。

サブメニュー項目をタップすると、各設定画面を表示します。

④ 🗙 ボタン

このボタンをタップすると、メニュー画面を閉じます。

メモ

メニュー画面の「System Setup」メニュー項目と「Version Information」サブメニュー項目に 🗊 マークが表示されること があります。

この場合、各デバイスやアプリケーション、または本機のアッ プデートが必要な場合があります。

Version Information画面をご確認ください。(→ 277 ページ 「Version Information画面」)

メニュー画面の操作

TALKBACK設定画面への切り換えを例に説明します。

1. MENUボタンを押して、メニュー画面に切り換えます。

001 Snapshot		- + STORE RECALL \$	×
••• Mixer Setup		Meter	
Front Panel Setup	Þ	Routing	
Rear Panel Setup	Þ	MIX Send Overview	
🔅 System Setup	Þ	Automatic Mixer	
●/► Recorder / Player	Þ	DCA / Mute Group	
🛓 Save Current Settings	Þ	Talkback / Monitor / Solo / OSC	
		Config Mixer / Location / Bus	
		Label Setup	

メモ

起動後はじめてメニュー画面を表示したときは、サブメニュー 項目が表示されません。

00)1 Snapshot		-	+	STORE	RECALL	4	×	×
łłt	Mixer Setup	Þ							
	Front Panel Setup	Þ							
	Rear Panel Setup	Þ							
*	System Setup	Þ							
●/►	Recorder / Player	Þ							
	Save Current Settings	Þ							

 メニュー項目表示エリアの「Front Panel Setup」をタップして、 サブメニュー項目を表示します。

001 Snapshot		- + STORE RECALL * >	<
🚻 Mixer Setup	Þ	User Key Setup	
Front Panel Setup		 User Key Extension 	
📖 Rear Panel Setup	Þ	Layer / Master Fader Setup	
📌 System Setup	Þ	Talkback Setup	
●/► Recorder / Player	Þ	Brightness	
🛓 Save Current Settings	Þ		

3. 「Talkback Setup」をタップして、TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面のTALKBACK タブ画面に切り換えます。

5 TALK	TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP								
TAL	КВАСК	RETURN	TALKBACK	MONI	TOR 1 / 2	SOLO / OS	SCILLATOR		
INPUT SEL			TARGET						
TBIN C	MIX 1 MIX 1	MIX 2 MIX 2	MIX 3 MIX 3	MIX 4 MIX 4		◄ ASSIGN	◄ ASSIGN		
LOCATION CR	MIX 5 MIX 5	MIX 6 MIX 6	MIX 7 MIX 7	MIX 8 MIX 8	MON 1	SELECTED	TALKBACK KEY		
	MIX 9 MIX 9	MIX 10 MIX 10	MIX 11-12 MIX 11-12		MON 2	OFF	OFF		
(HOLD) +48V	MIX 13-14 MIX 13-14		MIX 15-16 MIX 15-16		EXT 1		EXT. OUT		
OFF	MIX 17-18 MIX 17-18		MIX 19-20 MIX 19-20		EXT 2	— <u> </u>			
	MIX 21-22 MIX 21-22			MAIN L/R MAIN L/R			<i>•</i>		
	D.TRIM	3. 29. 69.	CO TARGET -20 dB	DIM MON 1 -20 dB	MON 2 -20 dB	EXT 1 VOL.	EXT 2 VOL.		

メニューの構成

各メニュー項目の内訳は、以下の通りです。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能	参照ページ
	Meter	各種メーターの表示、メーター表示パラメーターの設定	→44 ページ
	Routing	入出力端子またはモジュールのルーティング設定	→159ページ
	MIX Send Overview	MIX1-22 バス/ FX1-4 バス/ MAIN L/R バスへの SEND設定の 一覧表示/操作	→215ページ
	Automatic Mixer	AUTO MIXERの 設定	→233ページ
	DCA / Mute Group	以下の設定 • DCAへのアサイン • Mute Groupへのアサイン • Mute Group Masterのオン/オフ	→226 ページ
			→84ページ
	Tallihaali / Manitar / Cala / OCC	TALKBACK / RETURN TALKBACK / MONITOR出力/ SOLO	→ 87 ページ
Mixer Setup	Talkback / Monitor / Solo / USC	/内蔵オシレーターの設定	→90ページ
			→96ページ
	Config Mixer / Location / Bus	以下の設定 • CH1-40 の Stereo Link設定 • DIRECT OUT POINT設定 • DELAY POINT設定 • INSERT POINTの一括設定 • Location設定 • BUS MODE設定 • MIX 1-22 の Stereo Link設定 • PAN LINK設定	→ 50 ページ
	Label Setup	モジュールや入出力ポートのラベル設定	→132ページ
	User Key Setup	18 個の USER KEYSへの機能のアサイン	→74 ページ
	User Key Extension	拡張 USER KEYの 機能のアサイン	→77 ページ
Front Panel Setup	Layer / Master Fader Setup	以下の設定 • 7 つの LAYER KEYSへのチャンネルセットやカスタムレイヤー のアサイン • カスタムレイヤーへのモジュール群のアサイン • Master フェーダーへのモジュールのアサイン	→80ページ
	Talkback Setup	TALKBACKの設定	→84 ページ
	Brightness	各種表示器の輝度の設定	→ 39 ページ
	Dante Setup	内蔵 Dante モジュールおよび 内蔵 Dante経由で 接続された SB- 16Dの 設定と 状態表示	→98ページ
Rear Panel Setup	ST 2110 Setup	リアパネルのSLOT 1 またはSLOT 2 に装着されたIF-ST2110 (ST-2110 カード)の設定と状態表示 メモ 以下の場合は、サブメニュー項目がグレーアウト表示され、タッ プしても ST 2110 Setup画面に切り換わりません。 • IF-ST2110 が未装着 • IF-ST2110 が初期化中	→ 324 ページ
	Slot Setup	SLOT 1 および SLOT 2 に 装着した 拡張カードの 各種機能の 設 定	→129ページ
	WORD OUT Mode Setup	WORD OUT端子の出力モードの設定	→36ページ
	Network Setup	ネットワークの設定	→136ページ
	FOOT SW Setup	フットスイッチへの機能のアサイン	→74 ページ
	GPIO Input Setup	GPIO入力端子への機能のアサイン	→75ページ
	GPIO Output Setup	GPIO出力端子への機能のアサイン	→75ページ

メニュー項目	サブメニュー項目	機能	参照ページ
	Information	本機の状態とエラー情報の表示	→266ページ
System Setup	Sync Clock	以下の設定 ・サンプリング 周波数 ・マスタークロック ・ワードクロック 出力端子の 出力モード	→36ページ
	Preferences	以下の設定 ・USB キーボードタイプ設定 ・Snapshotの STORE / RECALL確認 ・リファレンスレベル ・冷却ファンの動作モード/速度 ・各種表示器の輝度 ・チャンネル画面のコントラスト	→ 39 ページ
	Media Manage	メディア情報の表示とフォーマットの実行	→276 ページ
	All System Data	ミキサー全体のデータの SAVE / LOADやバックアップ/リス トア	→260 ページ
	Clock Adjust	内蔵時計の日時の設定	→ 34 ページ
	Version Information	システムのバージョン情報の表示	→277 ページ
	Firmware Update	ファームウェアのアップデート	→278ページ
Recorder / Player	Recorder / Player	内蔵レコーダー/プレイヤーの操作	→280ページ
	Multi Track Recorder	 リアパネルの SLOT 1 または SLOT 2 に装着された IF-MTR32 (マ ルチトラックレコーディングカード)の操作 メモ 以下の場合はサブメニュー項目がグレーアウト表示され、タッ プしても MULTI TRACK RECORDER画面に切り換わりません。 • IF-MTR32 が未装着 • IF-MTR32 が初期化中 	→ 296 ページ
Save Current Settings		現在のミキサー設定の内蔵メモリーへの保存 (電源を切る前に実施することをお勧めします)	→138ページ

別売の拡張カードを取り付ける

注意

別売の拡張カードを取り付けるまたは取り外す際は、あらかじめ 電源コードをコンセント、または本体から抜いた状態で作業を行っ てください。



- ブランクパネルを止めている2本のネジを外し、パネルを外します(別のカードが取り付けられている場合は、そのカードを外します)。
- 拡張カードをカードスロットに挿入します。拡張カードの端 をカードスロット内側の白いガイドに合わせて確実に差し込 んでください。カチッと音がして拡張カードのバックプレー トが本機リアパネルと隙間がなくなるまで拡張カードを押し てください。無理に押し込まないでください。うまく差し込 めない場合は、いったん抜き出してからやり直してください。
- 3. 外した2本のネジで、拡張カードを固定します。
- 4. 本機の電源を入れて、メニュー画面 > Rear Panel Setupメ ニュー >「SLOT SETUP」画面で挿入した拡張カードを認識し ていることを確認します。(→ 129ページ「SLOT SETUP画面」) 「SLOT 1 (None)」のように表示されている場合は、拡張カー ドが正しく挿入されていないか、ネジがしっかり締められて いない可能性があります。再度拡張カードを本機に確実に挿 入してください。

電源をオンにする/オフにする

⚠ 注意

- 本機の電源のオン/オフは、本機に接続しているモニターシス テムのボリュームを絞った状態で行ってください。
- 電源のオン/オフ時にヘッドホンを装着しないでください。ノ イズによっては、スピーカーや聴覚を損傷する恐れがあります。

電源を入れる前に

- 本機の出力系のフェーダーやモニターアウトとヘッドホンの ボリュームを最小にします。
- **2.** 本機に接続している音源の出力レベル、アンプの入力レベル を最小にします。

電源をオンにする

- 本機リアパネルのPOWERスイッチを使って本機の電源をオンにします。
 本機が起動し、起動画面が表示されたあとホーム画面になります。
- 2. 接続した入力音源機器の電源をオンにします。
- **3.** 最後にアンプの電源をオンにします。

注意

電源をオンにした後、装着したIF-ST2110(ST 2110 カード)で音 声入出力ができるようになるまで 2 分 30 秒程度かかります。この 時間は、IF-ST2110 のネットワーク環境によって異なります。

電源をオフにする

電源をオフするときは、本機の出力系のフェーダーやモニターアウ トとヘッドホンのボリュームを最少にしたあとに、上記と反対の 順序でオフにします。

正しい順序で行わないと、クリックノイズなどで機器を破損する 恐れがあります。

⚠注意

本機が動作中(録音中、再生中、SDカードやUSBメモリーにデー タを書き込み中、内蔵メモリーに設定を保存中など)は、電源を 切る、または電源コードを抜かないでください。録音が正しく行 われなかったり、録音したデータが破損したり、モニター機器から 突然大きな音が出て、機器の破損や聴覚障害の原因になるなどの 可能性があります。

メモ

電源を切る前にメニュー画面のSave Current Settingsを実施する ことをお勧めします。(→138 ページ「カレント設定の保存」)

内蔵時計の日時を設定する

本機は、本体内の時計を基に、ファイル作成日時を記録します。 また、各種LIBRARYの設定データやAll System Dataなどを保存す る際のファイル名や、録音ファイル名にも、内蔵時計の日時情報 を使用します。

そのため、正しい日時を設定しておくことをお勧めします。

 メニュー画面 > System Setup メニュー >「Clock Adjust」を タップして CLOCK ADJUST画面を表示します。

CLOCK ADJUST	×
20 22 / 04 / 21	10:46
EDIT	I

2. EDITボタンをタップすると、この画面の設定モードに切り換わります。

SCLOCK ADJU	JST					×
	21	03	20	09	45	
20	22 /	04 /	21	10:	46	
	23	05	22	11	47	
		CANC	EL APPLY			

- 3. 上下にスワイプして、値を変更します。
- 4. APPLYボタンをタップすると、内蔵時計の日時の設定が終了 します。

メモ

設定中にCANCELボタンをタップすると、設定モードを解除し ます。

SDカード/USBメモリーを装着する/取 り外す

電源がオン/オフどちらのときもSDカード/ USBメモリーの装着 /取り外しができます。(→6ページ「SDカード/ USBメモリー について」)

注意

下記のようなSDカード/ USBメモリーアクセス中は、絶対にSD カード/ USBメモリーを取り外さないでください。

録音が正しく行われなかったり、データが破損したり、モニター 機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因にな るなどの可能性があります。また、ファームウェアをアップデート 中に取り外した場合、本機が正常に起動/動作できなくなる可能 性があります。

- •録音中(SDカードのみ)
- 再生中
- SnapshotのIMPORT / EXPORTを実行中
- All System Dataの BACKUP / RESTOREを実行中
- ファームウェアアップデートを実行中(→278ページ「ファームウェアアップデート手順」)
- BROWSE画面でSDカード/USBメモリーにアクセス中

メモ

- SDカードは、トップパネルのSDカードスロットにSDカードの ラベル面を右にして装着します。
- SDカードを取り出す際は、SDカードを軽く押し込むと上に 出てきますので、SDカードを引き出して取り出します。

SDカードのライトプロテクトスイッチについて

SDカードには、ライトプロテクト(書き込み防止)スイッチが付 いています。



ライトプロテクトスイッチを「LOCK」の方向へスライドすると書 き込みができなくなります。録音や削除などを行う場合は、ライ トプロテクトを解除してください。

また本機は、録音/再生フォルダーの設定情報をメディアに書き 込みます。ライトプロテクトをされたSDカードには設定情報の書 き込みなどができないため、再起動時に録音/再生フォルダーの 設定を保持していないなどの影響が出ます。

SDカード/ USBメモリーを使えるように する

本機でSDカード/ USBメモリーを使用する際は、必ず本機にて フォーマットを行ってください。(→ 276 ページ「Media Manage 画面」)

他の機器、パソコンなどでフォーマットしたSDカード/ USBメモリーを使用した場合は、動作に影響が出る場合があります。

注意

- フォーマットを行うと、SDカード/USBメモリー上のデータ はすべて消去されます。
- 本機でフォーマットされたSDカードは、録音時の性能向上のために最適化されています。そのため、本機で使用するSDカードは本機でフォーマットを行ってください。他の機器、パソコンなどでフォーマットされたSDカードは、本機での録音時にエラーになる可能性があります。

本機で使用する SD カード/ USB メモリー

本機にて動作が確認されたSDカード/USBメモリーのリストが、 TASCAMのウェブサイトに掲載されています。

Sonicview 16

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_16/support Sonicview 24

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_24/support

このリストに掲載されている SD カード/ USB メモリーをご使用ください。

SYNC CLOCK画面

この画面では、各オーディオクロックの状態表示、オーディオ同 期設定およびワードクロック出力端子の出力モードの設定を行い ます。

この画面は、メニュー画面 > System Setupメニュー > 「Sync Clock」をタップして表示します。

	SYNC CL	оск						×
ก		SYNC CLO	ск	Locked(96kHz)				
רע	Í	WORD IN		(No Signal)				
		Dante 🖒		Locked(96kHz)				
		SLOT1 (No	Card)	(No Signal)				
	STATUS							
		SLOT2 (No	Card)	(No Signal)				
2-1	syn	c Clock	48 kHz	96 kHz				
3-1	Clock	Master	INT	WORD	Dante	SLOT1 (No Card)	SLOT2 (No Card))
4)-	WORD OU	T Mode	WORD OU /TERM-ON	THRU OUT /TERM-OFF				

	SYNC CL	оск.				×
		SYNC CLOCK	Locked(96kHz)			
		WORD IN	(No Signal)			
		Dante 🗗	Locked(96kHz)			
		SLOT1 (No Card)	(No Signal)			
	STATUS					
		SLOT2 (No Card)	(No Signal)			
5	Clock Sync	hronous Type:	Dante	Tight	Loose	
			SLOT1 (No Card)			
			SLOT2 (No Card)	Tight	Loose	

① STATUS表示部

各オーディオクロックの状態を表示します。

表示	内容
SYNC CLOCK	マスタークロックと本機との同期状態 (Locked / Unlocked / Regained)、動作 周波数 (96kHz / 48kHz / No Signal)を 表示します。
WORD IN	WORD IN端子に入力されるWORD信号と 本機との同期状態(Locked / Unlocked / Regained)、動作周波数(実測値/ No Signal)を表示します。
Dante	接続されている Dante システムと本機 との同期状態(Locked / Unlocked / Regained)、動作周波数(実測値/ No Signal)を表示します。 P アイコンを タップすると、Dante Setup画面 Dante Settings タブ画面に切り換わります。
SLOT1	SLOT 1 / SLOT 2 に装着した拡張カー
SLOT2	ドの名称、本機との同期状態 (Locked / Unlocked / Regained)、動作周波数(実 測値/ No Signal)を表示します。

メモ

IF-MTR32(マルチトラックレコーディングカード)が装着され た SLOT1 または SLOT2 には、動作周波数は表示しません。

② Sync Clock ボタン

デジタル入出力信号の同期クロック周波数を設定します。 選択したボタンが水色のハイライト表示になります。 選択肢:48kHz、96kHz(初期値)

メモ

- 本機では、同期しているマスタークロックが 48kHzの場合で も、内部は常に 96kHzで動作します。
- 内蔵Danteの「Sampling rate」と本機の「Sync Clock」は、 設定が違っても同期できます。
- IF-DA64 (Danteカード)の「Sampling rate」が 44.1k/88.2kHz の場合は同期できません。
- IF-DA64 (Danteカード)の「Sampling rate」が48k/96kHz の場合は、本機の「Sync Clock」と違っていても同期で きます(IF-DA64 (Danteカード)の「Sampling rate」は Dante controllerで設定してください)。
- Clock Masterが Danteで Sampling rate設定と Danteのサン プリングレートが違う場合、SYNC CLOCKの動作周波数には 以下の数値が表示されます。
 - 内蔵 Danteの「Sampling rate」が「96kHz」、Sync Clock が 48kHzの場合は、内蔵 Danteの測定値を 1/2 した値
 - 内蔵 Danteの「Sampling rate」が「48kHz」、Sync Clock が 96kHzの場合は、内蔵 Danteの測定値を 2 倍した値

③ Clock Master ボタン

本機のオーディオ同期用のマスタークロックを設定します。(初 期値:INT)

- 動作中のマスタークロックには、
 ✓ マークを表示します。
- 選択したマスタークロックがLock状態の場合、選択ボタン は水色のハイライト表示になります。
- 内蔵Danteの「Sampling rate」が「96kHz」のときに、 Sync Clockが「48kHz」の場合は、Danteボタンの右上に「1/2」 マークが表示されます。
- 内蔵Danteの「Sampling rate」が「48kHz」のときに、 Sync Clockが「96kHz」の場合は、Danteボタンの右上に「x2」 マークが表示されます。
- SLOT 1 / SLOT 2 に装着したIF-DA64(Danteカード)の 「Sampling rate」が「96kHz」のときに、Sync Clockが「48kHz」の場合は、該当SLOTボタンの右上に「1/2」マークが表示 されます。
- SLOT 1 / SLOT 2 に装着したIF-DA64(Danteカード)の 「Sampling rate」が「48kHz」のときに、Sync Clockが「96kHz」の場合は、該当SLOTボタンの右上に「x2」マークが表示されます。
- ・選択した外部クロックがUnlock状態の場合は、内部クロッ クで動作します。この際、動作クロックであるINTボタンに ・マークを表示し、Unlock状態の選択ボタンには
 ・マーク を表示します。また、Unlock状態の選択ボタンは、赤いハ イライト表示になります。

SYNC CLOCK ×					
	SYNC CLOCK	Unlocked(99.254kHz)			
	WORD IN	Unlocked(99.254kHz)			
	Dante 🗗	Locked(96kHz)			
	SLOT1 (No Card)	(No Signal)			
STATUS					
	SLOT2 (No Card)	(No Signal)			
Syn	c Clock 48 kH	iz <mark>96 kHz</mark>			
Clock	Master INT	WORD Dante SLOT1 SLOT2			
WORD OUT	Mode Word O	THRU OUT ON /TERM-OFF			
同期できなくなった選択外部クロックに再度同期できるようになると(Regain状態)、動作クロックであるINTボタンに
 ✓マークを表示し、Regain状態の選択ボタンには ▲ マークを表示します。 ▲ マークが表示され赤くハイライトしたボタンをタップすると、選択したマスタークロックへの切り換え確認メッセージが表示されます。

SYNC CL	2. WORD clock regaine OCK	ed. Can be re-synced to	WORD.		→ ×
	SYNC CLOCK	Regained(96kHz)			
	WORD IN	ARegained(96kHz)			
	Dante 🗗	Locked(95.998kHz)			
	SLOT1 (No Card)	(No Signal)			
STATUS	SLOT2 (No Card)	(No Signal)			
Syn	c Clock 48 kH	lz 96 kHz			
Clock	Master INT	word		SLOT1 (No Card)	SLOT2 (No Card)
WORD OU	T Mode WORD	OUT THRU OUT ON /TERM-OFF			

OKボタンをタップすると、選択した外部クロックとの同期 動作に切り換えます。

④ WORD OUT Modeボタン

リアパネルのWORD THRU/OUT端子の出力モードを設定します。 選択したボタンが水色のハイライト表示になります。

選択肢	内容
WORD OUT/TERM-ON (初期値)	WORD THRU/OUT端子からの出 力信号をWORD OUT信号に設定、 WORD IN端子の終端抵抗(75 Ω) をオンに設定します。
THRU OUT/TERM-OFF	WORD THRU/OUT端子からの出力 信号をWORD IN端子からのTHRU 出力に設定、WORD IN端子の終端 抵抗 (75 Ω)をオフに設定します。

⑤ Clock Synchronous Type ボタン

- SYNC CLOCK画面下部を上にスワイプ操作することで表示されます。
- 本機とDante信号の同期状態(Lock / Unlock) 判定の設定 です。

ボタン	内容
Tight(初期値)	同期状態の判定を厳密に行います。
Loose	同期状態の判定を緩めに行います。

サンプリング 周波数を 設定する

- メニュー画面 > System Setup メニュー > 「Sync Clock」をタッ プして、SYNC CLOCK画面を表示します。
- 設定したいサンプリング周波数のボタンをタップします。 確認メッセージが表示されます。

SYNC CL	оск		×
	SYNC CLOCK	Locked(96kHz)	
	WORD IN	(No Signal)	
	Dante 🖒	Locked(96kHz)	
	SLOT1 (No Card)	(No Signal)	
STATUS			
	S ? Change t	o 48kHz? OK	
Syno	c Clock 48 kH	Iz <mark>96 kHz</mark>	
Clock I	Master INT	WORD Dante SLOT1 SLOT2 (No Card) (No Card)	, I
WORD OUT	Mode Word O	THRU OUT TERM-OFF	

3. サンプリング周波数を切り換えるには、OKボタンをタップします。

注意

サンプリング周波数を切り換える際、音が数秒間MUTEされま す。そのため、切り換えるタイミングには、ご注意ください。

マスタークロックを設定する

本機のマスタークロックを設定します。

注意

複数のデジタルオーディオ機器を接続する場合、システム内のマ スタークロックが、1 つになるように構成してください。

- メニュー画面 > System Setup メニュー > 「Sync Clock」をタッ プして、SYNC CLOCK画面を表示します。
- マスタークロックに設定したいボタンをタップします。 確認メッセージが表示されます。

SYNC CL	оск	×
	SYNC CLOCK	Locked(96kHz)
	WORD IN	(No Signal)
	Dante 🖒	Locked(96kHz)
	SLOT1 (No Card)	(No Signal)
STATUS		
	SLOT2 (No Card)	(No Signal)
		? Change to WORD?
Syn	c Clock 48	CANCELOK
Clock	Master INT	WORD Dante SLOT1 SLOT2 (No Card) (No Card)
WORD OU	T Mode Word o	OUT THRU OUT -ON /TERM-OFF

ボタン	内容
INT	本機の内部クロックを使用します。
WORD IN	WORD IN端子に入力されるワードクロックに 同期します。
Dante	接続されている Dante システムのクロックに 同期します。
SLOT1	SLOT 1 で受信しているデジタル信号のクロッ クに同期します。
SLOT2	SLOT 2 で受信しているデジタル信号のクロッ クに同期します。

メモ

IF-AE16 が装着された SLOT1 または SLOT2 のボタンをタップした場合、8 組の入力信号のどのペアをマスタークロックに設定するか選択するウィンドウが表示されますので、マスタークロックに設定したい入力信号のボタンをタップします。

SYNC CL	OCK				×
	SYNC CLOCK	Locked(96kHz)			
	WORD IN	Regained(96kHz)			
	Dante 🗗	Locked(96kHz)			
	SLOT1 (IF-AE16)	1-2: (No Signal)	9-1	0: (No Signal	
		3-4: (No Signal)	11-1	2: (No Signal	
STATUS		5-6: (No Signal)	13-14	4: (No Signal	
		7-8: (No Signal)	15-1	5: (No Signal) .
	SLOT2 (No Card)	(No Sig			
		1 - 2	3 - 4	5 - 6	7 - 8
Syn	c Clock 48 kl	9 - 10	11 - 12	13 - 14	15 - 16
Clock	Master IN	WORD		SLOT1 (IF-AE16)	SLOT2 (No Card)
WORD OU	T Mode WORD	OUT THRU OUT			

確認メッセージが表示されます。

SYNC CL	оск			×
	SYNC CLOCK	Locked(96kHz)		
	WORD IN	Regained(96kHz)		
	Dante 🖻	Locked(96kHz)		
	SLOT1 (IF-AE16)	1-2: (No Signal)	9-10: (No Signal)	
		3-4: (No Signal)	11-12: (No Signal)	
STATUS		5-6: (No Signal)	13-14: (No Signal)	
		7-8: (No Signal)	15-16: (No Signal)	
	SLOT2 (No Card)	(No Signal)		
			Change to AES 1-2 ?	
Syn	c Clock 48 kl	Hz 96 kHz	CANCEL	
Clock	Master IN	WORD	Dante SLOT1 SLOT2 (IF-AE16) (No Card	2 1)
WORD OU	T Mode WORD	OUT THRU OUT ON /TERM-OFF		

3. マスタークロックを切り換えるには、OKボタンをタップしま す。

メモ

 SLOT 1 およびSLOT 2にIF-AN16/OUT、IF-MTR32装着時、 または拡張カード未装着時の場合にSLOT1ボタンまたは SLOT2ボタンをタップすると、以下のメッセージが表示され、 マスタークロックに選択できません。

SYNC CL	оск					×
	SYNC CLO	.K Lo	cked(96kHz)			
	WORD IN	Lo	cked(96kHz)			
	Dante 🖒	Lo	cked(96kHz)			
STATUS	SLOT1 (IF-#	N16/OUT) Lo	cked(96kHz)			
	SLOT2 (IF-M	/IA64/EX) (N	o Signal)			
				Can as M	not Select IF-/	AN16/OUT
Syn	c Clock	48 kHz	96 kHz		CLOSE	
Clock I	Master	INT			SLOT1 (IF-AN16/OUT)	SLOT2 (IF-MA64/EX)
			TUDU OUT			

 選択した外部クロックがUnlock状態の場合は、内部クロッ クで動作します。この際、動作クロックであるINTボタンに
 ✓マークを表示し、Unlock状態の選択ボタンには ★マーク を表示します。また、Unlock状態の選択ボタンは、赤いハ イライト表示になります。

SYNC	CLOCK	unlocked. S	witched to Inter	nal.		* ×
	SYNC CLOCK	Unl	ocked(99.254kH	lz)		
	WORD IN	Unl	ocked(99.254kH	(z)		
	Dante 🗗	Loc	ked(96kHz)			
	SLOT1 (No Car	d) (No	Signal)			
STATU	S					
	SLOT2 (No Car	d) (No	Signal)			
s	ync Clock	8 kHz	96 kHz			
Clo	ck Master		WORD		SLOT1 (No Card)	SLOT2 (IF-AE16)
WORD	DUT Mode 🦷	ORD OUT	THRU OUT			

 同期できなくなった選択外部マスタークロックに再度同期で きるようになると、下記のようなエラーメッセージがすべて のタッチスクリーン上部に表示されます。

WORD clock regained. Can be re-synced to WORD.

このメッセージをタップすると、右端のタッチスクリーンが SYNC CLOCK画面に切り換わります。

SYNC CL	2. WORD clock DCK	regained. Can	be re-synced to	NORD.			×
	SYNC CLOCK	Reg	ained(96kHz)				
	WORD IN	ARec	jained(96KHZ)				
	Dante D	LOC	Red(95.996KHZ)				
	SLOTT (No Ca	ird) (No	i Signai)				
STATUS							
	SLOT2 (No Ca	nrd) (No	Signal)				
Syne	Clock	48 kHz	96 kHz				
Clock I	Master		WORD		SLOT1 (No Card)	SLOT2 (No Card)	
WORD OUT	Mode 🎽	/ORD OUT TERM-ON	THRU OUT /TERM-OFF				

▲ マークが表示され赤くハイライトしたボタンをタップすると、選択したマスタークロックへの切り換え確認メッセージが表示されます。

SYNC CL	2. WORD clock regain OCK	ed. Can be re-synced to WORD.
	SYNC CLOCK	Regained(96kHz)
	WORD IN	ARegained(96kHz)
	Dante 🖒	Locked(95.998kHz)
	SLOT1 (No Card)	(No Signal)
STATUS		
	SLOT2 (No Card)	(No Signal)
	🕜 Swi	tch to Regained External Clock?
Syn	c Cloc	CANCEL
Clock	Master IN1	WORD Dante SLOT1 SLOT2
WORD OU	T Mode WORD	OUT THRU OUT ON /TERM-OFF

OKボタンをタップすると、選択した外部クロックとの同期 動作に切り換えます。

注意

マスタークロックを切り換える際、音声入出力にノイズが発生 する可能性があります。

そのため、マスタークロックを切り換えるタイミングにはご注 意ください。

PREFERENCES画面

この画面では、以下の設定/表示を行います。

- 冷却ファンの動作モード/速度設定
- 冷却ファンの動作状態の表示
- 各所の温度数値と状態の表示
- Snapshotの STORE / RECALL確認設定
- デジタルリファレンスレベル 設定
- アナログリファレンスレベル 設定
- ON AIR Tally Inhibit設定
- Mute Group LED Flash設定
- Solo/Mute/Fader Speed設定
- Auto Mixer Priority Inhibit設定
- EQ parameters order設定
- USBキーボードタイプ設定
- 各種表示器の輝度設定
- チャンネル画面のコントラスト設定

この画面は、メニュー画面の下記いずれかをタップして表示します。

- Front Panel Setup メニューの「Brightness」
- System Setup メニューの「Preferences」









1 FAN Status

冷却ファンの動作状況と回転数を表示します。

インジケーター表示	FAN STATUS表示	内容
緑色	ОК	正常
赤色	FAILURE	故障

② FAN Controlボタン

本機内部の冷却ファンの動作モードを設定します。 選択したボタンがハイライト表示になります。

ボタン	内容
Auto(初期値)	自動で冷却ファンの動作を制御します。
Manual	FAN Speed(⑨)が表示され、ユーザー が冷却ファンの動作を設定することがで きます。

③ Temperature Status

SYSTEM (機内温度)、CPUおよびDSPの温度数値と状態を表示 します。

インジケーター表示	内容
緑インジケーターを表示	温度数値が正常範囲内
<u> マ</u> ーク & オレンジ 色 WARNING	温度数値が正常範囲外

④ Snapshot STORE Confirmation スイッチ

SnapshotをSTOREするときの確認メッセージの表示の有無を 設定します。

ONのとき、スライドスイッチがハイライト表示になります。

メモ

メニュー画面上部のSnapshot機能項目表示エリアの ♥ アイコ ンをタップして表示する CONFIRMATION設定ウィンドウから設 定することもできます。(→ 240 ページ「Snapshot機能」)

⑤ Snapshot RECALL Confirmation スイッチ

Snapshotを RECALLするときの確認メッセージの表示の有無を 設定します。

ONのとき、スライドスイッチがハイライト表示になります。

メモ

メニュー画面上部の Snapshot機能項目表示エリアの ✿ アイコ ンをタップして表示する CONFIRMATION設定ウィンドウから設 定することもできます。(→ 240 ページ「Snapshot機能」)

⑥ Digital Reference Levelボタン

Digitalの基準レベルを設定します。 選択したボタンがハイライト表示になります。 選択肢:-9dBFS、-14dBFS、-16dBFS、-18dBFS、 -20dBFS(初期値)

⑦ CH Display Contrast GANG ボタン

チャンネル画面用コントラスト調節ノブのGANG機能のオン/ オフを切り換えます。(初期値:オフ) GANG機能がオンのとき、ボタンがハイライト表示になります。 GANG機能がオンの状態でLCDノブ1~3のいずれかを操作す ると、それぞれのコントラスト設定の差分を保った状態ですべ てのコントラスト設定が連動します。

⑧ CH Display Contrast ノブ

チャンネル画面のコントラストを調節します。 設定範囲:0~60(初期値:40)

● LCDノブを回す(1ステップ刻みに調節)

● LCDノブを押しながら回す(4ステップ刻みに調節)

LCDノブ 1	CH1-8
LCDノブ 2	CH9-16
LCDノブ 3	CH17-24(Sonicview 24 のみ)

メモ

トップパネルのMENUキーを押しながらいずれかのLCDノブ を回すと、回したLCDノブに対応したチャンネル画面のコント ラストを調節することができます。(→ 334 ページ「第 16 章 ショートカット操作の一覧表」)

9 FAN Speed

冷却ファンの動作モードが「Manual」のときの冷却ファンの 回転数を調節します。

選択肢:1.0 ~ 10.0(36 ポイント/初期値:3.5)

LCDノブ4(青色で点灯)を使って調節します。

10 Shortcut Helpボタン

このボタンをタップすると、チャンネル画面のコントラスト調節、および各種表示器の輝度調節のショートカット操作説明ウィ ンドウが表示されます。



操作説明ウィンドウ右上の ▼ や Close Help ボタンをタップする と、ショートカット操作説明ウィンドウを 閉じます。

① Brightness LCDノブ

LCDノブ5(青色で点灯)を回して、タッチスクリーンの輝度 を調節します。

選択肢:0~7(初期值:6)

12 Brightness CH Display ノブ

LCDノブ6(緑色で点灯)を回して、チャンネル画面の輝度を 調節します。

選択肢:0~7(初期値:6)

13 Brightness LED ノブ

LCDノブ7(黄色で点灯)を回して、インジケーターの輝度を 調節します。

選択肢:0~7(初期值:6)

¹⁴ Brightness LAMP ノブ

LCDノブ8(赤色で点灯)を回して、リアパネルのLAMP端子に 接続しているランプの輝度を調節します。

選択肢:0~7(初期値:6)

15 スクロールバー表示

PREFERENCES画面の設定項目全体に対して、画面内に表示されている設定項目の相対位置をスクロールバーで表示します。

メモ

画面に表示されていな設定項目を表示するには、設定項目表示 を上下にスワイプして画面をスクロールします。

16 Brightness GANGボタン

各Brightness ノブの GANG機能のオン/オフを切り換えます。 (初期値:オン) GANG機能がオンのとき、ボタンがハイライト表示になります。 GANG機能がオンの状態で LCD ノブ 5 ~ 8 のいずれかを操作す ると、それぞれの輝度設定の差分を保った状態ですべての輝度 設定が連動します。

^⑦ Analog Reference Levelボタン

Analogの基準レベルを設定します。 選択したボタンがハイライト表示になります。 選択肢:+6dBu、+4dBu(初期値)、0dBu

メモ

Digital Reference Levelボタンの設定状態によっては、Analog Reference Levelボタンの選択ができないことがあります。 選択できないボタンは、グレーアウト表示になります。

		Analog Reference Level		
		+6dBu	+4dBu	0dBu
	– 9dBFS	0	×	×
Digital	– 14dBFS	×	0	×
Reference	- 16dBFS	×	0	×
Level	- 18dBFS	×	0	0
	– 20dBFS	×	0	0

O:選択可

×:選択不可

18 OA Tally Inhibit スイッチ

ON AIR Tally入力中に操作制限をするON AIR Tally Inhibit機能 (→42ページ「ON AIR Tally入力中の操作制限」)のON / OFFを切り換えます。(初期値:OFF)

19 OA Tally Input ポート表示

- ON AIR Tally Input機能がアサインされたGPIO-INポート名 を表示します。
- この部分をタップすると、USER DEFINED CONTROLS画 面のGPIO-INタブ画面に切り換わります。(→75ページ 「GPIO-INタブ画面」)

20 Mute Group LED Flash スイッチ

Mute GroupおよびDCAによりMUTEされたモジュールのMUTE ボタンや、トップパネルのMUTEキーを点滅させるかどうかを 設定します。

ONのとき、スライドスイッチがハイライト表示になります。

選択肢	内容
ON(初期値)	MUTEボタンやトップパネルの MUTEキーを点 滅させる
OFF	MUTEボタンやトップパネルのMUTEキーを点 滅させない+

② ON AIR Tally Inhibit 対象表示

- ON AIR Tally Inhibit対象の選択状態を表示します。
 - ON AIR Tally Inhibit対象として選択されている場合、対 象項目をハイライト表示します。
 - ON AIR Tally Inhibit対象として選択されていない場合、 対象項目をグレーアウト表示します。
- このエリアをタップすると、ON AIR Tally Inhibit対象の選択 状態を設定するウィンドウを表示します。

チェックボックスをタップしてチェックマーク(✔)を付け ると、ON AIR Tally入力中の操作制限(→42ページ「ON AIR Tally入力中の操作制限」)の対象として選択されます。



2 Mute Group Priorityボタン

モジュール 自身の MUTEを ONにした状態で、アサイン先の Mute Groupの MUTEを解除した際の、Mute Groupにアサイン されているモジュールの MUTEの振る舞いを切り換えます。

選択肢	内容
CH Mute (初期値)	該当モジュールの MUTEを ONにした 状態を維持
Mute Group	Mute Groupの MUTEを 解除した 動作 に 連動して 該当モジュールの Muteを 解除

② DCA Mute Priorityボタン

モジュール自身のMUTEをONにした状態で、アサイン先の DCAのMUTEを解除した際のDCAにアサインされているモ ジュールのMUTEの振る舞いを切り換えます。

選択肢	内容
CH Mute(初期値)	該当モジュールの MUTEを ONにした状態 を維持
DCA Mute	DCAの MUTEを 解除した 動作に 連動して 該当モジュールの Muteを 解除

🚇 DCA Solo Priorityボタン

SOLO MODEがMIXに設定されている際、モジュール自身の SoloをONにした状態で、アサイン先のDCAのSoloをOFFにし た際の、DCAにアサインされているモジュールのSoloの振る舞 いを切り換えます。

選択肢	内容
CH Solo(初期值)	該当モジュールの Solo ON状態を 維持
DCA Solo	DCAの Solo OFF切り換え動作に連動して 該当モジュールの Soloを OFFに切り換え る

② Solo/Mute/Fader Speedボタン

SOLOのオン/オフ、Muteのオン/オフ、フェーダー操作など の際のフェードイン/アウトの速さを調節します。

選択肢	内容
Default(初期値)	フェードイン/アウトが一番速い設定で す。
Mid	フェードイン/アウトの速さが「Default」 と「Slow」の中間となる設定です。
Slow	フェードイン/アウトが一番遅い設定で す。

26 Auto Mixer Priority Inhibit スイッチ

- AUTO MIXERの下記PRIORITY設定の操作制限をするAuto Mixer Priority Inhibit機能のON / OFFを切り換えます。(初 期値:ON)
 - TOP PRIORITY設定 (→234ページ「③ TOP PRIORITYのON / OFFボタン」)

 - チャンネル PRIORITY設定
 (→ 238 ページ「⑧ チャンネル PRIORITY設定の ON / OFFボタン」)
- このスイッチをONに切り換えると、AUTO MIXERの上記 PRIORITY設定がすべて「OFF」に切り換わり、操作できな くなります。

② EQ parameters orderボタン

MODULE (EQ) 画面の赤枠部分のEQパラメーターの表示モードを3種類のレイアウトから選択できます。 選択したボタンがハイライト表示になります。

Type A(初期値)



Туре В

5 мор	ULE (EQ)		FULL SCREEN	(СН 1	СН	1	> ≡
OVERVIEW				EQ	DUCKER		PAN 🛹
LIBRARY	EQ OFF						FLAT
PRE EQ	HM HI on on						POST EQ
9	LO LM on on						e — — 9
— — 20 — — 40 — — 60	HPF HPF 79 Hz				0	FF	20 40 60
4.00 kHz	G 0.0	1.04		F 8.00 kHz	G C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	1.04	
F 1 149 Hz	G 0.0 dB	1.04		297 Hz		1.04	

Type C



²⁸ USB KEYBOARD TYPE ボタン

トップパネルのUSB端子に接続したUSBキーボードのタイプを 設定します。

選択したボタンがハイライト表示になります。

ボタン	内容
US	英語対応キーボード
JPN(初期値)	日本語対応キーボード

ON AIR Tally入力中の操作制限

- ON AIR Tally Inhibit対象が「Oscillator」の場合
 - OA Tally Inhibit スイッチが「ON」
 - ON AIR Tally Inhibit対象「Oscillator」のチェックボックス がチェックされている

上記すべての条件がそろっているときにON AIR Tallyが入力さ れると、内蔵オシレーター(→ 96 ページ「⑦ OSCILLATOR ボタン」)が自動的にオフになります。また、ON AIR Tally入力 中は、内蔵オシレーターをオンにすることはできません。

- ON AIR Tally Inhibit対象が「Talkback to MAIN L/R」の場合
 - OA Tally Inhibit スイッチが「ON」
 - ON AIR Tally Inhibit対象の「Talkback to MAIN L/R」のチェックボックスがチェックされている

上記すべての条件がそろっているときにON AIR Tallyが入力さ れると、MAIN L/RへのTALKBACK出力(→85ページ「⑩ TARGETボタン」)のMAIN L/Rボタンが自動的にオフになりま す。また、ON AIR Tally入力中はMAIN L/RへのTALKBACK出力 をオンにすることはできません。

- ON AIR Tally Inhibit対象が「Output port assign from MIX 1-22, MAIN L/R」の場合
 - OA Tally Inhibit スイッチが「ON」
 - ON AIR Tally Inhibit対象の「Output port assign from MIX 1-22, MAIN L/R」のチェックボックスがチェックされている

上記すべての条件がそろっている状態でON AIR Tally入力中は、 MIX 1-22 および MAIN L/Rの出力ポートのアサインは変更でき ません。

メモ

- 下記2つの条件がそろっているときは、All System Dataは Loadできません。
 - ON AIR TallyがGPIO-INに入力されている
 - OA Tally Inhibit スイッチが「ON」
- ON AIR TallyがGPIO-INに入力されているときにSnapshot Recallを実施した場合、ON AIR Tally Inhibit対象の設定は次 のようになります。
 - 1) Oscillator
 - ON AIR TallyがGPIO-INに入力されている
 - OA Tally Inhibit スイッチが「ON」
 - ON AIR Tally Inhibit対象の「Oscillator」のチェックボックスがチェックされている

上記すべての条件がそろっているときにSnapshot Recall を実施した場合は、内蔵オシレーターの信号のオン/オ フ状態をRecallしません。

上記いずれかの条件を満たしていないときにSnapshot Recallを実施した場合は、内蔵オシレーターの信号のオ ン/オフ状態をRecallします。 2) Talkback to MAIN L/R

この設定はSnapshot対象外です。 そのため、以下のようになります。

- ON AIR TallyがGPIO-INに入力されている
- OA Tally Inhibit スイッチが「ON」
- ON AIR Tally Inhibit対象の「Talkback to MAIN L/R」 のチェックボックスがチェックされている

上記すべての条件がそろっているときに Snapshot Recall を実施した場合は、Talkback to MAIN L/Rの設定が「OFF」 になります。

上記いずれかの条件を満たしていないときにSnapshot Recallを実施した場合は、Talkback to MAIN L/Rの設定 は維持されます。

- 3) Output port assign from MIX1-22, MAIN L/R
 - ON AIR Tallyが GPIO-INに入力されている
 - OA Tally Inhibit スイッチが「ON」
 - ON AIR Tally Inhibit対象の「Output port assign from MIX 1-22, MAIN L/R」のチェックボックスがチェック されている

上記すべての条件がそろっているときに Snapshot Recall を実施した場合は、MIX 1-22 と MAIN L/R モジュールから 出力ポートへの Routing設定を Recallせずに維持します。

METER画面

この画面では、各種メーター表示とメーター表示設定を行います。 この画面は、メニュー画面 > Mixer Setup メニュー > 「Meter」をタッ プして表示します。



メモ

こ の画 面 は、User Defined Control機 能 に よ り USER KEYや FOOTSWITCH、GPIO-INで表示することもできます。(→ 54 ペー ジ「USER DEFINED CONTROLS画面」)

1 5 ボタン

このボタンをタップすると、メニュー画面に戻ります。

メモ

この画面の M ボタン(⑥)がハイライト表示(M)のときは、 このボタンをタップしてもメニュー画面に戻りません。

② OVERインジケーター

- いずれかのモジュールのMetering Pointの信号レベルにオーバーロードが発生すると赤くハイライト表示します。ハイライト表示時間は、この画面のPEAK HOLD時間表示部(④)の設定にしたがいます。
- この部分をタップすると、このインジケーターおよび各レベルメーターのオーバーロードインジケーターのハイライト表示をクリアします。

メモ

- 0.00026dBFS(16bit フルスケール値)以上で赤くハイライト 表示します。

③ PEAK CLEARボタン

このボタンをタップすると、以下のレベルメーターのピークホー ルド表示をクリアします。

- オーバーロード未満でピークホールドしているピークインジ ケーター
- 各レベルメーターのオーバーロードインジケーター

メモ

この画面のOVERインジケーター(②)のハイライト表示は、 クリアしません。

④ PEAK HOLD時間表示部

- レベルメーターのピークホールド時間を表示します。
- この部分をタップすると、レベルメーターのピークホールド時間を設定するウィンドウを表示します。



選択肢:OFF(ホールドしない)、2 sec、5 sec(初期値)、 10 sec、20 sec、∞ sec(クリアするまでホールド)

⑤ 🔹 ボタン

このボタンをタップすると、METER SETUP画面に切り換わり ます。(→46 ページ「METER SETUP画面」)

⑥ 💌 ボタン

 このボタンをタップしてハイライト表示にすると、METER 画面 S ボタン(①)と ズボタン(⑦)が以下のように無 効状態になり、METER画面を閉じることができなくなります。



この状態のとき、トップパネルのHOMEキーを押しても METER画面の表示を維持します。

ただし、下記の操作による画面の切り換えを行うことは可 能です。

- ボタン(⑤)をタップして、METER SETUP画面に切り換える。
- トップパネルのMENUキーを押して、メニュー画面に切り換える。
- トップパネルのHOMEキーとMENUキーを同時に押して、 LOCK SETUP画面に切り換える。
- トップパネルのSELキーを押して、MODULE画面に切り 換える。
- ・ 画面下部のホーム画面 MODULE LABELエリア(⑩)をタッ プして、MODULE (OVERVIEW) 画面に切り換える。
- ▼ ボタンがハイライト表示(▼)のときにタップすると、 確認メッセージが表示されます。



OKボタンをタップすると、 <mark>▼</mark> ボタンのハイライト表示が解 除され、METER画面を閉じることができるようになります。

⑦ × ボタン

このボタンをタップすると、ホーム画面に戻ります。

メモ

この 画面の ▲ ボタン(⑥) がハイライト表示(▼) のときは、 このボタンをタップしてもホーム 画面に 戻りません。

- ⑧ タブ画面選択ボタン
 - 選択中のタブ画面ボタンをハイライト表示し、該当するレベルメーターをメーター表示エリア(⑨)に表示します。
 - ボタンをタップすると、タップしたボタンに該当するレベル メーター表示に切り換えます。

⑨ メーター表示エリア

ハイライト表示しているタブ画面選択ボタンに該当するレベルメーターを表示します。

ページ名	内容			
ALL LAYERS	7 つあるすべてのレイヤーにアサイン されたモジュールのレベルメーターを 1 レイヤーに 1 行ずつ表示します。 レベルメーターの下部に MODULE LABEL Mainで設定された MODULE LABELを表示します。(→132 ページ 「DISPLAY MODE タブ画面」)			
OUTPUTS	MIX1-22 モジュールおよび MAIN L/Rマ スターモジュール、MONITOR OUTの レベルメーターを表示します。 レベルメーターの下部に FIXED MODULE LABEL / MODULE LABEL Mainで設定された MODULE LABEL(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ画 面」)/ Metering Pointを表示します。			
LAYER1	該当するレイヤーにアサインされたモ			
LAYER2	ジュールのレベルメーターを表示しま			
LAYER3				
LAYER4				
LAYER5	Mainで設定された MODULE LABEL(→			
LAYER6	132 ページ「DISPLAY MODE タブ画			
LAYER7	面」) / Metering Point名を表示します。			

- ステレオモジュールのメーターは、1モジュールのエリアに 2本のメーターを表示します。
- 各レベルメーターの最上部は、オーバーロードインジケー ターです。信号レベルが-0.00026dBFS(16bitフルスケー ル値)以上のときに赤くハイライト表示します。
- レベルのオーバーロードが発生すると、バーメーター全体が 赤くなります。
- レベルメーター下端の-60dBFS以下のエリアは、-70dBFS 以上で点灯します。

10 ホーム画面の MODULE LABEL エリア表示

- 現在のレイヤーの右端タッチスクリーンにアサインされたモジュールのホーム画面のMODULE LABELエリアと同じ内容(MODULE LABEL SubおよびMODULE LABEL Mainで設定された表示モードのMODULE LABEL(→132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」) / Mute Groupアサイン設定/DCAアサイン設定)を表示します。
- このエリアをタップすると、MODULE (OVERVIEW) 画面に切り換わります。(→170ページ「MODULE (OVERVIEW) 画面」)

METER SETUP画面

この画面では、以下の設定を行います。

- METERING POINT タブ画面 各モジュールタイプの Metering Pointを設定します。
- METER HEADROOM タブ画面
 各画面のレベルメーターの色替え位置を設定します。

この画面は、METER画面の 🔹 ボタンをタップして表示します。



① OVERインジケーター

METER画面のOVERインジケーターと同じ働きをします。(→ 44 ページ「METER画面」)

② PEAK CLEARボタン

METER画面のPEAK CLEARボタンと同じ働きをします。(→ 44 ページ「METER画面」)

③ PEAK HOLD時間表示部

METER画面のPEAK HOLD時間表示部と同じ働きをします。(→ 44 ページ「METER画面」)

④ 🚘 ボタン

このボタンをタップすると、METER画面に戻ります。(→44 ページ「METER画面」)

⑤ タブ画面選択ボタン

このボタンをタップして、表示する画面を切り換えます。

⑥ ホーム画面の MODULE LABEL エリア表示

右端タッチスクリーンのホーム 画面の MODULE LABEL エリアを 表示しています。(→ 44 ページ「METER画面」)

METERING POINT タブ 画面

このタブ画面では、各モジュールタイプの Metering Pointを設定 します。

METER SETUP	OVER CL	EAK PE EAR	× 5 sec	*	×
METERING POIN	т ме	TER HEADROOM	1		
СН 1-40					
	🦞 нрғ 🔄	GATE	EQ CO	омр 🖤 🕅	
ST IN 1-2				_	_
		M	EQ	M F	ADER M
FX RTN 1-4	_			~	~
FX C	M		EQ	M F/	IUTE
MIX:AUX MODE, MAIN L/	R		_	_	
BUS M EQ	GEQ (M)	COMP D	elay M FA		T PORT
MIX:GROUP MODE	~ ~		_		_
BUS EQ	GEQ M	COMP			T PORT
CH 17 CH 18 CH 18	CH 19 CH 20	CH 21	CH 22	CH 23 CH 22	H24
CH 17 CH 18	CH 19 CI	120 CH 21	CH 22	CH 23	CH 24

■ アイコンをタップして、Metering Pointを設定します。
 Metering Pointに選択中の ■ アイコンがハイライト表示(■)になります。

モジュールタイプ	初期値
CH1-40 モジュール	PRE HPF
ST IN1-2 モジュール	PRE EQ
FX RTN1-4 モジュール	FX OUTPUT
BUS モードが「AUX」のMIX1-22 モジュール、 MAIN L/Rマスターモジュール	OUTPUT*
BUSモードが「GROUP」のMIX1-22 モジュー ル	POST FADER

* Metering Pointの設定が「OUTPUT」とは

以下のモジュールタイプの Metering Point設定が、「OUT PORT STATUS」よりも右側の 🖾 アイコンがハイライト表示(🔤)の 状態を指します。

- MIX: AUX MODE, MAIN L/R
- MIX: GROUP MODE

メモ

- 各モジュールのMODULE (OVERVIEW) 画面のMetering Point ボタンを使って設定することもできます。(→170ページ 「MODULE (OVERVIEW) 画面」)
- Metering Pointの設定が「OUTPUT*」のとき、該当するバスを 出力ポートにアサインしていない(本機から外部に出力してい ない)状態では、メーターは表示されません。

METER HEADROOM タブ 画面

このタブ画面では、各画面のレベルメーターの色替え位置を設定します。



選択肢:-9 dBFS、-14 dBFS、-16 dBFS、-18 dBFS、 - 20 dBFS、Ref.Level(初期值)

選択肢を上下にスワイプして、色替え位置を選択します。

LOCK SETUP画面

この画面では、フロントパネルや外部機器からの操作を禁止する ロック機能の設定を行います。

選択した操作だけを禁止することもできます。

この画面は、トップパネルのHOMEキーとMENUキーを同時に5 秒間押し続けることで、右端のタッチスクリーンに表示します。



① ALL LOCKボタン

このボタンをタップすると、ON / OFFが切り換わります。(初 期値:OFF)

ONのとき、ボタンがハイライト表示になり、すべてのロック対象の操作を禁止します。

② SELECTED LOCK表示

選択した項目の操作を禁止する SELECTED LOCKの ON / OFF 状態を表示します。(初期値:OFF)

③ 🖸 アイコン

このアイコンをタップすると、SELECTED LOCK設定ウィンドウ を表示します。

④ ロック対象項目リスト

各ロック対象項目がロック状態かどうかを表示します。 ロックされていない項目は、白い文字で表示されます。 ロックされて操作禁止状態の項目は、錠マークが表示され、黒 い文字で表示されます。

	×
ALL LOCK 🚹 OFF	SELECTED LOCK : ON
TOUCH PANEL / ENCODER	🔒 НОМЕ КЕУ
MUTE KEYS	MENU KEY
SOLO KEYS	TALKBACK KEY
SEL KEYS	USERS KEYS
FADERS	SENDS ON FADER KEY
	LAYER KEYS
GPIO-IN	CONTRAST / BRIGHTNESS
FOOT SWITCH	NETWORK CONFIG

SELECTED LOCK設定ウィンドウ



① CHECK ALLボタン

すべてのロック対象項目のチェックボックスにチェックマーク (✔)を付けます。

② UNCHECK ALL ボタン

すべてのロック対象項目のチェックボックスからチェックマー ク(✔)を外します。

③ SELECTED LOCKボタン

- ロック対象項目のチェックボックスに1つ以上チェック マーク (✔) が付いているときにこのボタンをタップすると、 ON / OFFが切り換わります。
- ONのとき、ボタンがハイライト表示になり、選択したロック対象の操作を禁止します。

このとき、CHECK ALLボタン(①)、UNCHECK ALLボタン (②) およびロック対象項目のチェックボックスの表示が消 えて操作できなくなります。

	SELECTED LOCK
TOUCH PANEL / ENCODER	HOME KEY
MUTE KEYS	MENU KEY
SOLO KEYS	TALKBACK KEY
SEL KEYS	USERS KEYS
FADERS	SENDS ON FADER KEY
	LAYER KEYS
GPIO-IN	CONTRAST / BRIGHTNESS
FOOT SWITCH	NETWORK CONFIG

[HOME KEY項目をロック対象に設定したときの表示]

④ 🛛 ボタン

このボタンをタップすると、SELECTED LOCK設定ウィンドウを 閉じます。

⑤ 個別ロック対象選択リスト

ロック機能のオン/オフを切り換えます。 ロック対象として選択したい項目のチェックボックスをタップ して、チェックマーク(✔)を付けます。

メモ

- ロック対象の操作子/操作
 - LCDタッチパネル/LCDノブの操作
 - MUTEキー操作
 - SOLOキー操作
 - SELキー操作
 - FADER操作
 - HOMEキー操作
 - MENUキー操作
 - TALKBACK キー操作
 - USER KEYS操作
 - SENDS ON FADERキー操作
 - LAYER KEYS操作
 - GPIO-IN操作
 - FOOT SWITCH操作
 - Contrast / Brightnessの各パラメーターの設定変更操作
 - Network Setup画面(→136ページ「Network Setup画 面」)の設定変更操作
- 以下の操作子/操作は、ロック対象外です。
 - ヘッドホンボリューム
 - MONITOR OUT ボリューム
 - TALKBACKボリューム
 - POWERスイッチ
 - HOME キーと MENU キーを 同時に 押す 操作
 - LOCK SETUP画面でのタッチパネル操作

MIXER CONFIG画面

この画面では、以下の設定を行います。

- CH1-40 CONFIG タブ 画面
 - CH1-40 の Stereo Link設定
 - DIRECT OUT POINT設定
 - DELAY POINT設定
 - INSERT POINTの一括設定
- LOCATION CONFIGタブ画面
 - CH 1-40 / ST IN 1-2 / FX RTN 1-4 / MIX 1-22 の LOCATION 設定
- MONITOR 1 / MONITOR 2 の LOCATION設定
- BUS CONFIG タブ 画面
 - BUS MODE設定
 - MIX 1-22 の Stereo Link設定
 - PAN LINK設定

この 画面は、メニュー画面 > Mixer Setup メニュー > 「Config Mixer / Location / Bus」をタップして表示します。

CH1-40 CONFIG タブ 画面



① タブ画面選択ボタン

このボタンをタップすると、表示する画面が切り換わります。

② CH1-40 モジュール MODULE LABEL ボタンエリア

- CH1-40 モジュールのMODULE LABEL SubおよびMODULE LABEL Mainで設定された表示モードのMODULE LABELを表示します。(→132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」)
- このボタンをタップすると、USER MODULE LABELおよびモジュール設定色を変更する MODULE LABEL画面に切り換わります。(→ 229 ページ「MODULE LABEL画面」)

③ STEREO LINKボタンエリア

- CH1-40 モジュールの Stereo Link設定の状態を表示します。
- このボタンをタップすると、CH1-40 モジュールのStereo Link設定のオン/オフを切り換えます。(初期値:オフ) Stereo Link設定がオンのとき、ボタンがハイライト表示に なります。

④ スクロールノブ/スクロールバー表示

スクロールバー表示を左右にドラッグすることで、画面内に表示しきれていないCH1-40 モジュールのチャンネルを表示します。また、LCDノブ8を回して、画面をスクロールすることもできます。

•	MIXER CO	NFIG						×
	CH 1-40 CO	NFIG	LO	CATION C	ONFIG		BUS CON	FIG
ABEL FIXED USER	CH 33 CH 33	CH 34 CH 34	CH 35 CH 35	CH 36 CH 36	CH 37 CH 37	CH 38 CH 38	CH 39 CH 39	CH 40 CH 40
	STE	REO STE	REO STE NK LI	REO STE	REO STE	REO S NK	TEREO STE LINK LI	
D	IRECT OUT P	OINT	IN		POST HPF	POST FA	DER	
D	ELAY POINT		IN		PRE FADER			
IN	ISERT POIN	г ватсн se		E EQ	PRE FADER			

メモ

CH1-40 モジュール MODULE LABEL エリア(②)から STEREO LINK ボタンエリア(③)間を左右にスワイプして画面をスクロー ルすることもできます。

⑤ DIRECT OUT POINTボタン

このボタンをタップすると、CH1-40 モジュールの DIRECT OUT の位置が一括で切り換わります。

選択肢:INPUT(初期值)、POST HPF、POST FADER

⑥ DELAY POINTボタン

このボタンをタップすると、CH1-40 モジュールの DELAY機能の 挿入位置が一括で切り換わります。

⑦ INSERT POINT BATCH SETUPボタン

MODULE (OVERVIEW) 画面で個別に設定できるCH1-40 モジュー ルのインサートポイントを一括で切り換えます。 ボタンをタップすると、設定変更の確認メッセージが表示され ます。

•	MIXER CO	NFIG						×
	СН 1-40 СО	NFIG	LC	OCATION O	ONFIG		BUS CON	IFIG
LABEL FIXED USER	сн1 СН 1	CH 2 CH 2	снз СН 3	CH4 CH 4	CH 5	CH6 CH 6	сн7 СН 7	CH8 CH 8
	STE	EREO STI INK L	EREO STE INK LI	REO STI	EREO STE INK LI	REO ST	EREO STI INK L	
DI	RECT OUT P	POINT	IN	Set A POINT	ll CH INSEF to PRE FAD	RT FAD	ER	
DE	LAY POINT		II	CANC				
IN	SERT POIN	T BATCH S		RE EQ	PRE FADER			

OKボタンをタップすると、CH1-40 モジュールのインサートポ イントの設定を一括で変更します。

LOCATION CONFIG タブ 画面



① タブ画面選択ボタン

- このボタンをタップすると、表示する 画面が 切り 換わります。
- CH1-40 モジュール / ST IN1-2 モジュール / FX RTN モ ジュール / MIX モジュールの MODULE LABEL エリア
 - CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュール、FX RTN モジュール および MIXモジュールのMODULE LABEL Subおよび MODULE LABEL Mainで設定された表示モードのMODULE LABELを表示します。(→ 132ページ「DISPLAY MODE タブ 画面」)
 - このボタンをタップすると、USER MODULE LABELおよびモジュール設定色を変更する MODULE LABEL画面に切り換わります。(→ 229 ページ「MODULE LABEL画面」)

③ モジュールのLocation設定エリア

このボタンをタップすると、CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モ ジュール、FX RTN モジュールおよび MIX モジュールの Location 設定が切り換わります。

ボタン	内容
CR	LocationをCR(Control Room)に設定し ます。
ST	LocationをST(Studio)に設定します。
NONE(初期値)	Locationを未設定にします。

④ スクロールノブ/スクロールバー表示

スクロールバー表示を左右にドラッグすることで、画面内に 表示しきれていないCH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュール、 FX RTN モジュールおよび MIX モジュールのチャンネルを表示し ます。また、LCDノブ 8 を回して 画面をスクロールすることも できます。



メモ

CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュール、FX RTN モジュール および MIX モジュールの MODULE LABEL エリア(②)からモ ジュールの Location設定エリア(③)間を左右にスワイプして 画面をスクロールすることもできます。

⑤ モニターのLocation設定エリア

このボタンをタップすると、MONITOR 1 および MONITOR 2 の Location設定が切り換わります。

ボタン 内容				
CR	LocationをCR(Control Room)に設定します。			
ST	Locationを ST(Studio)に設定します。			
NONE(初期値)	Locationを未設定にします。			

メモ

いずれかのモニターのLocationが「ST」に設定されている場合、Monitor Exclusiveボ タ ン (\rightarrow 94 ペ ー ジ「① Monitor Exclusiveボタン」)が「オン」に切り換えできず、MONITOR 1 と MONITOR 2 の排他選択機能が使用できなくなります。

MONITOR 1 と MONITOR 2 の排他選択機能を使用する場合は、 モニターのLocation設定を「CR」または「NONE」に切り換え てください。

Location機能によるモニター信号の自動 MUTE動作について

Location機能では、ワンマンDJ向けの以下のようなモニター信号のMUTE制御を行います。

- MONITOR1またはMONITOR2と同一のLocation (NONE以外) に設定された入力信号および経由するバスが、MAIN L/Rバス に1つも出力されていない状態から1つ以上出力された状態に なる直前に、自動的に該当するモニター信号のMUTEを「オン」 にします。
- MONITOR1またはMONITOR2と同一のLocation (NONE以外) に設定された入力信号および経由するバスが、MAIN L/Rバスに 1つも出力されていない状態になった直後に、自動的に該当す るモニター信号のMUTEを「オフ」にします。
- 入力信号から MAIN L/Rバスまでの経路の間に、別のLocation に設定されたバスを経由した場合には、モニター信号の MUTE 制御は実施しません。

例:

- CH1 モジュール (Location:CR) → MIX1 モジュール (Location:CR) → MAIN L/Rバス:モニター信号のMUTE制 御を実施する
- CH1 モジュール (Location:CR) → MIX1 モジュール (Location:ST) → MAIN L/Rバス:モニター信号のMUTE制 御を実施しない
- CH1 モジュール (Location:CR) → MIX1 モジュール (Location:NONE) → MAIN L/Rバス:モニター信号の MUTE制御を実施しない

下記パラメーター操作の結果、条件がそろった場合にモニター信号のMUTE制御を実施します。

- FADER LEVELの-∞dB ←→ -∞dB超の間での操作(DCAレイ ヤーによるレベル操作も考慮)
- MUTEのオン/オフ切り換え(DCA/Mute GroupのMUTE 操作 も考慮)
- SENDのオン/オフ、MAIN L/Rアサインのオン/オフ切り換え
- SENDレベルの-∞dB **←→** -∞dB超の間での操作
- SENDの PRE / POST切り換え
- MODULE LibraryのRECALL
- Snapshot Recall
- Location設定の変更
- バスモード設定(AUX / GROUP)の変更
- CH MUTE / PRE-SEND LINKの設定変更
- DCAアサインの変更
- Mute Group アサインの 変更
- All System Data Load

入力から MAIN L/Rバスまでの経路探索は、以下の経路に対応して います。

- 対応している 経路
 - バス経由なしの経路
 - 入力モジュール ➡ MAIN
 - バス1段経由の経路
 - 入力モジュール → MIX → MAIN
 - 入力モジュール → FX → MAIN
 - バス2段経由の経路
 - 入力モジュール ➡ MIX ➡ MIX ➡ MAIN
 - 入力モジュール → MIX → FX → MAIN
 - 入力モジュール → FX → MIX → MAIN
 - バス3段経由の経路
 - 入力モジュール → MIX → FX → MIX → MAIN

以下の経路には未対応となります。 未対応の経路の場合、「MAIN L/Rバスに到達しない」=「MAIN L/ Rバスから出力されない」と判定します。そのため、未対応経路の モジュールパラメーターを操作すると、モニター信号のMUTEが「オ フ」になる方向に動作します。

- 未対応の 経路
 - バス3段経由の経路のうちの下記経路
 - 入力モジュール **→** MX **→** MX **→** MX **→** MAIN
 - 入力モジュール → MX → MX → FX → MAIN
 - 入力モジュール **→** FX **→** MX **→** MAIN
 - 入力モジュール → FX → MX → FX → MAIN
 - バスを4段以上経由する経路

BUS CONFIG タブ 画面



① タブ画面選択ボタン

このボタンをタップすると、表示する画面が切り換わります。

② MIX1-22 モジュール MODULE LABEL エリア

- MIX1-22 モジュールの MODULE LABEL Subおよび MODULE LABEL Mainで設定された表示モードの MODULE LABELを表示します。(→132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
- このボタンをタップすると、USER MODULE LABELおよびモジュール設定色を変更する MODULE LABEL画面に切り換わります。(→ 229 ページ「MODULE LABEL画面」)

③ BUS MODEエリア

このボタンをタップすると、MIX1-22 モジュールの BUS モード が切り換わります。

ボタン	内容
AUX	ボタンに対応する MIX バスを AUX バスとして 動作させるモードに設定します。 AUX モードのバスでは、各モジュールから AUX バスへの SEND レベル、オン/オフ、PRE / POSTを設定することができます。(PRE / POSTは入力モジュールのみ)
GROUP	ボタンに対応する MIX バスを GROUP バスとし て動作させるモードに設定します。 GROUP モードのバスでは、各モジュールから GROUP バスへのオン/オフだけが設定可能 で、POST FADER送り固定となります。

メモ

- BUSモードを「GROUP」から「AUX」に変更すると、該当 する MIX 1-22のモジュール設定色をオレンジ色に変更します。
- BUSモードを「AUX」から「GROUP」に変更すると、該当 する MIX 1-22 のモジュール設定色を紫色に変更します。

④ AUX バス 数表示

BUS MODEエリアで、「AUX」に設定されたモジュール数を表示します。

- 「ST」には Stereo Link設定がオン状態の AUX モードモジュー ルのペア数を表示します。
- ●「MONO」にはStereo Link設定がオフ状態のAUXモードモ ジュールの数を表示します。

⑤ GROUP バス数表示

BUS MODEエリアで、「GROUP」に設定されたモジュール数を 表示します。

- ●「ST」にはStereo Link設定がオン状態のGROUPモードモジュールのペア数を表示します。
- 「MONO」にはStereo Link設定がオフ状態のGROUPモード モジュールの数を表示します。

⑥ STEREO LINKボタンエリア

- MIX1-22 モジュールの Stereo Link設定の状態を表示します。
- このボタンをタップして、MIX1-22 モジュールの Stereo Link 設定のオン/オフを切り換えます。
 Stereo Link設定がオンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

⑦ PAN LINKボタンエリア

MIX1-22 モジュールの Stereo Link設定がオンで、BUS モードが「AUX」のとき、このボタンを表示します。

PAN LINK設定が「オン」のとき、AUXバスへのパン/バランス (SEND PAN)の設定が、MAIN L/Rバスへのパン/バランスの 設定に連動します。

⑧ スクロールノブ/スクロールバー表示

スクロールバー表示を左右にドラッグすることで、画面内に表示しきれていない MIX1-22 モジュールのチャンネルを表示します。また、LCD ノブ 8 を回して画面をスクロールすることもできます。



メモ

MIX1-22 モジュール MODULE LABEL エリア(②) から PAN LINK ボタンエリア(⑦)間を左右にスワイプして画面をスクロー ルすることもできます。

USER DEFINED CONTROLS画面

この画面では、以下の設定を行います。

- User Key タブ画面 USER KEYS A-F キーおよび USER KEYS 1-12 キーに機能をアサインします。 このタブ画面は、メニュー画面 > Front Panel Setup メニュー >「User Key Setup」をタップして表示します。
 ● Foot Switch タブ画面
- フットスイッチに機能をアサインします。 このタブ画面は、メニュー画面 > Rear Panel Setup メニュー >「FOOT SW Setup」をタップして表示します。 ● GPIO-IN タブ画面 本機および内蔵 Dante経由で接続された SB-16Dの GPIO入力端子に機能をアサインします。

このタブ画面は、メニュー画面 > Rear Panel Setup メニュー > 「GPIO Input Setup」をタップして表示します。

● GPIO-OUT タブ 画面 本機および 内蔵 Dante経由で 接続された SB-16Dの GPIO出力端子に 機能をアサインします。 このタブ 画面は、メニュー画面 > Rear Panel Setup メニュー >「GPIO Output Setup」をタップして表示します。

各キー/端子の設定は、各タブ画面の操作子設定表示で行います。 4 つのタブ画面は、タブ画面選択ボタンをタップして切り換えます。(→ 72 ページ「USER DEFINED CONTROLS画面の構成」) これらの画面でアサインできる機能は、以下の通りです。

User Key タブ画面/ Foot Switch タブ画面/ GPIO-IN タブ画面

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
Snapshot		Next		メニュー画面上部に表示された STORE / RECALL 対象の Snapshot番号を 1 つ増やします。(→ 240 ページ「Snapshot機能」)
	Select	Prev		メニュー画面上部に表示された STORE / RECALL 対象の Snapshot番号を 1 つ減らします。(→ 240 ページ「Snapshot機能」)
		No.	001-128/P001	指定番号の Snapshotをメニュー画面上部に表示 し、STORE / RECALL対象にします。(→240 ペー ジ「Snapshot機能」)
	Recall	Selected		メニュー画面上部に表示された RECALL対象の番 号の Snapshotを RECALLします。(→ 240 ページ 「Snapshot機能」)
		Next		メニュー画面上部に表示された RECALL対象の Snapshot番号を1つ後に存在する Preset以外の Snapshotの番号にしてから RECALLします。(→ 240ページ「Snapshot機能」)
		Prev		メニュー画面上部に表示された RECALL対象の Snapshot番号を1つ前に存在する Preset以外の Snapshotの番号にしてから RECALLします。(→ 240ページ「Snapshot機能」)
		No.	001-128/P001	指定番号の Snapshotを RECALLします。(→ 240 ページ「Snapshot機能」)
		+Target Key		このキーとFunction:Snapshot / Parameter1:Targetを設定されたキーを同時に押 すと、Function:Snapshot / Parameter1:Target で設定された番号のSnapshotをRECALLします。 (→240ページ「Snapshot機能」)

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
Snapshot		Selected		メニュー画面上部に表示された STORE対象の番 号に Snapshotを STOREします。(→ 240 ページ 「Snapshot機能」)
		No.	001-128	指定番号の Snapshotに STOREします。(→ 240 ページ「Snapshot機能」)
	Store	+Target Key		このキーとFunction:Snapshot / Parameter1:Targetを設定されたキーを同時に押 すと、Function:Snapshot / Parameter1:Target で設定された番号にSnapshotをSTOREします。 (→ 240 ページ「Snapshot機能」) ただし、Function:Snapshot / Parameter1:TargetのParameter2 が「Next」ま たは「Prev」に設定されたキーと同時に押した 場合は動作しません。
		Selected		このキーと Function:Snapshot / Parameter1:STORE or RECALL / Parameter2:+Target Keyを設定されたキーを同時に押すと、メニュー画面上部に表示された Snapshot番号に STORE /メニュー画面上部に表示された Snapshot番号を RECALLします。
	Target	Next		このキーとFunction:Snapshot / Parameter1:RECALL / Parameter2:+Target Key を設定されたキーを同時に押すと、メニュー画 面上部に表示された番号の1つ後に存在する Preset以外のSnapshotをRECALLします。
		Prev		このキーと Function:Snapshot / Parameter1:RECALL / Parameter2:+Target Key を設定されたキーを同時に押すと、メニュー画 面上部に表示された番号の1つ前に存在する Preset以外の Snapshotを RECALL します。
		No.	001-128/P001	このキーとFunction:Snapshot / Parameter1:STORE or RECALL / Parameter2:+Target Keyを設定されたキーを同時 に押すと、指定番号のSnapshotにSTORE /指定 番号のSnapshotをRECALLします。
	Undo/Redo	Undo Color (USER KEYのみ)	Redo Color (USER KEYのみ)	Snapshot RECALLのUndo / Redoを実施します。 (→ 240 ページ「Snapshot機能」) Undoが実施可能な状態では、この機能がアサイ ンされたUSER KEYSがParameter2:Undo Color で設定した色で点灯します。Redoが実施可能な 状態では、この機能がアサインされたUSER KEYS がParameter3:Redo Colorで設定した色で点灯 します(Parameter2 / 3はUSER KEYSでのみ設 定できます)。
Monitor	MONITOR 1 MONITOR 2	Source select	1 (MAIN L/R) 2 (MIX 15-16) 3 (MIX 1) 4 (MIX 11-12) 5 (Dante 31-32) 6 (USB 31-32)	単独で押すと、Parameter1 で指定したモニター 用のParameter3 で指定した番号のモニターソー スを 1 つだけ選択状態にします。(→90 ページ 「⑥ MONITOR SELECTボタン (MONITOR 1)」、 → 92 ページ「⑫ MONITOR SELECTボタン (MONITOR 2)」) この機能がアサインされたボタンを複数同時に 押すとADD機能がオンに切り換わり、同時に押 したモニターソースが複数同時に選択状態になり ます。これにより、選択した複数のモニターソー スをミックスしてモニターできます。 選択状態の場合、USER KEYSが点灯します。

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
		MUTE		Parameter1 で指定したモニター信号のMUTEの オン/オフを切り換えます。(→90ページ「③ MUTEボタン (MONITOR 1)」、→92ページ「⑳ MUTEボタン (MONITOR 2)」) オンの場合、USER KEYSが点灯します。
		DIM		Parameter1 で指定したモニター信号のDIM機能 のオン/オフを切り換えます。 (→ 91 ページ「⑪ DIMボタン(MONITOR 1)」、 → 92 ページ「⑯ DIMボタン(MONITOR 2)」) オンの場合、USER KEYSが点灯します。
		PFL to MON		Parameter1 で指定したモニターの PFL to MONの オン/オフを切り換えます。(\rightarrow 91ページ「⑧ PFL to MON 1 / AFL to MON 1 ボタン」、 \rightarrow 92 ページ「⑭ PFL to MON 2 / AFL to MON 2 ボタ ン」) オンの場合、USER KEYSが点灯します。
	MONITOR 1 MONITOR 2	AFL to MON		Parameter1 で指定したモニターのAFL to MONの オン/オフを切り換えます。(\rightarrow 91 ページ「⑧ PFL to MON 1 / AFL to MON 1 ボタン」、 \rightarrow 92 ページ「⑭ PFL to MON 2 / AFL to MON 2 ボタ ン」) オンの場合、USER KEYSが点灯します。
Monitor		MON 2 FOLLOW MON 1 FOLLOW		Parameter1 で指定したモニターの FOLLOWのオ ン/オフを切り換えます。(→ 90 ページ「⑤ MON 2 FOLLOWボタン」、→ 92 ページ「⑱ MON 1 FOLLOWボタン」) オンの場合、USER KEYSが点灯します。
		ADD		Parameter1 で指定したモニターのADD機能のオ ン/オフを切り換えます。(\rightarrow 91 ページ「⑦ ADDボタン (MONITOR 1)」、 \rightarrow 92 ページ「⑬ ADDボタン (MONITOR 2)」) オンの場合、USER KEYSが点灯します。
		STEREO/MONO	MONO COLOR (USER KEYのみ)	Parameter1 で指定したモニターの STEREO/ MONOを切り換えます。 STEREOに設定されている場合、この USER KEYS の設定色で点灯します。 MONOに設定されている場合、Parameter3: MONO COLORで設定した色で点灯します。
	Exclusive	MON 1/MON 2	MON 2 COLOR (USER KEYのみ)	 モニターの排他選択を MONITOR 1 と MONITOR 2 で交互に切り換えます。 MONITOR 1 が選択されているときは、USER KEYSの設定色で点灯します。 MONITOR 2 選択されているときは、 Parameter3 の設定色でUSER KEYSが点灯します。 Monitor Exclusive機能がオフの場合はUSER KEYSは消灯し、動作しません。
		MONITOR 1 MONITOR 2		このキーを押すと、Parameter2 で設定したモニ ターを排他選択します。 • Parameter2 で設定したモニターが選択されて いるときは、USER KEYSの設定色で点灯します。 • Monitor Exclusive機能がオフの場合はUSER KEYSが消灯し、動作しません。
SOLO	PFL/AFL	AFL COLOR (USER KEYのみ)		SOLO TYPEの PFL / AFLを切り換えます。 SOLO TYPEが PFLの場合、この USER KEYSの設 定色で点灯します。SOLO TYPEが「AFL」の場合、 Parameter2:AFL Colorで設定した色で点灯しま す。
OSC	ON/OFF			内蔵オシレーターの信号のオン/オフを切り換 えます。 設定がオンの場合、USER KEYSが点灯します。

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
Talkback	TALKBACK Key to MIX1-to MIX22 to MAIN L/R to Selected BUS to MON 1 to MON 2 to EXT 1 to EXT 1 to EXT 2	Single Key +SLATE Key		 Parameter1が「TALKBACK Key」の場合、フロントパネルのTALKBACK キーと同じ動作をします。TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSCSETUP画面 TALKBACK タブ画面のTALKBACK KEYボタンにアサインされた出力先へのTALKBACK出力のオン/オフを切り換えます。オンの場合、USER KEYSが点灯します。 Parameter1が「to~」の場合、対応する出力先へのTALKBACK出力のオン/オフを切り換えます。オンの場合、USER KEYSが点灯します。 Parameter2で「Single Key」を選択した場合、このキー単独で動作します。USER キーの場合、このキーを押してすぐ離すと、オン状態を保持し、もう一度押すとオフになります。このキーを押し続けると、押している間だけオンになり、離すとオフになります。 Parameter2で「+SLATE Key」を選択した場合、Function: Talkback / Parameter1: SLATEKeyを設定した USERキー/FOOTSWITCH/GPIO-INを先に押した状態で、このキーを押している間だけ、Parameter1の出力先へのTALKBACK出力をオンにします。
	to Selected BUS to MON 1 to MON 2 to EXT OUT to SOLO	Single Key + SLATE Key		 Parameter1が「to~」の場合、対応する出力 先へのRETURN TALKBACK出力のオン/オフを 切り換えます。オンの場合、USER KEYSが点 灯します。 Parameter2で「Single Key」を選択した場合、
Return Talkback	SLATE Key			このキー単独で動作します。USERキーの場合、 このキーを押してすぐ離すと、オン状態を保 持し、もう一度押すとオフになります。このキー を押し続けると、押している間だけオンになり、 離すとオフになります。 Parameter2で「+SLATE Key」を選択した場 合、Function: Return Talkback / Parameter1: SLATE Keyを設定したUSERキー/ FOOTSWITCH / GPIO-INを先に押した状態で、 このキーを押している間だけ、Parameter1の 出力先への RETURN TALKBACK出力をオンにし ます。
AUTO MIXER	TOP PRIORITY			AUTO MIXERの TOP PRIORITY設定の ON / OFFを 切り換えます。 オンの場合、USER KEYSが点灯します。
	PRIORITY A-D			AUTO MIXERのグループ PRIORITY設定の ON / OFFを切り 換えます。 オンの場合、USER KEYSが点灯します。
	LO CUT A-D ON/OFF			AUTO MIXERグループ(A/B/C/D)のLO CUTボタ ンのオン/オフを切り換えます。 オンの場合、USER KEYSが点灯します。
	GROUP A-D ON/OFF			AUTO MIXERグループ(A/B/C/D)のオン/オフ を切り換えます。 オンの場合、USER KEYSが点灯します。
	AUTO MIXER ON/ OFF			AUTO MIXER機能のオン/オフを切り換えます。 オンの場合、USER KEYSが点灯します。

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
AFV	ON/OFF			Audio Follow Video機能全体のオン/オフを切 り換えます。(→ 210 ページ「MODULE (Audio Follow Video) 画面」) オンの場合、USER KEYSが点灯します。
	MODULE ON/OFF	CH1-40 STIN1-2 FXRTN1-4 MIX1-22 MAIN L/R		モジュールごとの Audio Follow Video機能のオン /オフを切り換えます。 オンの場合、USER KEYSが点灯します。
	Trigger Source Emulate (USER KEYのみ)	GPIO-IN 1-8 # GPIO-IN 1-8 # GPIO-IN 1-8 # GPIO-IN 1-8 # GPIO-IN 1-8 FOOT SW	Unlatch Latch	 Parameter2で指定したTrigger Source (GPIO-IN ポート、FOOT SW)によるAFVトリガー入力を、 USER KEY操作でエミュレートします。 Parameter3が「Unlatch」の場合、以下のように動作します。 このキーを押すと、Parameter2で選択した Trigger SourceのClosed状態をエミュレートします。 このキーを離すと、Parameter2で選択した Trigger SourceのOpen状態をエミュレートします。 このキーを離すと、Parameter2で選択した Trigger SourceのOpen状態をエミュレートします。 Parameter3が「Latch」の場合、以下のように動作します。 AFV動作していないときにこのキーを押す と、Parameter2で選択したTrigger Sourceの Closed状態をエミュレートします。 AFV動作中にこのキーを押すと、Parameter2 で選択したTrigger SourceのOpen状態をエ ミュレートします。 USER KEYがParameter2 で選択したTrigger SourceのClosed状態をエミュレートしている間、 対応するUSER KEYSが点灯します。
LED Indication (USER KEYのみ)	GPIO-IN	GPIO-IN 1-8 # GPIO-IN 1-8 # GPIO-IN 1-8 # GPIO-IN 1-8 # GPIO-IN 1-8	Closed-LIT Open-LIT	 Parameter1、2 で指定した GPIO-IN / OUT信号によって、該当する USER KEYSを点灯します。 Parameter3 が「Closed-LIT」の場合、選択した GPIO-IN / OUT信号が短絡状態(Closed)になると該当する USER KEYSを点灯します。
	GPIO-OUT	GPIO-OUT 1-8 # GPIO-OUT 1-8 # GPIO-OUT 1-8 # GPIO-OUT 1-8 # GPIO-OUT 1-8	Closed-LIT Open-LIT	 Parameter3 が「Open-LIT」の場合、選択した GPIO-IN / OUT信号が開放状態(Open)にな ると該当するUSER KEYSを点灯します。 User Keyタブ画面だけで設定できます。 #: 接続されている SB-16DのID
	ON AIR Tally			OA Tally Inputに指定された GPIO-IN ポートが短 絡状態(Closed)になると、該当する USER KEYS を 点灯します。

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
		TB DIM (MON 1)		MONITOR 1 において、TALKBACK操作による DIM が有効になると、該当する USER KEYSを 点灯し ます。
		TB DIM (MON 2)		MONITOR 2 において、TALKBACK操作による DIM が有効になると、該当する USER KEYSを 点灯し ます。
		TB DIM/DIM (MON 1)		MONITOR 1 において、TALKBACK操作による DIM、またはDIM(→ 91 ページ「⑩ DIMボタ ン(MONITOR 1)」)が有効になると、該当する USER KEYSを点灯します。
LED Indication (USER KEYのみ)	MON DIM Status	TB DIM/DIM (MON 2)		MONITOR 2 において、TALKBACK操作による DIM、または DIM(→ 92 ページ「⑮ DIM ボタ ン(MONITOR 2)」)が有効になると、該当する USER KEYSを 点灯します。
		TB DIM (MON 1/MON 2)		MONITOR 1 またはMONITOR 2 において、 TALKBACK操作による DIMが有効になると、該当 する USER KEYSを 点灯します。
		ALL		MONITOR 1 またはMONITOR 2 において、 TALKBACK操作によるDIM、またはDIM(→ 91 ページ「⑩ DIMボタン(MONITOR 1)」、→ 92 ページ「⑯ DIMボタン(MONITOR 2)」)が有効 になると、該当するUSER KEYSを点灯します。
OA Tally Input (GPIO-INのみ)				この機能は、1 つのGPIO-INポートにだけアサイ ンできます。 この機能をアサインしたGPIO-IN ポートが短絡状 態(Closed)になると、ON AIR Tally Inhibit対象 の設定(→41ページ「② ON AIR Tally Inhibit 対象表示」)にしたがって ON AIR Tally Inhibit動 作を実施します。
Sends On Fader	MIX1-22 FX1-4			選択したバスの Sends On Fader モードのオン/ オフを切り換えます。(→ 214 ページ「SENDS ON FADER画面」)
DCA Spill	DCA 1-8			DCAスピルモードのオン/オフを切り換えます。 オンの場合、USER KEYSが点灯します。 メモ 該当DCAにひとつもモジュールがアサインされて いない場合はオンになりません。
Recorder/Player	Recorder	REC		RECORDER / PLAYER画面左側のレコーダー用 ●ボタン(録音ボタン)と同じ以下の動作をし ます。 ●レコーダーが停止中に押すと、録音を開始し ます。レコーダーが録音一時停止中に押すと、 録音を再開します。 ●レコーダーが録音中または録音一時停止中は、 USER KEYSが点灯します。
		PAUSE		RECORDER / PLAYER画面左側のレコーダー用 ■ ボタン(一時停止ボタン)と同じ以下の動作 をします。 • レコーダーが録音中に押すと、録音一時停止状 態になります。 • レコーダーが録音一時停止中は、USER KEYSが 点灯します。
		STOP		 RECORDER / PLAYER画面左側のレコーダー用 ボタン(停止ボタン)と同じ以下の動作をします。 レコーダーが録音中に押すと、録音を停止します。 レコーダーが停止中は、USER KEYSが点灯します。

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
Recorder/Player		PLAY/PAUSE	PAUSE COLOR (USER KEYのみ)	RECORDER / PLAYER画面右側のプレイヤーの再 生/再生一時停止を操作します。 ・プレイヤーが再生中に押すと、再生を一時停 止します。 ・プレイヤーが停止中/再生一時停止中に押す と、再生を開始します。 ・プレイヤーが再生中は、USER KEYSの設定色 でキーが点灯します。 ・プレイヤーが再生一時停止中は、Parameter3 で設定した色でUSER KEYSが点灯します。
		PLAY	RECORDE ► ボタン ・ プレイ・ と、再: ・ プレイ・ ます。	 RECORDER / PLAYER画面右側のプレイヤー用 ボタン(再生ボタン)と同じ動作をします。 プレイヤーが停止中/再生一時停止中に押すと、再生を開始します。 プレイヤーが再生中は、USER KEYSが点灯します。
		PAUSE		 ます。 RECORDER / PLAYER画面右側のプレイヤー用 ボタン (一時停止ボタン)と同じ以下の動作をします。 ・プレイヤーが再生中に押すと、再生を一時停止します。 ・プレイヤーが再生一時停止中は、USER KEYS点灯します。 RECORDER / PLAYER画面右側のプレイヤー用
	Player	STOP		 RECORDER / PLAYER画面右側のプレイヤー用 ボタン(停止ボタン)と同じ以下の動作をします。 プレイヤーが再生中に押すと、再生を停止します。 プレイヤーが停止中は、USER KEYSが点灯します。
		FAST FORWARD		RECORDER / PLAYER画面右側のプレイヤー 用 ▶▶ ボタンと同じ動作をします。 • プレイヤーが停止中/再生中/再生一時停止中 にこのキーを押すと早送りを開始し、押し続 けるとその間早送りを行います。 • プレイヤーが早送り中にこのキーを押すと、 早送り前の状態に戻ります。 • プレイヤーが早送り中、USER KEYSが点灯し ます。
		REWIND		RECORDER / PLAYER画面右側のプレイヤー用 ◄ ボタンと同じ動作をします。 • プレイヤーが停止中/再生中/再生一時停止中 にこのキーを押すと早戻しを開始し、押し続 けるとその間早戻しを行います。 • プレイヤーが早戻し中にこのキーを押すと、 早戻し前の状態に戻ります。 • プレイヤーが早戻し中、USER KEYSが点灯し ます。

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
Recorder/Player	Player	FILE SKIP NEXT		RECORDER / PLAYER画面右側のプレイヤー用 ▶▶ ボタンと同じ動作をします。 • プレイヤーが停止中/再生中/再生一時停止中 に押すと、次のファイルにスキップします。
		FILE SKIP PREV		RECORDER / PLAYER画面右側のプレイヤー 用 I◀◀ ボタンと同じ動作をします。 • プレイヤーが停止中に押すと、手前のファイル にスキップします。 • プレイヤーが再生中/再生一時停止中に押すと ファイルの先頭に戻ります。 • ファイルの先頭で停止しているときに押すと、 手前のファイルにスキップします。
		DIRECT PLAY	1-100 (ファイル番号)	キーを押すと、RECORDER / PLAYER画面右側の プレイヤーにおいて、Parameter3 で指定された 番号のファイルをファイルの先頭から再生しま す。 プレイヤーが指定された番号のファイルを再生 中は、USER KEYSが点灯します。
MTR	REC			 MULTI TRACK RECORDER画面の ● ボタンと同じ 以下の動作をします。 REC READYが 1 つ以上オン状態で停止中に押 すと、録音一時停止状態になります。 MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEのと き、録音中に押すと録音は継続したままです が、現在のテイクへの録音を停止し、新しいテ イクへの録音を継続します(テイクスプリット 動作)。 MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまた はVIRTUAL SOUND CHECK MODEのとき、録音 一時停止中に押すと、新しいテイクへの録音ー 時状態になります。 MTR動作モードがOVERDUB MODEのとき、 REC READYが 1 つ以上オン状態で再生中に押 すと、パンチイン録音を開始します。 録音中/録音一時停止中は、USER KEYSが点灯 します。 停止中/再生中は、USER KEYSが消灯します。
	PLAY			 MULTI TRACK RECORDER画面の ▶ ボタンと同じ以下の動作をします。 ・停止中/再生一時停止中に押すと、再生を開始します。 ・録音一時停止中に押すと、録音を再開します。 ・録音中/再生中は、インジケーターが点灯します。 ・停止中は、USER KEYSが消灯します。

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
				MULTI TRACK RECORDER画面の ■ ボタンと同じ 以下の動作をします。
	STOP			 ・録音中/再生中に押すと、録音/再生を停止します。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
				 停止中は、USER KEYSが点灯します。
	PAUSE			 MULTI TRACK RECORDER画面の ■ ボタンと同じ 以下の動作をします。 停止中/再生中に押すと、再生一時停止状態に なります。 MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまた はVIRTUAL SOUND CHECK MODEのとき、録音 中に押すと、録音一時停止状態になります。 MTR動作モードがOVERDUB MODEのときは、 録音中には使用できません。 録音一時停止中や再生一時停止中は、USER KEVSが 点灯します。
MTR	FAST FORWARD			MULIT TRACK RECORDER画面の → (F.FWD) ボタンと同じ以下の動作をします。 ・停止中/再生中/再生一時停止中にこのキーを 押すと早送りを開始し、押し続けるとその間 早送りを行います。 ・早送り中にこのキーを押すと、早送り前の状 態に戻ります。 ・早送り中は、USER KEYSが点灯します。
	REWIND			MULTI TRACK RECORDER画面の ◀◀ (REW) ボ タンと同じ以下の動作をします。 ・停止中/再生中/再生一時停止中にこのキーを 押すと早戻しを開始し、押し続けるとその間 早戻しを行います。 ・早戻し中にこのキーを押すと、早戻し前の状 態に戻ります。 ・早戻し中は、USER KEYSが点灯します。
	TAKE SKIP NEXT			MULTI TRACK RECORDER画面の ► (SKIP NEXT) ボタンまたは ► (TO END) ボタンをタッ プしたときと同じ以下の動作をします。 MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまたは VIRTUAL SOUND CHECK MODEのとき: • 停止中/再生中/再生一時停止中にタップする と、次のテイクにスキップします。 • スキップ中、USER KEYSが点灯します。 MTR動作モードがOVERDUB MODEのとき: • 停止中/再生中/再生一時停止中にタップする と、テイクの末尾にスキップします。 • スキップ中、USER KEYSが点灯します。

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
	TAKE SKIP PREV			MULTI TRACK RECORDER画面の I◀◀(TO TOP/ SKIP PREV.)ボタンまたは I◀(TO TOP)ボタン をタップしたときと同じ以下の動作をします。
				 MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまたは VIRTUAL SOUND CHECK MODEのとき: 再生中/再生一時停止中に押すと、カレントテ イクの先頭に戻ります。 テイクの先頭で停止しているときに押すと、 手前のテイクにスキップします。 スキップ中、USER KEYSが点灯します。
				MTR動作モードがOVERDUB MODEのとき: • 停止中/再生中/再生一時停止中にタップする と、テイクの先頭に戻ります。 • スキップ中、USER KEYSが点灯します。
	MARK SKIP NEXT			 MULTI TRACK RECORDER画面の ► MARK SKIPボ タンをタップしたときと同じ以下の動作をしま す。 このキーを押すと、現在の再生位置より後ろ にあるマーク位置に移動します。
	MARK SKIP PREV			 MULTI TRACK RECORDER画面の ◀MARK SKIPボ タンをタップしたときと同じ以下の動作をしま す。 ・このキーを押すと、現在の再生位置より前に あるマーク位置に移動します。
MTR	Undo/Redo	Undo Color (USER KEYのみ)	Redo Color (USER KEYのみ)	 MULTI TRACK RECORDER 画面の UNDO / REDO ボタンをタップしたときと同じ以下の動作をし ます。 キーが Parameter2 の UNDO色(初期値:青) で点灯しているときに押すと、UNDOを実行し ます。 キーが Parameter3 の REDO色(初期値:橙) で点灯しているときに押すと、REDOを実行し ます。 キーが消灯しているときは、UNDO/REDOは実 行できません。
	Punch IN/OUT			MULTI TRACK RECORDERの PUNCH IN/OUT操作 を行います。 MTR動作モードが OVERDUB MODEのとき、REC READYが 1 つ以上オン状態で再生中に押すと、 パンチイン録音を開始します。 録音中に押すと、パンチアウトして再生を継続 します。
	SET MARK			MULTI TRACK RECORDER画面の SET MARKボタ ンをタップしたときと同じ以下の動作をします。 ・このキーを押すと、現在の録音/再生時刻に マークポイントを設定します。 ・押している間、USER KEYSが点灯します。
	SOUND CHECK	SOUND CHECK		MULTI TRACK RECORDER画面の SOUND CHECK ボタンをタップしたときと同じ動作をします。 • SOUND CHECK モードが「ON」の場合、USER KEYSが点灯します。
		YES		MTRの SOUND CHECKの確認メッセージが表示 されているときにこのボタンを押すと、確認メッ セージの YESボタンをタップしたときと同じ動作 をします。

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
		SET IN		MULTI TRACK RECORDER画面の SET IN ボタンを タップしたときと同じ動作をします。 • IN ポイントが設定されている場合、USER KEYSが点灯します。
	IN-OUT	SET OUT		MULTI TRACK RECORDER画面の SET OUTボタン をタップしたときと同じ動作をします。 • OUTポイントが設定されている場合、USER KEYSが点灯します。
MTR		I-O CLEAR		MULTI TRACK RECORDER画面の CLEAR ボタンを タップしたときと同じ動作をします。 ・押している間、USER KEYSが点灯します。
	REPEAT			MULTI TRACK RECORDER画面のリピートモード 設定ボタンをタップしたときと同じ動作をしま す。 ・リピートモードが「OFF」以外の場合、USER KEYSが点灯します。
	REHEARSAL			MULTI TRACK RECORDER画面の REHEASALボタ ンをタップしたときと同じ動作をします。 • REHEASALモードが「ON」の場合、USER KEYSが点灯します。 • MTR動作モードがOVERDUB MODEのときのみ 動作します。
Input Source	CH1-40 STIN1-2	A B Toggle		Parameter1 で指定したモジュールの入力ソース を切り換えます。 - Parameter1 が「ALL」の場合、Parameter2 で
	ALL	B		「Toggle」は選択できません。
Insert On/Off	CH1-40 MIX1-22 MAIN L/R			Parameter1 で指定したモジュールのINSERTの ON / OFFを切り換えます。 該当する設定がオンの場合、USER KEYSが点灯 します。
Send On/Off	CH1-40 STIN1-2 FXRTN1-4 MIX1-22 MAIN L/R	MIX1-22 FX1-4 MAIN L/R		Parameter1 で指定したモジュールから Parameter2 で指定したバスへの SENDの ON / OFFを切り換えます。 該当する設定がオンの場合、USER KEYSが点灯 します。
Mute	CH1-40 STIN1-2 FXRTN1-4 MIX1-22 MAIN L/R DCA1-8 Mute Group1-8	Mute - LIT Unmute - LIT (USER KEYのみ)		 指定したモジュールのMUTE / UNMUTEを切り換えます。 Parameter2 が「Mute-LIT」の場合、MUTE状態のときにUSER KEYSが点灯します。 Parameter2 が「Unmute-LIT」の場合、 UNMUTE状態のときにUSER KEYSが点灯します。
		Closed - Mute Closed - Unmute (FOOT Switch/GPIO- IN)		 指定したモジュールのMUTE / UNMUTEを切り換えます。 Parameter2 が「Closed-Mute」の場合、 FOOTSWITCH / GPIO-INが短絡状態(Closed) になるとMUTE状態になります。 Parameter2 が「Closed-Unmute」の場合、 FOOTSWITCH / GPIO-INが短絡状態(Closed) になるとUNMUTE状態になります。
FX Send Mute	FX1-4	Mute - LIT Mute - UNLIT		指定したFX1-4 に対する SENDの MUTE処理のオ ン/オフを切り換えます。 Parameter2 が「Mute - LIT」の場合は、MUTE時 にUSER KEYが点灯します。

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
Tap Tempo	FX1-4	Delay1-3		選択したエフェクトのタイプがDELAYのとき、 DELAY TIMEをタップテンポ入力します。(→ 191 ページ「MODULE (FX) 画面」) エフェクトタイプが「DELAY LCR」以外のDELAY のときは、Parameter2 に「Delay1」を設定します。 エフェクトタイプが「DELAY LCR」のときは、 Parameter2 を以下のように設定します。 操作したいパラメーター : Parameter2 の設定 DELAY TIME L : Delay1 DELAY TIME C : Delay2 DELAY TIME R : Delay3
	Information	ERROR COLOR (USER KEY only)		右端のタッチスクリーンにINFORMATION画面を 表示します。この際、本機が正常に動作してい るときは、最後にINFORMATION画面を表示した ときのタブ画面を表示します。 本機にエラーまたは注意事項が発生しているとき は、ERRORタブ画面を表示します。 INFORMATION画面のいずれかのタブ画面が表示 されているときに該当するUSER KEYSを押すと、 この画面を閉じます。また、INFORMATION画面 が表示されているかどうかにかかわらず、該当す るUSER KEYSは以下のように点灯/点滅します。 ・本機が正常に動作しているとき:USER KEYS 設定色で点灯 ・本機にエラーまたは注意事項が発生していると き:Parameter2 で選択した色で点滅
	Snapshot			右端のタッチスクリーンに SNAPSHOT画面を表示し、該当する USER KEYSを 点灯します。 この画面が表示されているときに該当する USER KEYSを押すと、この画面を閉じます。
Screen	METER	ALL LAYERS OUTPUTS LAYER1-7 LAST TAB		METER画面のParameter2 で指定したタブ画面を 右端タッチスクリーンに表示し、該当するUSER KEYSを点灯します。 この画面が表示されているときに該当するUSER KEYSを押すと、この画面を閉じます。
		TALKBACK		TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面 TALKBACK タブ画面を右端タッチスクリーンに 表示し、該当する USER キーを点灯します。 この画面が表示されているときに該当する USER KEYSを押すと、この画面を閉じます。 TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面 RETURN TALKBACK タブ画面を右端タッチスク
	TR/Manitar/OSC	RETURN TALKBACK		リーンに表示し、該当するUSERキーを点灯しま す。 この画面が表示されているときに該当するUSER KEYSを押すと、この画面を閉じます。
	TB/Monitor/OSC	MONITOR 1/2		TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面 MONITOR 1/2 タブ画面を右端タッチスクリーン に表示し、該当する USER キーを点灯します。 この画面が表示されているときに該当する USER KEYSを押すと、この画面を閉じます。
		SOLO/OSCILLATOR		TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面 SOLO/OSCILLATOR タブ画面を右端タッチスク リーンに表示し、該当する USER キーを点灯しま す。 この画面が表示されているときに該当する USER KEYSを押すと、この画面を閉じます。

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
	ROUTING	Input Port Input Module Output Module Output Port Analog GAIN		右側のタッチスクリーンに ROUTING画面を表示 します。
	SEND OVERVIEW	MIX1-22 FX1-4 MAIN L/R	LCD L LCD C(Sonicview 24 のみ) LCD R	Parameter3 で指定されたタッチスクリーンに Parameter2 で指定されたバスの Send Overview 画面を表示し、該当する USER KEYSを点灯します。 この画面が表示されているときに該当する USER KEYSを押すと、この画面を閉じます。
	MODULE(FX)	FX RTN1-4	LCD L LCD C(Sonicview 24 のみ) LCD R	Parameter3 で指定されたタッチスクリーンに、 Parameter2 で指定されたFXのMODULE (FX) 画 面を表示し、該当する USER KEYSを点灯します。 この画面が表示されているときに該当する USER KEYSを押すと、この画面を閉じます。
Screen	НОМЕ	SEND 1st BLOCK SEND 2nd BLOCK SEND 3rd BLOCK SEND 4th BLOCK SEND 5th BLOCK SEND 6th BLOCK SEND 7th BLOCK BUS ASSIGN AUTO MIXER AFV		タッチスクリーンに Parameter2 で指定されたブ ロックの 4 つの Send バス、すべての Send バス、 AUTO MIXER設定、または Audio Follow Video機 能のパラメーター設定を表示したホーム 画面を 表示し、該当する USER KEYSを 点灯します。
	AUTO MIXER			右端のタッチスクリーンにAUTOMATIC MIXER画 面を表示し、該当する USER KEYSを点灯します。 この画面が表示されているときに該当する USER KEYSを押すと、この画面を閉じます。
	RECORDER/PLAYER			右端のタッチスクリーンにRECORDER / PLAYER 画面を表示し、該当する USER KEYSを点灯します。 この画面が表示されているときに該当する USER KEYSを押すと、この画面を閉じます。
	MULTI TRACK RECODER			右端のタッチスクリーンに MULTI TRACK RECORDER画面を表示し、該当する USER KEYS を点灯します。 この画面が表示されているときに該当する USER KEYSを押すと、この画面を閉じます。
	USER KEY EXTENSION			右側のタッチスクリーンに USER KEY EXTENSION 画面を表示します。
	ST2110	Audio Network Config. HOME		右側のタッチスクリーンに ST2110 SETUP画面を 表示します。
		User		Parameter1 で指定した MODULE LABEL表示モー ドを「USER」に切り換えます。MODULE LABEL 表示モードが「USER」のときに該当 USER KEYS が点灯します。
Label	Module Main Label	Fixed		Parameter1 で指定した MODULE LABEL表示モー ドを「FIXED」に切り換えます。MODULE LABEL 表示モードが「FIXED」のときに該当 USER KEYS が点灯します。
	Module Sub Label	Port Label		Parameter1 で指定した MODULE LABEL表示モー ドを「PORT LABEL」に切り換えます。MODULE LABEL表示モードが「PORT LABEL」のときに該 当USER KEYSが点灯します。
		Rotation		このキーを押すたびに、Parameter1 で指定した MODULE LABEL表示モードを USER → FIXED → PORT LABELと順番に切り換えます。

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
		User		PORT LABELの表示モードを「USER」に切り換 えます。PORT LABELの表示モードが「USER」 のときに該当USER KEYSが点灯します。
Label	Port Label	Fixed		PORT LABELの表示モードを「FIXED」に切り 換えます。PORT LABELの表示モードが「PORT LABEL」のときに該当USER KEYSが点灯します。
		Toggle		このキーを押すたびに、PORT LABELの表示モー ドを「USER」と「FIXED」て交互に切り換えます。
		Current		カレントライブラリー(最後に STORE / RECALL したライブラリー)を RECALLします。
		Next		カレントライブラリー(最後に STORE / RECALL したライブラリー)の1つ後に存在する Preset 以外のLIBRARY データを RECALLします。
	Recall	Prev		カレントライブラリー(最後に STORE / RECALL したライブラリー)の1つ前に存在する Preset以 外の LIBRARY データを RECALL します。
		No.	001-128/P001	指定番号のLIBRARYを RECALLします。
		+TargetKey		このキーと Parameter 1 : Targetを設定されたキー を同時に押すと、Targetの Parameter 2 で設定さ れた番号の LIBRARYを RECALL します。
	Store	Current		カレントライブラリー(最後にSTORE / RECALL したライブラリー)に上書きSTOREします。 カレントライブラリーがP001 (Preset)の場合 は何もしません。
Controls Lib		No.	001-128	指定番号のLIBRARYにSTOREします。
		+TargetKey		このキーとParameter1: Targetを設定されたキー を同時に押すと、TargetのParameter2 で設定さ れた番号にLIBRARYをSTOREします。 ただし、TargetのParameter2 が「Next」または 「Prev」に設定されたキーと同時に押した場合は 動作しません。
		Current		
	Targot	Next		RECALLやSTOREのParameter2:+TargetKeyと
		Prev		組み合わせて使うターゲットを指定します。
		No.	001-128/P001	
	Undo/Redo	Undo Color (USER KEYのみ)	Redo Color (USER KEYのみ)	LIBRARYのRECALLのUndo / Redoを実施しま す。 Undo / Redoが実施可能な状態では、それぞれ 設定した色で点灯します(Parameter2 / 3 は USER KEYSでのみ設定できます)。

メモ

- Foot Switch / GPIO-IN:
 - 以下の機能をアサイン時:Lowレベル信号を入力している間、選択した機能がアクティブになります。また、同一機能が複数のGPIO-IN、フットスイッチにアサインされている場合は、いずれか1つの対象GPIO-IN、フットスイッチの信号がLowレベルならばアクティブ、すべての対象GPIO-IN、フットスイッチの信号がHighレベルならばインアクティブ(OR動作)となります。
 - 以下の機能をアサインした状態での起動時とAll System DataのLoad時・Snapshot Recall時・User Defined Control LibraryのRecall時、 GPIO-IN端子/Foot Switchの状態にしたがって該当機能がアクティブ/インアクティブ状態になります。
 - Monitor Mute
 - Monitor DIM
 - Monitor PFL to MON
 - Monitor AFL to MON
 - Monitor FOLLOW
 - Monitor Stereo/Mono (Low レベルで Mono)
 - SOLO (LowレベルでAFL)
 - OSC
 - Talkback
 - Return Talkback
 - AUTO MIXER
 - AFV
 - OA Tally Input
 - Insert On/Off
 - Send On/Off
 - Mute
 - FX Send Mute
 - 以下の機能をアサイン時:50ms以上のLowレベル信号を入力すると、選択した機能が動作します。
 - Snapshot
 - User Key Library
 - Monitor Source Select
 - Monitor Exclusive MONITOR 1
 - Monitor Exclusive MONITOR 2
 - Sends On Fader
 - Recorder/Player
 - MTR
 - Input Source
 - Tap Tempo
 - Screen
 - Label
 - •以下の機能をアサイン時:50ms以上のLowレベル信号を入力すると、選択した機能がON/OFFトグル動作します。
 - Monitor ADD
 - Monitor Exclusive MON 1/MON 2
- USERキー/FOOTSWITCH / GPIO-INでカレントSnapshot以外にSTOREしたSnapshot名は、「USER KEY」に3桁のスロット番号が追加 されたものとなります。(例:USER KEY 018)
- Function = Snapshot / Parameter2 = Noに設定されている場合、Parameter3 とカレント Snapshot番号が一致したら、該当する USER キー が点灯します。
- Function = MTRが設定されたUSERキーを操作すると、右端のタッチスクリーンにMULTI TRACK RECORDER画面を表示します。ただし、 現在のMTR動作モードだとMULTI TRACK RECORDER画面に該当機能のボタンがない場合には、操作してもMULTI TRACK RECORDER画面 を表示しません。

GPIO-OUTタブ画面

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
Fader Start	CH1-40 STIN1-2 FXRTN1-4 MIX1-22 MAIN L/R	Pulse 30msec Pulse 50msec Pulse 100msec Pulse 150msec Pulse 200msec Pulse 250msec Pulse 300msec	NORMAL- Open NORMAL- Closed	 指定モジュールが下記の状態になったときに、Parameter2 で指定した幅のパルス信号を出力します。Parameter3 が「NORMAL-Open」の場合、 ア形状のパルス信号を出力します。 アンクトレンス信号を出力します。 MUTEが「オフ」の状態で、FADERレベルがフェーダースタートレベル設定値以下からフェーダースタートレベル設定値を超えたレベルに変化したとき FADERレベルがフェーダースタートレベル設定値を超えている状態で、MUTEが「オン」から「オフ」に変化したとき

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明		
Fader Stop	CH1-40 STIN1-2 FXRTN1-4 MIX1-22 MAIN L/R	Pulse 30msec Pulse 50msec Pulse 100msec Pulse 150msec Pulse 200msec Pulse 250msec Pulse 300msec	NORMAL- Open NORMAL- Closed	 指定モジュールが下記の状態になったときに、Parameter2 で指定した幅のパルス信号を出力します。Parameter3 が「NORMAL-Open」の場合、 形状のパルス信号を出力します。 MUTEが「オフ」の状態で、FADERレベルがフェーダースタートレベル設定値を超えたレベルからフェーダースタートレベル設定値を超えたレベルからフェーダースタートレベル設定値を超えている状態で、MUTEが「オフ」から「オン」に変化したとき 		
Fader Start/Stop	CH1-40 STIN1-2 FXRTN1-4 MIX1-22 MAIN L/R	Alternate	NORMAL- Open NORMAL- Closed	指定モジュールの MUTEと FADER レベルの状態によって、出力 する信号レベルが変化します。 指定モジュールの MUTEが「オフ」かつ、FADER レベルがフェー ダースタートレベル設定値を超えているとき、Parameter3 が 「NORMAL-Open」の場合はローレベル信号をラッチ出力しま す。Parameter3 が「NORMAL-Closed」の場合はハイレベル 信号をラッチ出力します。		
				Parameter 3	指定モジュールの MUTEが「オン」、ま たはFADERレベル がフェーダースター トレベル設定値を超 えていない	指定モジュールの MUTEが「オフ」、か つFADERレベルが フェーダースタート レベル設定値を超え ている
				NORMAL-Open	ハイレベル(Open) を出力	ローレベル (Closed) を出力
				NORMAL-Closed	ローレベル (Closed) を 出力	ハイレベル(Open) を出力
Mute Status	CH1-40 STIN1-2 FXRTN1-4 MIX1-22 MAIN L/R DCA1-8 Mute Group1-8	SINGLE	Mute-Closed Unmute- Closed	 Parameter1で指定したモジュールのMUTE状態を出力します。 Parameter3が「Mute-Closed」の場合、該当モジュールがMuteされているときに、ローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。 Parameter3が「Unmute-Closed」の場合、該当モジュールのMUTEが解除されているときに、ローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。 		
	GPIO-OUT Group1-8	AND OR	Mute-Closed Unmute- Closed	 をフッナ出刀します。 Parameter1で指定した GPIO-OUT Group1-8 にアサインされた複数のモジュール群の MUTE状態を出力します。 グループの設定は、78ページ「STATUS OUT GROUP SETUP 画面」で行います。 Parameter2が「AND」でParameter3が「ON-Closed」の場合、GPIO-OUT Group1-8 にアサインされたすべて(AND)のモジュールが MUTEされているときに、ローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。 Parameter2が「AND」でParameter3が「OFF-Closed」の場合、GPIO-OUT Group1-8 にアサインされたすべて(AND)のモジュールの MUTEが解除されているときに、ローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。 Parameter2が「OR」でParameter3が「ON-Closed」の場合、GPIO-OUT Group1-8 にアサインされたいずれか1つ(OR)のモジュールが MUTEされているときに、ローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。 Parameter2が「OR」でParameter3が「OFF-Closed」の場合、GPIO-OUT Group1-8 にアサインされたいずれか1つ(OR)のモジュールが MUTEされているときに、ローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。 		

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
	CH1-40 STIN1-2 FXRTN1-4 MIX1-22 MAIN L/R DCA1-8	SINGLE	ON-Closed Off-Closed	 Parameter1で指定したモジュールのSOLO状態を出力します。 Parameter3が「ON-Closed」の場合、該当モジュールがSolo ONのときに、ローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。 Parameter3が「OFF-Closed」の場合、該当モジュールがSolo OFFのときに、ローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。
Solo Status	GPIO-OUT Group1-8	AND OR	ON-Closed Off-Closed	 Parameter1で指定したGPIO-OUT Group1-8にアサインされた複数のモジュール群のSOLO状態を出力します。 グループの設定は、78ページ「STATUS OUT GROUP SETUP 画面」で行います。 Parameter2が「AND」でParameter3が「ON-Closed」の場合、GPIO-OUT Group1-8にアサインされたすべて(AND)のモジュールがSolo ONのときに、ローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。 Parameter2が「AND」でParameter3が「OFF-Closed」の場合、GPIO-OUT Group1-8にアサインされたすべて(AND)のモジュールがSolo OFFのときに、ローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。 Parameter2が「OR」でParameter3が「ON-Closed」の場合、GPIO-OUT Group1-8にアサインされたすべて(AND)のモジュールがSolo ONのときに、ローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。 Parameter2が「OR」でParameter3が「OFF-Closed」の場合、GPIO-OUT Group1-8にアサインされたいずれか1つ(OR)のモジュールがSolo ONのときに、ローレベル信号(Closed)の場合、GPIO-OUT Group1-8にアサインされたいずれか1つ(OR)のモジュールがSolo OFFのときに、ローレベル信号(Closed)の場合、GPIO-OUT Group1-8にアサインされたいずれか1つ(OR)のモジュールがSolo OFFのときに、ローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。
	Solo Clear	LIT-Closed UNLIT-Closed		 Solo Clearが点灯状態の時にGPIO-OUTポートがローレベル 信号(Closed)になります。 Solo Clearが消灯状態の時にGPIO-OUTポートがローレベル 信号(Closed)になります。
USER KEY OUT	USER KEY A-F USER KEY 1-12	Pulse 30msec Pulse 50msec Pulse 100msec Pulse 150msec Pulse 200msec Pulse 250msec Pulse 300msec Alt. Latch Alt. Unlatch	NORMAL- Open NORMAL- Closed	 Parameter1で指定したUSER KEYSを押すと、GPIO-OUT端子の出力状態を変更します。 Parameter2が「Pulse xxx msec」の場合、Parameter1で指定したUSER KEYSを押すと、対応するGPIO-OUT端子からParameter2で指定した幅のパルス信号を出力します。 Parameter3が「NORMAL-Open」の場合、 デ状のパルス信号を出力します。 Parameter3が「NORMAL-Open」の場合、 デ状のパルス信号を出力します。 Parameter2が「Alt.Latch」の場合、Parameter1で指定したUSER キーを押すと、対応するGPIO-OUT端子からの出力がローレベルとハイレベルで交互に切り換わります。 Parameter3が「NORMAL-Open」の場合、初期状態でハイレベル(Open)を出力します。Parameter3が「NORMAL-Open」の場合、初期状態でハイレベル(Closed)を出力します。 Parameter2が「Alt.Unlatch」の場合、Parameter1で指定したUSER KEYSを押している間だけ、対応するGPIO-OUT端子から出力する信号レベルを変更します。Parameter3が「NORMAL-Closed」の場合、USER KEYSを押すとローレベルを出力します。Parameter3が「NORMAL-Closed」の場合、USER KEYSを押すとローレベルを出力します。Parameter3が「NORMAL-Closed」の場合、USER KEYSを押すとハイレベルを出力します。
GPIO-IN OUT	GPIO-IN 1-8 # GPIO-IN 1-8 # GPIO-IN 1-8 # GPIO-IN 1-8 # GPIO-IN 1-8	NORMAL INVERT		 Parameter1 で指定した GPIO-INの入力状態(ハイレベル /ローレベル)をGPIO-OUTに出力します。Parameter2 が 「NORMAL」の場合、入力された状態をそのまま出力します。 Parameter2 が「INVERT」の場合、入力された状態を反転 して出力します。 #: 接続されている SB-16Dの ID

Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3	機能説明
MTR Status	REC PLAY STOP PAUSE FAST FORWARD REWIND TAKE SKIP NEXT TAKE SKIP PREV			MTRの状態をGPIO-OUTポートに出力します。 選択した状態になっている間、LOW レベルを出力します。
AUTO MIXER Tally	TOP PRIORITY	NORMAL- Open NORMAL- Closed		AUTO MIXERの TOP PRIORITY設定の ON / OFF状態を GPIO- OUT ポートに出力します。 TOP PRIORITYが ONのとき、Parameter2 が「NORMAL-Open」 の場合はローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。 Parameter3 が「NORMAL-Closed」の場合はハイレベル信号 (Open)をラッチ出力します。
	PRIORITY A-D	NORMAL- Open NORMAL- Closed		AUTO MIXERグループ (A/B/C/D) のPRIORITYのオン/オフ状 態を GPIO-OUTポートに出力します。 AUTO MIXERグループ (A/B/C/D) のPRIORITYがONのとき、 Parameter2 が「NORMAL-Open」の場合はローレベル信号 (Closed) をラッチ出力します。 Parameter3 が「NORMAL-Closed」の場合はハイレベル信号 (Open) をラッチ出力します。
	LO CUT A-D ON/ OFF	NORMAL- Open NORMAL- Closed		AUTO MIXERグループ (A/B/C/D) のLO CUTボタンのオン/オ フ状態を GPIO-OUTポートに出力します。 AUTO MIXERグループ (A/B/C/D) のLO CUTがONのとき、 Parameter2 が「NORMAL-Open」の場合はローレベル信号 (Closed) をラッチ出力します。 Parameter3 が「NORMAL-Closed」の場合はハイレベル信号 (Open) をラッチ出力します。
	GROUP A-D ON/ OFF	NORMAL- Open NORMAL- Closed		AUTO MIXERグループ(A/B/C/D)がONの時、Parameter2が「NORMAL-Open」の場合はローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。 Parameter2 が「NORMAL-Closed」の場合はハイレベル信号 (Open)をラッチ出力します。
	AUTO MIXER ON/ OFF	NORMAL- Open NORMAL- Closed		AUTO MIXERがONの時、Parameter2 が「NORMAL-Open」の 場合はローレベル信号(Closed)をラッチ出力します。 Parameter2 が「NORMAL-Closed」の場合はハイレベル信号 (Open)をラッチ出力します。
Monitor Status	MONITOR 1 MONITOR 2	1-6		Parameter1 で指定したモニターのモニターソースの選択状態 を GPIO-OUTに出力します。 Parameter2 で指定した番号のモニターソースが選択されてい るとき、ローレベル(Closed)を出力します。
		Mute		Parameter1 で指定したモニターのMUTEのオン/オフ状態を GPIO-OUTに出力します。 MUTEがオンのとき、ローレベル(Closed)を出力します。
		Add		Parameter1 で指定したモニターのADD機能のオン/オフ状態 を GPIO-OUTに出力します。 ADD機能がオンのとき、ローレベル(Closed)を出力します。



USER DEFINED CONTROLS画面の構成

① タブ画面選択ボタン

このボタンをタップすると、表示する画面が切り換わります。

② 🙍 ボタン

このボタンをタップすると、フットスイッチの極性設定および フェーダースタートレベルを設定するウィンドウを表示します。 (→74ページ「フットスイッチの極性を設定する」、→76 ページ「フェーダースタートレベルの設定」)

•	USER DEFINED CONTROLS	[No.P001]		ł
	User Key Foot			
А	Monitor MONITOR 1 5	Foot Switch Polarity	Normal Invert	
В	Monitor MONITOR 1 S	Fader Start Level	-60.0dB 🔻	
С	Monitor MONITOR 1 N			
D	Monitor MONITOR 1 5			
Е	Monitor MONITOR 1 S			
F	Monitor MONITOR 1 DIM	Л	KeyLabel	
1				
2				

③ 操作子名/A ボタン(User Key タブ画面のみ)
 USER KEYSの機能が有効なときに点灯するキーの色を設定します。

このボタンをタップすると、カラーパレットウィンドウを表示 します。



カラーパレットの色をタップすると、カラーパレットウィンド ウを閉じて、操作子名表示部の色が変更されます。

④ 設定機能名表示部

- 操作子にアサインされた機能名を表示します。
- このエリアをタップすると、各操作子の操作子設定表示に切り換わります。

•	USER DEFINED	CONTROLS [No.PO	01] USER KEY ^[2] EXTENSION	
	User Key	Foot Switch	GPIO-IN	GPIO-OUT
		User K	ley A	
	Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3
	er Key Library			
	Snapshot		STEREO/MONO	
	Monitor	MONITOR 1	Source select	1 (MAIN L/R)
	SOLO	MONITOR 2	MUTE	2 (MIX 15-16)
	OSC			
	Talkback		PFL to MON	4 (MIX 11-12)
			CANCEL	APPLY O

⑤ スクロールノブ/スクロールバー表示

選択可能な選択肢が画面内に表示しきれない場合に表示します。 表示をドラッグすることで選択肢がスクロールします。また、 操作子名(③)/設定機能名表示部(④)を上下にスワイプする、 またはLCDノブ8を回して選択肢をスクロールすることもでき ます。

⑥ USER KEY EXTENSION ボタン

このボタンをタップすると、USER KEY EXTENSION画面に切り 換わります。(→ 77 ページ「USER KEY EXTENSION画面」)

⑦ LIBRARYボタン

このボタンをタップすると、USER DEFINED CONTROLS LIBRARY画 面に切り換わります。(→ 258 ページ「USER DEFINED CONTROLS LIBRARY画面」)
⑧ Key Label表示エリア(User Key タブ画面のみ)

ラベル表示エリアをタップすると、USER LABEL (User Key) 画 面に切り換わります。



- Key Labelの名前は、最大 8 文字です。
- 「ボタンをタップすると、USER DEFINED CONTROLS画面 に戻ります。
- Enterボタンをタップすると、入力対象が次のアサインに移 動します。
- ⑨ ライブラリー番号

最後に STORE / RECALL対象のカレントライブラリー番号を表示します。

⑩ STATUS OUT GROUP ボタン(GPIO-OUT タブ画面のみ) このボタンをタップすると、STATUS OUT GROUP SETUP画 面に切り換わります。(→78ページ「STATUS OUT GROUP SETUP画面」)

USER DEFINED CONTROLS画面の操作子設定表示



⑪ ◀ ∕ ▶ボタン

このボタンをタップすると、編集対象の操作子が切り換わります。

⑩ 操作子名表示部

選択中の操作子名を表示します。

13 M ボタン(User Key タブ画面のみ)

USER KEYSの機能が有効なときに点灯するキーの色を設定しま す。

このボタンをタップすると、カラーパレットウィンドウを表示 します。



カラーパレットの色をタップすると、カラーパレットウィンド ウを閉じて、操作子名表示部の色が変更されます。

⑭ 機能リスト表示

- 操作子に設定可能な機能とパラメーターが4列でリスト表示されます。
- 列をタップして、設定を変更する対象を選択します。選択 された列はハイライト表示になります。
- 設定を変更するには、ハイライト表示された列のリストを 上下にスワイプします。LCDノブ8(水色で点灯)を回して 設定を変更することもできます。

15 CANCELボタン

このボタンをタップすると、変更した設定を破棄し、USER DEFINED CONTROLS画面に戻ります。

16 APPLY ボタン

このボタンをタップすると、変更した設定を確定し、USER DEFINED CONTROLS画面に戻ります。

① スクロールノブアイコン

LCDノブ8(水色で点灯)を用いてスクロールが可能であることを示すアイコンです。

User Key タブ 画面

このタブ画面では、USER KEYS A-F キーおよび USER KEYS 1-12 キー に機能をアサインします。

この 画面は、メニュー画面 > Front Panel Setup メニュー > 「User Key Setup」をタップして表示します。



•	USER DEFINED	CONTROLS [No.P0	01] USER KEY ^[2] EXTENSION			
	User Key	Foot Switch	GPIO-IN	GPIO-OUT		
		User K	ey A			
	Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3		
Us	er Key Library					
	Snapshot		STEREO/MONO			
	Monitor	MONITOR 1	Source select	1 (MAIN L/R)		
	SOLO	MONITOR 2	MUTE	2 (MIX 15-16)		
	OSC	Exclusive		3 (MIX 1)		
	Talkback			4 (MIX 11-12)		
	CANCEL APPLY					

[User Keyタブ画面の操作子設定表示]

+-	点灯色	割り当て機能
USER KEYS A	緑	Monitor MONITOR 1 Source select 1 (MAIN L/R)
USER KEYS B	緑	Monitor MONITOR 1 Source select 2 (MIX 15-16)
USER KEYS C	赤	Monitor MONITOR 1 MUTE
USER KEYS D	緑	Monitor MONITOR 1 Source select 3 (MIX 1)
USER KEYS E	緑	Monitor MONITOR 1 Source select 4 (MIX 11-12)
USER KEYS F	オレンジ	Monitor MONITOR 1 DIM
USER KEYS 1	赤	Mute Mute Group1 Mute - LIT
USER KEYS 2	赤	Mute Mute Group2 Mute - LIT
USER KEYS 3	赤	Mute Mute Group3 Mute - LIT
USER KEYS 4	赤	Mute Mute Group4 Mute - LIT
USER KEYS 5	オレンジ	Sends On Fader MIX1
USER KEYS 6	オレンジ	Sends On Fader MIX2
USER KEYS 7	オレンジ	Sends On Fader MIX3
USER KEYS 8	オレンジ	Sends On Fader MIX4
USER KEYS 9	オレンジ	Sends On Fader MIX5
USER KEYS 10	オレンジ	Sends On Fader MIX6
USER KEYS 11	オレンジ	Sends On Fader MIX7
USER KEYS 12	オレンジ	Sends On Fader MIX8

工場出荷時の設定は、以下の通りです。

Foot Switch タブ 画面

このタブ画面では、フットスイッチに機能をアサインします。 この画面は、メニュー画面 > Rear Panel Setup メニュー >「FOOT SW Setup」をタップして表示します。

	5 USE	R DEF	INED CO	NTROLS	[No.P001]	USER KEY EXTENSION		×
		User H	(ey	Foot Sv	witch	GPIO-IN	GPIO-OUT	
1)—		AFV	Tap Ter	npo FX3	Delay1			

	CONTROLS [No.PO	D1] USER KEY ^[2] EXTENSION		×
User Key	Foot Switch	GPIO-IN	GPIO-OUT	
	Foot S	witch		
Function	Parameter1	Parameter2		
Send On/Off				
Mute				
FX Bypass	FX2			
Tap Tempo	FX3	Delay1		
Screen		Delay2		
Label				
User Defined Controls Lib				
		CANCEL	APPLY	

[Foot Switch タブ画面の操作子設定表示]

① AFV表示

Foot SwitchがAudio Follow Video機能のトリガーソースとして 選択されている場合は、ここに青色で「AFV」と表示されます。 Foot Switchに複数の機能を重複してアサインしているかどう かを確認できます。

工場出荷時の設定は、「Tap Tempo | FX3 | Delay1」です。

フットスイッチの極性を設定する

本機は、フットスイッチとしてプッシュ・トゥ・メイク(押したと きに短絡状態)のモーメンタリースイッチを使用する前提で設計 されていますが、この極性を逆にすることができますので、プッ シュ・トゥ・ブレイク(離したときに短絡状態)のスイッチも使 用できます。

お使いのフットスイッチの極性に合わせて、本機の設定を変更す ることができます。

1. USER DEFINED CONTROLS画面の ■ ボタンをタップして、 設定ウィンドウを表示します。

•	USER DEFINED CONTROLS	[No.P001]	
	User Key Foot		
	Monitor MONITOR 1 S	Foot Switch Polarity	Normal Invert
	Monitor MONITOR 1 S	Fader Start Level	-60.0dB 🔻
	Monitor MONITOR 1 1		
	Monitor MONITOR 1 S		
	Monitor MONITOR 1 S		
	Monitor MONITOR 1 DIM	A.	KeyLabel

 ウィンドウ内のFoot Switch Polarity項目のスライドスイッチ をタップして、フットスイッチの極性を設定します。
 選択肢:Normal (初期値)、Invert

GPIO-IN タブ 画面

このタブ画面では、本機および内蔵Dante経由で接続されたマウント済みSB-16DのGPIO入力端子に機能をアサインします。 マウント済みSB-16DのGPIO端子を使用する方法は、120ページ 「GPIO拡張機能を使う」を参照ください。

この画面は、メニュー画面 > Rear Panel Setup メニュー > 「GPIO Input Setup」をタップして表示します。

	🔊 us	ER DEF	INED CO	ONTROLS	[No.P00	1]	USER KEY ^[2] EXTENSION	LIBRARY	\$	×
		User	Key	Foot Sv	witch	GPIO-IN	1	GPIO-	DUT	
	1	AFV	Mute	Mute Grou	up1					
0-	2	AFV	Mute	Mute Mute Group2						L
	3	AFV	Mute	Mute Grou	up3					
	4	AFV	Mute	Mute Grou	up4					
	5		Mute	Mute Grou	up5					
	6		Talkback TALKBACK Key Single key							
	7		Тар Те	mpo FX3	Delay1					
	8		Тар Те	mpo FX4	Delay1					Ô



[GPIO-IN タブ画面の操作子設定表示]

① AFV表示

Audio Follow Video機能のトリガーソースとして選択されてい るポートの場合は、ここに青色で「AFV」と表示されます。 1つのポートに複数の機能を重複してアサインしているかどう かを確認できます。

工場出荷時の設定は、機能未割り当ての状態となります。

メモ

マウント済みSB-16DのGPIO入力端子の工場出荷時の設定は、機能未割り当ての状態となります。

GPIO-OUT タブ 画面

このタブ画面では、本機および内蔵Dante経由で接続されたマウント済みSB-16DのGPIO出力端子に機能をアサインします。 マウント済みSB-16DのGPIO端子を使用する方法は、120ページ 「GPIO拡張機能を使う」を参照ください。

この 画面は、メニュー画面 > Rear Panel Setup メニュー > 「GPIO Output Setup」をタップして表示します。

•	USE	R DEFINED CO	ONTROLS	[No.P001]	STATUS	LIBRARY	\$	×
		User Key	Foot Sw	itch	GPIO-I	N	GPIO-O	UT	
	1	Fader	Start/Stop	CH29 Al	ternate N	IORMAL-0	Open		Π
	2	Fader	Start/Stop	CH31 Ali	ternate N	ORMAL-0	Open		l
	3	Fader	Start/Stop	CH33 Alı	ternate N	IORMAL-0	Open		
	4	Fader	Start/Stop	CH35 Ali	ternate N	ORMAL-0	Open		
	5	Fader	Start/Stop	CH37 Alı	ternate N	IORMAL-0	Open		
	6	Fader	Start/Stop	CH39 Alı	ternate N	IORMAL-0	Open		
	7	Fader	Start/Stop	STIN1 A	lternate	NORMAL-	Open		
	8	Fader	Start/Stop	STIN2 A	ternate	NORMAL-	Open		Ô

S USER DEFINED	CONTROLS [No.00	3] STATUS C	
User Key	Foot Switch	GPIO-IN	GPIO-OUT
	GPIO-	OUT 1	
Function	Parameter1	Parameter2	Parameter3
	CH26		
Fader Start	CH27		
Fader Stop	CH28		
Fader Start/Stop	CH29	Alternate	NORMAL-Open
Mute Status	CH30		NORMAL-Closed
Solo Status	CH31		
USER KEY OUT	CH32		
		CANCEL	APPLY

[GPIO-OUTタブ画面の操作子設定表示]

工場出荷時の設定は、以下の通りです。

ポート 番号	割り当て機能
1	Fader Start/Stop CH29 Alternate NORMAL-Open
2	Fader Start/Stop CH31 Alternate NORMAL-Open
3	Fader Start/Stop CH33 Alternate NORMAL-Open
4	Fader Start/Stop CH35 Alternate NORMAL-Open
5	Fader Start/Stop CH37 Alternate NORMAL-Open
6	Fader Start/Stop CH39 Alternate NORMAL-Open
7	Fader Start/Stop STIN1 Alternate NORMAL- Open
8	Fader Start/Stop STIN2 Alternate NORMAL- Open

メモ

マウント済みSB-16DのGPIO出力端子の工場出荷時の設定は、機能未割り当ての状態となります。

フェーダースタートレベルの設定

フェーダースタート/ストップ機能のトリガーレベルを設定しま

- す。(初期値:- 60dB)
- 1. USER DEFINED CONTROLS画面の ボタンをタップして、 設定ウィンドウを表示します。

•	USER DEFINED CONTROLS	[No.P001]	
	User Key Foot		
А	Monitor MONITOR 1 S	Foot Switch Polarity	Normal Invert
В	Monitor MONITOR 1 S	Fader Start Level	-60.0dB 🔻
С	Monitor MONITOR 1 1		
D	Monitor MONITOR 1 S		
Е	Monitor MONITOR 1 S		
F	Monitor MONITOR 1 DIN	1	KeyLabel
1			
2			

 ウィンドウ内のFader Start Level項目の設定レベル値をタッ プすると、ウィンドウが以下の表示に変わります。また、チャ ンネル画面の表示がフェーダースタート設定表示に切り換わ ります。

•	USER DEFINED CONTROLS	[No.P001]	
	User Key Fool		
А	Monitor MONITOR 1 S	Foot Switch Polarity	Normal Invert
В	Monitor MONITOR 1 S	Fader Start Level	-60.0dB
С	Monitor MONITOR 1 1	+10.0dB	
D	Monitor MONITOR 1 S	CANCEL APPLY	
Е	Monitor MONITOR 1 S		
F	Monitor MONITOR 1 DIM	Л	KeyLabel
1			KeyLabel
2			

 トップパネルの右端のチャンネルフェーダーを使って、スター トストップトリガーを出したいレベルに調節します。 ウィンドウ内に調節した値が表示されます。



 APPLYボタンをタップすると、該当するフェーダーの位置を フェーダースタートレベルに設定し、ウィンドウを閉じて通 常表示に戻ります。

•	USER DEFINED CONTROLS	[No.P001]		×
	User Key Foot			
А	Monitor MONITOR 1 S	Foot Switch Polarity	Normal Invert	
В	Monitor MONITOR 1 S	Fader Start Level	0.00dB 🔻	
С	Monitor MONITOR 1 N			
D	Monitor MONITOR 1 S			
Е	Monitor MONITOR 1 S			
F	Monitor MONITOR 1 DIN	1	KeyLabel	ſ
1				
2				

CANCELボタンをタップすると、ウィンドウを閉じて通常表 示に戻ります。

USER KEY EXTENSION画面

この画面では、USER DEFINED CONTROLS画面でアサインした拡 張USER KEYの機能を表示/実行することができます。 この画面は、以下の手順で表示します。

- メニュー画面>Mixer Setup メニュー>「User Key Extension」 のタップ
- USER DEFINED CONTROLS画面の USER KEY EXTENSION ボタン をタップ



① USER KEY SETUPボタン

このボタンをタップすると、USER DEFINED CONTROLS画面に 切り換わります。(→54ページ「USER DEFINED CONTROLS 画面」)

② LIBRARY ボタン

このボタンをタップすると、USER DEFINED CONTROLS LIBRARY画 面に切り換わります。(→ 258 ページ「USER DEFINED CONTROLS LIBRARY画面」)

③ SIZEボタン

USER KEYの表示サイズを切り換えます。

一度に表示できるアイテムの数は、次の通りです。

サイズS(32 個)

	KEY EXTE	NSION [No.P001]		USER KEY 🗳 SETUP	LIBRARY	
E1-E32	E33-E64						
E1 Monitor MONITOR 1 MUTE	E2	B	E4	E5	E6	E7	E8
E9	E10	E11	E12	E13	E14	E15	E16
E17	E18	E19	E20	E21	E22	E23	E24
E25	E26	E27	E28	E29	E30	E31	E32

サイズL(8個)

		NSION [I	No.P001]		USER KEY 12 SETUP		
E1-E8	E9-E16		E25-E32	E33-E40	E41-E48	E49-E56	E57-E64
E1 Monitor MONITC MUTE) DR 1	E2		E3		E4	
E5		E6		E7		E8	

④ ページ切り換えボタン

選択されているページがハイライト表示になります。

⑤ 拡張 USER KEY表示

- 拡張 USER KEYにアサインされている 機能を表示します。
- 機能の実行は、表示されている各エリアをタップすることで 行えます。
- 表示内容(色・機能など)は、USER DEFINED CONTROLS画 面でのアサインが反映されます。
- USER KEYにラベルがつけられている場合は、黒い帯の上に 登録されているラベルが表示されます。 また、USER KEYS A-FキーおよびUSER KEYS 1-12 キーに機 能をアサイン時と同様に、実行ステータス等を表現するため、 明るさが変わります。
 - MUTE機能実行時の表示例

•	USER	KEY EXTEI	NSION [No.P001]		USER KEY	LIBRARY	SIZE L • S	×			
E	1-E8	E9-E16		E25-E32	E33-E40	E41-E48	E49-E56 E57-E64					
E1			E2		E3		E4					
	Mu	te										
E5			E6		E7		E8					

 ▶ USER KEY EXTENSION
 [No.P001]
 USER KEY
 UBBARY
 DIBBARY
 DIBAARY
 DIBBARY
 DIBBARY

• MUTE機能非実行時の表示例

STATUS OUT GROUP SETUP画面

この画面では、GPIO-OUT ポートのMUTE Statusおよび SOLO Status のグループ設定を行います。

設定したグループをGPIO-OUT タブ画面の Functionの設定がMute Statusまたは Solo Statusのときの Parameter1 で選択すると、該 当の GPIO-OUT ポートからそのグループの MUTEまたは SOLOの状 態を出力します。

この画面は、メニュー画面 > Rear Panel Setup メニュー > 「GPIO Output Setup」のSTATUS OUT GROUPボタンをタップして表示 します。

MUTE Assign タブ 画面

GPIO-OUTタブ 画面のFunctionの設定がMute Statusのときの Parameter1で指定したGPIO-OUT Group1-8 にアサインするモ ジュールを選択します。





① GROUPボタン

GROUP番号を選択するボタンです。

② 選択タブ

選択したグループにアサインするモジュールタイプを選択する タブボタンです。 タップして選択したタブボタンがハイライト表示になります。

- ③ モジュールボタン
 - 選択したグループにアサインするモジュールを選択するボタンです。
 上段左側には、MODULE LABEL Subで設定したMODULE LABELを表示します。

下段には、MODULE LABEL Mainで設定したMODULE LABEL を表示します。(→ 132 ページ「DISPLAY MODEタブ画面」)

 このボタンをタップしてグループにアサインすると、ボタン がハイライト表示になります。

メモ

ホーム画面のMODULE LABELエリアと同様に、各ボタン上段 右側の上部にMute Groupへのアサイン状態を、下部にDCAへ のアサイン状態を表示します。(→21ページ「⑰ MODULE LABELエリア」)

④ CLEAR ALLボタン

このボタンをタップすると、選択した MUTE Assignの GROUP番 号の「INPUT」および「OUTPUT/DAC/MUTE Grp」のアサイン 状態をすべてクリアするか確認するメッセージを表示します。

🔊 stati	STATUS OUT GROUP SETUP X											
М	JTE Assign		SOLO	Assign		CLEAR ALL ?						
GROUP	GROUP GROUP 2 3		GROUP GROUP		GROUP	CANCEL	ок					
IN	PUT	OUTPUT/DO	CA/MUTE Grp				CLEAR ALL					
CH 1 CH 1	CH 2 CH 2	снз СН 3	CH 4 CH 4	CH 5	CH 6	сн7 CH 7	CH 8 CH 8					
снэ СН 9	CH 10 CH 10	CH 11 CH 11	CH 12 CH 12	CH 13 CH 13	CH 14 CH 14	CH 15 CH 15	CH 16 CH 16					
CH 17 CH 17	CH 18 CH 18	CH 19 CH 19	CH 20 CH 20	CH 21 CH 21	CH 22 CH 22	CH 23 CH 23	CH 24 CH 24					
CH 25 CH 25	CH 26 CH 26	CH 27 CH 27	CH 28 CH 28	CH 29 CH 29	CH 30 CH 30	CH 31	CH 32 CH 32					
CH 33 CH 33	CH 34 CH 34	CH 35 CH 35	CH 36 CH 36	CH 37 CH 37	CH 38 CH 38	CH 39 CH 39	CH 40 CH 40					
STIN 1 ST IN 1	STIN2 ST IN 2			FX RTN 1 FX RTN 1	FXRTN2 FX RTN 2	FX RTN 3 FX RTN 3	FX RTN 4					

OKボタンをタップすると、アサイン状態をすべてクリアにしま す。

SOLO Assign タブ 画面

GPIO-OUTタブ 画面のFunctionの設定がSolo Statusのときの Parameter1で指定したGPIO-OUT Group1-8にアサインするモ ジュールを選択します。

1							
STA	TUS OUT GI IUTE Assigr		UP SOLO	Assign			×
GROUP 1	GROUP 2	GROUP 3	GROUP 4	GROUP 5	GROUP 6	GROUP 7	GROUP 8
1	NPUT	OUTF	PUT/DCA				CLEAR ALE
CH 1	CH 2	сн з СН 3	CH4 CH4	CH 5	CH6 CH6	CH 7	CH 8 CH 8
сня СН 9	CH 10 CH 10	GH 11 CH 11	CH 12 CH 12	CH 13 CH 13	CH 14 CH 14	CH 15 CH 15	CH 16 CH 16
CH 17 CH 17	CH 18 CH 18	CH 19 CH 19	CH 20 CH 20	CH 21 CH 21	CH 22 CH 22	CH 23 CH 23	CH 24 CH 24
CH 25 CH 25	CH 26 CH 26	CH 27 CH 27	CH 28 CH 28	CH 29 CH 29	CH 30 CH 30	сн з1 СН 31	CH 32 CH 32
CH 33 CH 33	CH 34 CH 34	CH 35 CH 35	CH 36 CH 36	CH 37 CH 37	CH 38 CH 38	сн зэ СН 39	CH 40 CH 40
STIN1 ST IN 1	STIN2 ST IN 2			EXENTI EXENTI	FXRTN 2 FX RTN 2	FX RTN 3	EXRTN 4 FX RTN 4
1 •> sta	TUS OUT GI	ROUP SET	UP				×
N	1UTE Assigr	ı	SOLO	Assign			
GROUP 1	GROUP 2	GROUP 3	GROUP 4	GROUP 5	GROUP 6	GROUP 7	GROUP 8
Í I	NPUT	001	PUT/DCA				CLEAR ALL

① GROUPボタン

GROUP番号を選択するボタンです。

MIX 19-20

MTY 10

② 選択タブ

選択したグループにアサインするモジュールタイプを選択する タブボタンです。

MIX 13-14

MIX15-16 MIX 15-16

タップして選択したタブボタンがハイライト表示になります。

- ③ モジュールボタン
 - 選択したグループにアサインするモジュールを選択するボタンです。

上段左側には、MODULE LABEL Subで設定したMODULE LABELを表示します。

下段には、MODULE LABEL Mainで設定した MODULE LABEL を表示します。(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)

 このボタンをタップしてグループにアサインすると、ボタン がハイライト表示になります。

メモ

ホーム画面のMODULE LABELエリアと同様に、各ボタン上段 右側の上部にMute Groupへのアサイン状態を、下部にDCAへ のアサイン状態を表示します。(→ 29ページ「⑰ MODULE LABELエリア」)

④ CLEAR ALLボタン

このボタンをタップすると、選択した SOLO Assignの GROUP番 号の「INPUT」および「OUTPUT/DAC」のアサイン状態をすべ てクリアするか確認するメッセージを表示します。(→132ペー ジ「DISPLAY MODE タブ 画面」)

STAT	STATUS OUT GROUP SETUP ×												
м	JTE Assign		SOLO	Assign		CLEAR	ALL ?						
GROUP	GROUP	GROUP	GROUP	GROUP	GROUP	CANCEL	ок						
IN	PUT	OUTP	UT/DCA				CLEAR ALL						
сн1	CH2	снз	CH4	CH 5	CH6	сн7	CH8						
СН 1	CH 2	СН 3	CH 4		CH6	СН 7	CH 8						
CH 9	CH 10	GH 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	CH 16						
CH 9	CH 10	CH 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	CH 16						
CH 17	CH 18	CH 19	CH 20	CH 21	CH 22	CH 23	CH 24						
CH 17	CH 18	CH 19	CH 20	CH 21	CH 22	CH 23	CH 24						
CH 25	CH 26	CH 27	CH 28	CH 29	CH 30	CH 31	CH 32						
CH 25	CH 26	CH 27	CH 28	CH 29	CH 30	CH 31	CH 32						
CH 33	CH 34	CH 35	CH 36	CH 37	CH 38	CH 39	CH 40						
CH 33	CH 34	CH 35	CH 36	CH 37	CH 38	CH 39	CH 40						
STIN1 ST IN 1	STIN2 ST IN 2			FX RTN 1 FX RTN 1	FX RTN 2 FX RTN 2	FX RTN 3 FX RTN 3	FX RTN 4 FX RTN 4						

OKボタンをタップすると、アサイン状態をすべてクリアにしま す。

Layer Key SETUP タブ 画面

この画面では、LAYER KEYS 1-7 キーにチャンネルセットやカスタ ムレイヤーをアサインします。

この画面は、メニュー画面 > Front Panel Setup メニュー > 「Layer / Master Fader Setup」をタップして表示します。



[Sonicview 24のLayer Key SETUP画面]



[Layer Key SETUPのレイヤーキー設定画面]

① タブ画面選択ボタン

このボタンをタップすると、表示する画面が切り換わります。

 ② レイヤーキー名表示部
 LAYER KEYS 1-7 キーが選択されているときに点灯するキーの 色を選択します。
 このエリアをタップすると、カラーパレットウィンドウを表示

このエリアをダッフすると、カラーハレットワイントワを表示 します。



カラーパレットの色をタップすると、カラーパレットウィンド ウを閉じて、レイヤーキー名ボタンの色が変更されます。

③ レイヤーキー設定表示部

- LAYER KEYS 1-7 キーにアサインされているチャンネルセッ トやカスタムレイヤーを表示します。
- このエリアをタップすると、各レイヤーキーの設定画面に切り換わります。

④ ◀ / ■ボタン

このボタンをタップすると、編集対象のLAYER KEYS 1-7 キーが 切り換わります。

⑤ レイヤーキー名表示部

選択中のLAYER KEYS 1-7 キーの名前を表示します。

⑥ 🔲 ボタン

LAYER KEYS 1-7 キーが選択されているときに点灯するキーの 色を選択します。

このボタンをタップすると、カラーパレットウィンドを表示し ます。



カラーパレットの色をタップすると、カラーパレットウィンド を閉じて、レイヤーキー名表示部の色が変更されます。

⑦ 設定リスト表示

- LAYER KEYS 1-7 キーに設定可能なチャンネルセットやカス タムレイヤーが表示されます。
- 設定を変更するには、リスト表示を上下にスワイプします。
 LCD ノブ 8(青で点灯)を使って、設定を変更することもできます。
- 選択できる設定は、以下の通りです。

機種	選択肢
	CH 1-16
	CH 17-32
	CH 33-40 / ST IN / FX RTN
	MIX 1-16
	MIX 17-22 / MAIN L/R
	DCA
Sonicview 16	CUSTOM 1
	CUSTOM 2
	CUSTOM 3
	CUSTOM 4
	CUSTOM 5
	CUSTOM 6
	CUSTOM 7
	CH 1-24
	CH 25-40 / ST IN / FX RTN
	MIX 1-22 / MAIN L/R
	DCA
	CUSTOM 1
Sonicview 24	CUSTOM 2
	CUSTOM 3
	CUSTOM 4
	CUSTOM 5
	CUSTOM 6
	CUSTOM 7

⑧ CANCELボタン

このボタンをタップすると、変更した設定を破棄し、レイヤー 設定画面を閉じます。

⑨ APPLYボタン

このボタンをタップすると、変更した設定を確定し、レイヤー 設定画面を閉じます。

11 スクロールノブアイコン

LCDノブ8(水色で点灯)を用いてスクロールが可能であることを示すアイコンです。

LAYER KEYS 1-7 キーの初期設定

工場出荷時の設定は、以下の通りです。

Sonicview 16

+-	点灯色	割り当て機能
LAYER 1	青	CH 1-16
LAYER 2	青	CH 17-32
LAYER 3	青	CH 33-40 / ST IN / FX RTN
LAYER 4	オレンジ	MIX 1-16
LAYER 5	オレンジ	MIX 17-22 / MAIN L/R
LAYER 6	黄	DCA
LAYER 7	ピンク	CUSTOM 1

Sonicview 24

+-	点灯色	割り当て機能
LAYER 1	青	CH 1-24
LAYER 2	青	CH 25-40 / ST IN / FX RTN
LAYER 3	オレンジ	MIX 1-22 / MAIN L/R
LAYER 4	黄	DCA
LAYER 5	ピンク	CUSTOM 1
LAYER 6	ピンク	CUSTOM 2
LAYER 7	ピンク	CUSTOM 3

Custom Layer SETUP タブ 画面

この画面では、設定リスト内のカスタムレイヤーにアサインする モジュール群と、MASTERフェーダーにアサインするモジュールを 設定します。

この 画面は、メニュー画面 > Front Panel Setup メニュー > 「Layer / Master Fader Setup」をタップして Layer Key SETUP 画面を表示 し、Custom Layer SETUP タブをタップして表示します。



① タブ画面選択ボタン

このボタンをタップすると、表示する画面が切り換わります。

② カスタムレイヤー選択表示

- 編集対象のカスタムレイヤー名を表示します。
- この部分をタップすると、カスタムレイヤーを選択するウィンドウを表示します。



編集したいカスタムレイヤー名をタップすると、ウィンドウ を閉じ、選択したカスタムレイヤーにアサインされているモ ジュールの MODULE LABEL Subおよび MODULE LABEL Main (\rightarrow 132 ページ「DISPLAY MODEタブ 画面」) で設定された 表示モードの MODULE LABELをカスタムレイヤースロット ボタン(⑤)に表示します。

ウィンドウ内の「All Custom Layers」をタップすると、ウィンドウを閉じてALL Custom Layers表示に切り換わります。

•			Lay	er k	(ey	SET	UP	٦	С	ust	om	Lay	er :	SET	UP		All	Cus	tom	Lay	ers	-	×
			1	-8					9-16							17-	-24						
CH 1 CH 1	CH 2 CH 2	CH 3 CH 3	CH 4	CH 5	CH 6	CH 7 CH 7	CH 8 CH 8	CH 9 CH 9	CH 10 CH 10	CH 11 CH 11	CH 12 CH 12	CH 13 CH 13	CH 14	CH 15 CH 15	CH 16 CH 16	ST IN 1 ST IN 1	ST IN 2 ST IN 2	EXEIN1 EXEIN1	FXRTN2 FJRTN2	M15-16 M15-14	M17-1	M19-20	M21-22 0 M21-22
CYPTMS	CONTRA	CTPT/V3	ETPTM	DCA 1	DCA 2	DCA 3	DCA 4	MIX 1	MIX 2	MIX 3	MIX 4	MIX 5	MIX 6	MIX 7	MIX 8	MTY 9	MIX 10	M11.12	M13.14	M15.16	M12.13	M19.2/	M21.22
FARTN	FARTNA	FXRTNE	FXRTNA	DCA 1	DCA 2	DCA 3	DCA 4	MIX 1	MIX 2	MIX 3	MDX 4	MIX 5	MIX 6	MIX 7	MIX 8	MIX 9	MEX 10	M11-12	M13-14	M15-10	M17-1	M19-20	M21-22
DCA 1	DCA 2	DCA 3	DCA 4	DCA 5	DCA 6	DCA 7	DCA 8	MIX 1 MIX 1	MIX 2 MIX 2	MIX 3 MIX 3	MEX 4 MIX 4	MDX 5	MIX 6 MIX 6	MDX 7 MDX 7	MIX 8 MIX 8	MIX 9 MIX 9	MEX 10 MEX 10	M11-12 M11-12	M13-14	M15-16 M15-16	M17-1	M19-20	M21-22
		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•		
	•								•									•	•	•			

この表示では、7 つあるすべてのカスタムレイヤーにアサイ ンされたモジュールのMODULE LABEL SubおよびMODULE LABEL Main (\rightarrow 132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」) で設定された表示モードのMODULE LABELを1レイヤーに 1行ずつ表示します。

表示しているボタンをタップすると、タップしたカスタムレ イヤーの表示に切り換わります。

③ モジュール群の切り換えボタン

このボタンをタップすると、レイヤーにアサインするモジュー ル群の表示が切り換わります。

•	Layer	Key SETL	IP C	ustom La	yer SETUF	CUS	том 1	• ×
	MIX 1 MIX 1	MIX 2 MIX 2	MIX 3 MIX 3	MIX 4 MIX 4	MIX 5 MIX 5	MIX 6 MIX 6	MIX 7 MIX 7	MIX 8 MIX 8
INPUT	MIX 9 MIX 9	MIX 10 MIX 10	MIX 11-12 MIX 11-12		MIX 13-14 MIX 13-14		MIX 15-16 MIX 15-16	
BUS/ DCA	MIX 17-18 MIX 17-18		MIX 19-20 MIX 19-20		MIX 21-22 MIX 21-22			MAIN L/R MAIN L/R
	DCA 1 DCA 1	DCA 2 DCA 2	DCA 3 DCA 3	DCA 4 DCA 4	DCA 5 DCA 5	DCA 6 DCA 6	DCA 7 DCA 7	DCA 8 DCA 8
	1 CH 1 CH 1	2 CH 2 CH 2	3 H3 CH 3	4 4 CH 4 CH 5 CH 5	5 H 5 CH 6 CH 6	6 7 CH 7 CH 7	8 сн 8 СН 8	MASTER MAIN L/R MAIN L/R
=	1111	††††	* * * * * * *	†† ††	* * * * *		CANCEL	APPLY

④ モジュールボタン表示

- レイヤーにアサインするモジュール群のボタンです。
- モジュール群の切り換えボタンで選択したモジュール群を 表示します。

⑤ カスタムレイヤースロットボタン

編集対象のカスタムレイヤーにアサインされているモジュール のMODULE LABEL Subお よ びMODULE LABEL Main (\rightarrow 132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)で設定された表示モード のMODULE LABELを 8 チャンネル単位で表示します。モジュー ルがアサインされていない場合は、ブランク表示(----)に なります。

表示する8チャンネルはブロック選択ボタン(⑦)で切り換 えます。

⑥ 🖬 ボタン

このボタンをタップすると、カスタムレイヤーの編集メニュー を表示します。

	×				yer S			CUS	том	1		
	COPY LAYER	13		CH 4 CH 4		H 5	CH 6 CH	16	CH 7 Ch	17	CH 8 CH	8
		11	1	CH 12 CH 12		H 13	CH 14 CH	14	CH 15 CH	15	CH 16 CH	16
	CLEAR LAYER	1 19	9	CH 20 CH 20		H 21	CH 22 CH	22	CH 23 CH	23	CH 24 CH	24
		12	7	CH 28 CH 28	CH 25	H 29	CH 30 CH	30	CH 31 CH	31	CH 32 CH	32
		13	5	CH 36 CH 36		H 37	CH 38 CH	38	CH 39 CH	39	CH 40 CH	40
			J 1	fx rtn 2 FX RTN 2	FX RT	n 3 RTN 3		14 TN 4				
		F		4	5	6		7		8	MAU	STER
			CI		H 5		6	CH 7		CH 8		
=		Ŷ							CANO	EL	APP	LY

操作可能なメニュー項目がハイライト表示になります。

メニュー項目 内容 選択したカスタムレイヤーの設定状態 COPY LAYER をバッファーにコピーします。 _____ バッファーにコピーしたカスタムレイ PASTE LAYER ヤーの設定状態を選択したカスタムレ イヤーに貼り付けます。 選択したカスタムレイヤーの設定をす べてブランクにします。 CLEAR LAYER クリア実施前に確認メッセージを表示 します。 選択したスロットボタン(黄色枠表示) の位置にブランクを挿入します。 **INSERT BLANK** このとき、選択したスロットボタンお よび右側のスロットボタンにアサイン された内容は右側に移動します。 選択したスロットボタン(黄色枠表示) のアサインを削除し、選択スロット右 DELETE 側の設定が1つずつ左にずれます。 このとき右端のスロットボタンがブラ ンクになります。 選択したスロットボタン(黄色枠表示) CLEAR のアサインをブランクにします。 スロットボタンの移動はありません。

⑦ ブロック選択ボタン

- ●表示中の8チャンネルブロックの選択ボタンをハイライト表示します。
- このボタンをタップすると、カスタムレイヤースロットボタン(④)に表示する8チャンネルブロックの表示を切り換えます。
- ⑧ CANCELボタン

このボタンをタップすると、変更した設定を破棄します。

⑨ APPLYボタン

このボタンをタップすると、変更した設定を確定します。

10 --- ボタン

このボタンをタップすると、選択中(黄色枠表示)のスロット ボタンのアサインをブランクにします。

① MASTER スロットボタン

レイヤー選択状態に依存しないMASTERフェーダーにアサイ ンされているモジュール(初期値:MAIN L/R)のMODULE LABEL SubおよびMODULE LABEL Mainで設定された表示モー ドのMODULE LABELを表示します。(→132ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)

カスタムレイヤーのアサイン操作手順

カスタムレイヤースロットボタン ♦ モジュールボタンの順 に選択する場合

 アサインを変更したいカスタムレイヤースロットボタンを タップします。

選択すると黄色い枠が表示されます。

5	Layeı	· Key SETL	JP	Custon	n Layer :	SETUP	CUS	TOM 1	•	×
	CH 1 CH 1	CH 2 CH 2	сн з СН 3	CH 4	CH 5	:H 5	сн 6 СН 6	сн 7 CH 7	CH 8 CH 8	
INPUT	сн 9 СН 9	<u>сн 10</u> СН 10	CH 11 CH 11	CH 12 1 CH	CH 1 12 C	3 I H 13	CH 14 CH 14	CH 15 CH 15	сн 16 CH 16	5
	CH 17 CH 17	CH 18 CH 18	CH 19 CH 19	СН 20 О СН	сн 2 20 С	H 21	сн 22 CH 22	сн 23 СН 23	CH 24 CH 24	
BUS/ DCA	CH 25 CH 25	сн 26 СН 26	CH 27 CH 27	сн 28 7 СН	28 CH 2	9 H 29	сн 30 СН 30	сн 31 CH 31	сн 32 СН 32	2
	сн 33 СН 33	сн 34 СН 34	CH 35 CH 35	сн 36 5 СН	сн з 36 С	7 H 37	CH 38 CH 38	сн 39 CH 39	сн 40 СН 40)
	ST IN 1 ST IN 1	ST IN 2 ST IN 2	FX RTN 1 FX RTN	FX RTN	2 FXR TN2 FX	rn 3 RTN 3	fx rtn 4 FX RTN 4			
	1	2	3	4	5	6	7		MAST	ER
	CH 1	CH 2	СН З	СН 4	CH 5	CH 6	сн 7		MAIN	./R
	††††	1111	††††	* * * *	††††	îîî	1	CANCER	APPLY	(

2. 選択したスロットにアサインしたいモジュールボタンをタップします。

手順 1. で選択したカスタムレイヤースロットに、タップした モジュールがアサインされます。



 APPLYボタンをタップすると、変更した設定を確定します。 CANCELボタンをタップすると、変更した設定を破棄します。

モジュールボタン ♦ カスタムレイヤースロットボタンの順 に選択する場合

 アサインしたいモジュールボタンをタップします。 選択すると黄色い枠が表示されます。

•	Layer	· Key SETL	JP C	ustom Lay	er SETUP	CUS	том 1	• ×
	сн 1	CH 2	сн з	CH 4	сн 5	сн 6	сн 7	CH 8
	СН 1	CH 2	СН 3	CH 4	СН 5	СН 6	СН 7	CH 8
INPUT	сн 9	CH 10	CH 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	CH 16
	СН 9	CH 10	CH 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	CH 16
	CH 17	CH 18	CH 19	CH 20	сн 21	CH 22	CH 23	сн 24
	CH 17	CH 18	CH 19	CH 20	CH 21	CH 22	CH 23	CH 24
BUS/	CH 25	CH 26	CH 27	CH 28	сн 29	сн 30	CH 31	сн 32
DCA	CH 25	CH 26	CH 27	CH 28	CH 29	СН 30	CH 31	СН 32
	сн 33	CH 34	сн 35	сн 36	сн 37	CH 38	сн 39	сн 40
	CH 33	CH 34	CH 35	СН 36	CH 37	CH 38	СН 39	СН 40
	ST IN 1 ST IN 1	ST IN 2 ST IN 2	FX RTN 1 FX RT	FX RTN 2	FX RTN 3 FX RTN 3	FX RTN 4 FX RTN 4		
	1 CH 1	2 CH 2 C	З НЗ СН	$\langle \rangle$	5 6 CH 6	7 CH 7	8 CH 8	
	CH 1	CH 2	СНЗ	сн 4 🔶 сн	і 5 сн	6 СН 7	СН 8	MAIN L/R
=	† †††	1111		†††		Î	CANCEL	APPLY

 選択したモジュールをアサインしたいカスタムレイヤース ロットボタンをタップします。
 手順1.で選択したモジュールが、タップしたカスタムレイヤー スロットにアサインされます。

5	Layer	· Key SETL		ustom Lay	/er SETUP	CUS	STOM 1	v ×
	сн 1	CH 2	сн з	CH 4	сн 5	сн 6	сн 7	CH 8
	СН 1	CH 2	СН 3	CH 4	СН 5	СН 6	СН 7	CH 8
INPUT	сн 9	сн 10	сн 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	сн 16
	СН 9	CH 10	CH 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	CH 16
BUG	сн 17	CH 18	сн 19	сн 20	CH 21	сн 22	CH 23	CH 24
	CH 17	CH 18	CH 19	СН 20	CH 21	CH 22	CH 23	CH 24
DCA	сн 25	сн 26	сн 27	CH 28	сн 29	сн 30	CH 31	CH 32
	CH 25	CH 26	CH 27	CH 28	CH 29	СН 30	CH 31	CH 32
	сн 33	CH 34	сн 35	сн 36	сн 37	сн 38	сн 39	<u>сн 40</u>
	CH 33	CH 34	CH 35	CH 36	CH 37	CH 38	CH 39	СН 40
	ST IN 1 ST IN 1	ST IN 2 ST IN 2	FX RTN 1 FX RTN 1	FX RTN 2 FX RTN 2	FX RTN 3 FX RTN 3	FX RTN 4 FX RTN 4		
	1	2	3	4	5 6	7	8	MASTER MAIN L/R
	СН 1	СН 2	СН 3 (CH 4 CH	15 СН	6 FX RT	(a)	MAIN L/R
=	†††	††††	i i i i i i	î î î î	îîîî	1	CAI	APPLY

 APPLYボタンをタップすると、変更した設定を確定します。 CANCELボタンをタップすると、変更した設定を破棄します。

メモ

いずれの場合も、手順1. で複数のボタンを選択すると、一括で連続してアサインすることができます。

TALKBACKの設定

TALKBACKの設定は、TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP 画面のTALKBACKタブ画面で行います。

この画面は、メニュー画面 > Mixer Setup メニュー > 「Talkback / Monitor / Solo / OSC」をタップして表示します。



[TALKBACK信号の入力ソースが「TALKBACK IN」のときのタブ画 面表示]

メモ

- この画面は、MENUキーを押しながらTALKBACKキーを押すことでも表示できます。(→ 334ページ「第16章 ショートカット操作の一覧表」)
- この画面は、User Defined Control機能によりUSER KEYSや FOOTSWITCH、GPIO-INで表示することもできます。(→54 ページ「USER DEFINED CONTROLS画面」)
- レベルメーターの最上部は、オーバーロードインジケーターです。

① INPUT SELボタン

- TALKBACK信号の入力ソース名を表示します。
 上段には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。
 下段には、USER PORT LABELを表示します。
 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL
 を表示します。
- このボタンをタップすると、TALKBACK信号の入力ポートを 選択するTALKBACK INPUT SELECT画面に切り換わります。



この画面は、ST INおよび Player/TB ページにて「TALKBACK IN」を選択できる点を除き、INPUT SOURCE SELECT画面と 表示内容および操作方法は同じになります。 詳細については、149 ページ「INPUT SOURCE SELECT画面」

計細については、149 パージ「INPUT SOURCE SELECT画面」 をご参照ください。

② LOCATION設定ボタン

- TALKBACKマイクのLocation設定を表示します。
- この部分をタップすると、Location設定メニューを表示しま す。



ボタン	内容
CR(初期値)	TALKBACK マイクの Locationを CR (Control Room)に設定します。
ST	TALKBACKマイクのLocationをST (Studio)に設定します。
NONE	TALKBACK マイクの Locationを未設定にします。

③ +48Vボタン

- TALKBACK信号の入力ソースにファンタム電源を供給するためのボタンです。
- +48Vボタンを押し続けると、ファンタム電源のオン/オフ が切り換わります。(初期値:OFF)
- オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。
- INPUT SELボタンに表示されている入力が「ANALOG」、「内蔵 Dante経由で接続された SB-16D」または「TALKBACK IN」の時だけ表示されます。
- TALKBACK信号の入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合 は、黒いボタンで表示されて操作できません。
- ④ PADボタン
 - TALKBACK信号の入力ソースが「ANALOG」または「内蔵 Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、PADボタンを表 示します。
 - このボタンをタップすると、-20dBのパッドのオン/オフが 切り換わります。(初期値:オフ) このボタンがオンのとき、ボタンがハイライト表示になりま す。
 - TALKBACK信号の入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合 は、黒いボタンで表示されて操作できません。

⑤ Analog GAIN ノブ

- TALKBACK信号の入力ソースが「ANALOG」または「内蔵 Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、本機またはSB-16DのAnalog GAIN ノブが表示され、MIC/LINE入力端子から の入力レベルを調節します。
 - LCDノブ1(赤色で点灯)を使って調節します。
- TALKBACK信号の入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合 は、黒いノブで表示されて操作できません。

メモ

TALKBACK INのアナログ入力レベルは、トップパネルの TALKBACKボリュームで調節します。(→12ページ「⑳ TALKBACKボリューム」)

⑥ D.TRIMノブ

TALKBACK信号のデジタルトリム値を調節します。 設定範囲:-20dB~+20dB(初期値:0dB)

LCDノブ2(赤色で点灯)を使って調節します。

⑦ TALKBACK レベルメーター

TALKBACK信号の入力レベルを表示します。

⑧ DIM TARGET ノブ

 TALKBACKがオンのときの、TALKBACK信号が割り込まれる TARGET信号の減衰量を調節します。

設定範囲:– 40dB~ 0dB(初期値:– 20dB)

LCDノブ4(赤色で点灯)を使って調節します。

 いずれかのTARGETボタンがオンで、TARGET信号にDIM TARGETノブで設定したDIMが掛かっているとき、このエリ アにオレンジ色の「DIM」が表示されます。

メモ

RETURN TALKBACKタブ 画面の 88 ページ「⑧ DIM TARGET ノブ」と共通の設定です。

⑨ DIM MON 1 ノブ/ DIM MON 2 ノブ

 TALKBACKがオンのときの、MONITOR 1 および MONITOR 2 の減衰量を調節します。

設定範囲:- 40dB~ 0dB(初期値:- 20dB)

LCDノブ 5/6(赤色で点灯)を使って調節します。

- TALKBACKがオンでMON1にDIM MON1ノブで設定した DIMが掛かっているとき、DIM MON1のエリアにオレンジ 色の「DIM」が表示されます。
- TALKBACKがオンでMON2にDIM MON2ノブで設定した DIMが掛かっているとき、DIM MON2のエリアにオレンジ 色の「DIM」が表示されます。
- MONITOR 1 および MONITOR 2 の Location設定が「CR」または「ST」の場合、DIM MON 1 / DIM MON 2 ノブエリアの 右上に「CR」または「ST」を表示します。

メモ

RETURN TALKBACKタブ 画面の 88 ページ「⑨ DIM MON 1 ノ ブ/ DIM MON 2 ノブ」と共通の設定です。

10 TARGET ボタン

- バスモジュールのボタンをタップして、TALKBACK信号を割り込ませるバスを選択します。(初期値:オフ)
- •割り込み先に選択したボタンがハイライト表示になります。
- MON 1 / MON 2 ボタンをタップすると、TALKBACK信号を MONITOR 1 / MONITOR 2 に出力します。
- MONITOR 1 および MONITOR 2 の Location設定が「CR」または「ST」の場合、MON 1 / MON 2 ボタンに「CR」または「ST」を表示します。
- EXT1ボタンをタップすると、TALKBACK信号をEXT1OUT ボタンにアサインされている出力ポートに出力します。
- EXT 2 ボタンをタップすると、TALKBACK信号をEXT 2 OUT ボタンにアサインされている出力ポートに出力します。

メモ

- バスモジュールのボタンには、上段にMODULE LABEL Sub を、下段にMODULE LABEL Mainで設定された表示モードの MODULE LABELを表示します。(→132ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
- ステレオバスでは、ペアでボタンが1つになります。
- このボタンをタップすると、オン/オフを切り換えます。ボ タンを押し続けると、押している間だけオン状態になります。

① SELECTED ASSIGN ボタン

 このボタンをタップすると、SELECTEDボタンを押したとき にTALKBACK出力をオンにしたい出力先を選択するウィンド ウを表示します。

•				SC SETU					
	TALKBACK	RET	URN TALKBACK	N					
	UT SEI		TARGET						
TB IP Tal	MIX 1 MIX 1 MIX 5 MIX 5 MIX 5	MIX 2 MIX 2 MIX 6 MIX 6	MEX 3 MIX 3 MEX 7 MIX 7 MIX 7	IIX 4 MIX 4 IIX 8 MIX 8	MON 1		ASSIGN SELECTED OFF	 ASSIGN TALKBACK OFF 	N
()	MIX 9 MIX 9 MIX 13-14 MIX 13-14 MIX 13-14	MEX 10	MIX 11-12 MIX 11-12 MIX 15-16 MIX 15-16		MON 2 EXT 1	ŀ			
	MIX 17-18 MIX 17-18 MIX 21-22 MIX 21-22		MIX 19-20	IAIN L/R MAIN L/R	EXT 2				
	0	0 23-	(b -20	0	-20	-20 dB	0.00	. 0	

選択肢をタップして、TALKBACK信号の出力先を選択します。 (初期値:オフ)

出力先に選択したボタンがハイライト表示になります。

- MONITOR 1 および MONITOR 2 の Location設定が「CR」または「ST」の場合、MON 1 / MON 2 ボタンに「CR」または「ST」を表示します。
- 選択ウィンドウを表示中にこのボタンをタップすると、設定 を確定しウィンドウを閉じます。

メモ

ステレオバスでは、ペアでボタンが1つになります。

¹² SELECTEDボタン

このボタンをタップして、SELECTED ASSIGNボタンで表示す るウィンドウで選択した出力先へのTALKBACKのオン/オフを 切り換えます。

このボタンがオンのとき、設定したボタンがハイライト表示に なります。

メモ

このボタンをタップすると、オン/オフを切り換えます。ボタンを押し続けると、押している間だけON状態になります。

13 TALKBACK KEY ASSIGN ボタン

 このボタンをタップすると、トップパネルのTALKBACKキー やTALKBACK KEYボタンを押したときにTALKBACK出力をオ ンにしたい出力先を選択するウィンドウを表示します。



選択肢をタップして、出力先を選択します。(初期値:オフ) 出力先に選択したボタンがハイライト表示になります。

- MONITOR 1 および MONITOR 2 の Location 設定が「CR」または「ST」の場合、MON 1 / MON 2 ボタンに「CR」または「ST」を表示します。
- 選択ウィンドウを表示中にこのボタンをタップすると、設定 を確定しウィンドウを閉じます。

14 TALKBACK KEYボタン

このボタンをタップして、TALKBACK KEY ASSIGNボタンで表 示するウィンドウで選択した出力先へのTALKBACKのオン/オ フを切り換えます。(初期値:OFF) オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

- トップパネルの TALKBACK キーと同じ働きをします。
- このボタンをタップすると、ON / OFFを切り換えます。ボ タンを押し続けると、押している間だけON状態になります。
- TALKBACKのオン/オフの切り換えは、User Defined Control機能によりUSER KEYやFOOTSWITCH、GPIO-INで 操作できます。(→54ページ「USER DEFINED CONTROLS 画面」)

15 EXT 1 OUT ボタン/ EXT 2 OUT ボタン

- EXT 1 OUTボタンまたはEXT 2 OUTボタンにアサインされて いる出力ポート名を表示します。
 上段には、省略されたFIXED PORT LABELを表示します。
 下段には、USER PORT LABELを表示します。
 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。
- このボタンをタップすると、TALKBACK信号の出力ポートを 選択するTALKBACK EXT1 DIRECT OUT PORT SELECT画面お よびTALKBACK EXT2 DIRECT OUT PORT SELECT画面に切り 換わります。

5 TALKB	ACK EXT1	DIRECT C	OUT PORT S	SELECT				×
🔒 LOCK	ANALOG OUTPUT		Dante	SLOT 1 (IF-ST2110)	SLOT 2 (None)	USB OUT		
AN 1 * ANALOG 1	AN 2 * ANALOG 2	AN 3 * ANALOG 3	AN 4 * ANALOG 4	AN 5 * ANALOG 5	AN 6 * ANALOG 6	AN 7 * ANALOG 7	AN 8 * ANALOG 8	
AN 9 * ANALOG 9	AN 10 * ANALOG10	AN 11 * ANALOG11	AN 12 * ANALOG12	AN 13 * ANALOG13	AN 14 * ANALOG14	AN 15 * ANALOG15	AN 16 * ANALOG16	

[TALKBACK EXT1 DIRECT OUT PORT SELECT画面]

5	TALKB	ACK EXT2	DIRECT O	UT PORT	SELECT				×
ô	LOCK	ANALOG OUTPUT		Dante	SLOT 1 (IF-ST2110)	SLOT 2 (None)	USB OUT		
DA	1 * Dante 1	DA 2 * Dante 2	DA 3 * Dante 3	DA 4 * Dante 4	DA S * Dante 5	DA 6 * Dante 6	DA 7 * Dante 7	DA 8 7 Dante 8	
DA	9 * Dante 9	DA 10 * Dante 10	DA 11 * Dante 11	DA 12 * Dante 12	DA 13 * Dante 13	DA 14 * Dante 14	DA 15 * Dante 15	DA 16 Dante 16	
DA D	17 * ante 17	DA 18 * Dante 18	DA 19 * Dante 19	DA 20 * Dante 20	DA 21 * Dante 21	DA 22 * Dante 22	DA 23 Dante 23	DA 24 Dante 24	
DA D	25 ante 25	DA 26 Dante 26	DA 27 Dante 27	DA 28 Dante 28	DA 29 Dante 29	DA 30 Dante 30	DA 31 * Dante 31	DA 32 Dante 32	Ļ
				_	_				٣Ô

[TALKBACK EXT2 DIRECT OUT PORT SELECT画面]

この画面は、OUTPUT PORT SELECT画面と表示内容および 操作方法は同じになります。

詳細については、157 ページ「OUTPUT PORT SELECT画面」 をご参照ください。

16 EXT 1 VOL. ノブ/ EXT 2 VOL. ノブ

EXT 1 ボタンまたは EXT 2 ボタンにアサインされている出力ポートへの TALKBACK信号の出力レベルを 調節します。

設定範囲:-∞dB~+10dB(初期値:0dB)

LCDノブ7/8(緑色で点灯)を使って調節します。

RETURN TALKBACKの設定

RETURN TALKBACKの設定は、TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面のRETURN TALKBACK タブ画面で行います。 この画面は、メニュー画面 > Mixer Setup メニュー > 「Talkback / Monitor / Solo / OSC」をタップして表示します。



[TALKBACK信号の入力ソースが「ANALOG 1」のときのタブ画面表示]

① INPUT SELボタン

- RETURN TALKBACK信号の入力ソース名を表示します。
 上段には、省略されたFIXED PORT LABELを表示します。
 下段には、USER PORT LABELを表示します。
 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。
- このボタンをタップすると、RETURN TALKBACK信号の入力 ポートを選択する RETURN TALKBACK INPUT SELECT画面に 切り換わります。

5	RETUR	N TALKB	ACK INPU	T SELECT					×
ß	LOCK	ANALOG INPUT	ST IN Player/TB	Dante	SLOT 1 (IF-ST2110)	SLOT 2 (None)	USB IN		
Â	N 1 NALOG 1	AN 2 ANALOG 2	AN 3 ANALOG 3	AN 4 ANALOG 4	AN 5 ANALOG 5	AN 6 ANALOG 6	AN 7 ANALOG 7	AN 8 ANALOG 8	5
A	N 9 NALOG 9	AN 10 ANALOG10	AN 11 ANALOG11	AN 12 ANALOG12	AN 13 ANALOG13	AN 14 ANALOG14	AN 15 ANALOG15	AN 16 ANALOG1	6
A	N 17 NALOG17	AN 18 ANALOG18	AN 19 ANALOG19	AN 20 ANALOG20	AN 21 ANALOG21	AN 22 ANALOG22	AN 23 ANALOG23	AN 24 ANALOG24	4

この画面は、ST INおよび Player/TB ページにて「TALKBACK IN」を選択できる点を除き、INPUT SOURCE SELECT画面と 表示内容および操作方法は同じになります。

詳細については、149 ページ「INPUT SOURCE SELECT画面」 をご参照ください。

LOCATION設定ボタン

- RETURN TALKBACKマイクのLocation設定を表示します。
- この部分をタップすると、Location設定メニューを表示しま す。



ボタン	内容
CR	RETURN TALKBACK マイクの Locationを CR(Control Room)に設定します。
ST(初期値)	RETURN TALKBACK マイクの Locationを ST(Studio)に設定します。
NONE	RETURN TALKBACK マイクの Locationを未 設定にします。

③ +48Vボタン

- RETURN TALKBACK信号の入力ソースにファンタム電源を 供給するためのボタンです。
- +48Vボタンを押し続けると、ファンタム電源のオン/オフ が切り換わります。(初期値:OFF)
- オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。
- INPUT SELボタンに表示されている入力が「ANALOG」、「内蔵 Dante経由で接続された SB-16D」または「TALKBACK IN」の時だけ表示されます。
- RETURN TALKBACK信号の入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合は、黒いボタンで表示されて操作できません。

④ PADボタン

- RETURN TALKBACK信号の入力ソースが「ANALOG」または 「内蔵 Dante経由で接続された SB-16D」のとき、PADボタン を表示します。
- このボタンをタップすると、-20dBのパッドのオン/オフが 切り換わります。(初期値:オフ) このボタンがオンのとき、ボタンがハイライト表示になりま す。
- RETURN TALKBACK信号の入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合は、黒いボタンで表示されて操作できません。

⑤ Analog GAIN ノブ

- RETURN TALKBACK信号の入力ソースが「ANALOG」または「内蔵 Dante経由で接続された SB-16D」のとき、本機またはSB-16Dの Analog GAIN ノブが表示され、MIC/LINE入力端子からの入力レベルを調節します。
 LCD ノブ1(赤色で点灯)を使って調節します。
- RETURN TALKBACK信号の入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合は、黒いノブで表示されて操作できません。

メモ

TALKBACK INのアナログ入力レベルは、トップパネルの TALKBACKボリュームで調節します。(→12ページ「⑳ TALKBACKボリューム」)

⑥ D.TRIMノブ

RETURN TALKBACK信号のデジタルトリム値を調節します。 設定範囲:- 20dB~+20dB(初期値:0dB)

LCDノブ2(赤色で点灯)を使って調節します。

⑦ TALKBACK レベルメーター

RETURN TALKBACK信号の入力レベルを表示します。

⑧ DIM TARGET ノブ

 TALKBACKがオンのときの、TALKBACK信号が割り込まれる TARGET信号の減衰量を調節します。

設定範囲:– 40dB~ 0dB(初期値:– 20dB)

LCDノブ5(赤色で点灯)を使って調節します。

 いずれかのTARGETボタンがオンで、TARGET信号にDIM TARGETノブで設定したDIMが掛かっているとき、このエリ アにオレンジ色のDIMボタンが表示されます。

メモ

TALKBACKタブ 画 面 の 85 ページ「⑧ DIM TARGET ノブ」と 共通の設定です。

⑨ DIM MON 1 ノブ/ DIM MON 2 ノブ

● TALKBACKがオンのときの、MONITOR 1 および MONITOR 2 の減衰量を調節します。

設定範囲:- 40dB~ 0dB(初期値:- 20dB)

LCDノブ 5/6(赤色で点灯)を使って調節します。

- TALKBACKがオンでMON1にDIM MON1ノブで設定した DIMが掛かっているとき、DIM MON1のエリアにオレンジ 色のDIMボタンが表示されます。
- TALKBACKがオンでMON2にDIM MON2ノブで設定した DIMが掛かっているとき、DIM MON2のエリアにオレンジ 色のDIMボタンが表示されます。
- MONITOR 1 および MONITOR 2 の Location設定が「CR」または「ST」の場合、DIM MON 1 / DIM MON 2 ノブエリアの 右上に「CR」または「ST」を表示します。

メモ

TALKBACKタブ 画面の 85 ページ「⑨ DIM MON 1 ノブ/ DIM MON 2 ノブ」と共通の設定です。

10 TARGETボタン

- このボタンをタップして、RETURN TALKBACK信号を割り込ませる対象を選択します。(初期値:オフ)
- •割り込み先に選択したボタンがハイライト表示になります。
- MON 1 / MON 2 ボ タ ン を タ ッ プ す る と、RETURN TALKBACK信号をMONITOR 1 / MONITOR 2 に出力します。
- MONITOR 1 および MONITOR 2 の Location 設定が「CR」または「ST」の場合、MON1/MON2 ボタンに「CR」または「ST」を表示します。
- EXT OUTボタンをタップすると、RETURN TALKBACK信号を RTB EXT.OUTボタンにアサインされている出力ポートに出 力します。
- SOLOボタンをタップすると、RETURN TALKBACK信号を SOLOバスに出力します。

メモ

このボタンをタップすると、オン/オフを切り換えます。ボタ ンを押し続けると、押している間だけオン状態になります。

① SELECTED ASSIGN ボタン

 このボタンをタップすると、SELECTEDボタンを押したとき にRETURN TALKBACK出力をオンにしたい出力先を選択す るウィンドウを表示します。



選択肢をタップして、RETURN TALKBACK信号の出力先を選 択します。(初期値:オフ)

出力先に選択したボタンがハイライト表示になります。

- MONITOR 1 および MONITOR 2 の Location設定が「CR」ま たは「ST」の場合、MON 1 / MON 2 ボタンに「CR」または「ST」 を表示します。
- 選択ウィンドウを表示中にこのボタンをタップすると、設定 を確定しウィンドウを閉じます。

12 SELECTEDボタン

このボタンをタップして、SELECTED ASSIGNボタンで表示す るウィンドウで選択した出力先へのRETURN TALKBACKのオン /オフを切り換えます。

このボタンがオンのとき、設定したボタンがハイライト表示に なります。

メモ

このボタンをタップすると、オン/オフを切り換えます。ボタ ンを押し続けると、押している間だけON状態になります。

13 RTB EXT.OUT ボタン

- RETURN TALKBACK信号がアサインされている出力ポート名を表示します。
 上段には、省略されたFIXED PORT LABELを表示します。
 下段には、USER PORT LABELを表示します。
 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABELを表示します。
- このボタンをタップすると、RETURN TALKBACK信号の出力 ポートを選択する Return TALKBACK EXT DIRECT OUT PORT SELECT画面に切り換わります。



この画面は、OUTPUT PORT SELECT画面と表示内容および 操作方法は同じになります。

詳細については、157 ページ「OUTPUT PORT SELECT画面」 をご参照ください。

MONITOR出力の設定

MONITOR出力の設定は、TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面のMONITOR 1 / 2 タブ画面で行います。 この画面は、メニュー画面 > Mixer Setup メニュー > 「Talkback / Monitor / Solo / OSC」をタップして表示します。



① SELボタン

- このボタンは、MONITOR1 / MONITOR2をラージモニター /スモールモニターとして使用する際の切り換えに利用し ます。
- 追加設定ウィンドウ(→94ページ)のMonitor Exclusive ボタンが「オン」のときは、このボタンがハイライト表示に なり、◀または▶が点灯し、このボタンを操作できます。 この状態でこのボタンをタップすると、MONITOR 1 および MONITOR 2 の出力を排他的に選択し、ボタンの左右にある
 ◀ / ▶の表示が切り換わります。

	MONITOR 1 の MUTEボタン	MONITOR 2 の MUTE ボタン
◀点灯時	オフ	オン
▶点灯時	オン	オフ

Monitor Exclusiveボタンが「オフ」のときはこのボタンがグレーアウト表示になり、
 ✓ ▶が表示されず、このボタンを操作できません。



② 🖸 アイコン

このアイコンをタップすると、追加設定ウィンドウを表示しま す。(→94 ページ「追加設定ウィンドウ」)

③ MUTEボタン(MONITOR 1)

このボタンをタップして、モニター信号のMUTEのオン/オフ を切り換えます。(初期値:オフ) オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

- PHONES端子の出力は、MUTEされません。
- Monitor Exclusive機能やLocation機能によりMONITOR1が MUTEされている場合は、このボタンをタップしてもMUTE を解除できません。
- Monitor MUTEは、User Defined Control機能によりUSER KEYSやFOOTSWITCH、GPIO-INで操作できます。(→54 ページ「USER DEFINED CONTROLS画面」)
- MONITOR 1 の MUTEは、User Key タブ 画面の工場出荷時の 設定であらかじめ以下の USER KEYSにアサインされています。
 - USER KEYS C (Monitor | MONITOR1 | MUTE)

④ アイコン (MONITOR 1)

このアイコンをタップすると、MONITOR 1 SOURCE ASSIGN 画面に切り換わります。(→93ページ「MONITOR SOURCE ASSIGN画面」)

⑤ MON 2 FOLLOWボタン

このボタンをタップして、MONITOR 2 のモニター信号を MONITOR 1 でモニターする機能のオン/オフを切り換えます。 (初期値:オフ)

オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

⑥ MONITOR SELECTボタン(MONITOR 1)

- MONITOR 1 SOURCE ASSIGN画面で選択したモニターソース名を表示します。(→93ページ「MONITOR SOURCE ASSIGN画面」)
- このボタンには、上段にLチャンネルのモニターソース名を、 下段にRチャンネルのモニターソース名を表示します。
 選択したモニターソースがバスモジュールの場合、USER MODULE LABELを表示します。(→132ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
 USER MODULE LABELが未定義の場合は、FIXED MODULE

LABELを表示します。 選択したモニターソースが入力端子の場合、PORT LABELの 表示モード設定で選択されたPORT LABELを表示します。(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)

 マウント済みSB-16DのアサインされたDanteポートをモニ ターソースに選択している場合、ボタン上に「SB #[ID] ポー ト番号」と表示します。また、バーチャルマウントされた SB-16Dの場合は、モニターソース名の右に Øマークを表示 します。



- このボタンをタップすると、以下の端子から出力するモニ ターソースを選択します。
 - フロントパネルのヘッドホン端子
 - リアパネルの MONITOR OUT L / R端子
 - MONITOR 1 Direct OUT PORT (→ 94 ページ「⑥ Direct OUT PORTボタン (MONITOR 1)」)

- MONITOR 1のADDボタンがオフの状態でこのボタンをタッ プすると、モニターソースを1つだけ選択します。選択した ボタンが水色でハイライト表示になります。
- MONITOR 1 の ADD ボタンがオンの状態でこのボタンをタップすると、モニターソースを複数選択できます。これにより、 選択した複数のモニターソースをミックスしてモニターできます。選択したボタンが黄緑色でハイライト表示になります。
- バーチャルマウントされたSB-16DがアサインされたDante ポートのモニターセレクトボタンを選択した場合は、選択し たボタンが黄色でハイライト表示になります。



メモ

- モニターソースとしてバスを選択した場合、本機からの出 力音声をモニターします。選択したバスのMetering Pointの 設定が「OUTPUT」で、出力ポートにアサインしていない(本 機から外部に出力していない)状態では、モニターも無音 になります。バスのAFLをモニターしたい場合は、SOLO機 能をご利用ください。
- MONITOR SELECT1-6 は、User Defined Control機能により USER KEYSやFOOTSWITCH、GPIO-INで操作できます。(→ 54 ページ「USER DEFINED CONTROLS画面」)

MONITOR SELECT1-4 は、User Keyタブ画面の工場出荷時 の設定であらかじめ以下のUSER KEYSにアサインされてい ます。

- USER KEYS A (Monitor | MONITOR 1 | Source select | 1 (MAIN L/R))
- USER KEYS B (Monitor | MONITOR 1 | Source select | 2 (MIX 15-16))
- USER KEYS D (Monitor | MONITOR 1 | Source select | 3 (MIX 1))
- USER KEYS E (Monitor | MONITOR 1 | Source select | 4 (MIX 11-12))

⑦ ADDボタン (MONITOR 1)

このボタンをタップして、MONITOR 1 の ADD機能(同時に複 数のモニターソースを選択する機能)のオン/オフを切り換え ます。(初期値:オフ)

オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

⑧ PFL to MON 1 / AFL to MON 1 ボタン

このボタンをタップして、MONITOR 1 のモニター信号を SOLO 信号に切り換えるかどうかを設定します。(初期値:オン) オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

ボタン	内容
PFL to MON 1	SOLO TYPEが「PFL」のときに SOLOをオンに すると、MONITOR 1 のモニター信号が SOLO 信号に切り換わります。
AFL to MON 1	SOLO TYPEが「AFL」のときに SOLOをオンに すると、MONITOR 1 のモニター信号が SOLO 信号に切り換わります。

メモ

両方のボタンをオフにすると、SOLOキーを押しても MONITOR 1から SOLOの音声が出力されなくなります。そのため、注意 喚起として PFL to MON 1ボタン上部のエリアに「SOLO signal is not output from Monitor1」と表示されます。



⑨ DIM LEVELノブ (MONITOR 1)

MONITOR 1のDIM機能がオンのときのモニター信号の減衰量を 調節します。

設定範囲:-40dB~0dB(初期值:-20dB)

LCDノブ3(赤色で点灯)を使って調節します。

10 DIMボタン (MONITOR 1)

このボタンをタップして、モニター信号のDIM機能のオン/オ フを切り換えます。(初期値:オフ) MONITOR 1のDIM機能を「オン」にすると、DIM LEVEL(⑨) の設定にしたがってモニター信号の出力レベルが下がります。

オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

- このボタンは、MONITOR OUT L / R端子とPHONES端子の 両方の出力信号に機能します。
- このボタンをタップすると、オン/オフを切り換えます。ボ タンを押し続けると、押している間だけオン状態になります。
- MONITOR 1のDIM機能は、User Defined Control機能により USER KEYやFOOTSWITCH、GPIO-INで操作できます。(→ 54ページ「USER DEFINED CONTROLS画面」)

MONITOR 1のDIM機能は、User Keyタブ画面の工場出荷時の設定であらかじめ以下のUSER KEYSにアサインされています。

• USER KEYS F (Monitor | MONITOR 1 | DIM)

① STEREO / MONOボタン (MONITOR 1)

このボタンをタップして、モニター信号のモノ/ステレオを切 り換えます。(初期値:STEREO) 選択したボタンがハイライト表示になります。

12 MONITOR SELECTボタン(MONITOR 2)

- MONITOR 2 SOURCE ASSIGN画面で選択したモニターソー ス名を表示します。(→93ページ「MONITOR SOURCE ASSIGN画面」)
- このボタンをタップすると、以下の端子から出力するモニ ターソースを選択します。
 - MONITOR 2 Direct OUT PORT (→ 95 ページ「⑦ Direct OUT PORTボタン (MONITOR 2)」)
 - MONITOR 2 OUTPUT PORT (→ 95 ページ「⑩ OUTPUT PORTボタン (MONITOR 2)」)
- MONITOR 2のADDボタンがオフの状態でこのボタンをタップすると、モニターソースを1つだけ選択します。選択したボタンが水色でハイライト表示になります。
- MONITOR 2 の ADD ボタンがオンの 状態でこのボタンをタッ プすると、モニターソースを 複数選択できます。これにより、 選択した 複数のモニターソースをミックスしてモニターでき ます。選択したボタンが 黄緑色でハイライト表示になります。
- 上記以外は、MONITOR 1のMONITOR SELECTボタン(⑥) と同様の働きをします。

¹³ ADDボタン (MONITOR 2)

このボタンをタップして、MONITOR 2 の ADD機能(同時に複 数のモニターソースを選択する機能)のオン/オフを切り換え ます。(初期値:オフ)

オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

¹⁴ PFL to MON 2 / AFL to MON 2 ボタン

このボタンをタップして、MONITOR 2 のモニター信号を SOLO 信号に切り換えるかどうかを設定します。(初期値:オフ) オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

ボタン	内容
PFL to MON 2	SOLO TYPEが「PFL」のときに SOLOをオンに すると、MONITOR 2 のモニター信号が SOLO 信号に切り 換わります。
AFL to MON 2	SOLO TYPEが「AFL」のときに SOLOをオンに すると、MONITOR 2 のモニター信号が SOLO 信号に切り 換わります。

メモ

両方のボタンをオフにすると、SOLOキーを押してもMONITOR 2からSOLOの音声が出力されなくなります。そのため、注意 喚起として PFL to MON 2ボタン上部のエリアに「SOLO signal is not output from Monitor2」と表示されます。



15 DIM LEVEL ノブ (MONITOR 2)

MONITOR 2 の DIM機能がオンのときのモニター信号の 減衰量を 調節します。

設定範囲:-40dB~0dB(初期値:-20dB)

LCDノブ7(赤色で点灯)を使って調節します。

16 DIMボタン(MONITOR 2)

このボタンをタップして、モニター信号のDIM機能のオン/オ フを切り換えます。(初期値:オフ) MONITOR 2 のDIM機能を「オン」にすると、DIM LEVEL(⑮) の設定にしたがってモニター信号の出力レベルが下がります。 オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

- このボタンをタップすると、オン/オフを切り換えます。ボ タンを押し続けると、押している間だけオン状態になります。
- MONITOR 2のDIM機能は、User Defined Control機能により USER KEYやFOOTSWITCH、GPIO-INで操作できます。(→ 54ページ「USER DEFINED CONTROLS画面」)

⑦ VOLUMEノブ (MONITOR 2)

MONITOR 2 の出力レベルを調節します。

設定範囲:−∞dB~+10dB(初期値:0dB)

LCDノブ8(緑色で点灯)を使って調節します。

18 MON 1 FOLLOWボタン

このボタンをタップして、MONITOR 1 のモニター信号を MONITOR 2 でモニターする機能のオン/オフを切り換えます。 (初期値:オン)

オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

⑲ 💽 アイコン(MONITOR 2)

このアイコンをタップすると、MONITOR 2 SOURCE ASSIGN 画面に切り換わります。(→93ページ「MONITOR SOURCE ASSIGN画面」)

20 MUTEボタン(MONITOR 2)

このボタンをタップして、モニター信号の MUTEのオン/オフ を切り換えます。(初期値:オン) オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

- Monitor Exclusive機能やLocation機能によりMONITOR 2 が MUTEされている場合は、このボタンをタップしてもMUTE を解除できません。
- MONITOR 2のMUTEは、User Defined Control機能により USER KEYSやFOOTSWITCH、GPIO-INで操作できます。(→ 54ページ「USER DEFINED CONTROLS画面」)

STEREO / MONOボタン (MONITOR 2)

このボタンをタップして、モニター信号のモノ/ステレオを切 り換えます。(初期値:STEREO) 選択したボタンがハイライト表示になります。

MONITOR SOURCE ASSIGN画面

この 画面では、フロントパネルのヘッドホン 端子およびリアパネ ルの MONITOR OUT L / R端子でモニターするモニターソースを6 つの MONITOR SELECT ボタンにアサインします。

この画面は、TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面の MONITOR SELECTボタン右側にある MONITOR SELECTエリアの アイコンをタップして表示します。



[MONITOR 1 SOURCE ASSIGN画面]

L / R選択ボタン

モニターソースのL/Rチャンネルのどちらの出力ポートを設定 するかを選択します。

このボタンをタップすると、L / Rを切り換えます。選択した ボタンがハイライト表示になります。

MONITOR SELECT タブ切り換え表示

- 各MONITOR SELECT タブごとにモニターソースをアサイン することができます。
- MONITOR SELECT タブには、アサインしたモニターソース 名を表示します。
- このボタンには、上段にLチャンネルのモニターソース名を、 下段にRチャンネルのモニターソース名を表示します。
 選択したモニターソースがバスモジュールの場合、USER MODULE LABELを表示します。(→ 134 ページ「MODULE LABELタブ画面」)
 USER MODULE LABELが未定義の場合は、FIXED MODULE LABELを表示します。
 選択したモニターソースが入力端子の場合、PORT LABELの 表示モード設定で選択されたPORT LABELを表示します。(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
 この部分をタップすると、MONITOR SELECT タブを切り換
- この部分をダックすると、MONTOR SELECT ダクを切り換 えて表示します。
- ③ モニターソース群ページ切り換え表示

モニターソース群のページ名を表示します。

ページ名をタップすると、ページ名に該当するモニターソースのページに切り換えます。

選択したページ名がハイライト表示になります。

ページ名	内容
MIX	MIX1-22 モジュールおよび MAIN L/R マスター
MAIN L/R	モジュールからの出力信号を選択します。
MON	もう一方のモニターの信号および SOLO バス
SOLO	の信号を選択します。
ANALOG	アナログ MIC/LINE入力端子からの 入力信号を
INPUT	選択します。
ST-IN	2 組の ST IN端子および内蔵プレイヤーからの
PLAYER	入力信号を選択します。
Dante	Dante端子からの入力信号を選択します。

ページ名	内容
SLOT 1	SLOT1に装着中の拡張カード入力を選択します。
SLOT 2	SLOT 2 に装着中の拡張カード 入力を選択します。
USB IN	USB Audio I/F入力を選択します。

④ モニターソースアサインボタン

- ボタンをタップして、選択したMONITOR SELECTボタンに アサインするモニターソースを選択します。アサインしたボ タンが水色でハイライト表示になります。バーチャルマウン トされたSB-16DのDanteポートの場合は、アサインしたボ タンが黄色でハイライト表示になります。
- バスモジュールのボタンには、上段にFIXED MODULE LABEL を、下段に USER MODULE LABELを表示します。(→ 134 ペー ジ「MODULE LABELタブ画面」)
 USER MODULE LABELが未定義の場合は、FIXED MODULE LABELを表示します。
- 入力端子のボタンには、上段には省略されたFIXED PORT LABELを、下段にはUSER PORT LABELを表示します。(134 ページ「INPUT PORT LABELタブ画面」、135ページ「OUTPUT PORT LABELタブ画面」)

USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。

- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートのボタンは、以下のように表示します。
 - 1 行目: DA ポート 番号
 - 2 行目: SB #[ID] ポート番号
 - 3行目:USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」

また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、右上に **◎**マークを表示します。

FOR 1 SO	URCE AS	SIGN					:	×
MIX MAIN L/R	MON SOLO	ANALOG INPUT	ST-IN PLAYER	Dante	SLOT 1 (IF-MTR32)	SLOT 2 (IF-DA64)	USB IN	
DA 1 S8 #1-11 SB #1-1 1	DA 2 58#1-12 SB #1-1 2	DA 3 S8 #1-13 SB #1-1 3	DA 4 SB #1-1 4 SB #1-1 4	DA 5 58#1-15 SB #1-1 5	DA 6 58 #1-16 SB #1-1 6	DA 7 SB #1-17 SB #1-1 7	DA 8 58∉1-18 SB #1-1 8	V 8
DA 9 SB#1-19	DA 10	DA 11 58 #1-1 11	DA 12 58#1-1 12	DA 13	DA 14 58 #1-1 14	DA 15 58#1-1 15	DA 16 58#1-115	V
SB #1-1 9	SB #1-1 10	SB #1-1 11	SB #1-1 12	SB #1-1 13	SB #1-1 14	SB #1-1 15	SB #1-1 1	6
SB#8-91 SB #8-91	58#892 SB #8-9 2 R	SB #8-9 3	SB #8-9 4	s8#895 SB #8-9 5	SB #8-9 6	SB#3-97 SB #8-9 7	SB#898 SB #8-9 i	8
DA 25 58 48-99 SB #8-9 9	DA 26 5848910 SB #8-9 10	DA 27 53 18-9 11 SB #8-9 11	DA 28 5843-912 SB #8-9 12	DA 29 5848-913 SB #8-9 13	DA 30 58 #8-9 14 SB #8-9 14	DA 31 5843-915 SB #8-9 15	DA 32 58#8-916 SB #8-9 1	6
	TOR 1 SO MIX MAIN L/R Da 1 SB #1-1 SB #1-1 1 SB #1-1 1 SB #1-1 9 SB #1-1 9 SB #1-1 9 SB #1-1 9 SB #1-1 9 SB #1-9 SB #8-9 9	NIX MON MAIN VIX MON MAIN VIX SOLO MAIN VIX	NIX NON ANALOG MIX NON ANALOG MIX SOLO INPUT SOLO INPUT INPUT SOLO SOLO SOLO SOLO SOLO SOLO <	NIX NON ANALOG 57-71 MIX SOLO INPUT PLAYER MIX SOLO INPUT SOLO SOLO SOLO INPUT SOLO SOLO SOLO SOLO SOLO <tr< th=""><th>NIX MON ANALOG STAN Dance MAINUR SOLO INPUT PLAYER Dance MAINUR SOLO INPUT SIANI Dance MAINUR SOLO INPUT SIANI Dance SALE SIANI SIANI SIANI SIANI SALE SIANI</th><th>NIX MON ANALOG STAN Date SLOT1 MAINV/R SOO ANALOG STAN Date SLOT1 MAINV/R SOO INPUT PLAYER Date INPUT SEAT SAMALOG STAN Date INPUT Date INPUT SEAT SAMALOG STAN Date INPUT Date INPUT Date INPUT Date INPUT Date INPUT Date INPUT INPUT Date INPUT Date INPUT Date INPUT INPUT<th>DATE DATE DATE DATE DATE DATE DATE SLOT 1 SLOT 2 SLOT 2 MAIN UR SOLO ANALOG ST-IN Dante (L-MTR2) (L-DAGA) DATE DATE<!--</th--><th>NUX MON ANALOG ST-IN Dance SLOT 1 SLOT 2 SLOT 3 SLOT 3</th></th></th></tr<>	NIX MON ANALOG STAN Dance MAINUR SOLO INPUT PLAYER Dance MAINUR SOLO INPUT SIANI Dance MAINUR SOLO INPUT SIANI Dance SALE SIANI SIANI SIANI SIANI SALE SIANI	NIX MON ANALOG STAN Date SLOT1 MAINV/R SOO ANALOG STAN Date SLOT1 MAINV/R SOO INPUT PLAYER Date INPUT SEAT SAMALOG STAN Date INPUT Date INPUT SEAT SAMALOG STAN Date INPUT Date INPUT Date INPUT Date INPUT Date INPUT Date INPUT INPUT Date INPUT Date INPUT Date INPUT INPUT <th>DATE DATE DATE DATE DATE DATE DATE SLOT 1 SLOT 2 SLOT 2 MAIN UR SOLO ANALOG ST-IN Dante (L-MTR2) (L-DAGA) DATE DATE<!--</th--><th>NUX MON ANALOG ST-IN Dance SLOT 1 SLOT 2 SLOT 3 SLOT 3</th></th>	DATE DATE DATE DATE DATE DATE DATE SLOT 1 SLOT 2 SLOT 2 MAIN UR SOLO ANALOG ST-IN Dante (L-MTR2) (L-DAGA) DATE DATE </th <th>NUX MON ANALOG ST-IN Dance SLOT 1 SLOT 2 SLOT 3 SLOT 3</th>	NUX MON ANALOG ST-IN Dance SLOT 1 SLOT 2 SLOT 3 SLOT 3

追加設定ウィンドウ



① Monitor Exclusiveボタン

このボタンをタップして、MONTOR 1 / MONITOR 2 をラージ モニター/スモールモニターとして使用する際の切り換えに利 用する Monitor Exclusive機能(MONITOR 1 および MONITOR 2 の出力を排他的に選択する機能)のオン/オフを切り換えます。 (初期値:オン)

オンのときはボタンがハイライト表示になり、MONITOR 1 / 2 タブ画面の SELボタンが有効になります。

メモ

いずれかのモニターのLocation(→51ページ「⑤ モニ ターのLocation設定エリア」)が「ST」に設定されている場 合、Monitor Exclusiveボタンが「オン」に切り換えできず、 MONOTOR 1 と MONITOR 2 の排他選択機能が使用できなくな ります。

MONOTOR 1 と MONITOR 2 の 排他選択機能を 使用する 場合は、 モニターの Locationを「CR」または「NONE」に設定してください。

② DELAY ボタン

このボタンをタップして、モニター信号のタイミング補正な どに使うDELAY機能のオン/オフを切り換えます。(初期値: OFF)

オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

③ DELAY TIME

モニター信号のタイミング補正などに使うディレイ時間を調節 します。

ハイライトされた単位を基準にして操作しますので、操作した い単位のボタンをタップします。

単位の選択肢	設定範囲
meter	$0\sim 117.3$ (meter)
feet	$0\sim 384.8$ (feet)
msec(初期值)	0~341.32(msec)

LCDノブ2(緑色で点灯)を使って調節します。

④ LOCATION設定ボタン(MONITOR 1)

このボタンをタップして MONITOR 1 の Location設定を切り換 えます。(初期値:NONE)

Location設定の詳細については、51ページ「⑤ モニターの Location設定エリア」をご参照ください。

MONITOR 1 の Locationが設定されていると、追加設定ウィン ドウおよび MONITOR 1 / 2 タブ 画面の MONITOR 1 表示の右側 に「CR」または「ST」のアイコンが表示されます。



[MONITOR1のLocationを「CR」に設定した表示]

⑤ Direct OUT PORT VOLUME ノブ (MONITOR 1)

MONITOR 1のDIRECT OUT PORTからの出力レベルを調節します。

設定範囲:-∞dB~+10dB(初期値:0dB)

LCDノブ4(赤色で点灯)を使って調節します。

⑥ Direct OUT PORTボタン (MONITOR 1)

- MONITOR 1のDIRECT OUT信号がアサインされている出力 ポート名を表示します。
 上段には、省略されたFIXED PORT LABELを表示します。
 下段には、USER PORT LABELを表示します。USER PORT
- LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABELを表示します。
 このボタンをタップすることで、MONITOR 1 のDIRECT OUT信号の出力ポートを選択するMONITOR 1 DIRECT OUT PORT SELECT画面に切り換えます。



この画面は、OUTPUT PORT SELECT画面と表示内容および 操作方法は同じになります。 詳細については、157 ページ「OUTPUT PORT SELECT画面」

をご参照ください。

⑦ Direct OUT PORTボタン (MONITOR 2)

- MONITOR 2のDIRECT OUT信号がアサインされている出力 ポート名を表示します。
- このボタンには、上段に省略されたFIXED PORT LABELを、 下段にUSER PORT LABELを表示します。USER PORT LABEL が未定義の場合は、FIXED PORT LABELを表示します。
- このボタンをタップすることで、MONITOR 2のDIRECT OUT信号の出力ポートを選択するMONITOR 2 DIRECT OUT PORT SELECT画面に切り換えます。



この画面は、OUTPUT PORT SELECT画面と表示内容および 操作方法は同じになります。

詳細については、157 ページ「OUTPUT PORT SELECT画面」 をご参照ください。

⑧ Direct OUT PORT VOLUME ノブ (MONITOR 2)

MONITOR 2 の DIRECT OUT PORTからの 出力レベルを 調節しま す。

設定範囲:-∞dB~+10dB(初期値:0dB)

LCDノブ5(赤色で点灯)を使って調節します。

⑨ LOCATION設定ボタン(MONITOR 2)

このボタンをタップして MONITOR 2 の Location設定を切り換 えます。(初期値:NONE)

Location設定の詳細については、51ページ「⑤ モニターの Location設定エリア」をご参照ください。

MONITOR 2 のLocationが設定されていると、追加設定ウィン ドウおよびMONITOR 1 / 2 タブ画面のMONITOR 2 表示の横に 「CR」または「ST」のアイコンが表示されます。



10 OUTPUT PORTボタン (MONITOR 2)

- MONITOR 2のOUTPUT信号がアサインされている出力ポート名を表示します。
- このボタンには、上段に省略されたFIXED PORT LABELを、 下段にUSER PORT LABELを表示します。USER PORT LABEL が未定義の場合は、FIXED PORT LABELを表示します。
- このボタンをタップすることで、MONITOR 2のOUTPUT信号の出力ポートを選択するOUTPUT PORT SELECT画面に切り換えます。



この画面は、OUTPUT PORT SELECT画面と表示内容および 操作方法は同じになります。

詳細については、157 ページ「OUTPUT PORT SELECT画面」 をご参照ください。

① 🗙 ボタン

▼ボタンをタップすると、追加設定ウィンドウを閉じます。

12 Monitor Lock ボタン

このボタンをタップすると、常にモニターソースとして選択状 態にするためにロックするモニターソースを設定するウィンド ウを表示します。



選択肢をタップして、ロックするモニターソースを選択します。 (初期値:NONE)

メモ

- MONITOR1 と MONITOR2 のそれぞれで、どれか 1 つのモニ ターソースを選んでロックすることができます。
- ロックしたモニターソースに該当する MONITOR SELECTボ タンに ¹ マークが表示されます。(→ 90 ページ「MONITOR 出力の設定」)

SOLOと内蔵オシレーターの設定

SOLOと内蔵オシレーターの設定は、TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面の SOLO / OSCILLATOR タブ画面で行います。 この画面は、メニュー画面 > Mixer Setup メニュー > 「Talkback / Monitor / Solo / OSC」をタップして表示します。



メモ

この画面は、MENUキーを押しながら、いずれかの SOLOキーまた は SOLO CLEARキーを押すことでも表示できます。(→ 334 ペー ジ「第 16 章 ショートカット操作の一覧表」)

① SOLO MODEボタン

このボタンをタップして、SOLO機能の動作モードを設定します。

選択肢	内容
MIX(初期値)	SOLOモード中、SOLOキーを押したモ ジュールの信号をミックスして SOLOモニ ターします。
EXCLUSIVE	SOLO モード 中、最後に SOLO キーを押し たモジュールの 信号のみを SOLO モニター します。

選択したボタンがハイライト表示になります。

SOLO TYPEボタン

このボタンをタップして、SOLO機能のTYPEを設定します。

選択肢	内容
PFL(初期値)	プリフェーダーの信号を SOLO モニターし ます。
AFL	ポストパン(MAIN L/Rマスターモジュー ルはポストフェーダー)の信号を SOLOモ ニターします。

選択したボタンがハイライト表示になります。

③ OUTPUTボタン

- SOLO信号がアサインされている出力ポート名を表示します。
- このボタンには、上段に省略されたFIXED PORT LABELを、 下段にUSER PORT LABELを表示します。USER PORT LABEL が未定義の場合は、FIXED PORT LABELを表示します。
- このボタンをタップすると、SOLO信号の出力ポートを選択 する Solo DIRECT OUT PORT SELECT画面に切り換わります。

Solo D	IRECT OU	T PORT SE	ELECT				×
🔒 LOCK	ANALOG OUTPUT		Dante	SLOT 1 (IF-ST2110)	SLOT 2 (None)	USB OUT	LR
DA 1 *	DA 2 *	DA 3 *	DA 4 *	DA 5 *	DA 6 *	DA 7 *	DA 8 *
Dante 1	Dante 2	Dante 3	Dante 4	Dante 5	Dante 6	Dante 7	Dante 8
DA 9 *	DA 10 *	DA 11 *	DA 12 *	DA 13 *	DA 14 *	DA 15 *	DA 16 *
Dante 9	Dante 10	Dante 11	Dante 12	Dante 13	Dante 14	Dante 15	Dante 16
DA 17 *	DA 18 *	DA 19 *	DA 20 *	DA 21 *	DA 22 *	DA 23	DA 24
Dante 17	Dante 18	Dante 19	Dante 20	Dante 21	Dante 22	Dante 23	Dante 24
DA 25	DA 26	DA 27	DA 28	DA 29	DA 30	DA 31 *	DA 32 *
Dante 25	Dante 26	Dante 27	Dante 28	Dante 29	Dante 30	Dante 31	Dante 32

この画面は、OUTPUT PORT SELECT画面と表示内容および 操作方法は同じになります。 詳細については、157ページ「OUTPUT PORT SELECT画面」 をご参照ください。

④ OSCILLATOR ASSIGN

このボタンをタップして、内蔵オシレーターの信号の出力先を 選択します。(初期値:オフ) 出力先に選択したボタンがハイライト表示になります。

メモ

- ステレオバスでも、各バス個別にオン/オフできます。
- このボタンには、上段にFIXED MODULE LABELを、下段 にUSER MODULE LABELを表示します。(→132ページ 「DISPLAY MODEタブ画面」)

⑤ SOLO LEVEL ノブ

SOLOL/Rバスからの出力レベルを調節します。

設定範囲:−∞dB~+10dB(初期値:0dB)

LCDノブ3(赤色で点灯)を使って調節します。

⑥ SOLO CLEARボタン

- いずれかのモジュールのSOLOがオンのとき、ボタンがハイ ライト表示になります。
- このボタンがハイライト表示中にタップすると、全チャンネルのSOLOを解除します。

メモ

トップパネルの SOLO CLEAR キーと同じ働きをします。

⑦ OSCILLATORボタン

このボタンをタップして、内蔵オシレーターの信号のオン/オ フを切り換えます。(初期値:OFF) オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

- ⑧ OSCILLATOR レベルメーター
 - 内蔵オシレーターからの出力レベルを表示します。
- ⑨ OSC LEVELノブ
 - 内蔵オシレーターの出力レベルを調節します。 設定範囲:- 36dB~ 0dB(初期値:- 20dB) LCDノブ6(赤色で点灯)を使って調節します。
- 1 SIGNAL TYPEボタン
 - 内蔵オシレーターの SIGNAL TYPE名を表示します。
 - このボタンをタップすると、TYPE選択メニューを表示します。



選択肢:SINE WAVE(初期值)、PINK NOISE、 WHITE NOISE

選択肢のボタンをタップするとメニューを閉じ、選択した SIGNAL TYPE名を表示します。

1 FREQ

SIGNAL TYPEの設定が「SINE WAVE」のときに表示します。 内蔵オシレーターが出力する周波数を調節します。 選択肢:100Hz、440Hz、1kHz(初期値)、10kHz LCDノブ8(青色で点灯)を使って調節します。

Dante SETUP画面

この画面では、「内蔵Danteモジュール」および「内蔵Dante経由 で接続されたSB-16D」の設定や状態表示を行います。 この画面は、メニュー画面 > Rear Panel Setupメニュー > 「Dante Setup」をタップして表示します。

Dante Settings タブ 画面

1	2		3
Dante SETUP	I/O Device		×
MODULE	NETV	VORK APPLY	AUDIO/CLOCK
Dante Device Name SV-1f12b0 Dante Module Status Available Software Version 1.0.0	Switch Redunda Primary Address 172.29.198.201	Ant Secondary Addressing STATIC IP Address 0.2.0.0	Sampling rate 96kHz Encoding PCM32 AES 67 Mode Disable Latency 0.25msec ▼
Dante Firmware Version 4.2.3.13 Dante Model Brooklyn II	Subnet mask 255.255.255.0 LINK Status None MAC Address 00:1D:C1:1F:12:B0	Subnet mask 0.0.0.0 LINK Status None MAC Address 00:1D:C1:1F:12:B1	Clock Source Sonicview Dante Clock Status Leader Preferred Leader OFF

① MODULE状態表示

Dante モジュールの状態を表示します。

項目名	内容
Dante Device Name	Dante デバイスのモジュール名 を 表示します。
Dante Module Status	Dante モジュールのステータス を 表示します。
Software Version	本機の内蔵 Dante モジュール のバージョンを表示します。 Dante Controllerに表示される Product Versionと同じもので す。
Dante Firmware Version	Dante システム部のファーム ウェアバージョンを表示します。 Dante Controllerに表示される Dante Firmware Versionと同じ ものです。
Dante Model	本機の内蔵 Dante モジュールの ハードウェアの種類を表示しま す。 Dante Controllerに表示される Dante Modelと同じものです。

② NETWORK状態表示

Danteネットワークの設定状態を表示します。

Redundant(二重化)モードのときは、左側にPrimary端子、 右側にSecondary端子の設定を表示します。 Switched(デイジーチェーン)モードのときは、左側だけが有

効になります。	
項目名	内容

Switch	選択中の接続モードを表示します。 この部分をタップすると、Redundant(二 重化)モードとSwitched(デイジーチェー ン)モードを選択するウィンドウを表示し ます。(初期値:Redundant)
--------	---

項目名	内容
Addressing	IP アドレス設定モード名を表示します。 この部分をタップすると、「AUTO (DHCP)」 と「STATIC」を選択するウィンドウを表示 します。(初期値:AUTO (DHCP))
IP Address	Addressing項目の設定が「AUTO」の場合 は割り振られたIPアドレス、「STATIC」の 場合はユーザーが設定したIPアドレスを表 示します。 Addressing項目の設定が「STATIC」のとき にこの部分をタップすると、IP ADDRESS 画面に切り換わります。(→137ページ 「IP Address / Subnet Mask / Default Gatewayの設定手順」)
Subnet mask	Addressing項目の設定が「AUTO」の場合 は割り振られたサブネットマスク、「STATIC」 の場合はユーザーが設定したサブネットマ スクを表示します。 Addressing項目の設定が「STATIC」のと きにこの部分をタップすると、SUBNET MASK画面に切り換わります。(→137 ペー ジ「IP Address / Subnet Mask / Default Gatewayの設定手順」)
LINK Status	Danteネットワークのリンク状態を表示し ます。1G以外の場合、赤文字で表示します。
MAC Address	Primary / Secondaryの各Dante端子の MAC アドレスを表示します。

メモ

Dante ネットワークの設定を確定するには、Dante モジュール を再起動する必要があります。

Dante ネットワークの設定が変更された場合のみ、APPLYボタンがハイライト表示になります。

ハイライト表示中のAPPLYボタンをタップすると、確認メッセージが表示されます。



REBOOT Danteボタンをタップすると、Dante モジュールを再 起動します。

注意

Dante モジュールの再起動中はDante入出力音が途切れますの でご注意ください。

③ AUDIO/CLOCK設定状態表示

Danteの音声信号とクロックの状態を表示します。

項目名	内容
Sampling rate	内蔵 Dante モジュールのサンプリン グ 周波数の設定状態を表示します。 この部分をタップすると、48kHzと 96kHzを選択するウィンドウを表示 します。(初期値:96kHz)
	メモ
	ウンウウンク局波数が48kH2の場 合は 64IN/64OUT、96kHzの場合は 32IN/32OUTとなります。
Encoding	エンコーディングの設定を表示しま す。
AES 67 Mode	AES67 モードの状態を表示します。
Latency	Latencyの設定状態を表示します。こ の部分をタップすると、Latency設 定(0.25msec、0.5msec、1.0msec、 2.0msec、5.0msec)を選択する ウィンドウを表示します。(初期値: 1.0msec)
Clock Source	Dante モジュールのクロック同期先 (Dante, Sonicview)を表示します。 ■ アイコンをタップすると、SYNC CLOCK画面に切り換わります。
Dante Clock Status	Dante Clockのステータス(Leader、 Follower、Unlock)を表示します。 Unlockの場合、赤文字で表示します。
Preferred Leader	Preferred Leaderの設定状態を表示し ます。この部分をタップすると、ON / OFFを選択するウィンドウを表示 します。(初期値:OFF)

I/O Device タブ 画面

サポートI/OデバイスであるSB-16Dのマウントや設定などを行う 画面です。



① デバイスエリア表示部

- 接続したDanteネットワーク内で検出されたSB-16DのID番号、機種名(SB-16D)、Danteデバイスのモジュール名が表示されます。ネットワークアドレスが違っていたり、ルーターを経由していたりするSB-16Dは、ここに表示されません。
- 選択したデバイスは、黄色い枠でハイライト表示されます。
- ■ボタンをタップすると、SB-16Dのコントロール画面に切り換わります。(→112ページ「コントロール画面の操作」)



② スクロールノブ/スクロールバー表示

- 検出されたDanteデバイスの数が画面内に表示しきれない 場合にスクロールバーを表示し、スクロールノブをハイライ ト表示します。
- スクロールバー表示をドラッグすることで画面がスクロール します。また、デバイスエリア表示部(①)を上下にスワ イプする、またはLCDノブ4を回してスクロールすることも できます。
- ③ マウント/アンマウントボタン

SB-16Dをマウントする、またはマウント済みデバイスをアンマ ウントするためのボタンです。

操作手順は、以下をご参照ください。

- 101 ページ「Danteネットワークに接続されているデバイス のマウント」
- 104 ページ「デバイスのアンマウント」
- 104 ページ「Danteネットワークに存在しないデバイスのマ ウント」

④ Mounted Device エリア表示部

マウント済みデバイスを表示します。 デバイスは、状態によって以下のような色で表示されます。

表示	状態
Pre Amp Control SB-16D Logged In SB-16D-20c832 In In	Danteネットワークに接続された デバイス
Virtual ID #1-1	Danteネットワークに存在しない Virtual デバイス

選択したデバイスやマウント位置は、黄色い枠でハイライト表 示されます。



④ 制御権表示部:制御権の状態を表示します。

表示	内容
Pre Amp Control	この Sonicviewに 制御権がある 状態。
Pre Amp Controlled by SV_123456	この Sonicviewに制御権がなく、[デ バイス名]の Sonicviewが制御権を 持っている状態。タップすると制御 権を取得するかどうかの確認メッセー ジが表示されます。(→105ページ「マ ウント後の制御権の設定」)
Open Control	どのデバイスからも制御できる状態。 タップすると制御権を取得するかど うかの確認メッセージが表示されま す。(→105ページ「マウント後の 制御権の設定」)
Pre Amp Controlled OFF	この Sonicviewに制御権がなく、ホー ム 画面や MODULE画面から操作でき ない 状態。タップすると制御権を取 得するかどうかの確認メッセージが 表示されます。(→105ページ「マウ ント後の制御権の設定」)
•••	マウント中。

- ⑧ 機種名を表示します。同一のDanteネットワーク上に同 ーIDのデバイスが接続されていない場合(仮想マウント 時)には「Virtual」と表示されます。
- ① ログイン状態を表示します。

表示	内容
Logged In	この SB-16Dの情報が、この Sonicview から取得できる状態。
Logged Out	このSB-16Dの情報が、このSonicview から取得できない状態(10 台の Sonicviewが、このSB-16Dをマウント 済みの状態でマウントした状態、もし くは通信エラーでログインできない状 態)。(→108 ページ「ログイン失敗」)

- このSB-16Dに設定されているDanteデバイスのモジュー ル名を表示します。
- ① IDを表示します。同一のDanteネットワーク上に同一ID のデバイスが複数接続されている場合(IDが重複してい る場合)は、▲マークとともに「ID」が赤く表示されます。
- ① このボタンをタップすると、SB-16Dのコントロール画面に切り換わります。(→112ページ「コントロール画面の操作」)

⑤ AUTO ROUTINGボタン

Dante ルーティングの設定をSB-16Dのマウント状態に合わせ て自動で行うか、Dante Controllerで行うかの設定です。 このボタンをタップしてON / OFFを切り換えます。

選択肢	内容
ON(初期値)	SB-16Dのマウント状態に合わせて自動でSB- 16Dと Sonicviewの Dante ルーティングを設定 します。 Sonicviewに接続する Dante機器が SB-16Dの みの場合にお勧めです。
OFF	SB-16Dがマウント状態になってもDanteルー ティングを設定しません。 Dante Controllerでルーティングしてくださ い。SB-16D以外のDante機器と接続する場合 こちらに設定してください。

 AUTO ROUTINGボタンを「OFF」から「ON」に変更する際、 自動的にDanteルーティングが実施されると本機のDante入 カルーティングが変更される場合に、以下の確認メッセージが表示されます。



KEEPボタンをタップするとAUTO ROUTINGボタンが「ON」 に切り換わりますが、Dante ルーティング設定はそのまま 維持されます。AUTO ROUTINGボタンを「ON」に切り換え たあとにSB-16Dをマウントした場合は、自動でルーティン グされます。 CHANGEボタンをタップすると、マウント状態に合わせて Danteルーティングが変更されます。その際、「Sonicview」 から「他のDante機器」への出力ルーティングは維持された 状態のまま、「Sonicview」から「マウントしているSB-16D」 への出力ルーティングが追加されます。

 AUTO ROUTINGボタンが「OFF」の状態でのDanteルー ティング例





上記状態からAUTO ROUTINGボタンを「ON」に切り換えた際に、CHANGEボタンをタップした場合のDanteルーティングの状況



メモ

CHANGEボタンをタップした際に以下の条件をすべて満たした場合、Insert ReturnポートにアサインされたSB-16DのPre Ampをラインレベルの基準設定値である下記設定になります。

- マウントしたSB-16Dの制御権を本機が取得している状態
- マウントしたSB-16Dの入力ポートがInsert Returnポートに アサインされた状態

Pre Amp設定

- PAD : ON
- Analog GAIN: 0
- Phantom : OFF

ただし、該当のSB-16Dの制御権を本機が取得していない場合、 Pre Amp設定をラインレベルの基準設定値に変更できず、下記 メッセージが表示されます。



SB-16Dを使用する

SB-16Dを Sonicviewの I/O Boxとして利用するには、事前にマウント(登録)が必要です。

操作手順は、以下をご参照ください。

- 101 ページ「Danteネットワークに接続されているデバイス のマウント」
- 104 ページ「Danteネットワークに存在しないデバイスのマ ウント」
- 1 台の Sonicviewに対して最大 4 台の SB-16Dがマウント可能で す。
- マウントして制御権を取得すると、マウントしたSB-16Dの以 下の内容を本機から実施できるようになります。
 - SB-16Dの Pre Ampの制御
 - スナップショットリコールによる SB-16Dの Pre Ampの制御
 - GPIOポート(拡張モード)の制御/使用
 - Dante出力ルーティングの制御
- Sonicviewは、SB-16Dのマウント 状態をIDで管理しています。 マウントしたIDと同じIDのデバイスがDante ネットワークに接 続されていない場合は、デバイス名の代わりに「Virtual」と表 示されます。
- ●同一Danteネットワーク上に同じIDのデバイスが複数接続されている場合(IDが重複している場合)、該当するデバイスは▲マークとともにIDが赤く表示されます。
- マウント済みデバイスのIDが重複している場合、先に Sonicviewに認識されたSB-16Dは使用できます。ただし、SB-16Dのコントロール画面を表示するには、IDの重複を解消する 必要があります。(→105ページ「重複したIDの解消方法」) また、IDが重複しているデバイスのうち、あとからSonicview に認識されたSB-16Dは使用できません。
- I/O Device タブ 画面の AUTO ROUTINGボタンが「ON」の場合 は、Mounted Device エリア表示部(④)のマウント位置によ り、マウントした SB-16Dの I/Oポートと本機の内蔵 Dante I/Oが、 マウント時に自動的に Dante ルーティングされます。詳細につ いては、109ページ「Dante ルーティング」の表をご参照ください。

Dante ネットワークに 接続されているデバイスのマウント

 左側のDanteネットワーク上のマウントしたいデバイスを タップします。 選択したデバイスに黄色い枠が表示されます。

Dante SETU	Р			×
Dante Setting	gs	I/O Device		
SB-16D			Mounted Device	AUTO ROUTING ON
ID #2-3	SB-16D-20c832			→ Dante I/O ← 1 - 16
		\rightarrow		→ Dante I/O ← 17 - 32
		÷		$\stackrel{ ightarrow}{\leftarrow} \begin{array}{c} {\tt DanteI/0}\\ {\tt 33-48} \end{array}$
SB-16D ID #1-1	Virtual SB-16D Virtual			$\stackrel{ ightarrow}{ ightarrow}$ Dante I/O \leftarrow 49 - 64

- 右側のマウント先(空きマウントスロット)をタップします。
 選択したマウント先に黄色い枠が表示され、中央の■ボタン がハイライト表示(→)になります。
- **3.** 中央の → ボタンをタップすると、右側で選択したマウント先 にマウントされます。



マウント処理が完了するとメッセージが表示され、マウント 後の制御権に関する情報がマウントスロット内の左上に表示 されます。

表示	内容
Pre Amp Control	このSonicviewから制御できます。
Pre Amp Control by [デバイス名]	「デバイス名」のSonicviewが制御権 を持っています。このSonicviewか らは、制御できません(音は通りま す)。

メモ

 制御権を持っていない場合は、マウント状態でもPre Amp、 GPIO(拡張モード)、スナップショットリコール、出力ルー ティングの制御がこのSonicviewからできません。

制御権を取得した場合は上記の制御が可能になり、サンプ リングレートやリファレンスレベルの設定が他のSonicview に対して優先されます。

- SB-16Dをマウントした際に以下の条件をすべて満たした 場合、Insert ReturnポートにアサインされたSB-16DのPre Ampを、ラインレベルの基準設定値である下記設定になり ます。
 - マウントしたSB-16Dの制御権を本機が取得した状態
 - マウントしたSB-16Dの入力ポートが本機の入力として Danteルーティングされた状態
 - マウントしたSB-16Dの入力ポートがInsert Returnポートにアサインされた状態

Pre Amp設定

- PAD : ON
- Analog GAIN: 0
- Phantom : OFF

ただし、該当するSB-16Dの制御権を本機が取得していない 場合は、Pre Amp設定をラインレベルの基準設定値に変更で きず、下記メッセージが表示されます。

Dante SETUR	innot be set to LINE LEVE	This console de	bes not have SB-16D #1-	^{1 Pre Amp Coi} → ×
Dante Setting	s I/O	Device		
SB-16D		Mo	unted Device	AUTO ROUTING ON
	SB-16D #1-1 INPL This console doe	JT11 cannot s not have S	be set to LINE L B-16D #1-1 Pre A	EVEL. Imp Control.
	CLOSE	Dante Set	up 🖻	1A64,
				possible from the
				Dante controller to
SB-16D ID #1-1	Virtual SB-16D Virtual			IF-DA64 1-16 and 17-32.

- 制御権を持っている Sonicviewが Dante ネットワーク上に存在 しない場合:
 - マウント中の表示が消えると、マウント完了メッセージが表示 されます。このメッセージは、数秒で自動的に消えます。



Dante SETUP			×
Dante Settings	I/O Device		
		Mounted Device	AUTO ROUTING ON
	Mount Completed	Pre Amp Control ID #2-3	→ Dante I/O ← 1 - 16
SB-16D ID #1-1 SB-	Virtual 16D Virtual		ightarrow Dante I/O ightarrow 49 - 64

 ● 制御権を持っている Sonicviewが Dante ネットワーク上に存在 する場合:

マウント完了後、「Pre Amp Control by ~」のボタンをタップ します。下記のメッセージが表示されるので、REQUESTボタン をタップして制御権を持っている Sonicviewの許可を待ちます。

Dante SETUP		×
Dante Settings I/O Device		
Do you request Control ? SV-186fd4 has Pre Amp Control CANCEL REQUEST	SB-16D Logged System ID #2-3 SB-16D-20c832 ID ID	AUTO ROUTING ON → Dante I/O ← 1 - 16
\rightarrow		\rightarrow Dante I/O \leftarrow 17 - 32
<i>←</i>		
SB-16D Virtual * ID #1-1 SB-16D Virtual		\rightarrow Dante I/O \leftarrow 49 - 64

許可を待っている間、下記のメッセージが表示されます。 CANCELボタンをタップすると、許可待ち状態を中断してマウ ント操作を終了します。

Dante SETUP		
Dante Settings I/O	vice	
Requesting Control. Please wait. CANCEL	Mounted Device Preame contraine by SV-18674 ID # 2-3 ID # 2-3 ID # 2-3	$\begin{array}{c} \text{AUTO} \\ \text{ROUTING} & \text{ON} \\ \end{array}$
		→ Dante I/O ← 17 - 32
	←	$\stackrel{\rightarrow}{\leftarrow} \begin{array}{l} \text{Dante I/O} \\ \textbf{33 - 48} \end{array}$
SB-16D Virtual ▲ ID #1-1 SB-16D Virtual		$\stackrel{\text{Dante I/O}}{\leftarrow} \frac{49-64}{49-64}$

制御権を持っている Sonicviewの 画面に許可要求のメッセージ が表示されます。



 制御権を持っているSonicviewで操作する前に要求側が CANCELボタンをタップした場合には、自動的にメッセージ が消えます。

- 制御権を持っているSonicviewにて許可要求のメッセージ内の各ボタンをタップすると、要求側のSonicviewが以下のように表示されます。
 - ALLOWボタンをタップされると、制御権を取得したメッセージが表示されます。このメッセージは2秒で自動的に消えます。

•	Dante SETUP							×
		I/O I	Device					
				Mounted Device		AUTO		N
		Control Allow	ved	Pre Amp Control ID # 2-3 SB-16D-20c832	Logged In		^{0ante I/0} 1 - 16	
SB-1	6D ID # 1-1 si	Virtual B-16D Virtual						

 DENYボタンをタップされると、要求拒否のメッセージを 表示します。OKボタンをタップすると、メッセージが消 えます。

•	Dante SETUP						×
		I/O D	evice				
	Cont	rol Denied CLOSE		Mounted I Pre Amp Controlled by SV-186fd4 SGY-TOP	Device <u>SB-16D</u> Logged ID #6-1	$ \stackrel{\text{AUTO}}{\stackrel{\text{ROUTIN}}{\rightarrow}} \stackrel{\text{Da}}{\leftarrow} 1 $	IG ON nte I/0 - 16
			\rightarrow				
			←				
SB-	16D ID # 1-1 SB-16	Virtual D Virtual					

デバイスのアンマウント

 右側のリストのアンマウントしたいデバイスをタップします。 選択したデバイスに黄色い枠が表示され、中央の■ボタンが ハイライト表示()になります。



- **2.** 中央の ーボタンをタップします。
 - 選択したデバイスがアンマウントされ左側のリストに移動し ます。



アンマウント前に制御権を持っていた場合は、制御権がクリ アされます。

このデバイスをマウントしていた他の Sonicviewでは、制御権 表示部に「Open Control」と表示されます。

Dante SETUP			×
Dante Settings	I/O Device		
		Mounted Device	AUTO ROUTING ON
		Virtual ID #1-1	→ ^{Dante I/O} ← 1 - 16
	→	Open Control ID #2-3 SB-16D-20c832	$\stackrel{\rightarrow}{\leftarrow} \begin{array}{l} \text{Dante I/O} \\ \textbf{17 - 32} \end{array}$
	->		$\stackrel{\rightarrow}{\leftarrow} \begin{array}{l} \text{Dante I/O} \\ \textbf{33 - 48} \end{array}$
SB-16D ▲ ID #1-1 SB-16D Virt	Virtual		$\stackrel{ ightarrow}{\leftarrow} \begin{array}{l} extsf{Dante I/0} \\ extsf{49 - 64} \end{array}$

Dante ネットワークに存在しないデバイスのマウント

Dante ネットワークに接続されていないデバイスでも 仮想的にマウ ントすることができます。

I/O Device タブ画面のAUTO ROUTINGボタンが「ON」のときに対応するIDのデバイスが接続されると、Pre Ampやルーティングの 情報が反映されます。

左側のリスト表示に一番下のIDをタップして、仮想的にマウントするデバイスのID番号を設定するウィンドウを表示します。

🕈 Da	nte SETUP			×
Dan		I/O Device		
			Mounted Device	AUTO ROUTING ON
				→ Dante I/O ← 1 - 16
ID	* 1 -	1 SB-16D		
	3	3		
SB-16D ▼ ID #1	-1 SB-16D Vir	Virtual		\rightarrow Dante I/O \leftarrow 49 - 64

- 選択肢を上下にスワイプして、マウントしたいIDを選択します。 ピンクと黄色で点灯したLCDノブ2/LCDノブ3を回して選 択肢を変更することもできます。 すでにDanteネットワーク上に存在するIDを選択したときは IDが赤くなり、APPLYボタンがグレーアウト表示になって設 定できません。
- APPLYボタンをタップして、変更した設定を確定します。 選択したIDの番号が表示されます。

Dante SETUP				×
Dante Settings	I/O Device			
		Mounted Device	AUTO ROUTING OI	N
			→ Dante I/O ← 1 - 16	
	→		→ Dante I/O ← 17 - 32	
	->		$\stackrel{ ightarrow}{\leftarrow} \begin{array}{c} {}^{ m DanteI/0} \\ {}^{ m Gante} \begin{array}{c} {}^{ m J/0} \\ {}^{ m J/3} \end{array}$	
SB-16D ID #1-1 SB-16D Vir	Virtual		$\stackrel{ ightarrow}{\leftarrow} \begin{array}{c} { t Dante I/0} \\ { t 49-64} \end{array}$	

- 右側のマウント先(空きマウントスロット)をタップします。
 選択したマウント先に黄色い枠が表示され、中央の■ボタン がハイライト表示(→)になります。
- 中央の → ボタンをタップすると、右側で選択したマウント位置にマウントされます。

Dante SET	JP						×
Dante Settin	igs I	/O Device					
		ſ	Мо	unted Device	AUT ROL	O JTING O	N
				Virtual ID #1-1	1↑	Dante 1/0 1 - 16	
		\rightarrow				Dante I/O 17 - 32	2
		÷				Dante I/0 33 - 48	3
SB-16D ID #1-1	Virtual SB-16D Virtual				${\rightarrow} \leftarrow$	Dante 1/0 49 - 6 4	, 1

マウント後の制御権の設定

マウントしたあとに制御権を要求することができます。

1. 制御権を取得していないマウントされた SB-16Dの制御権表示 部をタップすると、メッセージが表示されます。



 REQUESTボタンをタップすると、制御権の要求を開始します。 CANCELボタンをタップすると、制御権の要求をせずに終了 します。

メモ

制御権を取得しない場合は、マウント状態でも該当のSB-16D に対するPre Amp、GPIO (拡張モード)、スナップショットリコー ル、出力ルーティングの制御がこのSonicviewからできません。 制御権を取得した場合は上記の制御が可能になり、該当のSB-16Dに対するサンプリングレートやリファレンスレベルの設定 が他のSonicviewに対して優先されます。

重複したIDの解消方法

- 右側リストで解消する場合
- IDが重複しているデバイスの → ボタンをタップして、IDを設 定するウィンドウを表示します。



 選択肢を上下にスワイプして、設定したいIDを選択します。 ピンクと黄色で点灯したLCDノブ2/LCDノブ3を回して選 択肢を変更することもできます。

メモ

すでにDanteネットワーク上に存在するIDを選択したときはID が赤くなり、APPLYボタンがグレーアウト表示になって設定で きません。

 APPLYボタンをタップして、変更した設定を確定します。 選択したIDの番号が表示されます。

Dante SETUP			×
Dante Settings	I/O Device		
SB-16D ID #6-2	SGY-BTM	Mounted Device Pre Amp Control D #6-1 SGY.TOP	$ \begin{array}{c} {}^{\text{AUTO}}_{\text{ROUTING}} \text{ ON} \\ \rightarrow \\ \leftarrow \\ {}^{\text{Dante } I/0} \\ \leftarrow \\ 1 - 16 \end{array} $
	→		$\stackrel{\rightarrow}{\leftarrow} \begin{array}{l} \text{Dante I/O} \\ \textbf{17 - 32} \end{array}$
	<i>←</i>		$\stackrel{ ightarrow}{\leftarrow} \begin{array}{c} {}^{ m DanteI/O} \\ {}^{ m Gante} \begin{array}{c} {}^{ m JO} {}^{ m SanteI/O} \end{array}$
SB-16D ID #1-1 SB	Virtual -16D Virtual		$\stackrel{ ightarrow}{\leftarrow}$ 49 - 64

重複が解消され、通常の表示に戻ります。

- 左側リストで解消する場合
- IDが重複しているデバイスの ボタンをタップします。 タップしたデバイスのコントール画面が表示されます。



 デバイス名表示部の右側に「Controlled by this console」と 表示されたら、画面左上のID表示部をタップして、IDを設定 するウィンドウを表示します。



 選択肢を上下にスワイプして、設定したいIDを選択します。 ピンクと黄色で点灯したLCDノブ2/LCDノブ3を回して選 択肢を変更することもできます。

メモ

すでにDanteネットワーク上に存在するIDを選択したときはID が赤くなり、APPLYボタンがグレーアウト表示になって設定で きません。

 APPLYボタンをタップして、変更した設定を確定します。 選択したIDの番号が表示されます。



重複が解消され、通常の表示に戻ります。

SB-16Dに関するアラート・エラー表示

 ● バーチャルマウント状態からマウント状態に切り換わった場合: 右端のタッチスクリーンに以下のメッセージウィンドウを表示 します。



CLOSEボタンをタップすると、メッセージを閉じます。 Dante SETUPボタンをタップすると、右端のタッチスクリーン がDante SETUP画面のI/O Device タブ画面に切り換わります。 また、すべてのタッチスクリーン上部に以下のアラートメッセー ジを表示します。

SB-16D ID #xx-xx connected.

このアラートメッセージをタップすると、Dante SETUP画面の I/O Device タブ画面に切り換わります。 画面上部のアラート表示を消すには、INFORMATION画面の ERRORタブ画面で該当するアラートメッセージの M ボタンを タップします。(→267ページ「ERRORタブ画面」)

 ●マウント状態からバーチャルマウント状態に切り換わった場合:
 マウントしていたSB-16DがDanteネットワークから切断され バーチャルマウント状態に切り換わり、すべてのタッチスクリーン上部に以下のエラーメッセージを表示します。

SB-16D ID #xx-xx has been disconnected.

このエラーメッセージをタップすると、Dante SETUP画面のI/O Device タブ画面に切り換わります。

このエラーメッセージ表示は、以下の方法で解除できます。

- SB-16DがDanteネットワークに復帰した場合は、自動的に エラーが解消し、画面上部のエラーメッセージ表示が消え ます。
- INFORMATION画面のERRORタブ画面で該当するエラーメッセージの ボタンをタップすると、画面上部のエラーメッセージ表示が消えます。
- Dante Setup画面のI/O DEVICE タブ画面の操作で該当する デバイスをアンマウントした場合も、エラーが解消し、画面 上部のエラーメッセージ表示が消えます。

● IDが重複した状態になった場合:

マウントされている SB-16Dと同じ IDの SB-16Dが Dante ネット ワークに接続された場合は IDが重複した状態となり、すべての タッチスクリーン上部に以下のエラーメッセージを表示します。

SB-16D ID #xx-xx has a ID conflict.

このエラーメッセージをタップすると、Dante SETUP画面のI/O Device タブ画面に切り換わります。

このとき、先にマウントされていたデバイスが優先されますの でミキサーとしての動作に影響はありません。

バーチャルマウント状態からマウント状態に切り換わったとき のアラートメッセージが残ったままIDが重複した状態になった 場合は、アラート表示を解除したのちにエラーメッセージを表 示します。

このエラーメッセージ表示は、以下の方法で解除できます。

- Dante画面のI/O Device タブ画面の操作で重複したIDを解 消すると、画面上部のエラーメッセージ表示が消えます。
- 重複しているデバイスがDanteネットワーク上から切断され 正常なマウント状態に戻ると、画面上部のエラー表示が消 えます。
- このエラーメッセージ表示が解除されると、INFORMATION 画面のERRORタブ画面に以下のエラー復帰メッセージが登 録されます。

SB-16D ID #xx-xx conflict has been resolved.

Dante Controllerでルーティング、96kHz動作時のルーティ ングのときの制限

 AUTO ROUTINGボタンが「OFF」に設定されている場合は、I/ O Deviceタブ画面の右側のリストに「Sonicview Dante I/O」 と「社1-16」などが表示されません。

Dante SETUR	•					×
Dante Setting	s I/	O Device				
			Mo	ounted Device	AUTO ROUTING OF	F
<u>S8-160</u> ▲ ID #1-1	Virtual 58-160 Virtual	→ ↓			Use the Dante Controller for Routing.	

代わりに、下記のメッセージが表示されます。

Use the Dante Controller for Routing.

代わりに、以下のメッセージが表示されます。

\$	Dante SETUP						×
	Dante Settings	I/O	Device				
				Мо	unted Device		DN
						$\stackrel{ ightarrow}{\leftarrow} \begin{array}{l} Dante V \\ \leftarrow & 1-16 \end{array}$	
			\rightarrow			$\stackrel{ ightarrow}{\leftarrow} {}^{ m Dante I\!\! I}$	° 2
			<i>←</i>			When using IF- Pre Amp contro possible from t	DA64, ol is he ig the
SB-	16D ID #1-1 SB-16D V	Virtual				Dante controlle route the SB-16 IF-DA64 1-16 an 17-32.	iD to id

この場合、マウント後に制御権の取得操作が必要です。 マウント時に自動で取得はしません。

マウント 直後には、制御権表示部に「Pre Amp Control OFF」 と表示されます。

 IF-DA64(Danteカード)が装着されていない場合: 制御権表示部をタップすると、以下のメッセージが表示され ます。

IF-DA64 is required to enable Pre Amp Control. [CANCEL]

CANCELボタンをタップすると、メッセージウィンドウを 閉じて元の画面に戻ります。この場合は、本機からのPre Ampの制御はできません。 IF-DA64(Danteカード)が装着されている場合:
 制御権表示部をタップすると、以下のメッセージが表示されます。

Route as follows by Dante Controller. [SB-16D 1-16ch] to[IF-DA64 (Slot1) 1-16ch]* Do you want to enable Pre Amp Control? [CANCEL] [ENABLE]

- CANCELボタンをタップすると、メッセージウィンドウ を閉じて元の画面に戻ります。この場合は、本機からの Pre Ampの制御はできません。
- ENABLEボタンをタップすると、制御権が設定され制御 権表示部に「Pre Amp Control」と表示されます。
- 他のSonicviewなどが、すでにSB-16Dの制御権を持っている場合:

制御権表示部をタップすると、以下のメッセージが表示され ます。

Route as follows by Dante Controller. [SB-16D 1-16ch] to [IF-DA64 (Slot1) 1-16ch]* Do you request control? Sonicview XXX has Pre Amp control. [CANCEL] [REQUEST]

このあとは、101 ページ「Dante ネットワークに接続されて いるデバイスのマウント」の手順 5. 以降の手順で制御権を 取得できます。

上記方法で制御権を取得すると、IF-DA64(Danteカード)が 装着されているSLOTを入力ソースとしてアサインしているモ ジュールからのPre Ampの制御が可能になります。

* この表示は、マウントスロットの3つ目にSB-16Dをマウントし、SLOT1にIF-DA64(Danteカード)を装着している場合の表示です。 マウントスロットの4つ目にSB-16Dをマウントし、SLOT2

にのみIF-DA64(Danteカード)を装着している場合は、以 下のメッセージが表示されます。

Route as follows by Dante Controller. [SB-16D 1-16ch] to [IF-DA64 (Slot2) 17-32ch]

ログイン失敗

1 台の SB-16Dに対して、同時に最大 10 台まで Sonicviewからアク セスが可能です。

10 台を超えると、それ以降にそのSB-16Dにアクセスしようとした Sonicviewはアクセスに失敗(ログイン失敗)し、そのSB-16Dは 制御できません。

ログイン失敗しているマウント済みデバイスは、右上に「Logged Out」と表示されます。



未マウントデバイスまたはマウント 済みデバイスの 🤤 ボタンを タップすると、ログイン失敗している旨の以下のメッセージが表 示されます。

メッセージのOKボタンをタップすると元に戻ります。 メッセージの内容は、ログイン失敗の理由によって異なります。

● すでに 10 台ログイン済みの場合

Login failed. Exceeded maximum number of connections.

● 通信エラーでログインできない場合

Login failed. TCP Error.

SB-16Dをマウントするときにログイン失敗すると、マウントは実 行されますが、上記メッセージが表示されます。

ログイン失敗したマウント済みデバイスで可能なことと不可能な ことは、以下の通りです。

- 可能なこと
 - 「SB-16Dから Sonicviewへの入力 Dante ルーティング」を本 機で設定することができ、この SB-16Dの入力音を本機に入 力できます。
 - Dante Controllerでルーティング設定すると、このSB-16D から音を入出力することができるようになります。
- 不可能なこと
 - 「SonicviewからSB-16Dへの出力Danteルーティング」を本 機で設定することができません。そのため、このSB-16Dか ら本機の音を出力できません。
 - 制御権の取得、Pre Ampの設定、その他の設定を変更/確 認できません。

ログイン失敗のエラーが出た場合の対処方法

- マウントしていない該当SB-16Dの操作画面を表示している Sonicviewがある場合は、SB-16Dの操作画面を閉じます。
- 該当 SB-16Dが 10 台以上の Sonicviewでマウントされている場合は、該当 SB-16Dが不要な Sonicviewでアンマウントします。
- マウント済みでログイン失敗している場合は、上記を行った上 でいったんアンマウントしてマウントをし直します。
- 上記の対処方法で解決しない場合は、いったんSB-16Dの電源 を切り、数秒待ってから電源を再投入します。

オーディオ設定の同期

マウント後の制御権をSonicviewが持つ場合は、SB-16Dはサン プリングレートとリファレンスレベル(アナログ・デジタル両方) の設定がマウントしたSonicviewの設定と自動的に同期されます。 また、SnapshotのRecall対象デバイスとして設定され、Dante出 カルーティングを優先する機器としても設定されます。
Dante ルーティング

Sonicviewは、 マウントしたSB-16DのDante I/OとSonicviewの Dante I/Oを自動でルーティングすることができます。

一方、ルーティングを Dante Controllerに任せて、Sonicviewでは ルーティングしない設定も選択することができます。

設定は、I/O Device タブ 画面の AUTO ROUTING ボタンで行います。 (→100 ページ「⑤ AUTO ROUTING ボタン」)



● SonicviewとマウントしたSB-16DのDanteルーティングを Sonicviewから行うには、AUTO ROUTINGボタンを「ON」に 設定します。

マウント時に自動でDanteルーティングが設定されます。 この際、SB-16Dのマウント位置により、マウントしたSB-16D のI/Oポートと本機の内蔵Dante I/Oが、マウント時に以下のよ うに自動的にDanteルーティングされます。

Sync Clock = 48kHz時

Mounted Device エリア 表示部のマウント 位置	ルーティング先
一番上	本機の内蔵 Dante I/Oの 1-16
上から二番目	本機の内蔵 Dante I/Oの 17-32
上から三番目	本機の内蔵 Dante I/Oの 33-48
上から四番目	本機の内蔵 Dante I/Oの 49-64

Sync Clock = 96kHz時

Mounted Device エリア 表示部のマウント 位置	ルーティング先
一番上	本機の内蔵 Dante I/Oの 1-16
上から二番目	本機の内蔵 Dante I/Oの 17-32
上から三番目	自動では、ルーティングされませ ん。「本機に装着したIF-DA64の Dante I/O 1-16」と「ここにマウン トした SB-16Dの Dante I/O 1-16」 を Dante Controllerでルーティン グしてください。
上から四番目	自動では、ルーティングされません。「本機に装着したIF-DA64の Dante I/O 17-32」と「ここにマウントした SB-16Dの Dante I/O 1-16」を Dante Controllerでルーティングしてください。

メモ

AUTO ROUTINGボタンを「OFF」から「ON」に変更する際、 自動的にDanteルーティングが実施されると本機のDante入力 ルーティングが変更される場合に、下記のメッセージが表示さ れ、ルーティングをマウント状態に合わせるかを確認します。

Devices other than this Sonicview are routed to the mounted SB-16D.

Do you want to KEEP the routing? Or Change the routing to this Sonicview? [KEEP] [CHANGE]

KEEPボタンをタップすると、AUTO ROUTINGボタンが「ON」 に切り換わりますが、Danteルーティング設定はそのまま維持 されます。AUTO ROUTINGボタンを「ON」に切り換えたあと にSB-16Dをマウントした場合は、自動でルーティングされます。 CHANGEボタンをタップすると、マウント状態に合わせて Danteルーティングが変更されます。その際、「Sonicview」か ら「他のDante機器」への出力ルーティングは維持された状態 のまま、「Sonicview」から「マウントしているSB-16D」への 出力ルーティングが追加されます。

AUTO ROUTINGボタンが「OFF」の状態でのDanteルーティング例





上記状態からAUTO ROUTINGボタンを「ON」に切り換えた際に、CHANGEボタンをタップした場合のDanteルーティングの状況



- SonicviewのDanteルーティングをDante Controllerから行う には、AUTO ROUTINGボタンを「OFF」に設定します。 Dante Controllerでルーティングできるようになります。
 - Dante ControllerからDante ルーティングを行う設定にした場合は、Sonicviewからのルーティング設定は相手がSB-16Dでもできません。

メモ

マウント済みSB-16Dのルーティングは、そのまま維持します。 AUTO ROUTINGボタンを「OFF」に設定したあとからSB-16D をマウントしても自動でルーティングしません。

SB-16Dのコントロール

Sonicviewの拡張 I/Oとしての Pre Amp コントロール

内蔵 Dante入力ポートがルーティングされたモジュールの操作画面 から、この Dante入力ポートに Dante ルーティングされた SB-16D の入力端子の Pre Ampを操作することができます。

この場合は、Sonicview内蔵のアナログ入力のPre Ampと同じように操作することが可能です。

以下の条件をすべて満たしている場合のみ、ホーム画面/ MOUDLE (OVERVIEW) 画面/ MODULE (INPUT) 画面でPre Ampの 操作が可能です。

- Danteポートがモジュールにアサインされている
- この Dante ポートに SB-16Dの Dante ポートがルーティングされ ている
- こ の Dante ポート に ルーティ ング されて いる SB-16Dが Sonicviewにマウントされて制御権を持っている、もしくはバー チャルマウントされている

マウントされて、制御権を持っている場合の表示例

この場合、内蔵Analog入力端子をルーティングした場合と同じ Pre Amp設定の表示になります。







マウントされているが、制御権を持たない場合の表示例

この場合、SB-16Dの Pre Amp設定は表示できますが、GAINノブ 中央や PAD ボタン、48V ボタンが黒く表示され、操作できません。





S MODI	ULE (INPUT)	FULL SCREEN	< сн 1		CI	11	\rightarrow	
OVERVIEW	INPUT	DE-ESSER	EQ	c			PAN 🥌	
INPUT		URCE		0	sc 🌣	POST D.TRIM	OF	F
— — 3 — — 9	INPUT A DA 17 12 S8 #8-9 1		1 B	0	sc	— — 3 — — 9	LOCATI NON	Link 10N NE
— — 20	SB #8-9 1			LAI MODULE USER EIXED	PORT USER	— — 20		
— — 40 — — 60				PORT	RATCH SETUP	— — 40 — — 60	HPF C	DFF
Analog GAIN PAD off +12	D. TRIM Batch 0.C		+48	3V F	ф ОFF		нрг — I 79	Hz

バーチャルマウントの場合の表示例

この場合、内蔵Analog入力端子をルーティングした場合と同じ Pre Amp設定の表示になり、ルーティング設定に 🔮 マークが表示 されます。





5 мор	ULE (INPUT)	FULL SCREEN CH	1 CI	H 1	> ≡
OVERVIEW	INPUT	DE-ESSER EC	р 🔚 сомр 🖊	SEND	PAN 🛹
INPUT 0		URCE	osc 🌣	POST D.TRIM	OFF Stereo Link
— — 3 — — 9	INPUT A	INPUT B	osc	— — 3 — — 9	LOCATION
— — 20	SB #1-1 1 🔍 SB #1-1 1		LABEL 🌣	— — 20	NONE
			USER USER FIXED FIXED PORT	— — 40	EQ/OFF
			ROUTING BATCH SETUP		HPF OFF
Analog PAD	D. TRIM				HPF
+12	Batch 0.0		48V Ψ DFF OFI	:	—і 79 _{Нz}

SB-16Dのフルコントロール

同じDanteネットワークに接続されているSB-16Dは、マウント しているデバイスだけでなく、マウントしていないデバイスでも、 Sonicviewからフルコントロールすることができます。

メモ

他のSonicviewが制御権を持っているSB-16Dの場合、設定値の表示はできますが、コントロールすることはできません。この場合、SB-16Dのコントロール画面上部に 🗗 マークと制御権を持っているSonicviewのDante デバイスのモジュール名が表示されます。

 メニュー画面 > Rear Panel Setup メニュー > 「Dante Setup」 をタップして Dante SETUP画面を表示し、I/O Device タブを タップします。



 コントロールしたいデバイスの ■ボタンをタップします。 コントロール 画面に切り 換わります。

5 Dant	e SETUP						×
Dante	Settings		I/O Device				
ID# 2-	3 v SI	B-16D-20.	⁰ 🛅 Cor	trolled by this c	onsole	>	\$
1	2	3	4	5	6	7	8
01	02	03	04	05	06	07	08
GAIN	GAIN	GAIN	GAIN	GAIN	GAIN	GAIN	GAIN
+12 🗩	+12 dB	+12 🗩	+12 dB	+12 dB	+12 🗩	+12 🗩	+12 🗩
PAD 48V OFF (Hold)	PAD OFF (Hold)	PAD OFF (Hold)	PAD OFF (Hold)	PAD 48V OFF (Hold)	PAD 48V OFF (Hold)	PAD OFF (Hold)	PAD OFF (Hold)
9	10		12	13	14	15	16
09	10	11	12	13	14	15	16
GAIN	GAIN	GAIN	GAIN	GAIN	GAIN	GAIN	GAIN
+12 🗩	+12 🗩	+12 🗩	+12 dB	+12 🗩	+12 🗩	+12 🗩	+12 🗩
PAD 48V OFF (Hold)	PAD 48V OFF (Hold)	PAD OFF (Hold)	PAD 48V OFF (Hold)				

コントロール画面の操作



① ID表示部

- 現在のIDを表示します。
- この部分をタップすると、IDを変更するウィンドウを表示 します。



選択肢を上下にスワイプして、IDを変更します。 ピンクと黄色で点灯したLCDノブ2/LCDノブ3を回して 選択肢を変更することもできます。

- APPLYボタンをタップすると、選択したIDに変更されます。
- CANCELボタンをタップすると、IDを変更せずにウィン ドウを閉じます。

メモ

- すでにDanteネットワーク上に存在するIDを選択したとき はIDが赤くなり、APPLYボタンがグレーアウト表示になっ て設定できません。
- マウント中のIDを変更すると、マウントが解除されてしまう場合があります。

② デバイス名表示部

- SB-16DのDante デバイスのモジュール名を表示します。
- この部分をタップすると、Danteデバイスのモジュール名を 変更することができます。
- バーチャルマウントデバイスの場合は「---」と表示され、タッ プしても変更できません。

③ 制御権表示部

- 制御権の状態を表示します。
- 本機が制御権を持っている状態では、
 「マークとともに、
 「Controlled by this console」と表示されます。
- 本機が制御権を持っていない状態では、「マークとともに 「Controlled by [制御権を持っている Sonicviewの Danteデ バイスのモジュール名]」と表示されます。
- 以下の場合は、何も表示しません
 - 該当SB-16Dの制御権を持っている機器がない場合

• バーチャルマウントデバイスの場合

④ ◎ ボタン

- このボタンをタップすると、IdentifyコマンドをSB-16Dへ 送信します。Identifyコマンドを受信したSB-16Dは、SIGイ ンジケーターとSTATUSインジケーターが点滅して応答しま すので、どれが該当するデバイスか確認することができます。 SB-16Dが応答中に再度このボタンをタップしてIdentifyコ マンドを送信すると、該当するSB-16Dの応答を終了します。
- バーチャルマウントデバイスの場合は、このボタンは表示されません。

⑤ 💽 ボタン

このボタンをタップすると、Pre Amp操作以外の設定を確認する Settings画面に切り換わります。

•	Dante SETUP	Settings	×
	Dante Settings	I/O Device	
1	D# 2-3 🔻 SB-16	D-20 🚡 Controlled by this console	
	Firmware Version MAIN: 1.00 Build0056 FPGA : 0051	Serial No.	
	DC Power DC Volt.: 0.0V	Stop Volt. Alert Volt. 13.2V 13.7V Settings	
	Sampling rate	48kHz <mark>96kHz</mark>	
	Digital Reference Leve	el -9dBFS -14dBFS -16dBFS -18dBFS <mark>-20dBFS</mark>	
	Analog Reference Lev	el +6dBu +4dBu OdBu	Ô

⑥ チャンネルモジュール表示部

- チャンネルの名前/ GAIN ノブ/ PADボタン/ 48Vボタンの 操作を行います。
 - チャンネル名をタップするとRENAME画面に切り換わり、 チャンネル名を編集することができます。
 - 選択枠で選択中のチャンネル群のGAINを、赤く点灯した LCDノブ1~8を使って調節します。
 - PADボタンをタップすると、20dBのパッドのオン/オフ が切り換わります。このボタンがオンのとき、ボタンが ハイライト表示になります。
 - 48Vボタンを押し続けると、ファンタム電源のオン/オ フが切り換わります。ファンタム電源がオンのとき、ボ タンがハイライト表示になります。
- GAIN ノブ/ PADボタン/ 48Vボタンは、バーチャルマウン トデバイスの場合も操作できます。
- 表示している SB-16Dの制御権を他の Sonicviewが持っている場合は、下記のように表示されて操作できません。

D ant	e SETUP						×
Dante	Settings		I/O Device				
id# 2 -	3 v SI	B-16D-20.	🗹 🔒 Cor	trolled by SV-18	6fd4 ©	>	\$
I	2	3	4	5	6	7	8
01	02	03	04	05	06	07	08
	GAIN						
+12 dB	+12 dB	+12 dB	+12 dB	+12 dB	+14 dB	+12 dB	+12 dB
PAD 48V OFF OFF							
•	10		12	13		15	16
09	10	11	12	13	14	15	16
	GAIN						
+12 dB							
PAD 48V	PAD 48V OFF OFF						

[制御権を持っていない場合の表示例]

Settings画面





1 Firmware Version

SB-16Dのファームウェアバージョンを表示します。 バーチャルマウントデバイスの場合は、番号部分を「---」と表 示します。

2 Serial No.

SB-16Dのシリアル番号を表示します。 バーチャルマウントデバイスの場合は、「---」と表示します。

③ Dante Version Info

● SB-16Dの Dante モジュールファームウェアバージョンを表示します。

バーチャルマウントデバイスの場合は、タップしても何も 表示しません。

● この部分をタップすると、Danteインフォメーションのウィ ンドウを表示します。



④ スクロールノブ/スクロールバー表示

Settings画面の設定項目全体に対して、画面内に表示されている設定項目の相対位置をスクロールバーで表示します。

メモ

画面に表示されていな設定項目を表示するには、設定項目表示 を上下にスワイプして画面をスクロールします。

水色で点灯したLCDノブ8を回してスクロールすることもでき ます。

⑤ DC Power表示部

SB-16DのDC電源の状態表示と設定を行います。

項目名	内容
DC Volt.	DC電源の現在の電圧と状態を表示します。 DC電源が正常に供給されている場合は、 緑色のインジケーターが表示されます。 アラート表示設定がONで、DC電源電圧が アラート電圧を下回っている場合、▲ イ ンジケーターが表示されます。 DC電源が供給されていない場合(DC電源 電圧が終止電圧を下回っている場合)は、 インジケーターは表示されません。
Stop Volt.	終止電圧の設定値を表示します。
Alert Volt.	アラート表示する電圧の設定値を表示し ます。 DC Powerの設定ウィンドウのAlert Voltage ON / OFFボタンが「OFF」に設 定されている場合は、「V」と表示します。
Settingsボタン	このボタンをタップすると、DC Powerの 設定ウィンドウを表示します。(→114 ページ「DC Powerの設定」)

バーチャルマウントデバイスの場合は、すべての設定値が「---」 表示となります。また、Settingsボタンはグレーアウト表示に なり、操作できません。

⑥ Sampling rate ボタン

SB-16Dのサンプリング周波数を設定します。 選択したボタンがハイライト表示になります。

⑦ Digital Reference Levelボタン

SB-16DのDigitalの基準レベルを設定します。 選択したボタンがハイライト表示になります。

⑧ Analog Reference Levelボタン

SB-16Dの Analogの 基準レベルを 設定します。 選択したボタンがハイライト 表示になります。

メモ

- ・背景色が緑色のSampling rateボタン(⑥) / Digital Reference Levelボタン(⑦) / Analog Reference Levelボ タン(⑧)の設定は、制御権を持っているSonicviewの設 定に連動します。そのため、マウントされている場合はこの Settings画面での設定変更はできません。
- バーチャルマウントデバイスの場合は、Sampling rateボタン(⑥) / Digital Reference Levelボタン(⑦) / Analog Reference Levelボタン(⑧)の設定は、すべてのボタンが グレーアウト表示になり操作できません。

⑨ LED Brightnessボタン

● ● / ■ ボタンを使って、SB-16Dのインジケーターの輝度を 設定します。

選択肢:0~3(初期值:3)

 ● バーチャルマウントデバイスの場合は、「−」と表示され、 ボタンがグレーアウト表示になり操作できません。

10 GPIO Extension

Settingsボタンをタップすると、GPIO Extension Settings画面 に切り換わります。(→ 115 ページ「GPIO Extension Settings 画面」)

バーチャルマウントデバイスでも操作が可能です。

1 Network Settings

- Danteボタンをタップすると、Network Settings画面の Dante Network Settings表示に切り換わります。(→117ペー ジ「Dante Network Settings表示」)
- Controllerボタンをタップすると、Network Settings画面の Control Network Settings表示に切り換わります。(→118 ページ「Control Network Settings表示」)
- バーチャルマウントデバイスの場合は、Danteボタンと Controllerボタンがグレーアウト表示されて設定画面に切り 換えできません。

12 Factory Reset ボタン

Resetボタンをタップすると、工場出荷時に設定に戻す操作 をするウィンドウを表示します。(→119ページ「Factory Reset」)

バーチャルマウントデバイスの場合は、ボタンがグレーアウト 表示になり操作できません。

DC Powerの設定

DC Power表示部にある Setting ボタンをタップすると、以下の DC Powerの設定ウィンドウを表示します。



 ④ Stop Voltage:終止電圧を設定します。
 水色で点灯したLCDノブ4を使って調節します。

選択肢:11.0V~27.0V (0.1V刻み、初期値:11.0V)

SB-16DがDC電源のみで動作している場合は、DC電源電 圧がこの電圧を下回るとSB-16Dがシャットダウンします。 DC電源をバッテリーから供給している場合は、バッテリー 仕様の終止電圧を設定してください。それ以外の場合は、 最低の「11.0V」に設定してください(初期値:11.0V)。

⑧ Alert Voltage:アラート電圧を設定します。

緑色で点灯したLCDノブ5を使って調節します。

選択肢:OFF、11.0V~ 28.0V (0.1V刻み、初期値:11.5V)

Stop Voltageの設定を変更すると自動的に「Stop Voltage +0.5V」に設定されます。

アラート表示されるタイミングが早かったり遅かったりする場合は、この設定を変更することで調節してください。

- DC Voltage:現在のDC入力電圧を表示します。
- ① Alert Voltage ON / OFFボタン:このボタンをタップすると、アラート表示のオン/オフが切り換わります。(初期値:ON)

ONのとき、DC電源電圧がアラート電圧を下回っている 場合に以下のアラート表示をします。

- SB-16Dの DC POWER インジケーター点滅
- DC Power表示部(⑤)の<u>A</u>インジケーター表示
- ① Alert Resetボタン:このボタンをタップすると、「Alert Voltage」の設定値が初期値(Stop Voltage +0.5V)に戻 ります。
- ① CANCELボタン:このボタンをタップすると、DC Power の設定ウィンドウの値を破棄し、ウィンドウを閉じます。
- ⑥ SETボタン:このボタンをタップすると、DC Powerの設 定ウィンドウの値を確定し、ウィンドウを閉じます。

GPIO Extension Settings画面

SB-16DのGPIOポートには、以下の機能があります。 **GPIO-IN**

- SB-16Dの入出力信号のMUTE制御(Local モードの機能)
- マウントしているSonicviewの拡張GPIO-INポート動作 (Extensionモードの機能)

GPIO-OUT

- SB-16Dの入出力信号のMUTE状態のタリー出力(Local モードの機能)
- マウントしているSonicviewの拡張GPIO-OUTポート動作 (Extensionモードの機能)

この画面では、これらの機能を使うための設定を行います。









[Individual モード]

① ID表示部

- 現在のIDを表示します。
- この部分をタップすると、IDを変更するウィンドウを表示 します。



選択肢を上下にスワイプして、IDを変更します。 ピンクと黄色で点灯したLCDノブ2/LCDノブ3を回して 選択肢を変更することもできます。

- APPLYボタンをタップすると、選択したIDに変更されます。
- CANCELボタンをタップすると、IDを変更せずにウィン ドウを閉じます。

メモ

- すでにDanteネットワーク上に存在するIDを選択したとき は、IDが赤くなり、APPLYボタンがグレーアウト表示になっ て設定できません。
- マウント中のIDを変更すると、マウントが解除されてしまう場合があります。

② GPIOポート全体の動作モード表示部

- 現在のGPIOポート全体の動作モード名を表示します。
- この部分をタップすると、SB-16DのGPIOポート全体の動 作モードを変更するウィンドウを表示します。



表示	内容
ALL Extension	すべての GPIO ポートを、SB-16Dをマウン トした Sonicviewの GPIO拡張端子として使 用する ALL Extension モードに 設定します。
ALL Local	 すべてのGPIOポートを、下記を行う端子として使用するALL Local モードに設定します。 GPIO-IN:SB-16D入出力信号のMUTE制御 GPIO-OUT:SB-16D入出力信号のMUTE
Individual	各GPIOポートの動作モードをポートごとに 設定するモードにします。

選択肢をタップして、SB-16DのGPIOポート全体の動作モードを切り換えます。

③ 端子番号ボタン

- この部分をタップすると、タップした端子が選択状態になり、 Sonicview GPIO Extension表示部(④) /ポートごとの動 作モード・アクションモード切り換えボタン(⑤) /入力 信号/出力信号の選択状態表示部(⑥)の表示内容が選択 した端子の設定状態に切り換わります。
- GPIOポート全体の動作モードが「ALL Local」および「Individual」のときに端子番号ボタンをタップすると、選択した端子番号ボタンに白い枠が表示されます。

④ Sonicview GPIO Extension表示部

GPIO IN Settingsボタン(GPIO-IN端子選択時)またはGPIO OUT Settingsボタン(GPIO-OUT端子選択時)を、選択した GPIOポートの動作モードが以下の場合に表示します。

- GPIOポート全体の動作モード表示部(②)が「ALL Extension」のとき
- GPIOポート全体の動作モード表示部(②)が「Individual」 で動作モード・アクションモード切り換えボタン(⑤)が 「Extension」のとき

選択中のGPIOポートを、対象のSB-16Dをマウントしている SonicviewのGPIO拡張端子として使用します。

対象のSB-16DをマウントしているSonicviewのUSER DEFINED CONTROLS画面のGPIO-INタブ画面またはGPIO-OUTタブ画面 で設定してください。

- ⑤ ポートごとの動作モード・アクションモード切り換え ボタン
 - 選択したGPIOポートの動作モードが以下の場合に表示します。
 - GPIOポート全体の動作モード表示部(②)が「ALL Local」のとき
 - GPIOポート全体の動作モード(②)が「Individual」の とき
 - 選択中のGPIOポートの動作モードとアクションモード名を 表示します。
 - このボタンをタップして、ポートごとの動作モードとアクションモードの設定を切り換えます。

GPIO-INポートの場合

表示	内容
Extension	選択したポートを、SB-16Dをマウントした SonicviewのGPIO拡張端子として使用する Extension モードに設定します。 GPIOポート全体の動作モード(②)が 「Individual」のときのみ選択できます。
Local / Closed- Toggle	選択したINポートが短絡状態(Closed)に なると、入力信号/出力信号の選択状態表 示部(⑥)で選択したSB-16Dの入出力信 号のMUTE/UNMUTEを切り換えるモード です。
Local / Closed- Mute	選択したINポートが短絡状態(Closed)に なると、入力信号/出力信号の選択状態表 示部(⑥)で選択したSB-16Dの入出力信 号をMUTE状態に切り換えるモードです。
Local / Closed- Unmute	選択したINポートが短絡状態(Closed)に なると、入力信号/出力信号の選択状態表 示部(⑥)で選択したSB-16Dの入出力信 号をUNMUTE状態に切り換えるモードです。

GPIO-OUTポートの場合

表示	内容
Extension	選択したポートを、SB-16Dをマウントした SonicviewのGPIO拡張端子として使用する Extensionモードに設定します。 GPIOポート全体の動作モード(②)が 「Individual」のときのみ選択できます。
Local / Mute- Closed	 入力信号/出力信号の選択状態表示部(⑥) で選択したSB-16Dの入出力信号がMUTE状態になると、選択したOUTポートを短絡状態(Closed)にするモードです。
Local / Unmute- Closed	 入力信号/出力信号の選択状態表示部 (⑥) で選択した SB-16Dの入出力信号が UNMUTE状態になると、選択した OUT ポートを短絡状態(Closed)にするモードです。

⑥ 入力信号/出力信号の選択状態表示部

選択したGPIOポートの動作モードが以下の場合に表示します。

- GPIOポート全体の動作モード表示部(②)が「ALL Local」のとき
- GPIOポート全体の動作モード(②)が「Individual」でポートごとの動作モード・アクションモード切り換えボタン(⑤)が「Local / xxxxx」のとき

GPIO-IN端子を選択している場合は、選択端子によるMUTE制 御対象となるSB-16Dの入出力信号を選択します。

GPIO-IN端子による MUTE制御対象は、最大 16 個まで選択可能です。

選択可能な個数を超えると、チェック欄がグレーアウト表示に なり、選択できなくなります。



GPIO-OUT端子を選択している場合は、選択端子からMUTE / UNMUTE状態をタリー出力したいSB-16Dの入出力信号を選択します。

タリー出力対象のSB-16Dの入出力信号は、最大 16 個まで選択 可能です。選択可能な個数を超えると、チェック欄がグレーア ウト表示になり、選択できなくなります。

複数の入出力信号が選択されている場合は、選択したいずれか の入出力信号がMUTE状態の場合(Local / Mute -Closed設定時) / UNMUTE状態(Local / Unmute - Closed設定時)にタリー出 力します。



Dante Network Settings表示



SB-16Dの Dante ネットワークの設定状態を表示します。 Redundant(二重化)モードのときは、左側に Primary端子、右側 に Secondary端子の設定を表示します。

Switched(デイジーチェーン)モードのときは、左側だけが有効 になります。

項目名	内容
Switch	選択中の接続モードを表示します。 この部分をタップすると、Redundant(二重 化)モードとSwitched(デイジーチェーン) モードを選択するウィンドウを表示します。 (初期値:Redundant)
Addressing	IP アドレス設定モード名を表示します。 この部分をタップすると、「AUTO (DHCP)」 と「STATIC」を選択するウィンドウを表示し ます。(初期値:AUTO (DHCP))
IP Address	Addressing項目の設定が「AUTO」の場合は 割り振られたIPアドレス、「STATIC」の場合 はユーザーが設定したIPアドレスを表示しま す。 Addressing項目の設定が「STATIC」のとき にこの部分をタップすると、IP ADDRESS画 面に切り換わります。(→137ページ「IP Address / Subnet Mask / Default Gateway の設定手順」)
Subnet mask	Addressing項目の設定が「AUTO」の場合は 割り振られたサブネットマスク、「STATIC」 の場合はユーザーが設定したサブネットマス クを表示します。 Addressing項目の設定が「STATIC」のとき にこの部分をタップすると、SUBNET MASK 画面に切り換わります。(→ 137 ページ「IP Address / Subnet Mask / Default Gateway の設定手順」)
LINK Status	Danteネットワークのリンク状態を表示しま す。1G以外の場合、赤文字で表示します。
MAC Address	Primary / Secondaryの各Dante端子のMAC アドレスを表示します。

SB-16Dの Dante ネットワークの設定を確定するには、SB-16Dの Dante モジュールを再起動する必要があります。 SB-16Dの Dante ネットワークの設定が変更された場合のみ、 APPLYボタンがハイライト表示になります。 ハイライト表示中のAPPLYボタンをタップすると、確認メッセー ジが表示されます。



CANCELボタンをタップすると再起動は実行されませんので、設定 はそのままですが動作に反映されません。

REBOOT Danteボタンをタップすると変更を確定し、SB-16Dの Danteモジュールを再起動します。

再起動完了後、設定が動作に反映されます。

注意

SB-16DのDante モジュールの再起動中は、SB-16DのDante入出力 音が途切れますのでご注意ください。

Control Network Settings表示

Dante SETUP	Network Settings	×
Dante Settings	I/O Device	
^{ID#} 2-3 ▼ SB-16D-2	0	
Control Network	Settings	APPLY
Addressing :	AUTO (DHCP)	
IP Address :	192.168.2.108	
Subnetmask :	255.255.255.0	
MAC Address :	00:02:2E:83:40:15	

SB-16D制御用のDanteネットワークの設定状態を表示します。

項目名	内容
Addressing	IPアドレス設定モード名を表示します。 この部分をタップすると、「AUTO (DHCP)」 と「STATIC」を選択するウィンドウを表示し ます。(初期値:AUTO (DHCP))
IP Address	Addressing項目の設定が「AUTO」の場合は 割り振られたIPアドレス、「STATIC」の場合 はユーザーが設定したIPアドレスを表示しま す。 Addressing項目の設定が「STATIC」のとき にこの部分をタップすると、IP ADDRESS画 面に切り換わります。(→137ページ「IP Address / Subnet Mask / Default Gateway の設定手順」)
Subnet mask	Addressing項目の設定が「AUTO」の場合は 割り振られたサブネットマスク、「STATIC」 の場合はユーザーが設定したサブネットマス クを表示します。 Addressing項目の設定が「STATIC」のとき にこの部分をタップすると、SUBNET MASK 画面に切り換わります。(→137ページ「IP Address / Subnet Mask / Default Gateway の設定手順」)
MAC Address	SB-16D制御用のMACアドレスを表示します。

SB-16D制御用のDanteネットワークの設定が変更された場合のみ、 APPLYボタンがハイライト表示になります。

設定を確定した場合は、SB-16DのDanteネットワーク接続がいったん切れます。そのため、ハイライト表示中のAPPLYボタンをタッ プすると確認メッセージが表示されます。

★ Dante SETUP Network Settings × Dante Settings I/O Device × Donte Settings I/O Device × Donte Settings If the network settings are changed, disconnected once. APPLY Address IF the network settings are changed, disconnected once. APPLY Subnetmask 0.0.0.0 ■ MAC Address : 00:02:2E:83:40:15											
Dante Settings 1/0 Device ID# 2-3 ~ SB-16D-20 Control Address Address SB-16D Control network will be disconnected once. IP Addr CANCEL Subnetmask 0.0.0.0 MAC Address 00:02:2E:83:40:15	¢	Da	ante S	ETUP		Networ	k Setting	s			×
1D# 2-3 ▼ SB-16D-20 Control If the network settings are changed, SB-16D Control network will be disconnected once. APPLY Address IP Addr CANCEL APPLY Subnetmask : 0.0.0.0 © MAC Address : 00:02:2E:83:40:15					1	i/O Devid	:e				
Control If the network settings are changed, SB-16D Control network will be disconnected once. APPLY Address IP Addr CANCEL APPLY Subnetmask : 0.0.0.0 C MAC Address : 00:02:2E:83:40:15											
IP Addr CANCEL APPLY Subnetmask : 0.0.0.0 ··· MAC Address : 00:02:2E:83:40:15 ···			Co	ntrol dress	If the r SB-16D discon	etwork Control nected o	settings a network nce.	are ch will b	anged, e	APPLY	
Subnetmask : 0.0.0.0 ⁽²⁾ MAC Address : 00:02:2E:83:40:15				Addr			CANC	EL	APPLY		
MAC Address : 00:02:2E:83:40:15				bneti	: 0.	0.0.0		ß			
			MA	AC Ad		:02:2E:8					

CANCELボタンをタップすると変更を破棄して元に戻します。 APPLYボタンをタップすると変更を確定します。

Factory Reset

1. Resetボタンをタップして、工場出荷時の設定に戻す操作を するウィンドウを表示します。

¢	Dante SETUP	Settings	\times
		I/O Device	
1		-16D-20 🚹 Controlled by this console	
I	Firmware Version MAIN: 1.00 Build0048 FPGA: 0051	SB-16D Factory Reset	
		Keep Dante Settings (Include Routing)	
		CANCEL RESET RESET & REBOOT	
			Ô

項目名	内容
Keep Network Settings	チェックマーク(✔)が付いてい ると、SB-16DのDanteネットワー クの設定を維持します。 チェックマーク(✔)を外すと、 SB-16DのDanteネットワークの設 定を工場出荷時の設定に戻します。 (初期状態:チェックマーク(✔) あり)
Keep Dante Settings (Include Routing)	チェックマーク(✔)が付いていると、SB-16DのDante設定を維持します。 チェックマーク(✔)を外すと、SB-16DのDante設定を工場出荷時の設定に戻します。 (初期状態:チェックマーク(✔)なし)

 設定を維持したい項目は、チェックマーク(✔)を付けます。
 設定を工場出荷時の設定に戻したい場合は、チェックマーク(✔) を外します。

メモ

両方にチェックマーク(✔)を付けた場合は、DanteネットワークとDante以外の設定だけを工場出荷時の設定に戻します。

- RESETボタンもしくはRESET&REBOOTボタンをタップする と、以下の注意喚起のメッセージがウィンドウ内に表示され ます。
 - Keep Network Settingsのチェックマーク(✔)がない 場合のメッセージ:

Network may be disconnected.

Keep Dante Settings (Include Routing) のチェックマーク(✔)がない場合のメッセージ:

Audio will be interrupted. Dante routing will be cleared.

• RESET & REBOOT ボタンをタップした場合のメッセージ:

Audio will be interrupted.

ţ	Dante SETUP	Settings	\times
		I/O Device	
		-16D-20 🗅 Controlled by this console	
	Firmware Version	SB-16D Factory Reset	
	FPGA: 0051	Network may be disconnected.	
	Network Settin	RESET CANCEL	Î
		Reset	Ô

[Keep Network Settingsのチェックマーク(✔)がない場合のメッ セージ表示]

- **4.** 注意喚起メッセージのRESETボタンをタップすると、以下の 項目を工場出荷時の設定に戻しウィンドウを閉じます。
 - チェックマーク(✔)を付けなかった設定
 - DanteネットワークとDante以外の設定

注意

RESET&REBOOTボタンをタップした場合は、工場出荷時の設定に戻したあと、Dante Setup画面のI/O Device タブ画面に戻ります。また、リセットしたSB-16Dは再起動が完了するまで、Dante ネットワークから切断されます。

CANCELボタンをタップすると、設定を変更せずにウィンドウ を閉じます。

GPIO拡張機能を使う

SB-16DのGPIO端子の動作モードを「Extension」に設定すると、 SonicviewのGPIO拡張端子として使うことができます。 この設定は、バーチャルマウントのSB-16Dに対しても可能です。 Sonicview側で設定を記憶することでオフライン設定ができます。

設定手順

- 115 ページ「GPIO Extension Settings画面」の「GPIOポート 全体の動作モード切り換えボタン(②)」または「ポートご との動作モード切り換えボタン(⑤)」で、本機のGPIO拡張 端子として使用したいポートの動作モードを「Extension」に 設定します。
- 2. GPIO-INまたはGPIO-OUT画面を、以下の手順で表示します。
 - メニュー画面 > Rear Panel Setupメニュー > 「GPIO Input Setup」
 - メニュー画面 > Rear Panel Setupメニュー > 「GPIO Output Setup」

5	USE	R DEFINED CO	ONTROLS	[No.P001]	USE	R KEY 🖄 ENSION	LIBRARY	\$	×
		User Key	Foot Sv	witch	GPIO-IN		GPIO-	OUT	
#25	6 - 1			INFO					
#25	6 - 2	Snapshot Recall 001							
#25	6 - 3	Snapshot Recall 002							
#25	6 - 4	Snapshot Recall 003							
#25	6 - 5	Snapshot Recall 004							
#25	6 - 6	Snapshot Recall 005							
#25	6 - 7		Sn	apshot Re	call 006				.
#25	6 - 8		Sn	apshot Re	call 007				Ô

- 3. LCDノブ8でリストをスクロールすると、マウント位置に対応した8ポートごとの設定リストが表示されます。
 - SB-16DのGPIO端子名部分には、「#ID ポート番号」の書 式で、SB-16DのIDとポート番号が表示されます。
 - バーチャルマウントデバイスの場合、GPIOポート名の背 景が黄色で表示されます。
 - 動作モードをExtensionに設定したポートのリストは、ハ イライト表示されます。
 - 動作モードをLocalに設定したポートのリストは、グレー アウト表示されます。
- 4. 設定を変更したいポートのリストをタップし、本機の内蔵 GPIOと同じ手順で各機能をアサインします。

SB-16DとのDante接続手順

SB-16Dをステージボックスとして本機と接続し、内蔵 Danteポートがアサインされたモジュールから内蔵アナログ入力と同じようにPre Ampを制御するための手順を説明します。

SB-16DとのDante接続について

- ●本機が48kHz動作時、SB-16Dを4台までなら、Dante Controller なしで接続できます。
- ◆本機が96kHz動作時、SB-16Dを2台までなら、Dante Controller なしで接続できます。
- 上記以外の場合は、Dante Controllerでの設定が必要になります。

本機と「1 台の SB-16D」を Dante 接続する 手順

この場合、本機の内蔵Danteの「Sampling rate」が48kHz動作/ 96kHz動作のどちらの場合でも、Dante Controllerを使用せずに Dante接続することができます。また、内蔵Danteポートをアサイ ンしたモジュールから対応するSB-16DのPre Ampを制御すること ができます。

- 複数台のSB-16DがDanteネットワークに接続された場合の個 体識別のため、あらかじめSB-16D側で重複しないIDを設定し てください。IDの設定方法は、SB-16Dの取扱説明書をご参照 ください。
- 以下のDanteポートを同一のDanteネットワークに接続します。
 - 本機の内蔵 Dante ポート
 - SB-16Dの Dante ポート

メモ

本機と SB-16Dが 1 台だけの 場合は、本機と SB-16Dの Dante ポー トを 以下のように 直接接続することができます。



 Dante ルーティングの制御方法を設定します。
 メニュー画面 > Rear Panel Setup メニュー > 「Dante Setup」
 をタップして Dante SETUP画面を表示し、I/O Device タブを タップします。 4. AUTO ROUTING ボタンを「ON」に設定します。



5. 101 ページ「Dante ネットワークに接続されているデバイス のマウント」の手順で、選択したSB-16Dを Mounted Device リストの上から1つ目にマウントします。

Dante SETUP			×
Dante Settings	I/O Device		
		Mounted Device	AUTO ROUTING ON
		Pre Amp Control SB-16D Logged In SB-16D-20c832	→ Dante I/0 ← 1 - 16
	→		$\stackrel{\rightarrow}{\leftarrow} \begin{array}{l} \text{Dante I/O} \\ \textbf{17 - 32} \end{array}$
	→		\rightarrow Dante I/O \leftarrow 33 - 48
SB-16D ▲ ID # 1-1 SB-16D Vir	Virtual		ightarrow Dante I/O ightarrow 49 - 64

この操作で「本機」と「1 台の SB-16D」のDante I/Oポートが、 以下のようにDante上でルーティングされます。

[本機の Dante I/	′0ポート	SB-16DのDante I/Oポート			
	本機の Dante I/	0 1-16	SB-16Dの Dante	I/O 1-16		
50	nicview	マウント 自動ルー	・時に ・ティング			
	Dante I/O 1-16			SB-16D #1-1		

これにより、Dante IN 1-16の入力ポートをアサインしたモジュールのホーム画面やMODULE画面で、対応するSB-16D INPUTの Pre Amp(Analog GAIN、PAD ON/OFF、Phantom ON/OFF)を操作することができます。

SB-16Dの Pre Ampを 操作可 能なモジュール	左記モジュールのホーム画 面/ MODULE画面でのPre Amp操作対象
Dante IN 1-16 がアサインされ	上から 1 つ目にマウントし
たモジュール	た SB-16Dの INPUT 1-16

本機の内蔵 Dante モジュールの Sampling rateが「48kHz」 の場合に「4 台の SB-16D」と Dante接続する手順

この場合、Dante Controllerを使用せずにDante接続することがで きます。また、内蔵Danteポートをアサインしたモジュールから対 応する SB-16Dの Pre Ampを制御することができます。

- 複数台のSB-16DがDanteネットワークに接続された場合の個 体識別のため、あらかじめSB-16D側で重複しないIDを設定し てください。IDの設定方法は、SB-16Dの取扱説明書をご参照 ください。
- 以下のDanteポートを同一のDanteネットワークに接続します。
 - 本機の内蔵 Dante ポート
 - 4 台の SB-16Dの Dante ポート

複数のSB-16Dと接続する場合は、以下のようにスイッチング ハブを経由して接続します。その際、PrimaryとSecondary で別のスイッチングハブを使用します。



- Dante ルーティングの制御方法を設定します。
 メニュー画面 > Rear Panel Setup メニュー > 「Dante Setup」
 をタップして Dante SETUP画面を表示し、I/O Device タブを タップします。
- 4. AUTO ROUTING ボタンを「ON」に設定します。



 101 ページ「Danteネットワークに接続されているデバイス のマウント」の手順で、4 台のSB-16Dを Mounted Device リ ストの上から1つずつマウントします。



この操作で「本機」と「4 台の SB-16D」の Dante I/O ポートが、 以下のように Dante上でルーティングされます。

本機のDante I/Oポート	SB-16DのDante I/Oポート
本機のDante I/O 1-16	上から 1 つ目にマウントした SB-16Dの Dante I/O 1-16
本機のDante I/O 17-32	上から 2 つ目にマウントした SB-16Dの Dante I/O 1-16
本機のDante I/O 33-48	上から 3 つ目にマウントした SB-16Dの Dante I/O 1-16
本機のDante I/O 49-64	上から 4 つ目にマウントした SB-16Dの Dante I/O 1-16



これにより、Dante 1-64の入力ポートをアサインしたモジュー ルのホーム画面やMODULE画面で、対応するSB-16DのINPUT のPre Amp (Analog GAIN、PAD ON/OFF、Phantom ON/ OFF)を操作することができます。

SB-16DのPre Ampを操作可 能なモジュール	左記モジュールのホーム 画面 / MODULE画面での Pre Amp 操作対象
Dante IN 1-16 がアサインされ	上から 1 つ目にマウントした
たモジュール	SB-16Dの INPUT 1-16
Dante IN 17-32 がアサインさ	上から 2 つ目にマウントした
れたモジュール	SB-16Dの INPUT 1-16
Dante IN 33-48 がアサインさ	上から 3 つ目にマウントした
れたモジュール	SB-16Dの INPUT 1-16
Dante IN 49-64 がアサインさ	上から 4 つ目にマウントした
れたモジュール	SB-16Dの INPUT 1-16

本機の内蔵 Dante モジュールの Sampling rateが「96kHz」の場合に「4 台の SB-16D」と Dante接続する 手順

- この場合、Dante Controllerを使用する必要があります。
- 本機の内蔵Danteモジュールの「Sampling rate」のSync Clockを「96kHz」に設定した場合、本機の内蔵Dante I/O数は 32in/32outとなります。そのため、33in/33out以上のSB-16D入 出力ポートを本機とDante接続するには、IF-DA64(Danteカー ド)をカードスロットに装着する必要があります。ここでは、 IF-DA64をSLOT1に装着した場合として説明します。(→34 ページ「別売の拡張カードを取り付ける」)
- 複数台のSB-16DがDanteネットワークに接続された場合の個 体識別のため、あらかじめSB-16D側で重複しないIDを設定し てください。IDの設定方法は、SB-16Dの取扱説明書をご参照 ください。
- 「本機の内蔵Dante」と「IF-DA64(Danteカード)」の2つの Danteモジュールを本機のマスタークロックと同期できるよう、129ページ「IF-DA64を使用する場合の注意」にしたがっ て設定します。
- **3.** 以下のDanteポートを同一のDanteネットワークに接続します。
 - 本機の内蔵 Dante ポート
 - 本機に装着した IF-DA64 の Dante ポート
 - 4 台の SB-16Dの Dante ポート

複数のSB-16Dと接続する場合は、以下のようにスイッチング ハブを経由して接続します。その際、PrimaryとSecondary で別のスイッチングハブを使用します。



 Dante ルーティングの制御方法を設定します。
 メニュー画面 > Rear Panel Setup メニュー > 「Dante Setup」
 をタップして Dante SETUP画面を表示し、I/O Device タブを タップします。 5. AUTO ROUTING ボタンを「ON」に設定します。



 101ページ「Danteネットワークに接続されているデバイス のマウント」の手順で、4台のSB-16DをMounted Deviceリ ストの上から1つずつマウントします。



- 手順3.のDanteネットワークに接続したパソコン上のDante Controllerを使い、以下を接続するルーティング設定を行い ます。
 - 「本機に装着したIF-DA64のDante I/01-16」と「上から 3つ目にマウントしたSB-16DのDante I/01-16」を接続
 - 「本機に装着したIF-DA64のDante I/0 17-32」と「上から4つ目にマウントしたSB-16DのDante I/0 1-16」を接続



これにより「本機の内蔵 Dante」、「本機の SLOT 1 に装着した IF-DA64 (Dante カード)」と「4 台の SB-16D」の Dante I/Oポー トが、以下のように Dante上でルーティングされます。

本機のDante I/Oポート	SB-16DのDante I/Oポート			
本機のDante I/O 1-16	上から 1 つ目にマウントした SB-16Dの Dante I/O 1-16			
本機のDante I/O 17-32	上から 2 つ目にマウントした SB-16Dの Dante I/O 1-16			
本機の SLOT 1 I/O 1-16	上から 3 つ目にマウントした SB-16Dの Dante I/O 1-16			
本機の SLOT 1 I/O 17-32	上から 4 つ目にマウントした SB-16Dの Dante I/O 1-16			



- IF-DA64 経由でルーティングする上から3つ目と4つ目にマウントしたSB-16Dを本機のホーム画面やMODULE画面から操作できるようにするため制御権を取得します。 上から3つ目と4つ目のデバイスの「Pre Amp Control OFF」ボタンをタップすると、下記のような確認メッセージが表示されます。
 - 対象となる SB-16Dの制御権を、他の機器に取得されていない場合:

以下のメッセージが表示されます。



ENABLEボタンをタップすると制御権が設定され、制御 権表示部分に「Pre Amp Control」と表示されます。

対象となる SB-16Dの制御権を、他の機器に取得されている場合:

以下のメッセージが表示されます。



REQUESTボタンをタップして、101 ページ「Danteネットワークに接続されているデバイスのマウント」の手順 5. 以降の手順で制御権を取得すると、制御権表示部分に「Pre Amp Control」と表示されます。

9. 手順 8. を上から3つ目と4つ目にマウントしたSB-16Dに対して実施します。

これにより、IF-DA64 経由でルーティングする上から3つ目 と4つ目にマウントしたSB-16Dも本機から操作できるように なります。

ここまでの手順を実施後は、Dante 1-32、SLOT 1-1 ~ 1-32 の入 カポートをアサインしたモジュールのホーム画面やMODULE画 面で、対応するSB-16DのPre Amp(Analog GAIN、PAD ON/OFF、 Phantom ON/OFF)を操作することができます。

SB-16Dの Pre Ampを 操作可能 なモジュール	左記モジュールのホーム 画面/ MODULE画面での Pre Amp操 作対象
Dante IN 1-16 がアサインされた	上から 1 つ目にマウントした
モジュール	SB-16Dの INPUT 1-16
Dante IN 17-32 がアサインされ	上から 2 つ目にマウントした
たモジュール	SB-16Dの INPUT 1-16
SLOT 1 IN 1-16 がアサインされ	上から 3 つ目にマウントした
たモジュール	SB-16Dの INPUT 1-16
SLOT 1 IN 17-32 がアサインされ	上から 4 つ 目にマウントした
たモジュール	SB-16Dの INPUT 1-16

注意

この手順で上から3番目と4番目にマウントしたSB-16DとIF-DA64(Danteカード)のルーティング設定は、以下の状態を保っ てください。

- 「本機に装着した IF-DA64 の Dante I/O 1-16」と「上から 3 つ目 にマウントした SB-16Dの Dante I/O 1-16」を接続
- 「本機に装着したIF-DA64のDante I/0 17-32」と「上から4つ 目にマウントしたSB-16DのDante I/0 1-16」を接続

Dante Controllerで上記以外のルーティングに変更した場合は、本 機において該当するSLOT入力をアサインしたモジュールのホーム 画面やMODULE画面でPre Ampを操作した際、意図しないSB-16D のチャンネルのPre Ampが操作されてしまうことになります。

「1台のSB-16D」と「IF-DA64(Danteカード)を装着したDA-6400*」を本機とDante接続する手順

- * この例では、DA-6400 に装着したIF-DA64のDante I/O 1-16と 接続します。
- この場合、Dante Controllerを使用する必要があります。
- 複数台のSB-16DがDanteネットワークに接続された場合の個 体識別のため、あらかじめSB-16D側で重複しないIDを設定し てください。IDの設定方法は、SB-16Dの取扱説明書をご参照 ください。
- 以下のDanteポートを同一のDanteネットワークに接続します。
 - 本機の内蔵 Dante ポート
 - SB-16DのDanteポート
 - DA-6400 に装着した IF-DA64 の Dante ポート

3台以上のDante機器を接続する場合は、以下のようにス イッチングハブを経由して接続します。その際、Primaryと Secondaryで別のスイッチングハブを使用します。



- Dante ルーティングの制御方法を設定します。 メニュー画面 > Rear Panel Setup メニュー > 「Dante Setup」 をタップして Dante SETUP画面を表示し、I/O Device タブを タップします。
- 4. AUTO ROUTING ボタンを「ON」に設定します。



5. 101 ページ「Dante ネットワークに接続されているデバイス のマウント」の手順で、SB-16Dを Mounted Device リストの 上から1つ目にマウントします。



- 6. Dante ルーティングの制御方法を変更します。
- **7.** AUTO ROUTINGボタンを「OFF」に設定します。
- 手順 2. のDanteネットワークに接続したパソコン上のDante Controllerを使い、以下の ④と ⑧を接続するルーティング 設定を行います。

④本機のDante I/0 17-32
 ⑧ DA-6400 に装着した IF-DA64 のDante I/0 1-16

「本機のDante I/O 17-32」と「DA-6400 に装着したIF-DA64 の Dante I/O 1-16」を接続するルーティング設定を行った状態の Dante Controller表示例



これにより、「本機」と「SB-16D」、「DA-6400 に装着したIF-DA64 (Danteカード)」のDante I/Oポートが、以下のようにDante上で ルーティングされます。

本機のDante I/Oポート	外部機器のDante I/Oポート			
本機のDante I/O 1-16	上から 1 つ目にマウントした SB- 16Dの Dante I/O 1-16			
本機のDante I/O 17-32	DA-6400 に装着した IF-DA64 の Dante I/O 1-16			

Sonicview



上記ルーティング設定を行った状態のDante Controller表示例



ここまでの手順を実施後は、Dante IN 1-16 の入力ポートをアサイ ンしたモジュールのホーム画面や MODULE画面で、対応する SB-16D INPUT の Pre Amp(Analog GAIN、PAD ON/OFF、Phantom ON/OFF)を操作することができるようになります。

SB-16Dの Pre Ampを 操作可 能なモジュール	左記モジュールのホーム 画面/ MODULE画面での Pre Amp操作 対象		
Dante IN 1-16 がアサインされ	上から 1 つ目にマウントした SB-		
たモジュール	16Dの INPUT 1-16		

Danteについて

Danteとは、Audinate社が開発した伝送プロトコルです。 ギガビットイーサネット規格に基づいたネットワークにおいて、 多チャンネル伝送(512ch IN / 512ch OUT)や高精度でのクロッ ク同期などを可能としています。

Danteの詳細については、Audinate社のウェブサイトをご参照ください。

https://www.audinate.com/

Dante ネットワークとの 接続方法

本機を設定して使用するには、本機に接続されたイーサネット ネットワーク、Dante Controllerが動作するパソコン、および他の Dante対応機器の設定を行う必要があります。 ただし、SB-16Dと組み合わせて使う場合はDante controllerがな くても使用できます。

各端子の接続に使用する LAN ケーブルについて

カテゴリー 5e以上の STP ケーブルをご 使用ください。 クロスオーバー・ケーブル、ストレート・ケーブルのどちらでも 使 用できます。

注意

本機は、100Mbpsのイーサネットスイッチングハブには対応して おりません。必ずギガビットイーサネットに対応したスイッチング ハブを使用してください。

メモ

- Dante NetworkのAddressing設定がAUTO (DHCP) の場合、パ ソコンはIPアドレスを自動設定するように設定してください。
- Dante NetworkのAddressing設定がSTATICの場合、パソコンは Danteとネットワークアドレスを合わせて設定してください。

スイッチド(デイジーチェーン)接続

接続機器の台数が少ない場合や、スイッチングハブを使用しない 場合に、Dante機器を数珠つなぎにする接続する方法です。以下の ように接続します。

スイッチド(デイジーチェーン)接続の例



メモ

- スイッチド(デイジーチェーン)接続の場合、PRIMARY端子と SECONDARY端子どちらの端子に接続してもかまいません。
- 接続する機器が多くなると、レイテンシーの設定を大きくする 必要があります。

リダンダント(二重化)接続

ライブ環境など録り直しができない状況での録音に対応する場合、 プライマリーとセカンダリーの完全に独立した2つのネットワー クを使用し、以下のように接続します。

リダンダント(二重化)接続の例



メモ

スイッチド(デイジーチェーン)接続とリダンダント(二重化)接 続の設定は、自動では切り換わりません。メニュー画面 > Rear Panel Setupメニュー >「Dante Setup」をタップして表示する Dante SETUP画面、またはDante Controllerの Network Config画 面で設定を切り換えてください。

注意

プライマリーネットワークとセカンダリーネットワーク 同士は、同 じLAN(VLAN)に接続できません。



Dante Controller使用方法

Dante Controllerについて

本機は、Audinate社のホームページにて公開されているDante Controllerを使用して、他のDante対応機器と接続します。 Dante Controller本体および取扱説明書は、Audinate社のホーム ページより最新版をダウンロードしてください。

Audinate ダウンロードページ

https://www.audinate.com/products/software/dante-controller

パソコンにインストールした Dante Controllerで最低限以下を設定 してください。

- オーディオ・ルーティングを設定します。
- 各 Dante機器のサンプリング 周波数および量子化ビット数を合わせます。

メモ

Dante Controllerで設定したデータは、各Dante機器内の内部メモリーに記憶されます。

Dante Controllerを終了した場合やパソコンをDanteネットワークから切断した場合でも、設定を変更しない限り接続は変わりません。

オーディオ・ルーティング設定

Dante Controllerを起動すると、下図のNetwork View画面が開きます。

ここでは、Danteネットワークに関する状態を設定・監視することができます。



① 受信デバイス名

Dante ネットワーク上に存在する受信デバイスの名前です。

② 受信デバイスチャンネル
 Danteネットワーク上に存在する受信デバイスのチャンネル名です。

③ 送信デバイス名

Dante ネットワーク上に存在する送信デバイスの名前です。

④ 送信デバイスチャンネル

Danteネットワーク上に存在する送信デバイスのチャンネル名 です。

⑤ オーディオ・ルーティング

送信機と受信機の接続したいオーディオチャンネル同士をここ でルーティングします。 マトリックス上の接続したいチャンネル同士の交点を、マウス

でクリックして接続します。

メモ

パソコンキーボードのCtrlキーを押しながら、デバイス名の交 点にある「-」をクリックすると、接続可能なすべてのチャンネ ルが一括で接続でき便利です。

Dante Controller サンプリングレート/量子化ビット数の 変更

Network View画面でデバイス名をダブルクリックすると、Device View画面が開きます。

ここでは、Danteネットワーク上に存在するデバイスの状態を設定・ 監視することができます。

Device Configタブを選択すると、下図 ① で選択されているデバ イスのサンプリングレートや量子化ビット数などの設定を変更で きます。



① デバイス名

Device Viewにて設定を変更するデバイスの名前です。

- ② デバイス名変更
- デバイス名を変更します。
- ③ **サンプリングレート** サンプリングレートを変更します。

メモ

本機でも設定できます。

④ 量子化ビット数

量子化ビット数を変更します。

⑤ レイテンシー設定

レイテンシー設定を変更します。 レイテンシー設定は、下表を目安に変更してください。

選択可能な レイテンシー値	接続ネットワーク環境の目安
250usec	送信機から受信機までの伝送経路がギ ガビット対応スイッチングハブを1台 経由する場合
500usec	送信機から受信機までの伝送経路がギ ガビット対応スイッチングハブを5台 経由する場合
1msec	送信機から受信機までの伝送経路がギ ガビット対応スイッチングハブを 10 台経由する場合
2msec	送信機の伝送速度が 100Mbpsの 場合
5msec	選択できるレイテンシー値の最大値で 大規模なネットワークを構築する場合

注意

- 本機は、100Mbpsのイーサネットスイッチングハブには対応 しておりません。必ずギガビットイーサネットに対応したス イッチングハブを使用してください。
- デバイス名を変更するとオーディオ・ルーティング設定が クリアされます。そのため、オーディオ・ルーティングを設 定する前にわかりやすいデバイス名に変更することをお勧 めします。
- ネットワークの接続環境によっては、目安以上のレイテンシー値を設定しなければならない場合があります。

メモ

- 本機でも設定できます。
- スイッチングハブを使用しないスイッチド(デイジーチェーン)接続の場合は、以下のように経由するDante機器の台数を目安にレイテンシーを設定してください。

スイッチド(デイジーチェーン)接続の場合の例

2 台経由



1 台経由



メモ

本機の内蔵 Dante モジュールや別売の IF-DA64(Dante カード)に はスイッチングハブが内蔵されています。

そのため、Dante機器の台数を数える際は、本機やIF-DA64 を1台 につき+1台として数えてください。

SLOT SETUP画面

この画面では、SLOT 1 および SLOT 2 に装着した拡張カードの設 定や状態表示を行います。

この画面は、メニュー画面 > Rear Panel Setup メニュー > 「Slot Setup」をタップして表示します。



1 SLOT 1

リアパネルのSLOT1に装着中の拡張カード名を表示します。

2 SLOT 2

リアパネルのSLOT2に装着中の拡張カード名を表示します。

③ SLOT 1 パラメーター表示

リアパネルのSLOT1に装着中の拡張カードのパラメーターを 表示します。

④ SLOT 2 パラメーター表示

リアパネルのSLOT 2 に装着中の拡張カードのパラメーターを 表示します。

メモ

SLOT 1 または SLOT 2 に拡張カードが未装着の場合には、「No Card」と表示します。

IF-DA64(Dante カード)を装着時



① STATUS表示部

装着したIF-DA64の動作状況を表示します。

STATUS表示	内容
Available	装着したIF-DA64 が正常に動作している。
Unavailable	装着した IF-DA64 が正常に動作していな い。

IF-DA64 を使用する場合の注意

本機の内蔵 Dante モジュール、SLOTに装着した IF-DA64 (Dante カード)の2つの Dante モジュールと本機のマスタークロックは同期 する必要がありますので、次のように設定してください。

●本機のマスタークロックをDante以外(INT、WORDなど)にする場合

本機の内蔵 Dante モジュールと IF-DA64 の Sync to External設定 を、Dante Controllerで両方とも「ON」にしてください。 その上で、どちらか一方(本機の内蔵 Dante モジュールを推奨) の Preferred Leader設定を、Dante Controllerで「ON」にして ください。



 ◆本機のマスタークロックをDanteにする場合
 IF-DA64のSync to External設定を、Dante Controllerで「ON」 にしてください。

IF-DA64 以外の Dante モジュール(本機の 内蔵 Dante モジュー ルを 推奨)の Preferred Leader設定を、Dante Controllerで「ON」 にしてください。



IF-AE16(AES/EBUカード)を装着時



① SRC ON / OFF切り換えボタン

各信号ラインのSRC(サンプルレートコンバーター)機能のオ ン/オフを切り換えます。(初期値:ON) 選択したボタンがハイライト表示になります。

メモ

マスタークロックに選択されている信号ラインは、「SRC」項目 を「ON」に切り換えできません。そのため、マスタークロック に選択されている信号ラインは以下のように表示されます。



IF-MA64/EXまたはIF-MA64/BN(MADIカード)を 装着時



① MADI INPUT STATUS表示部

MADI入力信号のチャンネルモード/フレーム 周波数を表示します。

入力信号がない場合は、「No signal」と表示します。

② MADI INPUT FRAME表示部

MADI入力信号のフレームタイプ(48K Frame / 96K Frame)を 表示します。

入力信号がない 場合は、「No signal」と 表示します。

③ MADI INPUT SELECTボタン(IF-MA64/EX装着時のみ 表示)

使用する入力端子を設定します。

選択肢:COAXIAL、OPTICAL(初期値)

選択したボタンがハイライト表示になります。

④ MADI OUTPUT CH MODEボタン

出力チャンネルモードを設定します。

選択肢:56ch/28ch、64ch/32ch(初期值)

選択したボタンがハイライト表示になります。

メモ

- •「/」の左側:1xFs時のチャンネルモード
- •「/」の右側:2xFs時のチャンネルモード

⑤ 2xFs MADI OUTPUT FRAMEボタン

本機のサンプリング周波数が「96kHz」のときのMADI出力信号のフレームタイプを設定します。

選択肢:48K Frame、96K Frame(初期值)

選択したボタンがハイライト表示になります。

注意

サンプリング 周波数が「96kHz」でフレームタイプが「48K Frame」のMADI信号と、サンプリング 周波数が「48kHz」の MADI信号は区別ができません。

そのため、受信側機器のサンプリング周波数と一致しない 48K FrameのMADI入力信号は、正しいオーディオデータとして受信 できません。

48K FrameのMADI信号を扱う場合は、必ず送受信双方の機器のサンプリング周波数を一致させた上でご利用ください。

メモ

IF-MA64/EXの MADI COAXIAL THRU端子の信号は、電源のオン /オフにかかわらず MADI COAXIAL IN端子の信号をスルー出力 します。

ただし、電源をオン/オフするタイミングで、MADI COAXIAL THRU端子の信号に瞬間的な乱れが生じます。

そのため、MADI COAXIAL THRU端子の信号を外部機器で使用 している場合には、電源をオン/オフするタイミングにご注意 ください。

⑥ MADI COAXIAL EQUALIZERボタン

MADI COAXIAL入力信号へのイコライザーの設定を行います。 低電圧のMADI COAXIAL信号源や長いBNCケーブルを使ってIF-MA64/EXおよびIF-MA64/BNに接続する場合、正常に受信でき ない場合があります。

このような場合には、MADI COAXIAL EQUALIZER項目を「OFF」 に設定してお試しください。

選択肢:OFF、ON(初期値)

選択したボタンがハイライト表示になります。

IF-AN16/OUT(アナログ出力カード)を装着時



① OUTPUT ATTENUATOR ノブ

出力レベルを調節します。

設定範囲:– 14.0dB~ 0.0dB(初期値:0.0dB)

選択枠を表示中に、対応するLCDノブを使って調節します。

メモ

IF-AN16/OUTは、同期しているマスタークロックが 48kHzの場 合でも、常に 96kHzで動作します。

IF-MTR32(マルチトラックレコーディングカード) を装着時



[IF-MTR32を2枚装着時のSLOT SETUP画面]

① Recorder/Player: MTR→

この部分をタップすると、MULTI TRACK RECORDER画面に切 り換わります。(→ 297 ページ「MULTI TRACK RECORDER画面」)

注意

IF-MTR32 は、同時に1枚しか使用できません。

2 枚装着した場合は、SLOT 1 の IF-MTR32 だけが使用できます。 この場合、SLOT SETUP画面の SLOT 2 部分には上記画像のよう に「Unavailable」と表示されます。

IF-ST2110 (ST 2110 カード)を装着時





① ST 2110 CONFIG

この部分をタップすると、ST2110 SETUP画面に切り換わりま す。(→ 324 ページ「第 13 章 拡張カード IF-ST2110」)

注意

IF-ST2110 は、同時に 1 枚しか使用できません。 2 枚装着した場合は、SLOT 1 の IF-ST2110 だけが使用できます。 この場合、SLOT SETUP画面の SLOT 2 部分には上記画像のよう に「Unavailable」と表示されます。

LABEL SETUP画面

この画面では、各所に表示される PORT LABEL(入出力端子名)や MODULE LABELの「表示モード」や「表示ラベル」を設定します。 この画面は、メニュー画面>Mixer Setupメニュー>「Label Setup」をタップして表示します。また、MODULE (INPUT) 画面ま たは MODULE (OUTPUT) 画面のLABEL設定エリアの ひアイコンを タップして表示することもできます。

メモ

この画面の設定は、SnapshotのStore/Recall対象です。また、対応する PARAMETER SAFE タブ画面の設定群は「LABEL / COLOR / ICON」です。(→ 249 ページ「PARAMETER SAFE タブ画面」)

DISPLAY MODE タブ 画面

この画面では各所に表示されるPORT LABEL(入出力端子名)や MODULE LABELの表示モードを設定します。



① PORT LABELの表示モード設定ボタン

このボタンをタップして、以下に表示されるPORT LABEL(入 出力端子名)の表示モードを設定します。 設定したボタンがハイライト表示になります。

ボタン	内容
USER(初期値)	USER PORT LABEL(ユーザーが設定した 端子名)を表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合は、 FIXED PORT LABELを表示します。
FIXED	FIXED PORT LABEL (「ANALOG 1」や「Dante 1」 のような端子ごとに 決められた 端子名) を 表示します。

設定が反映される場所については、133 ページ「PORT LABELの 表示モード設定が反映される場所」をご参照ください。 MODULE LABELの表示モード設定ボタン

このボタンをタップして、以下に表示される MODULE LABELの 表示モードを設定します。

設定したボタンがハイライト表示になります。

ボタン	内容
USER	USER MODULE LABEL(ユーザーが設 定したモジュール名)を表示します。 USER MODULE LABELが未定義の場合 は、FIXED MODULE LABELを表示しま す。
FIXED	FIXED MODULE LABEL(「CH1」や 「MIX1」のようなモジュールごとに決 められたモジュール名)を表示します。
PORT LABEL	PORT LABELの表示モード設定ボタン (①) で選択したモードで、該当モ ジュールにアサインされた端子名を表 示します。

● MODULE LABEL Subの表示モード設定ボタン初期値:FIXED

 MODULE LABEL Mainの表示モード設定ボタン初期値: USER

設定が反映される場所については、133ページ「MODULE LABEL Subの表示モード設定が反映される場所」または133ペー ジ「MODULE LABEL Mainの表示モード設定が反映される場所」 をご参照ください。

③ ホーム画面での表示例

PORT LABELの表示モード設定ボタン(①)およびMODULE LABELの表示モード設定ボタン(②)に合わせたホーム画面 での表示例のサンプル画像です。

PORT LABELの表示モード 設定が反映される場所

- ホーム画面(最上部の入出力端子名)
- MODULE LABELの表示モード設定により表示内容が変わる場所(MODULE LABELの表示モードが「PORT LABEL」のときのみ)

メモ

- 入力PORT LABELを表示するエリアがステレオリンク時に1チャンネル分しかない場合は、Lチャンネルの入力PORT LABELを表示します。
- ・出力ポートは複数選択できますが、複数の出力PORT LABEL を表示するエリアがない場合は、MODULE (OUTPUT) 画面 のSELECT PORT LABELモード(→208ページ「④ SELECT PORT LABELボタン」)で選択した出力ポートのPORT LABEL を表示します。SELECT PORT LABELモードで未選択の場合 は、MODULE (OUTPUT) 画面で左上に表示された出力ポートの PORT LABELを表示します。

MODULE LABEL Subの表示モード設定が反映される場所

- チャンネル画面(上から1行目)
- ホーム画面(MODULE LABELエリア上段)
- DCA/Mute Group SETUP画面(各モジュールボタン上段)
- KEY IN SOURCE SELECT画面(各モジュールボタン上段)
- TALKBACKタブ画面(バス名ボタン上段)
- TALKBACKタブ画面(SELECTED ASSIGNウィンドウのバス名 ボタン上段)
- TALKBACKタブ 画面(TALKBACK KEY ASSIGN ウィンドウのバ ス名ボタン上段)
- MIXER CONFIG画面の全タブ画面(モジュール名ボタン上段)
- Custom Layer SETUP タブ画面(モジュール名ボタン上段)
- SENDS ON FADER画面(バス選択ボタン上段)

MODULE LABEL Mainの表示モード 設定が反映される場所

- チャンネル画面(上から2行目)
- チャンネル 画面(Sends On Fader モード 中の「SEND to バス名」 部分)
- チャンネル 画面(GEQ FADER Ctrl モード 中のバス 名部分)
- ホーム画面(MODULE LABELエリア下段)
- ホーム画面(SENDエリアのバス名)
- ホーム画面 (: ボタンをタップして表示する 選択ウィンドウの バス選択ボタン)
- MODULE画面(USER MODULE LABEL表示)
- MODULE (COMP) 画面(KEY IN SOURCE ボタン)
- MODULE (DUCKER) 画面(KEY IN SOURCEボタン)
- Module/GATE/EQ/COMP/GEQの 各LIBRARY画 面(USER MODULE LABEL表示)
- MODULE (SEND/PAN) 画面 (バス名部分)
- DCA/Mute Group SETUP画面(各モジュールボタン下段)
- KEY IN SOURCE SELECT画面(各モジュールボタン下段)
- METER画面の全タブ画面
- SEND OVERVIEW画面の全タブ画面(SEND元のモジュール名)
- TALKBACK タブ 画面 (バス 名ボタン 下段)
- TALKBACK タブ 画面(SELECTED ASSIGN ウィンドウのバス 名 ボタン下段)
- TALKBACKタブ画面(TALKBACK KEY ASSIGN ウィンドウのバ ス名ボタン下段)
- MIXER CONFIG画面の全タブ画面(モジュール名ボタン下段)
- Custom Layer SETUPタブ画面(モジュール名ボタン下段)
- SENDS ON FADER画面(バス選択ボタン下段)
- ST2110 SETUP画面のHOME (Source / Destination) タブ画面 (Source Information ウィンドウのMODULE欄)

メモ

MODULE LABELの表示モードが「PORT LABEL」に設定されて いる場合、入出力ポートがアサインされない下記モジュールでは、 MODULE LABELの表示モード設定が「USER」のときと同じ表示 になります。

- FX RTN1-4 モジュール
- DCA 1-8 モジュール

MODULE LABEL タブ 画面

この画面では各所に表示されるモジュールの表示ラベルの一覧表 示および編集をします。



① モジュール群ページ切り換え表示

モジュール群のページ名を表示します。 ページ名をタップすると、ページ名に該当するモジュール群の ページに切り換えます。

選択したページ名がハイライト表示になります。

② モジュールボタン表示

- このボタンの上段にはFIXED MODULE LABELを、下段には USER MODULE LABELを表示します。USER MODULE LABEL が未定義の場合は、FIXED MODULE LABELを表示します。
- このボタンをタップすると、タップしたモジュールのUSER MODULE LABELを編集する MODULE LABEL画面に切り換わ ります。(→ 229 ページ「MODULE LABEL画面」)

INPUT PORT LABEL タブ 画面

この画面では各所に表示される入力端子のUSER PORT LABELの 一覧表示および編集をします。



① 入力端子群ページ切り換え表示

入力端子群のページ名を表示します。 ページ名をタップすると、ページ名に該当する入力端子群のペー ジに切り換えます。

選択したページ名がハイライト表示になります。

入力端子選択ボタン

- このボタンの上段にはFIXED PORT LABELを、下段には USER PORT LABELを表示します。USER PORT LABELが未定 義の場合は、FIXED PORT LABELを表示します。
- このボタンをタップすると、タップした入力端子のUSER PORT LABELを編集するUSER LABEL (INPUT PORT) 画面 に切り換わります。(→135ページ「USER LABEL (INPUT PORT / OUTPUT PORT) 画面」)

③ スクロールバー表示

選択可能な選択肢が画面内に表示しきれない場合に表示します。 表示をドラッグすることで画面がスクロールします。また、入 力端子選択ボタン(②)エリアを上下にスワイプして画面がス クロールすることもできます。

④ スクロールノブ

選択可能な選択肢が画面内に表示しきれない場合にハイライト 表示になります。 LCDノブ8(水色で点灯)を用いてスクロールが可能であるこ とを示すアイコンです。

OUTPUT PORT LABEL タブ 画面

この画面では各所に表示される出力端子のUSER PORT LABELの 一覧表示および編集をします。



① 出力端子群ページ切り換え表示

出力端子群のページ名を表示します。

ページ名をタップすると、ページ名に該当する出力端子群のペー ジに切り換えます。

選択したページ名がハイライト表示になります。

② 出力端子選択ボタン

- このボタンの上段にはFIXED PORT LABELを、下段には USER PORT LABELを表示します。USER PORT LABELが未定 義の場合はFIXED PORT LABELを表示します。
- このボタンをタップすると、タップした出力端子のUSER PORT LABELを編集するUSER LABEL (OUTPUT PORT) 画面 に切り換わります。(→135ページ「USER LABEL (INPUT PORT / OUTPUT PORT) 画面」)

③ スクロールバー表示

選択可能な選択肢が画面内に表示しきれない場合に表示します。 表示をドラッグすることで画面がスクロールします。また、出 力端子選択ボタン(②)エリアを上下にスワイプして画面がス クロールすることもできます。

④ スクロールノブ

選択可能な選択肢が画面内に表示しきれない場合にハイライト 表示になります。

LCDノブ8(水色で点灯)を用いてスクロールが可能であることを示すアイコンです。

USER LABEL (INPUT PORT / OUTPUT PORT) 画 面

この画面では、入出力端子のUSER PORT LABELの登録/編集を行います。





メモ

- USER PORT LABELは、初期状態では設定されていません。
- USER PORT LABELは、最大 8 文字です。

① 【 / 】 ボタン

このボタンをタップすると、表示/編集対象の入出力端子 を、INPUT PORT LABELタブ画面の入力端子群ページまたは OUTPUT PORT LABELタブ画面の出力端子群ページの並び順に したがって左右に移動します。

② FIXED PORT LABEL表示

FIXED PORT LABELを表示します。

③ USER PORT LABEL表示

設定されている USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABELを表 示します。

④ キーボード入力表示エリア

編集する USER PORT LABELを表示します。この画面のキーボー ドボタンやトップパネルの USB端子に 接続した USB キーボード で表示された文字列を 編集します。

キーボードのCaps lockボタンとShiftボタンの設定状態によっ て、入力できる文字の組み合わせを変更することができます。 キーボードの変更方法については、230ページ「キーボードの 変更方法」をご参照ください。

注意

以下の記号や句読点は、入力できません。

¥ /:*?"<> |

Network Setup画面

- こ の画 面 で は、 主 に専 用 ア プ リ ケ ー シ ョ ン「TASCAM Sonicview Control」から本機をリモートコントロールする目的 で使用するネットワークの設定を行います。
- ●「TASCAM Sonicview Control」については、アプリケーションの取扱説明書をご参照ください。
- ●「TASCAM Sonicview Control」およびアプリケーションの取扱 説明書は、TASCAMのウェブサイトからダウンロードすること ができます。

Sonicview 16

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_16/support

Sonicview 24

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_24/support

● この画面は、メニュー画面 > Rear Panel Setupメニュー > 「Network Setup」をタップして表示します。



① Network status表示

本機のネットワークの状態を表示します。

項目名	内容
MAC Address	本機のMACアドレスを表示します。
IP Address	本機のIPアドレスを表示します。

② IP SETUP

IP アドレスの設定モードを設定します。 選択肢:AUTO(初期値)、STATIC

③ IP Address / Subnet Mask / Default Gateway

- IP SETUPが「STATIC」のときに使用する本機のIP Address
 / Subnet Mask / Default Gatewayの設定値を表示します。
 初期値:0.0.0.0
- IP SETUPが「AUTO」のときは、グレーアウト表示になります。
- アドレス表示部をタップすると、IP ADDRESS画面/ SUBNET MASK画面/ DEFAULT GATEWAY画面に切り換わり ます。



[IP ADDRESS設定画面]

上記の設定画面の操作については、137 ページ「IP Address / Subnet Mask / Default Gatewayの設定手順」をご参照 ください。

(4) Password

本機にネットワーク接続する際のパスワードを設定します。 Changeボタンをタップすると、Change password画面に切り 換わります。

Char	nge pa	asswor	d								×
Soni	Sonicview24										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	X
q	w	e	r	t	У	u	i	0	р		Delete
Caps lock	a	s	d	f	g	h	j	k	I	[]
Shift		z	x	c	v	b	n	m		·	-
Сору	Pas	te Sp	bace						En	ter	

パスワードは、最大16文字です。

機種	パスワード 初期値		
Sonicview 16	Sonicview16		
Sonicview 24	Sonicview24		

Change password画面のキーボードのCaps lockボタンとShift ボタンの設定状態によって、入力できる文字の組み合わせ を変更することができます。キーボードの変更方法について は、230ページ「キーボードの変更方法」をご参照ください。

注意

以下の記号や句読点は、入力できません。

¥ /:*?"<> |

メモ

トップパネルのUSB端子に接続したUSBキーボードを使って文字を入力/編集することもできます。

(5) Machine Name

ネットワーク上にある複数のSonicviewを専用のリモートアプ リケーションで区別をつけるためのネットワーク上の機器名 (Machine Name)設定します。

この部分をタップすると、Machine name画面に切り換わります。

S Machine	name				×
Sonicvi	ew24				
1 2	3 4	5 6	7 8	9 0	- 🗷
q w	e r	t y	ui	•	p Delete
Caps a lock	s d	f g	h j	k I	[]
Shift	z x	c v	b n	m,	• -
Copy Pas	ste Space				Enter

Machine Nameは最大 16 文字です。

機種	Machine Name初期値
Sonicview 16	Sonicview16
Sonicview 24	Sonicview24

Machine name画面のキーボードのCaps lockボタンとShiftボ タンの設定状態によって、入力できる文字の組み合わせを変更 することができます。キーボードの変更方法については、230 ページ「キーボードの変更方法」をご参照ください。

注意

以下の記号や句読点は、入力できません。

¥ /:*?"<> |

メモ

トップパネルのUSB端子に接続したUSBキーボードを使って文字を入力/編集することもできます。

IP Address / Subnet Mask / Default Gatewayの設定手順

IP Addressを「192.168.1.1」に設定する手順を例に説明します。

 IP Address / Subnet Mask / Default Gatewayのアドレス表 示部をタップして、設定画面に切り換えます。



2. 数字ボタンをタップして、設定値を入力します。

IP ADDRESS				×
192	2 0	0	0	
	7	8	9	
	4	5	6]
	1	2	3	
	0	•	Enter	

「.」ボタンをタップして、次の桁にカーソルを移動させます。
 設定を変更したい桁をタップしてカーソルを移動することもできます。

IP ADDRE	ss				х
	192	0	0	0	
	7		8	9	
	4		5	6	
	1		2	3	
	0		•	Enter	

4. 手順の2.~3.を繰り返して、すべての桁の設定値を入力します。

IP ADDRE	ESS				×
	192	168	1	1	
	7	8		9	
	4	5		6	
	1	2		3	
	0			Enter	

5. Enterボタンをタップすると、入力を確定しNetwork Setup画 面に戻ります。

Network Setup画 面の IP Address / Subnet Mask / Default Gatewayのアドレス表示部に反映されます。

Network Setup	×
Network status	MAC Address f8:dc:7a:3e:3a:a3
	IP Address 0.0.0.0
IP SETUP AUTO STATIC	IP Address 192.168.1.1
	Subnet Mask 0.0.0.0
	Default Gateway 0.0.0.0
Password Change	
Machine Name	Sonicview24

メモ

- 各入力箇所の桁数は、3 桁です。2 桁以下の数値を入力する 場合は、上位桁の「0」入力は不要です。
- 画面を表示後は、最上位桁がハイライト表示になります。
- ハイライト表示になってから最初の数字ボタンをタップすると、タップしたボタンの数字だけが入力された状態になります。それ以後は電卓方式で数字が入力されます。
- •「1234」と4桁の数字を入力すると、最初に入力した「1」 が押し出され以下の表示になります。



カレント設定の保存

本機の設定は、最長1分周期で内蔵メモリーに保存しています。 本機の電源を切る前に、確実に本機の設定を内蔵メモリーに保存 するには、ここで説明する「Save Current Settings」を行ってか ら本機の電源を切るようにしてください。

メモ

SnapshotやEQなどのLIBRARYの設定データやAll System Dataは、 STORE / SAVE処理完了時に内蔵メモリーに出力済みのため、本 操作なしで電源を切っても問題ありません。

- 1. MENUキーを押して、メニュー画面を表示します。
- 2. メニュー画面の「Save Current Settings」項目を表示します。
- **3.** 「Save Current Settings」項目をタップすると、メニューリス ト右側に保存確認メッセージが表示されます。

001 TASCAM DIGITAL20		-	+	STORE	RECALL		\$	×
Mixer Setup	Þ							
Front Panel Setup	Þ							
📖 Rear Panel Setup	Þ							
📌 System Setup	Þ							
●/► Recorder / Player	Þ							
Save Current Settings		► Sav	/e Curr	ent Setti	ngs? CA	NCEL	SAV	•

- **4.** SAVE ボタンをタップすると、本機の設定が内蔵メモリーに保存されます。
 - 保存処理処理中は、以下のメッセージが表示されます。



● 保存処理が完了すると、「Saved.」とメッセージが表示され、 その後自動的にメッセージが消えます。



本章では、ミキサーの入出力ルーティングについて説明します。

入力ルーティング

入力ルーティングは、以下の画面で行います。

CH1-40 モジュール、STIN1-2 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面

この画面は、ホーム画面の各モジュールのMODULE LABELエリア をタップして表示します。



 MODULE (OVERVIEW)
 Edited
 ST IN 1
 St IN

[ST IN1-2 モジュール]

① INPUTボタン

 選択したモジュールにアサインされた入力ソース名を表示 します。

2 行目には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。 3 行目には、USER PORT LABELを表示します。

USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。

ステレオモジュールのとき、以下のような略称で左右に分割して入力ソースのFIXED PORT LABELを表示します。

モジュールの表示	ステレオモジュールの表示
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
SLOT 2	S2
USB IN	USB
ST IN 1	ST1
ST IN 2	ST2
PLAYER	PL
SB-16D	SB



- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 2 行目:DA ポート 番号
 - 3 行目:#[ID] ポート番号
 - 4行目:USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 🔮 マー クを表示します。



 このボタンをタップすることで、入力ソースを選択する INPUT SOURCE SELECT画面に切り換えます。(→149 ペー ジ「INPUT SOURCE SELECT画面」)

CH1-40 モジュール、STIN1-2 モジュールの MODULE (INPUT) 画面

この 画面は、選択枠が表示された CH1-40 モジュール、STIN1-2 モ ジュールのホーム 画面の INPUT エリアをタップして表示します。



[CH1-40 モジュール]



[ST IN1-2 モジュール]

① LOCK / UNLOCK切り換えボタン

- 本機のルーティング設定変更操作のロック/アンロックを切り換えるボタンです。起動時は、必ずロック状態になっています。
- ●「LOCK」時は、OSCボタン(③)をタップしても設定を変 更しません。また、BATCH SETUPボタンの操作もできま せん。ただし、INPUT SOURCEボタンをタップしてINPUT SOURCE SELECT画面に切り換えることは可能です。
- 「LOCK」時にこのボタンをタップすると、確認メッセージが 表示されます。確認メッセージでUNLOCKボタンをタップす ると、メッセージを閉じて「UNLOCK」に切り換わります。 確認メッセージでCANCELボタンをタップすると、メッセー ジを閉じてロック状態を維持します。



●「UNLOCK」時にこのボタンをタップすると、「LOCK」に切 り換わります。

メモ

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)の設定は、下記ルーティング設定画面で共通の設定です。

- MODULE (INPUT) 画面
- MODULE (OUTPUT) 画面
- INPUT SOURCE SELECT画面
- OUTPUT PORT SELECT画面
- DIRECT OUT PORT SELECT画面
- INSERT SEND PORT SELECT画面
- INSERT RETURN PORT SELECT画面
- TALKBACK INPUT SELECT画面
- TALKBACK EXT1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- TALKBACK EXT2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- Return TALKBACK EXT DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 OUTPUT PORT SELECT画面
- Solo DIRECT OUT PORT SELECT画面
- ルーティング画面

② INPUT SOURCEボタン

● このボタンには、現在選択されている入力ソースが表示され ます。

1 行目には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。 2 行目には、USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。

- このボタンをタップすると、INPUT SOURCE SELECT画面に 切り換わります。(→ 149 ページ「INPUT SOURCE SELECT 画面」)
- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートのボタンは、以下のように表示します。
 - 1行目:DAポート番号
 - 2 行目: SB #[ID] ポート番号
 - 3 行目:USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



 バーチャルマウントされたSB-16DのDanteポートの場合は、 アサインしたボタンが黄色でハイライト表示になります。



メモ

複数のチャンネルの入力ソースを一括で設定することもできま す。(→142 ページ「複数のチャンネル間の入力ソースを一括 で設定する」)

③ OSCボタン

- LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)が「UNLOCK」の ときにこのボタンをタップすると、内蔵オシレーター信号入 力のオン/オフが切り換わります。(初期値:オフ)
- オンにすると、選択したモジュールの入力が内蔵オシレー ターからの信号に切り換わります。オンのとき、ボタンが ハイライト表示になり、INPUT SOURCE選択ボタン(②) のエリアが暗くなります。
- オフにすると、選択したモジュールの入力が選択された入 カソースに戻ります。

メモ

内蔵オシレーターのオン/オフやレベルなどの各種設定 は、OSCボタン右上の \bigcirc アイコンをタップして切り換える TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画 面 のSOLO / OSCILLATORタブ画面で変更します。(→96ページ「SOLO と内蔵オシレーターの設定」)

複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設定する

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)が「UNLOCK」のときにMODULE (INPUT) 画面のBATCH SETUPボタンをタップして、入力ソースを一括で設定するBATCH SETUPウィンドウを表示します。



- 選択肢を上下にスワイプして、入力ソースとアサイン先モジュールを選択します。
 各選択肢と同じ色で点灯したLCDノブ2~6を回して選択肢を変更することもできます。
- 3. APPLYボタンをタップすると、設定確認のウィンドウを表示 します。



 OKボタンをタップして、入力ソースを一括設定します。
 BATCH SETUPウィンドウを閉じて、選択した入力ソースが INPUT SOURCE選択ボタンに表示されます。

メモ

- この画面のLOCK/UNLOCKボタンが「LOCK」に設定されて いるときは、BATCH SETUPボタンの操作はできません。
- 一括設定ウィンドウが表示されている状態で、他のタッチス クリーンでルーティング操作を「LOCK」に設定された場合は、
 一括設定ウィンドウが自動的に閉じます。

ダイレクトアウト信号の出力ルーティング

ダイレクトアウト機能は、CH1-40 モジュールに搭載されています。 ダイレクトアウト信号の出力ルーティングは、CH1-40 モジュール のMODULE (OVERVIEW) 画面で行います。

この画面は、ホーム画面の各モジュールのMODULE LABELエリア をタップして表示します。



(1)2)(3)

[CH1-40 モジュール]

① DIRECT OUT ボタン

このボタンをタップして、DIRECT OUTのオン/オフを切り換 えます。(初期値:ON)

オンのとき、このボタンと DIRECT OUT TRIM ノブがハイライト 表示になり、このポイントの信号を DIRECT OUTに出力します。

メモ

CH1-40 モジュールのDIRECT OUT POINTは、50 ページ「CH1-40 CONFIG タブ画面」で切り換えることができます。

② DIRECT OUT TRIMノブ

DIRECT OUT信号の出力レベルを調節します。

設定範囲:-20dB~+20dB(初期値:0dB)

LCDノブ 2/4/5/7(青色で点灯)を使って調節します。

メモ

DIRECT OUT POINTや DELAY POINTの設定によって、操作に用いるノブの番号が変わります。

③ OUTPUTボタン

● DIRECT OUT信号がアサインされている出力ポート名を表示 します。

2 行目には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。 3 行目には、USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。

- 複数の出力ポートがアサインされている場合、ボタン右下 に「…」を表示します。
- ステレオモジュールのとき、以下のような略称で左右に分割して出力ポートのFIXED PORT LABELを表示します。

モジュールの表示	ステレオモジュールの表示
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
SLOT 2	S2
USB OUT	USB



- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 2 行目: DA ポート 番号
 - 3 行目:#[ID] ポート番号
 - ・ 4 行目: USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 🔮 マー クを表示します。



 このボタンをタップすることで、DIRECT OUT出力ポートを 選択する DIRECT OUT PORT SELECT画面に切り換えます。(→ 151 ページ「DIRECT OUT PORT SELECT画面」)

インサート入出力ルーティング

インサート機能は、CH1-40 モジュール/ MIX1-22 モジュール/ MAIN L/Rマスターモジュールに搭載されています。 インサート入出力ルーティングは、これらのモジュールの

MODULE (OVERVIEW) 画面で行います。

この画面は、ホーム画面の各モジュールのMODULE LABELエリア をタップして表示します。



(1)(2)(3)





(1)(2) (3)

[MIX1-22 モジュール]



[MAIN L/Rマスターモジュール]

① SENDボタン

- INSERT SEND信号がアサインされている出力ポート名を表 示します。 2行目には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。 3 行目には、USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。
- 複数の出力ポートがアサインされている場合、ボタン右下 に「…」を表示します。
- ステレオモジュールのとき、以下のような略称で左右に分 割して出力ポートの FIXED PORT LABELを表示します。

モジュールの表示	ステレオモジュールの表示
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
SLOT 2	S2
USB OUT	USB



- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択 した場合は、以下のように表示します。
 - 2 行目:DAポート番号
 - 3 行目: #[ID] ポート番号
 - 4 行目: USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 **○** マー クを表示します。



● このボタンをタップすることで、INSERT SEND信号の出力 ポートを選択する INSERT SEND PORT SELECT画面に切り換 えます。(→153 ページ「INSERT SEND PORT SELECT画面」)

② INSERTボタン

このボタンをタップして、INSERTのオン/オフを設定します。 (初期值:OFF) オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。
③ RETURN ボタン

● INSERT RETURN信号がアサインされている入力ポート名を 表示します。

2 行目には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。 3 行目には、USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。

ステレオモジュールのとき、以下のような略称で左右に分割して入力ポートのFIXED PORT LABELを表示します。

モジュールの表示	ステレオモジュールの表示
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
SLOT 2	S2
USB IN	USB
ST IN 1	ST1
ST IN 2	ST2
PLAYER	PL
SB-16D	SB



- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 2 行目: DA ポート 番号
 - 3 行目:#[ID] ポート番号
 - ・ 4 行目: USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 🕑 マー クを表示します。



 このボタンをタップすることで、INSERT RETURN信号の入 カポートを選択するINSERT RETURN PORT SELECT画面に 切り換えます。(→ 155ページ「INSERT RETURN PORT SELECT 画面」)

出力ルーティング

出力ルーティングは、以下の画面で行います。

MIX1-22 モジュール、MAIN L/Rマスターモジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面

この画面は、ホーム画面の各モジュールのMODULE LABELエリア をタップして表示します。



1





[MAIN L/Rマスターモジュール]

① OUTPUTボタン

- 選択したモジュールの出力信号がアサインされている出力 ポート名を表示します。
 2行目には、省略されたFIXED PORT LABELを表示します。
 3 行目には、USER PORT LABELを表示します。
 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。
- 複数の出力ポートがアサインされている場合、ボタン右下 に「…」を表示します。
- ステレオモジュールのとき、以下のような略称で左右に分割して出力ポートのFIXED PORT LABELを表示します。

モジュールの表示	ステレオモジュールの表示
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
SLOT 2	S2
USB OUT	USB



- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 2 行目: DA ポート 番号
 - 3 行目:#[ID] ポート番号
 - ・ 4 行目: USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 🕑 マー クを表示します。



 このボタンをタップすることで、出力ポートを選択する OUTPUT PORT SELECT画面に切り換えます。(→157 ペー ジ「OUTPUT PORT SELECT画面」)

MIX1-22 モジュール、MAIN L/Rマスターモジュールの MODULE (OUTPUT) 画面

この画面は、MIX1-22 モジュールおよび MAIN L/R マスターモジュー ルのホーム画面上部の OUTPUT エリアをタップして表示します。



[MIX1-22 モジュール]



[MAIN L/Rマスターモジュール]

① LOCK / UNLOCK切り換えボタン

- 本機のルーティング設定変更操作のロック/アンロックを切り換えるボタンです。起動時は、必ずロック状態になっています。
- 「LOCK」時は、BATCH SETUPボタンの操作はできません。 ただし、OUTPUT PORT SELECT表示エリア(②)をタップ して OUTPUT PORT SELECT画面に切り換えることは可能で す。
- 「LOCK」時にこのボタンをタップすると、確認メッセージが 表示されます。確認メッセージでUNLOCKボタンをタップす ると、メッセージを閉じて「UNLOCK」に切り換わります。 確認メッセージでCANCELボタンをタップすると、メッセー ジを閉じてロック状態を維持します。



●「UNLOCK」時にこのボタンをタップすると、「LOCK」に切り換わります。

メモ

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)の設定は、下記ルーティング設定画面で共通の設定です。

- MODULE (INPUT) 画面
- MODULE (OUTPUT) 画面
- INPUT SOURCE SELECT画面
- OUTPUT PORT SELECT画面
- DIRECT OUT PORT SELECT画面
- INSERT SEND PORT SELECT画面
- INSERT RETURN PORT SELECT画面
- TALKBACK INPUT SELECT画面
- TALKBACK EXT1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- TALKBACK EXT2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- Return TALKBACK EXT DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 OUTPUT PORT SELECT画面
- Solo DIRECT OUT PORT SELECT画面
- ルーティング画面

② OUTPUT PORT SELECT表示エリア

- このエリアには、選択したモジュールの信号がアサインされた出力ポートを表示します。
 1行目には、省略されたFIXED PORT LABELを表示します。
 2行目には、USER PORT LABELを表示します。USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABELを表示します。
 - モノラルモジュールの場合、最大 32 ポートまで表示でき ます。
 - ステレオモジュールの場合、1モジュールにつき最大16 ポートまで表示できます。
 - アサインされた出力ポート数が上記を超えている場合、 該当エリア右下に「…」と表示します。
- ・ このエリアをタップすると、タップした出力ポートがある
 OUTPUT PORT SELECT画面に切り換わります。(→157ペー
 ジ「OUTPUT PORT SELECT画面」)
- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 1行目:DAポート番号
 - 2 行目:SB #[ID] ポート番号
 - 3 行目: USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



 バーチャルマウントされたSB-16DのDanteポートの場合は、 アサインしたボタンが黄色でハイライト表示になります。



メモ

複数のチャンネルの出力ポートを一括で設定することもできま す。(→148ページ「複数のチャンネル間の出力ポートを一括 で設定する」)

複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設定する

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)が「UNLOCK」のときにMODULE (OUTPUT) 画面のBATCH SETUPボタンをタップして、出力ポートを一括で設定するBATCH SETUPウィンドウを表示します。



- 選択肢を上下にスワイプして、出力ポートを選択します。
 各選択肢と同じ色で点灯したLCDノブ2~6を回して選択肢を変更することもできます。
- 3. APPLYボタンをタップすると、設定確認のウィンドウを表示 します。



 OKボタンをタップして、出力ポートを一括変更します。 BATCH SETUPウィンドウを閉じて、選択した出力ポートが OUTPUT PORT選択ボタンに表示されます。

メモ

- この画面のLOCK/UNLOCKボタンが「LOCK」に設定されて いるときは、BATCH SETUPボタンの操作はできません。
- 一括設定ウィンドウが表示されている状態で、他のタッチス クリーンでルーティング操作を「LOCK」に設定された場合は、
 一括設定ウィンドウが自動的に閉じます。

INPUT SOURCE SELECT画面

この 画面では、CH1-40 モジュールおよび ST IN1-2 モジュールの入 カソースの 選択を行います。

この画面は、これらのモジュールのMODULE (OVERVIEW) 画面の INPUTボタン、またはMODULE (INPUT) 画面のOthersボタンを タップして表示します。(\rightarrow 140ページ「入力ルーティング」)





LOCK / UNLOCK切り換えボタン

- 本機のルーティング設定変更操作のロック/アンロックを切り換えるボタンです。起動時は、必ずロック状態になっています。
- ●「LOCK」時は、入力ソース選択ボタン(④)をタップして も設定を変更しません。
- ●「LOCK」時にこのボタンをタップすると、確認メッセージが 表示されます。確認メッセージでUNLOCKボタンをタップす ると、メッセージを閉じて「UNLOCK」に切り換わります。 確認メッセージでCANCELボタンをタップすると、メッセー ジを閉じてLOCK状態を維持します。



●「UNLOCK」時にこのボタンをタップすると、「LOCK」に切 り換わります。

メモ

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)の設定は、下記ルーティング設定画面で共通の設定です。

- MODULE (INPUT) 画面
- MODULE (OUTPUT) 画面
- INPUT SOURCE SELECT画面
- OUTPUT PORT SELECT画面
- DIRECT OUT PORT SELECT画面
- INSERT SEND PORT SELECT画面
- INSERT RETURN PORT SELECT画面
- TALKBACK INPUT SELECT画面
- TALKBACK EXT1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- TALKBACK EXT2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- Return TALKBACK EXT DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 OUTPUT PORT SELECT画面
- Solo DIRECT OUT PORT SELECT画面
- ルーティング画面

② 入力ソース群ページ切り換え表示

- 入力ソース群のページ名を表示します。
- ページ名をタップすると、ページ名に該当する入力ソース 群のページに切り換えます。選択したページ名がハイライ ト表示になります。選択中の入力ソースがあるページ名に「*」 が付きます。

ページ名	内容
ANALOG INPUT	アナログ MIC/LINE入力端子を 選択しま す。
ST IN	2 組の ST IN端子および内蔵メモリープ
Player	レイヤーを迭択します。
Dante	内蔵Danteの入力を選択します。
SLOT 1	SLOT1に装着中の拡張カード入力を 選択します。
SLOT 2	SLOT 2 に装着中の拡張カード 入力を 選択します。
USB IN	USB Audio I/F入力を選択します。

③ L / R選択ボタン

ステレオモジュールのL/Rチャンネルのどちらの入力ポートを 設定するかを選択します。 このボタンをタップすると、L / Rを切り換えます。選択した ボタンがハイライト表示になります。

④ 入力ソース選択ボタン

- LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)が「UNLOCK」の ときにこのボタンをタップして、入力ソースを選択します。 選択したボタンが水色でハイライト表示になります。 使用できないボタンは、グレーアウト表示になります。 使用できないボタンを選択すると暗い青色で表示されます。 1行目には、省略されたFIXED PORT LABELを表示します。 2行目には、USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。
- ステレオモジュールの場合は、Lチャンネル用に選択したボタン左下に「L」、Rチャンネル用に選択したボタン右下に「R」 と表示します。
- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 1行目:DAポート番号
 - 2 行目:SB #[ID] ポート番号
 - 3 行目: USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 🕜 マー クを表示します。



 バーチャルマウントされたSB-16DのDanteポートの場合は、 アサインしたボタンが黄色でハイライト表示になります。



⑤ スクロールノブ/スクロールバー表示

選択可能な選択肢が画面内に表示しきれない場合に表示します。 表示をドラッグすることで画面がスクロールします。また、入 カソース選択ボタン(④)エリアを上下にスワイプする、また はLCDノブ8を回して画面をスクロールすることもできます。

⑥ 🗛 / 🖪 ボタン

このボタンをタップして、INPUT SOURCEのINPUT A / INPUT Bを切り換えます。(初期値: A)

DIRECT OUT PORT SELECT画面

この画面では、CH1-40 モジュールのDIRECT OUT信号の出力ポート設定を行います。

この画面は、CH1-40 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面の DIRECT OUT TRIM ノブの上にある OUTPUT ボタンをタップして表 示します。(\rightarrow 143 ページ「ダイレクトアウト信号の出力ルーティ ング」)



① LOCK / UNLOCK切り換えボタン

- 本機のルーティング設定変更操作のロック/アンロックを切り換えるボタンです。起動時は、必ずロック状態になっています。
- ●「LOCK」時は、出力ポート選択ボタン(④)をタップして も設定を変更しません。
- ●「LOCK」時にこのボタンをタップすると、確認メッセージが 表示されます。確認メッセージでUNLOCKボタンをタップす ると、メッセージを閉じて「UNLOCK」に切り換わります。 確認メッセージでCANCELボタンをタップすると、メッセー ジを閉じてLOCK状態を維持します。



●「UNLOCK」時にこのボタンをタップすると、「LOCK」に切 り換わります。

メモ

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)の設定は、下記ルーティング設定画面で共通の設定です。

- MODULE (INPUT) 画面
- MODULE (OUTPUT) 画面
- INPUT SOURCE SELECT画面
- OUTPUT PORT SELECT画面
- DIRECT OUT PORT SELECT画面
- INSERT SEND PORT SELECT画面
- INSERT RETURN PORT SELECT画面
- TALKBACK INPUT SELECT画面
- TALKBACK EXT1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- TALKBACK EXT2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- Return TALKBACK EXT DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 OUTPUT PORT SELECT画面
- Solo DIRECT OUT PORT SELECT画面
- ルーティング 画面

② 出力ポート群ページ切り換え表示

- 出力ポート群のページ名を表示します。
- ページ名をタップすると、ページ名に該当する出力ポート 群のページに切り換えます。選択したページ名がハイライ ト表示になります。選択中の出力ポートがあるページ名に「*」 が付きます。

ページ名	内容
ANALOG OUTPUT	アナログ出力ポートを選択します。
Dante	内蔵 Danteの 出力ポートを 選択します。
SLOT 1	SLOT1に装着中の拡張カードの出力 ポートを選択します。
SLOT 2	SLOT 2 に装着中の拡張カードの出力 ポートを選択します。
USB OUT	USB Audio I/Fの出力ポートを選択します。

③ L / R選択ボタン

ステレオモジュールのL/Rチャンネルのどちらの出力ポートを 設定するかを選択します。 このボタンをタップすると、L / Rを切り換えます。選択した ボタンがハイライト表示になります。

④ 出力ポート 選択ボタン

- LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)が「UNLOCK」の ときにこのボタンをタップして、出力ポートを選択します。 選択したボタンが水色でハイライト表示になります。 使用できないボタンはグレーアウト表示になります。 使用できないボタンを選択すると暗い青色で表示されます。 1行目には、省略されたFIXED PORT LABELを表示します。 2行目には、USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。
- ステレオモジュールの場合は、Lチャンネル用に選択したボタン左下に「L」、Rチャンネル用に選択したボタン右下に「R」 と表示します。
- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 1行目:DAポート番号
 - 2 行目:SB #[ID] ポート番号
 - 3行目:USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 🕑 マー クを表示します。



 バーチャルマウントされたSB-16DのDanteポートの場合は、 アサインしたボタンが黄色でハイライト表示になります。



 すでに他のモジュールがアサインされているボタンには「*」 が付き、くすんだ青で表示されます。このボタンをタップ すると、設定確認のウィンドウが表示されます。OKボタ ンをタップすると、設定を変更してウィンドウを閉じます。 CANCELボタンをタップすると、設定を変更しないでウィン ドウを閉じます。

DIREC	T OUT PO	RT SELECT		< сн 1	C	:H 1	\rightarrow	≡
TUNLOCK			Dante	SLOT 1 [*] (IF-ST2110)	SLOT 2* (None)	USB OUT*		
DA 1 * Dante 1	DA 2 * Dante 2	DA 3 * Dante 3	DA 4 * Dante 4	_{DA S} * Dante 5				
	Dante 20 MIX 20 CANCEL	Þ	Dante DIRECT (OK	20 DUT 1 ?				
			DA 20 * Dante 20					
								ļ

メモ

1つのモジュールの信号を複数の出力ポートにアサインすることもできます。

⑤ スクロールノブ/スクロールバー表示

選択可能な選択肢が画面内に表示しきれない場合に表示します。 表示をドラッグすることで画面がスクロールします。また、出 カポート選択ボタン(④)エリアを上下にスワイプする、また はLCDノブ8を回して画面をスクロールすることもできます。

INSERT SEND PORT SELECT画面

この画面では、CH1-40 モジュール、MIX1-22 モジュールおよび MAIN L/RマスターモジュールのINSERT SEND信号の出力ポート設 定を行います。

この画面は、これらのモジュールのMODULE (OVERVIEW) 画面の SENDボタンをタップして表示します。(→144 ページ「インサー ト入出力ルーティング」)



① LOCK / UNLOCK切り換えボタン

- 本機のルーティング設定変更操作のロック/アンロックを切り換えるボタンです。起動時は、必ずロック状態になっています。
- ●「LOCK」時は、出力ポート選択ボタン(④)をタップして も設定を変更しません。
- 「LOCK」時にこのボタンをタップすると、確認メッセージが 表示されます。確認メッセージでUNLOCKボタンをタップす ると、メッセージを閉じて「UNLOCK」に切り換わります。 確認メッセージでCANCELボタンをタップすると、メッセー ジを閉じてLOCK状態を維持します。



●「UNLOCK」時にこのボタンをタップすると、「LOCK」に切 り換わります。

メモ

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)の設定は、下記ルーティング設定画面で共通の設定です。

- MODULE (INPUT) 画面
- MODULE (OUTPUT) 画面
- INPUT SOURCE SELECT画面
- OUTPUT PORT SELECT画面
- DIRECT OUT PORT SELECT画面
- INSERT SEND PORT SELECT画面
- INSERT RETURN PORT SELECT画面
- TALKBACK INPUT SELECT画面
- TALKBACK EXT1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- TALKBACK EXT2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- Return TALKBACK EXT DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 OUTPUT PORT SELECT画面
- Solo DIRECT OUT PORT SELECT画面
- ルーティング画面

② 出力ポート群ページ切り換え表示

- 出力ポート群のページ名を表示します。
- ページ名をタップすると、ページ名に該当する出力ポート 群のページに切り換えます。選択したページ名がハイライ ト表示になります。選択中の出力ポートがあるページ名に「*」 が付きます。

ページ名	内容
ANALOG OUTPUT	アナログ出力ポートを選択します。
Dante	内蔵 Danteの 出力ポートを 選択します。
SLOT 1	SLOT1に装着中の拡張カードの出力 ポートを選択します。
SLOT 2	SLOT2に装着中の拡張カードの出力 ポートを選択します。
USB OUT	USB Audio I/Fの出力ポートを選択しま す。

③ L / R選択ボタン

ステレオモジュールのL/Rチャンネルのどちらの出力ポートを 設定するかを選択します。 このボタンをタップすると、L / Rを切り換えます。選択した ボタンがハイライト表示になります。

④ 出力ポート 選択ボタン

- LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)が「UNLOCK」の ときにこのボタンをタップして、出力ポートを選択します。 選択したボタンが水色でハイライト表示になります。 使用できないボタンはグレーアウト表示になります。 使用できないボタンを選択すると暗い青色で表示されます。 1行目には、省略されたFIXED PORT LABELを表示します。 2行目には、USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合はFIXED PORT LABELを 表示します。
- ステレオモジュールの場合は、Lチャンネル用に選択したボタン左下に「L」、Rチャンネル用に選択したボタン右下に「R」 と表示します。
- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 1 行目: DA ポート 番号
 - 2 行目:SB #[ID] ポート番号
 - 3行目:USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 🕜 マー クを表示します。



 バーチャルマウントされたSB-16DのDanteポートの場合は、 アサインしたボタンが黄色でハイライト表示になります。



 すでに他のモジュールがアサインされているボタンには「*」 が付き、くすんだ青で表示されます。このボタンをタップ すると、設定確認のウィンドウが表示されます。OKボタ ンをタップすると、設定を変更してウィンドウを閉じます。 CANCELボタンをタップすると、設定を変更しないでウィン ドウを閉じます。



メモ

1つのモジュールの信号を複数の出力ポートにアサインすることもできます。

⑤ スクロールノブ/スクロールバー表示

選択可能な選択肢が画面内に表示しきれない場合に表示します。 表示をドラッグすることで画面がスクロールします。また、出 カポート選択ボタン(④)エリアを上下にスワイプする、また はLCDノブ8を回して画面をスクロールすることもできます。

INSERT RETURN PORT SELECT画面

この画面では、CH1-40 モジュール、MIX1-22 モジュールおよび MAIN L/Rマスターモジュールの INSERT RETURN信号の入力ポート 設定を行います。

この画面は、これらのモジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面の RETURN ボタンをタップして表示します。(→144 ページ「インサー ト入出力ルーティング」)



① LOCK / UNLOCK切り換えボタン

- 本機のルーティング設定変更操作のロック/アンロックを切り換えるボタンです。起動時は、必ずロック状態になっています。
- ●「LOCK」時は、入力ソース選択ボタン(④)をタップして も設定を変更しません。
- 「LOCK」時にこのボタンをタップすると、確認メッセージが 表示されます。確認メッセージでUNLOCKボタンをタップす ると、メッセージを閉じて「UNLOCK」に切り換わります。 確認メッセージでCANCELボタンをタップすると、メッセー ジを閉じてLOCK状態を維持します。



●「UNLOCK」時にこのボタンをタップすると、「LOCK」に切 り換わります。

メモ

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)の設定は、下記ルーティング設定画面で共通の設定です。

- MODULE (INPUT) 画面
- MODULE (OUTPUT) 画面
- INPUT SOURCE SELECT画面
- OUTPUT PORT SELECT画面
- DIRECT OUT PORT SELECT画面
- INSERT SEND PORT SELECT画面
- INSERT RETURN PORT SELECT画面
- TALKBACK INPUT SELECT画面
- TALKBACK EXT1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- TALKBACK EXT2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- Return TALKBACK EXT DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 OUTPUT PORT SELECT画面
- Solo DIRECT OUT PORT SELECT画面
- ルーティング画面

② 入力ソース群ページ切り換え表示

- 入力ソース群のページ名を表示します。
- ページ名をタップすると、ページ名に該当する入力ソース 群のページに切り換えます。選択したページ名がハイライ ト表示になります。選択中の入力ソースがあるページ名に「*」 が付きます。

ページ名	内容
ANALOG INPUT	アナログ MIC/LINE入力端子を 選択しま す。
ST IN	2 組の ST IN端子および内蔵メモリープ
Player	レイヤーを選択します。
Dante	内蔵Danteの入力を選択します。
SLOT 1	SLOT1に装着中の拡張カードの入力 ポートを選択します。
SLOT 2	SLOT 2 に装着中の拡張カードの入力 ポートを選択します。
USB IN	USB Audio I/F入力を選択します。

③ L / R選択ボタン

ステレオモジュールのL/Rチャンネルのどちらの入力ポートを 設定するかを選択します。 このボタンをタップすると、L / Rを切り換えます。選択した ボタンがハイライト表示になります。

④ 入力ソース選択ボタン

- LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)が「UNLOCK」の ときにこのボタンをタップして、入力ソースを選択します。 選択したボタンが水色でハイライト表示になります。 使用できないボタンは、グレーアウト表示になります。 使用できないボタンを選択すると暗い青色で表示されます。 1行目には、省略されたFIXED PORT LABELを表示します。 2行目には、USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合はFIXED PORT LABELを 表示します。
- ステレオモジュールの場合は、Lチャンネル用に選択したボタン左下に「L」、Rチャンネル用に選択したボタン右下に「R」 と表示します。
- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 1 行目: DA ポート 番号
 - 2 行目:SB #[ID] ポート番号
 - 3 行目: USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 🕑 マー クを表示します。



 バーチャルマウントされたSB-16DのDanteポートの場合は、 アサインしたボタンが黄色でハイライト表示になります。



 Analog GAINの設定を持つ下記の入力ポートを選択すると、 選択した入力ポートの対応パラメーターが自動でラインレベルの基準設定値である下記設定になります。

入力ポート

- ANALOG INPUT
- SB-16Dをルーティングした 内蔵 Dante ポート
- SB-16Dをルーティングした IF-DA64 装着 SLOTのポート

自動で変更されるパラメーター

- PAD: ON
- Analog GAIN: 0
- Phantom : OFF

メモ

SB-16Dの入力ポートを選択した際に該当する SB-16Dの制御権 を本機が取得していない場合、上記パラメーターが変更できず、 下記メッセージが右端のタッチスクリーンに表示されます。

	← 2. SB-16D FRETURN	I PORT SE	LECT <	CH 1	C	:H 1	\rightarrow				
H UNLOCK			Dante*								
SB-16D ID #8-9 INPUT 1 cannot be set to LINE LEVEL. This console does not have SB-16D ID #8-9 Pre Amp Control.											
		CLOSE	Dan	te Setup	69						
SB #8-9 1	SB #8-9 2	SB #8-9 3	SB #8-9 4	SB #8-9 5	SB #8-9 6	SB #8-9 7	SB #8-9 8				
DA 25 58#8-99 SB #8-9 9	DA 26 58#3-910 SB #8-9 10	DA 27 58#3-911 SB #8-9 11	DA 28 58#3-912 SB #8-9 12	DA 29 58 #8-9 13 SB #8-9 13	DA 30 58#8-914 SB #8-9 14	DA 31 58#8-915 SB #8-9 15	DA 32 58#8-916 SB #8-916	s ô			

⑤ スクロールノブ/スクロールバー表示

選択可能な選択肢が画面内に表示しきれない場合に表示します。 表示をドラッグすることで画面がスクロールします。また、入 カソース選択ボタン(④)エリアを上下にスワイプする、また はLCDノブ8を回して画面をスクロールすることもできます。

OUTPUT PORT SELECT画面

この画面では、MIX1-22 モジュールおよびMAIN L/Rマスターモ ジュールの出力ポート設定を行います。

この画面は、これらのモジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面の OUTPUT ボタン、または MODULE (OUTPUT) 画面の Others ボタン をタップして表示します。(\rightarrow 146 ページ「出力ルーティング」)





LOCK / UNLOCK切り換えボタン

- 本機のルーティング設定変更操作のロック/アンロックを切り換えるボタンです。起動時は、必ずロック状態になっています。
- ●「LOCK」時は、出力ポート選択ボタン(④)をタップして
 も設定を変更しません。
- 「LOCK」時にこのボタンをタップすると、確認メッセージが 表示されます。確認メッセージでUNLOCKボタンをタップす ると、メッセージを閉じて「UNLOCK」に切り換わります。 確認メッセージでCANCELボタンをタップすると、メッセー ジを閉じてLOCK状態を維持します。



●「UNLOCK」時にこのボタンをタップすると、「LOCK」に切 り換わります。

メモ

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)の設定は、下記ルーティング設定画面で共通の設定です。

- MODULE (INPUT) 画面
- MODULE (OUTPUT) 画面
- INPUT SOURCE SELECT画面
- OUTPUT PORT SELECT画面
- DIRECT OUT PORT SELECT画面
- INSERT SEND PORT SELECT画面
- INSERT RETURN PORT SELECT画面
- TALKBACK INPUT SELECT画面
- TALKBACK EXT1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- TALKBACK EXT2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- Return TALKBACK EXT DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 OUTPUT PORT SELECT画面
- Solo DIRECT OUT PORT SELECT画面
- ルーティング画面

② 出力ポート群ページ切り換え表示

- 出力ポート群のページ名を表示します。
- ページ名をタップすると、ページ名に該当する出力ポート 群のページに切り換えます。選択したページ名がハイライ ト表示になります。選択中の出力ポートがあるページ名に「*」 が付きます。

ページ名	内容
ANALOG OUTPUT	アナログ出力ポートを選択します。
Dante	内蔵 Danteの出力ポートを選択します。
SLOT 1	SLOT1に装着中の拡張カードの出力 ポートを選択します。
SLOT 2	SLOT 2 に装着中の拡張カードの出力 ポートを選択します。
USB OUT	USB Audio I/Fの出力ポートを選択しま す。

③ L / R選択ボタン

ステレオモジュールのL/Rチャンネルのどちらの出力ポートを 設定するかを選択します。 このボタンをタップすると、L / Rを切り換えます。選択した ボタンがハイライト表示になります。

④ 出力ポート 選択ボタン

- LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)が「UNLOCK」の ときにこのボタンをタップして、出力ポートを選択します。 選択したボタンが水色でハイライト表示になります。 使用できないボタンはグレーアウト表示になります。 使用できないボタンを選択すると暗い青色で表示されます。 1行目には、省略されたFIXED PORT LABELを表示します。 2行目には、USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。
- ステレオモジュールの場合は、Lチャンネル用に選択したボタン左下に「L」、Rチャンネル用に選択したボタン右下に「R」と表示します。
- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 1 行目: DA ポート 番号
 - 2 行目:SB #[ID] ポート番号
 - 3行目:USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 🕜 マー クを表示します。



 バーチャルマウントされたSB-16DのDanteポートの場合は、 アサインしたボタンが黄色でハイライト表示になります。



 すでに他のモジュールがアサインされているボタンには「*」 が付き、くすんだ青で表示されます。このボタンをタップ すると、設定確認のウィンドウが表示されます。OKボタ ンをタップすると、設定を変更してウィンドウを閉じます。 CANCELボタンをタップすると、設定を変更しないでウィン ドウを閉じます。



メモ

1つのモジュールの信号を複数の出力ポートにアサインするこ ともできます。

⑤ スクロールノブ/スクロールバー表示

選択可能な選択肢が画面内に表示しきれない場合に表示します。 表示をドラッグすることで画面がスクロールします。また、出 カポート選択ボタン(④)エリアを上下にスワイプする、また はLCDノブ8を回して画面をスクロールすることもできます。

ルーティング画面

この画面では、入出力端子またはモジュールのルーティング設定 を行うことができます。

- この画面は、以下の手順で表示します。
- メニュー画面> Mixer Setup メニュー>「Routing」のタップ
- MODULE (INPUT) 画面の ROUTING ボタンをタップ
- MODULE (OUTPUT) 画面の ROUTING ボタンをタップ

ルーティング画面の構成

ルーティング画面の上部に各タブ画面を選択するボタンがあります。



① LOCK / UNLOCK切り換えボタン

本機のルーティング設定変更操作のロック/アンロックを切り 換えるボタンです。起動時は、必ずロック状態になっています。 (→141 ページ「① LOCK / UNLOCK切り換えボタン」)



メモ

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(①)の設定は、下記ルーティング設定画面で共通の設定です。

- MODULE (INPUT) 画面
- MODULE (OUTPUT) 画面
- INPUT SOURCE SELECT画面
- OUTPUT PORT SELECT画面
- DIRECT OUT PORT SELECT画面
- INSERT SEND PORT SELECT画面
- INSERT RETURN PORT SELECT画面
- TALKBACK INPUT SELECT画面
- TALKBACK EXT1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- TALKBACK EXT2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- Return TALKBACK EXT DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 DIRECT OUT PORT SELECT画面

- MONITOR 2 OUTPUT PORT SELECT画面
- Solo DIRECT OUT PORT SELECT画面
- ルーティング 画面

② タブ画面選択ボタン

このボタンをタップして、ルーティング設定を行いたい入出力 端子/モジュールを表示する 画面を切り 換えます。 選択したボタンがハイライト表示になります。

タブボタン	内容
INPUT PORT	入力端子のルーティング設定
INPUT MODULE	入力モジュール 視点でのルーティング 設 定
OUTPUT MODULE	出力モジュールのルーティング設定
OUTPUT PORT	出力端子視点でのルーティング 設定
PORT to PORT A.GAIN (INPUT)	PORT to PORT機能にアサインされた入 カポートのAnalog GAINの設定(→ 166 ページ「PORT to PORT A.GAIN (INPUT) タブ画面」)

PORT to PORTについて

INPUT PORTとOUTPUT PORTをダイレクトに接続する設定のことを PORT to PORTと呼びます。

PORT to PORTは、24ch設定できます。

- ルーティング画面のタブ画面選択ボタン(②)で「INPUT PORT」を選択します。
- INPUT PORT タブ画面の INPUT MODULE選択ボタン(③)で 「OUTPUT PORT」を選択して設定します。
- SELECTボタン(⑤)がハイライト表示中に入力ポートを設定し、INPUT PORTルーティング設定エリア(④)出力ポートを設定します。

•		INPL	INPUT PORT INPUT MODULE OUTPUT MODULE OUTPUT PORT PORT AGAIN (INPUT)											×			
	🚹 UNLOCK	A	MOI	H	В	INSE	CH RT RETU	URN	INS	AIX / N SERT RI	IAIN ETURN	4		TPUT	+	•	►
PORT to PORT N	OUTPUT PORTS	AN 1	AN 2	AN 3	AN 4	AN 5	AN 6	AN 7	AN 8	AN 9	AN 10	AN 11	AN 12	AN 13	AN 14	AN 15	AN 16
1	AN 1 2 ANALOG 1	٠															
2	AN 2 ANALOG 2		٠														
з	AN 3 ANALOG 3			•													
4	AN 4 ANALOG 4				•												
5	DA 17 0 Dante 17 1										٠						
6	DA 18 0 Dante 18 1											٠					
. 7	DA 19 Dante 19												٠				
• •	DA 20 Dante 20													٠			

INPUT PORT タブ 画面

「INPUT PORTがどこにアサインされているか」という INPUT PORT 視点でルーティング表示/設定を行う 画面です。









[MIX/MAIN INSERT RETURN ルーティング 画面]



① 入力ソース群ページ選択ボタン

- ルーティング対象の入力ソースの種類を選択するタブです。
- ■ / ボタンをタップする、またはLCDノブ1を回して4 行ずつスクロールすることもできます。

② INPUT PORT表示

- 入力ポートの情報を表示します。
 1行目には、省略されたFIXED PORT LABELを表示します。
 2 行目には、USER PORT LABELを表示します。
 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。
- 右側の数字は、対象入力ポートがアサインされているモジュール数(白文字)とPORT to PORT機能にアサインされた出力ポート数(黄緑色文字)を表示しています。
- ここをタップすると、タップしたINPUT PORTをアサインしているモジュールが表示される位置にINPUT PORT ルーティング設定エリア(④)をスクロールします。

③ INPUT MODULE選択ボタン

- ルーティング対象の入力ソースのアサイン先の種類を選択 するタブです。
- CH MODULE タブの ▲ / ボタンをタップして、INPUT A / INPUT Bどちらの設定を表示するかを選択します。
- OUTPUT PORT タブの / ボタンをタップすると、出力 ポートの種類を切り換えることができます。
 このタブでは、PORT to PORT機能のルーティングを設定す ることができます。
- ・ ボタンをタップする、またはLCDノブ1を回して8
 列ずつスクロールすることもできます。

④ INPUT PORT ルーティング 設定エリア

INPUT PORTから出力ポートへのルーティングを設定します。

- INPUT PORTと出力ポートの交点をタップすることで、入力 ルーティングを変更することができます。
- INPUT PORTと出力ポートの交点に □ アイコンが表示されます。また、□ アイコンをタップすることで入力ルーティングが解除されます。

第5章 ルーティング

⑤ SELECTボタン

- PORT to PORTの入力ソースボタン(⑦)をタップした時の 動作モードを切り換えます。
- このボタンがハイライト表示のときにPORT to PORTの入力 ソースボタン(⑦)をタップすると、対象項目の入力ポートの設定ができます。

⑥ PORT to PORT No表示

- 24chある PORT to PORT機能の番号を表示しています。
- ▲ / ▼ ボタンをタップする、またはLCD ノブ1を回して4 行ずつスクロールすることもできます。

⑦ PORT to PORTの入力ソースボタン

PORT to PORT機能にアサインされた入力ソース名を表示します。
 1行目には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。

2 行目には、USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。

- 右側の数字は、対象入力ポートがアサインされている出力 ポート数を表示しています。
- SELECTボタン(⑤)がグレーアウト表示中にこのボタンを タップすると、タップしたINPUT PORTをアサインしている モジュールが表示される位置にINPUT PORTルーティング 設定エリア(④)をスクロールします。
- SELECTボタン(⑤)がハイライト表示中にこのボタンをタッ プすることで、タップした入力ポートがある INPUT SOURCE SELECT画 面 に切 り換えます。(→149ページ「INPUT SOURCE SELECT画面」)

5 INPUT	SOURCE	SELECT		PORT to F	ORT	No.1	>	×
🔒 LOCK	ANALOG INPUT	ST IN Player	Dante	SLOT 1 (None)	SLOT 2 (None)	USB IN		
AN 1	AN 2	AN 3	AN 4	AN 5	AN 6	AN 7	AN 8	
ANALOG 1	ANALOG 2	ANALOG 3	ANALOG 4	ANALOG 5	ANALOG 6	ANALOG 7	ANALOG 8	
AN 9	AN 10	AN 11	AN 12	AN 13	AN 14	AN 15	AN 16	
ANALOG 9	ANALOG10	ANALOG11	ANALOG12	ANALOG13	ANALOG14	ANALOG15	ANALOG16	
AN 17	AN 18	AN 19	AN 20	AN 21	AN 22	AN 23	AN 24	
ANALOG17	ANALOG18	ANALOG19	ANALOG20	ANALOG21	ANALOG22	ANALOG23	ANALOG24	

入力ソースがアサインされていない場合は、ブランク表示(
)になります。

INPUT MODULE タブ 画面

「INPUT MODULEにアサインされているポートは何か」という INPUT MODULE視点でルーティング表示/設定を行う画面です。



[INPUT SOURCE ルーティング 画面]





[INSERT RETURN ルーティング 画面]



- ① ルーティング対象切り換えボタン
 - INPUT MODULEのルーティング対象の種類を選択するタブです。
 - ▲ / ▼ ボタンをタップする、またはLCD / ブ1を回してス クロールすることもできます。

② A / B ボタン

このボタンをタップして、INPUT A / INPUT Bどちらの設定を 表示するかを選択します。(初期値: A)

③ INPUT SOURCE表示エリア

INPUT SOURCEから INPUT MODULEにアサインされた入力ポー トを表示します。



- ④ このボタンをタップすると、タップしたモジュールの MODULE (INPUT) 画面に切り換わります。(→186 ペー ジ「MODULE (INPUT) 画面」)
- ⑧このボタンをタップすると、対応するモジュールの INPUT SOURCE SELECT画面に切り換わります。(→ 149ページ「INPUT SOURCE SELECT画面」)

④ INPUT MODULE表示

- ルーティング対象の INPUT MODULE名を表示します。
 1行目には、MODULE SUB LABELを表示します。
 2行目には、MODULE MAIN LABELを表示します。
- 右側の数字は、対象項目をアサインしている出力ポート数 を表示しています。
- ここをタップすると、タップしたINPUT MODULEをアサインしている出力ポートが表示される位置にINSERT SENDルーティング設定エリア(⑥)やDIRECT OUTルーティング設定エリア(⑧)をスクロールします。
- ⑤ 出力ポート群ページ切り換えボタン
 - 出力ポート群のページ名を表示します。
 - ページ名のボタンをタップすると、ページ名に該当する出力ポート群のページに切り換えます。選択したページ名が ハイライト表示になります。
 - ✓ / ▶ ボタンをタップする、またはLCDノブ8を回してス クロールすることもできます。

⑥ INSERT SEND ルーティング 設定エリア

INPUT MODULEのINSERT SENDから出力ポートへのルーティングを表示/設定します。

- INPUT MODULEと出力ポートの交点をタップすることで、 INSERT SENDルーティングを変更することができます。
- INPUT MODULEと出力ポートの交点に □ アイコンが表示 されます。また、□ アイコンをタップすることで、INSERT SENDルーティングが解除されます。

⑦ INSERT RETURN表示エリア

入力ポートから INPUT MODULEの INSERT RETURNにアサイン された入力ポートを表示します。



- © このボタンをタップすると、タップしたモジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面に切り換わります。(→170 ページ「CH1-40 モジュールのMODULE (OVERVIEW) 画 面」)
- ①このボタンをタップすると、対応するモジュールの INSERT RETURN PORT SELECT画面に切り換わります。 (→155ページ「INSERT RETURN PORT SELECT画面」)

⑧ DIRECT OUT ルーティング 設定エリア

INPUT MODULEの DIRECT OUTから出力ポートへのルーティン グを表示/設定します。

- INPUT MODULEと出力ポートの交点をタップすることで、 DIRECT OUT ルーティングを変更することができます。
- INPUT MODULEと出力ポートの交点に □ アイコンが表示 されます。また、□ アイコンをタップすることで、DIRECT OUTルーティングが解除されます。

OUTPUT MODULEタブ画面

「OUTPUT MODULEがアサインされているポートは何か」という OUTPUT MODULE視点でルーティング表示/設定を行う画面です。









[INSERT SEND ルーティング 画面]

[INSERT RETURN ルーティング 画面]

- ① ルーティング対象切り換えボタン
 - OUTPUT MODULEのルーティング対象の種類を選択するタブです。
 - ▲ / ▼ ボタンをタップする、またはLCD / ブ1を回してス クロールすることもできます。

② OUTPUT MODULE表示

- ルーティング対象のOUTPUT MODULE名を表示します。
 1行目には、MODULE SUB LABELを表示します。
 2行目には、MODULE MAIN LABELを表示します。
- 右側の数字は、対象モジュールをアサインしている出力ポー
 ト数を表示しています。
- ここをタップすると、タップしたOUTPUT MODULEをアサインしている出力ポートが表示される位置にOUTPUT PORTやINSERT SENDのルーティング設定エリア(④)をスクロールします。

③ 出力ポート 群ページ 切り 換えボタン

- 出力ポート群のページ名を表示します。
- ページ名のボタンをタップすると、ページ名に該当する出力ポート群のページに切り換わります。
- ✓ / ▶ ボタンをタップする、またはLCDノブ8を回してス クロールすることもできます。

④ OUTPUT PORT ルーティング 設定エリア

OUTPUT MODULEから OUTPUT PORTへのルーティングを設定 します。

- OUTPUT MODULEとOUTPUT PORTの交点をタップすることで、入力ルーティングを変更することができます。
- OUTPUT MODULEと OUTPUT PORTの交点に □ アイコンが 表示されます。また、□ アイコンをタップすることで入力ルー ティングが解除されます。

⑤ INSERT SEND ルーティング 設定エリア

OUTPUT MODULEの INSERT SENDから出力ポートへのルーティ ングを表示/設定します。

- OUTPUT MODULEと出力ポートの交点をタップすることで、 INSERT SEND ルーティングを変更することができます。
- OUTPUT MODULEと出力ポートの交点に□アイコンが表示 されます。また、□アイコンをタップすることで、INSERT SENDルーティングが解除されます。

⑥ INSERT RETURN表示エリア

入力ポートからOUTPUT MODULEのINSERT RETURNにアサイ ンされた入力ポートを表示します。



- ④ このボタンをタップすると、タップしたモジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面に切り換わります。(→ 182 ページ「MIX1-22 モジュール/ MAIN L/Rマスターモジュー ルの MODULE (OVERVIEW) 画面」)
- ⑧このボタンをタップすると、対応するモジュールの INSERT RETURN PORT SELECT画面に切り換わります。 (→155ページ「INSERT RETURN PORT SELECT画面」)

第5章 ルーティング

OUTPUT PORT タブ 画面

「OUTPUT PORTがどこにアサインされているか」というOUTPUT PORT視点でルーティング表示/設定を行う画面です。

	•	INPUT PORT INPUT MODULE OUTPUT MODULE OUTPUT PORT PORT AGAIN(INPUT)	
		LOCK	
1)-	ANALOG OUTPUT	CUTURY ANS ANNOCES ANNOCES	-2
	Dante SLOT 1 None SLOT 2 None	AND CONTROL MATT	
	USB OUT		

[ANALOG OUTPUTポートルーティング画面]



[Danteポートルーティング画面]

	5		INPUT	PORT	PUT MODULI	ОUTPUT		JTPUT PORT	PORT to I		
	ANALOG		\$11 SLOT1 1	512 SLOT1 2	513 SLOT1 3	514 SLOT1 4	\$15 \$LOT1 5	516 SLOT1 6	517 SLOT1 7	518 SLOT1 8	
1)-		SOURCE	CH 1 CH 1 DIRICTOUT	CH 2 CH 2 DIMETOUT	CH 3 CH 3 Distortout	CH 4 CH 4 DIRECT OUT	CH 5 CH 5 DIRECT OUT	CH 6 CH 6 Distort out	CH 7 CH 7 DIRICT OUT	CH 8 CH 8 DIRICTOUT	-2
	Dante		SLOT1 9 CH 9	S1 10 SLOT1 10 CH 10	S1 11 SLOT1 11	S1 12 SLOT1 12 CH 12	S1 13 SLOT1 13 CH 13	S1 14 SLOT1 14 CH 14	S1 15 SLOT1 15 CH 15	S1 16 SLOT1 16 CH 16	
	SLOT 1 None		CH 9 DIRECTOUT	CH 10 DIRECTOUT	CH 11 DIRECT OUT	CH 12 DIRECT OUT	CH 13 DIRECTOUT	CH 14 DIRECT OUT	CH 15 DIRECT OUT	CH 16 DIRECT OUT	
	SLOT 2 None		CH 17 CH 17 CH 17	CH 18 CH 18	CH 19 CH 19 CH 19	CH 20 CH 20	CH 21 CH 21	CH 22 CH 22 CH 22	CH 23 CH 23	CH 24 CH 24	
	OUT	Ī	S125 SLOT1 25	\$126 SLOT1 26	S127 SLOT1 27	S128 SLOT1 28	S129 SLOT1 29	S130 SLOT1 30	\$131 SLOT1 31	5132 SLOT1 32	
	V		CH 25 CH 25 DIRECTOUT	CH 26 CH 26 DIRECTOUT	CH 27 CH 27 DIRECTOUT	CH 28 CH 28 DIRECT OUT	CH 29 CH 29 Difect out	CH 30 CH 30 DIRECT OUT	CH 31 CH 31 DRECTOUT	CH 32 CH 32 DIRECTOUT	

[SLOT1 ポートルーティング 画面]



[SLOT2 ポートルーティング画面]

	Β LOC	к							
	OUTPUT PORT SOURCE	USB OUT1 CH 1 CH 1 DIRECTOUT	US2 USB OUT2 CH 2 CH 2 DIRECTOUT	US3 USB OUT3 CH 3 CH 3 DIRECT OUT	US 4 USB OUT4 CH 4 CH 4 DBRCT OUT	USS OUTS CH S CH S OBJECT OUT	US 6 USB OUT6 CH 6 CH 6 DINICT OUT	US7 USB OUT7 CH 7 CH 7 ORICT OUT	US8 USB OUT8 CH 8 CH 8 DIRECT OUT
Dante SLOT 1		US 9 USB OUT9 CH 9 CH 9 DIRECT OUT	US 10 USB OUT10 CH 10 CH 10 DIRECT OUT	US 11 USB OUT11 CH 11 CH 11 DIRECT OUT	US 12 USB OUT12 CH 12 CH 12 DIRECT OUT	US 13 USB OUT13 CH 13 CH 13 DIRECT OUT	US 14 USB OUT14 CH 14 CH 14 DIRECT OUT	US 15 USB OUT15 CH 15 CH 15 DRICT OUT	US 16 USB OUT16 CH 16 CH 16 DIRECT OUT
SLOT 2 None		US 17 USB OUT17 CH 17 CH 17 OIBECTOUT	US 18 USB OUT18 CH 18 CH 18 OIFFCTOUT	US 19 USB OUT19 CH 19 CH 19 CH 19	US 20 USB OUT20 CH 20 CH 20	US 21 USB OUT21 CH 21 CH 21	US 22 USB OUT22 CH 22 CH 22 CH 22	US 23 USB OUT23 CH 23 CH 23	US 24 USB OUT24 CH 24 CH 24 DIRECTOR
OUT		US 25 USB OUT25	US 26 USB OUT26	US 27 USB OUT27	US 28 USB OUT28	US 29 USB OUT29	US 30 USB OUT30	US 31 USB OUT31	US 32 USB OUT32

[USB OUTポートルーティング画面]

① 出力ポート 群ページ 切り 換えボタン

- 出力ポート群のページ名を表示します。
- ページ名のボタンをタップすると、ページ名に該当する出力ポート群のページに切り換わります。
- ▶ / ▼ ボタンをタップする、またはLCDノブ1を回してス クロールすることもできます。
- ② 出力ポート表示エリア

出力ソースからOUTPUT PORTにアサインされた出力ソースを 表示します。



- ④ このボタンをタップすると、対応するモジュールの OUTPUT PORT SELECT画面に切り換わります。(→157 ページ「OUTPUT PORT SELECT画面」)
- ⑧ このボタンをタップすると、タップしたモジュールの MODULE (OUTPUT) 画面に切り換わります。(→207 ペー ジ「MODULE (OUTPUT) 画面」)

PORT to PORT A.GAIN (INPUT) タブ画面

24chあるPORT to PORT機能(入力端子に入れた音声信号をモジュールなどを経由せずに出力端子から出力する機能)にアサインされた下記の入力ポートのAnalog GAINを表示/設定する画面です。

- 内蔵 Analog入力端子
- 内蔵 Dante経由で 接続された SB-16Dのアナログ 入力端子



① 入力設定表示部

- 入力ポートの名前/Analog GAINノブ/PADボタン/48V ボタンの操作を行います。
 - 選択枠で選択中のAnalog GAINを、赤く点灯したLCDノ ブ1~8を使って調節します。
 - PADボタンをタップすると、20dBのパッドのオン/オフ が切り換わります。このボタンがオンのとき、ボタンが ハイライト表示になります。
 - 48Vボタンを押し続けると、ファンタム電源のオン/オ フが切り換わります。ファンタム電源がオンのとき、ボ タンがハイライト表示になります。
- Analog GAIN ノブ/ PAD ボタン/ 48Vボタンは、バーチャル マウントされた SB-16Dの入力端子の場合も操作できます。
- 入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合、ノブやボタンが 黒く表示されて操作できません。
- Analog GAINや PADの詳細については、171 ページ「⑫ PAD ボタン」または 172 ページ「⑬ Analog GAINノブ」をご参 照ください。

第5章 ルーティング

MODULE画面

選択したモジュールの設定を行う画面です。 MODULE画面は、ホーム画面の各エリアのタップ、またはトップ パネルの SELキーを押して表示します。

MODULE画面の構成

MODULE画面の上部に各画面を選択するボタンがあります。



[CH1-40 モジュール・MODULE (INPUT) 画面]



[MIX1-22 モジュール・MODULE (EQ) 画面]

メモ

- 選択したモジュールがステレオモジュールのとき、レベルメー ターはステレオ表示になります。
- 各レベルメーターの最上部は、オーバーロードインジケーターです。信号レベルが-0.00026dBFS(16bit フルスケール値)以上のときに赤くハイライト表示します。
- レベルのオーバーロードが発生すると、バーメーター全体が赤くなります。
- レベルメーター下端の-60dBFS以下のエリアは、-70dBFS以上 で点灯します。

① <mark>5</mark> ボタン

このボタンをタップすると、ホーム画面に戻ります。

② ‱ ボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールのMODULE画 面をすべてのタッチスクリーンに表示する全画面モードのオン /オフを切り換えます。オンのとき、ボタンがハイライト表示 になります。



全画面モードにすることで、例えば「EQとCOMP」「GATEとEQ とCOMP」などを同時にすべてのタッチスクリーンに表示して 調節することが簡単にできるようになります。 このボタンをオフにすると、オフ操作をしたタッチスクリーン 以外の画面がホーム画面に戻ります。

メモ

GEQのFADER Ctrl機能がオンのとき、全画面モードは「オン」 に固定され、オフにできません。

③ 【 / 】 ボタン

このボタンをタップすると、表示/操作対象のモジュールを、 各レイヤーのモジュールの並び順にしたがって左右に移動しま す。

この際、FULL SCREENボタンがオフの場合は、表示中のタブ 画面を持つモジュール内でのみ移動します。例えば、COMPタ ブ画面で左右に移動する際は、COMPタブ画面のあるCH1-40 / MIX1-22 / MAIN L/Rマスターモジュールの間だけで移動し ます。

FULL SCREENボタンがオンの場合は、移動後のタブ画面は以下のようになります。

- 移動後のモジュールが同カテゴリーモジュールの場合は、選択タブ画面を維持します。
- 切り換え後のモジュールが別カテゴリーモジュールの場合は、そのカテゴリーで前回表示したタブ画面の組み合わせを表示します。

④ FIXED MODULE LABEL表示

FIXED MODULE LABELを表示します。

⑤ USER MODULE LABEL表示

- MODULE LABEL Mainで設定されたMODULE LABELを表示 します。(→ 132 ページ「DISPLAY MODEタブ画面」)
- MODULE LABEL Mainの表示モードが「PORT LABEL」に 設定されている場合、入出力ポートがアサインされないFX RTN 1-4 モジュールは、MODULE LABEL Mainの表示モード が「USER」に設定されているときのMODULE LABELを表示 します。
- MODULE LABEL Mainの表示モードが「USER」に設定されている場合(→132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」)にこの部分をタップすると、USER MODULE LABELおよびモジュール設定色を変更するMODULE LABEL画面に切り換わります。(→229ページ「MODULE LABEL画面」)
- MODULE LABEL Mainの表示モードが「PORT LABEL」、かつ PORT LABELの表示モードが「USER」に設定されている場 合(→132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」)にこの部 分をタップすると、このモジュールにアサインされた入出 力端子のUSER PORT LABELを編集する USER LABEL (INPUT PORT) 画面、または USER LABEL (OUTPUT PORT) 画面に切 り 換わります。(→135ページ「USER LABEL (INPUT PORT) / OUTPUT PORT) 画面」)

ただし、このモジュールに入出力端子がアサインされていな い場合には、切り換わりません。

⑥ 🔳 ボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールの MODULEメ ニューを表示します。



メニュー項目をタップして、選択したモジュールの各パラメー ターの設定変更などを行います。(→ 212 ページ「MODULEメ ニュー」)

⑦ 画面選択ボタン

画面選択ボタンをタップして、表示する画面を切り換えます。 選択したボタンがハイライト表示になります。

ボタン	内容
OVERVIEW	選択したモジュール全体の設定を 行います。
FX SEND MUTE	FX1-4 への入力をミュートします。
INPUT	選択したモジュールの入力の設定を 行います。
FX	選択したモジュールの内蔵エフェク トの設定を行います。
GATE / EXPANDER /	選択したモジュールのダイナミクス
DE-ESSER	エフェクトの設定を行います。
EQ	選択したモジュールの EQの 設定を 行います。
GEQ	選択したモジュールの GEQの 設定を 行います。
COMP / DUCKER	選択したモジュールのダイナミクス エフェクトの設定を行います。
SEND	選択したモジュールから各バスへの SENDの設定を行います。
PAN	選択したモジュールの PANの設定を 行います。
OUTPUT	選択したモジュールの出力の設定を 行います。

メモ

- INPUTボタンは、CH1-40 モジュールおよび ST IN1-2 モジュー ルにのみ表示されます。
- FX SEND MUTEボタンは、FX RTN1-4 モジュールにのみ表示 されます。
- FXボタンは、FX RTN1-4 モジュールにのみ表示されます。
- GATEボタン / EXPANDERボタン / DE-ESSERボタンは、 CH1-40 モジュールにのみ表示されます。
- GEQボタンは、MIX1-22 モジュールおよび MAIN L/Rマスター モジュールにのみ表示されます。
- COMPボタン / DUCKERボタンは、CH1-40 モジュール、 MIX1-22 モジュールおよび MAIN L/Rマスターモジュールに のみ表示されます。
- OUTPUTボタンは、MIX1-22 モジュールおよび MAIN L/Rマ スターモジュールにのみ表示されます。

MODULE (OVERVIEW) 画面

すべてのモジュールにあるMODULE (OVERVIEW) 画面では、モ ジュール全体の設定を行います。

この画面では、左から右に向かう信号処理フローに沿って、各モ ジュールの各機能の設定を表示します。

この画面は、ホーム画面の各モジュールのMODULE LABELエリア をタップして表示します。

CH1-40 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面



12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27

[Stereo Link設定がオフのCH1-40 モジュール表示]



[Stereo Link設定がオンのCH1-40 モジュール表示]

① Metering Pointボタン

- 設定されている Metering Point名を表示します。
- このボタンをタップすると、CH1-40 モジュール 群の Metering Pointを設定するウィンドウを表示します。



選択肢: INPUT、PRE HPF(初期値)、PRE EQ、 POST EQ、PRE FADER、POST FADER 選択肢をタップして、レベルメーターの Metering Pointを切 り換えます。

メモ

METER SETUP画 面のMETERING POINTタブ 画 面を使って、 Metering Pointを切り換えることもできます。(→ 46 ページ 「METERING POINTタブ画面」)

② レベルメーター

設定されている Metering Pointの 信号レベルを表示します。

③ MUTE GROUPボタン

このボタンをタップすると、DCA/Mute Group SETUP画面の Mute Group Assign タブ画面に切り換わります。(→ 227 ペー ジ「Mute Group Assign タブ画面」)

④ DCAボタン

このボタンをタップすると、DCA/Mute Group SETUP画面の DCA Assign タブ画面に切り換わります。(→ 226 ページ「DCA Assign タブ画面」)

⑤ MUTE GROUP 1-8 ボタン

このボタンをタップすると、Mute Groupへのアサイン状態を変 更します。(初期値:オフ)

アサイン状態のボタンがハイライト表示になります。

⑥ DCA 1-8 ボタン

このボタンをタップすると、DCAへのアサイン状態を変更しま す。(初期値:オフ) マサイン状態のギタンボッイニィトまデになります

アサイン状態のボタンがハイライト表示になります。

⑦ Metering Point位置表示

設定されている Metering Pointの位置をハイライト表示します。

⑧ Snapshot Recall Safeボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールのスナップ ショットリコールセーフ状態を変更します。(初期値:オフ) オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

SNAPSHOT RECALL SAFE画面の MODULE SAFE タブ画面でも設 定することができます。(→ 249 ページ「MODULE SAFE タブ 画面」)

⑨ Insert Point表示

- 設定されているインサートポイント名を表示します。
- この部分をタップすると、選択したモジュールのインサート ポイントを設定するウィンドウを表示します。



選択肢:PRE EQ(初期值)、PRE FADER

メモ

MIXER CONFIG画 面 のCH1-40 CONFIGタ ブ 画 面 のINSERT POINT BATCH SETUP (\rightarrow 50 ページ「CH1-40 CONFIGタブ画 面」) で、CH1-40 すべてのインサートポイントの設定を一括で 切り換えすることもできます。

1 INPUTボタン

- 入力ソース名を表示します。
 2行目には、省略されたFIXED PORT LABELを表示します。
 3 行目には、USER PORT LABELを表示します。
 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。
- ステレオモジュールのとき、以下のような略称で左右に分 割して入力ソースのFIXED PORT LABELを表示します。

モジュールの表示	ステレオモジュールの表示
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
SLOT 2	S2
USB IN	USB
ST IN 1	ST1
ST IN 2	ST2
PLAYER	PL



- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 2 行目:DA ポート 番号
 - 3 行目:#[ID] ポート番号
 - 4行目:USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 🔮 マー クを表示します。



 このボタンをタップすると、INPUT SOURCE SELECT画面に 切り換わります。(→ 149 ページ「INPUT SOURCE SELECT 画面」)

① +48Vボタン

- 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、+48Vボタンを表示します。
- +48Vボタンを押し続けると、ファンタム電源のオン/オフ が切り換わります。(初期値:オフ) ファンタム電源がオンのとき、ボタンがハイライト表示にな ります。
- 入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合は、黒いボタンで 表示されて操作できません。

12 PADボタン

- 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、PADボタンを表示します。
- このボタンをタップすると、-20dBのパッドのオン/オフが 切り換わります。(初期値:オフ) このボタンがオンのとき、ボタンがハイライト表示になりま す。
- 入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合は、黒いボタンで 表示されて操作できません。

メモ

パッドのオン/オフの切り換え時、できる限りAnalog GAIN値 が変わらないよう、下記のように制御されます。

Analog Reference Level = +6dBu / Digital Reference Level = -9dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+3 ~ +37 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:-17 ~ +2 時	+3
PAD OFF/Analog GAIN:+38~+57 時	+37

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 20dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+12 ~ +46 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:- 8 ~ +11 時	+12
PAD OFF/Analog GAIN:+47 ~ +66 時	+46

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 18dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+10 ~ +44 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:-10 ~ +9 時	+10
PAD OFF/Analog GAIN:+45 ~ +64 時	+44

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 16dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え 後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+8~+42 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:- 12 ~ +7 時	+8
PAD OFF/Analog GAIN:+43~+62 時	+42

Analog Reference Level = +4dBu /

Digital Reference Level = - 14dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+6 ~ +40 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:- 14 ~ +5 時	+6
PAD OFF/Analog GAIN:+41 ~ +60 時	+40

Analog Reference Level = 0dBu / Digital Reference Level = - 20dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+8~+42 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:-12~+7 時	+8
PAD OFF/Analog GAIN:+43 ~ +62 時	+42

Analog Reference Level = 0dBu時/ Digital Reference Level = - 18dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+6 ~ +40 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:-14 ~ +5 時	+6
PAD OFF/Analog GAIN:+41~+60 時	+40

¹³ Analog GAIN ノブ

選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、本機またはSB-16DのAnalog GAIN ノブが表示され、MIC/LINE入力端子からの入力レベルを調節します。

LCDノブ1(赤色で点灯)を使って調節します。

Analog Reference Level = +6dBu / Digital Reference Level = - 9dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+3(初期値)~+57
ON	- 17 ~+37

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 20dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+12(初期値)~+66
ON	- 8~+46

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 18dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+10(初期値)~+64
ON	- 10 ~+44

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 16dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+8(初期値)~+62
ON	- 12 ~+42

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 14dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+6(初期値)~+60
ON	- 14 ~+40

Analog Reference Level = 0dBu / Digital Reference Level = - 20dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+8(初期値)~+62
ON	- 12 ~+42

Analog Reference Level = 0dBu時/ Digital Reference Level = - 18dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+6(初期値)~+60
ON	- 14 ~+40

 入力レベルに応じてAnalog GAIN ノブの左にあるインジケー ターが以下の色でハイライト表示になります。

赤:- 3dBFS、緑:- 40dBFS

- 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」でStereo Link設定がオンのとき、リンクしたチャンネルのAnalog GAINノブが2つ並んで表示されます。
 LCDノブ1(赤色で点灯)を使って2つを連動操作します。 左右別々に操作したい場合は、MODULE(INPUT)画面でGANG機能を「OFF」にして操作します。
- 入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合、黒いノブで表示 されて操作できません。

メモ

Analog GAINの数値について

Analog Reference Level(+6dBu、+4dBu、0dBu)の信号を入 力したときに、デジタル段でDigital Reference Level(- 9dBFS、 - 14dBFS、 - 16dBFS、 - 18dBFS、 - 20dBFS)になるAnalog GAIN値を「0」と表示します。

1 DIRECT OUTボタン

このボタンをタップすると、DIRECT OUTのオン/オフが切り 換わります。(初期値:ON)

オンのとき、このボタンと DIRECT OUT TRIM ノブがハイライト 表示になり、このポイントの信号を DIRECT OUTに出力します。

メモ

CH1-40 モジュールの DIRECT OUT POINTは、50 ページ「CH1-40 CONFIG タブ 画面」で切り 換えることができます。

15 DIRECT OUT TRIMノブ

DIRECT OUT信号の出力レベルを調節します。

設定範囲:- 20dB~+20dB(初期値:0dB)

LCDノブ 2/4/5/7(青色で点灯)を使って調節します。

メモ

50 ページ「CH1-40 CONFIGタブ画面」のDIRECT OUT POINT やDELAY POINTの設定によって、操作に用いるノブの番号が 変わります。

16 OUTPUT ボタン

● DIRECT OUT信号がアサインされている 出力ポート 名を表示 します。

2 行目には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。 3 行目には、USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。

- 複数の出力ポートがアサインされている場合、ボタン右下 に「…」を表示します。
- ステレオモジュールのとき、以下のような略称で左右に分割して出力ポートのFIXED PORT LABELを表示します。

モジュールの表示	ステレオモジュールの表示
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
SLOT 2	S2
USB OUT	USB



- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 2 行目:DAポート番号
 - 3 行目: #[ID] ポート番号
 - ・ 4 行目: USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 🔮 マー クを表示します。



 このボタンをタップすると、DIRECT OUT PORT SELECT画 面に切り換わります。(→151ページ「DIRECT OUT PORT SELECT画面」)

17 フェーズボタン

選択したモジュールの信号の位相(フェーズ)を変更します。 このボタンをタップすると、選択したモジュールの信号の位相 (フェーズ)を反転します。

 選択したモジュールのStereo Link設定がオフのときの フェーズボタン表示

ф Off	正相(ノーマル)
Ф он	逆相(リバース)

 選択したモジュールがステレオモジュールのときのフェース ボタン表示

L <i>Φ</i> Off	R¢ off	正相(ノーマル)
L¢ on		逆相(リバース)

18 D.TRIMノブ

● デジタルトリム値を調節します。

設定範囲:– 50.0dB~+20.0dB(初期値:0.0dB)

LCDノブ 2/3/4(赤色で点灯)を使って調節します。

 選択したモジュールのStereo Link設定がオンのとき、リンクしたチャンネルのD.TRIMノブが2つ並んで表示されます。 LCDノブ2/3/4(赤色で点灯)を使って2つを連動操作します。 左右別々に操作したい場合は、MODULE(INPUT)画面でGANG機能を「OFF」にして操作します。

メモ

50 ページ「CH1-40 CONFIGタブ画面」のDIRECT OUT POINT やDELAY POINTの設定によって、操作に用いるノブの番号が 変わります。

19 HPFボタン

このボタンをタップすると、HPFのオン/オフが切り換わりま す。(初期値:OFF)

オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

²⁰ HPF周波数

HPFのカットオフ周波数を調節します。

設定範囲: 20Hz~1.0kHz(初期値: 79Hz)

LCD ノブ 3/4/5(青色で点灯)を使って調節します。 オンのとき、ハイライト表示になります。

メモ

50 ページ「CH1-40 CONFIGタブ 画面」のDIRECT OUT POINT やDELAY POINTの設定によって、操作に用いるノブの番号が 変わります。

② SENDボタン

INSERT SEND信号がアサインされている出力ポート名を表示します。

2 行目には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。 3 行目には、USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。

- 複数の出力ポートがアサインされている場合、ボタン右下 に「…」を表示します。
- ステレオモジュールのとき、以下のような略称で左右に分割して出力ポートのFIXED PORT LABELを表示します。

モジュールの表示	ステレオモジュールの表示
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
SLOT 2	S2
USB OUT	USB



- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 2 行目: DA ポート 番号
 - 3 行目: #[ID] ポート 番号
 - 4行目:USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 🕑 マー クを表示します。



 このボタンをタップすると、INSERT SEND PORT SELECT画 面に切り換わります。(→ 153 ページ「INSERT SEND PORT SELECT画面」)

22 INSERTボタン

このボタンをタップすると、INSERTのオン/オフが切り換わり ます。(初期値:OFF)

オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

²³ RETURN ボタン

 INSERT RETURN信号がアサインされている入力ポート名を 表示します。
 2 行目には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。
 3 行目には、USER PORT LABELを表示します。

USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。

ステレオモジュールのとき、以下のような略称で左右に分割して入力ポートのFIXED PORT LABELを表示します。

モジュールの表示	ステレオモジュールの表示
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
SLOT 2	S2
USB IN	USB
ST IN 1	ST1
ST IN 2	ST2
PLAYER	PL
SB-16D	SB



- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 2 行目:DAポート番号
 - 3 行目:#[ID] ポート 番号
 - 4 行目:USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 🔮 マー クを表示します。



 このボタンをタップすると、INSERT RETURN PORT SELECT 画面に切り換わります。(→ 155 ページ「INSERT RETURN PORT SELECT画面」) 選択したモジュールのINSERT RETURN PORTが「ANALOG」 または「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、 RETURNボタン左側にAnalog GAIN値が表示されます。





RETURNボタン左側のAnalog GAIN値をタップすると、 INSERTボタンの左側にINSERT RETURN PORTに対応した Analog GAIN値が表示されます。表示されたAnalog GAIN値 の下のLCDノブ(赤色で点灯)を使って、対応するAnalog GAINを調節します。





Set to LINE LEVELボタンをタップすると、対応する Pre Amp 設定を以下のように設定します。

- PAD: ON
- Analog GAIN: 0
- Phantom : OFF

24 DELAYボタン

このボタンをタップすると、入力信号の遅延を補正するDELAY 機能のオン/オフが切り換わります。(初期値:OFF) オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

25 DELAY TIME

DELAY TIMEを調節します。 ハイライトされた単位を基準にして操作しますので、操作した い単位のボタンをタップします。

単位の選択肢	設定範囲(単位)
meter	$0\sim 117.3~(meter)$
feet	$0\sim 384.8$ (feet)
msec(初期値)	0~341.32 (msec)

LCDノブ 2/3/5/6(緑色で点灯)を使って調節します。

メモ

- CH1-40 モジュールの DELAY POINTは、50 ページ「CH1-40 CONFIG タブ画面」で切り換えることができます。
- 50ページ「CH1-40 CONFIGタブ画面」のDIRECT OUT POINTやDELAY POINTの設定によって、操作に用いるノブ の番号が変わります。

26 MUTEボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュール信号のMUTE のオン/オフが切り換わります。

MUTEがオンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

トップパネルのMUTEキーを使って設定することもできます。

IFADER LEVEL

選択したモジュールの信号のFADERレベルを調節します。 設定範囲:-∞dB~+10.0dB(初期値:-∞dB)

LCDノブ 6/7(青色で点灯)を使って調節します。

メモ

- トップパネルのチャンネルフェーダーを使って調節すること もできます。
- 50 ペ ー ジ「CH1-40 CONFIGタブ 画 面 」のDIRECT OUT POINTの設定によって、操作に用いるノブの番号が変わり ます。
- トップパネルのHOMEキーを押しながらこの部分をタップ すると、FADERレベルを「0dB」に設定します。

② SENDSボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールのMODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。(→203 ページ「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

② Audio Follow Video機能のON / OFFボタン

- このボタンをタップすると、選択したモジュールのAudio Follow Video機能のオン/オフが切り換わります。オンのと き、ボタンがハイライト表示になります。
- AFV TRIGGER SOURCE SELECT画面で選択したAFV TRIGGER SOURCE名を表示します。

30 AFV ボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールのMODULE (Audio Follow Video) 画面に切り換わります。(→ 210 ページ 「MODULE (Audio Follow Video) 画面」)

③ MIX / FX SEND レベル表示

- MIX1-22 バスおよび FX1-4 バスへの SEND レベル、オン/オフ、PRE / POSTを一覧表示します。
- この部分をタップすると、タップしたエリアのバスが選択された状態の選択したモジュールのMODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。

32 PAN / BAL

- MAIN L/Rバスに送り出す信号のパン/バランスを調節します。LCDノブ8(黄色で点灯)を使って調節します。
 設定範囲:L100~C~R100(初期値:C)
- MAIN アイコンがハイライト表示(MAIN)しているとき、 信号がMAIN L/Rバスに送られます。
- この部分をタップすると、選択したモジュールの MODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。(→203ページ 「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

メモ

トップパネルのHOMEキーを押しながらこの部分をタップすると、パン/バランスの設定を中央(C)に設定します。

⑶ AUTO MIXERボタン(CH1-16 モジュールのみ)

- 対応するチャンネルモジュールが属するAUTO MIXERグループ(A/B/C/D)の名前を表示します。
- TOP PRIORITY対象として選択されたグループの場合、ボ タン左下に「TOP」のアイコンが表示されます。ONのとき、 アイコンがハイライトになります。
- AUTO MIXER機能がOFFのときには、グレーアウト表示になります。
- このボタンをタップすると、AUTOMATIC MIXER画面に切り 換わります。(→ 233 ページ「AUTO MIXER機能」)

ST IN1-2 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面



[入力ソースが「ANALOG」のときのST IN1-2 モジュール表示]

① Metering Pointボタン

- 設定されている Metering Point名を表示します。
- このボタンをタップすると、ST IN 1-2 モジュール群の Metering Pointを設定するウィンドウを表示します。



選択肢:INPUT、PRE EQ(初期値)、PRE FADER、 POST FADER

選択肢をタップして、レベルメーターの Metering Pointを切 り換えます。

メモ

METER SETUP画 面のMETERING POINTタブ 画 面を使って、 Metering Pointを切り換えることもできます。(→46ページ 「METERING POINTタブ画面」)

② レベルメーター

設定されている Metering Pointの 信号レベルを表示します。

③ MUTE GROUPボタン

このボタンをタップすると、DCA/Mute Group SETUP画面の Mute Group Assign タブ画面に切り換わります。(→ 227 ペー ジ「Mute Group Assign タブ画面」)

④ DCAボタン

このボタンをタップすると、DCA/Mute Group SETUP画面の DCA Assign タブ画面に切り換わります。(→ 226 ページ「DCA Assign タブ画面」)

5 MUTE GROUP 1-8 ボタン

このボタンをタップすると、Mute Groupへのアサイン状態を変 更します。(初期値:オフ) アサイン状態のボタンがハイライト表示になります。

⑥ DCA 1-8 ボタン

このボタンをタップすると、DCAへのアサイン状態を変更しま す。(初期値:オフ)

アサイン状態のボタンがハイライト表示になります。

⑦ Snapshot Recall Safe ボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールのスナップ ショットリコールセーフ状態を変更します。(初期値:オフ) オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

SNAPSHOT RECALL SAFE画面の MODULE SAFE タブ 画面でも 設 定することができます。(→ 249 ページ「MODULE SAFE タブ 画面」)

⑧ Metering Point位置表示

設定されている Metering Pointの 位置をハイライト表示します。 ⑨ INPUTボタン

 入力ソース名を表示します。その際、以下のような略称で 左右に分割して入力ソースの FIXED PORT LABELを表示しま す。

モジュールの表示	ステレオモジュールの表示
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
SLOT 2	S2
USB IN	USB
ST IN 1	ST1
ST IN 2	ST2
PLAYER	PL



- マウント 済み SB-16Dがアサインされた Dante ポートを選択 した場合は、以下のように表示します。
 - 2 行目:DAポート番号
 - 3行目:SB #[ID] ポート番号
 - 4 行目:USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未 定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされたSB-16Dの場合は、 _♥マー クを表示します。

INPU	TC
DA 3	DA 4
SB#1-1	SB+1-1
💙 3	4 ٧

● このボタンをタップすると、INPUT SOURCE SELECT画面に 切り換わります。(→ 149 ページ「INPUT SOURCE SELECT 画面」)

10 +48Vボタン

- 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内 蔵Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、+48Vボタンを 表示します。
- +48Vボタンを押し続けると、ファンタム電源のオン/オフ が切り換わります。(初期値:オフ) ファンタム電源がオンのとき、ボタンがハイライト表示にな ります。
- 入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合は、黒いボタンで 表示されて操作できません。

① PADボタン

- 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内 蔵Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、PADボタンを 表示します。
- このボタンをタップすると、-20dBのパッドのオン/オフが 切り換わります。(初期値:オフ) このボタンがオンのとき、ボタンがハイライト表示になりま す。
- 入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合は、黒いボタンで 表示されて操作できません。

メモ

パッドのオン/オフの切り換え時、できる限りAnalog GAIN値 が変わらないよう、下記のように制御されます。

Analog Reference Level = +6dBu / Digital Reference Level = - 9dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+3 ~ +37 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:−17~+2 時	+3
PAD OFF/Analog GAIN:+38 ~ +57 時	+37

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 20dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+12 ~ +46 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:- 8 ~ +11 時	+12
PAD OFF/Analog GAIN:+47 ~ +66 時	+46

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 18dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+10 ~ +44 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:– 10 ~ +9 時	+10
PAD OFF/Analog GAIN:+45 ~ +64 時	+44

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 16dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値	
Analog GAIN:+8~+42 時	同じ値	
PAD ON/Analog GAIN:-12 ~ +7 時	+8	
PAD OFF/Analog GAIN:+43 ~ +62 時	+42	

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 14dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+6~+40 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:−14~+5 時	+6
PAD OFF/Analog GAIN:+41~+60 時	+40

Analog Reference Level = 0dBu /

Digital Reference Level = - 20dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値	
Analog GAIN:+8 ~ +42 時	同じ値	
PAD ON/Analog GAIN:-12~+7 時	+8	
PAD OFF/Analog GAIN:+43 ~ +62 時	+42	

Analog Reference Level = 0dBu時/ Digital Reference Level = - 18dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+6~+40 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:-14 ~ +5 時	+6
PAD OFF/Analog GAIN:+41 ~ +60 時	+40

¹² Analog GAIN ノブ

選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、本機またはSB-16Dの各チャンネルのAnalog GAINノブが表示され、MIC/LINE入力端子からの入力レベルを調節します。
 LCDノブ1(赤色で点灯)を使って調節します。

Analog Reference Level = +6dBu /

Digital Referenc	e Level = -	9dBFS時
------------------	-------------	--------

PAD ボタン 設定状態	設定範囲
OFF	+3(初期値)~+57
ON	- 17 ~ +37

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 20dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+12(初期値)~+66
ON	- 8~+46

Analog Reference Level = +4dBu /

Digital Reference Level =	- 18dBFS時
---------------------------	-----------

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+10(初期値)~+64
ON	- 10 ~+44

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 16dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+8(初期値)~+62
ON	- 12 ~+42

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 14dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+6(初期値)~+60
ON	- 14 ~+40

Analog Reference Level = 0dBu / Digital Reference Level = - 20dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+8(初期値)~+62
ON	- 12 ~+42

Analog Reference Level = 0dBu時/ Digital Reference Level = - 18dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+6(初期値)~+60
ON	- 14 ~+40

 入力レベルに応じて Analog GAIN ノブの左にあるインジケー ターが以下の色でハイライト表示になります。

赤:--3dBFS、緑:--40dBFS

- 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、Analog GAINノブが2つ並んで表示されます。 LCDノブ1(赤色で点灯)を使って2つを連動操作します。 左右別々に操作したい場合は、MODULE(INPUT)画面でGANG機能を「OFF」にして操作します。
- 入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合、黒いノブで表示 されて操作できません。

メモ

Analog GAINの数値について

Analog Reference Level(+6dBu、+4dBu、0dBu)の信号を入 力したときに、デジタル段でDigital Reference Level(-9dBFS、 -14dBFS、-16dBFS、-18dBFS、-20dBFS)になるAnalog GAIN値を「0」と表示します。 13 フェーズボタン

選択したモジュールの信号の位相(フェーズ)を変更します。 このボタンをタップすると、選択したモジュールの信号の位相 (フェーズ)を反転します。

LØ RØ OFF OFF	正相(ノーマル)
L <i>φ</i> R <i>φ</i> ON ON	逆相(リバース)

⑭ D.TRIMノブ

● デジタルトリム 値を 調節します。

設定範囲:-50.0dB~+20.0dB(初期値:0.0dB) LCDノブ3(赤色で点灯)を使って調節します。

L/R2 チャンネルのD.TRIM ノブが2つ並んで表示されます。
 LCD ノブ3(赤色で点灯)を使って2つを連動操作します。
 左右別々に操作したい場合は、MODULE(INPUT)画面で
 GANG機能を「OFF」にして操作します。

15 MUTEボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュール信号のMUTE のオン/オフが切り換わります。

MUTEがオンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

トップパネルのMUTEキーを使って設定することもできます。

16 FADER LEVEL

選択したモジュールの信号の FADER レベルを 調節します。

設定範囲:−∞dB~+10.0dB(初期値:−∞dB)

LCDノブ7(青色で点灯)を使って調節します。

メモ

- トップパネルのチャンネルフェーダーを使って調節すること もできます。
- トップパネルのHOMEキーを押しながらこの部分をタップ すると、FADERレベルを「0dB」に設定します。

① SENDSボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールのMODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。(→ 203 ページ「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

18 Audio Follow Video機能のON / OFFボタン

- このボタンをタップすると、選択したモジュールのAudio Follow Video機能のオン/オフが切り換わります。オンのと き、ボタンがハイライト表示になります。
- AFV TRIGGER SOURCE SELECT画面で選択したAFV TRIGGER SOURCE名を表示します。

19 AFV ボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールの MODULE (Audio Follow Video) 画面に切り換わります。(→ 210 ページ 「MODULE (Audio Follow Video) 画面」)

20 MIX / FX SEND レベル表示

- MIX1-22 バスおよび FX1-4 バスへの SEND レベル、オン/オフ、PRE / POSTを一覧表示します。
- この部分をタップすると、タップしたエリアのバスが選択された状態で選択したモジュールのMODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。

21 BAL

- MAIN L/Rバスに送り出す信号のバランスを調節します。 LCDノブ8(黄色で点灯)を使って調節します。
 設定範囲:L100~C~R100(初期値:C)
- MAIN アイコンがハイライト表示(MAIN)しているとき、 信号が MAIN L/R バスに送られます。
- この部分をタップすると、選択したモジュールの MODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。(→203ページ 「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

メモ

トップパネルのHOMEキーを押しながらこの部分をタップする と、バランスの設定を中央(C)に設定します。

FX RTN1-4 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面



① Metering Pointボタン

- 設定されている Metering Point名を表示します。
- このボタンをタップすると、FX RTN 1-4 モジュール 群の Metering Pointを設定するウィンドウを表示します。



選択肢:FX INPUT、FX OUTPUT(初期值)、PRE FADER、 POST FADER

選択肢をタップして、レベルメーターの Metering Pointを切 り換えます。

メモ

METER SETUP画 面 の METERING POINT タブ 画 面 を使 って、 Metering Pointを切り換えることもできます。(→ 46 ページ 「METERING POINT タブ画面」)

② レベルメーター

設定されている Metering Pointの 信号レベルを表示します。

③ MUTE GROUPボタン

このボタンをタップすると、DCA/Mute Group SETUP画面の Mute Group Assign タブ画面に切り換わります。(→ 227 ペー ジ「Mute Group Assign タブ画面」)

④ DCAボタン

このボタンをタップすると、DCA/Mute Group SETUP画面の DCA Assign タブ画面に切り換わります。(→ 226 ページ「DCA Assign タブ画面」)

⑤ SEND OVERVIEWボタン

このボタンをタップすると、選択したFX RTN モジュールに対応 した SEND OVERVIEW画面に切り換わります。(→ 218 ページ 「FX1-4 バスの SEND OVERVIEW画面」)

⑥ MUTE GROUP 1-8 ボタン

このボタンをタップすると、Mute Groupへのアサイン状態を変 更します。(初期値:オフ)

アサイン状態のボタンがハイライト表示になります。

⑦ DCA 1-8 ボタン

このボタンをタップすると、DCAへのアサイン状態を変更しま す。(初期値:オフ) アサイン状態のボタンがハイライト表示になります。

⑧ Snapshot Recall Safeボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールのスナップ ショットリコールセーフ状態を変更します。(初期値:オフ) オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

SNAPSHOT RECALL SAFE画面の MODULE SAFE タブ画面でも設 定することができます。(→ 249 ページ「MODULE SAFE タブ 画面」)

⑨ Metering Point位置表示

設定されている Metering Pointの 位置をハイライト表示します。

10 FX Processingボタン

このボタンをタップすると、MODULE (FX) 画面に切り換わりま す。(→191 ページ「MODULE (FX) 画面」)

① MUTEボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュール信号のMUTE のオン/オフが切り換わります。 MUTEがオンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

トップパネルのMUTEキーを使って設定することもできます。

12 FADER LEVEL

選択したモジュールの信号の FADER レベルを 調節します。 設定範囲:-∞dB~+10.0dB(初期値:0.0dB)

LCDノブ7(青色で点灯)を使って調節します。

メモ

- トップパネルのチャンネルフェーダーを使って調節すること もできます。
- トップパネルのHOMEキーを押しながらこの部分をタップ すると、FADERレベルを「0dB」に設定します。

13 SENDSボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールのMODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。(→203 ページ「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

⑭ Audio Follow Video機能のON / OFFボタン

- このボタンをタップすると、選択したモジュールのAudio Follow Video機能のオン/オフが切り換わります。オンのと き、ボタンがハイライト表示になります。
- AFV TRIGGER SOURCE SELECT画面で選択したAFV TRIGGER SOURCE名を表示します。

15 AFV ボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールの MODULE (Audio Follow Video) 画面に切り換わります。(→ 210 ページ 「MODULE (Audio Follow Video) 画面」)
16 MIX / FX SEND レベル表示

- MIX1-22 バスおよびFX1-4 バスへの SENDレベル、オン/オフ、PRE / POSTを一覧表示します。
- この部分をタップすると、タップしたエリアのバスが選択された状態で選択したモジュールのMODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。
- 17 BAL
 - MAIN L/Rバスに送り出す信号のバランスを調節します。
 LCDノブ8(黄色で点灯)を使って調節します。
 設定範囲:L100~C~R100(初期値:C)
 - **MAIN** アイコンがハイライト表示(MAIN)しているとき、 信号が MAIN L/R バスに送られます。
 - この部分をタップすると、選択したモジュールの MODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。(→203ページ 「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

メモ

トップパネルのHOMEキーを押しながらこの部分をタップする と、バランスの設定を中央(C)に設定します。

18 FX SEND MUTEボタン

このボタンをタップすると、FX SEND MUTEのオン/オフが切 り換わります。(初期値:オフ)



オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。また、オン のときはFX RTN1-4 モジュールのホーム画面でも赤くハイライ ト表示されます。

ST IL ST IR PLL PLR 0.0 0.0 0.0 0.0 6'6'6' 6'6' E2 E2 E2 E2 E2	FX 1 PLATE REVERB Rev time 2.0sec	FX 2 STEREO REVERB Rev time 2.7sec	FX 3 MONO DELAY Delay time 50ms	FX 4 STEREO DELAY Delay time 100ms
19 01 9 01 - 20 - 40		3 0 9 0ff - 20		EQ OFF
MIX 1	MIX 1 -œds	60 MIX 1 -00 dB MIX 2 -00 dB	MIX 1 -00 dB MIX 2 -00 dB	MIX 1 -∞ dB MIX 2 -∞ dB
MIX 3 -00 8 MIX 3 -00 49 MIX 4 -00 68 MIX 4	MIX 3 MIX 4 -∞dB	MIX 3 -∞dB MIX 4 -∞dB	MIX 3 -∞dB MIX 4 -∞dB	MIX 3 -∞dB MIX 4 -∞dB
SEND/PAN SEND/PAN T MAIN T MAIN T MAIN SEND 2 T MAIN SEND 2 T MAI SEND 2 T MAI SEND 2 SEND 2		SEND/PAN C T MAIN FX RTN 2	SEND/PAN C T MAIN FXRTN 3	C T MAIN

MIX1-22 モジュール/ MAIN L/R マスターモジュー ルの MODULE (OVERVIEW) 画面







① Metering Pointボタン

- 設定されている Metering Point名を表示します。
- このボタンをタップすると、Metering Pointを設定するウィンドウを表示します。
 なお、MIX1-22 モジュール群/MAIN L/RマスターモジュールのMetering Point設定は、「AUXモードバス群・MAIN L/R モジュール」と「GROUPモードバス群」で別々の設定となります。



選択肢:INPUT、POST EQ、POST GEQ、PRE FADER、 POST FADER、OUTPUT

AUX モードバス 群・MAIN L/R モジュールの初期値	OUTPUT
GROUPモードバス群の初期値	POST FADER

選択肢をタップして、レベルメーターの Metering Pointを切 り換えます。

メモ

- METER SETUP画面のMETERING POINTタブ画面を使って、 Metering Pointを切り換えることもできます。(→ 46 ページ「METERING POINTタブ画面」)
- Metering Point: OUTPUTの際、該当するバスを出力ポート にアサインしていない(本機から外部に出力していない)状 態ではメーターは表示されません。

② レベルメーター

設定されている Metering Pointの 信号レベルを表示します。

③ MUTE GROUPボタン

このボタンをタップすると、DCA/Mute Group SETUP画面の Mute Group Assign タブ画面に切り換わります。(→ 227 ペー ジ「Mute Group Assign タブ画面」)

④ DCAボタン

このボタンをタップすると、DCA/Mute Group SETUP画面の DCA Assign タブ画面に切り換わります。(→ 226 ページ「DCA Assign タブ画面」)

⑤ SEND OVERVIEWボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールに対応し たSEND OVERVIEW画面に切り換わります。(→215ページ 「MIX1-22 バスのSEND OVERVIEW画面」、→220ページ「MAIN L/RバスのSEND OVERVIEW画面」)

⑥ MUTE GROUP 1-8 ボタン

このボタンをタップすると、Mute Groupへのアサイン状態を変 更します。(初期値:オフ) アサイン状態のボタンがハイライト表示になります。

⑦ DCA 1-8 ボタン

このボタンをタップすると、DCAへのアサイン状態を変更しま す。(初期値:オフ)

アサイン状態のボタンがハイライト表示になります。

⑧ Snapshot Recall Safeボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールのスナップ ショットリコールセーフ状態を変更します。(初期値:オフ) オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

SNAPSHOT RECALL SAFE画面の MODULE SAFE タブ画面でも設 定することができます。(→ 249 ページ「MODULE SAFE タブ 画面」)

⑨ Metering Point位置表示

設定されている Metering Pointの位置をハイライト表示します。

⑩ SENDボタン

● INSERT SEND信号がアサインされている出力ポート名を表示します。

2 行目には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。 3 行目には、USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。

- 複数の出力ポートがアサインされている場合、ボタン右下 に「…」を表示します。
- ステレオモジュールのとき、以下のような略称で左右に分割して出力ポートのFIXED PORT LABELを表示します。

モジュールの表示	ステレオモジュールの表示
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	\$1
SLOT 2	S2
USB OUT	USB



 このボタンをタップすると、INSERT SEND PORT SELECT画 面に切り換わります。(→ 153 ページ「INSERT SEND PORT SELECT画面」)

① INSERTボタン

このボタンをタップすると、INSERTのオン/オフが切り換わり ます。(初期値:OFF)

オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

12 RETURN ボタン

- INSERT RETURN信号がアサインされている入力ポート名を 表示します。
 2 行目には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。
 3 行目には、USER PORT LABELを表示します。
 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。
- ステレオモジュール時、以下のような略称で左右に分割して入力ポートのFIXED PORT LABELを表示します。

モジュールの表示	ステレオモジュールの表示
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
SLOT 2	S2
USB IN	USB
ST IN 1	ST1
ST IN 2	ST2
PLAYER	PL
SB-16D	SB



 このボタンをタップすると、INSERT RETURN PORT SELECT 画面に切り換わります。(→ 155 ページ「INSERT RETURN PORT SELECT画面」) 選択したモジュールのINSERT RETURN PORTが「ANALOG」 または「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、 RETURNボタン右側にAnalog GAIN値が表示されます。





RETURNボタン右側のAnalog GAIN値をタップすると、 INSERTボタンの右側にINSERT RETURN PORTに対応した Analog GAIN値が表示されます。表示されたAnalog GAIN値 の下のLCDノブ(赤色で点灯)を使って、対応するAnalog GAINを調節します。





Set to LINE LEVELボタンをタップすると、対応する Pre Amp 設定を以下のように設定します。

- PAD: ON
- Analog GAIN: 0
- Phantom : OFF

13 DELAY ボタン

このボタンをタップすると、出力信号のタイミング補正など に使うDELAY機能のオン/オフが切り換わります。(初期値: OFF)

オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

(1) DELAY TIME

DELAY TIMEを 調節します。

ハイライトされた単位を基準にして 操作しますので、操作した い単位のボタンをタップします。

単位の選択肢	設定範囲(単位)
meter	$0\sim 117.3~(meter)$
feet	0~384.8 (feet)
msec(初期値)	0~341.32 (msec)
LCDノブ4(緑色で点灯)を使って調節します。	

⑮ Audio Follow Video機能のON / OFFボタン

- このボタンをタップすると、選択したモジュールのAudio Follow Video機能のオン/オフが切り換わります。オンのと き、ボタンがハイライト表示になります。
- AFV TRIGGER SOURCE SELECT画面で選択した AFV TRIGGER SOURCE名を表示します。

¹⁶ MUTEボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュール信号のMUTE のオン/オフが切り換わります。

MUTEがオンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

トップパネルのMUTEキーを使って設定することもできます。

17 FADER LEVEL

選択したモジュールの信号の FADER レベルを調節します。

設定範囲:-∞dB~+10.0dB(初期値:0.0dB)

LCDノブ5(青色で点灯)を使って調節します。

メモ

- トップパネルのチャンネルフェーダーを使って調節すること もできます。
- トップパネルのHOMEキーを押しながらこの部分をタップ すると、FADERレベルを「0dB」に設定します。

18 AFV ボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールのMODULE (Audio Follow Video) 画面に切り換わります。(→ 210 ページ 「MODULE (Audio Follow Video) 画面」)

19 フェーズボタン

選択したモジュールの信号の位相(フェーズ)を変更します。 このボタンをタップすると、選択したモジュールの信号の位相 (フェーズ)を反転します。

 選択したモジュールのStereo Link設定がオフのときの フェーズボタン表示

ф Off	正相(ノーマル)
\$ ON	逆相(リバース)

 選択したモジュールがステレオモジュールのときのフェース ボタン表示

L <i>Ф</i> OFF	R¢ off	正相(ノーマル)
L¢ on	RØ on	逆相(リバース)

20 OUTPUT ボタン

- 選択したモジュールの出力信号がアサインされている出力 ポート名を表示します。
 2 行目には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。
 3 行目には、USER PORT LABELを表示します。
 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。
- 複数の出力ポートがアサインされている場合、ボタン右下 に「…」を表示します。
- ステレオモジュールのとき、以下のような略称で左右に分 割して出力ポートのFIXED PORT LABELを表示します。

モジュールの表示	ステレオモジュールの表示
ANALOG	AN
Dante	DA
SLOT 1	S1
SLOT 2	S2
USB OUT	USB



- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 2 行目:DAポート番号
 - 3 行目:#[ID] ポート番号
 - 4行目:USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



また、バーチャルマウントされた SB-16Dの 場合は、 🕑 マー クを表示します。



 このボタンをタップすると、OUTPUT PORT SELECT画面に 切り換わります。(→157ページ「OUTPUT PORT SELECT 画面」)

② SENDSボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールのMODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。(→203 ページ「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

22 MIX / FX SEND レベル表示

- MIX1-22 バスおよび FX1-4 バスへの SEND レベル、オン/オ フを一覧表示します。
- この部分をタップすると、タップしたエリアのバスが選択された状態で選択したモジュールのMODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。

② PAN / BAL (MIX1-22 モジュールのみ)

- MAIN L/Rバスに送り出す信号のパン/バランスを調節します。LCDノブ8(黄色で点灯)を使って調節します。
 設定範囲:L100~C~R100(初期値:C)
- MAIN アイコンがハイライト表示(MAIN)しているとき、 信号がMAIN L/Rバスに送られます。
- この部分をタップすると、選択したモジュールの MODULE (SEND/PAN) 画面に切り換わります。(→203ページ 「MODULE (SEND/PAN) 画面」)

メモ

トップパネルのHOMEキーを押しながらこの部分をタップする と、パン/バランスの設定を中央(C)に設定します。

MODULE (INPUT) 画面

CH1-40 モジュールおよび ST IN1-2 モジュールの MODULE (INPUT) 画面では、モジュールの入力の設定を行います。 この画面は、選択枠が表示されたホーム画面の INPUT エリアをタッ

この回面は、選択性が表示されたホーム回面のINPOTエリアをヌッ プして表示します。



[ST IN1-2 モジュール・入力ソース「ANALOG」時]

① INPUT レベルメーター表示

選択したモジュールへの入力信号レベルを表示します。

- ② LOCK / UNLOCK切り換えボタン
 - 本機のルーティング設定変更操作のロック/アンロックを切り換えるボタンです。起動時は、必ずロック状態になっています。
 - ●「LOCK」時は、OSCボタン(④)をタップしても設定を変更しません。また、BATCH SETUPボタンの操作もできません。ただし、INPUT SOURCEボタンをタップしてINPUT SOURCE SELECT画面に切り換えることは可能です。
 - 「LOCK」時にこのボタンをタップすると、確認メッセージが 表示されます。確認メッセージでUNLOCKボタンをタップす ると、メッセージを閉じて「UNLOCK」に切り換わります。 確認メッセージでCANCELボタンをタップすると、メッセー ジを閉じてLOCK状態を維持します。



●「UNLOCK」時にこのボタンをタップすると、「LOCK」に切 り換わります。

メモ

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(②)の設定は、下記ルーティング設定画面で共通の設定です。

- MODULE (INPUT) 画面
- MODULE (OUTPUT) 画面
- INPUT SOURCE SELECT画面
- OUTPUT PORT SELECT画面
- DIRECT OUT PORT SELECT画面
- INSERT SEND PORT SELECT画面
- INSERT RETURN PORT SELECT画面
- TALKBACK INPUT SELECT画面
- TALKBACK EXT1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- TALKBACK EXT2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- Return TALKBACK EXT DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 OUTPUT PORT SELECT画面
- Solo DIRECT OUT PORT SELECT画面
- ルーティング画面

③ INPUT SOURCEボタン

● このボタンには、現在選択されている入力ソースが表示されます。

1 行目には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。 2 行目には、USER PORT LABELを表示します。 USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABEL を表示します。

- このボタンをタップすると、INPUT SOURCE SELECT画面に 切り換わります。(→ 149 ページ「INPUT SOURCE SELECT 画面」)
- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートのボタンは、以下のように表示します。
 - 1 行目: DA ポート 番号
 - 2 行目:SB #[ID] ポート番号
 - 3 行目: USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



 バーチャルマウントされたSB-16DのDanteポートの場合は、 アサインしたボタンが黄色でハイライト表示になります。



④ LABEL設定エリア



④ LABEL設定エリアの アイコン

このアイコンをタップすると、LABEL SETUP画面の DISPLAY MODE タブ画面に切り換わります。(→134 ペー ジ「MODULE LABEL タブ画面」)

⑧ MODULE LABELの表示モード設定ボタン

- MODULE LABEL Mainの表示モードを切り換えるボタンです。現在設定されている表示モードがハイライト表示になります。
- このボタンをタップすると、MODULE LABEL Mainの 表示モードをUSER → FIXED → PORT LABELと順番に 切り換えます。
- MODULE LABEL Mainの表示モード設定の詳細は、132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」をご参照ください。

① PORT LABELの表示モード設定ボタン

- PORT LABEL(入出力端子名)の表示モードを切り換えるボタンです。現在設定されている表示モードがハイライト表示になります。
- このボタンをタップすると、PORT LABELの表示モードを「USER」と「FIXED」で交互に切り換えます。
- PORT LABELの表示モード設定の詳細は、132ページ 「DISPLAY MODE タブ画面」をご参照ください。

⑤ OSC設定エリア



④ OSC設定エリアの アイコン

このアイコンをタップすると、TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面の SOLO / OSCILLATOR タブ画面 に切り換わります。(→96 ページ「SOLOと内蔵オシレー ターの設定」)

⑧ OSC ボタン

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(②)が「UNLOCK」 のときにこのボタンをタップすると、内蔵オシレーター 入力のオン/オフを切り換えます。

オンのとき、選択したモジュールの入力ソース設定を維持したまま、内蔵オシレーターからの信号を選択したモジュールに入力します。(初期値:OFF)

また、オンのときはボタンがハイライト表示になり、 INPUT SOURCEボタン(③)がグレーアウト表示になり ます。

⑥ POST D.TRIM レベルメーター表示

D.TRIMの後ろの信号レベルを表示します。

⑦ Analog GAIN ノブ/インジケーター

選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、Analog GAINノブが表示され、本機またはSB-16DのMIC/LINE入力端子からの入力レベルを調節します。

LCDノブ1(赤色で点灯)を使って調節します。

Analog Reference Level = +6dBu / Digital Reference Level = - 9dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+3(初期値)~+57
ON	- 17 ~+37

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 20dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲	
OFF	+12(初期値)~+66	
ON	- 8~+46	

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 18dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+10(初期値)~+64
ON	- 10 ~+44

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 16dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+8(初期値)~+62
ON	- 12 ~+42

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 14dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+6(初期値)~+60
ON	$-14 \sim +40$

Analog Reference Level = 0dBu / Digital Reference Level = - 20dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲	
OFF	+8(初期値)~+62	
ON	$-12 \sim +42$	

Analog Reference Level = 0dBu時/ Digital Reference Level = - 18dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+6(初期値)~+60
ON	- 14 ~+40

- 入力レベルに応じて Analog GAIN ノブの左にあるインジケー ターが以下の色でハイライト表示になります。
 赤:-3dBFS、緑:-40dBFS
- 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」のステレオ モジュールのとき、2つのAnalog GAINノブが表示されます。 LCDノブ1-2(赤色で点灯)を使って調節します。
- 入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合は、黒いノブで表示されて操作できません。

メモ

Analog GAINの数値について

Analog Reference Level (+6dBu、+4dBu、0dBu)の信号を入 力したときに、デジタル段でDigital Reference Level (-9dBFS、 -14dBFS、-16dBFS、-18dBFS、-20dBFS) になるAnalog GAIN値を「0」と表示します。

⑧ PADボタン

- 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内蔵Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、PADボタンを表示します。
- このボタンをタップすると、-20dBのパッドのオン/オフが 切り換わります。(初期値:オフ) このボタンがオンのとき、ボタンがハイライト表示になりま す。
- 入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合は、黒いボタンで 表示されて操作できません。

メモ

パッドのオン/オフの切り換え時、できる限り Analog GAIN値 が変わらないよう、下記のように制御されます。

Analog Reference Level = +6dBu / Digital Reference Level = - 9dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+3 ~ +37 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:- 17 ~ +2 時	+3
PAD OFF/Analog GAIN:+38 ~ +57 時	+37

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 20dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+12 ~ +46 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:-8~+11 時	+12
PAD OFF/Analog GAIN:+47~+66 時	+46

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 18dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+10 ~ +44 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:-10 ~ +9 時	+10
PAD OFF/Analog GAIN:+45 ~ +64 時	+44

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 16dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+8~+42 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:- 12 ~ +7 時	+8
PAD OFF/Analog GAIN:+43 ~ +62 時	+42

Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 14dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+6 ~ +40 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:-14 ~ +5 時	+6
PAD OFF/Analog GAIN:+41 ~ +60 時	+40

Analog Reference Level = 0dBu / Digital Reference Level = - 20dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+8~+42 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:– 12 ~ +7 時	+8
PAD OFF/Analog GAIN:+43~+62 時	+42

Analog Reference Level = 0dBu時/

Digital Reference Level = - 18dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り 換え後の Analog GAIN値
Analog GAIN:+6 ~ +40 時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN:-14 ~ +5 時	+6
PAD OFF/Analog GAIN:+41~+60 時	+40

⑨ GANGボタン

- 選択したモジュールがステレオモジュールのとき、GANGボ タンを表示します。
- このボタンをタップすると、GANG機能のオン/オフを切り 換えます。GANG機能がオンのとき、ボタンがハイライト表 示になり、2つのAnalog GAINノブ、または2つのD.TRIMノ ブを連動して同時に操作することが可能になります。(初期 値:OFF)

10 D.TRIMノブ

- デジタルトリム値を調節します。
 設定範囲:-50.0dB~+20.0dB(初期値:0.0dB)
 LCDノブ7(赤色で点灯)を使って調節します。
- この部分をタップすると、任意のチャンネル間のデジタルト リム値を一括で設定する BATCH SETUP ウィンドウを表示し ます。(→190ページ「デジタルトリム値を一括で設定する」)

① +48Vボタン

- 選択したモジュールの入力ソースが「ANALOG」または「内 蔵 Dante経由で接続されたSB-16D」のとき、ファンタム電 源の設定状態を表示します。
- +48Vボタンを押し続けると、ファンタム電源のオン/オフ が切り換わります。(初期値:オフ) ファンタム電源がオンのとき、ボタンがハイライト表示にな ります。
- 入力ソースが制御権のないSB-16Dの場合は、黒いボタンで 表示されて操作できません。

12 BATCH SETUPボタン

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(②)が「UNLOCK」のとき にこのボタンをタップすると、任意のチャンネル間の入力ソー スを一括で設定する BATCH SETUPウィンドウを表示します。 (→142ページ「複数のチャンネル間の入力ソースを一括で設 定する」)

指定した複数チャンネルの設定を一括で変更します。

メモ

- LOCK / UNLOCK切り換えボタン(②)が「LOCK」に設定 されているときは操作はできません。
- 一括設定ウィンドウが表示されている状態で、他のタッチス クリーンでルーティング操作を「LOCK」に設定された場合は、
 一括設定ウィンドウが自動的に閉じます。

13 フェーズボタン

選択したモジュールの信号の位相(フェーズ)を変更します。 このボタンをタップすると、選択したモジュールの信号の位相 (フェーズ)を反転します。

選択した CH1-40 モジュールの Stereo Link設定がオフのときのフェーズボタン表示

ф off	正相(ノーマル)
\$ ON	逆相(リバース)

● ステレオモジュールのときのフェーズボタン表示

L¢ R¢ off Off	正相(ノーマル)
	逆相(リバース)

⑭ Stereo Link ボタン(CH1-40 モジュールのみ)

入力チャンネルの Stereo Link設定の状態を表示します。

OFF Stereo Link	Stereo Link設定:オフ
CH1-2 Stereo Link	Stereo Link設定:オン

 このボタンをタップすると、Stereo Link設定のウィンドウを 表示します。



CH1/CH40 以外、左右どちらのモジュールともリンクするこ とができます。

15 LOCATION ボタン

- MIXER CONFIG画面のLOCATION CONFIGタブ画面で設定し た選択モジュールのLOCATION設定を表示します。
- このボタンをタップすると、MIXER CONFIG画面の LOCATION CONFIGタブ画面に切り換わります。(→51ページ「LOCATION CONFIGタブ画面」)
- 16 HPF / EQ周波数特性グラフ表示(CH1-40 モジュールのみ)
 - HPFとEQの周波数特性グラフ表示です。
 - HPFとEQがオンのとき、ハイライト表示になります。
 - HPFと EQがオフのとき、グレーアウト表示になります。
 - HPFまたはEQのいずれか片方だけがオンのとき、オンの機能の周波数特性だけがハイライト表示になります。

1 HPFボタン(CH1-40 モジュールのみ)

このボタンをタップすると、HPFのオン/オフが切り換わりま す。(初期値:OFF)

オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

- 18 HPF周波数(CH1-40 モジュールのみ)
 - HPFのカットオフ周波数を調節します。

設定範囲:20Hz~1.0kHz(初期値:79Hz)

LCDノブ8(水色で点灯)を使って調節します。

オンのとき、ハイライト表示になります。

19 INPUT A / INPUT Bボタン

このボタンをタップすると、INPUT SOURCEのINPUT A / INPUT Bを切り換えます。

② ROUTINGボタン

このボタンをタップすると、ルーティング画面のINPUT MODULEタブ画面に切り換わります。(→ 162 ページ「INPUT MODULEタブ画面」)

デジタルトリム値を一括で設定する

1. D.TRIMノブ表示をタップして、デジタルトリム値を一括で設 定する BATCH SETUPウィンドウを表示します。



- 選択肢を上下にスワイプして、デジタルトリム値を一括で設定するモジュールを選択します。
 各選択肢と同じ色で点灯したLCDノブ4~6を回して選択肢を変更することもできます。
- **3.** 赤く点灯しているLCDノブ3を使って、トリムレベル値を調 節します。
- APPLYボタンをタップすると、設定確認のウィンドウを表示します。



5. OKボタンをタップして、デジタルトリム値を一括設定します。 BATCH SETUP ウィンドウを閉じます。

MODULE (FX) 画面

FX RTN1-4 モジュールの MODULE (FX) 画面では、エフェクターの 設定を行います。

この画面は、選択枠が表示されたホーム画面のFXエリアをタップして表示します。



① FX TYPE ボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールのエフェクト タイプの選択ウィンドウを表示します。

S MODUL	E (FX)	FX1 D SEND OVERVIEW SCREEN	🗸 FX RTN 1	FX R1	[N 1	> ≡
OVERVIEW	REVERB					
FX TYPE	REV	ERB STER	EO PLATE RB REVERB	GATE REVERB		RY RY
0 3	DELAY				_	- 0 - 3
9	MO	INO STERI LAY DELA	EO PING-PON NY DELAY	G DELAY LCR		- 9
20	OTHERS					- 20
	сно	RUS FLANG	SER PHASER	PITCH SHIFTER		- 40
	WARM	40 msec 2.0	sec 3.36 kHz	ľ		

ボタンをタップしてエフェクトタイプを選択します。 選択すると選択ウィンドウを閉じます。

② LIBRARYボタン

このボタンをタップすると、エフェクターのLIBRARY画面に切 り換わります。(→ 254 ページ「各種LIBRARY画面」)

③ エフェクトタイプの情報表示

選択しているエフェクトタイプの下記の情報を表示します。

- FX TYPE名
- FX LIBRARY名 (FX LIBRARY RECALL / STOREした場合)
- FX入出力アルゴリズムを示すブロック図
- ④ メインパラメーターの設定状態表示

選択したエフェクターのメインパラメーターの設定状態を表示 します。

⑤ INPUT レベルメーター

エフェクターへの入力信号レベルを表示します。

⑥ OUTPUT レベルメーター

エフェクターからの出力信号レベルを表示します。

⑦ INPUT LEVEL ノブ

エフェクターへの入力レベルを調節します。 設定範囲:−∞ dB~+10dB(初期値:0.0dB)

選択枠を表示中に、対応するLCDノブ1を使って調節します。

⑧ エフェクトパラメーター

エフェクターの各パラメーターを表示/操作します。 選択枠を表示中の対応LCDノブやボタンのタップで設定を変更 します。

- ⑨ タップテンポ入力ボタン/テンポインジケーター(FX TYPEの DELAY系のみ)
 - このボタンをタップすることで、タップの時間間隔をDELAY TIMEとして設定します。
 - タップテンポ入力ボタンの中央部は、テンポインジケーター としてDELAY TIMEの間隔で点滅表示します。DELAY TIMEの 設定が「200msec未満」のときは、ハイライト表示のままです。

メモ

タップテンポ入力は、User Defined Control機能によりUSER KEYSやFOOTSWITCH、GPIO-INで操作できます。(→54ペー ジ「USER DEFINED CONTROLS画面」)

タップテンポ入力は、Foot Switch タブ 画面の工場出荷時の設 定であらかじめ以下のようにアサインされています。

• Foot Switch (Tap Tempo | FX3 | Delay1)

1 MIX LEVELノブ

ドライ 音とウェット 音の MIX レベルを 調節します。

設定範囲:0%~100%(初期値:100%、0%:ドライ音の み/100%:ウェット音のみ)

選択枠を表示中に、対応するLCDノブ7を使って調節します。

① OUTPUT LEVEL ノブ

エフェクターからの出力レベルを調節します。

設定範囲:-∞dB~+10dB(初期値:0.0dB)

選択枠を表示中に、対応するLCDノブ8を使って調節します。

12 FX SEND MUTEボタン

Tap this button to turn FX SEND MUTE on/off. (Default: off) When this is on, the button will appear highlighted.

エフェクトパラメーター

REVERB



パラメーター名	設定範囲	初期値
ТҮРЕ	HALL、ROOM、STUDIO、 LIVE	HALL
PRE DELAY	0msec~ 200msec	90msec
REVERB TIME	0.1sec~10sec	2.7sec
SPREAD	0%~100%	50%

STEREO REVERB



パラメーター名	設定範囲	初期値
TYPE	HALL、ROOM	HALL
PRE DELAY	0msec~ 200msec	90msec
REVERB TIME	0.1sec~ 20.0sec	2.7sec
SPREAD	0%~100%	50%
LO GAIN	- 12dB~+12dB	0dB
LO FREQ	125Hz~ 2.00kHz	445Hz
HIGH GAIN	- 12dB~+12dB	0dB
HIGH FREQ	1.00kHz~ 16.00kHz	3.36 kHz

PLATE REVERB



パラメーター名	設定範囲	初期値
ТҮРЕ	WARM、HARD、BRIGHT、 DARK	WARM
PRE DELAY	0msec∼ 200msec	40msec
REVERB TIME	0.1sec~10sec	2.0sec
HI DAMP	500Hz~ 16.0kHz	3.36kHz

GATE REVERB



パラメーター名	設定範囲	初期値
TYPE	Fast、Slow	Fast
GATE LEVEL	-48dB∼0dB	– 16dB
GATE TIME	10msec~ 3000msec	100msec

MONO DELAY



パラメーター名	設定範囲	初期値
DELAY TIME	1msec~ 3000msec	50msec
FEEDBACK	$0 \sim 100$	0
HI DAMP	500Hz∼ 16.0kHz	3.36kHz

STEREO DELAY

S MOD	ULE (FX)	FX1 D SEND OVERVIEW	EEN 〈 FX RTN 1	FX RTN 1	> ≡
OVERVIEW	FX SEND MUTE	FX	EQ		PAN
FX TYPE		S	TEREO DELAY		
INPUT	F	X1 SEND L X1 SEND R		FX RTN 1L FX RTN 1R	OUTPUT
20 40		DELAY TIM	e FEEDBACK 20		20 40
60					60
INPUT LEVEL		FEEDBACK	HI DAMP	MIX LEVEL	OUTPUT LEVEL

パラメーター名	設定範囲	初期値
DELAY TIME	1 msec \sim 1500msec	100msec
FEEDBACK	$0 \sim 100$	20
HI DAMP	500Hz∼ 16.0kHz	3.36kHz

PING-PONG DELAY



パラメーター名	設定範囲	初期値
DELAY TIME	1 msec \sim 1500msec	500msec
FEEDBACK	$0 \sim 100$	20
HI DAMP	500Hz∼ 16.0kHz	3.36kHz

DELAY LCR



パラメーター名	設定範囲	初期値
HI DAMP	500Hz∼ 16.0kHz	3.36kHz
DELAY TIME L	1msec~ 3000msec	245msec
DELAY TIME C	1msec~ 3000msec	250msec
DELAY TIME R	1msec~ 3000msec	255msec
FEEDBACK	$0 \sim 100$	0
WET LEVEL L	0~100	50
WET LEVEL C	0~100	0
WET LEVEL R	0~100	50

CHORUS

🔊 морі	ULE (FX)	FX1 SEND OVERVIEW		FX RTN 1	FX R	TN 1		
OVERVIEW	FX SEND MUTE	FX		EQ			PAN 🥏	4~
FX TYPE			СНС	DRUS			LIBRA	ARY
INPUT	E	(1 SEND L · (1 SEND R ·			FX RTN 1 FX RTN 1	L R	OUTP	υτ - 0 - 3
9 20		RATE	0.25 Hz	DEPTH 0 %				
40 60								
						MIX LEVEL	OUTPUT	LEVE di 0.00
			DELAY TIME	HI PASS		SPREAD		

パラメーター名	設定範囲	初期値
RATE	$0.05 \mathrm{Hz}{\sim}10.00 \mathrm{Hz}$	0.25Hz
DEPTH	0%~100%	0%
DELAY TIME	0msec∼ 100msec	40msec
HI PASS	22Hz~ 2.00kHz	125Hz
HI DAMP	500Hz∼ 16.0kHz	3.36kHz
SPREAD	0%~100%	100%

FLANGER



パラメーター名	設定範囲	初期値
RATE	0.05Hz~10.00Hz	0.20Hz
DEPTH	0%~100%	10%
DELAY TIME	0msec∼ 100msec	40msec
PHASE	0deg∼ 180deg	180deg

PHASER



パラメーター名	設定範囲	初期値
RATE	0.05Hz∼ 10.0Hz	0.40Hz
STAGE	$4 \sim 16$	8
RESONANCE	$0 \sim 10$	2
PHASE	0deg∼ 180deg	180deg

PITCH SHIFTER



パラメーター名	設定範囲	初期値
PITCH 1	-24~+24	0
FINE 1	– 50Cent~+50Cent	– 10Cent
PITCH 2	- 24 ~+24	0
FINE 2	– 50Cent~+50Cent	+10Cent

MODULE (GATE / EXPANDER / DE-ESSER) 画面

CH1-40 モ ジ ュ ー ル の MODULE (GATE) 画 面 / MODULE (EXPANDER) 画面/ MODULE (DE-ESSER) 画面では、GATE / EXPANDER / DE-ESSERの設定を行います。

この画面は、ホーム画面の各モジュールのGATE / EXPANDER / DE-ESSERエリアをタップして表示します。



① KEY IN レベルメーター

GATE / EXPANDER / DE-ESSERへの KEY IN SOURCEの入力レベルを表示します。

メモ

- ステレオモジュールに対する KEY IN SOURCEがステレオモ ジュールのとき、レベルメーターはステレオ表示になります。
- モノラルモジュールに対するKEY IN SOURCEがステレオモジュールのときは、レベルメーターはモノラル表示になり、L+Rモノのレベルをトリガーとして使用します。

② INPUT レベルメーター

GATE / EXPANDER / DE-ESSERへの入力信号レベルを表示します。

③ ダイナミクス入出力特性グラフ表示

GATE / EXPANDERの入出力特性グラフ、またはDE-ESSER EQ の周波数特性グラフを表示します。

④ ゲインリダクションメーター

GATE / EXPANDER / DE-ESSERによるゲインリダクション量 をメーター表示します。

⑤ OUTPUT レベルメーター

GATE / EXPANDER / DE-ESSERからの出力信号レベルを表示 します。

- ⑥ GATE / EXPANDER / DE-ESSERのON / OFFボタン
 - このボタンをタップすると、ダイナミクスエフェクトのオン /オフが切り換わります。(初期値:OFF)
 - オンのとき、このボタン/ダイナミクス入出力特性グラフ表 示/ダイナミクスパラメーターがハイライト表示になります。
 - オフのとき、ダイナミクス入出力特性グラフ表示(②)の グラフエリア左上に大きく「OFF」と表示されます。
- ⑦ LIBRARYボタン

このボタンをタップすると、GATE / EXPANDER / DE-ESSER のLIBRARY画 面 に切り換わります。(→ 254 ページ「各種 LIBRARY画面」)

⑧ KEY IN SOURCEボタン

- 選択中の KEY IN ソース名を表示します。(初期値:SELF)
- このボタンをタップすると、KEY IN SOURCE SELECT画面に 切り換わります。(→ 202 ページ「KEY IN SOURCE SELECT 画面」)

⑨ KEY IN FILTERボタン

このボタンをタップすると、KEY IN FILTERのオン/オフが切り 換わります。(初期値:OFF)

10 KEY IN FILTER TYPE ボタン

- KEY IN FILTERの TYPEを表示します。
- このボタンをタップすると、TYPE選択メニューを表示します。



選択肢:HPF、BPF(初期値)、LPF

11 Q

KEY IN FILTER TYPEがバンドパスのときのQ値を調節します。 設定範囲:0.1 ~ 17.31(初期値:1.04)

選択枠を表示中にLCDノブ8(水色で点灯)を使って調節します。

12 FREQ

KEY IN FILTERの 周波数を 調節します。

設定範囲:20Hz~20kHz(初期値:20Hz)

選択枠を表示中にLCDノブ7(水色で点灯)を使って調節します。

13 ダイナミクスパラメーター

GATE / EXPANDER / DE-ESSERの各パラメーターを表示/操 作します。

各パラメーターに対応するLCDノブを使って調節します。

⑭ DYNAMICS TYPEボタン

- 選択中のダイナミクスタイプ名を表示します。
- このボタンをタップすると、TYPE選択メニューを表示します。



選択肢:GATE(初期値)、EXPANDER、DE-ESSER

ダイナミクスパラメーター

メモ

LCD ノブを使って調節します。また、グラフ上の緑や青の ◆ アイ コンや ● アイコンをドラッグすることでも 調節することができま す。

GATE



パラメーター名	設定範囲	初期値
THRESHOLD	– 80dB~ 0dB	– 25dB
RANGE	– 60dB~ 0dB	– 50dB
ATTACK	0ms∼ 125ms	0ms
HOLD	0ms~ 990ms	20ms
DECAY	5ms~ 5.00s	300ms

EXPANDER



パラメーター名	設定範囲	初期値
THRESHOLD	- 60dB∼ 0dB	– 40dB
RATIO	1:1、2:1、4:1、8:1、16:1、 32:1、64:1	4:1
KNEE	HARD、MID、SOFT	MID
ATTACK	0ms∼ 125ms	10ms
RELEASE	5ms~ 5.00s	250ms

DE-ESSER



パラメーター名	設定範囲	初期値
THRESHOLD	- 40dB∼ 0dB	– 15dB
KNEE	HARD、MID、SOFT	MID
CENTER FREQ	1.0kHz~ 10kHz	4.0kHz
Q	1.04 ~ 17.31	17.31

メモ

このDE-ESSERのEQグラフのピーク位置は、最大Gain Reduction 量を示しています。また、このDE-ESSERはRatio 2:1 で動作して います。

そのため、EQグラフのピーク位置の範囲は、Threshold「-40dB \sim 0dB」の半分の「-20dB \sim 0dB」となります。

MODULE (EQ) 画面

すべてのモジュールの MODULE (EQ) 画面では、HPF(CH 1-40 の み)とEQの設定を行います。

この画面は、ホーム画面の各モジュールのEQエリアをタップして 表示します。

各パラメーターやEQグラフ上のポイントは、それぞれ以下のよう に色分けされています。

LOバンド:赤色/LMバンド:黄色/HMバンド:緑色/HIバ ンド:水色

EQ パラメーターの並び順は、PREFERENCES画面のEQ parameters order(②)で設定した表示モードによって変わります。 以降は、Type A(初期値)選択時での説明となっています。(→ 39 ページ「PREFERENCES画面」)





(10)(11)

12 13

[FX RTN1-4 モジュール]

(14)

(15)(16)





① LIBRARYボタン

このボタンをタップすると、EQの LIBRARY画面に切り換わりま す。(→ 254 ページ「各種 LIBRARY画面」)

② EQのON / OFFボタン

このボタンをタップすると、EQのオン/オフが切り換わります。 (初期値:OFF)

オンのとき、このボタン、HPF / EQ周波数特性グラフ表示の EQ部分およびEQパラメーターがハイライト表示になります。

メモ

HPFは、CH1-40 モジュールにのみ表示します。

HPF / EQ周波数特性グラフ表示

- HPFとEQの周波数特性グラフ表示です。総合的な周波数特 性を表示します。また、RTAのバーメーターも表示します。
- HPFとEQがオンのとき、ハイライト表示になります。
- HPFと EQがオフのとき、グレーアウト表示になります。
- HPFまたはEQのいずれか片方だけがオンのとき、オンの機能の周波数特性だけがハイライト表示になります。
- 周波数特性グラフ表示内の / / / / え示をド ラッグすることで、選択されたバンドの GAINや FREQを 調節 することができます。また、選択されたバンドの ○ マーク から左または右に伸びたバーの先端を左右にドラッグする ことで、選択されたバンドの Qを 調節することができます。
- EQがオフのとき、グラフエリア右下に大きく「OFF」と表示されます。

メモ

HPFは、CH1-40 モジュールにのみ表示します。

④ FLAT ボタン

このボタンをタップすると、すべてのバンドのゲイン設定を「0dB」にリセットするか確認するメッセージを表示します。



FLATボタンをタップすると、EQのゲイン設定を「0dB」に 設定します。また、HIバンドのTYPEが「LPF」だった場合は、 TYPEを「PEAK」に切り換えます。

⑤ PRE EQ レベルメーター

EQへの入力信号レベルを表示します。

⑥ EQの各バンドのON / OFFボタン

このボタンをタップすると、EQの各バンドのオン/オフが切り 換わります。(初期値:ON)

オンのとき、対応バンドの設定がグラフ表示部の総合的な周波 数特性に反映されます。

オフのとき、対応するパラメーターがグレーアウト表示になり ます。また、対応バンドの設定がグラフ表示部の総合的な周波 数特性に反映されず、バンド単独での周波数特性がグレーの線 で表示されます。

⑦ HPFボタン(CH1-40 モジュールのみ)

このボタンをタップすると、HPFのオン/オフが切り換わりま す。(初期値:OFF) オンのとき、このボタンとHPF / EQ周波数特性グラフ表示の

オンのとき、この示ダンとHPF / EQ周波数特性クラフ表示の HPF部分がハイライト表示になります。

⑧ HPF周波数(CH1-40 モジュールのみ)

HPFのカットオフ 周波数を 調節します。 設定範囲:20Hz~ 1.0kHz(初期値:79Hz) 選択枠を表示中に LCD ノブ 2 (青色で 点灯) を 使って 調節します。

⑨ POST EQレベルメーター
 EQからの出力信号レベルを表示します。

⑩ EQパラメーター (LOバンド)

EQのLOバンドの各パラメーターを表示/操作します。 選択枠を表示中に、対応するLCDノブを使って調節します。

パラメーター名	設定範囲	初期値
G	- 18.0dB~+18.0dB	0dB
F	20Hz~ 20.0kHz	149Hz
Q	0.10 ~ 17.31	1.04

メモ

トップパネルのHOMEキーを押しながらEQのゲイン部をタッ プすると、EQのゲイン設定を「0dB」に設定します。

① TYPEボタン(LO バンド)

- LO バンドの EQ TYPEを表示します。
- このボタンをタップすると、TYPE選択メニューを表示します。
 選択肢:Bell(初期値)、L.Shelf

12 EQパラメーター(LMバンド)

EQのLMバンドの各パラメーターを表示/操作します。 選択枠を表示中に、対応するLCDノブを使って調節します。

パラメーター名	設定範囲	初期値
G	- 18.0dB~+18.0dB	0dB
F	20Hz~ 20.0kHz	297Hz
Q	0.10 ~ 17.31	1.04

メモ

トップパネルのHOMEキーを押しながらEQのゲイン部をタッ プすると、EQのゲイン設定を「0dB」に設定します。

13 RTAボタン

このボタンをタップして、タッチスクリーンごとのRTA(リア ルタイムアナライザー)機能のオン/オフを切り換えます。(初 期値:ON)

オンのとき、ボタンがハイライト表示になり、入力モジュール では PRE FADER位置、出力モジュールでは POST FADER位置の 音声信号の周波数特性メーターを EQ特性グラフの裏に表示し ます。

メモ

- RTAメーターは、同時に3画面まで表示できます。そのため、タッチスクリーンが3つ搭載されたSonicview 24と専用アプリケーション「TASCAM Sonicview Control」の間で、 RTAのON / OFFを以下のルールで排他制御します。
 - Sonicview 24 でタッチスクリーンが3つともRTAを「ON」のEQ画面またはGEQ画面を表示しているときに、専用アプリケーション「TASCAM Sonicview Control」のEQ画面またはGEQ画面でRTAを「OFF」から「ON」に切り換えた場合は、最初にRTAを「ON」にしたSonicview 24のEQ画面またはGEQ画面のRTAが自動的に「OFF」に切り換わります。
 - 上記の状態で Sonicview 24 EQ画面または GEQ画面の RTA を「OFF」から「ON」に切り換えると、専用アプリケーショ ン「TASCAM Sonicview Control」の EQ画面または GEQ 画面の RTAが 自動的に「OFF」に切り換わります。
- タッチスクリーンが2つ搭載されたSonicview 16の場合、 専用アプリケーション「TASCAM Sonicview Control」のEQ 画面やGEQ画面を加えても最大で同時に3画面ですので、 このような排他制御は行いません。

(4) EQパラメーター(HMバンド)

EQのHMバンドの各パラメーターを表示/操作します。 選択枠を表示中に、対応するLCDノブを使って調節します。

パラメーター名	設定範囲	初期値
G	- 18.0dB~+18.0dB	0dB
F	20Hz~ 20.0kHz	4.0kHz
Q	$0.10 \sim 17.31$	1.04

メモ

トップパネルのHOMEキーを押しながらEQのゲイン部をタッ プすると、EQのゲイン設定を「0dB」に設定します。

15 EQパラメーター(HIバンド)

EQのHIバンドの各パラメーターを表示/操作します。 選択枠を表示中に、対応するLCDノブを使って調節します。

パラメーター名	設定範囲	初期値
G	- 18.0dB~+18.0dB	0dB
F	20Hz~ 20.0kHz	8.0kHz
Q	0.10 ~ 17.31	1.04

メモ

トップパネルのHOMEキーを押しながらEQのゲイン部をタッ プすると、EQのゲイン設定を「0dB」に設定します。

16 TYPEボタン(HI バンド)

- HI バンドの EQ TYPEを 表示します。
- このボタンをタップすると、TYPE選択メニューを表示します。
 選択肢:Bell(初期値)、H.Shelf、LPF

EQ / GEQ周波数特性グラフ表示

- EQとGEQの周波数特性グラフ表示です。総合的な周波数特 性を表示します。また、RTAのバーメーターも表示します。
- EQと GEQがオンのとき、EQと GEQの特性を合算したグラフ をハイライト表示します。
- EQとGEQがオフのとき、GEQなし/EQグラフのみの特性グ ラフをグレーアウト表示します。
- EQオン/GEQオフのとき、EQのみの特性グラフをハイライト表示します。
- EQオフ/GEQオンのとき、EQのみの特性グラフをグレーア ウト表示し、GEQのみの特性グラフをハイライト表示します。

MODULE (GEQ) 画面

MIX1-22 モジュールおよびMAIN L/Rマスターモジュールの MODULE (GEQ) 画面では、GEQの設定を行います。 この画面は、ホーム画面の各モジュールのGEQエリアをタップし て表示します。





「GEQ OFF状態の MIX1-22 モジュールの MODULE (GEQ) 画面」

「GEQ ON状態の MAIN L/R マスターモジュールの MODULE (GEQ) 画面」

① IN レベルメーター

GEQへの入力信号レベルを表示します。

② GEQのON / OFFボタン

このボタンをタップすると、GEQのオン/オフが切り換わります。 オンのとき、このボタンとGEQ全体設定グラフ表示(⑥)およ びLCDノブ操作対象バンド帯域のGEQ設定表示(1)がハイ ライト表示になります。

③ LIBRARY ボタン

このボタンをタップすると、GEQのLIBRARY画面に切り換わり ます。(→254 ページ「各種LIBRARY画面」)

④ GEQの FADER Ctrlの ON / OFF ボタン

- このボタンをタップして、GEQのFADER Ctrl機能(GEQの GAIN設定をチャンネルフェーダーで操作する機能)のオン /オフを切り換えます。
- GEQの FADER Ctrl機能をオンに切り換えると、ボタンがハイ ライト表示になり、FADERがGEOのGAIN値に対応した位置 に移動します。また、全画面モードが自動的にオンに切り 換わり、全画面が MODULE (GEQ) 画面になります。



GEQのFADER Ctrl機能がオンのとき、FADERを操作して対

応する 周波数の GEQ GAIN 値を 調節します。

- GEQの FADER Ctrl機能がオンのときに GEQ以外のタブ 画面を 選択すると、全画面モードと FADER Ctrl機能が自動的にオフ に切り換わります。
- GEQのFADER Ctrl機能がオンのとき、各チャンネルのSEL キーが点灯します。ゲイン調節を行った周波数のSELキー を押すと、対応する周波数のゲイン設定を「0dB」にリセッ トします。
- GEOの FADER Ctrl機能をオフに切り換えると、ボタンがグ レーアウト表示になり、FADERが通常の位置に戻ります。 また、全画面モードが自動的にオフになります。
- GEQの FADER Ctrl機能がオンのとき、チャンネル 画面の表示 がGEQ FADER CTRL モードに切り換わります。

メモ

- GEQの FADER Ctrl機能がオンのとき、全画面モードは「オン」 に固定され、オフにできません。
- GEQの FADER Ctrl機能がオンのとき、LAYER キー操作は 無効 になります。

5 GEQの FADER Ctrlの操作帯域選択ボタン

GEQの FADER Ctrl機能がオンのとき、ボタンがハイライト表示 になります。

このボタンをタップして、GEQの操作帯域を切り換えます。

- ◀ボタンをタップすると、操作帯域を低域に切り換えます。
- ▶ ボタンをタップすると、操作帯域を高域に切り換えます。

⑥ GEQ全体設定グラフ表示

(a) 31 バンド全体のGEQ ゲイン設定を表示します。

(b) RTAのバーメーターを表示します。

(c) LCDノブでの操作対象バンド帯域を白い四角形で表示します。

(d) EQと GEQの総合的な周波数特性を表示します。

- EQとGEQがオンのとき、EQとGEQの特性を合算したグ ラフをハイライト表示します。
- EOとGEOがオフのとき、特性グラフは表示しません。
- EQオン/GEQオフのとき、EQのみの特性グラフをハイ ライト表示します。
- EQオフ/GEQオンのとき、GEQのみの特性グラフをハ イライト表示します。

⑦ RTAボタン

このボタンをタップして、タッチスクリーンごとのRTA(リア ルタイムアナライザー)機能のオン/オフを切り換えます。(初 期值:ON)

オンのとき、ボタンがハイライト表示になり、POST FADER位 置の音声信号の周波数特性メーターをGEQ全体設定グラフ表示 (⑥)とLCDノブ操作対象バンド帯域のGEQ設定表示(⑩)の 裏に表示します。

- RTAメーターは、同時に3画面まで表示できます。そのた め、タッチスクリーンが3つ搭載されたSonicview 24と専 用アプリケーション「TASCAM Sonicview Control」の間で、 RTAのON / OFFを以下のルールで排他制御します。
 - Sonicview 24 でタッチスクリーンが 3 つとも RTAを「ON」 のEQ画面またはGEQ画面を表示しているときに、専用ア プリケーション「TASCAM Sonicview Control」のEQ画 面またはGEQ画面でRTAを「OFF」から「ON」に切り換 えた場合は、最初にRTAを「ON」にしたSonicview 24 のEQ画面またはGEQ画面のRTAが自動的に「OFF」に切 り換わります。
 - 上記の状態でSonicview 24 EQ画面またはGEQ画面のRTA を「OFF」から「ON」に切り換えると、専用アプリケーショ ン「TASCAM Sonicview Control」のEQ画面またはGEQ

画面の RTAが 自動的に「OFF」に切り 換わります。

 タッチスクリーンが2つ搭載されたSonicview 16の場合、 専用アプリケーション「TASCAM Sonicview Control」のEQ 画面やGEQ画面を加えても最大で同時に3画面ですので、 このような排他制御は行いません。

⑧ FLAT ALL ボタン

このボタンをタップすると、GEQの全周波数のゲイン設定を 「0dB」にリセットするか確認するメッセージを表示します。



FLATボタンをタップすると、全バンドのゲイン設定を「0dB」 に設定します。

⑨ OUT レベルメーター

GEQからの出力信号レベルを表示します。

- 10 LCDノブ操作対象バンド帯域のGEQ設定表示
 - LCDノブでの操作対象に選択されたバンド帯域のゲイン設定を表示します。LCDノブでの操作対象バンド帯域は、GEQ全体設定グラフ表示(⑥)をタッチすることで選択します。表示部の黄色いノブを上下にドラッグして、またはLCDノブを使ってゲインを調節します。
 - RTAのバーメーターを表示します。
 - EQとGEQの総合的な周波数特性を表示します。
 - EQとGEQがオンのとき、EQとGEQの特性を合算したグラフをハイライト表示します。
 - EQとGEQがオフのとき、特性グラフは表示しません。
 - EQオン/GEQオフのとき、EQのみの特性グラフをハイ ライト表示します。
 - EQオフ/GEQオンのとき、GEQのみの特性グラフをハ イライト表示します。
 - GEQがオフのとき、エリア右下に大きく「OFF」と表示 されます。

① FLATボタン

このボタンをタップすると、対応するバンドのゲイン設定を 「0dB」に設定します。

MODULE (COMP / DUCKER) 画面

CH1-40 モジュール、MIX1-22 モジュールおよび MAIN L/Rマスター モジュールの MODULE (COMP) 画面 / MODULE (DUCKER) 画面 では、COMP / DUCKERの設定を行います。

この画面は、ホーム画面の各モジュールのCOMP / DUCKERエリ アをタップして表示します。



① KEY IN レベルメーター

COMP / DUCKERへの KEY IN SOURCEの入力レベルを表示します。

メモ

- ステレオモジュールに対する KEY IN SOURCEがステレオモ ジュールのとき、レベルメーターはステレオ表示になります。
- モノラルモジュールに対する KEY IN SOURCEがステレオモジュールのときは、レベルメーターはモノラル表示になり、 L+Rモノのレベルをトリガーとして使用します。

② INPUT レベルメーター

COMP / DUCKERへの選択したモジュールの入力信号レベルを 表示します。

③ ダイナミクス入出力特性グラフ表示

COMP / DUCKERの入出力特性グラフを表示します。

- ④ ゲインリダクションメーター
 COMP / DUCKERによるゲインリダクション量をメーター表示します。
- ⑤ OUTPUT レベルメーター

COMP / DUCKERからの出力信号レベルを表示します。

⑥ COMP / DUCKERのON / OFFボタン

このボタンをタップすると、ダイナミクスエフェクトのオン/ オフが切り換わります。(初期値:OFF) オンのとき、このボタン、ダイナミクス入出力特性グラフ表示 およびダイナミクスパラメーターがハイライト表示になります。 オフのとき、ダイナミクス入出力特性グラフ表示(③)のグラ フエリア左上に大きく「OFF」と表示されます。

⑦ LIBRARYボタン

このボタンをタップすると、COMP / DUCKERのLIBRARY画面 に切り換わります。(→ 254 ページ「各種LIBRARY画面」)

⑧ KEY IN SOURCEボタン

- 選択中の KEY IN ソース名を表示します。(初期値:SELF)
- このボタンをタップすると、KEY IN SOURCE SELECT画面に 切り換わります。(→ 202 ページ「KEY IN SOURCE SELECT 画面」)

⑨ KEY IN FILTERボタン

このボタンをタップすると、KEY IN FILTERのオン/オフが切り 換わります。(初期値:OFF)

10 KEY IN FILTER TYPEボタン

- KEY IN FILTERのTYPEを表示します。
- このボタンをタップすると、TYPE選択メニューを表示します。



選択肢:HPF、BPF(初期値)、LPF

11 Q

KEY IN FILTER TYPEがバンドパスのときのQ値を調節します。設定範囲:0.1~17.31(初期値:1.04)

選択枠を表示中にLCDノブ8(水色で点灯)を使って調節します。

12 FREQ

KEY IN FILTERの周波数を調節します。

設定範囲:20Hz~ 20kHz(初期値:20Hz)

選択枠を表示中にLCDノブ7(水色で点灯)を使って調節します。

13 ダイナミクスパラメーター

COMP / DUCKERの各パラメーターを表示/操作します。 選択枠を表示中の対応LCDノブやボタンのタップで設定を変更 します。

¹⁴ DYNAMICS TYPE ボタン

- 選択中のダイナミクスタイプ名を表示します。(初期値: COMP)
- この部分をタップすると、TYPE選択メニューを表示します。



選択肢:COMP(初期値)、DUCKER

ダイナミクスパラメーター

メモ

LCD ノブやボタンのタップで設定を変更します。また、グラフ上 の緑や青の ◆ アイコンや ● アイコンをドラッグすることでも調節 することができます。

COMP



パラメーター名	設定範囲	初期値
THRESHOLD	- 49dB \sim 0dB	– 10dB
RATIO	$1.00:1 \sim \infty:1$	2.50:1
KNEE	HARD、HARD MID、 MID、SOFT MID、 SOFT、SMOOTH	CH1-40:MID MIX1-22、MAIN L/R: SMOOTH
ATTACK	$0.1 { m ms} \sim 125 { m ms}$	30ms
RELEASE	$5 { m ms} \sim 5.00 { m s}$	230ms
OUTPUT GAIN	$0 dB \sim +20 dB$	0dB
AUTO MAKEUP	OFF、ON	OFF

DUCKER



パラメーター名	設定範囲	初期値
THRESHOLD	-60dB、-54dB、-48dB、-42dB、 -36dB、- 30dB、- 24dB、 - 18dB、- 12dB、- 6dB	– 18dB
ATTENUATE	-∞、-24dB、-18dB、-12dB、 -9dB、-6dB、-3dB	– 18dB
HOLD	$0.1 { m sec} \sim 5.0 { m sec}$	1.0sec
RELEASE	0.1sec ~ 5.0sec	3.0sec

KEY IN SOURCE SELECT画面

この画面は、MODULE (COMP) 画面またはMODULE (DUCKER) 画 面の KEY IN SOURCE ボタンをタップして表示します。

COMP / DUCKERの KEY IN ソースを以下のボタンから選択します。

- SELF(初期値)
- CH1-40
- MIX1-22
- MAIN L/R

選択したボタンがハイライト表示になります。

S KEY I	N SOURCE	SELECT	<	CH 1	C	H 1	> ∃	
SELF								
CH 1	сн 2	сн з	сн 4	CH 5	сн 6	сн 7	сн 8	
CH 1	СН 2	СН 3	СН 4	CH 5	СН 6	СН 7	СН 8	
сн 9	CH 10	CH 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	CH 16	
СН 9	CH 10	CH 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	CH 16	
сн 17	CH 18	сн 19	^{СН 20}	CH 21	CH 22	CH 23	CH 24	
CH 17	CH 18	CH 19	СН 20	CH 21	CH 22	CH 23	CH 24	
CH 25	сн 26	сн 27	сн 28	сн 29	сн зо	CH 31	CH 32	
CH 25	CH 26	CH 27	CH 28	CH 29	СН 30	CH 31	CH 32	
сн 33	CH 34	сн 35	сн з6	сн 37	сн 38	сн з9	сн 40	
СН 33	CH 34	CH 35	СН 36	CH 37	CH 38	CH 39	СН 40	
MIX1	MIX 2	MIX 3	MIX4	MIX 5	MIX 6	MIX 7	MIX 8	
MIX1	MIX 2	MIX 3	MIX4	MIX 5	MIX 6	MIX 7	MIX 8	
MIX 9 MIX 9	MIX 10 MIX 10	MIX 11-12 MIX 11-12		MIX 13-14 MIX 13-14		MIX 15-16 MIX 15-16		
MIX 17-18 MIX 17-18		MIX 19-20 MIX 19-20		MIX 21-22 MIX 21-22			MAIN L/R MAIN L/I	R

- DYNAMICS TYPE = Compの と き のKEY IN SOURCEは、Pre Compの信号です。
- DYNAMICS TYPE = DUCKERのときのKEY IN SOURCEは、POST Fader/MUTEの信号です。

第6章 モジュール

MODULE (SEND/PAN) 画面

MODULE (SEND/PAN) 画面では、以下の設定を行います。

- MIX1-22 バスへのSENDレベル、SEND PAN、ON / OFF、PRE / POST
- FX1-4 バスへの SEND レベル、ON / OFF、PRE / POST
- PAN / BAL
- MAIN L/Rバスへのアサイン

Stereo Link設定がオンのCH1-40 モジュール、ST IN 1-2 モジュー ルおよび FX RTN 1-4 モジュールでは、以下の設定も行います。

- MODE
- IMAGE

この画面は、ホーム画面の各モジュールの下記エリアをタップし て表示します。

- SEND/PANボタン
- 選択枠が表示された SENDエリア
- 選択枠が表示された PAN / BALエリア







[CH1-40 モジュール・Stereo Link設定オン]



[ST IN1-2 モジュール]









[MIX1-22 モジュール・Stereo Link設定オン]



[MAIN L/Rマスターモジュール]

MIX1-22 バスへの SEND レベル、SEND PANおよびON / OFFボタン

MIX1-22 バスへの SENDの設定状態を表示します。 ボタン以外のエリアをタップすると、選択枠を表示します。選 択枠を表示中に、対応する LCD ノブを使って、表示中の SEND レベルや SEND PANを調節します。



- ④ MIX1-22 モジュールの MODULE LABEL Mainで設定された 表示モードの MODULE LABELを表示します。ただし、以 下の場合には「MIX 1」のような FIXED MODULE LABELを 表示します。(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
 - MODULE LABEL Mainの表示モードが「FIXED」の場合
 - MODULE LABEL Mainの表示モードが「USER」で、該 当MIXモジュールのUSER MODULE LABELが未定義の 場合
- ⑧ MIX1-22 バスに送り出す位置の設定状態を表示します。

表示なし	POST FADERに設定
PRE	PRE FADERに設定

⑥ MIX1-22 バスへの SEND レベルを調節します。選択枠を 表示中に、対応する LCD ノブ(オレンジ色で点灯)を使っ て調節します。

アサインON	オレンジ色にハイライト表示
アサインOFF	グレーアウト 表示

設定範囲:-∞dB~+10dB(初期値:-∞dB)

 ① このボタンをタップすると、MIX1-22 バスへの送り出し 信号のオン/オフが切り換わります。

モジュール	初期値
CH1-40 / ST IN1-2 / FX RTN1-4	ON
MIX1-22 / MAIN L/R マスター	OFF

① MIX1-22 バスへ送り出す信号の SEND PANを調節します。
 選択枠を表示中に対応する LCD ノブ (黄色で点灯)を使って調節します。

設定範囲:L100~C~R100(初期值:C)



⑦ GROUPバスに設定している MIX1-22 モジュールは、角丸 ボタンを表示します。ボタンをタップして、オン/オフ を切り換えます。

- 215ページ「MIX1-22 バスの SEND OVERVIEW画面」で、各 バスに対する SEND設定の一覧表示/操作ができます。
- トップパネルのHOMEキーを押しながらSENDレベル部分を タップすると、タップしたバスのSENDレベルを「0dB」に 設定します。
- トップパネルのHOMEキーを押しながらSEND PAN部分を タップすると、タップしたバスのSEND PANを中央(C)に 設定します。
- Stereo Link設定がオンのMIX1-22 バスは、番号の小さいバスのエリアにPAN状態を表示し、番号の大きいバスのエリア にレベルとボタンを表示します。
- PAN LINK設定が「オン」に設定されているバスの SEND PAN パラメーターは、暗い色で表示されてタップしても選択状 態にならず、操作できません。PAN / BALの設定に連動し ます。
- MIX1-22 モジュールを選択時は、選択したモジュールと同じ バスへの SEND レベルやボタンは表示しません。
- MIX1-22 バスから MAIN L/RバスへのアサインがすでにONの 状態で、MAIN L/Rマスターモジュールのこの MIXのボタンを ONにしようとすると、Feedback Loopを防止するため、下 記エラーメッセージが表示され、ONにできません。



② FX1-4 バスへの SEND レベルおよび ON / OFF ボタン

FX1-4 バスへの SENDの 設定状態を 表示します。

ボタン以外のエリアをタップすると、選択枠を表示します。選 択枠を表示中に、対応するLCDノブを使って、表示中のSEND レベルを調節します。



- ④ FX RTN1-4 モジュールの MODULE LABEL Mainで設定された表示モードの MODULE LABELを表示します。ただし、以下の場合には、「FX1」のような FIXED MODULE LABELを表示します。(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
 - MODULE LABEL Mainの表示モードが「FIXED」の場合
 - MODULE LABEL Mainの表示モードが「USER」で、該 当FX RTNモジュールのUSER MODULE LABELが未定 義の場合
- ⑧ FX1-4 バスに送り出す位置の設定状態を表示します。

表示なし	POST FADERに 設定
PRE	PRE FADERに設定

⑥ FX1-4 バスへの SEND レベルを調節します。選択枠を表示 中に、対応する LCD ノブ(緑色で点灯)を使って調節します。

アサインON	緑色にハイライト表示
アサインOFF	グレーアウト表示

設定範囲:-∞dB ~ +10dB(初期値:-∞dB)

① このボタンをタップすると、FX1-4 バスへの送り出し信
 号のオン/オフが切り換わります。

選択肢:ON(初期値)、OFF

メモ

- 選択したモジュールがFX RTN1-4 モジュールおよびMAIN L/ Rマスターモジュールのときには表示しません。
- 218ページ「FX1-4バスのSEND OVERVIEW画面」で、各バスに対するSEND設定の一覧表示/操作ができます。
- トップパネルのHOMEキーを押しながらSENDレベル部分を タップすると、タップしたバスのSENDレベルを「0dB」に 設定します。

③ PRE/POST SETTINGSボタン

このボタンをタップしてボタンがハイライト表示になると、各 バスのON / OFFボタンがPRE / POST設定のボタン表示に切 り換わります。



各ボタンをタップすると、MIX1-22 バスおよび FX1-4 バスに送 り出す位置が切り換わります。

選択肢:PRE、POST(初期值)

メモ

- 選択したモジュールがCH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュー ルおよびFX RTN1-4 モジュールのときにのみ表示します。
- 215 ページ「MIX1-22 バスのSEND OVERVIEW画面」と218 ページ「FX1-4 バスのSEND OVERVIEW画面」のPRE / POST (INPUT) タブ画面で、各バスに対するPRE / POST設定の一 覧表示/操作ができます。

④ PAN表示(モノラルモジュール時のみ表示)

MAINL/Rバスに送り出す信号のパンを調節します。

設定範囲:L100~C~R100(初期値:C)

選択枠を表示中にLCDノブ8(黄色で点灯)を使って調節します。

- 220ページ「MAIN L/RバスのSEND OVERVIEW画面」の SEND PAN (INPUT) タブ画面とSEND PAN (BUS) タブ画面で、 MAIN L/Rバスに対するPAN / BAL設定の一覧表示/操作が できます。
- PANの設定が中央(C)のとき、3dB下げられた信号がMAIN L/RバスのLバスとRバスの両方に送られます。
- トップパネルのHOMEキーを押しながらこの部分をタップ すると、パンの設定を中央(C)に設定します。

⑤ MAIN ボタン

このボタンをタップすると、MAIN L/R バスへのアサインのオン /オフが切り換わります。

オンのとき、ボタンがハイライト表示になり、信号が MAIN L/R バスに送られます。

モジュール名	初期値
CH1-40	オン
ST IN1-2	オン
FX RTN1-4	オン
MIX1-22	オフ

メモ

- 220ページ「MAIN L/Rバスの SEND OVERVIEW画面」のON/ OFF (INPUT) タブ画面とON/OFF (BUS) タブ画面で、MAIN L/Rバスへのアサイン設定の一覧表示/操作ができます。
- 選択したモジュールがMAIN L/Rマスターモジュールのときには、表示しません。
- MAIN L/Rマスターモジュールから選択されたMIX1-22 バス へのアサインがすでにONの状態で、MIX1-22 モジュールの このボタンをONにしようとすると、Feedback Loopを防止 するため、下記エラーメッセージが表示され、ONにできま せん。



6 MODE

- 選択中の設定値を表示します。
- この部分をタップすると、ステレオモジュールの入力信号を ステレオ信号として扱うか、LチャンネルまたはRチャンネ ルのいずれか一方のモノラル信号として扱うかを選択する 設定のウィンドウを表示します。



選択肢	内容
STEREO (初期値)	2 つの入力信号をステレオ信号としてモジュー ルに入力します。
L-Mono	2 つの入力信号のL側だけをモノ信号としてモ ジュールに入力します。
R-Mono	2 つの入力信号のR側だけをモノ信号としてモ ジュールに入力します。

メモ

- 選択した CH1-40 モジュールの Stereo Link設定がオンのとき、 または ST IN1-2 モジュール/ FX RTN1-4 モジュールのとき のみ表示します。
- 「L-Mono」または「R-Mono」を選択したときは、BAL設定 がPAN設定として機能します。

⑦ IMAGE

ステレオ信号のイメージ幅を調節します。 左一杯が通常のステレオで、右に回していくと次第にステレオ 幅が狭まり、センターでモノラルになります。さらに右に回し ていくと、定位が逆になり、右一杯まで回すと、左右が完全に 逆転します。

設定範囲:STEREO100%~ MONO ~ REVERSE100% (初期値:STEREO100%)

選択枠を表示中にLCDノブ7(緑色で点灯)を使って調節します。

メモ

選択した CH1-40 モジュールの Stereo Link設定がオンのとき、 または ST IN 1-2/FX RTN 1-4 のときのみ表示します。

⑧ BAL表示(ステレオモジュールのときのみ表示)

MAIN L/Rバスに送り出す信号のバランスを調節します。

設定範囲:L100~C~R100(初期值:C)

選択枠を表示中にLCDノブ8(黄色で点灯)を使って調節します。 メモ

- 220 ページ「MAIN L/RバスのSEND OVERVIEW画面」の SEND PAN (INPUT) タブ画面とSEND PAN (BUS) タブ画面で、 MAIN L/Rバスに対するPAN / BAL設定の一覧表示/操作が できます。
- 選択したモジュールがMAIN L/Rマスターモジュールのときには表示しません。
- BALの設定が中央(C)のとき、Lチャンネルの信号がMAIN Lバス、Rチャンネルの信号がMAIN Rバスに、0dBで送られ ます。
- トップパネルのHOMEキーを押しながらこの部分をタップ すると、バランスの設定を中央(C)に設定します。

MODULE (OUTPUT) 画面

MIX1-22 モジュール および MAIN L/Rマスターモジュールの MODULE (OUTPUT) 画面では、モジュールの出力の設定を行います。 この画面は、MIX1-22 モジュールおよび MAIN L/Rマスターモジュー ルのホーム画面上部のOUTPUT エリアをタップして表示します。



(10) (6)

[MAIN L/Rマスターモジュール]

(7)

① PRE FADER レベルメーター

PRE FADERの信号レベルを表示します。

- LOCK / UNLOCK切り換えボタン
 - 本機のルーティング設定変更操作のロック/アンロックを切り換えるボタンです。起動時は、必ずロック状態になっています。
 - 「LOCK」時は、BATCH SETUPボタンの操作はできません。 ただし、OUTPUT PORT SELECT表示エリア(③)をタップ してOUTPUT PORT SELECT画面に切り換えることは可能で す。
 - 「LOCK」時にこのボタンをタップすると、確認メッセージが 表示されます。確認メッセージでUNLOCKボタンをタップす ると、メッセージを閉じて「UNLOCK」に切り換わります。 確認メッセージでCANCELボタンをタップすると、メッセー ジを閉じてロック状態を維持します。



●「UNLOCK」時にこのボタンをタップすると、「LOCK」に切 り換わります。

メモ

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(②)の設定は、下記ルーティング設定画面で共通の設定です。

- MODULE (INPUT) 画面
- MODULE (OUTPUT) 画面
- INPUT SOURCE SELECT画面
- OUTPUT PORT SELECT画面
- DIRECT OUT PORT SELECT画面
- INSERT SEND PORT SELECT画面
- INSERT RETURN PORT SELECT画面
- TALKBACK INPUT SELECT画面
- TALKBACK EXT1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- TALKBACK EXT2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- Return TALKBACK EXT DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 1 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 DIRECT OUT PORT SELECT画面
- MONITOR 2 OUTPUT PORT SELECT画面
- Solo DIRECT OUT PORT SELECT画面
- ルーティング 画面

③ OUTPUT PORT SELECT表示エリア

- このエリアには、選択したモジュールの信号がアサインされた出力ポートを表示します。
 1 行目には、省略された FIXED PORT LABELを表示します。
 2 行目には、USER PORT LABELを表示します。USER PORT LABELが未定義の場合は、FIXED PORT LABELを表示します。
 - モノラルモジュールの場合、最大 32 ポートまで表示できます。
 - ステレオモジュールの場合、1モジュールにつき最大16 ポートまで表示できます。
 - アサインされた出力ポート数が上記を超えている場合、 該当エリア右下に「…」と表示します。
- このエリアをタップすると、タップした出力ポートがある OUTPUT PORT SELECT画面に切り換わります。(→157 ペー ジ「OUTPUT PORT SELECT画面」)
- マウント済みSB-16DがアサインされたDanteポートを選択した場合は、以下のように表示します。
 - 1 行目: DA ポート 番号
 - 2 行目: SB #[ID] ポート 番号
 - 3 行目:USER PORT LABEL、USER PORT LABELが未定 義の場合は「SB #[ID] ポート番号」



 バーチャルマウントされたSB-16DのDanteポートの場合は、 アサインしたボタンが黄色でハイライト表示になります。



④ SELECT PORT LABELボタン

- 該当モジュールにアサインされた複数の出力ポートのなかから、PORT LABELとして表示したいものを1つだけ選択するモードに切り換えるボタンです。
- このボタンをタップすると、SELECT PORT LABELモードに 切り換わります。



PORT LABELとして表示したい出力ポートボタンをタップし て選択します。

選択された出力ポートボタンが白い枠で囲われます。

- 初期状態は、どのポートもSELECT PORT LABELモードで 選択されていない状態です。この場合、OUTPUT PORT SELECT表示エリア(③)の左上に表示された出力ポートを PORT LABELとして表示します。
- 該当モジュールに出力ポートが複数アサインされていない 場合、このボタンはグレーアウト表示になります。

⑤ POST FADER レベルメーター

POST FADERの信号レベルを表示します。

⑥ BATCH SETUPボタン

LOCK / UNLOCK切り換えボタン(②)が「UNLOCK」のとき にこのボタンをタップすると、任意のチャンネル間の出力ポー トを一括で設定する BATCH SETUPウィンドウを表示します。 (→148ページ「複数のチャンネル間の出力ポートを一括で設 定する」)

指定した複数チャンネルの設定を一括で変更します。

⑦ フェーズボタン

選択したモジュールの信号の位相(フェーズ)を変更します。 このボタンをタップすると、選択したモジュールの信号の位相 (フェーズ)を反転します。

 選択したモジュールのStereo Link設定がオフのときの フェーズボタン表示

ф OFF	正相(ノーマル)
Ф он	逆相(リバース)

 選択したモジュールがステレオモジュールのときのフェーズ ボタン表示

LØ OFF OFF		正相(ノーマル)
L <i>¢</i> on	R¢ on	逆相(リバース)

⑧ LABEL設定エリア



④ LABEL設定エリアの アイコン

このアイコンをタップすると、LABEL SETUP画面の DISPLAY MODEタブ画面に切り換わります。(→ 132 ペー ジ「DISPLAY MODEタブ画面」)

⑧ MODULE LABELの表示モード設定ボタン

- MODULE LABEL Mainの表示モードを切り換えるボタンです。現在設定されている表示モードがハイライト表示になります。
- このボタンをタップすると、MODULE LABEL Mainの 表示モードをUSER → FIXED → PORT LABELと順番 に切り換えます。
- MODULE LABEL Mainの表示モード設定の詳細は、132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」をご参照ください。

① PORT LABELの表示モード設定ボタン

- PORT LABEL(入出力端子名)の表示モードを切り換 えるボタンです。現在設定されている表示モードがハ イライト表示になります。
- このボタンをタップすると、PORT LABELの表示モードを「USER」と「FIXED」で交互に切り換えます。
- PORT LABELの表示モード設定の詳細は、132ページ 「DISPLAY MODE タブ画面」をご参照ください。

⑨ Stereo Linkボタン (MIX1-22 モジュールのみ)

• MIX1-22 モジュールの Stereo Link設定の状態を表示します。

OFF Stereo Link	Stereo Link設定:オフ
MIX1-2 Stereo Link	Stereo Link設定:オン

 このボタンをタップすると、Stereo Link設定のウィンドウを 表示します。



MIX1/MIX22 以外、左右どちらのモジュールともリンクする ことができます。

1 ROUTINGボタン

このボタンをタップすると、ルーティング画面のOUTPUT MODULEタブ画面に切り換わります。(→164ページ「OUTPUT MODULEタブ画面」)

MODULE (Audio Follow Video) 画面

Audio Follow Video(AFV)機能とは、外部からのタリー入力イベ ントによりフェーダーレベルを自動制御するいわゆる「タリー連動 機能」のことです。

この画面では、選択したモジュールのAFVパラメーターの設定を 行います。

この画面は、下記いずれかをタップして表示します。

● MODULE (OVERVIEW) 画面のAFVボタン

●ホーム画面でAFVパラメーターに選択枠がある状態の選択枠



[Audio Follow Video機能全体の ON / OFF ボタンが「ON」のとき の表示]

選択モジュールのAudio Follow Video機能のON / OFFボタン

このボタンをタップすると、選択したモジュールのAudio Follow Video機能のON / OFFが切り換わります。 ONのとき、ボタンがハイライト表示になります。

② Audio Follow Video機能のTRIGGER SOURCE表示部

- 選択したモジュールのAFV TRIGGER SOURCEを表示します。 AFV TRIGGERがアクティブ状態のときは、このエリアが赤 くハイライトされます。
- ・ このエリアをタップすると、AFV TRIGGER SOURCE SELECT
 画面に切り換わります。(→ 211ページ「AFV TRIGGER
 SOURCE SELECT画面」)
- AFV TRIGGER SOURCE SELECT画面で選択したAFV TRIGGER SOURCE名を表示します。

③ TEST ボタン

選択したモジュール単独でのAudio Follow Video機能の動作を 確認するためのボタンです。

このボタンを押すとAFV ONイベント、このボタンを離すと AFV OFFイベントを受けたときの動作をします。

④ Audio Follow Video機能全体のON / OFFボタン

このボタンをタップすると、Audio Follow Video機能全体のON / OFFが切り換わります。

- ONのとき、ボタンがハイライト表示になります。
- OFFのとき、全モジュールのすべてのAFVパラメーターがグレーアウト表示になります。

⑤ Audio Follow Video設定状況グラフ表示

現在のAFVパラメーター設定でのフェーダーレベルの自動制御 動作のイメージを縦軸がFADERレベル、横軸が時間のグラフで 表示します。

6 ON LEVEL

AFV ON イベントを受けたあとのフェーダーレベルのフェードの 目的値を調節します。

設定範囲:-∞dB~+10.0dB(初期値:0.00dB)

LCDノブ1(白色で点灯)を使って調節します。

OFF LEVEL

AFV OFFイベントを受けたあとのフェーダーレベルのフェード の目的値を調節します。

設定範囲:-∞dB~+10.0dB(初期値:-∞dB)

LCDノブ2(青色で点灯)を使って調節します。

8 WAIT TIME

AFV ONイベントを受けてから、フェードを開始するまでの時間を調節します。

設定範囲:0.0sec~10.0sec(初期值:0.0 sec)

LCDノブ3(緑色で点灯)を使って調節します。

9 RISE TIME

AFV ON イベントを受けたときのフェード 開始から ON LEVELに 到達するまでのフェード 時間を 調節します。

設定範囲: 0.0 sec~ 10.0 sec(初期值: 1.0 sec)

LCDノブ4(黄色で点灯)を使って調節します。

10 HOLD TIME

AFV OFF イベントを受けてから、フェードを開始するまでの時間を調節します。

設定範囲:0.0 sec~10.0 sec(初期値:1.0 sec)

LCDノブ6(赤色で点灯)を使って調節します。

1 FALL TIME

AFV OFFイベントを受けたときのフェード開始からOFF LEVEL に到達するまでのフェード時間を調節します。

設定範囲:0.0 sec~10.0 sec(初期值:1.0 sec)

LCDノブ7(水色で点灯)を使って調節します。

メモ

Audio Follow Video機能によるフェード動作中に下記操作を 行った場合、フェード動作をキャンセルします。

- All System Dataの Load
- SnapshotのRecall
- Module Libraryの Recall
- MODULE (OVERVIEW) 画面での該当モジュールのFADER LEVEL操作
- SEND OVERVIEW (MAIN L/R) 画面のFADER LEVELタブ画面 での該当モジュールのFADER LEVEL操作

AFV TRIGGER SOURCE SELECT画面

この画面では、選択したモジュールのAFV TRIGGER SOURCEを以 下から選択します。

- 本機のGPIO入力端子
- 内蔵 Dante経由で接続されたマウント済みSB-16DのGPIO入力 端子
- リアパネルの FOOTSWITCH端子

この 画面は、MODULE (Audio Follow Video) 画面の Audio Follow Video機能の TRIGGER SOURCE表示部(②)をタップして表示します。



- Audio Follow Video機能のTRIGGER SOURCE選択ボタン
 - このボタンをタップして、選択したモジュールのAFV TRIGGER SOURCEを選択します。 選択したボタンは、ハイライト表示になります。
 - ボタンの下段には、対応するGPIO-IN /フットスイッチにア サインされているUser Defined Control機能を表示します。
 1 つのポートに複数の機能を重複してアサインしているかど うかを確認できます。
 - バーチャルマウントされたSB-16DのGPIO-INポートの場合は、
 ・
 ・マークを表示します。



 バーチャルマウントされたSB-16DのGPIO-INポートの場合 は、アサインしたボタンが黄色でハイライト表示になります。



MODULEメニュー

MODULEメニューの操作

- MODULE画面右上の ボタンをタップすると、選択したモジュールのMODULEメニューを表示します。
- 選択可能なメニュー項目が MODULE メニュー内に表示しきれない場合は、スクロールバーを表示します。この場合、表示を上下にドラッグすることでメニュー項目がスクロールします。



 ● MODULE メニューの 図 ボタンまたは ■ ボタンをタップすると、 メニューを閉じます。

メニュー項目	内容						
Copy MODULE	選択したモジュールの各パラメー ターの設定値をバッファーにコピー します。						
Paste MODULE	バッファーにコピーした各パラメー ターの設定値を選択したモジュール に貼り付けます。						
UNDO Paste MODULE	選択したモジュールへの貼り付け処 理を取り消します。						
REDO Paste MODULE	選択したモジュールへの貼り付け処 理を再実行します。						
Copy <u>INPUT</u>	選択したモジュールの <u>MODULE</u> (<u>INPUT)</u> 画面の各パラメーターの設 定値をバッファーにコピーします。						
Paste <u>INPUT</u>	バッファーにコピーした <u>MODULE</u> (<u>INPUT)</u> 画面の各パラメーターの設 定値を選択したモジュールに貼り付 けます。						
UNDO Paste <u>INPUT</u>	選択したモジュールの <u>MODULE</u> (<u>INPUT)</u> 画面への貼り付け処理を取 り消します。						
REDO Paste <u>INPUT</u>	選択したモジュールの <u>MODULE</u> (<u>INPUT)</u> 画面への貼り付け処理を再 実行します。						
MODULE Library	選択したモジュールのLIBRARY画面 に切り換わります。(→ 254 ページ 「各種LIBRARY画面」)						

MODULE メニューのメニュー項目

メモ

- 下線のあるメニュー項目を、選択したモジュールのMODULE画 面名に置き換えてください。
- 下線のあるメニュー項目は、MODULE (OVERVIEW) 画面と MODULE (OUTPUT) 画面には表示されません。
- 下記のパラメーターは、コピーペースト対象外です。
 - Input Routing
 - OSC Input
 - Output Port Assign*
 - Insert Send Port Assign*
 - Insert Return Port Assign*
 - Insert ON/OFF*
 - Direct Out Port Assign*
 - * 出力ポートは複数モジュールで同時使用はできません。そのため、パラメーターのコピーペースト対象にしてしまうと、ペースト先とは別モジュールの出力設定が切り換わってしまうことがあるので、コピーペースト対象外となっています。

ステレオモジュールで左右独立操作できるパラメーターの ペースト

以下のパラメーターは、ステレオモジュールであっても左右独立し て設定できます。

- Pre Amp
- 位相(フェーズ)
- D.TRIM

コピー元/ペースト先がモノラル⇔ステレオと異なる場合、以下 のようにコピー/ペーストします。

- コピー元がモノラルモジュールで、ペースト先がステレオモジュールの場合は、コピー元の設定データをペースト先のL/ R両方にペーストします。
- コピー元がステレオモジュールで、ペースト先がモノラルモジュールの場合は、コピー元のLチャンネルの設定データをペースト先にペーストします。

MODE / IMAGE パラメーターのペースト

MODULE (SEND/PAN) 画面に表示される MODE \checkmark IMAGE パラメー ターは、ステレオ入力モジュールにのみ存在するパラメーターです。 (\rightarrow 203 ページ「MODULE (SEND/PAN) 画面」) そのため、コピー元/ペースト先の両方がステレオ入力モジュー

ルの場合だけ、MODE / IMAGE パラメーターをコピー/ペースト します。

第6章 モジュール

SENDS ON FADER機能

- SENDS ON FADER機能は、SENDレベルをフェーダーで操作す る機能です。
- Sends On Fader モード中は、トップパネルの SENDS ON FADER キーが点灯し、以下の操作をすることができます。
 - チャンネルフェーダーを使った各モジュールから SENDS ON FADER操作対象バスへの SEND レベルの操作
 - MASTERフェーダーを使った SENDS ON FADER操作対象バスのFADERレベル(バスマスターレベル)の操作
 - チャンネルMUTEキーを使った各モジュールからSENDS ON FADER操作対象バスへのSEND ON/OFFの切り換え操作 (MUTEキー点灯時:SEND OFF、MUTEキー消灯時:SEND ON)

また、トップパネルのマスターセクションのMUTE / SOLO / SEL /カラーバーが SENDS ON FADER操作対象バスの操作子/ 表示器になり、SEND インジケーターが 点灯、L/R インジケーター が消灯します。

- Sends On Fader モードは、以下を操作することで切り換わり ます。
 - トップパネルの SENDS ON FADER キー
 - Sends On Fader機能がアサインされたUSER KEYS / FOOTSWITCH / GPIO-IN (→54ページ「USER DEFINED CONTROLS画面」)

メモ

Sends On Fader モードの設定は、User Key タブ画面の工場出荷時の設定であらかじめ以下のUSER KEYSにアサインされています。

• USER KEYS 5-12 (Sends On Fader | MIX1-8)

SENDS ON FADER画面

この画面では、SENDS ON FADER操作対象バスの選択を行います。 この画面は、トップパネルのSENDS ON FADERキーを押して表示 します。

	SENDS ON FADER ×								X														
CH 1	CH 2	CH 3	CH 4	CH 5	CH 6	CH 7	CH 8	СН 9	CH 10	CH 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	CH 16	CH 17	CH 18	CH 19	CH 20	CH 21	CH 22	CH 23	CH 24
MD	(1		MIX	2		MD	3		MD	(4		MIX	5		MIX	6		MIX	7		MIX	8	
- 1	MIX		- 1	MIX	2	1	MIX	3	1	MIX	4	N	/IX	5	P	ЛIX	6	- 1	ЛIX	7	P	ЛIX	8
MD	(9	0	MIX	10 41 V	10	MD	11-12	2				MIX	13-14 V 12	14									
	VIIX	9	IV	III.	10							IAIT	V 13.	- 14									
FX 1			FX 2	2		FX 3			FX 4	4													
	FX 1																						

メモ

SENDS ON FADER画面上部のメーター表示で、選択したレイヤーに アサインされているモジュールのモジュールメーター(設定されて いる Metering Pointの信号レベルを表示)を確認することができ ます。(→9ページ「⑥ チャンネル画面」)

- バス選択ボタンをタップすると、タップしたバスが選択状態に なり、ハイライト表示になります。チャンネルフェーダーが各 モジュールから選択バスへのSENDレベルの位置に、MASTER フェーダーが選択バスのFADERレベルの位置に移動し、チャ ンネルMUTEキーが各モジュールから選択バスへのSEND ON/ OFF状態に合わせて点灯/消灯します。(MUTEキー点灯時: SEND OFF、MUTEキー消灯時:SEND ON)
- 右端のタッチスクリーンにホーム画面などを表示しながら SENDS ON FADER操作をしたい場合は、画面右上の Z アイコン をタップしてこの画面を閉じます。
- ■ アイコンをタップしてこの画面を閉じても、Sends On Fader モードは維持します。再度 SENDS ON FADER画面を表示するに は、SENDS ON FADERキーを押します。
- SENDS ON FADER画面を表示中に SENDS ON FADERキーを押す と、Sends On Faderモードが解除されます。SENDS ON FADER 画面が閉じて、チャンネルフェーダー/チャンネルMUTEキー / MASTERフェーダー、マスターセクションのMUTE/SOLO/ SEL/カラーバー、L/R・SENDインジケーター、およびチャンネ ル画面が通常表示に戻ります。
- Sends On Fader モード 中は、CH Displayにも 同様のメーターが 表示されます。

メモ

BUSモードを「GROUP」に設定したMIXバスは、この画面に表示 されません。

SEND OVERVIEW画面

選択したバス(MIX1-22 バス/ FX1-4 バス/ MAIN L/Rバス) に対 する SEND パラメーターを一覧表示/操作する画面です。 MODULE (SEND/PAN) 画面は、アナログミキサーで「縦」に並ん でいる SEND パラメーター(⑧)を一覧表示/操作する 画面です。 これに対して、この SEND OVERVIEW画面は、アナログミキサーで 「横」に並んでいる SEND パラメーター(④)を一覧表示/操作す る画面になります。



MIX1-22 バスの SEND OVERVIEW画面

この画面は、メニュー画面 > Mixer Setup メニュー >「MIX Send Overview」をタップして表示します。また、MIX 1-22 モジュール のMODULE画面上部にある「SEND OVERVIEW」ボタンをタップし て表示することもできます。









[SEND PAN (INPUT) タブ画面]

第7章 その他モジュールパラメーター設定画面



メモ

- トップパネルのHOMEキーを押しながらレベル表示をタップすると、タップしたレベルを「0dB」に設定します。
- トップパネルのHOMEキーを押しながらPAN / BAL表示をタッ プすると、タップしたパン/バランスの設定を中央(C)に設 定します。

① 5 ボタン

このボタンをタップすると、SEND OVERVIEW画面を表示する 前の画面に戻ります。

② MODULEボタン

このボタンをタップすると、選択したMIX1-22 モジュールの MODULE画面を表示します。

③ 🛯 🖊 🛛 ボタン

このボタンをタップすると、表示/操作対象のバスをMIX1-22 / FX1-4 / MAIN L/Rの順で左右に移動します。

④ FIXED MODULE LABEL表示

選択したバスの FIXED MODULE LABELを表示します。

⑤ USER MODULE LABEL表示

- ・選択したバスのMODULE LABEL Mainで設定された表示モードのMODULE LABELを表示します。(→ 132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」)
- MODULE LABEL Mainの表示モードが「USER」に設定されている場合にこの部分をタップすると、USER MODULE LABELおよびモジュール設定色を変更する MODULE LABEL 画面に切り換わります。(→229ページ「MODULE LABEL 画面」)
- MODULE LABEL Mainの表示モードが「PORT LABEL」、かつ PORT LABELの表示モードが「USER」に設定されている場 合(→132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」)にこの部 分をタップすると、このモジュールにアサインされた出力端 子のUSER PORT LABELを編集するUSER LABEL (OUTPUT PORT)画面に切り換わります。(→135ページ「USER LABEL (INPUT PORT / OUTPUT PORT)画面」) ただし、このモジュールに出力端子がアサインされていない 場合には、切り換わりません。

⑥ 🔳 ボタン

このボタンをタップすると、選択したMIX1-22 バスのSEND OVERVIEWメニューを表示します。



メニュー項目をタップして、選択したMIX1-22 バスに対する 各パラメーターの設定を変更します。(→ 223 ページ「SEND OVERVIEW メニュー」)

⑦ 画面選択ボタン

画面選択ボタンをタップして、表示する画面を切り換えます。 選択したボタンがハイライト表示になります。

ボタン	内容						
SEND LEVEL (INPUT)	CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよび FX RTN1-4 モ ジュールから MIX1-22 バスへの SEND レベルを一覧表示します。						
SEND LEVEL (BUS)	MIX1-22 モジュールおよび MAIN L/R マスターモジュールから MIX1- 22 バスへの SEND レベルを一覧表 示します。						
ON / OFF (INPUT)	CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよびFX RTN1-4 モ ジュールから MIX1-22 バスへのア サイン設定のオン/オフ状態を一 覧表示します。						
ON / OFF (BUS)	MIX1-22 モジュールおよび MAIN L/Rマスターモジュールから MIX1- 22 バスへのアサイン設定のオン/ オフ状態を一覧表示します。						
ボタン	内容						
--------------------	--						
PRE / POST (INPUT)	CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよび FX RTN1-4 モ ジュールの信号を MIX1-22 バスに 送り出す位置を一覧表示します。						
SEND PAN (INPUT)	CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよび FX RTN1-4 モ ジュールから MIX1-22 バスへのパ ン/バランス設定を一覧表示しま す。						
SEND PAN (BUS)	MIX1-22 モジュールから MIX1-22 バスへのパン/バランス設定を一 覧表示します。						

⑧ SEND レベル表示

- CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよび FX RTN1-4 モジュールから MIX1-22 バスへの SEND レベルの設定状態を 一覧表示します。
- 選択枠を表示中に、対応するLCDノブ(オレンジ色で点灯) を使って、SENDレベルを調節します。

設定範囲:-∞dB~+10dB(初期値:-∞dB)

9 CH MUTE / PRE-SEND LINK

入力モジュールの MUTEと AUX バスへの Pre Fader Sendが 連動 するかしないかの、バスごとの 設定です。

このボタンをタップすると、LINK/UNLINKを切り換えます。

	表記	内容
	LINK(初期値)	入力モジュールの MUTEと AUX バスへの Pre Fader Sendが 連動する
UNLINK		入力モジュールの MUTEと AUX バスへの Pre Fader Sendが連動しない

10 MIX MASTER LEVEL表示

選択した MIX1-22 バスの FADER レベル(バスマスターレベル) を調節します。

設定範囲:-∞dB ~ +10dB(初期値:0.0dB)

選択枠を表示中にLCDノブ8(青色で点灯)を使って調節します。

SEND レベル表示

- MIX1-22 モジュールおよびMAIN L/RマスターモジュールからMIX1-22 バスへのSENDレベルの設定状態を一覧表示します。
- 選択枠を表示中に、対応するLCDノブ(オレンジ色で点灯) を使って、SENDレベルを調節します。

設定範囲:-∞dB~+10dB(初期値:-∞dB)

メモ

USER MODULE LABEL表示(⑤)に表示された選択バスと同じ バスへの SEND レベルは表示しません。

12 入力モジュール用ON / OFF ボタン

- CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよびFX RTN1-4 モジュールから MIX1-22 バスへのアサイン設定の ON / OFF 状態を一覧表示します。
- このボタンをタップすると、MIX1-22 バスへのアサインの ON / OFFを切り換えます。(初期値:ON) ONのとき、ボタンがハイライト表示になります。

BUS モジュール用ON / OFFボタン

- MIX1-22 モジュールおよび MAIN L/Rマスターモジュールか ら MIX1-22 バスへのアサイン設定の ON / OFF状態を一覧表 示します。
- このボタンをタップすると、MIX1-22 バスへのアサインの ON / OFFを切り換えます。(初期値:OFF) ONのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

USER MODULE LABEL表示(⑤)に表示された選択バスと同じ バスへのアサインボタンは表示しません。

¹④ PRE / POSTボタン

- CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよびFX RTN1-4 モジュールの信号をMIX1-22 バスに送り出す位置の設定を 一覧表示します。
- このボタンをタップすると、MIX1-22 バスに送り出す位置の 設定を切り換えます。(→ 343 ページ「第 19 章 ブロック ダイヤグラム」)

表記	内容
PRE	プリフェーダー
POST(初期値)	ポストフェーダー

各ボタンをタップすると、送り出す位置が切り換わります。

(5) CH1-40 モ ジュール / ST IN1-2 モ ジュール / FX RTN1-4 モジュールの PAN / BAL表示

- CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよびFX RTN1-4 モジュールから選択した MIX1-22 バスへのパン∕バランスの 設定状態を一覧表示します。
- 選択枠を表示中に、対応するLCDノブ(黄色で点灯)を使って、パン/バランスを調節します。
 設定範囲:L100~C~R100(初期値:C)

メモ

PAN LINK設定が「オン」に設定されているバスの SEND PAN パ ラメーターは、暗い色で表示され、操作できません。 対応モジュー ルの PAN / BALの 設定に 連動します。

16 MIX1-22 モジュールの PAN / BAL表示

- MIX1-22 モジュールから選択した MIX1-22 バスへのパン/バランスの設定状態を一覧表示します。
- 選択枠を表示中に、対応するLCDノブ(黄色で点灯)を使って、パン/バランスを調節します。

設定範囲:L100~C~R100(初期値:C)

メモ

PAN LINK設定が「オン」に設定されているバスの SEND PAN パ ラメーターは、暗い色で表示され、操作できません。対応モジュー ルの PAN / BALの設定に連動します。

FX1-4 バスの SEND OVERVIEW画面

この画面は、メニュー画面 > Mixer Setup メニュー >「MIX Send Overview」をタップして表示します。また、FX RTN 1-4 モジュー ルの MODULE画面上部にある「SEND OVERVIEW」ボタンをタップ して表示することもできます。



(1) (2) 3 (4) (5) (6) SEND OVERVIEW (7)-(14)-POST POST (9) (10) KRTN 1 IPUT LEVEL ← 0.00 de CH MUTE / [PRE / POST (INPUT) タブ画面] (1) (2) (3) (4) (5) **(6**) SEND OVERVIEW FX (7)-IND LEVEL SEND LEVEL (15)-H 20 сн 30 7 8 9 0 CH 36 CH 38 FX RTN 2 TNPUT LEVEL C (9) (10) C F [SEND PAN (INPUT) タブ画面] 1 2 3 4 (5) 6 FX 1 SEND OVERVIEW <FX 1 (7)-Ĩ (16)-17-1: IX 21-22 FX RTN 1 INPUT LEVEL C (10) 9-CH MUTE / [SEND PAN (BUS) タブ画面]

メモ

トップパネルのHOMEキーを押しながらレベル表示をタップする と、タップしたレベルを「0dB」に設定します。

1 5 ボタン

このボタンをタップすると、SEND OVERVIEW画面を表示する 前の画面に戻ります。

② MODULEボタン

このボタンをタップすると、表示している FX1-4 バスに対応し た FX RTN1-4 モジュールの MODULE画面を表示します。

③ 【 / 】 ボタン

このボタンをタップすると、表示/操作対象のバスをMIX1-22 / FX1-4 / MAIN L/R の順で左右に移動します。

[ON / OFF (BUS) タブ画面]

④ FIXED MODULE LABEL表示

選択したバスの FIXED MODULE LABELを表示します。

⑤ USER MODULE LABEL表示

- 選択したバスの MODULE LABEL Mainで設定された表示モードの MODULE LABELを表示します。(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ 画面」)
- MODULE LABEL Mainの表示モードが「USER」に設定されている場合にこの部分をタップすると、USER MODULE LABELおよびモジュール設定色を変更するMODULE LABEL 画面に切り換わります。(→ 229ページ「MODULE LABEL 画面」)

⑥ = ボタン

このボタンをタップすると、選択したFX1-4バスのSEND OVERVIEWメニューを表示します。



メニュー項目をタップして、選択したFX1-4 バスに対する各 パラメーターの設定を変更します。(→223ページ「SEND OVERVIEWメニュー」)

⑦ 画面選択ボタン

画面選択ボタンをタップして、表示する画面を切り換えます。 選択したボタンがハイライト表示になります。

ボタン	内容
SEND LEVEL (INPUT)	CH1-40 モジュールおよび ST IN1-2 モジュールから FX1-4 バスへの SEND レベルを一覧表示します。
SEND LEVEL (BUS)	MIX1-22 モジュールから FX1-4 バ スへの SEND レベルを 一覧表示し ます。
ON / OFF (INPUT)	CH1-40 モジュールおよび ST IN1-2 モジュールから FX1-4 バスへのア サイン設定のオン/オフ状態を一 覧表示します。
ON / OFF (BUS)	MIX1-22 モジュールから FX1-4 バ スへのアサイン設定のオン/オフ 状態を一覧表示します。
PRE / POST (INPUT)	CH1-40 モジュールおよび ST IN1-2 モジュールの信号を FX1-4 バスに 送り出す位置を一覧表示します。
SEND PAN (INPUT)	CH1-40 モジュールおよび ST IN1-2 モジュールから FX1-4 バスへのパ ン/バランス設定を一覧表示しま す。
SEND PAN (BUS)	MIX1-22 モジュールから FX1-4 バ スへのパン/バランス設定を一覧 表示します。

⑧ SEND レベル表示

- CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよび FX RTN1-4 モジュールから FX1-4 バスへの SEND レベルの設定状態を一 覧表示します。
- 選択枠を表示中に、対応するLCDノブ(緑色で点灯)を使って、SENDレベルを調節します。

設定範囲:-∞dB~+10dB(初期値:-∞dB)

9 CH MUTE / PRE-SEND LINK

入力モジュールのMUTEとAUXバスへのPre Fader Sendが連動 するかしないかの、バスごとの設定です。

表記	内容
LINK(初期値)	入力モジュールの MUTEと AUX バスへの Pre Fader Sendが 連動する
UNLINK	入力モジュールの MUTEと AUX バスへの Pre Fader Sendが 連動しない

⑩ FX INPUT LEVEL表示

表示している FX1-4 バスに対応した FX1-4 モジュールの入力レベルを調節します。

設定範囲:-∞dB~+10dB(初期値:0.0dB)

選択枠を表示中にLCDノブ8(青色で点灯)を使って調節します。

メモ

191ページ「MODULE (FX) 画面」のFX RTN1-4 モジュールの INPUT LEVELノブ(⑦)と同じパラメーターです。

① SEND レベル表示

- MIX1-22 モジュールから FX1-4 バスへの SEND レベルの設定 状態を一覧表示します。
- 選択枠を表示中に、対応するLCDノブ(緑色で点灯)を使っ て、SENDレベルを調節します。

設定範囲:-∞dB~+10dB(初期値:-∞dB)

12 入力モジュール用ON / OFFボタン

- CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよびFX RTN1-4 モジュールからFX1-4 バスへのアサイン設定のON / OFF状 態を一覧表示します。
- このボタンをタップすると、FX1-4 バスへのアサインのON / OFFを切り換えます。(初期値:ON) ONのとき、ボタンがハイライト表示になります。

13 BUS モジュール 用 ON / OFF ボタン

- MIX1-22 モジュールから FX1-4 バスへのアサイン設定の ON / OFF状態を一覧表示します。
- このボタンをタップすると、FX1-4 バスへのアサインのON / OFFを切り換えます。(初期値:ON) ONのとき、ボタンがハイライト表示になります。

14 PRE / POST ボタン

- CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよびFX RTN1-4
 モジュールの信号をFX1-4 バスに送り出す位置の設定を一 覧表示します。
- このボタンをタップすると、FX1-4 バスに送り出す位置の設定を切り換えます。(→ 343 ページ「第 19 章 ブロックダイヤグラム」)

表記	内容
PRE	プリフェーダー
POST(初期値)	ポストフェーダー

各ボタンをタップすると、送り出す位置が切り換わります。

⑤ CH1-40 モジュール / ST IN1-2 モジュールのPAN / BAL表示

CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよびFX RTN1-4 モ ジュールから選択した FX1-4 バスへのパン/バランスの設定状 態を一覧表示します。

表示内容:L100~C~R100(初期值:C)

メモ

FX1-4 バスの SEND PAN パラメーターは、常に対応モジュール の PAN / BALの設定に連動します(常に PAN LINK設定がオン 状態)。暗い色で表示され、この画面では操作できません。

16 MIX1-22 モジュールの PAN / BAL表示

MIX1-22 モジュールから選択したFX1-4 バスへのパン/バラン スの設定状態を一覧表示します。

表示内容:L100~C~R100(初期值:C)

メモ

FX1-4 バスの SEND PAN パラメーターは、常に対応モジュール の PAN / BALの設定に連動します(常に PAN LINK設定がオン 状態)。暗い色で表示され、この画面では操作できません。

MAIN L/R バスの SEND OVERVIEW画面

この画面は、メニュー画面 > Mixer Setup メニュー >「MIX Send Overview」をタップして表示します。また、MAIN L/R マスターモ ジュールの MODULE画面上部にある「SEND OVERVIEW」ボタンを タップして表示することもできます。











[ON/OFF (INPUT) タブ画面]



[SEND / PAN (BUS) タブ画面]

メモ

- トップパネルのHOMEキーを押しながらレベル表示をタップすると、タップしたレベルを「0dB」に設定します。
- トップパネルのHOMEキーを押しながらPAN / BAL表示をタッ プすると、タップしたパン/バランスの設定を中央(C)に設 定します。

1 5 ボタン

このボタンをタップすると、SEND OVERVIEW画面を表示する 前の画面に戻ります。

② MODULEボタン

このボタンをタップすると、選択したMAIN L/Rマスターモ ジュールのMODULE画面に切り換わります。

③ 【 / 】 ボタン

このボタンをタップすると、表示/操作対象のバスをMIX1-22 / FX1-4 / MAIN L/R の順で左右に移動します。

④ FIXED MODULE LABEL表示

選択したバスの FIXED MODULE LABELを表示します。

⑤ USER MODULE LABEL表示

- MAIN L/Rバスの MODULE LABEL Mainで設定された表示モードの MODULE LABELを表示します。(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ 画面」)
- MODULE LABEL Mainの表示モードが「USER」に設定されている場合にこの部分をタップすると、USER MODULE LABELおよびモジュール設定色を変更するMODULE LABEL 画面に切り換わります。(→229ページ「MODULE LABEL 画面」)
- MODULE LABEL Mainの表示モードが「PORT LABEL」、かつ PORT LABELの表示モードが「USER」に設定されている場 合(\rightarrow 132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」)にこの部 分をタップすると、このモジュールにアサインされた出力端 子のUSER PORT LABELを編集するUSER LABEL (OUTPUT PORT) 画面に切り換わります。(\rightarrow 135ページ「USER LABEL (INPUT PORT / OUTPUT PORT) 画面」) ただし、このモジュールに出力端子がアサインされていない 場合には、切り換わりません。
- ⑥ 🔳 ボタン
 - このボタンをタップすると、MAIN L/Rバスの SEND OVERVIEW メニューを表示します。

SENI	D OVERVIE		<	MAIN L/R	N	/AIN L/R	> ≡
FADER LEVEL (INPUT)	FADER LEVEL (BUS)	ON / OFF (INPUT)	ON / OFF (BUS)			Copy LEVEL	×
CH 1 -∞di	CH 2 -∞dB	CH 3 -∞dB	CH 4 -∞dB	CH 5 -∞dB	СН 6		
CH 9 -∞di	CH 10 -∞dB	CH 11 -∞dB	CH 12 -∞d8	CH 13 -∞d8	СН 14		
CH 17	CH 18 -∞d8	CH 19 -∞dB	CH 20 -∞d8	CH 21 -∞d8	CH 22	Set All 0dB	
CH 25	CH 26	CH 27 -∞dB	CH 28 -∞dB	CH 29 -∞dB	СН 30	Set All -∞dB	
CH 33 -∞di	CH 34 -∞dB	CH 35 -∞dB	CH 36 -∞dB	CH 37 -∞dB	СН 38	-∞dB -∞,	
ST IN 1	ST IN 2			FX RTN 1 0.00dB	FX RTN	2 FX RTN 3 0.00dB 0.00	FX RTN 4 0.00
							MAIN L/R MASTER LEVE 0.00

メニュー項目をタップして、MAIN L/Rバスに対する各パラメー ターの設定を変更します。(→ 223 ページ「SEND OVERVIEW メニュー」)

⑦ 画面選択ボタン

画面選択ボタンをタップして、表示する画面を切り換えます。 選択したボタンがハイライト表示になります。

ボタン	内容				
FADER LEVEL (INPUT)	CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよび FX RTN1-4 モ ジュールの FADER レベルを一覧表 示します。				
FADER LEVEL (BUS)	MIX1-22 モジュールの FADER レベ ルを一覧表示します。				
ON / OFF (INPUT)	CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよび FX RTN1-4 モ ジュールから MAIN L/R バスへのア サイン設定のオン/オフ状態を一 覧表示します。				
ON / OFF (BUS)	MIX1-22 モジュールから MAIN L/R バスへのアサイン設定のオン/オ フ状態を一覧表示します。				
SEND PAN (INPUT)	CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよび FX RTN1-4 モ ジュールから MAIN L/R バスへのパ ン/バランス設定を一覧表示しま す。				
SEND PAN (BUS)	MIX1-22 モジュールから MAIN L/R バスへのパン/バランス設定を一 皆表示します。				

⑧ FADER レベル表示

- CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよびFX RTN1-4 モジュールの FADER レベルの設定状態を一覧表示します。
- 選択枠を表示中に、対応するLCDノブ(青色で点灯)を使って、FADERレベルを調節します。

モジュール名	設定範囲	初期値	
CH1-40		on d D	
ST IN1-2	$-\infty$ dB \sim +10dB	-œub	
FX RTN1-4		0.0dB	

9 MAIN L/R MASTER LEVEL

MAIN L/Rマスターモジュールの FADER レベルを 調節します。 設定範囲:-∞dB ~ +10dB(初期値:0.0dB)

選択枠を表示中にLCDノブ8(青色で点灯)を使って調節します。

FADER レベル表示

- MIX1-22 モジュールの FADER レベルの設定状態を一覧表示 します。
- 選択枠を表示中に、対応するLCDノブ(青色で点灯)を使って、FADERレベルを調節します。

入力モジュール用 MAIN L/R アサイン状態表示/ボタン

- CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよびFX RTN1-4 モジュールから MAIN L/R バスへのアサイン設定のオン/オ フ状態を一覧表示します。
- このボタンをタップすると、MAIN L/Rバスへのアサインの オン/オフを切り換えます。
 - 選択肢:オン(初期値)、オフ

オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

12 BUS モジュール用 MAIN L/R アサイン状態表示/ボタン

- MIX1-22 モジュールから MAIN L/R バスへのアサイン設定の オン/オフ状態を一覧表示します。
- このボタンをタップすると、MAIN L/Rバスへのアサインの オン/オフを切り換えます。
 選択肢:オン、オフ(初期値)

オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

CH1-40 モ ジュール / ST IN1-2 モ ジュール / FX RTN1-4 モジュールの PAN / BAL表示

- CH1-40 モジュール、ST IN1-2 モジュールおよびFX RTN1-4 モジュールから MAIN L/Rバスへのパン/バランスの設定状 態を一覧表示します。
- 選択枠を表示中に、対応するLCDノブ(黄色で点灯)を使っ て、パン/バランスを調節します。

設定範囲:L100~C~R100(初期値:C)

^⑭ MIX1-22 モジュールの PAN / BAL表示

- MIX1-22 モジュールから MAIN L/Rバスへのパン/バランスの設定状態を一覧表示します。
- 選択枠を表示中に、対応するLCDノブ(黄色で点灯)を使って、パン/バランスを調節します。
 設定範囲:L100~C~R100(初期値:C)

設定範囲:-∞dB~+10dB(初期値:0.0dB)

SEND OVERVIEW メニュー

SEND OVERVIEW メニューの 操作

- SEND OVERVIEW画面右上の ボタンをタップすると、選択し たバスの SEND OVERVIEW メニューを表示します。
- メニュー項目をタップして、選択したバスに対する各パラメー ターの設定を一括して変更します。
- SEND OVERVIEW メニューの I ボタンまたは II ボタンをタップ すると、メニューを閉じます。

SEND OVERVIEW メニューのメニュー項目

SEND LEVEL (INPUT) \nearrow SEND LEVEL (BUS) \checkmark FADER LEVEL (INPUT)



			<	MAIN L/R	MA	IN L/R	\rightarrow	
FADER LEVEL (INPUT)	FADER LEVEL (BUS)	ON / OFF (INPUT)	ON / OFF (BUS)		Сор	y LEVEL		×
CH 1 -∞dB	CH 2 -∞dB	CH 3 -∞dB	CH 4 -∞dB	CH 5 -∞dB	CH 6 Pas			
CH 9 -œdB	CH 10 -∞dB	CH 11	CH 12 -∞dB	CH 13 -∞dB	CH 14 Und			
CH 17 -∞dB	CH 18 -∞dB	CH 19 -∞dB	CH 20 -∞dB	CH 21 -∞dB	CH 22 Set	All OdB		
CH 25	CH 26	CH 27 -∞dB	CH 28 -∞dB	CH 29 -∞dB	CH 30	All -∞dB		
CH 33 -∞dB	CH 34	CH 35	CH 36	CH 37 -∞dB	CH 38	B -∞dB		-ødB
ST IN 1	ST IN 2			FX RTN 1 0.00d8	FX RTN 2 0.00	FX RTN 3 0.00db	FX RTN 4	4 0.00dis
							MAIN L/ MASTER	R LEVEL 0.00dB

メニュー項目	内容			
Copy LEVEL	選択したバスへの SEND レベルを バッファーにコピーします。			
Paste LEVEL	バッファーにコピーした SEND レベ ルを選択したバスに 貼り付けます。			
Undo Paste LEVEL	SENDレベルの貼り付け処理を取 り消します。			
Redo Paste LEVEL	SENDレベルの貼り付け処理を再 実行します。			
Set All 0dB	選択したバスへの SEND レベルをす べて「0dB」に設定します。			
Set All –∞dB	選択したバスへの SEND レベルをす べて「−∞ dB」に設定します。			
Copy from Fader Level	選択したバスへの SEND レベルに FADER レベルをコピーします。			

メモ

- 選択したバスがMAIN L/Rバスのとき、FADERレベルの設定を 変更します。
- 選択したバスがMAIN L/Rバスのとき、メニュー項目「Copy from Fader Level」を表示しません。

ON / OFF (INPUT) / ON / OFF (BUS)



SEN	D OVERVIE			〈 MAIN L/R	ľ	MAI	N L/R		Ξ
FADER LEVE (INPUT)	L FADER LEVEL (BUS)	L ON / OFF (INPUT)	ON / OFF (BUS)			Сору	/ ON/OFF		×
CH 1 MAIN	CH 2 MAIN	CH 3 MAIN	CH 4 MAIN	CH 5 MAIN	CH 6				
CH 9 MAIN	CH 10 MAIN	CH 11 MAIN	CH 12 MAIN	CH 13 MAIN	CH 14				
CH 17 MAIN	CH 18 MAIN	CH 19 MAIN	CH 20 MAIN	CH 21 MAIN	CH 22	Set A	All ON		
CH 25 MAIN	CH 26 MAIN	CH 27 MAIN	CH 28 MAIN	CH 29 MAIN	CH 30	Set A	All OFF		
CH 33 MAIN	CH 34 MAIN	CH 35 MAIN	CH 36 MAIN	CH 37 MAIN	СН 38 М	IAIN	MAIN	M	AIN
IT IN 1 MAIN	ST IN 2 MAIN			FX RTN 1 MAIN	FX RTN M	I 2 IAIN	FX RTN 3 MAIN	FX RTN	4 AIN
								MAIN L MASTEI	/R R LE 0.

メニュー項目	内容
Copy ON/OFF	選択したバスへのアサイン設定を バッファーにコピーします。
Paste ON/OFF	バッファーにコピーしたバスへの アサイン設定を選択したバスに貼 り付けます。
Undo Paste ON/OFF	バスへのアサイン設定の貼り付け 処理を取り消します。
Redo Paste ON/OFF	バスへのアサイン設定の貼り付け 処理を再実行します。
Set All ON	選択したバスへのアサイン設定を すべて「ON」に設定します。
Set All OFF	選択したバスへのアサイン設定を すべて「OFF」に設定します。
Copy from MAIN L/R Assign	選択したバスへのアサイン設定に、 MAIN L/Rバスのアサイン設定をコ ピーします。

メモ

- 選択したバスがMAIN L/Rバスのとき、MAIN L/Rバスへのアサイン状態を変更します。
- 選択したバスがMAIN L/Rバスのとき、メニュー項目「Copy from MAIN L/R Assign」を表示しません。

PRE / POST (INPUT)

	O OVERVIE		<	FX 1		FX	1	\rightarrow	≡
SEND LEVEL (INPUT)	SEND LEVEL (BUS)	ON / OFF (INPUT)	ON / OFF (BUS)		PRE (IN	Copy	PRE/POST		×
CH 1 POST	CH 2 POST	CH 3 POST	CH 4 POST	CH 5 POST	CH 6				
CH 9 POST	CH 10 POST	CH 11 POST	CH 12 POST	CH 13 POST	CH 14				
CH 17 POST	CH 18 POST	CH 19 POST	CH 20 POST	CH 21 POST	CH 22	Set Al	I PRE		
CH 25 POST	CH 26 POST	CH 27 POST	CH 28 POST	CH 29 POST	CH 30	Set Al	I POST		
СН 33	CH 34	СН 35	СН 36	CH 37	CH 38				
ST IN 1	ST IN 2	POST	POST	POST	PC	51	POST	POS	
POST	POST								
CH MUTI PRE-SEN	E /							FX 1 INPUT LE	VEL 0.00dB

メニュー項目	内容
Copy PRE/POST	選択したバスへの PRE / POST設 定をバッファーにコピーします。
Paste PRE/POST	バッファーにコピーしたバスへの PRE / POST設定を選択したバス に貼り付けます。
Undo Paste PRE/POST	バスへの PRE / POST設定の貼り 付け処理を取り消します。
Redo Paste PRE/POST	バスへの PRE / POST設定の貼り 付け処理を再実行します。
Set All PRE	選択したバスへの PRE / POST設 定をすべて「PRE」に設定します。
Set All POST	選択したバスへのPRE / POST設 定をすべて「POST」に設定します。

SEND PAN (INPUT) / SEND PAN (BUS)

	O OVERVIE		<	MIX 11-12	Ν	ЛIX	11-12	\rightarrow	≡
SEND LEVEL (INPUT)	SEND LEVEL (BUS)	ON / OFF (INPUT)	ON / OFF (BUS)		PRE (I	Сору	PAN/BAL		×
CH1	CH 2 CH 2 CH 2	CH 3	CH 4	CH 5	СН 6				
СНЭ	CH 10 C	CH 11	CH 12	CH 13	CH 14				
CH 17	CH 18 C	CH 19	CH 20	CH 21	CH 22	Set A	ll PAN Cent	er	
CH 25	CH 26	CH 27 C	CH 28	CH 29	CH 30	Copy f	rom MAIN L/R	PAN	
сн 33	CH 34	CH 35	CH 36	CH 37	CH 38	i c	د		,
	ST IN 2			FX RTN 1 C	FX RTN	C C	FX RTN 3 C	FX RTN 4	, ,
CH MUT PRE-SEN		NK						MIX 11-1 MASTER	LEVEL 0.00dB

SEN	D OVERVIE	MODULE	<	MAIN L/R	I	IAN	N L/I	२	\rightarrow	Ξ
FADER LEVEL (INPUT)	L FADER LEVEL (BUS)	ON / OFF (INPUT)	ON / OFF (BUS)			Сору	PAN/B	AL		×
CH 1		СНЗС	CH 4 C	CH 5	CH 6					
СН 9		CH 11	CH 12	CH 13	CH 14					
CH 17	C CH 18 C	CH 19 CH 19 CH 19 CH 19	CH 20	CH 21	CH 22	Set A	II PAN (Cent	er	
CH 25	C CH 26	CH 27	CH 28	CH 29 CH 29 C	CH 30	L, C		¢		, C
СН 33	c CH 34	СН 35	СН 36	СН 37	CH 38	¥C	СН 39	ر د	CH 40	ď
ST IN 1				FX RTN 1	FX RTN	12 C	FX RTN 3	ر م	FX RTN	4 0
									MAIN L MASTER	R LEVEL 0.00ds

メニュー項目	内容
Copy PAN/BAL	選択したバスへのパン/バランス の設定をバッファーにコピーしま す。
Paste PAN/BAL	バッファーにコピーしたパン/バ ランスの設定を選択したバスに貼 り付けます。
Undo Paste PAN/BAL	バスへのパン/バランスの設定の 貼り付け処理を取り消します。
Redo Paste PAN/BAL	バスへのパン/バランスの設定の 貼り付け処理を再実行します。
Set All PAN Center	選択したバスへのパン/バランス の設定をすべて中央(C)に設定 します。
Copy from MAIN L/R PAN	選択したバスへのパン/バランス の設定に、MAIN L/Rバスのパン/ バランスの設定をコピーします。

メモ

選択したバスがMAIN L/Rバスのとき、メニュー項目「Copy from MAIN L/R PAN」を表示しません。

Mute Group機能と DCA機能

Mute Group機能

- 本機は、8 つの Mute Groupを 装備しています。
- Mute Groupでは、アサインされたモジュール 群の MUTE状態を 一括してオン/オフすることができます。
- PREFERENCES画面(→ 39 ページ「PREFERENCES画面」)の Mute Group Priorityボタンの設定により、Mute GroupのMUTE が「オン」になる前からMUTEが「オン」だったモジュールでの、 Mute GroupのMUTEを「オフ」にした際の振る舞いを選択で きます。
- PREFERENCES画面(→39ページ「PREFERENCES画面」)のMute Group LED Flashスイッチの設定がONのとき、Mute GroupによりMUTEされたモジュールでは、MUTEインジケーターが点滅します。
- Mute Groupは、以下で操作することができます。
 - Mute Group Master タブ 画面
 - Mute Group機能がアサインされたUSER KEYS / FOOTSWITCH / GPIO-IN (→ 54 ページ「USER DEFINED CONTROLS画面」)

メモ

Mute Group機能は、User Keyタブ画面の工場出荷時の設定であらかじめ以下のようにアサインされています。

• USER KEYS 1-4 (Mute | Mute Group1-4 | Mute - LIT)

DCA(Digital Control Amplifier)機能

- 本機は、8 つの DCAを装備しています。
- DCAは、アサインされたモジュール群のFADERレベルのバランスを維持したまま、レベルを一度に調節することができる機能です。例えば、DCAにアサインされた2つのモジュールのFADERレベルが「-10dB」と「-15dB」のときにDCAモジュールのFADERレベルを5dB上げると、それぞれのFADERレベルが「-10dB→-5dB」、「-15dB→-10dB」になります。この際、アサインされている各フェーダーの物理的なフェーダー位置は変わりません。
- DCAモジュールの MUTE キーは、Mute Groupと同じように動作 します。
- PREFERENCES画面(→39ページ「PREFERENCES画面」)の DCA Mute Priorityボタンの設定により、DCAのMUTEが「オン」 になる前からMUTEが「オン」だったモジュールでの、DCAの MUTEを「オフ」にした際の振る舞いを選択できます。
- PREFERENCES画面(→39ページ「PREFERENCES画面」)の Mute Group LED Flashスイッチの設定がONのとき、DCAモジュールによりMUTEされたモジュールでは、MUTEキーインジケーターが点滅します。
- DCAモジュールの SOLOキーは、Mute Groupと同じように、ア サインされたモジュール群の SOLO状態を一括してオン/オフ することができます。
- PREFERENCES画面(→39ページ「PREFERENCES画面」)の DCA Solo Priorityボタンの設定により、DCAのSOLOが「オン」 になる前からSOLOが「オン」だったモジュールでの、DCAの SOLOを「オフ」にした際の振る舞いを選択できます。
- DCAモジュールにより SOLOが「オン」になったモジュールでは、 SOLO インジケーターが点滅します。
- DCAは、DCAレイヤーまたはDCAモジュールをアサインした フェーダー/ MUTEキー/ SOLOキーで操作します。

- DCAに他のDCAをアサインすること(DCAアサインの階層化) もできます。ただし、以下のDCAアサインはできません。
 - 自分自身のアサイン(例:DCA1 への DCA1 のアサインは不可)
 - ・上位階層に位置するDCAのアサイン(例:DCA1 → DCA2
 → DCA3というDCA階層の場合、DCA2ではDCA1をアサイン不可。
 か不可。DCA3では、DCA1とDCA2をアサイン不可)
 アサインできないDCAモジュールは、モジュールボタン(④)
 エリアに枠だけで表示されます。

DCAスピルモード

DCAにアサインされたモジュール群を本機のチャンネルフェーダー やホーム 画面などに並べ、FADER レベルなどを 調整できるモード です。

メモ

- モジュール群がアサインされたDCAに対してのみ有効なモードです。
- TASCAM Sonicview Controlでは、DCAスピルモードは使用でき ません。本機のみ使用できるモードです。

DCAスピルモードをオンにする

- ホーム 画面の DCA モジュールの DCA Spill ボタンをタップする。
- 該当する DCA モジュールの SEL キーを押し続ける。



DCAスピルモードがオンのときの操作

- 対象 DCAの FADER レベルなどの 調整は、トップパネルのマス ターセクションで行います。
- 対象 DCAにアサインされたモジュール 群の FADER レベルなどの 調整は、チャンネルフェーダーやホーム 画面などで行います。

DCAスピルモードをオフにする

- トップパネルのマスターセクションの点滅しているSELキーを 押し続ける。
- DCA/Mute Group SETUP画面のDCA Assign タブ画面上部の「DCA Spill OFF」ボタンを押す。(→226ページ「DCA Assign タブ画面」)

メモ

- モジュール群の操作は、Sonicview 16 では最大 16ch、Sonicview 24 では最大 24chまでになります。
- DCAスピルモードがオンのとき、LAYERキー操作は無効になり ます。
- DCAスピルモードがオンのとき、該当DCAにアサインされたモジュール以外のMODULE面面には切り換えできません。
- DCAスピルモードがオンのとき、トップパネルのマスターセク ションのSELキーとチャンネルカラーバーが点滅します。

DCA/Mute Group SETUP画面

この画面では、DCAと Mute Groupの設定を行います。 この画面は、以下の手順で表示します。

- メニュー画面 > Mixer Setup メニュー > 「DCA / Mute Group」の タップ
- MODULE (OVERVIEW) 画面のDCAボタンおよびMUTE GROUP ボタンのタップ
- DCAモジュールのホーム 画面 DCA アサイン表示エリアのタップ
- トップパネルのMENUキーを押しながら、MUTE GroupがアサインされたUSERキーを押す

DCA Assign タブ 画面





① DCAボタン

- DCAの MODULE LABELを表示します。
 上段左側には、MODULE LABEL Subで設定したMODULE LABELを表示します。
 下段には、MODULE LABEL Mainで設定したMODULE LABEL を表示します。(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
- このボタンをタップして、アサインを変更するDCAを選択し
- ます。選択中の DCAのボタンがハイライト 表示になります。

② Snapshot Recall Safeボタン

このボタンをタップすると、選択したDCAのスナップショット リコールセーフ状態を変更します。(初期値:オフ) オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

SNAPSHOT RECALL SAFE画面の MODULE SAFE タブ画面でも設 定することができます。(→ 249 ページ「MODULE SAFE タブ 画面」)

③ モジュールタイプ 選択タブ

DCAにアサインするモジュールタイプを選択するタブボタンで す。

タップして 選択したタブボタンがハイライト 表示になります。

④ モジュールボタン

選択したDCAにアサインするモジュールを選択するボタンです。

上段左側には、MODULE LABEL Subで設定したMODULE LABELを表示します。

下段には、MODULE LABEL Mainで設定した MODULE LABEL を表示します。(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)

 このボタンをタップしてDCAにアサインすると、ボタンがハ イライト表示になります。

メモ

ホーム画面のMODULE LABEL エリアと同様に、各ボタン上段 右側の上部にMute Groupへのアサイン状態を、下部にDCAへ のアサイン状態を表示します。(→21ページ「⑰ MODULE LABEL エリア」)

⑤ CLEAR ALLボタン

このボタンをタップすると、選択したDCAの「INPUT」および 「OUTPUT/DCA」のアサイン状態をすべてクリアするか確認す るメッセージを表示します。

S DCA	' Mute Gro	up SETUP			DCA Spill OFF		×
D	CA Assign	Mute Group Assign		up Assign		CLEAR	ALL ?
DCA 1	DCA2	DCA 3	DCA 4	DCA 5	DCA 6	CANCEL	ок
IN	PUT	OUTPU	IT / DCA		🚹 Snapsho	t Recall Safe	CLEAR ALL
CH 1	CH 2 CH 2	снз СН 3	CH4 CH 4	CH 5	CH6 CH6	сн7 СН 7	CH 8
CH 9	CH 10 CH 10	CH 11 CH 11	CH 12 CH 12	CH 13 CH 13	CH 14 CH 14	CH 15 CH 15	CH 16 CH 16
CH 17	CH 18 CH 18	CH 19 CH 19	CH 20 CH 20	CH 21 CH 21	CH 22 CH 22	CH 23 CH 23	CH 24 CH 24
CH 25	CH 26 CH 26	CH 27 CH 27	CH 28 CH 28	CH 29 CH 29	CH 30 CH 30	CH 31	CH 32 CH 32
CH 33	CH 34 CH 34	CH 35 CH 35	CH 36 CH 36	CH 37 CH 37	CH 38 CH 38	CH 39 CH 39	CH 40 CH 40
ST IN 1	ST IN 2			FX RTN 1 FX RTN 1	FX RTN 2	FX RTN 3 FX RTN 3	FX RTN 4

OKボタンをタップすると、アサイン状態をすべてクリアにしま す。

⑥ DCA Spill OFFボタン

このボタンは、DCAスピルモードがオンのときにのみ表示され ます。

このボタンをタップして、DCAスピルモードをオフにします。



① MuteGrp ボタン

- Mute Groupの MODULE LABELを表示します。
 上段左側には、MODULE LABEL Subで設定したMODULE LABELを表示します。
 下段には、MODULE LABEL Mainで設定したMODULE LABEL を表示します。(→ 132 ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
- このボタンをタップして、アサインを変更する Mute Group を選択します。

選択中の Mute Groupのボタンがハイライト表示になります。

② Snapshot Recall Safe ボタン

このボタンをタップすると、選択したMute Groupのスナップ ショットリコールセーフ状態を変更します。(初期値:オフ) オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

③ モジュールタイプ選択タブ

Mute Groupにアサインするモジュールタイプを選択するタブボ タンです。

タップして選択したタブボタンがハイライト表示になります。

④ モジュールボタン

 選択したMute Groupにアサインするモジュールを選択する ボタンです。
 上段左側には、MODULE LABEL Subで設定したMODULE

LABELを表示します。 下段には、MODULE LABEL Mainで設定したMODULE LABEL

を表示します。(→132ページ「DISPLAY MODEタブ画面」)

● このボタンをタップして Mute Groupにアサインすると、ボ タンがハイライト表示になります。

メモ

ホーム画面のMODULE LABELエリアと同様に、各ボタン上段 右側の上部にMute Groupへのアサイン状態を、下部にDCAへ のアサイン状態を表示します。(→21ページ「⑰ MODULE LABELエリア」)

⑤ CLEAR ALLボタン

このボタンをタップすると、選択したDCAの「INPUT」および 「OUTPUT/DCA」のアサイン状態をすべてクリアするか確認す るメッセージを表示します。

S DCA	/ Mute Gro	up SETUP					×
D	CA Assign		Mute Gro	up Assign		CLEAR	ALL ?
Mute Group 1	Mute Group 2	Mute Group 3	Mute Group 4	Mute Group 5	Mute Group 6	CANCEL	ок
Mutearpi	Mutedipz	Muteurps	Mutearp4	Mutedips	Muteon		
IN	PUT	ουτρυ	IT / DCA		Snapsno	t Recall Safe	CLEAR ALL
CH 1	CH 2	CH 3	CH 4	CH 5	CH 6	CH 7	CH 8
CH 1	CH 2	CH 3	CH 4	CH 5	CH 6	CH 7	CH 8
CH 9	CH 10	CH 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	CH 16
CH 9	CH 10	CH 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	CH 16
CH 17	CH 18	CH 19	CH 20	CH 21	CH 22	CH 23	CH 24
CH 17	CH 18	CH 19	CH 20	CH 21	CH 22	CH 23	CH 24
CH 25	CH 26	CH 27	CH 28	CH 29	CH 30	CH 31	CH 32
CH 25	CH 26	CH 27	CH 28	CH 29	CH 30	CH 31	CH 32
CH 33	CH 34	CH 35	CH 36	CH 37	CH 38	CH 39	CH 40
CH 33	CH 34	CH 35	CH 36	CH 37	CH 38	CH 39	CH 40
ST IN 1	ST IN 2			EX RTN 1	FX RTN 2	FX RTN 3	FX RTN 4
ST IN 1	ST IN 2			FX RTN 1	FX RTN 2	FX RTN 3	FX RTN 4

OKボタンをタップすると、アサイン状態をすべてクリアにしま す。

Mute Group Master タブ 画面



① Mute Group名表示

- Mute Groupの MODULE LABELを表示します。
 上段左側には、MODULE LABEL Subで設定したMODULE LABELを表示します。
 下段には、MODULE LABEL Mainで設定したMODULE LABEL
 を表示します。(→132ページ「DISPLAY MODE タブ画面」)
- この部分をタップすると、選択したMute GroupのUSER MODULE LABELとモジュール設定色を変更するMODULE LABEL画面に切り換わります。(→229ページ「MODULE LABEL画面」)

② Mute Group アサイン一覧

Mute Groupにアサインされているモジュールの FIXED MODULE LABELと USER MODULE LABELを一覧表示します。

③ MUTEボタン

Mute Groupの Master MUTEボタンです。(初期値:OFF) このボタンをタップして、オン/オフを切り換えます。 オンのとき、ボタンがハイライト表示になり、この Mute Group にアサインされたモジュールが MUTEされます。 この際、Mute Groupにより MUTEされたモジュールの MUTE キーは、点滅表示します。

メモ

Mute Group機能は、User Defined Control機能によりUSER KEYSやFOOTSWITCH、GPIO-INで操作できます。(→54ペー ジ「USER DEFINED CONTROLS画面」)

Mute GroupのMUTEは、User Keyタブ画面の工場出荷時の設 定であらかじめ以下のようにアサインされています。

• USER KEYS 1-4 (Mute | Mute Group1-4 | Mute - LIT)

MODULE LABEL画面

この画面では、以下の設定を行います。

- 各画面に表示する USER MODULE LABELの登録/編集。
- 各画面の MODULE LABELの 背景に表示するモジュール 設定色、 およびチャンネルカラーバーの 点灯色の変更。
- チャンネル画面に表示するモジュールアイコンの設定。
- Mute GroupのUSER MODULE LABELの登録 /編集、Mute Groupのモジュール設定色の変更。



[CH1 モジュールの MODULE LABEL画面]



[DCA1 モジュールの MODULE LABEL画面]



[Mute Group モジュールの MODULE LABEL画面]

① キーボード入力表示エリア

- 編集するUSER MODULE LABELを表示します。この画面の キーボードボタンやトップパネルのUSB端子に接続したUSB キーボードで表示された文字列を編集します。
- カラーパレット表示・アイコン選択表示のときにこのエリア をタップすると、キーボード表示エリア(④)がキーボー ド表示に切り換わります。

② COLORボタン

このボタンをタップすると、モジュール設定色を変更するカラー パレット表示に切り換わります。(→231ページ「モジュール 設定色の変更方法」)



③ ICONボタン

このボタンをタップすると、各モジュールのチャンネル 画面に 表示するアイコンを設定するアイコン選択表示に切り換わりま す。(→232 ページ「モジュールアイコンの設定方法」)



④ キーボード表示エリア

- このエリアのキーボードボタンをタップして、キーボード入 力表示エリアに表示されたUSER MODULE LABELを編集し ます。
- Copyボタンをタップすると、キーボード入力表示エリアに 表示された文字列をコピーバッファーにコピーします。
- Pasteボタンをタップすると、コピーバッファーにある文字 列を、キーボード入力表示エリアに貼り付けます。

USER MODULE LABELの登録/編集方法

USER MODULE LABELの登録/編集を行います。

メモ

USER MODULE LABELは、初期状態では設定されていません。

- LABEL SETUP画面のMODULE LABELタブ画面/MODULE画面/SEND OVERVIEW画面/MIXER CONFIG画面/各LIBRARY 画面のUSER MODULE LABEL表示(DCAモジュールの場合はホーム画面のMODULE LABELエリア、MUTE GROUPの場合はMute Group Master タブ画面のMute Group名表示エリア)をタップして、MODULE LABEL画面に切り換えます。
- MODULE LABEL画面のキーボードのボタンをタップして、 USER MODULE LABELを入力します。 USER MODULE LABELは、最大8文字です。

メモ

MODULE LABEL画面のキーボードの Caps lock ボタンと Shift ボ タンの設定状態によって、入力できる文字の組み合わせを変更 することができます。キーボードの変更方法については、230 ページ「キーボードの変更方法」をご参照ください。



3. 入力した文字が即座に各画面のUSER MODULE LABEL /チャ ンネル画面のUSER MODULE LABELの表示に反映されます。

сн 5

сн **б**

сн **7**

8

сн 4

СН 3

сн 2

Mic-1



CH1	CH 2	СНЗ	CH 4	CH 5	CH 6	CH7	CH 8
SEND/PAN	SEND/PAN	SEND/PAN	SEND/PAN	SEND/PAN	SEND/PAN	SEND/PAN	SEND/PAN ASGN
MIX 4 -00 dB	MIX 4 -∞dB	MIX 4	MIX 4	MIX 4 -∞dB	MDX 4 -∞dB	MIX 4 -∞dB	MIX 4 -∞ dB
MIX 3 -00 dB	MDX 3 -00 dB	MIX 3 -∞dB	MDX 3 -00 dB	MIX 3 -œda	MDX 3 -00 dB	MIX 3 -∞d8	MDX 3 -00 dB
-00dB	MIX 2 -00 d8	MLX 2 -00 d8	-00 dB	-00dB	MIX 2 -00 d8	-00 dB	-00 dB
MIX 1 -cods	MIX 1 -00 dB	MIX 1 -00 dB	MIX 1 -00 dB	MIX 1 -codB	MIX 1 -00 dB	MIX 1 -00 dB	MIX 1 -00 dB
			COMP OFF	40 0000	COMP		COMP OFF
		GATE OFF EQ OFF	GATE OFF EQ OFF	3 OFF	GATE OFF EQ OFF	GATE OFF EQ OFF	GATE OFF EQ OFF
+12 F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 F = 12 F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 F = 12 F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 F = 12 F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> F = 12 <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" p=""> <pf 12<="" =="" th=""><th>P PAD 45V</th><th>PAD 45V</th><th>PAD 45V</th><th>+12 + PAD 45V</th><th>PAD 45V</th><th>PAD 45V</th><th>PAD 45V</th></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf></pf>	P PAD 45V	PAD 45V	PAD 45V	+12 + PAD 45V	PAD 45V	PAD 45V	PAD 45V
			AITALOG 4				ANALOGO

4. MODULE LABEL画面のキーボードの Enter ボタンをタップする と、右隣のモジュールの MODULE LABEL画面に移動します。

注意

以下の記号や句読点は、入力できません。

¥ /:*?"<> |

メモ

- トップパネルのUSB端子に接続したUSBキーボードを使って文字を入力/編集することもできます。
- USER MODULE LABELが表示エリアに表示しきれない場合は、末尾を省略して表示します。末尾が数字の場合は、数字を最大2文字残して省略表示します。

キーボードの変更方法

Caps lock ボタンと Shift ボタンの設定状態によって、入力できる 文字の組み合わせが下記のようになります。

メモ

Shiftボタンは、1文字入力すると自動的にオフになります。

● 数字と小文字を入力したい場合の設定

Capslockボタン	オフ
Shiftボタン	オフ

о мори	ILE LABEL		<	СН 1		CH 1		> ≡
						COLOR		ICON
1 2	3	4 5	6	7	8 !	0	•	×
q	w e	r	t y	u	ľ	o p		Delete
Caps a lock	s	d f	g	hj	j	k I	[1
Shift	z	x c	v	b	n	m,	·	-
Сору	Paste S	pace				► Er	nter	

● 数字と大文字を入力したい場合の設定

Caps lock ボタン	オン(ハイライト表示)
Shiftボタン	オフ



● 記号と小文字を入力したい場合の設定

Caps lock ボタン	オン(ハイライト表示)
Shiftボタン	オン(ハイライト表示)



● 記号と大文字を入力したい場合の設定





モジュール設定色の変更方法

各画面のMODULE LABELの背景に表示するモジュール設定色、お よびチャンネルカラーバーの点灯色を変更します。 工場出荷時のモジュール設定色は、以下の通りです。

CH1-40	青
STIN1-2	青
FXRTN1-4	緑
BUSモードが「AUX」のMIX	オレンジ
BUSモードが「GROUP」のMIX	紫
MAIN L/R	赤
DCA	黄色
Mute Group	赤

- LABEL SETUP画面のMODULE LABELタブ画面/MODULE画面/SEND OVERVIEW画面/MIXER CONFIG画面/各LIBRARY 画面のUSER MODULE LABEL表示(DCAモジュールの場合はホーム画面のMODULE LABELエリア、MUTE GROUPの場合はDCA/Mute Group SETUP画面のMute Group Masterタブ 画面のMute Group名表示エリア)をタップして、MODULE LABEL画面に切り換えます。
- MODULE LABEL画面のCOLORボタンをタップして、カラーパレット表示に切り換えます。



3. カラーパレット表示の色をタップして、モジュール設定色を 変更します。

各画面のMODULE LABELの背景色およびチャンネルカラー バーの点灯色が変更されます。





メモ

MODULE LABEL画面のキーボード入力表示エリアをタップする と、キーボード表示に戻ります。

モジュールアイコンの設定方法

各モジュールのチャンネル画面に表示するアイコンを設定します。

メモ

モジュールアイコンは、初期状態では設定されていません。

- MODULE画面/ SEND OVERVIEW画面/ MIXER CONFIG画面/ 各LIBRARY画面のUSER MODULE LABEL表示(DCAモジュー ルの場合はホーム画面のMODULE LABELエリア)をタップし て、MODULE LABEL画面に切り換えます。
- MODULE LABEL画面のICONボタンをタップして、アイコン選 択表示に切り換えます。



 アイコン選択エリアのアイコンをタップして、表示するアイ コンを設定します。

MODULE LABEL画面およびチャンネル画面に設定したアイコンが表示されます。



メモ

- ・ 画面に表示されていないアイコンを選択するには、アイコン 選択エリアを上下にスワイプして画面をスクロールします。 また、画面左端にあるアイコンのカテゴリー名をタップする ことで、画面をスクロールすることもできます。
- MODULE LABEL画面のキーボード入力表示エリアをタップ すると、キーボード表示に戻ります。

AUTO MIXER機能

AUTO MIXERについて

- ●本機には、ゲインシェアリング方式(ゲインを分け合って音量 を一定にする方式)のスピーチ向けAUTO MIXERを搭載してい ます。
- 本機のAUTO MIXERでは、各マイク入力とすべてのマイク入力の和を比較し、「マイク入力が1つのとき」と「マイク入力が 複数のとき」でAUTO MIXERからの出力レベルの総和が等しくなるように、各マイク入力のAUTO MIXERのGAIN レベルを自動調整します。
- WEIGHT値の設定により、特定のチャンネルのレベルを大きめ にミックスする / 小さめにミックスするなど、各チャンネルの バランスを整えることができます。これによりゲインの配分が 変わりますが、AUTO MIXERからの出力レベルの総和は変わり ません。
- 4 つの AUTO MIXER グループ(A/B/C/D)により、グループごと に最大 4 種類のミックスを独立して 作ることができます。

メモ

- AUTO MIXERは、CH1-16 モジュールのFADER / MUTEの直後 (=POST FADER) に搭載されています。そのため、モニター送 りのような PRE SEND信号には影響しません。
- MIXバス/FXバスへのPOST SEND信号は、AUTO MIXER後の信号となります。



[AUTO MIXER付近のブロック図抜粋]

- 本機のAUTO MIXERは、会議などのスピーチ向けの機能です。
 楽器や音楽向けではありませんのでご注意ください。
- AUTO MIXERの設定は、Snapshot対象です。

AUTO MIXER機能を使うための準備/手順

- AUTO MIXER機能全体をOFFにした状態で以下のように設定 します。
 - AUTO MIXER対象のマイクのPre Amp GAINを整え、マイ クの音量をそろえます。
 - AUTO MIXER対象チャンネルのFADERを 0dB/MUTEを OFFに設定します。

2. AUTO MIXER対象のマイクがアサインされたチャンネルのグ ループ設定をAUTO MIXERグループ(A/B/C/D)のいずれかに 設定します。(→ 238 ページ「④ チャンネルのグループアサ インボタン」)

AUTO MIXER対象外のマイクがアサインされたチャンネルのグ ループ設定を「---」に設定します。

- 手順2で選択したグループのAUTO MIXER機能をONに設定します。(→236ページ「⑪ グループのAUTO MIXER機能のON / OFFボタン」)
- AUTO MIXER機能全体を「ON」に切り換えます。(→ 235 ページ「⑤ AUTO MIXER機能全体の ON / OFF ボタン」)

AUTOMATIC MIXER画面

この画面では、CH1-16 モジュールに搭載されたAUTO MIXER機能の設定を行います。

S AUTO	OMATIC M	IXER 🗲	DUAL SCREEN	WEIGHT	B CONTROL	EASE	Ξ
MET INPUT & C	ER DUTPUT		GAIN & W	EIGHT	OFF GRP	AU MI	TO XER OFF
1 2 3 A A A	4 5 6 7 A A A A	8 9 10 A A A	11 12 13 14 A A A A		CON CON CONTRACTOR CON CONTRACTOR CON CONTRACTOR CONTRA	GRP C N RITY FF	
CH9 GROUP TOP A PRIORITY GAIN WEIGHT 3- 	CH 10 GROUP TOP A PRIORITY GAIN WHICHI J. J. J. J. J. J. J. J. J. J.	CH 11 GROUP TOP A PRIORITY GAIN WEIGHT 	CH 12 GROUP TOTA A PRIORITY GAIN VIIGHT 	CH 13 GROUP TOP A PRIORITY GAIN WEIGHT 4 	CH 14 GROUP PRIORITY GAIN WEIGHT d- d- d- d- d- d- d- d- d- d-	CH 15 GROUP TOP A PRIORITY GAIN WEIGHT 	CH 16 GROUP TOT A PRIORITY GAIN VIIOH 15- 15- 15- 15- 15- 15- 15- 15-

AUTOMATIC MIXER画面の表示手順

この画面は、以下の手順で表示します。

- メニュー画面 > Mixer Setup メニュー > 「Automatic Mixer」の タップ
- ●ホーム画面のSENDエリアにAUTO MIXERパラメーターを表示 しているときのAUTO MIXER GROUPボタンをタップ



● CH1-16 モジュールの MODULE (OVERVIEW) 画面にある AUTO MIXERボタンのタップ



AUTOMATIC MIXER画面の内容説明



[AUTOMATIC MIXER画面 LCD ノブ操作対象:WEIGHT時]

① DUAL SCREEN ボタン

- < ボタンまたは → ボタンをタップすると、矢印の方向の タッチスクリーンにAUTOMATIC MIXER画面が追加で表示 されます。これにより、AUTO MIXER対象のCH1-16 全体の AUTO MIXERの設定や動作状況を2つのタッチスクリーンで 同時に操作/確認できるようになります。

② ノブ操作対象の選択ボタン

このボタンをタップして、AUTOMATIC MIXER画面の下部に表示されるLCDノブの操作対象を切り換え、対応するLCDノブを 使って表示中のパラメーターを調整します。 選択されたボタンがハイライト表示になります。

ボタン名	機能
WEIGHT(初期値)	各チャンネルのWEIGHT値を調整 します。
LO CUT & RELEASE	各グループのLO CUTと RELEASE TIMEを調整します。

メモ

チャンネル設定表示部(⑬)のGAINレベルメーター(⑥)およびWEIGHT設定値インジケーター(⑥)のエリアをタップすることでも、ノブ操作対象を切り換えることができます。



[AUTOMATIC MIXER画面LCDノブ操作対象:LO CUT&RELEASE時]

③ TOP PRIORITYのON / OFFボタン

- TOP PRIORITY対象に選択されたグループの優先度を操作するボタンです。
- このボタンをタップして、TOP PRIORITY設定のON / OFF を切り換えます。(初期値:OFF)

注意

PREFERENCES画面のAuto Mixer Priority Inhibit設定(初期 値:ON、41ページ「塗 Auto Mixer Priority Inhibitスイッ チ」)が「ON」のとき、このボタンは操作できません。

- ONのとき、TOP PRIORITY対象に選択されたグループの優先 度が上がり、それ以外のグループにアサインされたチャンネ ルはMUTEされます。この際、このボタンと以下の「TOP」 のアイコンがハイライト表示になります。
 - TOP PRIORITY対象表示の「TOP」のアイコン (→ 236 ページ「⑩ TOP PRIORITY対象表示」)
 - このグループにアサインされたチャンネルのグループア サインボタンの「TOP」のアイコン(→238ページ「④ チャンネルのグループアサインボタン」)





[AUTOMATIC MIXER画面 LCD ノブ操作対象:WEIGHT時]

④ TOP PRIORITYのグループ選択ボタン

- TOP PRIORITYの ON/OFF ボタンにより優先度を上げるグ ループを選択します。
- 選択中の TOP PRIORITY対象のグループ名を表示します。
- このボタンをタップすると、TOP PRIORITY対象のグループ
 を選択するウィンドウを表示します。



選択肢をタップして、TOP PRIORITY対象のグループを選択 します。(初期値:A)

⑤ AUTO MIXER機能全体のON / OFFボタン

- AUTO MIXER機能全体の ON / OFFを切り換えます。(初期値: OFF)
- このボタンをタップすると確認メッセージを表示します。



ONまたはOFFボタンをタップすると、ON / OFFを切り換 えます。

- CANCELボタンをタップすると、確認メッセージを閉じます。
- ONのとき、ボタンがハイライト表示になります。
- OFFのとき、全モジュールのすべてのAUTO MIXERパラメー ターが暗い色で表示されます。



[AUTOMATIC MIXER画面 LCD ノブ操作対象: LO CUT&RELEASE時]

⑥ 🔳 ボタン

このボタンをタップすると、選択したAUTOMATIC MIXER画面 のメニューを表示します。

メニューの 図 ボタンまたは 回 ボタンをタップすると、メニュー を 閉じます。



メニュー項目のResetボタンをタップすると、AUTO MIXER機能 の設定をリセットする(工場出荷時の設定に戻す)かどうかの 確認メッセージを表示します。



RESETボタンをタップすると、AUTO MIXER機能を工場出荷時 の設定に戻します。 CANCELボタンをタップすると、確認メッセージを閉じます。



[AUTOMATIC MIXER画面 LCD ノブ操作対象:WEIGHT時]

⑦ メーター/インジケーター表示選択タブ

メーター/インジケーター表示部(⑧)の表示モードを選択す るタブボタンです。

タップして選択したタブボタンがハイライト表示になります。

メーター/インジ ケーター表示モード	表示内容	
METER INPUT&OUTPUT (初期値)	AUTO MIXERの入出力レベルメーター を表示します。 各チャンネルの左側は、各チャンネル から AUTO MIXERへの入力レベルを黄 色のメーターで表示します。 各チャンネルの右側は、各チャンネル の AUTO MIXERからの出力レベルを黄 緑色のメーターで表示します。	
GAIN & WEIGHT	AUTO MIXERの GAIN レベルメーターと WEIGHT設定値インジケーターを表示 します。 各チャンネルの左側は、AUTO MIXER により 自動的に制御された各チャンネ ルの GAIN レベルメーターを赤色で表 示します。 各チャンネルの右側は、各チャンネル の WEIGHT設定値インジケーターを水 色で表示します。	

⑧ メーター/インジケーター表示部

AUTO MIXERの入出力レベルや設定状態を示す16 チャンネル 分のメーター/インジケーターを一覧表示します。 表示内容の切り換えは、メーター/インジケーター表示選択タ ブ(⑦)をタップして切り換えます。また、この部分をタップ して、チャンネル設定表示部(⑬)の操作対象のチャンネルを 切り換えます。

選択したチャンネル操作対象表示がハイライト表示になり、チャ ンネル設定表示部(⑬)に表示されます。(初期値:CH1-8)

⑨ グループアサイン状態表示部

- 各チャンネルのグループアサイン状態を表示します。
- 選択したグループに応じた背景色で表示されます。
- グループのAUTO MIXER機能がOFFのときには、暗い色で表示されます。



[AUTOMATIC MIXER画面LCDノブ操作対象:LO CUT&RELEASE時]

10 TOP PRIORITY対象表示

TOP PRIORITY対象として選択されたグループの場合、グルー プ名の右側に「TOP」のアイコンが表示されます。 TOP PRIORITY設定がONのとき、「TOP」のアイコンがハイライ ト表示になります。

グループのAUTO MIXER機能のON / OFFボタン

- 各グループのAUTO MIXER機能のON / OFFを切り換えます。 (初期値:ON)
- このボタンをタップすると、確認メッセージを表示します。



ONまたはOFFボタンをタップすると、ON / OFFを切り換 えます。

CANCELボタンをタップすると、確認メッセージを閉じます。

- ONのとき、ボタンがハイライト表示になります。
- OFFのとき、このグループにアサインされたチャンネルの AUTO MIXERパラメーターが暗い色で表示されます。



[AUTOMATIC MIXER画面 LCD ノブ操作対象:WEIGHT時]

① グループ PRIORITY設定の ON / OFF ボタン

各グループの PRIORITY設定の ON / OFFを 切り 換えます。(初 期値:OFF)

注意

PREFERENCES画面のAuto Mixer Priority Inhibit設定(初期値: ON、41 ページ「²⁰ Auto Mixer Priority Inhibit スイッチ」)が 「ON」のとき、このボタンは操作できません。

ONのとき、ボタンがハイライト表示になって、グループ内でチャ ンネル PRIORITY設定が「ON」のチャンネルの優先度が上がり、 グループ内でチャンネル PRIORITY設定が「OFF」のチャンネル はMUTEされます。

また、チャンネル PRIORITY設定の ON / OFF ボタン (⑧) のうち、 以下の状態のボタンがハイライト表示になります。

- グループPRIORITY設定のON / OFFボタン(12)と同一グ ループ
- ●「ON」に設定されている





[AUTOMATIC MIXER画面LCDノブ操作対象:LO CUT&RELEASE時]





[AUTOMATIC MIXER画面 LCD ノブ操作対象:WEIGHT時]

1③ チャンネル設定表示部

- 各チャンネルの AUTO MIXER設定を表示します。
- 選択したグループに応じた背景色で表示されます。
- グループのAUTO MIXER機能がOFFのときには、暗い色で表示されます。



[AUTOMATIC MIXER画面LCDノブ操作対象:WEIGHT時]

④ チャンネルのグループアサインボタン

- 各チャンネルは4つのAUTO MIXERグループ(A/B/C/D)にアサインできます。グループごとに最大4種類のミックスを独立して作ることができます。
- 選択したグループ名を表示します。
- 選択したグループに応じてチャンネル設定表示部の色 が変わります。
- ボタンを選択した場合は、AUTO MIXER対象外となり、「---」を表示します。
- TOP PRIORITY対象として選択されたグループの場合、 グループ名の左側に「TOP」のアイコンが表示されま す。TOP PRIORITY設定がONのとき、この「TOP」ア イコンがハイライトになります。
- この部分をタップすると、チャンネルのグループをア サインするウィンドウを表示します。



[AUTOMATIC MIXER画面LCDノブ操作対象:LO CUT&RELEASE時]



選択肢をタップして、チャンネルの対象グループを選 択します。(初期値:A)

 ⑧ チャンネル PRIORITY設定の ON / OFF ボタン グループ PRIORITY設定の ON / OFF ボタンを ONにする ことにより 優先度を上げるチャンネルを 選択します。 このボタンをタップして、各チャンネルの PRIORITYの ON / OFFを切り換えます。(初期値:OFF) ONのとき、このボタンの色が以下のようになります。

該当するチャンネルがアサイン されたグループ PRIORITY ボタ ンの設定	ボタン色
ON	ハイライト 表示
OFF	くすんだ水色表示

メモ

PREFERENCES画面のAuto Mixer Priority Inhibit設定(初期 値:ON、41ページ「塗 Auto Mixer Priority Inhibitスイッ チ」)が「ON」のとき、このボタンは操作できません。

⑥ GAIN レベルメーター

AUTO MIXER機能により自動調整された GAIN レベルを表示します。

① GATE インジケーター

AUTO MIXER内の該当チャンネルのGATEが閉じているか どうかを示すインジケーターです。

AUTO MIXERへの入力レベルが-90dB以下でGATEが閉じ ているときに点灯、AUTO MIXERへの入力レベルが-84dB 以上でGATEが開いているときに消灯します。

① WEIGHT設定値インジケーター

WEIGHTノブ(①)で設定したWEIGHT値を中央から上下に延びるインジケーターで表示します。

メモ

GAIN レベルメーター(①)および WEIGHT設定値インジケー ター(①)のエリアをタップすることで、ノブ 操作対象を 切り 換えることができます。



[AUTOMATIC MIXER画面 LCD ノブ操作対象:WEIGHT時]

⑭ ノブ操作エリア

LCD ノブ 操作対象:WEIGHT時

タエレンラルの WECUT値も 部ウトキオ

AUTO MIXERの各種パラメーターを、対応するLCDノブで操作 します。

CH 1	CH 2	CH 3	CH 4
GROUP TOP A	GROUP B OFF	GROUP C	GROUP D OFF
PRIORITY	PRIORITY	PRIORITY	PRIORITY
GAIN WEIGHT 	GAIN WEIGHT 0- +15 -3 -6 -9 -12 -15- dB -15- dB	GAIN WEIGHT 	GAIN WEIGHT

① WEIGHTノブ

同時に複数の人が話している場合の、同一AUTO MIXER グループ内でのゲイン配分量の設定です。

WEIGHT値の設定によりゲインの配分が変わりますが、 AUTO MIXERからの出力レベルの総和は変わりません。 ノブ操作対象選択ボタン(②)で「WEIGHT」が選択さ れているときに、対応するLCDノブ(水色で点灯)を使っ

て各チャンネルのWEIGHT値を調整します。

設定範囲:-15dB~+15dB(初期值:0dB)

メモ

単独で話している際の音量には影響しません。

設定例

- 重要な話者のチャンネルは、WEIGHT値を上げる。
- 聴こえにくいチャンネルは、WEIGHT値を上げる。
- 他より大きく聴こえるチャンネルは、WEIGHT値を下げる。



[AUTOMATIC MIXER画面LCDノブ操作対象:LO CUT&RELEASE時]

LCD ノブ 操作対象:LO CUT & RELEASE時

各グループのLO CUTと RELEASE TIMEを設定します。



🛈 LO CUT

AUTO MIXERの音量判定に使う信号に対するグループご とのローカットフィルターです。声とは関係ない周囲ノ イズによる影響でAUTO MIXERのゲインが変動してしま うことを抑える目的で使用します。

- ⑥ -1:LO CUT オン/オフボタン
 - 各グループのLO CUTのオン/オフを切り換えるボタ ンです。(初期値:オフ)

ノブ操作対象選択ボタン(②)で「LO CUT & RELEASE」が選択されているときに、このボタンをタッ プして切り換えます。

- オンのとき、ボタンがハイライト表示になります。
- ⑥ 2:LO CUT ノブ

各グループのLO CUTのカットオフ周波数を調整しま す。

ノブ操作対象選択ボタン(②) で「LO CUT & RELEASE」が選択されているときに、LCDノブ 1/3/5/7 (オレンジ/ピンク/紫/黄緑で点灯)を使って グループごとに調整します。

設定範囲:125Hz~4.00kHz(初期値:125Hz)

① RELEASE ノブ

話者が複数人から一人になった際などのタイミングで、 抑えられていたGAINレベルを元に戻すまでの時間をグ ループごとに調整します。

ノブ操作対象選択ボタン(②)で「LO CUT & RELEASE」 が選択されているときに、LCDノブ 2/4/6/8(オレンジ/ ピンク /紫 /黄緑で点灯)を使って各グループの RELEASE TIMEを調整します。

設定範囲:5ms~1.00s(初期值:500ms)

グループのAUTO MIXER機能のOFF表示

グループの AUTO MIXER機能の ON / OFF ボタンが OFFの とき、「OFF」と表示されます。

第8章 設定データの保存/呼び出し

Snapshot機能

本機のミキサー設定をSnapshotとして名前を付けて保存し、いつ でも呼び出すことができます。

Snapshotリスト画面から呼び出すほかに、USER KEYSや FOOTSWITCH、GPIO-INを使って呼び出すこともできます。 Snapshotには、以下の情報が含まれます。

メモ

INPUT SOURCEのINPUT A / INPUT Bの設定は、Ver 2.2.0 にて追加された機能です。そのため、これより前のバージョンでSTOREしたSnapshotをRECALLした場合は、以下のようになります。

- 旧バージョンの入力ルーティング設定は、INPUT Aのルーティング設定として RECALLされます。
- INPUT Bのルーティング、INPUT A / INPUT Bボタンの切り換えの設定は、RECALL前の状態を維持します。

入出力設定

- ルーティング設定(INPUT、OUTPUT)
- 内蔵オシレーター入力のオン/オフ
- アナログゲイン
- パッドのオン/オフ
- ファンタム 電源のオン/オフ
- フェーズボタン設定
- デジタルトリム値の設定
- ダイレクトアウト信号の設定(オン/オフ、TRIM、ルーティング)
- インサート入出力の設定(オン/オフ、ポイント、ルーティング)
- バスアサイン設定(MIX バス、MAIN バス)
- マウントされた SB-16Dのアナログゲイン、パッドのオン/オフ、 ファンタム電源のオン/オフ

信号処理設定

- HPFパラメーター
- EQ パラメーター
- GEQ パラメーター
- ダイナミクスパラメーター
- デジタルディレイ(ディレイタイム、オン/オフ、ポイント)
- エフェクトパラメーター
- バスセンド設定(レベル、プリ/ポスト、パン/バランス)
- パン/バランス設定、イメージ、MODE
- フェーダー/ MUTE設定

その他モジュール 設定

- DCA / MUTEグループ設定
- ステレオリンク 設定
- バスモード 設定(AUX / GROUP)
- メーターリングポイント 設定
- USER MODULE LABEL・モジュール 設定色・アイコン 設定
- LABEL SETUP画面設定
- MODULE (OUTPUT) 画面の SELECT PORT LABEL モードの 設定
- AFV設定
- AUTO MIXER設定

その他設定

- 内蔵オシレーター設定(オン/オフ、アサイン、レベル、タイプ、 周波数)
- トークバック設定(ファンタム電源のオン/オフ、デジタルト リム値)
- レイヤー設定(レイヤーキーアサイン、カスタムレイヤーアサイン、アプリケーション用カスタムレイヤー名)
- USER DEFINED CONTROLS設定
- 各種表示器の輝度設定

これらの設定情報が保存されます。

さらにSnapshotをRECALLしたときに、特定のパラメーターが変化しないように保護することができます(例えば、SnapshotをRECALLしたときにルーティングは変更したくない場合など)。

メモ

- 下記信号をアサインした出力端子は、Snapshot Recallで設定が 変更されません。
 - ・ SOLO DIRECT OUT L/R (→ 96 ページ「③ OUTPUTボタン」)
 - TB to EXT 1/2 (→ 86 ページ「⑭ EXT 1 OUTボタン / EXT 2 OUTボタン」)
 - MONITOR 1 DIRECT OUT L/R (→94 ペ ー ジ「⑥ Direct OUT PORTボタン (MONITOR 1)」)
 - MONITOR 2 DIRECT OUT L/R (→ 95 ペ ー ジ「⑦ Direct OUT PORTボタン (MONITOR 2)」)
 - ・ MONITOR 2 OUT L/R (→ 95 ペ ー ジ「⑩ OUTPUT PORT ボタン (MONITOR 2)」)

そのため、Snapshot Recall後に下記の出力ルーティングが変 更されない場合があります。

- MIX 1-22
- MAIN L/R
- CH1-40 Direct OUT
- Insert Send

MAIN L/Rのルーティングが影響を受ける例)

「MON 2 OUT L/R → ANALOG OUT 15/16」 というルーティング設定の状態で 「MAIN L/R OUT → ANALOG OUT 15/16」 というルーティング設定の Snapshotを Recallした場合

「MAIN L/R OUT → ANALOG OUT 15/16」 という設定は Recallされず 「MON 2 OUT L/R → ANALOG OUT 15/16」 という設定が維持される。

• DCAスピルモード中にSnapshot Recallを実施した場合、DCA スピルモードは解除されます。

メニュー画面上部でのSnapshot機能の操作

Snapshot機能の操作は、メニュー画面のSnapshot機能項目表示エリアまたはSnapshotリスト画面にて行います。

ここでは、Snapshotのデータを保存する各エリアを「スロット」 「データスロット」と呼びます。



① Snapshot番号

- STORE / RECALL対象のSnapshot番号を表示します。カレントSnapshot(最後にSTORE / RECALLしたSnapshot)と一致していないときは、点滅表示します。
- この部分をタップすると、Snapshotリスト画面を表示します。(→245ページ「Snapshotリスト画面」)

② Snapshot名表示部

- STORE / RECALL対象のSnapshot名を表示します。カレントSnapshot(最後にSTORE / RECALLしたSnapshot)と一致していないときは、点滅表示します。
- この部分をタップすると、Snapshotリスト画面を表示します。(→245ページ「Snapshotリスト画面」)
- ③ Snapshot選択ボタン(-)
 - このボタンをタップすると、表示している Snapshot番号と Snapshot名を1つ小さい番号のものに変更します。
 - ●このボタンを押し続けると、連続して小さい番号の Snapshotに表示を変更します。
 - Snapshot番号が「001」のときにタップすると、「P0xx (Preset データの最大番号)」を表示します。
 - Snapshot番号が「P001」のときにタップすると「128」を 表示します。

④ Snapshot選択ボタン(+)

- このボタンをタップすると、表示している Snapshot番号と Snapshot名を1つ大きい番号のものに変更します。
- ●このボタンを押し続けると、連続して大きい番号の Snapshotに表示を変更します。
- Snapshot番号が「128」のときにタップすると、「P001」を 表示します。
- Snapshot番号が「P0xx (Preset データの最大値)」のときに タップすると「001」を表示します。

⑤ STOREボタン

- このボタンをタップすると、表示されているデータスロットに現在の設定をSTORE(保存)します。(→242ページ「SnapshotをSTOREする」)
- LOCKされたデータスロットが表示されている場合は、ボタンがグレーアウト表示となります。

⑥ RECALLボタン

- このボタンをタップすると、Snapshot番号/Snapshot名表示部に表示されているデータスロットの設定をRECALLします。(→243ページ「SnapshotをRECALLする」)
- 空のデータスロットが表示されている場合は、ボタンがグレーアウト表示となります。

⑦ 🏚 アイコン

このアイコンをタップすると、CONFIRMATION設定ウィンドウ を表示します。

001 TASCAM DIGITAL20		-	- + STORE R	
••• Mixer Setup		Þ	Meter	CONFIRMATION
Front Panel Setup	Þ		Routing	STORE ON
Rear Panel Setup	Þ		MIX Send Overviev	RECALL
💉 System Setup	Þ		Automatic Mixer	
●/► Recorder / Player	Þ		DCA / Mute Group	
🛓 Save Current Settings	Þ		Talkback / Monitor	/ Solo / OSC
			Config Mixer / Loca	tion / Bus
			Label Setup	

各スライドスイッチをタップして、SnapshotのSTORE確認メッ セージおよびRECALL確認メッセージを表示するかを設定します。 再度このボタンをタップすると、CONFIRMATION設定ウィンド ウを閉じます。

メモ

これらの設定は、PREFERENCES画面でも設定することができ ます。(→ 39 ページ「PREFERENCES画面」)

⑧ X アイコン

このアイコンをタップすると、メニュー画面を閉じます。

このアイコン

⑨ 🔒 アイコン

LOCKされた Snapshotを表示しているときに、このアイコンを 表示します。

🔟 🖪 (EDIT) アイコン

最後にSTORE / RECALLしたSnapshot(カレントSnapshot) からSnapshot対象の設定が変更された場合にアイコンを表示 します。

SnapshotをSTOREする

SnapshotデータをSTOREする(保存する)には、以下のいずれかの手順で操作します。

MENU画面上部で STORE する場合

- 2. STOREボタン(⑤)をタップします。
 - 保存先データスロットが空の場合は、現在のSnapshot対象の設定をデータスロットにSTOREします。
 - 保存先データスロットが空でない状態でCONFIRMATION設 定ウィンドウのSTOREの設定が「ON」の場合、保存確認メッ セージが表示されます。



- 確認メッセージのSTOREボタンをタップすると、現在の Snapshot対象の設定をデータスロットにSTOREし、確認 メッセージを閉じます。
- 確認メッセージのCANCELボタンをタップすると、 STORE処理を実施せずに確認メッセージを閉じます。
- 3. STORE完了後、STORE完了メッセージを約2秒間表示します。

Snapshot リスト 画面で STOREする 場合

- 以下のいずれかの方法でSnapshotリスト表示部に保存先の データスロットを表示します。
 - / + ボタンをタップする
 - LCDノブ8を回す
 - リストを上下スワイプする
 - スクロールバーを上下ドラッグする
- 保存先のデータスロットをタップして選択します。 データスロットがハイライト表示されます。
- 3. STOREボタン(⑤)をタップします。
 - 保存先データスロットが空の場合は、現在のSnapshot対象の設定をデータスロットにSTOREします。
 - 保存先データスロットが空でない状態でCONFIRMATION設 定ウィンドウのSTOREの設定が「ON」の場合、保存確認メッ セージが表示されます。
 - 確認メッセージのSTOREボタンをタップすると、現在の Snapshot対象の設定をデータスロットにSTOREし、確認 メッセージを閉じます。
 - 確認メッセージのCANCELボタンをタップすると、 STORE処理を実施せずに確認メッセージを閉じます。
- 4. STORE完了後、STORE完了メッセージを約2秒間表示します。

USER DEFINED CONTROL画面で設定した操作子でSTORE する場合

USER DEFINED CONTROL画面のFunctionとParameter1の設定が 以下の場合、Parameter2の設定によりSTORE対象が異なります。

Function	Parameter1	
Snapshot	Store	

Parameter2を「Selected」に設定した操作子を押した場合

メニュー画面上部の Snapshot番号(①) / Snapshot名表示部 (②)に表示されたデータスロットに、現在の Snapshot対象の 設定を STORE します。

Parameter2 を「No.」に設定した操作子を押した場合

Parameter3 で指定された番号のデータスロットに、現在の Snapshot対象の設定をSTOREします。

Parameter2を「+Target Key」に設定した操作子を押した場合

Function: Snapshot / Parameter1: Targetの操作子を同時に 押すと、Function: Snapshot / Parameter1: Targetの操作子 のParameter2 およびParameter3 で指定された番号のデータ スロットに、現在のSnapshot対象の設定をSTOREします。 た だ し、Function: Snapshot / Parameter1: Targetの Parameter2 が「Next」または「Prev」に設定されたキーと同

メモ

Store時の Snapshot名

時に押した場合は動作しません。

STOREすると、自動的にカレントSnapshot名をベースに、以下のように世代がわかる情報を付加した名前が自動的に付けられます。

第一世代:ベース名
 第二世代:ベース名+_XX(番号2桁)
 第三世代:ベース名+_XX+a-z
 (アルファベット小文字1文字)

自動的に名前が付けられない状況*では、

Cannot generate default name automatically. Change name [CANCEL] [RENAME]

とメッセージが表示されます。

名前を変更してSTOREする場合は、RENAMEボタンを押して RENAME画面に切り換えます。

既存データと重複しない名前を入力してEnterをタップすると STOREされます。

- * 自動的に名前が付けられない状況
 - カレントSnapshotが第一世代の名前で、すでに「カレン ト名_99」という名前のデータが存在する。
 - カレント Snapshotが_XXを含んだ第二世代の名前で、すでに「カレント名_XXz」という名前のデータが存在する。
 - カレント Snapshotが 第三世代の 名前。
- カレントSnapshot以外にUSER DEFINED CONTROL操作子で STOREした場合は、Snapshot名は「USER KEY + データスロッ ト番号」となります。

SnapshotをRECALLする

SnapshotデータをRECALLする(呼び出す)には、以下のいずれ かの手順で操作します。

MENU画面上部でRECALLする場合

- / ・ボタンをタップして、RECALLしたいデータスロット をSnapshot番号(①) / Snapshot名表示部(②)に表示 します。
- RECALLボタン(⑥)をタップします。
 CONFIRMATION設定ウィンドウのRECALLの設定が「ON」の 場合、確認メッセージが表示されます。
 - 確認メッセージの RECALLボタンをタップすると、Recall 処理を実施し、確認メッセージを閉じます。
 - 確認メッセージのCANCELボタンをタップすると、Recall 処理を実施せずに確認メッセージを閉じます。
- 3. RECALL完了後、RECALL完了メッセージを約2秒間表示します。

Snapshot リスト 画面で RECALL する 場合

- 以下のいずれかの方法でSnapshotリスト表示部にRECALLしたいデータスロットを表示します。
 - / + ボタンをタップする
 - LCDノブ8を回す
 - リストを上下スワイプする
 - スクロールバーを上下ドラッグする
- RECALLしたいデータスロットをタップして選択します。 データスロットがハイライト表示されます。
- RECALLボタン(⑥)をタップします。
 CONFIRMATION設定ウィンドウの RECALLの設定が「ON」の 場合、確認メッセージが表示されます。
 - 確認メッセージのRECALLボタンをタップすると、 RECALL処理を実施し、確認メッセージを閉じます。
 - 確認メッセージのCANCELボタンをタップすると、 RECALL処理を実施せずに確認メッセージを閉じます。
- 4. RECALL完了後、RECALL完了メッセージを約2秒間表示します。

USER DEFINED CONTROL画面で設定した操作子で RECALLする場合

USER DEFINED CONTROL画面のFunctionとParameter1の設定が 以下の場合、Parameter2の設定によりRECALL対象が異なります。

Function	Parameter1
Snapshot	Recall

Parameter2を「Selected」に設定した操作子を押した場合

メニュー画面上部の Snapshot番号 (①) / Snapshot名表示部 (②)に表示されたデータスロットの設定を RECALLします。

Parameter2を「Next」または「Prev」に設定した操作子を押し た場合

メニュー画面上部のSnapshot番号(①) / Snapshot名表示部
 (②)に表示されたデータスロットの1つ後/1つ前に存在するPreset以外の設定をRECALLします。

Parameter2 を「No.」に設定した操作子を押した場合

Parameter3で指定された番号のデータスロットの設定を RECALLします。

Parameter2を「+Target Key」に設定した操作子を押した場合

Function: Snapshot / Parameter1: Targetの操作子を同時に 押すと、Function: Snapshot / Parameter1: Targetの操作子 のParameter2 およびParameter3 で指定された番号のデータ スロットの設定をRECALLします。

第8章 設定データの保存/呼び出し

メモ

別機種(Sonicview 16 / Sonicview 24)のSnapshotデータのRECALL対応について

別機種の Snapshot データを RECALLした場合は、以下のような確認メッセージが表示されます。 Sonicview 24 で Sonicview 16 の Snapshot データを RECALLした際のメッセージ

This is Sonicview 16 data.	
Some parameters cannot be recalled.	
Recall this data?	[CANCEL] [RECALL]

「RECALL」ボタンをタップするとRECALLします。RECALLする際、互換性のある設定は、そのままRECALLします。互換性のない下記設定は、 下記のように取り扱います。

	Sonicview 16 と So のない Snapshot設?	nicview 24 で 互換性 定	Sonicview 24 のデータを Sonicview 16 で RECALLした場合			Sonicview 16 のデータを Sonicview 24 で RECALLした場合		
	アナログ入力 17-24	に関する設定						
	M/L 17-24 Input As	sign	取り込まない			No Assignにする		
1	M/L 17-24 Phantor	取り込まない			OFFにする			
	M/L 17-24 PAD ON	/ OFF	取り込まない			OFFにする		
	M/L 17-24 Analog	GAIN	取り込まない			最小値にする		
2	Fader 17-24 に関す Fader 17-24 Custon	る設定 n Layer Mapping	取り込まない			No Assignにする		
	Layer Key Assign	下記のように変換し ⁻ (できる範囲で元デー	て取 -タを	り込む を再現する)	下記のように変換し (できる 範囲で 元デ・	て耳 ータ	αり込む を再現する)	
	Sonicview 16 で のPreset Layer	Sonicview 24 で のPreset Layer	RECALLする Sonicview 24 デー タ		RECALL後の Sonicview 16 の 設定	RECALLする Sonicview 16 データ		RECALL後の Sonicview 24 の 設定
	CH1-16	CH1-24	CH1-24	•	CH1-16	CH1-16	•	CH1-24
	CH17-32	CH25-40 / ST IN / FX RTN	CH25-40 / ST IN / FX RTN	+	CH17-32	CH17-32	•	CH1-24
	CH33-40 / ST IN / FX RTN	MIX1-22	MIX1-22 / MAIN L/R	+	MIX1-16	CH33-40 / ST IN / FX RTN	+	CH25-40 / ST IN / FX RTN
3	MIX1-16		DCA1-8	+	DCA1-8	MIX1-16	+	MIX1-22 / MAIN L/R
	MIX17-22		CUSTOM 1 ~ CUSTOM 7	+	CUSTOM 1 ~ CUSTOM 7	MIX17-22 / MAIN L/R	+	MIX1-22 / MAIN L/R
				+		DCA1-8	+	DCA1-8
		注意 この場合、以下が欠	注意			•	CUSTOM 1 ~ CUSTOM 7	
			意が必要です。 • CH33-40 / ST IN	/ F	X RTN		•	
	• MIX17-22 / MAIN L/R							

Snapshotリスト画面

この画面では、Snapshot機能の操作およびSnapshotの設定デー タの管理/編集を行います。

ここでは、SnapshotやLIBRARYのデータを保存する各エリアを「ス ロット」「データスロット」と呼びます。

この画面は、メニュー画面左上のSnapshot番号とSnapshot名の 部分をタップして表示します。



① Snapshot番号

STORE / RECALL対象の Snapshot番号を表示します。 カレント Snapshot(最後に STORE / RECALLした Snapshot) と一致していないときは、点滅表示します。

② Snapshot名表示部

STORE / RECALL対象の Snapshot名を表示します。 カレント Snapshot(最後に STORE / RECALLした Snapshot) と一致していないときは、点滅表示します。

③ Snapshot選択ボタン(-)

メニュー画面の Snapshot選択ボタン (-)と同じ働きをします。

④ Snapshot選択ボタン(+)

メニュー画面の Snapshot選択ボタン (一)と同じ働きをします。

⑤ STOREボタン

メニュー画面の STORE ボタンと 同じ 働きをします。

⑥ RECALLボタン

メニュー画面の RECALL ボタンと 同じ 働きをします。

⑦ 🛊 アイコン

メニュー画面の 🔿 アイコンと 同じ 働きをします。

⑧ X アイコン

このアイコンをタップすると、Snapshotリスト画面を閉じて メニュー画面に戻ります。

⑨ 🔒 アイコン

メニュー画面の 🔒 アイコンと 同じ 働きをします。

10 🗉 (EDIT) アイコン

メニュー画面の

同アイコンと同じ働きをします。

- ① LOCK / UNLOCKボタン
 - 各データスロットのLOCK / UNLOCK状態を表示します。

ボタン	内容
ſ	UNLOCK状態
G	LOCK状態

データスロットに設定データが保存されていないときは、グ レーアウト表示になります。

 アイコンまたは
 のアイコンをタップすると、データスロットのLOCK / UNLOCKを切り換えるウィンドウを表示します。

• 0	05 т/	ASCAM DIGITAL16	+	STORE	RECALL	\$	×	
ß	001	E TASCAM DIGITAL20	12345678901234567890					
	002							
	003							
	004							
٦	005	< 🖆 🧰 [:	A-set				
٦	006	LOCK UNLOCK		12345678	901234567	890		
	007							
	800							
PRESET		RECALL INPORT		RECAL	LL D			Ô

選択肢をタップして、LOCK / UNLOCKを切り換えます。

LOCKされたデータスロットは、削除やRename、上書きストア、Pasteができなくなります。

12 PRESETボタン

このボタンをタップすると、Snapshotリストの表示がプリセッ トデータ(P001~)の位置に移動します。

<u>ê</u> (05 т/	ASCAM DIGITAL16	+ STORE RECALL \$	×
	122			
	123			
	124			
	125			
	126			
	127			
	128			
A	P001	Initial Data		
PI	RESET	RECALL ^{III} IMPORT ^{III} SAFE / EXPORT	RECALL UNDO	Ô

⑬ 🔳 アイコン

Snapshotの設定データを内蔵メモリーにコピー済みのデータス ロットにアイコンが表示されます。

メモ

■ アイコンは、新しく Snapshotの設定データをコピーする、 もしくは本機の電源を切るまでアイコンが表示されます。ただ し、コピー元を削除∕上書き STORE / Renameするとアイコン が消えます。

⑭ RECALL SAFEボタン

- Recall Safeの設定状態を表示します。いずれかのRecall Safeが設定されている場合に、ボタンがハイライト表示に なります。
- このボタンをタップすると、Snapshot呼び出し時に設定 を保護する(設定を維持する)対象を選択するSNAPSHOT RECALL SAFE画面に切り換わります。(→249ページ 「SNAPSHOT RECALL SAFE画面」)

15 IMPORT / EXPORTボタン

このボタンをタップすると、SNAPSHOT IMPORT / EXPORT画 面に切り換わります。(→250ページ「SNAPSHOT IMPORT / EXPORT画面」)

16 Snapshot リスト 表示部

- Snapshot番号とSnapshot名を表示します。
- データが保存されていないデータスロットには、横バーが表示されます。
- 選択中のデータスロットは、ハイライト表示になります。
- あらかじめプリセットされている Snapshotの Snapshot番号 には「P」が付いています。
- カレント Snapshot(最後に STORE / RECALLした Snapshot)の Snapshot番号は、黄色い枠が表示されます。

⑰ Snapshot編集メニューボタン (🔤)

- 選択中のデータスロットにのみ、このボタンが表示されます。
- このボタンをタップすると、選択中のデータスロットを編集 するメニューのウィンドウを表示します。



詳細については、247 ページ「ライブラリーメニュー」をご 参照ください。

18 RECALL UNDO / REDOボタン

このボタンをタップすると、Snapshot RecallのUNDO / REDO を実施します。

RECALL UNDOは、最後の Snapshot Recallを取り消して Recall 実施前の状態に設定値を戻します。

RECALL REDOは、UNDOを取り消してUNDO実施前の状態に 戻します。

⑲ コメント 表示部

Snapshotを編集するメニューのRenameボタンをタップして 表示するRENAME画面の「COMMENT」に登録した内容を表示 します。

登録したコメントの先頭から表示できるだけ表示します。 一行で収まらない場合は、二行で表示します。それでも収まら ない場合は二行目の末尾に「…」が表示されます。

20 スクロールノブ/スクロールバー表示

スクロールバー表示をドラッグすることで画面がスクロールし ます。また、Snapshotリスト表示部(⑯)およびコメント表 示部(⑲)を上下にスワイプする、またはLCDノブ8を回して スクロールすることもできます。

第8章 設定データの保存/呼び出し

ライブラリーメニュー

ライブラリーデータの編集を行います。



ボタンが有効でないときは、グレーアウト表示になります。

① Rename ボタン

このボタンをタップすると、RENAME画面に切り換わります。 選択中のデータスロットがLOCKされている場合または選択中 のデータスロットにデータが保存されていない場合は、グレー アウト表示になります。

•											×
No.	NAME				сомме	NT					
001	TASC	AM DI	GITAL	20	12	3456	5789	0123	3456	7890)
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	×
q	w	e	r	t	У	u	i	0	p		Delete
Caps lock	a	s	d	f	g	h	j	k	1	I]
Shift		z	×	c	v	b	n	m	•	•	-
Сору	Pas	ste S	pace					►	En	ter	

- Snapshot名は、最大 16 文字です。
- その他のライブラリー名は、最大17文字です。
- Snapshot コメントは、最大 32 文字です。
- Snapshotの場合は、右側にコメント欄が表示され、編集 することが可能です。
- RENAME画面のキーボードのCaps lockボタンとShiftボ タンの設定状態によって、入力できる文字の組み合わせ を変更することができます。キーボードの変更方法につ いては、230ページ「キーボードの変更方法」をご参照 ください。

注意

以下の記号や句読点は、入力できません。

¥ /:*?"<> |

メモ

トップパネルのUSB端子に接続したUSBキーボードを使って文字を入力/編集することもできます。

② Copy ボタン

このボタンをタップすると、選択した Snapshotの設定データを コピーします。

メモ

Snapshot以外のLIBRARY画面にCopy / Paste機能はありません。

③ Paste ボタン

このボタンをタップすると、コピーした Snapshotの設定データ を選択したデータスロットに貼り付けます。 LOCKされた Snapshotでは、グレーアウト表示になります。

メモ

Snapshot以外のLIBRARY画面にCopy / Paste機能はありません。

④ Delete ボタン

このボタンをタップすると、選択したデータを消去する確認メッ セージが表示されます。

選択中のデータスロットがLOCKされている場合または選択中 のデータスロットにデータが保存されていない場合は、グレー アウト表示になります。



- CANCELボタンをタップすると、確認メッセージを閉じ ます。
- DELETEボタンをタップすると、選択したデータを消去し て確認メッセージを閉じます。

⑤ 💓 ボタン

このボタンをタップすると、ライブラリーメニューを閉じます。

Snapshotをコピーする



 Copyボタンをタップします。 コピーした Snapshotに 国アイコンが表示されます。

• 0)06 т/	ASCAM DIGITAL	+ STORE RECALL 🗢	×
ß	001	TASCAM DIGITAL20	12345678901234567890	I
	002			
	003			
	004			
÷	005	TASCAM DIGITAL16	A-set	
c a		TASCAM DIGITAL	12345678901234567890	
	007			
	800			
Р	RESET	RECALL I IMPORT		Ô

 ペースト先のデータスロットを選択し、Snapshot編集メニュー ボタン(一)をタップします。



4. Pasteボタンをタップすると、Snapshot Store時のルールにしたがった名前でペーストされます。(→241ページ「⑤STOREボタン」)

自動的に名前が付けられない状況では、RENAME画面に切 り換わります。この場合は、既存データと重複しない名前 を入力してEnterボタンをタップすると、ペーストされて Snapshotリスト画面に戻ります。



メモ

 ペースト先にSnapshotの設定データが保存されている場合 は、確認メッセージが表示されます。

. 0)07 т/	SCAM DIGITAL_A - + STORE RECALL 💠	×						
fin									
ſ									
6		TASCAM Paste							
6		TASCAM Not blank. Overwrite ?							
G		TASCAM							
'la									
'la									
ſ									
PI	RESET	RECALL DI IMPORT DI / EXPORT	Ô						

- CANCELボタンをタップすると、確認メッセージを閉じます。
- OVERWRITEボタンをタップすると、Snapshot Store時の ルールにしたがった名前でペーストされます。(→241 ページ「⑤ STOREボタン」)

自動的に名前が付けられない状況では、RENAME画面に切り換わります。この場合は、既存データと重複しない名前を入力してEnterボタンをタップすると、ペーストされて Snapshotリスト画面に戻ります。

 ・
 ・
 アイコンは、新しくSnapshotの設定データをコピーする、 もしくは本機の電源を切るまで表示されます。ただし、コピー 元を削除/上書きSTORE / RENAMEするとアイコンが消え ます。

第8章 設定データの保存/呼び出し

SNAPSHOT RECALL SAFE画面

- この画面では、以下の設定を行います。
- PARAMETER SAFEタブ画面
 Snapshot呼び出し時に設定を保護する(設定を維持する)パ ラメーターを選択します。
- MODULE SAFE タブ画面 Snapshot呼び出し時に設定を保護する(設定を維持する)モ ジュールを選択します。

この画面は、Snapshotリスト画面のRECALL SAFEボタンをタッ プして表示します。

PARAMETER SAFE タブ 画面

このタブ画面では、特定の設定群ごとに Recall Safeの対象を選択します。



各行のチェックボックスをタップして、Recall Safeの対象を設定 します。

選択した行にチェックマーク(✔)が表示され、水色のハイライ ト表示になります。



メモ

- INPUT/OSC PARAMETERSに含まれる設定 Analog Gain
 - Analog Gain GANG On/Off
 - PAD On/Off
 - Phantom On/Off
 - Phase
 - D.Trim
 - HPF Freq
 - HPF On/Off
 - CH OSC INPUT
 - OSC On/Off
 - OSC Assign
 - OSC Level

OSC Type

- OSC Freq
- OTHER MODULE PARAMETERSに含まれる 設定
- Gate/Expander/De-Esser Parameters EQ Parameters
- GEQ Parameters
- Comp/Ducker Parameters
- Module Delay Parameters
- Fader Mute

MAIN L/R Assign PAN/BAL PAN LINK Image

- Mode
- Direct Out Parameters AFV Parameters
- Auto Mixer Parameters
- Talkback Phantom On/Off
- Talkback D.Trim
- Metering Point
- LCD Brightness

MODULE SAFE タブ 画面

このタブ画面では、モジュールごとにRecall Safeの対象を選択します。

SNA	PSHOT RE	CALL SAFI						×	
PAR	PARAMETER SAFE MODULE SAFE								
сн 1	CH 2	сн з	CH 4	сн 5	сн 6	сн 7	сн 8		
CH 1	CH 2	СН 3	CH 4	CH 5	СН 6	СН 7	СН 8		
сн 9	CH 10	CH 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	CH 16	L	
СН 9	CH 10	CH 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	CH 16		
CH 17	CH 18	CH 19	CH 20	CH 21	CH 22	CH 23	CH 24	L	
CH 17	CH 18	CH 19	CH 20	CH 21	CH 22	CH 23	CH 24		
сн 25	CH 26	сн 27	сн 28	сн 29	сн зо	CH 31	сн 32	L	
CH 25	CH 26	CH 27	CH 28	CH 29	СН 30	CH 31	CH 32		
сн 33	CH 34	сн 35	сн 36	сн 37	сн 38	сн з9	сн 40	l	
CH 33	CH 34	CH 35	CH 36	CH 37	CH 38	СН 39	CH 40		
ST IN 1 ST IN 1	ST IN 2 ST IN 2			FX RTN 1 FX RTN 1	FX RTN 2 FX RTN 2	FX RTN 3 FX RTN 3	FX RTN 4 FX RTN 4		
MIX 1	MIX 2	MIX 3	MIX 4	MIX 5	MIX 6	MIX 7	MIX 8		
MIX 1	MIX 2	MIX 3	MIX 4	MIX 5	MIX 6	MIX 7	MIX 8		
MIX 9 MIX 9	MIX 10 MIX 10	MIX 11-12 MIX 11-12		MIX 13-14 MIX 13-14		MIX 15-16 MIX 15-16		Ô	

Recall Safeの対象を選択するには、選択したいモジュールボタン をタップします。

選択したモジュールボタンが黄色い枠でハイライト表示されます。

SNA SNA	SNAPSHOT RECALL SAFE								
PARA	METER SAFE	E				MODULE	SAFE		
CH 1	CH 2	сн з	CH 4	сн 5	сн 6	сн 7	сн 8		
CH 1	CH 2	СН 3	CH 4	CH 5	СН 6	СН 7	СН 8		
сн 9	CH 10	CH 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	CH 16	L	
СН 9	CH 10	CH 11	CH 12	CH 13	CH 14	CH 15	CH 16		
CH 17	CH 18	сн 19	сн 20	CH 21	сн 22	CH 23	CH 24	L	
CH 17	CH 18	CH 19	CH 20	CH 21	CH 22	CH 23	CH 24		
сн 25	сн 26	сн 27	CH 28	сн 29	сн зо	сн 31	CH 32	L	
CH 25	CH 26	CH 27	CH 28	CH 29	СН 30	CH 31	CH 32		
сн 33	сн 34	сн 35	сн 36	сн 37	сн 38	сн з9	сн 40		
CH 33	СН 34	СН 35	СН 36	CH 37	CH 38	CH 39	СН 40		
ST IN 1 ST IN 1	ST IN 2 ST IN 2			FX RTN 1 FX RTN 1	FX RTN 2 FX RTN 2	FX RTN 3 FX RTN 3	FX RTN 4 FX RTN 4		
MIX 1	MIX 2	MIX 3	MIX 4	MIX 5	MIX 6	MIX 7	MIX 8		
MIX 1	MIX 2	MIX 3	MIX 4	MIX 5	MIX 6	MIX 7	MIX 8		
MIX 9 MIX 9	MIX 10 MIX 10	MIX 11-12 MIX 11-12		MIX 13-14 MIX 13-14		MIX 15-16 MIX 15-16		Ô	

SNAPSHOT IMPORT / EXPORT画面

この画面では、本機の内蔵メモリー内にある Snapshotの設定デー タを、装着した SD カード/ USB メモリーにエクスポートする、ま たはインポートすることができます。

この画面は、Snapshotリスト画面のIMPORT / EXPORTボタンを タップして表示します。



① メディア選択ボタン

- 選択中のメディア名を表示します。
- このボタンをタップすると、インポート元/エクスポート先 を設定するウィンドウを表示します。



選択肢:USB、SD

選択肢をタップして、インポート元/エクスポート先のメ ディアを切り換えます。

② フォルダー表示

インポート元/エクスポート先のフォルダー名を表示します。 インポート元/エクスポート先フォルダーは、外部メディアの 下記フォルダーです。

\\TASCAM\SONICVIEW\SNAPSHOT

③ Snapshot リスト 表示部

本機の内蔵メモリー上のSnapshotリストを表示します。

④ Snapshot リスト 用スクロールノブ/スクロールバー表示

スクロールバー表示をドラッグすることで画面がスクロールし ます。また、Snapshotリスト表示部(③)を上下にスワイプする、 またはLCDノブ4を回してスクロールすることもできます。

⑤ IMPORT / EXPORT モード切り換えボタン

- (右向き矢印) ボタンをタップすると、画面がエクスポートモードに切り換わります。エクスポートモードに切り換わるとボタンがハイライト表示(→)になります。
- (左向き矢印) ボタンをタップすると、画面がインポート モードに切り換わります。インポートモードに切り換わる とボタンがハイライト表示(►) になります。

メモ

本機の起動時はエクスポートモードに設定されています。切り 換え後の設定は、本機の電源をオフにするまで最後に選択した 状態を保持します。

⑥ 選択メディア上のデータリスト表示部

選択したメディア上のSnapshotデータのリストを表示します。 選択したメディアが装着されていない場合は、データリスト表 示部に以下のメッセージが表示されます。

•	SNAPS	SHOT IMPORT / EXPORT			×
		INTERNAL MEMORY		SD -> SD card is not available.	
ß	001	Rec-Play TEST2_0		SD card is not available.	
ß	002	ALL MAX			
C III	003	Initial Data_03			
G	004	ALL MAX_01	→		
C a	005	Initial Data_05	←		
с <mark>в</mark>	006	Initial Data_01a			
а ⁰	007	ALL MAX_04			
		Ô		EXPORT	٢

⑦ IMPORT / EXPORT実行ボタン

- IMPORT / EXPORT モード切り換えボタン(⑤)の設定によって、表示されるボタンが異なります。
- インポートモードの場合は、インポート元とインポート先 が両方選択されていると、ボタンがハイライト表示になりま す。
- エクスポートモードの場合、エクスポートするSnapshotが 選択されていると、ボタンがハイライト表示になります。
- このボタンがハイライト表示のときにタップすると、イン ポート/エクスポートを実行します。
- ⑧ エクスポートデータリスト用スクロールノブ/スクロー ルバー表示
 - 選択したメディア上のSnapshotデータの数が画面内に表示 しきれない場合にスクロールバーを表示し、スクロールノブ をハイライト表示します。
 - スクロールバー表示をドラッグすることで画面がスクロール します。また、選択メディア上のデータリスト表示部(⑥) を上下にスワイプする、またはLCDノブ8を回してスクロー ルすることもできます。

第8章 設定データの保存/呼び出し

Snapshotをエクスポートする

- メニュー画面のSnapshot名表示部(②)をタップして、 Snapshotリスト画面を表示します。(→245ページ「Snapshot リスト画面」)
- Snapshotリスト画面のIMPORT / EXPORTボタンをタップして、SNAPSHOT IMPORT / EXPORT画面を表示します。(→ 250ページ「SNAPSHOT IMPORT / EXPORT画面」)
- **3.** エクスポートするメディア(SDカード/USBメモリー)を装着します。
- メディア選択ボタン(①)を使ってエクスポートしたいメディ アを選択します。(→250ページ「①メディア選択ボタン」)
- 5. EXPORT / IMPORT モード 切り 換えボタン(⑤)の ボタ ンをタップして、エクスポートモードに切り 換えます。

•	SNAPS	SHOT IMPORT / EXPORT		X
		INTERNAL MEMORY		USB > \\TASCAM\SONICVIEW\SNAPSHOT\
ß	001	Rec-Play TEST2_0		ALL MAX
ß	002	ALL MAX		
ß	003	Initial Data_03		
ß	004	ALL MAX_01	\rightarrow	
ß	005	Initial Data_05	←	
ß	006	Initial Data_01a		
ß	007	ALL MAX_04		
		Ô		EXPORT

 本機の内蔵メモリー上のSnapshotリスト表示部(③)から エクスポートしたいSnapshotデータをタップします。 エクスポートするSnapshotデータとEXPORTボタンがハイラ イト表示になります。



7. EXPORTボタンをタップします。

エクスポートデータリスト表示部(⑥)にエクスポートした Snapshotデータが追加され、画面上部にエクスポート完了 メッセージが表示されます。



メモ

エクスポート先のメディアに同じ名前のSnapshotデータがある場合は、確認メッセージが表示されます。

5	SNAPSHOT IMPORT / EXPORT									
			USB > \\TASCAM\SONICVIEW\SNAPSHOT							
		ALL MA	T2_0							
		Initial I 🔥 This na	me already exists.							
		ALL MA								
		Initial I	OVERWRITE RENAME							
		ALL MAX_04								
		Ĉ	EXPORT							

- CANCELボタンをタップすると、エクスポートを中止して確 認メッセージを閉じます。
- OVERWRITEボタンをタップすると、同じ名前のSnapshot データに上書きして確認メッセージを閉じます。
- RENAMEボタンをタップすると、RENAME画面に切り換わります。既存のSnapshot名と重複しない名前を入力してEnterボタンをタップすると、エクスポートが実行されSNAPSHOT IMPORT / EXPORT画面に戻ります。
- エクスポート先のメディアが「Lock」されたSDカードの場合は、 下記のメッセージが表示されます。

Cannot Export. SD card Locked.

 エクスポート先のメディアの空き容量が不足している場合は、 下記のメッセージが表示されます。

Cannot Export. SD card is full.

Cannot Export. USB flash drive is full.

Snapshotをインポートする

注意

Ver 1.1.0 以上の本機で作ったSnapshotをVer 1.0.x の本機で RECALLすると正常動作できないため、以下の制限があります。

- Ver 1.1.0 以上の本機で作った Snapshotは、Ver 1.0.x の本機で はインポートできません (Ver 1.0.x の本機で作った Snapshotは、 Ver 1.1.0 以上の本機でインポートできます)。
- メニュー画面のSnapshot名表示部(②)をタップして、 Snapshotリスト画面を表示します。(→245ページ「Snapshot リスト画面」)
- Snapshot リスト画面のIMPORT / EXPORTボタンをタップして、SNAPSHOT IMPORT / EXPORT画面を表示します。(→ 250ページ「SNAPSHOT IMPORT / EXPORT画面」)
- 3. インポートするメディア(SDカード/USBメモリー)を装着 します。
- メディア選択ボタン(①)を使ってインポートしたいメディ アを選択します。(→250ページ「①メディア選択ボタン」)
- EXPORT / IMPORTモード切り換えボタン(⑤)の■ボタンをタップして、インポートモードに切り換えます。



- 選択メディア上のデータリスト表示部(⑥)にインポートしたいSnapshotデータがない場合、メディア選択ボタンの右にあるフォルダー選択ボタンをタップし、フォルダー選択メニューを表示します。
 - プルダウンメニューが画面に収まらない場合は、LCDノブ8 操作、スクロールバー操作、またはスワイプ操作でスクロー ルできます。
 - フォルダー名の左にある「>」をタップすると、そのフォルダー が開いて中のフォルダーが表示されます。
 - 開いたフォルダー名の左にある「〜」をタップすると、フォ ルダーが閉じます。
 - フォルダー名をタップすると、そのフォルダーが選択されます。
 - 選択されたフォルダー名は、フォルダー選択ボタンのパス表 示欄に反映されます。

•	SNAPSHOT IMPORT / EXPORT ×							
	USB 🔹 🗸 /TASCAM/SONICVIEW/SNAPSHOT							
A			V ROOT					
			V TASCAM					
Ő.								
6			> 🖿 ALL_SYSTEM_DATA					
ô			> 🖿 SNAPSHOT					
ô			> 🖿 TEST_A					
ſœ			> TEST_B					
ſ			> TEST_C					
			> TEST_D	Ô				

[フォルダー選択プルダウンメニュー表示例]

8. 選択メディア上のデータリスト表示部(⑥)からインポート したい Snapshot データをタップします。 ^{ます。}インポートする Snapshotがデータハイライト表示になります。

を閉じます。

5	SNAPSHOT IMPORT / EXPORT ×									
		INTERNAL MEMORY		USB > \\TASCAM\SONICVIEW\SNAPSHOT\						
ß	001	Rec-Play TEST2_0		ALL MAX						
ß	002	ALL MAX		Rec-Play TEST2_0						
ß	003	Initial Data_03								
ß	004	ALL MAX_01	\rightarrow							
ß	005	Initial Data_05	←							
ß	006	Initial Data_01a								
ß	007	ALL MAX_04								
		Ô		IMPORT 🌔						

7. 希望するフォルダーを選択したら、フォルダー選択ボタン左

端にある「~」をタップし、フォルダー選択プルダウンメニュー

 内蔵メモリー上のSnapshot表示部(③)でインポート先のデー タスロットをタップします。 インポート先のデータスロットとIMPORTボタンがハイライ ト表示になります。


IMPORTボタンをタップします。
 Snapshotリスト表示部(③)にインポートしたSnapshotデータが追加されます。

\$	SNAP	SHOT IMPORT / EXPORT		×
		INTERNAL MEMORY		USB > \\TASCAM\SONICVIEW\SNAPSHOT\
ß	023	USER_KEY 023		ALL MAX
ß	024	USER_KEY 024		Rec-Play TEST2_0
ß	025	USER KEY 025		
ß	026	Rec-Play TEST2_2	\rightarrow	
ß	027	USER_KEY 027	÷	
	028			
ß	029	Initial Data_11		
		Ô		IMPORT

メモ

 インポート先データスロットにインポート元と同じ名前の Snapshotデータがある場合は、OVERWRITEの確認メッセー ジが表示されます。

•	SNAPS	SHOT IMPORT / EXPO	RT				×
					USB • >		
'n					ALL MA	х	
ß		ALL MA				T2_0	
ſœ		Initial I	🔥 ov	ERWRI	TE?		
ſœ		ALL MA					
ſœ		Initial l	CANCEL	OVERV	VRITE		
ſœ							
'n		ALL MAX_04					
			Ô				

インポート先データスロットにインポート元と違う名前の Snapshotデータがある場合は、REPLACEの確認メッセージ が表示されます。

5	SNAPS	SHOT IMPORT / EXP	ORT				>	
				U	SB 🔻 📏 \\TA			
ß					ALL MAX			
Ъ		ALL MA				T2_0		
ß		Initial I	🕂 RI	PLACE?				
ſœ		ALL MA			_			
ß		Initial <u>(</u>	CANCEL	REPLAC	E			
ß								
ß		ALL MAX_04						
			Ô				IMPORT	

- CANCELボタンをタップすると、インポートを中止して 確認メッセージを閉じます。
- OVERWRITEボタンをタップすると、同じ名前の Snapshotデータを上書きインポートして確認メッセージ を閉じます。
- REPLACEボタンをタップすると、違う名前のSnapshot データを置き換えインポートして確認メッセージを閉じ ます。
- インポート先のスロットが「LOCK」されている場合は、下 記のメッセージが表示されます。

Cannot Import. Target Locked.

各種LIBRARY画面

本機では、以下の各種設定群をLIBRARYとしてSTORE(保存)/ RECALL(呼び出し)することができます。

- GATE / EXPANDER / DE-ESSERの選択された TYPEおよびその 各パラメーター設定
- EQの各パラメーター設定
- COMP / DUCKERの選択された TYPEおよびその各パラメーター 設定
- FXの選択されたTYPEおよびその各パラメーター設定
- GEQの各パラメーター設定
- CH1-40 / STIN1-2 モジュールのパラメーター設定
- FX RTN 1-4 モジュールのパラメーター設定
- MIX1-22 / MAIN L/Rマスターモジュールのパラメーター設定

GATE / EXP / DE-ESSER、EQ、COMP / DUCKER、FX、GEQの 各LIBRARY画面は、各機能を操作するMODULE画面のLIBRARYボ タンをタップして表示します。



[CH1-40 モジュールの MODULE (EQ) 画面]

各モジュールのLIBRARY画面(LIBRARY MODULE INPUT画面、 LIBRARY MODULE FX RTN画 面、LIBRARY MODULE OUTPUT画 面)は、各MODULE画面右上の ■ ボタンをタップして表示するメ ニューリストの「MODULE Library」をタップして表示します。



•	LIBRA	RY MODULE INPUT	< сн	1	(CH 1	\rightarrow	
ſ	001		ovi	ERVIEW	GATE	EQ	СОМР	
ſ	002							
ſ	003							
'la	004							
7	005							
7	006							
Au	007							
A	800							
P	RESET	RECALL ^{III} STORE RECA						Ô

モジュールLIBRARYの対象パラメーターは、Copy MODULE対象パ ラメーター (→ 212 ページ「MODULE メニュー」)と同じになります。

LIBRARY画面の構成

これらの画面では、各種LIBRARY機能の操作、LIBRARYデータの 管理/編集を行います。



① LIBRARY リスト 表示部

- LIBRARY番号およびLIBRARY名を表示します。
- データが保存されていないデータスロットには、横バーが表示されます。
- 選択中のデータスロットは、ハイライト表示になります。
- あらかじめプリセットされているLIBRARYのLIBRARY番号に は「P」が付いています。

② LIBRARY メニューボタン (…)

- 選択中のデータスロットにのみ、このボタンが表示されます。
- このボタンをタップすると、選択中のデータスロットを編集 するLIBRARYメニューのウィンドウを表示します。



詳細については、247 ページ「ライブラリーメニュー」をご 参照ください。

③ プレビュー表示部

選択したLIBRARYデータの内容をプレビュー表示します。 モジュールLIBRARYの場合は、タブをタップしてプレビューの 表示対象を切り換えます。

④ 対象モジュール名表示部

LIBRARYの STORE / RECALL対象のモジュールの USER MODULE LABELを表示します。

⑤ LOCK / UNLOCKボタン

● 各データスロットのLOCK / UNLOCK状態を表示します。

ボタン	内容
	UNLOCK状態
f	LOCK状態

データスロットに設定データが保存されていないときは、グ レーアウト表示になります。

Pイコンまたは Pイコンをタップすると、データスロットのLOCK / UNLOCKを切り換えるウィンドウを表示します。



選択肢をタップして、LOCK / UNLOCKを切り換えます。

● LOCKされたデータスロットは、削除やRename、上書きス トアができなくなります。

⑥ PRESET ボタン

このボタンをタップすると、LIBRARYリストの表示がプリセッ トデータ(P001~)の位置に移動します。

•	LIBR/	ARY EQ	<	СН 1	СН	1	\rangle	Х
8	P001	A.Gtr 1		EQ				
ß	P002	A.Gtr 2						
6	P003	Bass Line						
8	P004	Bass mic		_0_				
A	P005	E.Gtr			0			
8	P006	Floor Tom	:					•
6	P007	Hi.Hat						L
A	P008	Kick in						I
P	RESET		RECALL					Ô

⑦ RECALL SAFEボタン

- モジュールLIBRARYの場合に表示されます。
- Recall Safeの設定状態を表示します。いずれかのRecall Safeが設定されている場合に、ボタンがハイライト表示に なります。
- ・このボタンをタップすると、モジュールLIBRARY呼び出し時に設定を保護する(設定を維持する)対象を選択する
 MODULE RECALL SAFE画面に切り換わります。(→257 ページ「MODULE RECALL SAFE画面」)

⑧ STOREボタン

- データスロットを選択してからこのボタンをタップすると、 選択中のデータスロットに現在選択しているモジュールの設 定をSTOREします。
- データスロットを未選択、またはLOCKされたLIBRARYデー タを選択中は、ボタンがグレーアウト表示になります。
- STORE時のLIBRARYデータ名は、以下の通りです。

EQ / GEQ Library USER MODULE LABEL_月日時分 例:CH1_06091557、Vocal_06091558

Dynamics系 Library

USER MODULE LABELが	USER MODULE LABEL_月日時
定義済みの場合	分 (例:Vocal_06091558)
USER MODULE LABELが	ダイナミクスタイプ_月日時分
未定義の場合	(例:GATE_06091557)

FX Library

FX TYPE名_月日時分

例:REVERB_06091557、ST REV_06091558

Module Library

モジュール名_月日時分

例:CH1_06091557、Vocal_06091558

メモ

• STORE時のデータ名が既存データと同じ場合は、以下のメッ セージが表示されます。

Default name already exists. change name. [CANCEL] [RENAME]

 選択中のデータスロットに設定データがある場合は、確認 メッセージが表示されます。



- Cancelボタンをタップすると、LIBRARYのSTOREを中止 して確認メッセージを閉じます。
- Replaceボタンをタップすると、選択中のデータスロット に現在の設定を上書きして確認メッセージを閉じます。

⑨ RECALLボタン

各LIBRARY MODULE画面の場合は、データスロットを選択してからこのボタンをタップすると、RECALL対象データの確認ウィンドウを表示します。



RECALLしたいデータのボタンをタップすると、RECALL確認 のウィンドウを表示します。

•	LIBRA	RY MODULI	INPUT	<	CH 1	(CH 1	\rightarrow	×
					OVERVIEW				
							MIX 4		
						¢	8 12l		
'n	127				GAT OF EQ		16		
Red	call 001	1. Ini	t Data CH	AL	.L		22		
	to CH	1	CH 1						
		Cancel	Recall		COM		C Y MA	7	
	PUU2	11111 10 1	10 21 114						
PF	RESET	RECALL ^{IO} SAFE	STORE	RECALL	RECALL UNDO				Ô

- RECALL確認ウィンドウのCancelボタンをタップすると、 LIBRARYのRECALLを中止して確認メッセージを閉じます。
- RECALL確認ウィンドウのRecallボタンをタップすると、 RECALL対象として選択したLIBRARYの設定データを現 在選択しているモジュールにRECALLしてMODULE画面 に戻ります。
- GATE / EXP / DE-ESSER、EQ、COMP / DUCKER、FX、 GEQの各LIBRARY画面の場合は、データスロットを選択し てからこのボタンをタップすると、RECALL確認のウィンド ウを表示します。



- Cancelボタンをタップすると、LIBRARYのRECALLを中止して確認メッセージを閉じます。
- Recallボタンをタップすると、LIBRARYの設定データを 現在選択しているモジュールにRECALLしてMODULE画 面に戻ります。
- データスロットを未選択、またはデータが保存されていない データスロットを選択中は、ボタンがグレーアウト表示にな ります。

10 RECALL UNDO / REDOボタン

このボタンをタップすると、該当のライブラリーで最後に実施 したRECALL処理の取り消し(Undo)、再実行(Redo)を実行 します。

該当のライブラリーで最後にRECALLを実施したモジュールで のみUndo / Redoできます。それ以外のモジュールを選択し ている場合や、起動後一度もRECALLを実施していない場合は、 Undoボタンがグレーアウト表示となります。

① スクロールノブ/スクロールバー表示

スクロールバー表示をドラッグすることで画面がスクロールし ます。また、LIBRARYリストを上下にスワイプする、または LCDノブ8を回してスクロールすることもできます。

MODULE RECALL SAFE画面

下記の MODULE RECALL SAFE画面では、モジュール LIBRARY呼び 出し時に設定を保護する(設定を維持する)パラメーターを選択 します。

● MODULE INPUT RECALL SAFE画面

•	5	MODULE INPUT RECALL SAFE	×
I		INPUT PARAMETERS	
1		NAME / COLOR / ICON	
Ī		OTHERS	
1			

● MODULE FX RTN RECALL SAFE画面

5	MODULE FX RTN RECALL SAFE	×
	NAME / COLOR / ICON	
	OTHERS	

● MODULE OUTPUT RECALL SAFE画面

5	MODULE OUTPUT RECALL SAFE	×
	GEQ	
	NAME / COLOR / ICON	
	OTHERS	

この画面は、対応するモジュールのLIBRARY画面のRECALL SAFE ボタンをタップして表示します。

メモ

- MODULE INPUT RECALL SAFE画面のINPUT PARAMETERS項目 に含まれる設定
 - Analog Gain
 - Analog Gain GANG On/Off
 - Phantom On/Off
 - PAD On/Off
 - Phase
 - D.Trim
 - HPF Freq
 - HPF On/Off
- 以下のパラメーターは、モジュールLIBRARY対象外です。
 - Routing

USER DEFINED CONTROLS LIBRARY画面

本機では、USER DEFINED CONTROLS画面の設定をLIBRARYとし てSTORE(保存)/ RECALL(呼び出し)することができます。 USER DEFINED CONTROLS LIBRARY画面のLIBRARYボタンをタッ プして表示します。

S USI	ER DEFINED CO	NTROLS	[No.P00	1]	USER KEY 2 EXTENSION	LIBRARY	\$	×
	User Key	Foot Sv	vitch	GPIO-I	N.	GPIO-0	DUT	
A	Monitor MONI	FOR 1 Soui	rce select	1 (MAIN L/R		Key	Label	
В	Monitor MONI	FOR 1 Sou	rce select	2 (MIX 15-16		Key	Label	
c 📃	Monitor MONI	FOR 1 MU1				Key	Label	
D	Monitor MONI	FOR 1 Sou	rce select	3 (MIX 1)		Key	Label	
E	Monitor MONI	FOR 1 Sou	rce select	4 (MIX 11-12		Key	Label	
F	Monitor MONI	FOR 1 DIM				Key	Label	
1	Mute Mute Gro	up1 Mute	- LIT			Key	Label	
2	Mute Mute Gro	up2 Mute	- LIT			Key	Label	Ô

USER DEFINED CONTROLS LIBRARY画面の構成

これらの画面では、各種LIBRARY機能の操作、LIBRARYデータの 管理/編集を行います。



① LIBRARY リスト 表示部

- LIBRARY番号およびLIBRARY名を表示します。
- データが保存されていないデータスロットには、横バーが表示されます。
- 選択中のデータスロットは、ハイライト表示になります。
- あらかじめプリセットされているLIBRARYのLIBRARY番号には「P」が付いています。
- カレントライブラリー(最後にSTORE / RECALLしたライブ ラリー)のライブラリー番号は、黄色い枠が表示されます。

- ② LIBRARY メニューボタン (…)
 - 選択中のデータスロットにのみ、このボタンが表示されます。
 - このボタンをタップすると、選択中のデータスロットを編集 するLIBRARYメニューのウィンドウを表示します。



詳細については、247 ページ「ライブラリーメニュー」をご 参照ください。

③ スクロールノブ/スクロールバー表示

スクロールバー表示をドラッグすることでLIBRARYリスト表示 がスクロールします。また、LIBRARYリスト表示を上下にスワ イプする、またはLCDノブ4を回してスクロールすることもで きます。

④ カレントライブラリー番号

最後にSTORE / RECALLしたライブラリーのライブラリー番号 を表示します。

⑤ プレビュー表示部

- 選択したLIBRARYデータの内容をプレビュー表示します。
 タブをタップしてプレビューの表示対象を切り換えます。
- プレビュー表示を上下にスワイプすることでLIBRARYリスト 表示がスクロールします。また、LCDノブ8を回してスクロー ルすることもできます。

⑥ LOCK / UNLOCKボタン

● 各データスロットのLOCK / UNLOCK状態を表示します。

ボタン	内容
	UNLOCK状態
ß	LOCK状態

データスロットに設定データが保存されていないときは、グ レーアウト表示になります。

 アイコンまたは
 アイコンをタップすると、データスロットのLOCK / UNLOCKを切り換えるウィンドウを表示します。



選択肢をタップして、LOCK \angle UNLOCKを切り換えます。

LOCKされたデータスロットは、削除やRename、上書きストアができなくなります。

⑦ PRESETボタン

このボタンをタップすると、LIBRARYリストの表示がプリセッ トデータの位置に移動します。

⑧ RECALL SAFEボタン

- Recall Safeの設定状態を表示します。いずれかのRecall Safeが設定されている場合に、ボタンがハイライト表示に なります。
- このボタンをタップすると、LIBRARY呼び出し時に設定を 保護する(設定を維持する)対象を選択する下記のRECALL SAFE画面に切り換わります。

5	USER DEFINED CONTROLS LIBRARY RECALL SAFE	×
	USER KEYS	
	FOOT SWITCH / GPIO-IN	
	GPIO-OUT	

⑨ STOREボタン

- データスロットを選択してからこのボタンをタップすると、 選択中のデータスロットに現在の設定をSTOREします。
- データスロットを未選択、またはLOCKされたLIBRARYデー タを選択中は、ボタンがグレーアウト表示になります。
- STORE時のLIBRARYデータ名は、以下の通りです。
 UDC_月日時分
- STORE時のデータ名が既存データと同じ場合は、以下のメッ セージが表示されます。



 選択中のデータスロットに設定データがある場合は、確認 メッセージが表示されます。



- Cancelボタンをタップすると、LIBRARYのSTOREを中止 して確認メッセージを閉じます。
- Replaceボタンをタップすると、選択中のデータスロット に現在の設定を上書きして確認メッセージを閉じます。

1 RECALLボタン

RECALLしたいデータを選択し、RECALLボタンをタップすると、 RECALL確認のウィンドウを表示します。



- Cancelボタンをタップすると、LIBRARYのRECALLを中止して確認メッセージを閉じます。
- Recallボタンをタップすると、選択しているデータを RECALLします。

① RECALL UNDO / REDOボタン

このボタンをタップすると、該当のLIBRARYで最後に実施した RECALL処理の取り消し(Undo)、再実行(Redo)を実行します。

12 プレビュー表示切り換えボタン

プレビュー表示部で表示される USER KEY表示を切り換えます。

ボタン	内容
NAME	Key Labelの名前を表示します。(→ 73 ペー ジ「⑧ Key Label表示エリア(User Key タブ 画面のみ)」)
FUNCTION	USER KEYの機能名を表示します。

ALL SYSTEM DATA画面

この画面では、すべてのSnapshotおよびLIBRARYを含むミキサー 全体の設定(以下、All System Data)の以下の操作を行います。

- All System Dataの内蔵メモリーへのファイル保存
- All System Dataの内蔵メモリーからの呼び出し(ミキサーへの 反映)
- All System DataのSDカードもしくはUSBメモリーへのバック アップ(ファイルの書き出し)
- All System Dataの SDカードもしくは USB メモリーから内蔵メ モリーへのリストア(ファイルの取り込み)

メモ

Network Setup画面の Password設定は、All System Dataのバック アップ/リストアの対象外です。

この 画面は、メニュー画面 > System Setup メニュー > 「All System Data」をタップして表示します。



① 保存済みファイル一覧表示部

- 内蔵メモリーに保存されている All System Dataを一覧表示 します。
- ファイル名の右側にAll System Dataが保存された日時を表示します。
- 選択中のファイルをハイライト表示します。

② 🔤 ボタン

このボタンをタップすると、選択したAll System Dataの下記操 作を行うメニューウィンドウを表示します。

ALL SYSTEM DATA	
SAVED DATA	
ALL_SYS_DATA_250418-095234.asd7	
ALL_SYS_DATA 250419 005504 2rd7	
ALL_SYS_DATA	
Rename Delete	

操作メニュー	内容
Rename	選択したAll System Dataの名前を変更す る Rename画面に切り換わります。
Delete	 選択したAll System Dataを削除するかどうかの確認メッセージを表示します。 CANCELボタンをタップすると、確認メッセージを閉じます。 DELETEボタンをタップすると、選択したAll System Dataを内蔵メモリーから消去して確認メッセージを閉じます。 保存済みファイル一覧表示(①)から 選択したAll System Dataが消去されます。

③ SAVEボタン

このボタンは、All System Dataを内蔵メモリーにSAVEする際 にタップします。(\rightarrow 261 ページ「ミキサー全体の設定をSAVE する」)

④ LOADボタン

- このボタンは、All System Dataを内蔵メモリーからLOADする際にタップします。(→ 261 ページ「ミキサー全体の設定をLOADする」)
- All System Dataを未選択時は、ボタンがグレーアウト表示 になります。

メモ

下記2つの条件がそろっているときは、ボタンがグレーアウト 表示になり、LOADできません。

- OA Tally Inhibit スイッチが「ON」(→41ページ「⑱ OA Tally Inhibit スイッチ」)
- ON AIR TallyがGPIO-INに入力されている

⑤ Factory Reset ボタン

このボタンは、本機のすべての設定を初期値にクリアした上で、 内蔵メモリーに保存されている各種ユーザーデータ*を削除し、 設定値を工場出荷時の状態に戻します。(→ 265 ページ「出荷 時の設定に戻す」)

* 内蔵メモリーに保存されている各種ユーザーデータ

- Saveされた All System Data
- SnapshotにSTOREされたデータ
- 各種 LIBRARY 画面に STORE されたデータ

メモ

下記 2 つの条件がそろっているときは、ボタンがグレーアウト 表示になり、リセットを実行できません。

- OA Tally Inhibitスイッチが「ON」(→41ページ「⑱ OA Tally Inhibitスイッチ」)
- ON AIR Tallyが GPIO-INに入力されている

⑥ BACKUPボタン

- All System Dataを未選択時は、ボタンがグレーアウト表示 になります。
- All System Dataを選択中このボタンをタップすると、選択した All System Dataの外部メモリーへの BACKUPを行うか確認するメッセージが表示されます。(→ 262ページ「ミキサー全体の設定をバックアップする」)

ALL SYSTEM DATA	×
SAVED DATA	
ALL_SYS_DATA_250529-051141.asd7 2025/5/29 02	5:11:41
ALL_SYS_DATA BACKUP	5:12:30
ALL_SYS_DATA to 2025/5/29 0:	5:12:36
USB	
CANCEL BACKUP	
SAVE LOAD Factory Reset BACKUP	RESTORE

⑦ RESTORE ボタン

このボタンをタップすると、ALL SYSTEM DATA RESTORE画面 に切り換わります。(→ 263 ページ「ミキサー全体の設定をリ ストアする」)

⑧ スクロールノブ/スクロールバー表示

- 保存済みファイルの数が画面内に表示しきれない場合にス クロールバーを表示し、スクロールノブをハイライト表示し ます。
- スクロールバー表示をドラッグすることで画面がスクロール します。また、保存済みファイルー覧表示部(①)を上下 にスワイプする、またはLCDノブ8を回してスクロールする こともできます。

ミキサー全体の設定を SAVEする

ミキサー全体の設定 (All System Data) を内蔵メモリーに SAVE (保存) するには、以下の手順で操作します。

 SAVEボタン(③)をタップすると、All System Dataを保存 する確認メッセージが表示されます。

•	ALL SYSTEM DATA	
	ALL_SYS_DATA_250529-051141.asd7	
	ALL_SYS_DATA 250520-051230 asd7	
	ALL_SYS_DATA SAVE ALL SYSTEM DATA	
	ALL_SYS_DATA_250529-051346.asd7	
	CANCEL RENAME SAVE	
	SAVE LOAD Factory Reset BACKUP RESTORE	

 確認メッセージのSAVEボタンをタップすると、All System Dataを内蔵メモリーに保存して確認メッセージを閉じます。 保存済みファイル一覧表示(①)に確認メッセージに表示さ れた名前が追加されます。

ミキサー全体の設定をLOADする

ミキサー全体の設定(All System Data)を内蔵メモリーから LOAD (ミキサーに反映)するには、以下の手順で操作します。

 All System Dataを選択中にLOADボタン(④)をタップすると、 選択したAll System DataのLOADを行うか確認するメッセー ジが表示されます。

•	ALL SYSTEM DATA			×
	ALL_SYS_DATA_250		2025/5/29 05:11:41	
	ALL_SYS_DATA_250	579.051730 asd7	2025/5/29 05:12:30	
	ALL_SYS_DATA	LOAD ALL SYSTEM DATA?	2025/5/29 05:12:36	
		include NETWORK Settings	5	
		CANCEL LOAD		
	SAVE LOAD	Factory Reset	BACKUP	

メモ

ネットワーク設定をLOADする場合は、確認メッセージの 「include NETWORK Settings」のチェックボックスをタップし てチェックマーク(✔)を付けます。

ALL SYSTEM DATA	×
SAVED DATA	
ALL_SYS_DATA_250529-051141.asd7 2025/5/29 0	
ALL_SYS_DATA 250529.051330.3cd7 ALL_SYS_DATA ALL SYSTEM DATA ? 2025/5/29 0	5:12:30
✓ include NETWORK Settings	
CANCEL LOAD	
SAVE LOAD Factory Reset BACKUP	

2. 確認メッセージのCANCELボタンをタップすると、確認メッ セージを閉じます。

確認メッセージのLOADボタンをタップすると、選択したAll System Dataの内蔵メモリーからのLOADを開始し、確認メッ セージを閉じます。LOAD中は、以下のメッセージが表示され ます。LOADが完了するとファイルの選択状態が解除されます。

*	ALL SYSTEM DATA	\times
	ALL_SYS_DATA_250529-051141.asd7	
	ALL_SYS_DATA_250529-051230.asd7	
	ALL_SYS_DATA_250529-051236.asd7	
	Processing	
	SAVE LOAD Factory Reset BACKUP RESTORE	

注意

 All System DataをLOADすると、すべてのSnapshotと各種 LIBRARYの設定データが、LOADするAll System Dataのもの に差し替えられますのでご注意ください。

現在のデータを残しておきたい場合には、LOAD前に SAVEを してください。

- IF-MTR32 での録音/再生中は、All System Dataを LOADすることができません。IF-MTR32 の録音/再生を停止させてから LOADしてください。
- DCAスピルモード中にSnapshot Recallを実施した場合、 DCAスピルモードは解除されます。

ミキサー全体の設定をバックアップする

内蔵メモリーにあるミキサー全体の設定(All System Data)をSD カード/ USBメモリーにバックアップします(ファイルを書き出 します)。

- 1. バックアップするメディアを装着します。
- **2.** バックアップしたいファイルをタップして、選択状態表示にします。

•	ALL SYSTEM DATA	×
	SAVED DATA	
	ALL_SYS_DATA_250529-051141.asd7	
	ALL_SYS_DATA_250529-051230.asd7	
	ALL_SYS_DATA_250529-051236.asd7	
	SAVE LOAD Factory Reset BACKUP RESTORE	

3. BACKUPボタンをタップします。 確認メッセージが表示されます。

5	ALL SYSTEM DATA	\times
	ALL_SYS_DATA_250529-051141.asd7	
	ALL_SYS_DATA BACKUP 2025/5/29 05:12:30	
	ALL_SYS_DATA	
	USB	
	CANCEL BACKUP	

SDカードとUSBメモリーを両方装着している場合、▶マークが表示されたメディア選択ボタンをタップして、バックアップ先メディアを選択します。

•	ALL SYSTEM DATA	
	ALL_SYS_DATA_250529-051141.asd7	
	ALL_SYS_DATA BACKUP	
	ALL_SYS_DATA 0 ALL_SYS_DATA_250529-051236.asd7 to 2025/5/29 05:12:36	
	USB >	
	CANCEL BACKUP	
	SAVE LOAD Factory Reset BACKUP RESTORE	
		÷

ALL SYSTEM DATA	
SAVED DATA	
ALL_SYS_DATA_250529-051141.asd7	
ALL_SYS_DATA ALL_SYS_DATA ALL_SYS_DATA 250529-051236	
SAVE LOAD Factory Reset BACKUP RESTORE	

 確認メッセージ内のBACKUPボタンをタップして、All System Dataのバックアップを実行します。 バックアップデータは、バックアップ先メディアの下記の固 定フォルダーに保存されます。 \\TASCAM\SONICVIEW\ALL_SYSTEM_DATA

- バックアップ先メディアに該当するフォルダーがなかった 場合は、該当するフォルダーを作成します。
- バックアップ先に同名ファイルがある場合は、確認メッセージが表示されます。

•	ALL SYSTEM DATA	
	ALL_SYS_DATA_250529-051141.asd7	
	ALL_SYS_DATA_250529.051230 acd7	
	ALL_SYS_DATA This name already exists.	
	CANCEL	

- CANCELボタンをタップすると、確認メッセージを閉じます。
- OVERWRITEボタンをタップすると、同じ名前のAll System Dataに上書きして確認メッセージを閉じます。
- RENAMEボタンをタップすると、RENAME画面に切り換わります。既存のAll System Data名と重複しない名前を入力してEnterボタンをタップすると、バックアップが実行されALL SYSTEM DATA画面に戻ります。
- バックアップ先のメディアが「Lock」されたSDカードの場合は、下記のメッセージが表示されます。

Cannot Backup. SD card Locked.

 バックアップ先のメディアの空き容量が不足している場合 は、下記のメッセージが表示されます。

Cannot Backup. SD card is full.

Cannot Backup. USB flash drive is full.

- CANCELボタンをタップすると、確認メッセージを閉じます。
- BACKUPボタンをタップすると、選択したAll System Dataを内蔵メモリーから選択した外部メモリーに BACKUP(ファイルの書き出し)を実行し、確認メッセー ジを閉じます。

ミキサー全体の設定をリストアする

SD カード/ USB メモリーにバックアップしたミキサー全体の設定 (All System Data)を内蔵メモリーに取り込みます。

注意

Ver 1.1.0 以 上 の 本 機 で 作 っ た Snapshotを Ver 1.0.x の 本 機 で RECALLすると正常動作できないため、以下の制限があります。

 Ver 1.1.0 以上の本機で作ったAll System Dataは、Ver 1.0.xの 本機ではリストアできません(Ver 1.0.xの本機で作ったAll System Dataは、Ver 1.1.0 以上の本機でリストアできます)。

メモ

リストアは、外部メモリーの All System Dataを内蔵メモリーにファ イルとして取り込む操作になります。

ミキサーの設定には、反映されません。

取り込んだ All System Dataの設定をミキサーの設定に反映させる には、All System Dataのロードを実施してください。(\rightarrow 261 ペー ジ「ミキサー全体の設定をLOADする」)

- 1. リストアしたいAll System Dataが書き込まれているメディア を装着します。
- RESTORE ボタンをタップします。
 ALL SYSTEM DATA RESTORE画面に切り換わります。

ALL SYSTEM DATA RESTORE	×
USB V\TASCAM\SONICVIEW\ALL_SYSTEM_DATA\	
ALL_SYS_DATA_210218-222842.asd	
ALL_SYS_DATA_210831-142438.asd	
ALL_SYS_DATA_210831-bbb.asd	
ALL_SYS_DATA_210910-134807.asd	
RESTO	RE

メモ

SDカード/ USB メモリーが装着されていない場合は、以下の メッセージが表示されます。

ALL SYSTEM DATA	
ALL_SYS_DATA_210218-222842.asd	
ALL_SYS_DAT	
ALL_SYS_DAT	
ALL_SYS_DAT	
CANCEL	
	store 🖉 🧿

3. メディア選択ボタンをタップして、リストアするAll System Dataのあるメディアを選択します。

ALL SYSTE	M DATA RESTORE	×
USB 🔺	> \\TASCAM\SONICVIEW\ALL_SYSTEM_DATA\	
USB	[A_210218-222842.asd	
SD	FA_210831-142438.asd	
	TA_210831-bbb.asd	
ALL_S	YS_DATA_210910-134807.asd	
	RESTORE	Ô

メモ

SDカードかUSBメモリーのどちらか1つが装着されている場合は、メディア選択メニューは表示されません。

- 表示されたフォルダーにリストアしたいファイルがない場合、 メディア選択ボタンの右にあるフォルダー選択ボタンをタッ プし、フォルダー選択プルダウンメニューを表示します。
 - プルダウンメニューが画面に収まらない場合は、LCDノブ8 操作、スクロールバー操作、またはスワイプ操作でスクロー ルできます。
 - フォルダー名の左にある「>」をタップすると、そのフォルダー が開いて中のフォルダーが表示されます。
 - 開いたフォルダ名の左にある「〜」をタップすると、フォルダー が閉じます。
 - フォルダー名をタップすると、そのフォルダーが選択されます。
 - 選択されたフォルダー名は、フォルダー選択ボタンのパス表 示欄に反映されます。



[フォルダー選択プルダウンメニュー表示例]

希望するフォルダーを選択したら、フォルダー選択ボタン左端にある「〜」をタップし、フォルダー選択プルダウンメニューを閉じます。

6. リストアするファイルを選択して、RESTOREボタンをタップします。 でアメット・ジャーキー

確認メッセージが表示されます。

S ALL SYSTEM DATA RESTORE	X
USB V\TASCAM\SONICVIEW\ALL_SYSTEM_DATA\	
ALL_SYS_DATA_210218-222842.asd	
ALL_SYS_DAT	
ALL_SYS_DAT RESTORE ?	
ALL_SYS_DAT	
CANCEL	
RESTORE	Ô

- 7. 確認メッセージ内の RESTORE ボタンをタップして、リストア を実行します。
 - リストア先(内蔵メモリー)に同名ファイルがある場合は、 確認メッセージが表示されます。

ALL SYSTEM DATA RESTORE		
USB V > \\TASCAM\SONICVIEW\ALL_SYSTEM_DATA		
ALL_SYS_DATA_210218-222842.asd		
ALL_SYS_DAT		
ALL_SYS_DAT		

- CANCELボタンをタップすると、確認メッセージを閉じます。
- OVERWRITEボタンをタップすると、同じ名前のAll System Dataに上書きして確認メッセージを閉じます。
- RENAMEボタンをタップすると、RENAME画面に切り換わります。既存のAll System Data名と重複しない名前を入力してEnterボタンをタップすると、リストアが実行されALL SYSTEM DATA画面に戻ります。
- 内蔵メモリーの空き容量が不足している場合は、下記のメッセージが表示されます。

Cannot Restore. Internal memory is full.

出荷時の設定に戻す

本機のすべての設定を初期値にクリアした上で、内蔵メモリーに 保存されている各種ユーザーデータ*を削除し、設定値を工場出荷 時の状態に戻します。

- * 内蔵メモリーに保存されている各種ユーザーデータ
 - SaveされたAll System Data
 - SnapshotにSTOREされたデータ
 - 各種LIBRARY画面にSTOREされたデータ
- Factory Reset ボタン(⑤)をタップすると、Factory Resetの 実行を確認するメッセージが表示されます。

5	ALL SYSTEM DATA	×
	SAVED DATA	
	ALL_SYS_DATA_250529-051141.asd7 2025/5/29 05:11:41	
	Resets all settings to factory defaults. - All System Data, Snapshot and other libraries will also be deleted. (Backups should be made if necessary.) - Network information will be initialized and the connection to the application will be disconnected. CANCEL CONTINUE	
	SAVE LOAD Factory Reset BACKUP RESTORE	

2. 確認メッセージのCANCELボタンをタップすると、確認メッ セージを閉じます。

確認メッセージのCONTINUEボタンをタップすると、再確認 メッセージが表示されます。

5	ALL SYSTEM DATA	
	ALL_SYS_DATA_250529-051141.asd7	
	⚠ Do you want to perform	
	a Factory Reset ?	
	CANCEL	
	SAVE LOAD Factory Reset BACKUP RESTORE	

 再確認メッセージのCANCELボタンをタップすると、再確認 メッセージを閉じます。
 再確認メッセージのRESETボタンをタップすると、Factory Resetを実行します。
 Factory Reset実行中は、すべてのタッチスクリーンに以下の メッセージが表示されます。

FACTORY RE	SET complete			
		Processin	ı g	
		Factory Reset		

Factory Resetが完了すると、通常の表示に戻ります。

メモ

- Factory Resetを実行すると、内蔵メモリーに保存されていた各種ユーザーデータが削除されます。必要に応じて各データを外部メモリーにバックアップしてください。
- Network設定も初期化するため、本機とのネットワーク接続 も切断されます。

INFORMATION画面

この画面では、システム全体の情報とエラー情報を表示します。 この画面は、メニュー画面> System Setupメニュー> 「Information」をタップして表示します。

この画面に切り換えたとき、本機が正常に動作しているときは、 最後に表示したタブ画面を表示します。

本機にエラーまたは注意事項が発生しているときは、ERRORタブ 画面を表示します。

STATUS タブ 画面



① SYSTEM CLOCK

- システムクロックの状態、動作しているサンプリング周波数 およびマスタークロック名を表示します。
- この部分をタップすると、SYNC CLOCK画面に切り換わります。(→ 36 ページ「SYNC CLOCK画面」)

2 SLOT

- SLOT1またはSLOT2に装着中の拡張カード名を表示します。
- この部分をタップすると、SLOT SETUP画面に切り換わります。(→129ページ「SLOT SETUP画面」)
- 未装着時は空欄です。

③ MEDIA

- USBメモリーやSDカードの状態を表示します。
- この部分をタップすると、Media Manage画面に切り換わり ます。(→ 276 ページ「Media Manage画面」)

④ RECORDER/PLAYER

- 内蔵レコーダー/プレイヤーの動作状態を表示します。
- この部分をタップすると、RECORDER / PLAYER画面に切り換わります。(→ 280ページ「RECORDER / PLAYER画面」)

(5) AVAILABLE MEMORY

システムで使用できるメモリ残量を表示します。 起動直後は「Checking memory…」と表示されますが、しばら くするとメモリー残量が表示されます。 本機を長時間にわたって電源を切らずに稼働し続けた場合、こ

のメモリ残量が減ってくる場合があります。 メモリ残量が赤いバーまで減った場合、下記エラーメッセージ が画面上部に表示されます。また、同じ内容のメッセージウィ ンドウも表示されます。

Insufficient memory. A system reboot is recommended to ensure stable operation.

- The reboot should take less than a minute.

- During system reboot audio and operation will be interrupted.

この場合、システムを安定動作させるため、支障のないタイミングで本機リアパネルのPOWERスイッチを使って、本機を再起動してください。

6 TEMPERATURE

- 本機内部、CPUおよびDSPの温度の状態を表示します。
- この部分をタップすると、PREFERENCES画面に切り換わり ます。(→ 39 ページ「PREFERENCES画面」)

⑦ COOLING FAN

- •本機内部の冷却ファンの動作状態を表示します。
- この部分をタップすると、PREFERENCES画面に切り換わり ます。(→ 39 ページ「PREFERENCES画面」)

8 MTR

- リアパネルのSLOT1またはSLOT2に装着したIF-MTR32(マルチトラックレコーダー)の動作状態を表示します。
- IF-MTR32(マルチトラックレコーダー)が装着されている ときにこの部分をタップすると、MULTI TRACK RECORDER 画面に切り換わります。(→ 297ページ「MULTI TRACK RECORDER画面」)

9 OPEN SOURCE SOFTWARE LICENSE

- オープンソースソフトウェアのライセンスを表示します。
- この部分をタップすると、OPEN SOURCE SOFTWARE LICENSE画面に切り換わります。(→269ページ「OPEN SOURCE SOFTWARE LICENSE画面」)

ERROR タブ 画面

270ページ「Sonicview 16 / 24 エラー画面 SYSTEM エラー/ア ラートメッセージー覧」で示すエラー/アラートが発生した場合、 発生したエラー/アラートの内容をこのタブ画面にリスト表示し ます。

表示内容は、本機の電源をオフにすると消去されます。

AL 1 1, WORD clock regained. Switch to WORD. INFORMATION ALL CLEAR 2021/09/01 05:44 WORD clock regained. 2021/09/01 05:44 WORD clock is locked. 3 4

① エラー/アラート 情報表示部

エラーまたはアラートが発生すると、すべてのタッチスクリーンの画面上部にメッセージが表示されます。(→268ページ「エ ラー/アラートメッセージ表示」)

- ② エラー/アラートリスト表示部
 - エラー/アラートが発生した日時、エラー/アラート内容 を表示します。

日時書式:YYYY/MM/DD HH:MM

- 発生時刻の新しいエラー/アラートを上から順番に表示し ます。
- エラー/アラートの状況によって背景色が変わります。

エラー状況	背景色
発生中のエラー	赤色
報告されたアラート	黄色
エラー履歴(エラー復帰後)	灰色

- ●「デバイス温度エラー」のように自動的に復帰するエラーや、 「システムクロックエラー」のように手動で復帰できるエラー は、エラー復帰後に背景色が灰色に変更されます。
- ③ 『 ボタン

このボタンをタップすると、エラー/アラートごとに関連する 設定画面に切り換わります。

④ 🛛 ボタン

消去したいエラー/アラート 表示の 図 ボタンをタップすると、 タップしたエラー/アラート表示を消去します。

メモ

発生中のエラー表示にはこのボタンは表示されず、消去できま せん。

⑤ スクロールノブ/スクロールバー表示

エラー/アラート表示の数が画面内に表示しきれない場合に表示します。

スクロールバー表示をドラッグすることで画面がスクロールし ます。また、エラー/アラート表示を上下にスワイプする、ま たはLCDノブ8を回してスクロールします。

⑥ ALL CLEARボタン

このボタンをタップすると、すべてのエラー/アラート履歴を 消去する確認メッセージを表示します。



CLEARボタンをタップすると、すべてのエラー/アラート 履歴 を消去します。

メモ

発生中のエラー表示は、エラーリストから消去されません。

エラー/アラートメッセージ表示

● 270 ページ「Sonicview 16 / 24 エラー画面 SYSTEM エラー/ アラートメッセージー覧」で示すエラー/アラートが発生する と、すべてのタッチスクリーンの画面上部にメッセージが表示 されます。



[ホーム画面・エラー/アラートメッセージオープン状態表示]



[ホーム画面・エラー/アラートメッセージクローズ状態表示]

① エラー/アラート数

現在発生しているエラーまたはアラートの数を表示します。

- ② エラー/アラートメッセージ内容変更ボタン
 - 複数のエラー/アラートが発生している場合に表示されます。
 - このボタンをタップすると、エラー/アラートメッセージ表示部(③)の表示内容が別のメッセージに変更されます。
- ③ エラー/アラートメッセージ表示部
 - 発生したエラー/アラートの内容を表示します。メッセージ 先頭の番号は、発生した順番です。
 - このエリアをタップすると、エラーまたはアラート内容に対応した画面に切り換わります。
- ④ エラー点滅バー

エラーまたはアラートが解消するまで、すべてのタッチスクリーンの

画面上部で赤線が

点滅します。

⑤ 閉じるボタン

エラー/アラートメッセージ表示部(③)により、表示が見え なかったり操作できなかったりする場合は、このボタンをタッ プすると、エラー/アラートメッセージ表示部(③)を閉じる ことができます。

メモ

エラー/アラートメッセージ表示部(③)が閉じた状態のとき に新たにエラー/アラートが発生した場合、エラー/アラート メッセージ表示部は自動的に開いた状態になります。

⑥ 開くボタン

このボタンをタップすると、閉じられたエラー/アラートメッ セージ表示部(③)を再度開くことができます。

● 270 ページ「Sonicview 16 / 24 エラー画面 SYSTEMエラー/ アラートメッセージー覧」で示すアラートが発生すると、右端 のタッチスクリーンに以下のようなメッセージウィンドウを表 示します。



- CLOSEボタンをタップすると、メッセージを閉じます。
- ・ 画面名ボタンをタップすると、右端のタッチスクリーンがア ラート内容に対応した画面に切り換わります。

OPEN SOURCE SOFTWARE LICENSE画面

この画面では、本機で使用しているオープンソースソフトウェア のライセンス情報を表示します。

この画面は、INFORMATION画面 > 「OPEN SOURCE SOFTWARE LICENSE」をタップして表示します。

5	OPEN SOURCE SOFTWARE LICENSE		×	
	acl	•	٠	
	adwaita-icon-theme-symbolic			
	alsa-conf			_2
	alsa-lib	•		Ŀ
	alsa-plugins-pulseaudio-conf			
	alsa-state			
	alsa-states			
	alsa-tools			
	alsa-utils	•	Ô	

① ライセンス情報リスト

- 使用しているオーブンソースソフトウェアのライセンス情報
 をリスト表示します。
- ▼アイコンをタップすると、タップしたオープンソースソフ
 トウェアのライセンスドキュメントを表示します。



ライセンスドキュメントを表示中に ▲ アイコンをタップすると、ライセンスドキュメントを閉じます。

② スクロールバー表示

ライセンス情報またはライセンドキュメントが画面内に表示し きれない場合に表示します。 スクロールバー表示をドラッグすることで画面がスクロールし

ます。また、リストを上下にスワイプする、またはLCDノブ8 を回してスクロールすることもできます。

Sonicview 16 / 24 エラー画面 SYSTEM エラー/アラートメッセージー覧

エラー/アラート分類	メッセージ	内容	備考	
	「マスタークロック名」 clock has no signal. Switched to Internal.	マスタークロックが No Signal状態で す。		
	「マスタークロック名」 clock is unlocked. Switched to Internal.	マスタークロックが UNLOCK状態で す。	-	
	「マスタークロック名」 clock regained.	マスタークロックが REGAIN状態です (Unlock後、Lockできる状態に復帰 した)。	マスタークロック名: WORD	
システムクロックエラー	「マスタークロック名」 clock regained. Can be re-synced to「マス タークロック名」.	マスタークロックが REGAIN状態です (Unlock後、Lockできる状態に復帰 した)。 (画面上端に表示する際のメッセージ)	Dante SLOT1(スロット信号種別) SLOT2(スロット信号種別)	
	「マスタークロック名」 clock is locked.	マスタークロックがLOCK状態です。 (No Signal状態もしくはUnlock状態 を解消してLock状態になった際のエ ラー履歴として、INFORMATION画面 のERRORタブ画面にグレーで表示さ れます。画面上部には、表示されませ ん。)	スロット信号種別: AES、Dante、MADI	
	SLOT[スロット番号][カード名] was removed.	拡張カードが抜かれました。	スロット番号:1 / 2 カード名:	
スロットカードエラー	SLOT[スロット番号][カード名] failure.	拡張カードの故障を検知しました。	 IF-AE16 (AES) IF-AN16/OUT (Analog Out) IF-DA64 (Dante) IF-MA64/BN (MADI) IF-MA64/EX (MADI) IF-MTR32 (Recorder) IF-ST2110 (ST 2110) 	
	IF-ST2110 Card failure.	拡張カード IF-ST2110 のアップデート に失敗して、カードが使用できない 状態です。		
	IF-ST2110 Card recovered.	拡張カード IF-ST2110 が使用できな い状態から復帰しました。		
IF-ST2110 カードエラー	PTP Clock (PORT1&2) Lost. Switched to IF-ST2110 internal.	ネットワーク内のグランドマスター クロック信号とPTP同期ができなく なったため、PTP同期を拡張カード	 IF-ST2110の設定 PTPフォロワー設定:有効 (Follower Only設定が「Enable」 の時) SMPTE ST 2022-7 機能(冗長 化システム):有効(Seamless Protection Switchingの設定が 「Enable」の時) 	
	PTP Clock Lost. Switched to IF- ST2110 internal.	IF-ST2110の内蔵オシレーターのク ロックに切り換えました。	 IF-ST2110の設定 PTPフォロワー設定:有効 (Follower Only設定が「Enable」 の時) SMPTE ST 2022-7 機能(冗長 化システム):無効(Seamless Protection Switchingの設定が 「Disable」の時) 	

エラー/アラート分類	メッセージ	内容	備考
	PTP Clock (Port1) is locked. Port2 is no signal.	PORT 1 でネットワーク内のグランド マスタークロック信号と PTP同期を しました。 PORT 2 は、No Signal状態です。	
	PTP Clock (Port2) is locked. Port1 is no signal.	PORT 2 でネットワーク内のグランド マスタークロック信号と PTP同期を しました。 PORT 1 は、No Signal状態です。	IF-ST2110 の設定 • PTP フォロワー設定:有効 (Follower Only設定が「Enable」
IF-ST2110 カードアラー	PTP Clock (Port1) is locked. Port2 is regained.	PORT 1 でネットワーク内のグランド マスタークロック信号と PTP同期を しました。 PORT 2 は、No Signal状態から PTP同 期できる状態に復帰しました。	の時) • SMPTE ST 2022-7 機能(冗長 化システム):有効(Seamless Protection Switchingの設定が 「Enable」の時)
	PTP Clock (Port2) is locked. Port1 is regained.	PORT 2 でネットワーク内のグランド マスタークロック信号と PTP同期を しました。 PORT 1 は、No Signal状態から PTP同 期できる状態に復帰しました。	
	PTP Clock is locked.	ネットワーク内のグランドマスター クロック信号と PTP同期をしました。	 IF-ST2110の設定 PTPフォロワー設定:有効 (Follower Only設定が「Enable」 の時) SMPTE ST 2022-7 機能(冗長 化システム):無効(Seamless Protection Switchingの設定が 「Disable」の時)
	Dante Module Unavailable.	内蔵 Dante モジュールが 使用できな い 状態です(Safe Mode/Update中)。	
内蔵 Dante エラー	Dante Module Available.	内蔵Dante モジュールが使用できる 状態になりました。	エラー履歴としてINFORMATION 画面のERRORタブ画面にグレー で表示されます。 画面上部には、表示されません。
メモリ残量不足エラー	Insufficient memory. A system reboot is recommended to ensure stable operation. - The reboot should take less than a minute. - During system reboot audio and operation will be interrupted.	システムで使用できるメモリー残量 が少なくなっています。 システムを安定動作させるため、支 障のないタイミングで本機リアパネ ルのPOWERスイッチを使って、本機 を再起動してください。 再起動にかかる時間は1分未満です。 再起動中は音声出力が止まり、操作 もできなくなりますのでご注意くだ さい。	INFORMATION画面の STATUS タ ブ画面の AVAILABLE MEMORYが 赤いバーまで減った場合に表示 されます。 その際、画面上部のエラーメッ セージとともに、メッセージウィ ンドウも表示されます。

第9章 各種情報表示

エラー/アラート分類	メッセージ	内容	備考
	SYSTEM is too HOT. Increase FAN speed.	本機内部の温度が上昇しました。 冷却ファンの速度を上げてください。	
	CPU is too HOT.	CPU温度が上昇しました。	
	Increase FAN speed.	冷却ファンの速度を上げてください。	
	DSP is too HOT. Increase FAN speed.	DSP温度が上昇しました。 冷却ファンの速度を上げてください。	
デバイス温度エラー	IF-ST2110 Card is too HOT.	拡張カード IF-ST2110 の温度が正常 範囲外の状態です。	IF-ST2110の冷却ファン回転速度 を工場出荷時設定の「L」から「H」 に変更することで改善できる場 合があります(基板上のジャン パーソケット変更)。詳細は、IF- ST2110の取扱説明書の「冷却ファ ン回転速度の設定方法」をご参 照ください。
	SYSTEM is too COLD.	本機内部の温度が低すぎます。	
	CPU is too COLD.	CPU温度が低すぎます。	
	DSP is too COLD.	DSP温度が低すぎます。	
	SYSTEM temperature normal.	本機内部の温度が正常範囲に戻りま した。	エラー履歴としてINFORMATION
	CPU temperature normal.	CPU温度が正常範囲に戻りました。	画面のERRORタブ画面にグレー
	DSP temperature normal.	DSP温度が正常範囲に戻りました。	で表示されます。
	IF-ST2110 Card temperature normal.	拡張カード IF-ST2110 の温度が正常 範囲に戻りました。	画面上部には、表示されません。
	Cooling FAN failure.	本機の冷却ファンが停止しました。	
	IF-ST2110 Card FAN failure.	拡張カード IF-ST2110 の冷却ファン が停止しました。	
冷却ファンエラー	Cooling FAN in motion.	本機の冷却ファンが動き出しました。	エラー履歴としてINFORMATION
	IF-ST2110 Card FAN in motion.	拡張カード IF-ST2110 の冷却ファン が動き出しました。	画面のERRORタブ画面にグレー で表示されます。 画面上部には、表示されません。
禁止設定アラート	Clock master changed to Internal. [カード名] cannot be clock master.	マスタークロックに選択できないIF- AN16/OUT、またはIF-MTR32 がマス タークロックになっていたため、マス タークロックを「INT」に変更しまし た。	電源オフ時に、マスタークロッ クに設定されている SLOTのカー ドを、IF-AN16/OUT、またはIF- MTR32 に差し替えてから起動し た際に発生。 カード名: • IF-AN16/OUT • IF-MTR32
	SLOT[スロット番号][カード名] installed.	電源がオフの間に拡張カードが装着 されました。	スロット番号:1/2 カード名:
スロットカードアラート	SLOT[スロット番号] was changed from [旧カード名] to [現カード名].	電源がオフの間に拡張カードが変更 されました。	 IF-AE16 (AES) IF-AN16/OUT (Analog Out) IF-DA64 (Dante) IF-MA64/BN (MADI) IF-MA64/EX (MADI) IF-MTR32 (Recorder) IF-ST2110 (ST 2110)
デバイス 温度アラート	IF-ST2110 Card is HOT.	拡張カード IF-ST2110 の温度が正常 範囲外に近い状態です。	IF-ST2110の冷却ファン回転速度 を工場出荷時設定の「L」から「H」 に変更することで改善できる場 合があります(基板上のジャン パーソケット変更)。詳細は、IF- ST2110の取扱説明書の「冷却ファ ン回転速度の設定方法」をご参 照ください。
内蔵 Dante アラート	Dante I/O Sample rate changed by Dante Controller.	内蔵 Dante入出力のサンプリング周波 数が Dante Controllerから変更されま した。	

エラー/アラート分類	メッセージ	内容	備考
司得マゴノフフニート	Unrecognized format (SD card).	認識できないフォーマットの SD カー ドが装着されました。	
記録スティアアノート	Unrecognized format (USB flash drive).	認識できないフォーマットのUSBメ モリーが装着されました。	
	Recording stopped. Media Full.	メディアの容量が不足したため、録 音を停止しました。	
	Recording error. Buffer overflow.	録音中にバッファーオーバーフローが 発生したため、録音を停止しました。	
録音アラート	Recording stopped. File limit reached. Please change to another folder.	フォルダー内のファイルの総数がシ ステム制限数を超えたため、録音を 停止しました。別のフォルダーに変 更してください。	
	Recording error. SD card was removed.	録音中に SD カードが 抜かれたため、 録音を 停止しました。	
	Play error. Buffer underrun.	再生中にバッファーアンダーランが 発生したため、再生を停止しました。	
再生アラート	Play error. [メディア名] was removed.	再生中にメディアが抜かれたため、 再生を 停止しました。	メディア名: SD card USB
SB-16D マウント 状態エ ラー	SB-16D ID #xx-xx has been disconnected.	マウントされていた SB-16Dが Dante ネットワークから切断され、バーチャ ルマウント状態になりました。	xx = 1 ~ 16
SB-16D マウント 状態ア ラート	SB-16D ID#xx-xx connected.	バーチャルマウント状態だった SB- 16Dが Dante ネットワークに接続さ れ、マウント状態になりました。	xx = 1 ~ 16 起動後約 3 分以内にこのアラート が発生した場合は、メッセージを 表示しません。
	SB-16D ID #xx-xx has a ID conflict.	マウントされている SB-16Dと同じID の SB-16Dが Danteネットワークに接 続されました。	xx = 1 ~ 16
SB-16D ID重複エラー	SB-16D ID #xx-xx conflict has been resolved.	マウントされている SB-16Dの IDの 重 複が解消されました。	xx = 1 ~ 16 エラー履歴としてINFORMATION 画面のERRORタブ画面にグレー で表示されます。 画面上部には、表示されません。
SB-16D パラメーター設定 アラート	SB-16D ID #xx-xx INPUT xx cannot be set to LINE LEVEL. This console does not have SB-16D ID #xx-xx Pre Amp Control.	制御権がない SB-16Dの 入力ポートが Insert Return ポートにアサインされ た、またはアサインされているため、 該当する 入力ポートの Pre Amp設定 をラインレベルの 基準設定値に変更 できませんでした。 表示されるタイミングは、以下をご 参照ください。 • 100 ページ「⑤ AUTO ROUTING ボタン」 • 101 ページ「SB-16Dを 使用する」 • 156 ページ「④ 入力ソース選択ボ タン」	xx = 1 ∼ 16

第9章 各種情報表示

エラー/アラート分類	メッセージ	内容	備考
	MTR File Error.	MTRでファイルの読み込みに失敗し ました。	
	MTR Non-Supported WAV format.	MTRでサポートしていないWAVファ イルです。 MTRで取り扱い可能なファイル形式 については、311ページ「ファイル フォーマットについて」を確認して ください。	
	MTR Cannot MARK. (Limit Reached)	マークは、99 個までしか作成できま せん。	
	MTR No Playback File.	MTRで再生するファイルが存在しま せん。	
	MTR Playing Error.	MTRの再生に失敗しました。 ファイルを確認してください。	
	MTR cannot record. Please enable at least one REC READY track	MTRの録音トラックが選択されてい ないため、録音を開始できません。 少なくとも1つはREC READYを有効 にしてください。	
IF-MTR32(マルチトラッ クレコーダー)アラート	MTR buffer overflow occurred. Recording will continue.	MTRの SD カードへの 書き込みが間に 合いませんでした。 これにより 音声が不連続になり、ノ イズが発生します。 この不連続点にはマークが付けられ ます。 イレースフォーマットを実行するか、 SD カードを交換してください。	MULTI TRACK RECORDER - MENU 画面で SD カードの ERASE フォー マットを実行すると、SD カード
	MTR Recording stopped. Buffer overflow.	MTRのSDカードの書き込み性能が 低下したため、録音を停止しました。 SDカードへの書き込みが間に合わず、 発生した不連点にはマークが付いて います。マーク付近の音声を確認し てください。 イレースフォーマットを実行するか、 SDカードを交換してください。	の性能が回復します。たたし、 SDカードの状態(故障・寿命など) により、書き込み速度が回復し ない場合もあります。
	MTR Recording stopped. SD Card Full.	MTRの SD カードの残容量がないた め、録音を停止しました。	
	MTR Recording stopped. Take limit reached. Please change to another project.	フォルダー内のファイル、フォルダー などの総数が多いため、MTRの録音 を停止しました。	
	MTR Failed to write.	MTRで書き込みに失敗しました。 SDカードを交換してください。	
	MTR File Protected.	MTRのファイルが書き込み禁止であ るため編集することができません。 ファイルのプロテクトを解除してく ださい。	

エラー/アラート分類	メッセージ	内容	備考
	MTR Protected SD Card. Please unprotect the SD card.	MTRの SD カードが 保護されていま す。 保護を 解除してください。	
	MTR SD Card Error. Please format the SD card.	MTRの SD カードが正常にフォーマッ トされていないか、壊れている可能 性があります。 SD cardをフォーマットしてくださ い。 フォーマットを実行するカード内の データは、すべて消去されます。	
IF-MTR32(マルチトラッ クレコーダー)アラート	MTR Format Error. Please format the SD card.	MTRの SD カードが正常にフォーマッ トされていないか、壊れている可能 性があります。 SD cardをフォーマットしてくださ い。 フォーマットを実行するカード内の データは、すべて消去されます。	
	MTR Operation cannot be continued. Please reinsert the SD CARD.	MTRの SD カードに 問題が 発生しまし た。 カードを 挿し 直してください。	
	MTR Invalid SD Card. Please change the SD card.	MTRの SD カードが 正常でない 可能性 があります。 SD カードを 交換してください。	
	MTR System ROM Error.	このエラーが頻繁に発生する場合は、 TASCAMカスタマーサポートにご相 談ください。	
	MTR Unknown Error. XX An unexpected error occurred inside the system. Please contact our customer support with the error code.	このエラーが頻繁に発生する場合は、 TASCAMカスタマーサポートにご相 談ください。	XX = エラー番号

Media Manage画面

この画面では、メディア情報の表示とフォーマットを行います。 この画面は、メニュー画面 > System Setup メニュー > 「Media Manage」をタップして表示します。



① メディアの情報表示

装着したSDカード/ USBメモリーのメディア情報を表示しま す。

表示	内容
Total size	メディア全体の容量を表示します。
Used	使用済み容量を表示します。
Available	空き容量を表示します。

② Formatボタン

このボタンをタップして、フォーマットを開始します。(→ 276 ページ「メディアをフォーマットする」)

メモ

ライトプロテクトされているSDカードを装着された場合は、 Formatボタン上部に「LOCKED」と表示されてボタンがグレー アウト表示になり、フォーマットを実施できません。

③ フォーマット名

装着したSDカード/ USBメモリーのフォーマット名(ファイ ルシステム名)を表示します。

メモ

メディアが装着されていない場合、グレーアウト表示になります。

メディアをフォーマットする

注意

- SDカードがライトプロテクトされている場合は、フォーマット できません。ライトプロテクトを解除してください。(→35 ページ「SDカードのライトプロテクトスイッチについて」)
- フォーマットを行うと、SDカード/USBメモリー上のデータ はすべて消去されます。十分確認した上で行ってください。
- 必ず本機にてフォーマットを行ってください。他の機器、パソコンなどでフォーマットしたSDカード/USBメモリーを使用した場合は、動作に影響が出る場合があります。

- 1. Formatボタンをタップします。
 - SDカードをフォーマットする場合は、フォーマットの実施 を確認するウィンドウを表示します。



 USBメモリーをフォーマットする場合は、フォーマットする ファイルシステムを選択するウィンドウが表示されます。

5	Media Manage	×
	S D	🖍 USB
	Total size : 14GB Used : 32kB Available : 14GB	FAT EXFAT
	Format FAT32	Format FAT32

フォーマットするファイルシステムのボタンをタップします。

メモ

SDカードをフォーマットする場合、装着したSDカードの容量 によってフォーマットするファイルシステムが自動的に選択さ れます(SDHCカード:FAT32 / SDXCカード:exFAT)。

 Format ボタンをタップして、フォーマットを開始します。 フォーマット実行中は、以下の画面が表示されます。



フォーマットが完了すると、ウィンドウを閉じます。

Version Information画面

この画面では、システムのファームウェア、各種デバイス、アプリ ケーションのバージョン情報やアップデートの必要性を表示します。 メニュー画面 > System Setup メニュー > 「Version Information」 をタップして、Version Information画面に切り換えます。



① システムバージョン

現在のSonicviewのシステムファームウェアのバージョン情報 を表示します。

② 各種デバイス/アプリケーション名

Sonicview内蔵Danteデバイス、スロットカード、対応アプリ ケーション、SB-16Dの名前を表示します。

③ Status

各デバイス/アプリケーションのアップデートが必要かどうか を表示します。

 Current verがRequired verと一致する場合、「OK」と表示 します。
 この場合、該当デバイス/アプリケーションをアップデート

する必要はありません。 ● Current verがRequired verより小さい場合、「 圓 Update

- Required.」と表示します。 この場合、該当デバイス/アプリケーションが正常に動作 しない可能性があります。 該当デバイス/アプリケーションのファームウェア/ソフト ウェアをアップデートしてください。
- Current verがRequired verより大きい場合、「
 <u>IPlease</u> <u>check the latest system version of Sonicview.</u>」と表示します。 この場合、Sonicviewのファームウェアをアップデートできる場合があります。ただし、デバイスやアプリケーションだけがアップデートされている状況では、Sonicviewのファームウェアをアップデートする必要はありません。 TASCAMのウェブサイトでSonicviewの最新ファームウェアの情報をご確認ください。

Sonicview 16

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_16/support

Sonicview 24

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_24/support

メモ

Status欄に以下のメッセージが表示されている場合、各デバイ スやアプリケーション、または本機のアップデートが必要であ ることをお知らせするため、メニュー画面の「System Setup」 メニュー項目と「Version Information」サブメニュー項目に 🕑 マークが表示されます。

• 🗊 Update Required.

• ① Please check the latest system version of Sonicview.

④ Required ver

現在のSonicviewシステムファームウェアが要求する各デバイ ス/アプリケーションのバージョン情報を表示します。

(5) Current ver

- 各デバイス/アプリケーションの現在のバージョン情報を 表示します。
- 専用アプリケーション「TASCAM Sonicview Control」の現 在のバージョン情報は、「TASCAM Sonicview Control」でご 確認ください。
- 専用ソフトウェア「TASCAM Sonicview USB for Windows」の現在のバージョン情報は、Windowsパソコンにインストールした「TASCAM Sonicview USB」でご確認ください。
- IF-DA64(Danteカード)のDante Moduleバージョン情報は、 Dante Controllerでご確認ください。

⑥ DETAILボタン

このボタンをタップすると、システムの詳細なファームウェア バージョン情報とビルド番号、SLOT 1 および SLOT 2 に挿入さ れているカード 情報を表示する Version Information Details画 面に切り換わります。

Version Inform	ation Details	×
SYSTEM VERSIO	DN 1.06.00 build 20240205	
os	: Ver 1.6.0 build 397	
System1	: Ver 1.6.0 build 315514	
System2	: Ver 1.6.0 build 16922	
DSP PS	: Ver 01.60 build 602	
DSP PL	: Build 0021	
Fader Driver	: Ver 1.1 build 36	
Front Driver	: Build 0027	
SLOT1		
None		
SLOT2		
None		

⑦ スクロールバー表示

Sonicview内蔵Danteデバイス、スロットカード、対応アプリ ケーション、SB-16Dの名前が画面内に表示しきれない場合に 表示します。

スクロールバー表示をドラッグすることで 画面がスクロールし ます。また、リストを上下にスワイプする、またはLCDノブ 8 を回してスクロールすることもできます。

ファームウェアアップデート手順

注意

- ファームウェアアップデートの際は、本機が対応したファイ ルシステム(FAT32/exFAT)でフォーマットされたUSBメモリ やSDカードをご利用ください。USBメモリーやSDカードを本 機でフォーマットしてからご利用いただくことをお勧めします。 (→276ページ「Media Manage画面」)
- MAIN ファームウェア Ver 1.1.0 以上の本機で作った Snapshot を Ver 1.0.x の本機で RECALL すると正常動作できないため、以 下の制限があります。
 - MAIN ファームウェアを Ver 1.0.x にバージョンダウンすることはできません。
 - MAINファームウェアVer 1.1.0以上の本機で作った Snapshot/All System Dataは、Ver 1.0.x の本機ではイン ポート/リストアできません(Ver 1.0.x の本機で作った Snapshot/All System Dataは、Ver 1.1.0以上の本機でイン ポート/リストアできます)。
- 1. パソコンでTASCAMのウェブサイトより最新のファームウェ アをダウンロードします。

Sonicview 16

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_16/support

Sonicview 24

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_24/support ダウンロードを行ったファイルがZIP形式などの圧縮ファイル の場合は、解凍してください。

- ダウンロード/解凍したファームウェアファイルのみをパソ コンからUSBメモリーまたはSDカードのルートディレクト リー(一番上の階層)にコピーしてください。
- 3. 手順 2. で作成した USB メモリーまたは SD カードを、トップ パネルの USB端子または SD カードスロットに挿入します。
- メニュー画面 > System Setup メニュー > 「Firmware Update」 をタップして、Firmware Update画面に切り換えます。

Firmware L	Jpdate			×
	Select update file	USB	SD	
MAIN				
SLOT 1				
IF-AN16/OUT (Analog OUT)				
SLOT 2				
IF-AN16/OUT (Analog OUT)				

ファームウェアをアップデートするデバイスのタブをタップします。

デバイス表示	内容
MAIN	本機のファームウェアをアップデートする
SLOT 1	SLOT 1 に挿入されている 拡張カードの ファームウェアをアップデートする
SLOT 2	SLOT 2 に挿入されている 拡張カードの ファームウェアをアップデートする

メモ

拡張カードが装着されていないSLOTのタブは表示されません。

6. 画面右上のUSBボタンまはたSDボタンをタップして、手順 3. で装着したメディアを選択します。

USBメモリーまたはSDカードを認識し、ファームウェア用 アップデートファイルを確認すると以下の画面が表示されま す。

🤊 Firmware L	Jpdate			×
	Select update file	USB	SD	
MAIN	Sonicview16-24_V01.00.00			
SLOT 1				
IF-AN16/OUT (Analog OUT)				
SLOT 2				
IF-AN16/OUT (Analog OUT)				

メモ

- 上記の画面には、装着したUSBメモリまたはSDカードのルートフォルダー内にあるファームウェアアップデート用のファイルがリスト表示されます。上記の2.でコピーされたファームウェアも表示されます。
- 最大5行のファームウェアを表示できます。5行を超えるファイルがある場合には、リストを上下にスワイプしてください。
 両面は一例で、実際のまテンは思わります。
- 画面は一例で、実際の表示とは異なります。
- アップデートするファームウェアをタップして選択すると、 ファームウェアデータが自動的に展開されて以下の画面が表示されます。

•	Firmware L	irmware Update							
			Firmware update						
	MAIN	Sonicv	Sonicview16-24_V01.00.00						
		os	Ver 1.0.0 build 77			Ver 1.	0.0 build 78		
	SLOT 1	System2	Ver 1.0.0 build 12839			Ver 1.	0.0 build 12841		
		DSP PS	Ver 1.0 build 355			Ver 1.) build 355		
	AN16/OUT	Fader Driver	Ver 1.0 build 31			Ver 1.) build 31		
		Front Driver	Build 0027			Build	0027		
	SLOT 2								
	AN16/OUT nalog OUT)	Confirm Are you	nation u sure?	CANC	EL		UPDATE		

左側に現在のバージョン、右側にアップデートするバージョ ンナンバーが表示されます。

メモ

画面は一例で、実際の表示とは異なります。

 アップデートの実施確認メッセージが表示されますので、 UPDATEボタンをタップします。



メモ

- アップデートの必要がない場合は、UPDATEボタンが表示されません。
- CANCELボタンをタップすると、アップデートを取り消して、 アップデートファイルの一覧表示に戻ります。
- 9. 再度アップデートの実施確認メッセージが表示されますので、 UPDATEボタンをタップすると、しばらく起動画面が表示さ れてからアップデートを開始します。

注意

- アップデート中は電源を切断しないように注意してください。
- アップデート途中で電源が切断されると、起動できなくなる恐れがあります。
- 10. アップデートが完了すると、以下の画面が表示されます。



11. 本機リアパネルの POWER スイッチを 使って、本機を 再起動します。

注意

MAIN ファームウェア Ver 1.0.2 以前のバージョンでは RESTART ボタンが表示されますが、その場合でも RESTART ボタンはタッ プせず、必ずリアパネルの POWER スイッチを使って本機を再 起動してください。

- 再起動後、277ページ「Version Information画面」を参照して、 最新のファームウェアとなっていることを確認してください。 以上で本機のアップデート作業は終了です。
- **13.** USBメモリーまたはSDカード内にあるファームウェアアップ デート用ファイルを削除してください。

第10章 録音/再生

本機には、2トラックのWAVレコーダー(SDカード)と2トラッ クのWAV / MP3 / AACプレイヤー(SDカード/ USBメモリー) が内蔵されています。 録音ファイルフォーマットは、以下の通りです。

• WAV: 48k/96kHz、24bit、2ch

SYNC CLOCK画面の Sync Clockボタン(②)で設定したサンプリ ング周波数で録音されます。(\rightarrow 37 ページ「サンプリング周波 数を設定する」)

再生可能なファイルフォーマットは、以下の通りです。

- BWF/WAV: 48k/96kHz、16/24bit、2ch
- MP3: 44.1k/48kHz 32k ~ 320kbps、2ch
- AAC: 44.1k/48kHz 64k ~ 320kbps、2ch

SDカードのフォーマットについて

本機でフォーマットされたSDカードは、録音時の性能向上のため に最適化されています。そのため、本機で使用するSDカードは 本機でフォーマットを行ってください。(→ 276 ページ「Media Manage画面」)

他の機器、パソコンなどでフォーマットされたSDカードは、本機 での録音時にエラーになる可能性があります。

本機で使用するSDカード/ USBメモリー

本機にて動作が確認されたSDカード/USBメモリーのリストが、 TASCAMのウェブサイトに掲載されています。

Sonicview 16

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_16/support

Sonicview 24

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_24/support

このリストに掲載されている SD カード/ USB メモリーをご使用ください。

RECORDER / PLAYER画面

この画面では、内蔵レコーダー/プレイヤーの操作を行います。 この画面は、メニュー画面 > Recorder/Player メニュー > 「Recorder/ Player」をタップして表示します。



RECORDER部



- 録音トランスポートステータス表示
 トランスポートの状態をアイコン表示します。
- ② 録音総トラック数表示

録音ファイルの総トラック数を表示します。

メモ

1つのフォルダーに録音できるトラック数は、最大 999 です。 999 トラックあるフォルダー、ファイル名末尾が「999.wav」 のファイルがあるフォルダーでは、録音フォルダー名表示部に 「Rec Limit」と表示されて、録音できなくなります。

録音をする場合は、別のフォルダーに切り換えてください。

③ 録音経過時間

録音の経過時間を表示します。 メディアが装着されていない場合は、「--:--」と表示します。

- ④ 録音入力レベルメーター 内蔵レコーダーへの入力レベルを表示します。
- ⑤ メディア容量バー メディア総容量に対する、使用済み容量の割合を表示します。 録音の経過とともに、左から右にバーが伸びていきます。
- ⑥ RECORDER情報表示部

録音している間、録音中であることがわかりやすいように背景 色が薄い赤に変わります。

 ⑦ テープリールアイコン 録音している間、動作中であることがわかりやすいように、テー プリールのアイコンが回転します。

- ⑧ 録音ファイル名表示
 - 録音中/録音一時停止中に、録音中のファイル名を表示しま す。
 - 録音停止後は、最後に録音したファイル名を表示します。
 - 録音ファイル名のフォーマットは、以下の通りです。

YYYYMMDD_nnn.wav

- YYYY:年 MM:月 DD:日 nnn:3桁の番号
- 11111 5 11

メモ

本機の起動直後/メディアの装着直後/フォルダーの選択直後 は、何も表示しません。

⑨ 録音フォルダー名表示部

- 録音先のフォルダーパス名を表示します。
- この部分をタップすると、録音先のフォルダーを選択する BROWSE画面に切り換わります。(→ 283 ページ「録音フォ ルダー選択のBROWSE画面」)
- SDカードが装着されていない場合は、「No Media」と表示 します。
- SDカードの空き容量がない場合は、「No free space」と表示します。
- 認識できないSDカードを装着された場合は、 「Unrecognized」と表示します。この表示のときにタップすると、Media Manage画面に切り換えます。(→276ページ 「Media Manage画面」)

メモ

フォルダー内にファイルとサブフォルダーが合計 999 以上ある 場合は、正常にファイルやフォルダーが表示できない場合があ ります。

⑩ 録音残時間

メディアの録音可能残り時間を表示します。 メディアが装着されていない場合やメディアの空き容量がない 場合など、録音できない状態では、「--:---」と表示します。

⑪ トランスポート 操作ボタン/インジケーター

内蔵レコーダーの操作を行います。

	レコーダーが録音中にタップすると、録音を 停止します。 レコーダーが停止中は、ボタンが白くハイラ イト表示になります。
II	レコーダーが録音中にタップすると、録音を 一時停止します。 レコーダーが録音一時停止中は、ボタンが白 くハイライト表示になります。
•	レコーダーが停止中にタップすると、録音を 開始します。レコーダーが録音一時停止中に タップすると、録音を再開します。 レコーダーが録音中または録音一時停止中は、 ボタンが薄い赤でハイライト表示になります。

12 REC TRIMノブ

LCDノブ1を回して、レコーダーへの入力レベルのトリム値を 調節します。

設定範囲:-20.0dB~+20.0dB(0.1dB刻み、初期値:0.0dB)

13 INPUT SOURCE設定ボタン

- レコーダーへの入力ソース名を表示します。
 ボタン上段には、FIXED MODULE LABELを表示します。
 ボタン下段には、USER MODULE LABELを表示します。
 USER MODULE LABELが未定義の場合は、FIXED MODULE LABELを表示します。(→134ページ「MODULE LABELタ ブ画面」)
- 入力ソースがアサインされていない場合は、空欄になります。
- このボタンをタップすると、RECORDER INPUT SOURCE SELECT画面に切り換わります。



レコーダーのLチャンネルとRチャンネルへの入力信号を MIX1-22 またはMAIN L/Rから選択します。(初期値:MAIN L/R)

PLAYER部



- ① 再生トランスポートステータス表示
 - トランスポートの状態をアイコン表示します。
- ② 再生トラック番号/トラック数 選択・再生中トラックの番号/総トラック数を表示します。
- ③ 再生経過時間 トラックの先頭からの経過時間を表示します。 メディアが装着されていない場合は、「--:--」と表示します。

第10章 録音/再生

④ 再生モード表示

- 再生モードを表示します。
- この部分をタップすると、再生モードを設定するウィンドウ を表示します。



アイコン	表示内容
1 Trk.	シングル再生
ALL Trk.	フォルダー再生(初期値)
C⊒ ⊉ 1	シングルリピート 再生
	フォルダーリピート 再生

ウィンドウ表示内のボタンをタップすると、タップした再生 モードに変更し、ウィンドウを閉じます。

⑤ 再生出力レベルメーター

プレイヤーからの出力レベルを表示します。

6 Time Bar

再生トラックの長さに対する現在の再生済み時間の割合を表示します。

ノブをドラッグすることで、再生位置を移動することができます。

⑦ テープリールアイコン

再生している間、動作中であることがわかりやすいように、テー プリールのアイコンが回転します。

⑧ 再生対象ファイルの前後のファイル名表示部

- 左側に再生対象ファイルの1つ前のファイル名を表示します。
- 右側に再生対象ファイルの1つ後のファイル名を表示します。

⑨ 再生対象ファイル名表示部

- 再生対象ファイル名を表示します。
- この部分をタップすると、再生メディア/再生ファイル/ 再生フォルダー選択のBROWSE画面に切り換わります。(→ 285ページ「再生メディア/再生ファイル/再生フォルダー 選択のBROWSE画面」)

11 再生フォルダー名表示部

- 再生対象のメディア名およびフォルダーパス名を表示します。
- この部分をタップすると、再生メディア/再生ファイル/ 再生フォルダー選択のBROWSE画面に切り換わります。(→ 285ページ「再生メディア/再生ファイル/再生フォルダー 選択のBROWSE画面」)

① 再生残時間

再生トラックの残り時間を表示します。

- 12 トランスポート 操作ボタン/インジケーター
 - プレイヤーの操作を行います。

	プレイヤーが再生中にタップすると、再生を
•	停止します。 プレイヤーが停止中は、ボタンが白くハイラ イト表示になります。
п	プレイヤーが停止中/再生中にタップすると、 再生一時停止状態になります。 プレイヤーが再生一時停止中は、ボタンが白 くハイライト表示になります。
	プレイヤーが停止中/再生一時停止中にタッ プすると、再生を開始します。 プレイヤーが再生中は、ボタンが緑色にハイ ライト表示になります。
≪ / ▶>	プレイヤーが停止中/再生中/再生一時停止 中にタップすると早送り/早戻しを開始し、押 し続けるとその間早送り/早戻しを行います。 ・早送り/早戻し中にタップすると、早送り /早戻し前の状態に戻ります。 ・早送り/早戻し中は、ボタンが白くハイラ ィト表示になります。
	プレイヤーが停止中にタップすると、手前の ファイル/次のファイルにスキップします。 プレイヤーが再生中/再生一時停止中に I◀ ボタ ンをタップすると 曲の先頭に 戻ります。 ファイルの先頭で停止しているときに I◀ ボタン をタップすると、手前のファイルにスキップ します。 再生中に ▶►I ボタンをタップすると、次のファ イルにスキップします。

¹³ PLAYBACK OUT設定表示

- プレイヤー出力をアサインしている入力モジュールの FIXED MODULE LABELと USER MODULE LABELを表示します。
- プレイヤー出力をアサインしていない場合は、空欄になります。
- 複数の入力モジュールにアサインしている場合は、若い番 号から順に表示されます。



BROWSE画面

録音フォルダー選択の BROWSE画面

RECORDER部の録音フォルダー名表示部をタップすると、録音フォ ルダー選択のためのBROWSE画面に切り換わります。 録音したい既存フォルダーや新規フォルダーに移動し、録音フォ

ルダー設定ボタン(Set REC•FOLDER))をタップすると、そのフォ ルダーが録音フォルダーに設定されます。





[SDカードのルートの表示例]

メモ

- USBメモリーには録音できません。録音メディアはSDカード となります。
- フォルダー内にファイルとサブフォルダーが合計 999 以上ある 場合は、正常にファイルやフォルダーが表示できない場合があ ります。

1 5 ボタン

このボタンをタップすると、RECORDER/PLAYER画面に戻ります。

② メディア名表示

表示しているメディア名を表示しています。

③ 録音フォルダー表示

表示中のフォルダーが録音フォルダーに設定されていることを 示します。

④ 再生フォルダー表示

表示中のフォルダーが再生フォルダーに設定されていることを 示します。

- ⑤ --- ボタン
 - このボタンをタップすると、現在の階層の各種操作を行う メニューウィンドウを表示します。

•	BRO	WSE: SD				_
		REC FOLDER / PLA	Y FOLDER			
~		20220322_001.wav			00 h 08 m 37 s	
		20220322_0 🛅 Music	c		× 105 s	
		20220322_0		Ō	n 56 s	
		20220322_0	Rename	Delete	n 04 s	
		20220322_005.wav			00 h 04 m 38 s	

操作メニュー	内容
Rename	表示中のフォルダーの名前を変更する 画面に切り換わります。
Delete	表示中のフォルダーを削除します。

- 録音中/再生中は、操作できません。
- ●「SD card」階層を表示中にタップすると、メディア情報を 表示します。

5		WSE: SD			Þ
		SD card	Set 🖓 REC•FOLDER	Go REC•FOLDER	
		Music			
		TASCAM	SD Card (SONICVIEW)	×	
		20220317_0	USED SIZE : 7.1GB FREE SIZE : 21GB	115 s	
		20220317_0	TOTAL SIZE : 29GB	15 s	
		20220317_0	03.wav	02 h 04 m 15 s	
		20220317_0	04.wav	00 h 18 m 29 s	
	51	20220317_0	05.wav	00 h 00 m 21 s	

- SDカードのボリューム名
- SDカードの各種容量情報

⑥ 🖪 ボタン

表示中の階層に新しいフォルダーを作るためのボタンです。 このボタンをタップすると、作成するフォルダー名を入力する 画面に切り換わります。



Make Folder画面のキーボードのCaps lockボタンとShiftボタンの設定状態によって、入力できる文字の組み合わせを変更することができます。キーボードの変更方法については、230ページ「キーボードの変更方法」をご参照ください。

⑦ 階層移動ボタン

☆ボタンをタップすると、表示中のフォルダーの階層が1つ上がります。

メモ

階層が「SD Card」(一番上の階層)のときは、グレーアウト表 示になります。

⑧ 階層名表示

現在表示中の階層のアイコンおよび階層名を表示します。

⑨ 録音フォルダー設定ボタン

このボタンをタップすると、表示中のフォルダーを録音フォル ダーに設定します。録音フォルダーに設定されると、このボタ ンと録音フォルダーへの移動ボタン(⑩)が消えて録音フォ ルダー表示(③)が表示されます。

録音フォルダーの設定方法については、287 ページ「録音フォ ルダーの設定方法」をご参照ください。

11 録音フォルダーへの移動ボタン

このボタンをタップすると、録音フォルダーに移動します。

① フォルダーリスト表示

- 表示中の階層に存在するフォルダー名を名前順に表示します。
- このエリアをタップすると、タップしたフォルダー内に移動 します。

12 ファイルリスト表示

現在表示中の階層に存在する再生可能なファイル名とファイル の長さをファイル名順に表示します。

13 🖬 ボタン

 ・音声ファイルのボタンをタップすると、ボタン左側のファイルの各種情報表示と下記操作を行うメニューウィンドウを表示します。

•						₽
		R / 🖿 PLAY FOLDER				
	 Inviusic	🞜 20220322_001.wav	X	27	_	
	20220322_0	File infe : WAY/O6kHz/24bit		3/S		
	20220322_0	Channel : Stereo Time : 00h08m37s				
	20220322_0	File size : 284MB Update date : 2022/3/22 14:01		56 s		
	20220322_0		_	04 s		
	20220322_0	Rename Delete		38 s		

操作メニュー	内容
Rename	ボタン左側のファイルの名前を変更す る画面に切り換わります。
Delete	ボタン左側のファイルを削除します。

- 録音中/再生中は、操作できません。
- フォルダーのボタンをタップすると、ボタン左側のフォル ダーの操作を行うメニューウィンドウを表示します。



操作メニュー	内容
Rename	ボタン左側のフォルダーの名前を変更 する画面に切り換わります。
Delete	ボタン左側のフォルダーを削除します。

• 録音中/再生中は、操作できません。

14 スクロールバー

フォルダーやファイルの数が画面内に表示しきれない場合に表示します。

スクロールバー表示をドラッグすることで画面がスクロールし ます。また、ファイルリストを上下にスワイプする、または LCDノブ8を回してファイルリストをスクロールします。

再生メディア/再生ファイル/再生フォルダー選択 のBROWSE画面

PLAYER部の再生フォルダー名表示部または再生対象ファイル名を タップすると、再生メディア/再生ファイル/再生フォルダー選択 のBROWSE画面に切り換わります。

再生したいファイルがあるメディアのフォルダーに移動し、再生 フォルダー設定ボタン(Set PLAY>FOLDER))をタップすると、選択 したメディアの選択フォルダーが再生フォルダーに設定されます。



[メディア選択するためのミキサールートの表示例]

メモ

フォルダー内にファイルとサブフォルダーが合計 999 以上ある場 合は、正常にファイルやフォルダーが表示できない場合があります。

① 5 ボタン

このボタンをタップすると、RECORDER/PLAYER画面に戻ります。 ② **メディア名表示**

表示しているメディア名を表示しています。

③ 再生フォルダー表示

表示中のフォルダーが再生フォルダーに設定されていることを 示します。

④ 録音フォルダー表示

表示中のフォルダーが録音フォルダーに設定されていることを 示します。

- ⑤ … ボタン
 - このボタンをタップすると、現在の階層の各種操作を行う メニューウィンドウを表示します。

•	WSE: SD						•
	PLAY FOLDER / C RE	C FOLDER			•••		
	20220322_001.wav			00 h 08 m 37 s			
	20220322_0 🗋 Music	:		× 1 05 s			
	20220322_0		İ	n 56 s			
	20220322_0	Rename	Delete	n 04 s	•••		
	20220322_005.wav			00 h 04 m 38 s	•••	•	

操作メニュー	内容
Rename	表示中のフォルダーの名前を変更する 画面に切り換わります。
Delete	表示中のフォルダーを削除します。

- 録音中/再生中は、操作できません。
- メディアのルートを表示中にタップすると、メディア情報を 表示します。

•	WSE: SD			*
	Set PLAY►	FOLDER GOR RECOFOLDER	Go PLAY ► FOLDER	
	Music			
	TASCAM	SD Card (SONICVIEV	v) 🛛 🖂	
	20220317_0	USED SIZE : 7.1GB FREE SIZE : 21GB	115 s	
	20220317_0	TOTAL SIZE : 29GB	115 s	
	20220317_0	03.wav	02 h 04 m 15 s	
	20220317_0	04.wav	00 h 18 m 29 s	
	20220317_0	05.wav	00 h 00 m 21 s	

- メディアのボリューム名
- メディアの各種容量情報

⑥ 🖪 ボタン

表示中の階層に新しいフォルダーを作るためのボタンです。 このボタンをタップすると、作成するフォルダー名を入力する 画面に切り換わります。



Make Folder画面のキーボードのCaps lockボタンとShiftボタンの設定状態によって、入力できる文字の組み合わせを変更することができます。キーボードの変更方法については、230ページ「キーボードの変更方法」をご参照ください。

⑦ 階層移動ボタン

☆ボタンをタップすると、表示中のフォルダーの階層を1つ上がります。

メモ

階層が「Root」(一番上の階層)のときは、グレーアウト表示 になります。

⑧ 階層名表示

現在表示中の階層のアイコンおよび階層名を表示します。

⑨ 再生フォルダー設定ボタン

このボタンをタップすると、表示中のフォルダーを再生フォル ダーに設定します。 再生フォルダーに設定されると、このボタンと再生フォルダー

への移動ボタン(⑪)が消えて再生フォルダー表示(③)が 表示されます。

再生フォルダーの設定方法については、288 ページ「再生フォ ルダーの設定方法」をご参照ください。

11 録音フォルダーへの移動ボタン

このボタンをタップすると、録音フォルダーに移動します。

① 再生フォルダーへの移動ボタン

このボタンをタップすると、再生フォルダーに移動します。

12 再生対象マーク表示部

この部分をタップすると、タップした音声ファイルが再生対象 ファイルとして選択され、チェックマーク(✔)が表示されます。

(13) フォルダーリスト表示部

● 表示中の階層に存在するフォルダー名を名前順に表示します。

 このエリアをタップすると、タップしたフォルダー内に移動 します。

⑭ ファイルリスト表示

現在表示中の階層に存在する再生可能なファイル名とファイル の長さをファイル名順に表示します。また、この部分をタップ すると、タップした音声ファイルが再生対象ファイルとして選 択され、チェックマーク(✔)が表示されます。

15 🖬 ボタン

 ・音声ファイルのボタンをタップすると、ボタン左側のファイルの各種情報表示と下記操作を行うメニューウィンドウを表示します。

•	BROWSE: SD							••
		PLAY FOLD	er / 🗖 REC FOLDER					
~	11	20220322_0	512 20220322_001.wav	×	37 s			
		20220322_0	Channel : Stereo Time : 00h08m37s	h (►	
		20220322_0	File size : 284MB Update date : 2022/3/22 14:01	h 56 s	56 s			
		20220322_0)4 s			
		20220322_0	Rename Delete	13	38 s		•	

操作メニュー	内容
Rename	ボタン左側のファイルの名前を変更す る画面に切り換わります。
Delete	ボタン左側のファイルを削除します。

- 録音中/再生中は、操作できません。
- フォルダーのボタンをタップすると、ボタン左側のフォル ダーの操作を行うメニューウィンドウを表示します。

•	BRO	WSE: SD						₽
		Set PLAY	FOLDER	RECOFC		PLAY⊳FOL	DER	
		Music					•••	
		TASCAM	🗋 Music			×		
		20220317_0			ā	1	15 s	
		20220317_0		Rename	Delete	1	15 s	
		20220317_0	03.wav			02 h 04 m 1	5 s	
		20220317_0	04.wav			00 h 18 m 2		
	5	20220317_0	05.wav			00 h 00 m 2	21 s	

操作メニュー	内容
Rename	ボタン左側のフォルダーの名前を変更 する画面に切り換わります。
Delete	ボタン左側のフォルダーを削除します。

• 録音中/再生中は、操作できません。

16 トボタン

- このボタンをタップすると、タップした音声ファイルが再生 対象ファイルとして選択され、選択した音声ファイルの再 生を開始します。ボタンが緑色のハイライト表示になります。
- ボタンがハイライト表示中にタップすると、音声ファイルの 再生を停止します。

1 スクロールバー

フォルダーやファイルの数が画面内に表示しきれない場合に表 示します。

スクロールバー表示をドラッグすることで画面がスクロールし ます。また、ファイルリストを上下にスワイプする、または LCDノブ8を回してファイルリストをスクロールします。

18 メディアリスト表示部

- 本機に装着されているメディアを表示します。
- このエリアをタップすると、タップしたメディア内に移動します。
- 19 メディアメニューボタン ()

このボタンをタップすると、ボタン左側のメディア情報を表示 します。

- メディアのボリューム名
- メディアの各種容量情報

録音フォルダーの設定方法

 メニュー画面 > Recorder/Playerメニュー>「Recorder/ Player」をタップして、RECORDER/PLAYER画面を表示します。



2. RECORDER部の録音フォルダー名表示部(⑨)をタップして、 RECORDERのBROWSE画面に切り換えます。

S BRO	WSE: SD		÷
	REC FOLDER / PLAY FOLDER SD card		
	Demo-file		
	test-1		
	test-2		
× 5	20220317_001.wav	00 h 06 m 12 s	
5	20220317_002.wav	00 h 01 m 26 s	
5	20220317_003.wav	00 h 03 m 25 s	
5	20220317_004.wav	00 h 01 m 26 s	 Ô

 録音フォルダーに設定したいフォルダーをタップします。 タップしたフォルダー画面に切り換わります。

•	BRO	WSE: SD		÷
		test-1	Set REC•FOLDER Go REC•FOLDER	
	ŗ	20220317_001.wav	00 h 02 m 45 s	
		20220317_002.wav	00 h 02 m 02 s	
	ŗ	20220317_003.wav	00 h 01 m 11 s	
				\$
				Ô

録音フォルダー設定ボタン(⑨)をタップします。
 録音フォルダーに設定され、「REC FOLDER」が表示されます。

•	BRO	WSE: SD		₽
		REC FOLDER test-1		
	ŗ	20220317_001.wav	00 h 02 m 45 s	
		20220317_002.wav	00 h 02 m 02 s	
	1,	20220317_003.wav	00 h 01 m 11 s	
				Õ

再生フォルダーの設定方法

 メニュー画面 > Recorder/Playerメニュー>「Recorder/ Player」をタップして、RECORDER/PLAYER画面を表示します。



 PLAYER部の再生対象ファイル名表示部(⑨)または再生フォ ルダー名表示部(⑩)をタップして、PLAYERのBROWSE画 面に切り換えます。

•	BRO	WSE: SD			••
		 PLAY FOLDER SD card 	Go REC •FOLDER		
		Demo-file			
		test-1			
		test-2			
~	5	20220317_001.wav	00 h 06 m 12 s	••• •	
	ŗ	20220317_002.wav	00 h 01 m 26 s	•••	
		20220317_003.wav	00 h 03 m 25 s	••• •	
	17	20220317_004.wav	00 h 01 m 26 s	•••	Ô

3. 再生フォルダーに設定したいフォルダーをタップします。 タップしたフォルダー画面に切り換わります。



再生フォルダー設定ボタン(③)をタップします。
 再生フォルダーに設定され、「PLAY FOLDER」が表示されます。


第10章 録音/再生

第11章 USBオーディオインターフェース

専用ソフトウェアをインストールする

Windowsパソコンで本機をUSBオーディオインターフェースとし て使用するには、専用ソフトウェアをインストールする必要があ ります。

専用ソフトウェアはTASCAMのウェブサイト(https://tascam.jp/ jp/)から、製品のページへ移動し、最新の専用ソフトウェアをダ ウンロードしてください。

専用ソフトウェアをインストールすると、ドライバーおよび TASCAM Sonicview USB(アプリケーション)がインストールされ ます。

注意

ソフトウェアのインストール時には、他のアプリケーションを終 了してからインストールを開始してください。

メモ

macOSの場合はOS標準ドライバーを使用するため、専用ソフト ウェアをインストール必要はありません。

Windows 専用ソフトウェアのインストール

以下の Windows 専用ソフトウェアのインストール 手順にしたがっ てインストールしてください。

注意

- パソコンと本機をUSBケーブルで接続する前に、Windows 専用ソフトウェアのインストールを完了してください。
- パソコンに Windows 専用ソフトウェアをインストールする前に本機をUSBケーブルで接続し、パソコンに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動してしまっている場合は、そのウィザードを終了させ、USBケーブルを抜いてください。

Windows 専用ソフトウェアのインストール手順

 TASCAMのウェブサイトから、最新の Windows 用ソフトウェ アをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。 Sonicview 16

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_16/support

Sonicview 24

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_24/support

- 2. 保存した Windows 専用ソフトウェア(zip ファイル)をデス クトップなどに解凍してください。
- 3. 解凍して生成されるフォルダー内にある「TASCAM Sonicview USB.exe」をダブルクリックすると、インストールソフトウェアが起動します。

注意

zipファイルを解凍せずに、ダブルクリックして開かれたフォ ルダーでexeファイルを実行した場合には、インストーラーは 起動できません。zipファイルを右クリックして表示されるメ ニューから「すべて展開...」を選択するなど解凍してから再度 実行してください。

 「セキュリティの警告」または「ユーサー アカウント制御」の 画面が表示されますので、「はい(Y)」ボタンをクリックします。 使用許諾契約書の内容を確認し、内容に同意ができたら、「同意する(A)」を選択します。次に「次へ(N)>」ボタンをクリックします。

		^
使用許諾契約書の同意		
統行する前に以下の重要な情報をお読みください。	¢	
以下の使用許諾契約書をお読みください。インストールを続行するにはこの契約書 する必要があります。	同意	
ソフトウエア使用許諾契約書	^	
167 0 0.		
ます。 ホリーレウィマルン(使用)で(公前)に、ホリーレウィマ使用も注意物効素ルト/な法		
みください。		
本ソフトウェアを使用する権利は、お客様が本使用許諾契約に同意した場合	の	
み許諾されます。本使用許諾契約に同意されない場合は、本ソフトウェアをイ	2	
使用を中止し、本ソフトウェアをアンインストールして下さい。本ソフトウェアの	ž u	
○同意する(A)		
 同意しない(D) 		
(#A(N) > 3	ew'd	216

6. 次に「インストール (I)」ボタンをクリックします。

TASCAM Soni	cview USB パージ	ヨン 1.00 セットアップ		-		×
インストール準 ご使用のコン た。	備完了 ピュータへ TASCAI	M Sonicview USB をイ)	シストールする準	備ができま	ŧU (
インストール	を続行するには「イ	ンストール」をクリックして	てくだきい。			
		< 戻る(B)	インストー	JL(T)	キャンオ	216

次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。
 「完了(F)」ボタンをクリックします。

HASCAM Sonicview USB /	-ジョン 1.00 セットアップ - 🗆 🗙
	TASCAM Sonicview USB セットアップウ ィザードの完了
	ご使用のコンピューターにTASCAM Sonicview USB がセットアップさ れました。アプリケーションを実行するにはインストールされたアイコ ンを選択してください。
	セットアップを終了するには「完了」をクリックしてください。
	✓ TASCAM Sonicview USB を実行する。
	完了(E)

インストーラーが終了し、インストールした専用ソフトウェ ア「TASCAM Sonicview USB」が起動します。

メモ

ソフトウェアをインストール後にはじめて本機をUSB接続する と、デバイスドライバーのインストールが実行されます。この とき Windows は、自動的に Windows Update を検索するため、 本機の接続が認識されるまでに時間がかかる場合があります。 しばらくしても本機が認識されない場合、パソコンのディスプ レー右下の通知領域から、ソフトウェアのインストール画面を 表示させ、「Windows Update からのドライバーソフトウェアの 取得をスキップする」をクリックして、検索を終了させてくだ さい。

専用ソフトウェアをアンインストールする

メモ

通常は専用ソフトウェアのアンインストール作業は、必要ありま せん。問題が発生した場合や本機の使用をおやめになる場合に、 以下の手順をご参照ください。

Windows 専用ソフトウェアのアンインストール

- ご使用のOS (Windows 11 / Windows 10) に適した設定方 法で「プログラムのアンインストールまたは変更」画面を開 きます。
- 一覧の中から「TASCAM Sonicview USB」を選択し、ダブル クリックします。
- 3. 以降は、スクリーンの指示にしたがってください。

専用ソフトウェアを開く

専用ソフトウェア「TASCAM Sonicview USB」を開くには、次の 方法があります。

Windows

- 「スタートメニュー」の「TASCAM」から「TASCAM Sonicview USB」を選択します。
- 起動すると、以下のメッセージが表示されます。

TASC	AM Sonicview USB Information	×
	ASIO対応のソフトウェアをお使いの際は、下記のドライバー 選択してください。	ē
	'Sonicview16/24 ASIO'	
	OK C 次からは表示しない	

「OK」ボタンをクリックすると、下記ウィンドウが表示されます。



入力遅延

パソコンとやりとりする場合、ASIOドライバーではオーディオ入 出力信号の遅延量を調節します。

設定値が小さいほど、オーディオ信号の遅れが少なくなりますが、 パソコンの高速処理が要求されます。

他のシステム操作を行った場合など処理が間に合わないと、オー ディオ信号にクリックノイズ、ポップノイズ、ドロップアウトなど が発生する場合があります。

設定値を大きくするほど動作がより安定し、オーディオ信号への 悪影響に対して強くなりますが、パソコンとやりとりするオーディ オ信号の遅れが大きくなります。

本機ではユーザー環境に合わせて、遅延量を調節することができ ます。

この設定を変更すると即座にASIOドライバーに反映されます。

TASCAM Sonicview US	в —		×
ヘルプ			
入力遅延	ビット深度		
		TAS	CAM
バッファサイズ	256 Samples	-	
設定値が小さいほど、オ- が、パソコンの高速処理/	ーディオ信号の遅れが小さくなり が要求されます。	します	

初期值:256Samples

メモ

macOSでは、アプリケーションの設定項目で調節します。

ビット深度

パソコンの環境によって、上記入力遅延/バッファサイズを調整 してもオーディオ信号にクリックノイズ、ポップノイズ、ドロップ アウトなどが発生する場合は、オーディオデータのビット深度を 小さくすることで、パソコンの動作を安定させることが期待でき ます。

Windowsで使用する場合

オーディオデータのビット 深度を 32bit / 24bit / 16bitから 選択 します。(初期値:32bit)

メモ

- この設定を変更すると、即座にASIOドライバーに適用されます。
 ただし、DAWにはこれだけでは適用されませんので、下記「注意事項」を参照ください。
- この設定はASIOのビット深度にのみ適用されます。WDMのビット深度を変更する手順は、293ページ「OBS Studioなどの配信 用アプリケーションで使用するための設定方法」を参照ください。



macOSで使用する場合

- 1. アプリケーションから「Audio MIDI設定」アプリを開きます。
- 2. Sonicviewをサウンド入出力装置に設定します。
- 3. 入力/出力のフォーマットを変更します。

Windows / macOS双方での注意事項

- 32bitに設定する場合、お使いになるDAW ソフトウェアが 32bit に対応していることを確認してからご利用ください。
- ビット 深度変更後はDAW設定でデバイスを選択しなおすか、 DAW ソフトウェアを再起動してください。

- **1.** パソコンと本機をUSBケーブルで接続します。
- 2. Windowsパソコンのコントロールパネルを開きます。

メモ

コントロールパネルは、下記の方法で開きます。

Windows 11

Windows のスタートボタンをクリックし、「すべてのアプリ」 →「Windows ツール」の順でクリックして表示された一覧 から「コントロールパネル」をダブルクリック。

Windows 10

Windows のスタートボタンをクリックし、「Windows システム ツール」内の「コントロールパネル」をクリック。

 コントロールパネル内の「サウンド」をダブルクリックして 開きます。

メモ

コントロールパネルの表示方法を「アイコン」に設定すると「サ ウンド」アイコンが表示されます。

 「再生」タブ画面の「Sonicview 16 / 24」を右クリックし、 表示されたポップアップメニュー内の「既定のデバイスとして 設定」をクリックします。

このとき、緑のチェックマーク(✔)が選択したデバイスに 移動します。

) サウ	ンド						×
再生	録音	サウンド	通信				
下の戸	厚生デバイスを	選択して	その設定	を変更して	ください:		
0	スピーカ Realte 準備完	ー / ヘッド k High D 了	フォン efinitio	n Audio			
0	スピーカ Sonicv 歴定の	- iew 16/2 デバイス	4				
	- HUNLAS						
样	f成(<u>C</u>)			既定個	に設定(5) 🔻	ブロパティ(E	ŋ
				OK	キャンセル	適用(<u>A</u>)

[Windows 10 の場合の画面]

メモ

「再生」タブ画面と同様に「録音」タブ画面もご使用になるデ バイスに応じて既定のデバイスを設定してください。

- 5. 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。
- Windows Media Player を起動し、オーディオファイルの再生 を行うと、Sonicview 16 / 24のUSB IN 1とUSB IN 2 にパソ コンからの再生音が入力されます。

メモ

- Windows Media Player を起動した状態で設定を行った場合 は、Windows Media Player 側でデバイスの切り換えが認識 されません。この場合、Windows Media Player を再起動し てください。
- 上記設定/操作を正しく行っても音が出ない場合は、USB ケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- この設定を行うと本機経由で音は出ますが、パソコンのス ピーカーやヘッドホン端子からは音が出なくなります。

ASIO/WDMの同時再生について

本機のドライバーは、DAWなどASIO経由の出力と Windows Media Player などWDM経由の出力の同時再生が可能です。同時再生す るには、両方のサンプルレートを同じ設定にする必要があります。 また、Windows のサウンドプロパティでは再生側だけでなく、録 音側のサンプルレートも同じ設定にしてください。

サンプルレートが一致している場合

例)Windows(WDM):48000Hz、ASIO:48000Hz

Windows オーディオとASIOの音は、ミックスされて同時に再生 されます。

サンプルレートが一致していない場合

例) Windows (WDM): 48000Hz、ASIO: 96000Hz

Windows Media Player などWDM経由の音は出力されず、DAWな どASIO経由の音のみ出力されます。

DAWを終了するなどでASIO経由の出力がなくなった場合は、 Windows Media Player などWDM経由の音が聞こえるようになり ます。

OBS Studioなどの配信用アプリケーション で使用するための設定方法

ここに記載した手順は、配信用アプリケーションを起動する前に 行ってください。

パソコンのサウンド設定(Windows)

パソコンの入出力デバイス、サンプリング周波数、ビットレート およびチャンネル数を使用する環境に合わせて設定します。

- **1.** パソコンと本機をUSBケーブルで接続します。
- 2. 「サウンド」の設定画面を開きます。



メモ

デスクトップ画面の右下のサウンドアイコンを右クリックし、 「サウンドの設定を開く」から「サウンド」を開くことも可能です。

- 出力デバイス項目を「スピーカー Sonicview 16 / 24」に設定します。
- 入力デバイス項目を「マイク (Sonicview 16 / 24)」に設定 します。
- 「サウンド コントロール パネル」をクリックし、「サウンド画面」 を開きます。
- **6.** 「録音」 タブ 画面を 表示し、「Sonicview 16 / 24」 を 選択 します。

き サウ	ンド		×
再生	録音 サ	ウンド 通信	
次のオ	ーディオ録音デ	バイスがインストールされています:	
9	マイク配列 Realtek I 準備完了	J High Definition Audio	
J	マイク Sonicvie	w 16/24	
	W.E077		
桿	病(()	既定値に設定(5)	ブロバティ(<u>P</u>)
		OK キャンセノ	週用(A)

- 「Sonicview 16 / 24」の「プロパティ」をクリックし、「マイ クのプロパティ」画面を開きます。
- 8. 「詳細」タブ画面を表示し、「既定の形式」を設定します。



- OBS Studioなどの2チャンネルのオーディオデバイスを 対象とするアプリケーションを使用する場合は、2チャ ンネルの設定を選択します。それ以外の場合は、32チャ ンネルを選択します。
- 「規定の形式」のサンプルレートは、使用する配信用アプ リケーションのサンプルレートに合わせてください。

「再生」タブ画面を表示し、「スピーカー (Sonicview 16 / 24)」を選択します。



- **10.**「スピーカー (Sonicview 16 / 24)」の「プロパティ」をクリッ クし、「スピーカーのプロパティ」画面を開きます。
- 11.「詳細」タブ画面を表示し、「既定の形式」を設定します。 「再生」タブ画面の「既定の形式」の設定は、「録音」タブ画 面で設定したサンプルレートとビットの深さに設定してくだ さい。

회 スピ	ーカーのプロ	パティ		×
全般	レベル	詳細	立体音響	
- 既2	定の形式一			
#	有モードで	更用される	サンブル レートとビットの深さを選択します。	
_				_
3	12 ビット、48	000 Hz (;	スタジオの音質) 🗸 🎽 テスト	D
1	6 ビット、48	000 Hz ([VD の管質)	
1	6 ビット、96	000 Hz (,	(ダジオの音質)	
- 92	4 L915, 40 4 Pwb 96	000 Hz ()	(クジオの音見) (タジオの音響)	
3	2 27 48	000 Hz ()	(タジオの音質) する	
3	2 ビット、96	000 Hz ()	マタジオの音質)	
	」排他モート	・のアフリク	ーションを使先する	
	RE 49 /de (~ 2	5.7 (D)		
	SALE 100 C	K9(<u>D</u>)		
			OK キャンセル iii	新用(A)
			112 677	

- 12. 配信アプリケーションを起動し、配信などを行います。
- **13.** 配信終了後、マルチチャンネルを使用するほかのソフトウェ アを使用する場合は、設定を「マルチチャンネル」に戻します。
 - 手順7.のマイクのプロパティの設定を「32 チャンネル」の設定にします。

リアパネルの SLOT 1 または SLOT 2 に別売の IF-MTR32(マルチト ラックレコーディングカード)を装着することにより、本機でマル チトラックレコーディングができるようになります。 IF-MTR32 は、最大 32 トラック(サンプリングレート:48kHz時) の録音が可能な MTR(マルチトラックレコーダー)です。 録音/再生フォーマットは、以下の通りです。

- ファイルフォーマット:BWF/WAV(録音はBWFのみ)、 モノフォニック
- サンプリングレート:48kHz、96kHz
- 量子化ビット数
 - 録音時:24bit、32bit
 - 再生時:16bit*、24bit、32bit
 - * 量子化ビット数:16bit MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまたはVIRTUAL SOUND CHECK MODEのとき、外部から取り込んだファイ ルの再生のみ対応します。16bitでは録音できません。ま た、外部から取り込んだファイルが16bitだった場合、パン チイン/アウトできないため、MTR動作モードがOVERDUB MODEでは選択できません。

MULTI TRACK RECORDER - MENU画面で設定したサンプリング周 波数で録音されます。(→ 307 ページ「② Sampling Rate (Max Tracks) ボタン」)

注意

IF-MTR32 は、同時に1枚しか使用できません。2 枚装着した場合は、SLOT1のIF-MTR32 だけが使用できます。

録音可能時間

書き込みファイル	メディア容量				
フォーマット	64GB	128GB	256GB	512GB	
48kHz/24bit/ 32 トラック	3h 49m	7h 41m	15h 23m	30h 49m	
48kHz/32bit/ 32 トラック	2h 52m	5h 45m	11h 32m	23h 07m	
96kHz/24bit/ 16 トラック	3h 50m	7h 41m	15h 24m	30h 50m	
96kHz/32bit/ 16 トラック	2h 52m	5h 46m	11h 33m	23h 08m	

 ● 上記録音時間は目安です。ご使用のメディアにより異なる場合 があります。

● 上記録音時間は連続録音時間ではなく、メディアに録音できる
 時間の合計です。

メモ

録音中に各トラックの録音ファイルサイズが 4GB を超えると、録 音は継続されますが、自動で次のテイクに録音されます。

SDカードのフォーマットについて

IF-MTR32 でフォーマットされたSDカードは、録音時の性能向上 のために最適化されています。そのため、IF-MTR32 で使用する SDカードはIF-MTR32 でフォーマットを行ってください。(→ 308 ページ「⑥ Formatボタン」)

パソコンなどでフォーマットされた SD カードは、IF-MTR32 での 録音時にエラーになる可能性があります。

IF-MTR32 で使用する SD カード

IF-MTR32 にて動作が確認されたSDカードのリストが、TASCAM のウェブサイトに掲載されています。

Sonicview 16

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_16/support

Sonicview 24

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_24/support

このリストに掲載されている SD カードをご使用ください。

プロジェクトとテイク

このMTRでは、1回の録音ファイルの集まりを「テイク」、録音テ イクを含んだフォルダーを「プロジェクト」と呼びます。

MTR動作モード

このMTRには、以下の3つの動作モードがあります。 動作モードは、MULTI TRACK RECORDER画面のMTR動作モードボ タン(④)をタップして切り換えます。(→ 304ページ「MTR動 作モードの切り換え」)

LIVE RECORDING MODE

このモードでは、プロジェクト内に1テイクずつ連続して録音したり、複数テイクを連続して再生したりすることができます。

VIRTUAL SOUND CHECK MODE

このモードでのMTRとのルーティングは、バーチャルサウンド チェック用のルーティングに限定されます。

録音時は、対象INPUTモジュールのDIRECT OUTから録音するこ とでバーチャルサウンドチェック用の音源を録音します。 SOUND CHECKボタンをハイライト状態にすると対象チャンネル のINPUTにMTRの再生出力が立ち上がり、バーチャルサウンド チェックを実行できます。

メモ

このモードでの DIRECT OUT POINTは、「INPUT」に設定されます。

OVERDUB MODE

このモードでのMTRとのルーティングは、INSERT SEND / RETURNに限定されます。 このモードでは、録音済みの1つのテイクに対してパンチイン/ アウトなどでオーバーダビングすることができます。

MULTI TRACK RECORDER画面

この画面では、SLOT 1 またはSLOT 2 に装着したIF-MTR32(マル チトラックレコーディングカード)の設定や状態表示を行います。 この画面は、メニュー画面 > Recorder/Player メニュー > 「Multi Track Recorder」をタップして表示します。また、SLOT SETUP 画面のIF-MTR32 装着スロットに表示された「Recorder/Player: MTR→」をタップして表示することもできます。

メモ

IF-MTR32 が初期化中は、メニュー画面のサブメニュー項目「Multi Track Recorder」がグレーアウトされ、タップしても MULTI TRACK RECORDER画面に切り換えできません。使用できるようになるま で少しお待ちください。

LIVE RECORDING MODE時または VIRTUAL SOUND CHECK MODE時



[LIVE RECORDING MODE時の画面表示]

OVERDUB MODE時



① Project Name表示

- 現在開いているプロジェクト名が表示されます。
- MTR停止中にこの部分をタップするとプロジェクトリスト が表示されたMTRのBROWSE画面に切り換わります。(→ 312ページ「プロジェクトを選択する」)

② AUTO ROUTINGボタン

MTR停止中にこのボタンをタップすると、AUTO ROUTINGの 実行確認メッセージを表示します。(→ 302 ページ「AUTO ROUTINGの実行」)

③ Take Name表示

- 現在開いているテイク名が表示されます。
- MTR停止中にこの部分をタップするとカレントプロジェクト内のテイクリストが表示されたMTRのBROWSE画面に切り換わります。(→ 309ページ「MULTI TRACK RECORDER BROWSE画面」)

④ MTR動作モードボタン

- 現在のMTR動作モードを表示します。
 - LIVE RECORDING MODE
 - VIRTUAL SOUND CHECK MODE
 - OVERDUB MODE
- MTR停止中にこのボタンをタップすると、MTR動作モード切り換え表示に切り換わります。(→ 304 ページ「MTR動作モードの切り換え」)

⑤ MTRメニューボタン(🔳)

MTR停止中にこのボタンをタップすると、MTR専用のメニュー 画 面 に切 り換 わ り ま す。(→ 307 ペ ー ジ「MULTI TRACK RECORDER - MENU画面」)

⑥ メーター/ REC READY / INPUT MONITOR表示部

- 各トラックのメーター/ REC READY / INPUT MONITORの 状態を表示します。
- MULTI TRACK RECORDER MENU画面の Sampling Rate (Max Tracks) ボタン(②)の設定が「48kHz/32tracks」の場合は 32トラック分、「96kHz/16tracks」の場合は16トラック分 を表示します。(→ 307ページ「MULTI TRACK RECORDER -MENU画面」)
- 各メーターの最上部は、オーバーロードインジケーターです。
 信号レベルが-0.00026dBFS(16bitフルスケール値)以上のときに赤くハイライト表示します。
- レベルのオーバーロードが発生すると、バーメーター全体が 赤くなります。
- レベルメーター下端の-60dBFS以下のエリアは、-70dBFS
 以上で点灯します。
- REC READYがオンのとき、メーター下にある アイコンが 赤でハイライト表示(■)します。
- INPUT MONITORがオンのとき、メーター下にある アイコンが青でハイライト表示(■)します。
- このエリアをタップすると、タップした位置のトラックが属 する8トラック単位のREC READY / INPUT MONITORの設 定ウィンドウがメーターの下に表示されます。(→ 305ペー ジ「REC READY / INPUT MONITORの設定」)



⑦ IN / OUT マークポイント 表示エリア

テイク内のINポイント(🗾)、OUTポイント(🔼)をタイム プログレスバーの上部に表示します。

⑧ プログレスバー

- 録音中は、メディア総容量に対する、使用済み容量の割合を赤いバーで表示します。録音の経過とともに、左から右に赤いバーが伸びていきます。
- 再生中は、再生しているプロジェクトもしくはテイク(時刻 表示モードによる)の長さに対する現在の再生済み時間の 割合を緑色のバーで表示します。ドラッグすると再生位置 を移動します。

⑨ マークポイント表示エリア

テイク内のマークポイント(▲)をプログレスバーの下部に表 示します。

時刻表示モードが「PROJECT」のときは、現在再生中のテイク のマークポイントだけが表示されます。

10 IN ポイント/ OUT ポイント 設定エリア

このエリアで、INポイント/ OUTポイントの設定、およびリピー トモードの設定を行います。



④ SET IN ボタン

- タップしたタイミングの録音/再生時刻にINポイント を設定します。INポイントが設定済みのときにタップ すると、INポイントを設定し直します。
- MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまたは VIRTUAL SOUND CHECK MODEのとき、I-Oリピート ポイントとして使用します。
- MTR動作モードがOVERDUB MODEのとき、I-Oリピー トポイントもしくはオートパンチインポイントとして 使用します。

⑧ SET OUT ボタン

- タップしたタイミングの録音/再生時刻にOUTポイントを設定します。OUTポイントが設定済みのときに タップすると、OUTポイントを設定し直します。
- MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまたは VIRTUAL SOUND CHECK MODEのとき、I-Oリピート ポイントとして使用します。
- MTR動作モードがOVERDUB MODEのとき、I-Oリピー トポイントもしくはオートパンチアウトポイントとし て使用します。
- ^① CLEARボタン
 - IN / OUTポイントをクリアします。
- ① リピートモード 設定ボタン
 - リピート再生機能のモードを設定します。
 - MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまたは VIRTUAL SOUND CHECK MODEのときは、タップする とOFF→1→ALL→I-Oと順番に切り換えます。
 - MTR動作モードがOVERDUB MODEのときは、タップ するとOFF → 1 → I-Oと順番に切り換えます。ただし、 AUTO PUNCHボタンの設定が「ON」の場合は、リピー ト再生できません。

リピートモード	動作
	リピート再生しません。
<pre>↓ 1</pre>	現在選択されているテイク全体をリ ピート再生します。
Çall	プロジェクト全体をリピート再生し ます。 MTR動作モードが LIVE RECORDING MODEまたは VIRTUAL SOUND CHECK MODEのときに選択できます。
↓ I-0	IN ポイントと OUT ポイントの 間をリ ピート 再生します。

メモ

 インポイントとアウトポイントの間は、200ms以上開けてく ださい。間隔が200ms未満の場合は、以下のメッセージが 表示され、後から設定しようとしたポイントは設定されません。

Invalid I/O. Interval too short.

 アウトポイントをインポイントより前に設定しようとした 場合、またはインポイントをアウトポイントより後ろに設定 しようとした場合、以下のメッセージが表示され、後から 設定しようとしたポイントは設定されません。インポイント がアウトポイントの前方になるように設定してください。

Invalid I/O. Please set IN and OUT in order.

- リピートモードがALLに設定された状態でMTR動作モードを OVERDUB MODEに切り換えた際は、リピートモードは自動 的にOFFに切り換わります。
- 1 AUTO REC ボタン/インジケーター

MTR停止中にこのボタンをタップすると、オートレック設定を する MULTI TRACK RECORDER - MENU画面に切り換わります。 また、オートレックが ONのとき、薄い赤でハイライト表示します。

- 再生中∕再生一時停止中にタップすると、カレントテイクの 先頭に戻ります。
- テイクの先頭で停止しているときにタップすると、手前のティクにスキップします。
- 押している間、ボタンが白くハイライト表示になります。

13 ►► (SKIP NEXT) ボタン

- 停止中/再生中/再生一時停止中にタップすると、次のテイ クにスキップします。
- 押している間、ボタンが白くハイライト表示になります。

14 MARK設定エリア

このエリアで、マーク機能の設定を行います。



④ SET MARKボタン

現在の録音/再生時刻にマークポイントを設定します。

- ⑧ ◀MARK SKIPボタン
 現在の再生位置より前にあるマーク位置に移動します。
- ⑥ ► MARK SKIPボタン

このボタンをタップすると、マークリスト情報を表示す るウィンドウを表示します。



詳細については、322 ページ「マーク機能」をご参照く ださい。

- 15 ◀◀ (REW) ボタン
 - 停止中/再生中/再生一時停止中にこのボタンをタップする
 と早戻しを開始し、押し続けるとその間早戻しを行います。
 - 早戻し中にこのボタンをタップすると、早戻し前の状態に 戻ります。
 - 早戻し中は、ボタンが白くハイライト表示になります。
- 16 ►► (F.FWD) ボタン
 - 停止中/再生中/再生一時停止中にこのボタンをタップする と早送りを開始し、押し続けるとその間早送りを行います。
 - 早送り中にこのボタンをタップすると、早送り前の状態に 戻ります。
 - 早送り中は、ボタンが白くハイライト表示になります。
- 1 ボタン
 - 録音中/再生中にタップすると、録音/再生を停止します。
 - 停止中は、ボタンが白くハイライト表示になります。
- 18 トランスポート状態表示

MTRの動作状態をアイコン表示します。

アイコン表示	動作状態
•	停止中
►	再生中
	早戻し中
••	早送り中
•	録音中

1 ● ボタン

- 停止中/再生一時停止中にタップすると、再生を開始します。
- 録音一時停止中にタップすると、録音を再開します。
- 録音中∕再生中は、ボタンが緑色にハイライト表示になりま す。

② SOUND CHECKボタン

 MTR停止中にこのボタンをタップして、録音用のルーティン グとサウンドチェック(MTR再生)用のルーティングを切り 換えます。

ボタン表示	ルーティング 状態
SOUND CHECK	録音用のルーティング
SOUND CHECK	再生用のルーティング

メモ

- SOUND CHECK ボタンがオンのときは録音できません。
- SOUND CHECKを切り換える際は、MTRを停止状態にしておく必要があります。MTRが動作中にSOUND CHECKを切り換えようとすると、以下のメッセージが表示されます。

To change, the MTR must be stopped.

 このボタンをタップすると、ルーティング切り換えの確認 メッセージを表示します。



[SOUND CHECKボタンをオンに切り換えるときの確認メッセージ 例]



[SOUND CHECKボタンをオフに切り換えるときの確認メッセージ 例]

- 確認メッセージのYESボタンをタップすると、ルーティングとボタン表示を切り換えます。
- NOボタンをタップすると、ルーティングとボタン表示を 切り換えずにメッセージを閉じます。

メモ

MODULE (INPUT) 画面やINPUT SOURCE SELECT画面などにあ るルーティング設定変更操作のロック/アンロック設定がロッ ク状態であっても、SOUND CHECKボタンのオン/オフ切り換 えでルーティングを変更することができます。

CH DIRECT OUT使用時の MTR ルーティング (DIRECT OUT POINT = INPUT時)



CH INSERT SEND / RETURN使用時の MTR ルーティング (INSERT POINT = PRE EQ時)



BUS INSERT SEND / RETURN使用時のMTR ルーティング



BUS OUT使用時のMTR ルーティング



 DIRECT OUT POINTの設定が「POST HPF」のときのDIRECT OUTを録音時*

録音時に Phase / D.Trim / HPFが有効な場合、サウンド チェック(再生)時に Phase / D.Trim / HPFを再度経由し ますのでご注意ください。

 DIRECT OUT POINTの設定が「POST FADER」のときの DIRECT OUTを録音時* 録音時にPhase / D.Trim / HPF / GATE / EQ / COMP / DELAYが有効場合、サウンドチェック(再生)時にPhase / D.Trim / HPF / GATE / EQ / COMP / DELAYを再度経由 しますのでご注意ください。

* DIRECT OUT POINTの設定が「INPUT」の場合、上記の ような問題は発生しません。

• BUS Output Portを録音時

BUS Output Portを録音時にEQ / GEQ / COMP / DELAY / Phaseが有効な場合、サウンドチェック(再生)時にEQ / GEQ / COMP / DELAY / Phaseを再度経由しますので ご注意ください。 BUS モジュールでこれらの信号処理を録音時と再生時の2

回経由しないようにするには、BUS モジュールから MTRへの ルーティングを「Insert Send」に設定してください。

② Ⅱ ボタン

- 停止中/再生中にタップすると、再生一時停止状態になりま す。
- MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまたはVIRTUAL SOUND CHECK MODEのとき、録音中にタップすると、録音 一時停止状態になります。
- MTR動作モードがOVERDUB MODEのときは、録音中には使用できません。
- 録音一時停止中や再生一時停止中は、ボタンが白くハイライ ト表示になります。

② ● ボタン

- REC READYが1つ以上オン状態で停止中にタップすると、 録音一時停止状態になります。
- MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまたはVIRTUAL SOUND CHECK MODEのとき、録音中にタップすると録音は 継続したままですが、現在のテイクへの録音を停止し、新し いテイクへの録音を継続します(テイクスプリット動作)。
- MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまたはVIRTUAL SOUND CHECK MODEのとき、録音一時停止中にタップする と、新しいテイクへの録音一時状態になります。
- MTR動作モードがOVERDUB MODEのとき、REC READYが1 つ以上オン状態で再生中にタップすると、パンチイン録音 を開始します。
- 録音中または録音一時停止中は、ボタンが薄い赤でハイラ イト表示になります。

23 タイムカウンター表示モード

- 現在のタイムカウンター表示モードを表示します。
- このエリアをタップすると、表示モードが切り換わります。

表示モード	表示内容
TAKE	テイク先頭からの経過時間・テイク末尾ま での残り時間を表示します。
PROJECT	プロジェクト先頭からの経過時間・プロ ジェクト末尾までの残り時間を表示しま す。

24 経過時間タイムカウンター表示部

- 録音/再生の経過時間を「時:分:秒:1/100秒」のフォーマットで表示します。
- カウンターをタップするとロケート時刻入力モードに切り 換わり、下に数字入力ボタンとLOCATEボタンが表示されま す。LOCATEボタンをタップすると、その時点で入力された 時刻にロケートします。
- ロケート時刻入力部右上の×ボタンをタップすると、ロケート時刻入力部を閉じます。



25 残り時間タイムカウンター表示

- MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまたはVIRTUAL SOUND CHECK MODEのとき
 - 再生中は、選択された表示モード(テイク・プロジェクト)の末尾までの再生残り時間を「時:分:秒:1/100 秒」のフォーマットで表示します。
 - 録音中は、録音可能な残り時間を表示します。
- MTR動作モードがOVERDUB MODEのとき
 - 録音可能な残り時間を表示します。

26 AUTO PUNCHボタン/インジケーター

このボタンをタップすると、オートパンチイン/アウト機能の 動作を設定する MULTI TRACK RECORDER - MENU画面に切り換 わります。(→318ページ「オートパンチイン/アウト機能」) ONのとき、薄い赤でハイライト表示します。

② REHEARSALボタン

- このボタンをタップして、オートパンチイン/アウトのリ ハーサル機能のオン/オフを切り換えます。(→319ページ 「パンチイン/アウトをリハーサルする」)
- リハーサル機能がオンのとき、点滅表示します。
- このボタンはオートパンチイン/アウト機能が「ON」に設定されているときのみ有効になります。

② UNDOボタン/ REDOボタン

- MTR停止中にこのボタンがハイライト表示されているときに タップすると、UNDOまたはREDOを実行します。UNDOが できるときはUNDOボタンを表示します。実行されたUNDO があるとREDOボタンを表示します。
- グレーアウト表示されているときは、UNDO / REDOは実行 できません。

29 🛏 (TO TOP) ボタン

- 停止中/再生中/再生一時停止中にタップすると、テイクの 先頭に戻ります。
- 押している間、ボタンが白くハイライト表示になります。

30 ►I (TO END) ボタン

- 停止中/再生中/再生一時停止中にタップすると、テイクの 末尾にスキップします。
- 押している間、ボタンが白くハイライト表示になります。

AUTO ROUTINGの実行

AUTO ROUTINGを実行するには、MULTI TRACK RECORDER画面上 部のAUTO ROUTINGボタン(②)をタップします。 以下のAUTO ROUTINGの実行確認メッセージが表示されます。

メモ

- SOUND CHECKボタンがオン(再生用のルーティング)の状態 では、AUTO ROUTINGを実行できません。AUTO ROUTINGを実 行するには、SOUND CHECKボタンをオフに切り換えてください。
- MODULE (INPUT) 画面やINPUT SOURCE SELECT画面などにあるルーティング設定変更操作のロック/アンロック設定がロック状態であっても、AUTO ROUTINGでルーティングを変更することができます。

LIVE RECORDING MODE時

AUTO ROUTING			×	
Input CH module 1-32 T to MTR 1-32 Does not change the output destination of the MTR.				
	/ES	VES	NO	
Con	nect the	Connect the	Connect by	
Dire	ect Out	SEND/RETURN	myself	

最初に「CH module 1-32」もしくは「CH module 9-40」のいずれ かを選択します。

MULTI TRACK RECORDER - MENU画 面 の Sampling Rate (Max Tracks) ボタンの設定が「96kHz/16tracks」の場合は、「CH module 1-16」もしくは「CH module 25-40」のいずれかを選択します。

AUTO ROUTING			×
Input	CH module 1-32 🐧 to	MTR 1-32	!
Doe	CH module 1-32	tion of the MTR.	
C. Dire	CH module 9-40	NO Connect by myself	

● YES Connect the Direct Outボタンをタップすると、選択した CHモジュール群のDIRECT OUTが、IF-MTR32を装着したスロッ トの「1-32」にルーティングされます。

MULTI TRACK RECORDER - MENU画 面 のSampling Rate (Max Tracks) ボタンの設定が「96kHz/16tracks」の場合は、スロッ トの「1-16」にルーティングされます。 YES Connect the SEND/RETURNボタンをタップすると、選択したCHモジュール群のINSERT SEND / RETURNが、IF-MTR32を装着したスロットの「1-32」にルーティングされます。
 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面のSampling Rate (Max Tracks)ボタンの設定が「96kHz/16tracks」の場合は、スロットの「1-16」にルーティングされます。

この際、INSERT POINTの設定に合わせて、CH モジュール 群の METERING POINTを以下のように自動的に切り換えます。

選択した CH モジュール群の INSERT POINT設定	CH モジュール 群の METERING POINT	
すべて PRE EQ	PRE EQ	
すべて PRE FADER	PRE FADER	
PRE EQおよび PRE FADERが 混在	PRE FADER	

- NO Connect by myselfボタンをタップすると、現状のルーティング設定を維持しますので、ご自身で必要なルーティングを行ってください。
- ズボタンをタップすると、ルーティング設定を変更せずにメッセージを閉じます。

VIRTUAL SOUND CHECK MODE時



最初に「CH module 1-32」もしくは「CH module 9-40」のいずれ かを選択します。

MULTI TRACK RECORDER - MENU画 面 の Sampling Rate (Max Tracks) ボタンの設定が「96kHz/16tracks」の場合は、「CH module 1-16」もしくは「CH module 25-40」のいずれかを選択します。



◆ YES Connect the Direct Out (INPUT) ボタンをタップすると、選択したCHモジュール群のDIRECT OUT POINTの設定を「INPUT」に設定されたDIRECT OUTが、IF-MTR32を装着したスロットの「1-32」にルーティングされます。

MULTI TRACK RECORDER - MENU画 面 のSampling Rate (Max Tracks) ボタンの設定が「96kHz/16tracks」の場合は、スロッ トの「1-16」にルーティングされます。

● ■ ボタンをタップすると、ルーティング設定を変更せずにメッ セージを閉じます。

OVERDUB MODE時

AUTO ROUTING		
Connect the SEND/RETURN		
CH module 1-32 v to MTR 1-32		
In Overdubbing mode, cannot use any routing other than SEND/RETURN.		
YES NO		
Connect the Connect by SEND/RETURN myself		
CH module 1-32 V to MTR 1-32 In Overdubbing mode, cannot use any routing other than SEND/RETURN. YES Connect the SEND/RETURN Connect by myself		

最初に「CH module 1-32」もしくは「CH module 9-40」のいずれ かを選択します。

MULTI TRACK RECORDER - MENU画 面 のSampling Rate (Max Tracks) ボタンの設定が「96kHz/16tracks」の場合は、「CH module 1-16」もしくは「CH module 25-40」のいずれかを選択し ます。



YES Connect the SEND/RETURNボタンをタップすると、選択したCHモジュール群のINSERT SEND / RETURNが、IF-MTR32を装着したスロットの「1-32」にルーティングされます。
 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面のSampling Rate (Max Tracks)ボタンの設定が「96kHz/16tracks」の場合は、スロットの「1-16」にルーティングされます。

この際、INSERT POINTの設定に合わせて、CHモジュール群の METERING POINTを以下のように自動的に切り換えます。

選択したCHモジュール群の INSERT POINT設定	CH モジュール 群の METERING POINT	
すべて PRE EQ	PRE EQ	
すべて PRE FADER	PRE FADER	
PRE EQおよび PRE FADERが 混在	PRE FADER	

- NO Connect by myselfボタンをタップすると、現状のルーティング設定を維持しますので、ご自身で必要なルーティングを行ってください。
- ■ボタンをタップすると、ルーティング設定を変更せずにメッセージを閉じます。

メモ

MTR動作モードがOVERDUB MODEでのミキサーとMTRとのルー ティングは、必ず「Insert Send/Return」を使うようにしてください。 これ以外のルーティング設定の場合、正常なパンチイン/アウト 録音ができなくなります。

MTR動作モードの切り換え

3 種類ある MTR動作モードを切り換えるには、MTR停止中に MULTI TRACK RECORDER画面上部の MTR動作モードボタン(④)をタッ プします。

MTR動作モード切り換え表示に切り換わります。



いずれかの動作モードボタンをタップすると、タップした動作モー ドに切り換わり、AUTO ROUTINGの実行確認メッセージを表示し ます。(→ 302 ページ「AUTO ROUTINGの実行」)

左上の S ボタンをタップすると、MTR動作モードを切り換えずに 元の画面に戻ります。

メモ

• MTR動作モードを切り換える際は、MTRを停止状態にしておく 必要があります。MTRが動作中にMTR動作モードを切り換えよ うとすると、以下のメッセージが表示されます。

To change, the MTR must be stopped.

 MTR動作モードを切り換える際は、SOUND CHECKを「OFF」 にしておく必要があります。SOUND CHECKが「ON」の状態で MTR動作モードを切り換えようとすると、以下のメッセージが 表示されます。

To change, SOUND CHECK must be OFF.

● OVERDUB MODEで録音するには、1つ以上のテイクが必要です。 そのため、カレントプロジェクトにテイクが1つもない状態で OVERDUB MODEに切り換えると、下記確認メッセージが表示 されます。



1. CREATE ボタンをタップすると、下記確認メッセージが表示されます。

Sampling Rate (Max Tracks)	48 kHz 32 tracks 96 kHz 16 tracks
Bit Depth	24 32
File Name Prefix	SONICVIEW
CANCEL	CREATE

- 2. Sampling Rate、Bit Depth、File Name Prefixを設定します。
- 3. CREATEボタンをタップすると、テイクが作成されます。 CANCELボタンをタップすると、テイクを作成せずにMULTI TRACK RECORDER画面に切り換わります。
- 上記いずれかの確認メッセージでCANCELボタンをタップして テイクを作成していない場合
- MULTI TRACK RECORDER画面に切り換える、またはMULTI TRACK RECORDER画面の ● ボタンをタップして録音を開始 しようとすると、下記メッセージが表示されます。

New Take is required to overdub. Create New Take?		
CANCEL	CREATE	

CREATEボタンをタップすると、下記確認メッセージが表示されます。

Sampling Rate (Max Tracks)	48 kHz 32 tracks 96 kHz 16 tracks
Bit Depth	24 32
File Name Prefix	SONICVIEW
CANCEL	CREATE

Sampling Rate、Bit Depth、File Name Prefixを設定して CREATEボタンをタップすると、テイクが作成された上 で録音一時停止状態になります。

- 上記いずれかの確認メッセージでCANCELボタンをタッ プすると、停止状態に戻ります。
- MTRの BROWSE画面のテイクリスト 画面右上にある № ボタン をタップすると、下記確認メッセージが表示されます。

Sampling Rate (Max Tracks)	48 kHz 32 tracks	96 kHz 16 tracks
Bit Depth	24	32
File Name Prefix	SONIC	VIEW
CANCEL	CREAT	E

- Sampling Rate、Bit Depth、File Name Prefixを設定して CREATEボタンをタップすると、テイクが作成されます。
- CANCELボタンをタップすると、テイクを作成せずに確 認メッセージを閉じます。

REC READY / INPUT MONITORの設定

MULTI TRACK RECORDER画面のメーター/REC READY / INPUT MONITOR表示部(⑥)をタップすると、タップした位置のトラッ クが属する8トラック単位のREC READY / INPUT MONITORの設 定ウィンドウがメーターの下に表示されます。



- 上段が選択した8トラックのREC READY設定ボタン、下段が選択した8トラックのINPUT MONITOR設定ボタンです。
- ボタンをタップするとオン/オフを切り換えます。
- REC READY設定ボタンには、そのトラックのルーティング設定 を以下のように表示します。
 - 上段:トラックへの入力信号
 - 下段:トラック信号の出力先
- REC READY / INPUT MONITORの設定ウィンドウ右上の 図ボ タンをタップすると、設定ウィンドウを閉じて通常のMULTI TRACK RECORDER画面に戻ります。
- INPUT MONITORが「オン」の場合、MTRの走行状態やREC READYのオン/オフ状態にかかわらず、MTRへの入力音をその ままMTRから出力します。

- REC READYが「オン」の場合
 - 停止中または録音中は、MTRへの入力音をそのままMTRか ら出力します。
 - 再生中は、MTRの再生音を MTRから 出力します。
- REC READYの ALL ONボタン/ ALL OFFボタンをタップすると、 全トラックのオン/オフを切り換えます。

ALL ONボタン/ ALL OFFボタンに REC READYの設定状態を表示します。

REC READYの設定状態	ALL ON ボタン の 表示	ALL OFF ボタン の 表示
全トラックがオンの 場合	ALL ON	ALL OFF
全トラックがオフの 場合	ALL ON	ALL OFF
オン/オフ混在の場合	ALL ON	ALL OFF

● INPUT MONITORの ALL ONボタン/ ALL OFFボタンをタップすると、全トラックのオン/オフを切り換えます。
 ALL ONボタン/ ALL OFFボタンに INPUT MONITORの設定状態を表示します。

INPUT MONITORの設定状態	ALL ON ボタン の表示	ALL OFF ボタン の表示	
全トラックがオンの場合	ALL ON	ALL OFF	
全トラックがオフの場合	ALL ON	ALL OFF	
オン/オフ混在の場合	ALL ON	ALL OFF	

REC READY / INPUT MONITORの設定ごとのMTR出力

LIVE RECORDING MODE時/ VIRTUAL SOUND CHECK MODE時

	REC READY			
	■オフ	■オン	■オフ	■オン
	INPUT MONITOR			
	■オフ	■オフ	■オン	■オン
停止中	MTR出力なし	MTRへの入力音を MTRから 出力		
再生/ 再生一時停止中	MTRの再生音を MTRから 出力	MTRの再生音を MTRから 出力	MTRへの 入力音を MTRか	ら出力
録音/ 録音一時停止中	MTR出力なし	MTRへの入力音を MTRから 出力		

OVERDUB MODE時

	REC READY			
	■オフ	■オン	■オフ	■オン
	INPUT MONITOR			
	■オフ	■オフ	■オン	■オン
停止中	MTR出力なし	MTRへの入力音を MTRから 出力		
再生/ 再生一時停止中	MTRの再生音を MTRから 出力	MTRの再生音を MTRから 出力	MTRへの入力音を MTRか	ら出力
録音/ 録音一時停止中	MTRの再生音を MTRから 出力	MTRへの入力音を MTRから 出力		

黄色セル:LIVE RECORDING MODE / VIRTUAL SOUND CHECK MODE / OVERDUB MODEで違う状態となる設定の組み合わせ項目

MULTI TRACK RECORDER - MENU画面

この画面では、SLOT 1 またはSLOT 2 に装着したIF-MTR32(マル チトラックレコーディングカード)の各種設定を行います。 この画面は、メニュー画面 > Recorder/Playerメニュー > 「Multi Track Recorder」をタップして表示したMULTI TRACK RECORDER 画面右上の
■ ボタンをMTR停止中にタップして表示します。

LIVE RECORDING MODE時のMTR-MENU画面



OVERDUB MODE時の MTR-MENU画面



① BROWSEボタン

このボタンをタップすると、MTRの BROWSE画面に切り換わり ます。(→ 309 ページ「MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画 面」)

② Sampling Rate (Max Tracks) ボタン

MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEとVIRTUAL SOUND CHECK MODEでの録音時のサンプリング周波数および最大ト ラック数を設定します。

選択したボタンが水色のハイライト表示になります。

選択肢:48kHz/32tracks(初期値)、96kHz/16tracks

メモ

IF-MTR32 を装着した Sonicview 16 / 24 の Sync Clockと異なるサンプリング周波数に設定することもできます。

設定を切り換えると、録音/再生可能トラック数が変わるため、 以下のようなルーティング変更の確認メッセージを表示します。



[48kHz/32tracksへの切り換え時の確認メッセージ]



[96kHz/16tracksへの切り換え時の確認メッセージ]

③ Bit Depth ボタン

MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEとVIRTUAL SOUND CHECK MODEでの録音時の量子化ビット数を設定します。 選択したボタンが水色のハイライト表示になります。

選択肢:24ビット、32ビット(初期値)

④ File Name Prefixボタン

MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEとVIRTUAL SOUND CHECK MODEでの録音ファイル名先頭文字列を設定します。 選択したボタンが水色のハイライト表示になります。

選択肢	内容
DATE(初期値)	YYMMDD形式の録音開始時の年月日を録 音ファイル名にします。
Edit Name	ユーザーが設定したファイル名(初期値: SONICVIEW)を録音ファイル名にします。 ボタンには設定した名前が表示されます。 右側にあるEDITボタンをタップすると、 ユーザー設定ファイル名を編集するEdit Name画面に切り換わります。

⑤ Media状態表示

IF-MTR32に装着されたSDカードの状態を表示します。

表示	説明
UHS-I	UHS-I対応カードの場合、このエリアがハ イライト表示します。
Capacity	SDカードの総容量を表示します。
Free	SDカードの空き容量を表示します。

⑥ Formatボタン

IF-MTR32 に装着された SD カードをフォーマットします。 IF-MTR32 ではじめて使用する SD カードをフォーマットすると きは、ERASE フォーマットを推奨します。

- QUICKボタンをタップすると、メディアの管理領域のみを 初期化します。
- ERASEボタンをタップすると、ERASEフォーマットを実施 します。

注意

フォーマットすると SD カードのすべてのデータが 消去されます。 データをパソコンにバックアップしてからフォーマットを 実行 してください。

メモ

- ERASEフォーマットは、QUICKフォーマットと比べて時間 がかかります。時間に余裕を持って実施することをお勧め します。
- フラッシュメモリーを使ったSDカードのようなストレージ メディアは、書き込みを繰り返すことで書き込み速度が低 下する傾向があります。書き込み速度が低下すると、録音 に悪影響を及ぼす可能性があります。

本機の「ERASEフォーマット」を実行すると、SDカードの 書き込み速度が回復します。*

そのため、下記タイミングでERASEフォーマットを実行す ることをお勧めします。

•録音中に下記メッセージが表示された場合

MTR Recording Error. Buffer overflow.

- メディア残量がなくなるまで書き込んだ場合
- 定期的(1ヶ月程度)
- 大事な録音の前
- * SDカードの状態(故障・寿命など)により、書き込み速 度が回復しない場合もあります。

⑦ AUTO RECボタン

このボタンをタップして、オートレック機能のON / OFFを切 り換えます。(初期値:OFF) ONのとき、ボタンが赤くハイライト表示になります。 詳細については、316ページ「オートレック機能」をご参照く ださい。

⑧ オートレック機能設定ノブ

オートレック機能の動作レベルおよび動作時間を設定します。

- Start Levelノブ
 - オートレックを開始する録音レベル設定です。

赤く 点灯した LCD ノブ 6 を使って 設定します。(→ 316 ペー ジ「オートレック機能」)

選択肢:OFF*、-72dBFS ~-24dBFS (6dBFS刻み、初期値:-42dBFS)

- *「OFF」を選択した場合は、MULTI TRACK RECORDER画 面の ● ボタンをタップして録音を開始します。
- End Level ノブ

オートレックを終了する録音レベル設定です。 黄色で点灯したLCDノブ7を使って設定します。(→316 ページ「オートレック機能」)

- 選択肢:OFF*、-72dBFS ~-24dBFS (6dBFS刻み、初期値:-42dBFS)
- *「OFF」を選択した場合は、MULTI TRACK RECORDER画 面の ■ ボタンを押して録音を終了します。

・ End Time ノブ

録音レベルが終了レベルを下回ってからオートレックを終 了するまでの時間の設定です。

緑色で点灯したLCDノブ8を使って設定します。(→316 ページ「オートレック機能」) 時間が経過する前に録音レベルが終了レベルを上回った場

時間が経過する前に蘇自レベルが終了レベルを工匠うた場合は、録音を継続します。

設定範囲:1~60秒(初期値:5秒)

⑨ End Modeボタン

このボタンをタップして、オートレックが始まったあと、録音 レベルが終了レベルを下回ってからEnd Timeが経過したあと の動作を設定します。(→316ページ「オートレック機能」)

選択肢	内容
Take Split(初期値)	次のファイルで録音を待機
Continue	同じファイルで録音を待機

選択したボタンが水色のハイライト表示になります。

10 PRE RECボタン

このボタンをタップして、プリレック機能のON / OFFを切り 換えます。(初期値:OFF) ONのとき、ボタンが赤くハイライト表示になります。 詳細については、317 ページ「プリレック機能」をご参照くだ さい。

⑪ Version ボタン

このボタンをタップすると、IF-MTR32のファームウェアバー ジョン情報のウィンドウを表示します。



ウィンドウ内のUPDATEボタンをタップすると、IF-MTR32 を 装着したスロットの Firmware Update画面に切り換わります。

12 AUTO PUNCHボタン

このボタンをタップして、オートパンチイン/アウト機能のON / OFFを切り換えます。(初期値:OFF) ONのとき、ボタンが赤くハイライト表示になります。 詳細については、318ページ「オートパンチイン/アウト機能」 をご参照ください。

(13) オートパンチイン/アウト機能の動作設定ノブ

オートパンチイン/アウト機能の動作時間を設定します。(→ 318ページ「オートパンチイン/アウト機能」)

- Pre Roll Time ノブ オートパンチイン時のプリロールタイム設定です。
 赤く点灯したLCDノブ6を使って設定します。
 設定範囲:0sec~10sec(初期値:2sec)
- Post Roll Time ノブ オートパンチアウト時のポストロールタイム設定です。 黄色で点灯したLCDノブ7を使って設定します。
 設定範囲:0sec~10sec(初期値:2sec)

MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面

この画面では、SLOT 1 またはSLOT 2 に装着したIF-MTR32(マル チトラックレコーディングカード)に装着されたSDカード内のフォ ルダーやファイルの選択を行います。

この画面は、メニュー画面 > Recorder/Player メニュー > 「Multi Track Recorder」をタップして表示した MULTI TRACK RECORDER 画面のプロジェクト名・テイク名をタップして表示します。また、 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面の BROWSE ボタンをタップ して表示することもできます。

MTRの BROWSE画面プロジェクトリスト表示



MTRの BROWSE画面テイクリスト表示



① 階層名表示

- 現在表示中の階層のアイコンおよび階層名を表示します。
- プロジェクトリスト表示では、「MTR Projects Root」と表示 します。
- テイクリスト表示では、現在表示しているプロジェクト名を 表示します。カレントプロジェクトを表示している場合、末 尾に(current project)と表示します。

② ピ ボタン

SD カードのルート 階層に新しいプロジェクトフォルダーを作 るためのボタンです。 このボタンをタップすると、作成するフォルダー名を入力する 画面に切り換わります。

Mak	ke Proj	ect									×
2022	2111	7									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	X
q	w	e	r	t	У	u	İ	0	p		Delete
Caps lock	a	s	d	f	g	h	j	k	1	[]
Shift		z	x	c	v	b	n	m	•	·	-
Сору	Pas	ite S	pace					•	En	ter	

Make Project画面のキーボードのCaps lockボタンとShiftボタ ンの設定状態によって、入力できる文字の組み合わせを変更す ることができます。キーボードの変更方法については、230ペー ジ「キーボードの変更方法」をご参照ください。

③ プロジェクトリスト表示

- SDカードのルート階層に存在するプロジェクトフォルダー 名を名前順に表示します。
- この部分をタップすると、タップしたプロジェクトがカレン
 トプロジェクトとして選択されます。
- カレントプロジェクト名には、チェックマーク(✔)が表示されます。

④ プロジェクトメニューボタン(🔤)

このボタンをタップすると、ボタン左側のプロジェクトフォル ダーの下記操作を行うメニューウィンドウを表示します。

操作メニュー	内容
Open	タップした■ボタン左側のプロジェクト フォルダーをカレントプロジェクトとして 選択し、テイクリスト表示に切り換わり ます。
Rename	タップした■ボタン左側のプロジェクト フォルダーの名前を変更する画面に切り 換わります。
Delete	タップした■ボタン左側のプロジェクト フォルダーを削除します。

メモ

- •録音中/再生中は、操作できません。
- カレントプロジェクトの「Rename」と「Delete」は、実施 できません。

⑤ スクロールバー

フォルダーやファイルの数が画面内に表示しきれない場合に表示します。

スクロールバー表示をドラッグすることで画面がスクロールします。また、プロジェクトリスト/テイクリストを上下にスワイプする、またはLCDノブ8を回してプロジェクトリスト/ティクリストをスクロールします。

⑥ 階層移動ボタン

☆ボタンをタップすると、表示中のフォルダーの階層を1つ上がります。

メモ

階層が「MTR Projects Root」(一番上の階層)のときは、グレー アウト表示になります。

⑦ テイクリスト表示

現在表示中のプロジェクトフォルダーに存在するテイク名とテ イクの長さをテイク名順に表示します。また、この部分をタッ プすると、タップしたテイクがカレントテイクとして選択され、 チェックマーク(✔)が表示されます。

⑧ テイクメニューボタン (🔤)

このボタンをタップすると、ボタン左側のテイクの下記操作を 行うメニューウィンドウを表示します。

操作メニュー	内容
Open	タップした ■ボタン左側のテイクを選択 し、MULTI TRACK RECORDER画面に戻り ます。
Rename	タップした ■ボタン左側のテイクの名前 を変更する 画面に切り 換わります。
Delete	タップした ■ボタン左側のテイクを削除 します。

メモ

録音中/再生中は、操作できません。

⑨ NEW TAKE作成ボタン(OVERDUB MODE時のみ)

新しいテイクを作成するためのボタンです。

このボタンをタップすると、以下の確認メッセージが表示されます。

Sampling Rate (Max Tracks)	48 kHz 32 tracks 96 kHz 16 tracks
Bit Depth	24 32
File Name Prefix	SONICVIEW
CANCEL	CREATE

Sampling Rate、Bit Depth、File Name Prefixを設定して CREATE ボタンをタップするとテイクが作成されます。

フォルダー構成について

IF-MTR32 は、プロジェクトフォルダーの中でオーディオファイル を管理します。

SDカードの中には、テイクをまとめるための「PROJECT」などの プロジェクトフォルダー群、プロジェクトフォルダーの中にテイク と呼ばれるオーディオファイル群(1回の録音ファイルの集まり) があります。

フォルダー構成

フォルダー構成は、下図のようになっています。 SDカードをパソコンに接続されたSDカードリーダーに装着して アクセスするとフォルダーやファイルの構成を確認することが可 能です。

ROOT			
PR	OJECT		
	221117	_001_0	1.wav
· ·····	221117	_001_0	12.wav
	221117	_001_0	13.wav
	:		
	221117	_001_3	0.wav
	221117	_001_3	1.wav
· ·····	221117	_001_3	2.wav
	221117	_002_0	11.wav
· ·····	221117	_002_0	12.wav
	221117	_002_0	13.wav
	:		
	221117	_002_3	0.wav
	221117	_002_3	1.wav
	221117	_002_3	2.wav

メモ

- これら以外にも管理用のフォルダーやファイルが作成されます。
- カレントフォルダーとして選択できるのは、SDカードのルート にあるフォルダーだけです。それ以外の場所にあるフォルダー は、カレントフォルダーとして選択できません。

録音ファイル名

録音ファイルの命名規則は、以下の通りです。

[File Name Prefix1 ~ 9 文字]_[テイク番号 3 桁]_[トラック番号 2 桁].wav

ファイルフォーマットについて

IF-MTR32 で記録再生できるファイルフォーマットは、以下の通り です。

- ファイルフォーマット:BWF/WAV*
- サンプリング 周波数:48kHz、96kHz
- 量子化ビット数:16bit**、24bit、32bit
- チャンネル数:1チャンネル
 - * WAVファイルの記録は、本機では行えません(再生のみ可 能です)。
 - ** 量子化ビット数16ビットでは録音できません。また、量子化ビット数が16ビットのトラックが含まれたテイクにはパンチイン/アウトできません。そのため、MTR動作モードがOVERDUB MODEでは、量子化ビット数が16ビットのトラックが含まれたテイクは選択できません。

メモ

- [ファイル名前半部]_[トラック番号2桁].wavというファイル 名で、サンプリング周波数が48kHzのファイルの場合は32個 以下、96kHzのファイルの場合は16個以下の1チャンネルの WAVファイルをまとめて、1つのテイクとして認識します。
- トラック番号が1桁の場合は、番号の先頭に「0」を付加して「01」、「02」のようにしてください。
- ファイル名の[トラック番号2桁]部の数値が下記のような WAVファイルは、1つのテイクとして認識されます。
 - サンプリング 周波数 48kHzの 場合:33 以上
 - サンプリング 周波数 96kHzの 場合:17 以上
- ファイル名の[トラック番号2桁]部がないWAVファイルは1つのテイクとして認識されます。

プロジェクトの管理

IF-MTR32(マルチトラックレコーディングカード)では、1回の 録音ファイルの集まりを「テイク」、録音テイクを含んだフォルダー を「プロジェクト」として扱い、プロジェクトフォルダーごとにデー タの管理を行っています。

録音、楽曲制作を行う場合は、作成済みのプロジェクトフォルダー を選択するか、プロジェクトフォルダーを新規作成する必要があ ります。

本章では、プロジェクトの選択手順や新規作成手順といった基本 操作から、各種のプロジェクト管理機能までを説明します。

メモ

DAWなどでプロジェクト内のWAVファイルをご使用になる場合は、 SDカードにあるファイルを直接使用せずパソコンにコピーしてご 使用ください。

プロジェクトリスト/テイクリストを見る

SDカードに保存されたプロジェクトリスト/テイクリストを表示 するには、MULTI TRACK RECORDER画面のプロジェクト名表示部、 またはテイク名表示部をタップして MTRの BROWSE画面を表示し ます。また、MULTI TRACK RECORDER - MENU画面の BROWSEボ タンをタップして、MTRの BROWSE画面を表示することもできま す。(→ 309 ページ「MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面」)

プロジェクト操作

MTRのBROWSE画面内のプロジェクトフォルダー名右端の MTRのBROWSE画面内のプロジェクトフォルダー名右端の Vをタップするとメニューウィンドウが表示され、プロジェクト操作を行うことができます。

各プロジェクト操作を行うには、メニューウィンドウの各ボタン をタップします。

操作メニュー	内容
Open	タップするとプロジェクトをカレントプロ ジェクトとして選択し、テイクリスト表示に 切り換わります。
Rename	タップすると選択したプロジェクトの名前を 変更する Rename画面に切り 換わります。
Delete	 タップすると選択したプロジェクトを削除するかどうかの確認メッセージを表示します。 CANCELボタンをタップすると、確認メッセージを閉じます。 OKボタンをタップすると、選択したプロジェクトを削除して確認メッセージを閉じます。

メモ

- •録音中/再生中は、操作できません。
- カレントプロジェクトの「Rename」と「Delete」は実施できません。

新しいプロジェクトを作成する

本機で録音または再生を行うにはプロジェクトを作成し、選択す る必要があります。

以下の手順で、新しいプロジェクトを作成することができます。

- 1. MTRが停止中にMTRのBROWSE画面を表示します。(→ 309 ページ「MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面」)
- 2. 画面右上の III ボタンをタップすると、作成するプロジェクト 名を入力する Make Project画面に切り換わります。



 Make Project画面のキーボードのCaps lockボタンとShiftボ タンの設定状態によって、入力できる文字の組み合わせを 変更することができます。キーボードの変更方法について は、230ページ「キーボードの変更方法」をご参照ください。

ヒント

あとから Rename画面でプロジェクト 名を変更することもでき ます。

 Enterボタンをタップすると新しいプロジェクトが作成され、 MTRのBROWSE画面に戻ります。

メモ

- プロジェクトの作成をキャンセルする場合は、画面左上の
 ボタンをタップします。
- 入力できるプロジェクト名の文字数は、1文字以上11文字 以内です。
- プロジェクトは、SDカードのルートに作成されます。
- Enterボタンをタップした際、すでに同じ名前のフォルダー がある場合は、以下のメッセージが表示されますので、違う 名前を入力してください。

This name already exists. Please enter another name.

プロジェクトを選択する

以下の手順で、使用するプロジェクトを選択します。

 MTRが停止中にMTRのBROWSE画面を表示します。(→ 309 ページ「MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面」)

メモ

現在選択中のプロジェクトには、チェックマーク(✔)が表示 されます。

プロジェクトフォルダー名をタップすると、タップしたプロジェクトがカレントプロジェクトとして選択され、チェックマーク(✔)が表示されます。

メモ

以下の手順で選択することもできます。

- 1. 選択したいプロジェクトフォルダー名右端の ボタンをタッ プして、メニューウィンドウを表示します。
- Openボタンをタップすると、選択したプロジェクトをカレントプロジェクトとして選択し、テイクリスト表示に切り換わります。

プロジェクトを削除する

プロジェクトを削除することができます。 SDカードの空き容量が少なくなった場合は、不要なプロジェクト を削除することで SDカードの空き容量を増やすことができます。

メモ

- カレントプロジェクトは、削除できません。
- SDカードには、OVERDUB MODEのUNDOを行うためのファイ ルが保存されている場合があります。IF-MTR32に装着された SDカードを抜き差しすると、それらのファイルを削除するこ とができます。
- 1. MTRが停止中にMTRのBROWSE画面を表示します。(→ 309 ページ「MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面」)
- 削除したいプロジェクトフォルダー名右端の ボタンをタッ プして、メニューウィンドウを表示します。
- 3. Deleteボタンをタップすると、選択したプロジェクトを削除 するかどうかの確認メッセージを表示します。
 - CANCELボタンをタップすると、確認メッセージを閉じます。
 - OKボタンをタップすると、選択したプロジェクトを削除して確認メッセージを閉じます。

プロジェクト名を変更する

- 1. MTRが停止中にMTRのBROWSE画面を表示します。(→ 309 ページ「MULTI TRACK RECORDER BROWSE画面」)
- 名前を変更したいプロジェクトフォルダー名右端の ボタン をタップして、メニューウィンドウを表示します。
- **3.** Renameボタンをタップすると、選択したプロジェクトの名前を変更する Rename画面に切り換わります。



- プロジェクト名を変更します。 Rename画面のキーボードのCaps lockボタンとShiftボタンの 設定状態によって、入力できる文字の組み合わせを変更する ことができます。キーボードの変更方法については、230ペー ジ「キーボードの変更方法」をご参照ください。
- Enterボタンをタップするとプロジェクト名が変更され、MTR のBROWSE画面に戻ります。

メモ

- プロジェクト名の変更をキャンセルする場合は、画面左上の「ボタンをタップします。
- 変更できるプロジェクト名の文字数は、1文字以上11文字 以内です。
- カレントプロジェクトの名前は、変更できません。
- Enterボタンをタップした際、すでに同じ名前のフォルダー がある場合は、以下のというメッセージが表示されますので、 違う名前を入力してください。

This name already exists. Please enter another name.

基本レコーディング

MTRの入力ソースを選択する

IF-MTR32(マルチトラックレコーディングカード)の入力ソース を選択します。

MTRとの自動ルーティング

MULTI TRACK RECORDER画面上部のAUTO ROUTINGボタン(②) をタップして、以下のルーティング変更の確認メッセージを表示 します。

		AUTO ROUTIN	G
Input	CH mo	dule 1-32 🔻 🕯	to MTR 1-32
Does	not chang	e the output destir	ation of the MTR
Does	not chang	je the output destir	nation of the MTR
Does	not chang /ES	e the output destir	nation of the MTR
Does	not chang /ES nect the	ye the output destin YES Connect the	NO Connect by

- ●「CH module 1-32」もしくは「CH module 9-40」のいずれかを 選択してから YES Connect the Direct Outボタンをタップする と、選択した CH モジュール 群の DIRECT OUTが、IF-MTR32 を 装着したスロットの 1-32 にルーティングされます。
- YES Connect the SEND/RETURNボタンをタップすると、選択したCHモジュール群のINSERT SEND / RETURNが、IF-MTR32を装着したスロットの1-32 にルーティングされます。
- NO Connect by myselfボタンをタップすると、現状のルーティング設定を維持しますので、ご自身で必要なルーティングを行ってください。



● ■ ボタンをタップするとメッセージを閉じます。この場合、現状のルーティング設定を維持します。

MTRへの手動入力ルーティング

IF-MTR32を装着したSLOTの出力ポートに任意の信号をアサイン することでMTRに音声信号を入力できます。

- CHモジュールの音声信号をMTRに送るには、以下のアサイン 先に、IF-MTR32 を装着したスロットの「1-32」を選択してく ださい。
 - DIRECT OUT(DIRECT OUTボタン:オン)
 - Insert Send



- BUSモジュールの音声信号をMTRに送るには、以下のアサイン 先に、IF-MTR32を装着したスロットの「1-32」を選択してく ださい。
 - Insert Send
 - Output Port



メモ

入力ポートの音声信号をCHモジュールにアサインせずにMTR に送ることはできません。

注意事項

● DIRECT OUT POINTの設定が「POST HPF」のときのDIRECT OUTを録音時:

録音時にPhase / D.Trim / HPFが有効な場合、サウンド チェック(再生)時にPhase / D.Trim / HPFを再度経由し ますのでご注意ください。

● DIRECT OUT POINTの設定が「POST FADER」のときのDIRECT OUTを録音時:

録音時に Phase / D.Trim / HPF / GATE / EQ / COMP / DELAYが有効な場合、サウンドチェック(再生)時に Phase / D.Trim / HPF / GATE / EQ / COMP / DELAYを再度経 由しますのでご注意ください。

回避方法

CHモジュールでこれらの信号処理を録音時と再生時の2回 経由しないようにするには、CHモジュールからMTRへのルー ティングを以下のいずれかに設定してください。

- DIRECT OUT POINTの設定を「INPUT」に設定したDIRECT OUT
- Insert Send

注意事項

BUS Output Portを録音時:

BUS Output Portを録音時にEQ / GEQ / COMP / DELAY / Phaseが有効な場合、サウンドチェック(再生)時にEQ / GEQ / COMP / DELAY / Phaseを再度経由しますのでご注意 ください。

回避方法

BUSモジュールでこれらの信号処理を録音時と再生時の2 回経由しないようにするには、BUSモジュールからMTRへの ルーティングを「Insert Send」に設定してください。

レコーディングする

本機では、最大 32 トラックを同時に録音することができます。 以下に述べる録音操作は、IF-MTR32 ではじめて録音する際の手 順例です。

- 1. IF-MTR32 に SD カードを 装着します。
- 2. MULTI TRACK RECORDER MENU画 面 で SDカードをErase Formatします。(→ 308 ページ「⑥ Formatボタン」)
- MULTI TRACK RECORDER画面上部のMTR動作モードボタン (→ 297ページ「④ MTR動作モードボタン」)をタップし て、LIVE RECORDING MODEまたはVIRTUAL SOUND CHECK MODEのいずれかを選択します。
- 録音するトラックの REC READYを「オン」に設定します。 REC READY表示が赤く点滅し、録音待機状態となります。
- 5. 各録音対象チャンネルの入力レベルを調節します。
- MULTI TRACK RECORDER画面の ボタンをタップし、録音 一時停止状態にします。
- 7. MULTI TRACK RECORDER画面の ► ボタンをタップすると録 音が始まり、● ボタンと ► ボタンがハイライト表示になり ます。 録音するトラックのREC READY表示が点滅から点灯に変わり ます。
- 8. 録音が終了したら、■ ボタンをタップします。

レコーディングした音声を確認する(再生する)

 MTR再生用のルーティングに切り換えます。 MULTI TRACK RECORDER画面のSOUND CHECKボタン(→ 300ページ「⑳ SOUND CHECKボタン」)をタップして表示 されるメッセージを確認してハイライト状態に切り換えると、 録音したチャンネルのインプットやInsert ReturnにMTR出力 がルーティングされ、再生音をモニターすることができます。 MTRルーティング切り換えの詳細については、300ページ「⑳ SOUND CHECKボタン」をご参照ください。



2. MULTI TRACK RECORDER画面の ◀◀ / ▶▶ ボタンおよび ■ ボタンなどを使って、確認したい位置に移動(ロケート)します。

メモ

ロケート機能については、315 ページ「ロケート機能」をご参照ください。

3. MULTI TRACK RECORDER画面の ► ボタンをタップして、録 音したトラックを再生します。

メモ

一部のトラックを差し替えたい場合は、MTR動作モードを
 OVERDUB MODEに切り換えてパンチイン/アウトを行います。
 (→ 317 ページ「パンチイン/アウト機能」、→ 318 ページ「オートパンチイン/アウト機能」)

レコーダー機能

ロケート 機能

MULTI TRACK RECORDER画面で再生位置を移動する方法は、以下の通りです。

いずれもレコーダーが停止中または再生中に実施します。

- プログレスバーを左右にドラッグする この場合、素早く大まかに移動することができます。
- MULTI TRACK RECORDER画面でLCDノブ8(緑色で点灯)を回 す

この場合、LCDノブ8の1クリックで50ms~70msずつ再生 位置を移動します。また、LCDノブ8を押しながら回した場合 は、1クリックで約10秒ずつ再生位置を移動します。

- ◀◀ ボタンや ▶▶ ボタンを押し続ける
- ロケート 時刻を入力する

ロケート時刻を入力してロケートする

タイムカウンターに時刻を入力することによって、レコーダーの 現在位置を移動することができます。

 MULTI TRACK RECORDER画面の経過時間タイムカウンター表示部をタップすると、ロケート時刻入力モードに切り換わり、 タイムカウンター下に数字入力ボタンとLOCATEボタンが表示されます。



- 2. 移動したい時刻を入力します。
- **3.** LOCATEボタンをタップすると、その時点で入力された時刻 にロケート(移動)します。

リピート再生機能

リピート再生機能を使って、繰り返し再生を行うことができます。 MULTI TRACK RECORDER画面のリピートモード設定ボタンをタッ プしてリピート再生機能の設定を行います。



- MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまたはVIRTUAL SOUND CHECK MODEのとき、リピートモード設定ボタンをタッ プするとOFF → 1 → ALL → I-Oと順番に切り換えます。
- MTR動作モードがOVERDUB MODEのとき、リピートモード設定ボタンをタップするとOFF → 1 → I-Oと順番に切り換えます。ただし、AUTO PUNCH設定が「ON」の場合は、リピート再生できません。

リピートモード	動作		
	リピート再生しません。		
↓ 1	現在選択されているテイク全体をリピート 再生します。		
ÇALL	プロジェクト全体をリピート再生します。 MTR動作モードがLIVE RECORDING MODE またはVIRTUAL SOUND CHECK MODEのと きに選択できます。		
↓ I-0	INポイントとOUTポイントの間をリピート 再生します。(→318 ページ「パンチイン /アウトポイントを設定する」)		

メモ

リピートモードが「ALL」に設定された状態でMTR動作モードを 「OVERDUB MODE」に切り換えた際は、リピートモードは自動的 に「OFF」に切り換わります。

オートレック機能

録音を自動で開始させる機能です。

録音レベルが設定したレベルを上回ると録音を開始します。また、 録音レベルが設定したレベルを下回ったとき、一時停止するか、ファ イルを分割するかを設定できます。

MULTI TRACK RECORDER - MENU画面で設定します。

	RECORDER - MENU	LIVE RECORDING MODE
	BROWSE	
Sampling Rate (Max Tracks)	48 kHz 32 tracks 96 kHz 16 tracks	Start Level End Level End Time
Bit Depth	24 32	••••••••••••••••••••••••••••••••••••••
File Name Prefix	DATE SONICVIEW EDIT	End Mode Take Split Continue
Media	UHS-I Capacity : 128 мв Free : 52.59 мв	PRE REC
Format	QUICK ERASE	Version 🔺

メモ

MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまたはVIRTUAL SOUND CHECK MODEのときに使用できます。

AUTO RECボタン

このボタンをタップして、オートレック機能のON / OFFを切り 換えます。(初期値:OFF) ONのとき、ボタンが赤くハイライト表示になり、以下の設定で録 音を行います。

Start Levelノブ

オートレックを開始する録音レベル設定です。 赤く点灯したLCDノブ6を使って設定します。

選択肢:OFF*、-72dBFS ~-24dBFS (6dBFS刻み、初期値:-42dBFS)

*「OFF」を選択した場合は、MULTI TRACK RECORDER画面の
 ● ボタンをタップして録音を開始します。

End Levelノブ

オートレックを終了する録音レベル設定です。 黄色で点灯したLCDノブ7を使って設定します。

選択肢:OFF*、-72dBFS ~-24dBFS (6dBFS刻み、初期値:-42dBFS)

*「OFF」を選択した場合は、MULTI TRACK RECORDER画面の
 ■ ボタンを押して録音を終了します。

End Time ノブ

録音レベルが終了レベルを下回ってからオートレックを終了する までの時間の設定です。 緑色で点灯したLCDノブ8を使って設定します。 時間が経過する前に録音レベルが終了レベルを上回った場合は、 録音を継続します。

設定範囲:1~60秒(初期値:5秒)

End Mode ボタン

このボタンをタップして、オートレックが始まったあと、録音レベルが終了レベルを下回ってからEnd Timeが経過したあとの動作を 設定します。

選択肢	内容	
Take Split(初期值)	次のテイクで録音を待機	
Continue 同じテイクで録音を待機		
選択したボタンが水色のハイライト表示になります。		

プリレック機能

録音一時停止中に入力される信号を最大2秒間録音しておき、録 音開始時に最大2秒前からの信号を録音する機能です。 MULTI TRACK RECORDER - MENU画面で設定します。

	RECORDER - MENU	LIVE RECORDING MODE
	BROWSE	
Sampling Rate (Max Tracks)	48 kHz 32 tracks 96 kHz 16 tracks	Start Level End Level End Time
Bit Depth	24 32	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •
File Name Prefix	DATE SONICVIEW EDIT	End Mode Take Split Continue
Media	UHS-I Capacity : 128 мв Free : 52.59 мв	PRE REC
Format	QUICK ERASE	Version 🔺

メモ

MTR動作モードがLIVE RECORDING MODEまたはVIRTUAL SOUND CHECK MODEのときに使用できます。

PRE RECボタン

このボタンをタップして、プリレック機能のON / OFFを切り換 えます。(初期値:OFF)

ONのとき、ボタンが赤くハイライト表示になります。

パンチイン/アウト機能

パンチイン/アウトは、録音済みのトラックの一部を差し替える ときに使う機能です。

レコーダーを再生して、差し替え部分に来たら録音に切り換え(パ ンチイン)、差し替え部分を終了したら再生に切り換え(パンチ アウト)、設定時間後に停止します。

メモ

- MTR動作モードがOVERDUB MODEのときのみ 使用できます。
- MTR動作モードがOVERDUB MODEでのミキサーとMTRとの ルーティングは、必ずInsert Send/Returnを使うようにしてく ださい。これ以外のルーティング設定の場合、正常なパンチイ ン/アウト録音ができなくなります。
- あらかじめ差し替える部分を決めておきます。
 差し替えた音声が元のトラック音声とうまくつながるような ポイントを選びます。
- MULTI TRACK RECORDER画面で差し替えるトラックのREC READYを「オン」にして、録音待機状態にします(REC READY 表示が赤く点滅)。
- 3. 差し替え部分の手前から再生を始めます。
- 差し替え部分に来たら、MULTI TRACK RECORDER画面の● ボタンをタップして演奏を行います。 録音に切り換わります (パンチイン)。
- 差し替え部分の終わりに来たら MULTI TRACK RECORDER画 面の ■ ボタンまたは ► ボタンをタップします。
 - ■ ボタンをタップすると停止します。
 - ▶ ボタンをタップすると、録音から再生に切り換わります。

フットスイッチを使ったパンチイン/アウト

リアパネルのFOOTSWITCH端子に接続した別売の推奨フットス イッチ(TASCAM RC-1F)を使って、パンチイン/アウトを行うこ ともできます。

フットスイッチを使ってパンチイン/アウトを行うには、あらか じめフットスイッチに割り当てる機能を「MTR」の「Punch IN/ OUT」に設定しておく必要があります。(→74ページ「Foot Switchタブ画面」)

上記手順の4. で● ボタンの代わりにフットスイッチを踏み、手順5. の ▶ ボタンの代わりに再度フットスイッチを踏みます。

メモ

本機は、フットスイッチとしてプッシュ・トゥ・メイク(押したと きに短絡状態)のアンラッチ型(モーメンタリー型)スイッチを 使用する前提で設計されています。

オートパンチイン/アウト機能

オートパンチイン/アウト機能により、あらかじめ設定したパン チインポイントとパンチアウトポイント間を自動録音することが できます。

オートパンチイン/アウト機能を実行すると、パンチインポイント(録音開始点)より手前のプリロールポイントから再生を開始し、 パンチインポイントまで来ると録音に切り換わります。

その後、パンチアウトポイント(録音終了点)まで来ると再生に 切り換わり、ポストロール後に停止します。

メモ

MTR動作モードがOVERDUB MODEのときのみ使用できます。

パンチイン/アウトポイントを設定する

1. MULTI TRACK RECORDER画面を表示します。



- 2. ▶ ボタンをタップして、再生を開始します。
- パンチインポイントでSET INボタン、パンチアウトポイント でSET OUTボタンをタップします。 設定したポイントは、プログレスバー上部に「■」と「■」 で表示されます。

メモ

- 停止中にパンチイン/アウトポイントを設定することもできます。
- パンチインポイントとパンチアウトポイントの間は、200ms
 以上開けてください。間隔が 200ms未満の場合は、以下の
 メッセージが表示され、後から設定しようとしたポイントは
 設定されません。

Invalid I/O. Interval too short.

パンチアウトポイントをパンチインポイントより前に設定しようとした場合、またはパンチインポイントをパンチアウトポイントより後ろに設定しようとした場合、以下のメッセージが表示され、後から設定しようとしたポイントは設定されません。パンチインポイントがパンチアウトポイントの前方になるように設定してください。

Invalid I/O. Please set IN and OUT in order.

- CLEARボタンをタップすると、設定したパンチインポイント とパンチアウトポイントをクリアします。
- 4. ボタンを押して、再生を停止します。

 AUTO PUNCHボタンをタップして MULTI TRACK RECORDER -MENU 画面に切り換え、オートパンチイン/アウト機能をオ ンにします。

D MULTI TRACK	RECORDER - MENU	OVERDUB MODE	×
	BROWSE		
Sampling Rate (Max Tracks)		Pre Roll Time Post Roll Time	
		Q Q 2 s 2 s	
Media	UHS-I Capacity : 29 GB Free : 29 GB		
Format	QUICK ERASE	Version 🔺	

 ● 画面左上の S ボタンをタップして、MULTI TRACK RECORDER 画面に戻ります。

メモ

- パンチインポイントのみを設定すると、オートパンチインで 録音が開始されたあと、任意の位置で■ボタンまたは ► ボタンをタップするまで録音を継続することができます。
- パンチアウトポイントのみを設定すると、任意の位置で● ボタンをタップして録音を開始したあと、オートパンチアウ トで録音を停止することができます。

プリロールポイント/ポストロールポイントを設定する

オートパンチイン/アウトを行うとき、パンチインポイントのどれ くらい手前から再生(プリロールポイント)を始め、パンチアウ トポイントのどれくらい後ろで再生を停止(ポストロールポイント) するかを設定します。

1. MTRが停止中にMULTI TRACK RECORDER - MENU画面を表示 します。(→ 307ページ「MULTI TRACK RECORDER - MENU 画面」)



 赤く点灯しているLCDノブ6を使ってPre Roll Time、黄色く 点灯しているLCDノブ7を使ってPost Roll Timeを設定します。 Pre Roll Time: 0sec ~ 10sec (初期値: 2sec)

Post Roll Time: 0sec ~ 10sec(初期值: 2sec)

3. 画面左上の S ボタンをタップして、MULTI TRACK RECORDER 画面に戻ります。

パンチイン/アウトをリハーサルする

パンチイン/アウトを実行する前に、リハーサルをすることがで きます。リハーサルでは、モニターが実際のレコーディングと同 じように切り換わりますが、録音はされません。

- **1.** MULTI TRACK RECORDER画面にAUTO PUNCHボタンが赤く ハイライト表示されていることを確認します。
- **2.** MULTI TRACK RECORDER画面の REHEARSAL ボタンをタップ してオンに切り換え、ハイライト表示にします。
- 3. オートパンチイン/アウトしたいトラックのREC READYを 「オン」にします。(→305ページ「REC READY / INPUT MONITORの設定」)
- ボタンをタップします。 オートパンチイン/アウトのリハーサルが始まります。
 - トランスポートがプリロールポイントから走行し始めます。トラック再生信号と入力ソース信号の両方をモニターできます。(→ 318ページ「プリロールポイント/ポストロールポイントを設定する」)
 - パンチインポイントまで来ると、入力ソース信号だけの モニターになり、●ボタンが点滅表示します(リハーサ ルであることを表示)。
 - パンチアウトポイントまで来ると、トラック再生信号と 入力ソース信号の両方のモニターになり、● ボタンがグ レーアウト表示になります。
 - パンチアウトポイントからポストロールポイント設定時間経過後に自動的に停止し、▶ ボタンが点滅表示します。 (→318ページ「プリロールポイント/ポストロールポ イントを設定する」)
 - 繰り返しリハーサルを行うことができます。

オートパンチイン/アウトを実行する

実際にオートパンチイン/アウトを行います。

- MULTI TRACK RECORDER画面にAUTO PUNCHボタンが赤く ハイライト表示されていることを確認します。
- MULTI TRACK RECORDER画面の REHEARSAL ボタンをタップ してオフに切り換え、グレーアウト表示にします。
- 3. オートパンチイン/アウトしたいトラックのREC READY を「ON」にします。(→ 305ページ「REC READY / INPUT MONITORの設定」)
- **4.** ボタンをタップします。
 - トランスポートがプリロールポイントから走行し始めます。トラック再生信号と入力ソース信号の両方をモニターできます。(→ 318 ページ「プリロールポイント/ポストロールポイントを設定する」)
 - パンチインポイントまで来ると、入力ソース信号だけの モニターになり、● ボタンがハイライト表示になります。
 - パンチアウトポイントまで来ると、トラック再生信号と 入力ソース信号の両方のモニターになり、● ボタンがグ レーアウト表示になります。
 - パンチアウトポイントからポストロールポイント設定時間経過後に自動的に停止し、▶ ボタンが点滅表示します。
 (→318ページ「プリロールポイント/ポストロールポイントを設定する」)

メモ

AUTO PUNCHボタンが赤くハイライト表示されている状態で、パンチイン/アウトポイントを設定しないまま●ボタンをタップした場合、以下のメッセージが表示されます。
 パンチイン/アウトポイントを設定してから●ボタンをタップしてください。

Cannot execute AUTO PUNCH. Set both I/O points.

 AUTO PUNCHボタンが赤くハイライト表示されている状態 で、MTRを再生中に●ボタンをタップした場合、以下のメッ セージが表示されます。

MTRを停止してから ● ボタンをタップしてください。

Cannot execute AUTO PUNCH. Stop the MTR.

パンチインアウト操作を取り消す(アンドゥ)

パンチインアウトをやり直したいときは、最後に行った操作を取 り消すこと(アンドゥ)ができます。

アンドゥまたはリドゥに関する情報はプロジェクトを選択する、 または本機の電源をオフにすると失われてしまうため、その後は 行うことができません。

メモ

SDカードには、アンドゥを行うためのファイルが保存されている 場合があります。IF-MTR32 に装着された SDカードを抜き差しす ると、それらのファイルを削除することができます。

最後に行ったパンチインアウト操作を取り消す

MULTI TRACK RECORDER画面のUNDOボタンをタップすると、 UNDO処理が開始され、メッセージが表示されます。 処理が完了すると、最後の操作を行う前の状態に戻りメッセージ を閉じます。

アンドゥ操作を取り消すには(リドゥ)

アンドゥ操作を行ったあと、MULTI TRACK RECORDER画面の REDOボタンをタップすると、REDO処理が開始され、メッセージ が表示されます。

処理が完了すると、UNDO実施前の状態に戻り、メッセージを閉 じます。

テイクの編集

テイク名を変更する

- 1. MTRが停止中にMTRのBROWSE画面を表示します。(→ 309 ページ「MULTI TRACK RECORDER - BROWSE画面」)
- 名前を変更したいテイク名右端の ボタンをタップしてメ ニューウィンドウを表示します。
- **3.** Renameボタンをタップすると、選択したテイクの名前を変 更する Rename画面に切り換わります。

• Ren	name										>
Son	icvi	ew									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	×
q	w	e	r	t	У	ľ	Γ	°	P	Ī	Delete
Caps lock	a	s	d	f	g	h	j	k	1	[1
Shift		z	x	c	v	b	n	m	•	•	-
Сору	Pas	te S	pace						En	iter	

- テイク名を変更します。
 Rename画面のキーボードのCaps lockボタンとShiftボタンの 設定状態によって、入力できる文字の組み合わせを変更する ことができます。キーボードの変更方法については、230ペー ジ「キーボードの変更方法」をご参照ください。
- 5. Enterボタンをタップするとテイク名が変更され、MTRの BROWSE画面に戻ります。

メモ

- •変更できるテイク名の文字数は、1文字以上16文字以内です。
- テイク名の変更をキャンセルする場合は、画面左上の 「ボ タンをタップします。
- Enterボタンをタップした際、同じフォルダーにすでに同じ 名前のテイクがある場合は、以下のメッセージが表示されま すので、違う名前を入力してください。

This name already exists. Please enter another name.

テイクを削除する

指定したテイクを削除することができます。

SDカードの空き容量が少なくなった場合は、不要なテイクを削除 することでSDカードの空き容量を増やすことができます。

メモ

SDカードには、OVERDUB MODEのUNDOを行うためのファイル が保存されている場合があります。IF-MTR32に装着されたSDカー ドを抜き差しすると、それらのファイルを削除することができます。

- 1. MTRが停止中にMTRのBROWSE画面を表示します。(→ 309 ページ「MULTI TRACK RECORDER BROWSE画面」)
- 削除したいテイク名右端の ボタンをタップして、メニュー ウィンドウを表示します。
- 3. Deleteボタンをタップすると、選択したテイクを削除するか どうかの確認メッセージを表示します。
 - CANCELボタンをタップすると、確認メッセージを閉じます。
 - OKボタンをタップすると、選択したテイクを削除して確認メッセージを閉じます。

外部機器で録音したファイルを取り込む

以下の要件を満たす音声ファイルを取り込んで、テイクとして再 生することができます。また、IF-MTR32(マルチトラックレコーディ ングカード)で作成された以下の要件を満たすファイルは、その まま再生することができます。

- ファイルフォーマット:BWF/WAV
- サンプリング 周波数:48kHz、96kHz
- 量子化ビット数:16bit、24bit、32bit
- チャンネル数:1 チャンネル

ファイル名フォーマット

[ファイル名前半部]_[トラック番号2桁].wav

実例)

SONICVIEW_001_01.wav(トラック1のファイル) SONICVIEW_001_02.wav(トラック2のファイル) .

SONICVIEW_001_31.wav(トラック 31 のファイル) SONICVIEW_001_32.wav(トラック 32 のファイル)

注意

量子化ビット数が 16 ビットのトラックが含まれたテイクにはパン チイン/アウトできません。そのため、OVERDUB MODEでは量子 化ビット数が 16 ビットのトラックが含まれたテイクは選択できま せん。

メモ

- 「[ファイル名前半部]_[トラック番号2桁].wav」というファイル名で、サンプリング周波数が48kHzのファイルの場合はファイル名の[トラック番号2桁]部が「01」から「32」、96kHzのファイルの場合はファイル名の[トラック番号2桁]部が「01」から「16」のWAVファイルをまとめて、1つのテイクとして認識します。
- トラック番号が1桁の場合は、番号の先頭に「0」を付加して「01」、「02」のようにしてください。
- ファイル名の[トラック番号2桁]部の数値が下記のような WAVファイルは、1つのテイクとして認識されます。
 - サンプリング 周波数 48kHzの 場合:33 以上
 - サンプリング 周波数 96kHzの 場合:17 以上
- ファイル名の[トラック番号2桁]部がないWAVファイルは1 つのテイクとして認識されます。

取り込み前の準備

IF-MTR32 ではじめて使用する SD カードの場合は、必ず IF-MTR32 でフォーマットを行ってください。IF-MTR32 でフォーマットされ た SD カードは、性能向上のために最適化されています。 他の機器、パソコンなどでフォーマットした SD カードを使用した

場合は、動作に影響が出る場合があります。

IF-MTR32 で SD カードをフォーマットします。(→ 308 ページ「⑥ Formatボタン」)

メモ

IF-MTR32 でフォーマットを行うと、自動でルートに「PROJECT」 フォルダーを作成します。

- フォーマットしたSDカードを取り外し、パソコンに接続されたSDカードリーダーに装着します。
- 3. IF-MTR32でフォーマットした場合、パソコンからは「IF-MTR32」というドライブとして認識されます。
- **4.** 取り込みたい音声ファイルを「IF-MTR32」の下層にあるフォ ルダーにコピーしてください。

5. 書き込みが終わったら、SDカードをカードリーダーから取り 外しIF-MTR32 に装着してください。

取り込んだファイルを本機で扱う

- カレントプロジェクトに追加した場合、自動で再生可能なオー ディオファイルがテイクとして認識されます。
- ●カレントプロジェクト以外に追加した場合、MTRのBROWSE 画面で追加したフォルダーをカレントプロジェクトに選択する と、自動で再生可能なオーディオファイルがテイクとして認識 されます。

マーク機能

マークは、再生時の頭出しなどに利用することができます。 WAVファイルに登録したマークポイントは、本機以外でもBWF対 応ソフトなどで利用することができます。

マークポイントを登録する

録音中または再生中に MULTI TRACK RECORDER画面の SETボタン をタップすると、その位置にマークポイントを登録することがで きます。

- ●マークポイントを登録すると、マーク番号がディスプレーにポップアップ表示されます。
- マークポイントが設定されている位置には、再生位置表示プロ グレスバーの下に ▲ アイコンが表示されます。
- 録音/再生中に設定したマークポイントは、録音/再生停止時 に自動的にWAVファイルに保存されます。
- 停止時に設定したマークポイントは、以下のタイミングで自動 的にWAVファイルに保存されます。
 - 設定後に再生して停止したとき
 - 別のテイクに移動したとき

メモ

パンチイン/アウトポイントもマークポイントの一種ですが、SET MARKボタンで設定したマークポイントとは以下の点が異なります。

- SET MARKボタンで設定したマークポイントは、WAVファイル に保存されます。
- パンチイン/アウトポイントはWAVファイルには保存されず、 以下の操作で破棄されます。
 - MTR動作モードを切り換える
 - プロジェクト・テイクを切り換える
 - LIVE RECORDING モードまたは VIRTUAL SOUND CHECK モー ドでの録音開始
 - 本機の電源を切る

マークの位置へ移動する

下記の2通りの方法があります。

1つずつ前後に移動する

停止中/再生中/再生一時停止中に、MULTI TRACK RECORDER画 面の ◀MARK SKIPボタンまたは ► MARK SKIPボタンをタップす ると、現在位置の手前または次のマークの位置へ移動(スキップ) します。



リストから選んで移動する

1. 停止中/再生中/再生一時停止中にMULTI TRACK RECORDER 画面の III ボタンをタップすると、マークリスト情報を表示す るウィンドウを表示します。



- **2.** LCDノブ1を回して、移動したい時刻のマークポイントを選 択します。
- 3. LOCATEボタンをタップすると、選択したマークの位置へ移動 (スキップ)します。

メモ

マークリストのINポイントまたはOUTポイントのボタンをタッ プすると、それぞれの時刻に移動(スキップ)します。

任意のマークポイントを削除する

停止中/再生中/再生一時停止中にマークポイントを削除すること ができます。

下記の2通りの方法があります。

リストから選んで削除する

1. 停止中/再生中/再生一時停止中に MULTI TRACK RECORDER 画面の ■ ボタンをタップすると、マークリスト情報を表示す るウィンドウを表示します。



- **2.** LCDノブ1を回して、削除したいマークポイントを選択します。
- 3. DELETEボタンをタップすると、マークポイントを削除します。

メモ

複数のマークポイントを削除するときは、手順 2.-3. を繰り返 してください。

マーク位置へ移動して削除する

削除したいマークの位置に移動して MULTI TRACK RECORDER画面 の SET MARKボタンをタップすると、そのマークを削除します。 マークポイントを削除すると、ディスプレーにポップアップ表示 されます。

ST 2110 SETUP画面

この画面では、装着したIF-ST2110(ST 2110 カード)の設定状態 などの表示を行います。

- Audio Network Config.タブ画面 IF-ST2110(ST 2110 カード)の設定状態を表示します。
- HOME (Source / Destination) タブ画面 IF-ST2110 (ST 2110 カード)の送信/受信の状態を表示します。

この画面は、メニュー画面 > Rear Panel Setup メニュー > 「ST 2110 Setup」をタップして表示します。

ST 2110 SETUP			>	
Audio Notwork Config	AUDIO			
Addio Network Coning.	Sampling Rate	8 kHz Packe	tTime 1000us	
HOME (Source / Destination)		NETWORK		
		Switch Red	undant	
	CONTROL	PORT 1	PORT 2	
	Addressing	Addressing	Addressing	
	STATIC	STATIC	STATIC	
	IP Address	IP Address	IP Address	
	Subnet Mask	Subnet Mask	Subnet Mask	
	255.255.255.0	255.255.255.0	255.255.255.0	
	Default Gateway			
	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	
	LINK Status	LINK Status	LINK Status	
EMP STATUS : 38 °C 😑	None	None	None	
AN STATUS 🛛 OK 🛛 😑		PTP Lock Status	PTP Lock Status	
AN RPM : 6709	MAC Addrose	MAC Addrose	MAC Address	
	2E:AC:79:80:72:07	0A:51:18:1F:09:CB	9A:01:66:33:E6:A5	

注意

- IF-ST2110は、同時に1枚しか使用できません。2枚装着した場合は、SLOT1のIF-ST2110だけが使用できます。
- 電源をオンにした後、装着したIF-ST2110(ST 2110 カード)で 音声入出力ができるようになるまで2分30秒程度かかります。 この時間は、IF-ST2110のネットワーク環境によって異なります。

Audio Network Config. タブ 画面



① 表示切り換えボタン

このボタンをタップすると、表示する画面が切り換わります。

ボタン表示	内容
Audio Network Config.	Audioおよび Networkの 設定 状態表示
HOME (Source / Destination)	SourceおよびDestinationのス トリーム一覧表示

② ステータス表示

IF-ST2110 のステータスを表示しています。

TEMP STATUS

温度に関する表示をします。

インジケーター表示	TEMP STATUS表示	内容
緑色	ОК	温度が正常範囲内 (~ 81.9℃)
黄色	ALERT	温度が正常範囲外 に近い状態 (82.0℃~ 84.9℃)
赤色	FAILURE	温度が正常範囲外 (85.0℃~)

FAN STATUS、FAN RPM

冷却ファンの動作状況表示と回転数を表示します。

インジケーター表示	FAN STATUS表示	内容
緑色	ОК	正常
赤色	FAILURE	故障

③ AUDIO設定状態表示

IF-ST2110の音声信号とクロックの状態を表示します。

項目名	内容
Sampling rate	IF-ST2110 のサンプリング 周波数の 設 定状態を表示します。
Packet Time	オーディオデータのパケットタイムの 設定状態を表示します。
④ IF-ST2110のNETWORK状態表示(CONTROL)

IF-ST2110 の CONTROL端子の 設定状態を 表示します。

項目名	内容				
Addressing	CONTROL端子のIP アドレス設定モード名 を表示します。				
IP Address	Addressing項目の設定が「AUTO」の場合 は割り振られたIPアドレス、「STATIC」の 場合はユーザーが設定したIPアドレスを 表示します。				
	Addressing項目の設定が「STATIC」の場 合はユーザーが設定したサブネットマスク を表示します。				
Subnet mask	メモ				
	Addressing項目の設定が「AUTO」の場合、 サブネットマスクは表示されません。				
	Addressing項目の設定が「STATIC」の場 合はユーザーが設定したデフォルトゲート ウェイを表示します。				
Default Gateway	メモ				
	Addressing項目の設定が「AUTO」の場合、 デフォルトゲートウェイは表示されませ ん。				
LINK Status	CONTROL端子のリンク状態を表示します。 通信に問題がある場合、赤文字で表示し ます。				
MAC Address	CONTROL端子の MAC アドレスを表示します。				

⑤ IF-ST2110のNETWORK状態表示(PORT 1 / PORT 2)

IF-ST2110 の PORT 1 / PORT 2 端子の設定状態を表示します。

項目名	内容
Switch	 SMPTE ST 2022-7 機能(冗長化システム)の有効/無効の設定状態を表示します。 Redundant:SMPTE ST 2022-7 機能が有効です。 Switched:SMPTE ST 2022-7 機能が無効です。
Addressing	PORT端子のIP アドレス設定モード名を表示します。
IP Address	Addressing項目の設定が「AUTO」の場合 は割り振られたIPアドレス、「STATIC」の 場合はユーザーが設定したIPアドレスを 表示します。
Subnet mask	Addressing項目の設定が「STATIC」の場 合はユーザーが設定したサブネットマスク を表示します。
	メモ Addressing項目の設定が「AUTO」の場合、 サブネットマスクは表示されません。
	Addressing項目の設定が「STATIC」の場 合はユーザーが設定したデフォルトゲート ウェイを表示します。
Delautt Gateway	×モ Addressing項目の設定が「AUTO」の場合、 デフォルトゲートウェイは表示されませ ん。
LINK Status	PORT端子のリンク状態を表示します。 通信に問題がある場合、赤文字で表示し ます。
	 PTP同期の状態を表示します。 Initializing: PTP同期の準備ができていません。 Listening: PTP同期信号を受信しており、同期する準備ができています。
	 Uncalibrated: PTP同期信号を受信して いますが、まだロックし ていない状態です。
PTP Lock Status	 Pre-Master : PTPマスターとしてロック しようとしていますが、ま だロックしていません。 Master : PTPマスターとしてロックして
	 National Active Coloration (1999) しています。 Follower: PTPフォロワーとしてロックしています。 Passive: PTP同期信号を受信していますが、その信号で同期しようとしていません。 Faulty: PTP同期できていません。
MAC Address	PORT端子の MAC アドレスを表示します。

HOME (Source / Destination) タブ 画面



① 表示切り換えボタン

このボタンをタップすると、表示する画面が切り換わります。

ボタン表示	内容
Audio Network Config.	Audioおよび Networkの 設定 状態表示
HOME (Source / Destination)	Sourceおよび Destinationのス トリーム一覧表示

② Source エリア

装着した IF-ST2110(ST 2110 カード)から送信するストリーム 一覧が表示されます。

 STATUS項目には、拡張カードIF-ST2110のメディア端子 (PORT 1 / PORT 2)のストリーム接続状況をアイコンで表示します。

表示状態	接続状態
	通信状態良好。
1	接続に問題がある状態。 問題の個数を数字で表示します。
2	接続できていない状態。 問題の個数を数字で表示します。

メモ

数字をタップすると、問題の詳細メッセージが表示されます。

ST 2110 SETUP		×
Audio Network Config.	Source (to ST 2110 SYSTEM) Destination (from ST 2110 - STATUS - PORTI PORT2 STREAM NAME PORT2 STREAM NAME	SYSTEM)
HOME (Source / Destination)		
	2 (2) 0 Port 1 0M69_0UT_2	
	System clock is in failure Link is down	
	2 (2) 0	
	(2) (2) 01	
		Ô

STREAM NAME項目には、Sourceストリームに割り当てられた名前が表示されます。

 ・ アイコンをタップすると、Source Information ウィンドが 表示されます。



④ 送信元となる Sonicviewのモジュールのラベル
 ⑧ 送信元のスロット番号とスロット内のチャンネル
 ⑥ IF-ST2110 (ST-2110 カード)から送信するストリーム内のチャンネル

● スクロールノブ/スクロールバー表示

Source エリア(②)のストリーム一覧に対して、画面内に 表示されている設定項目の相対位置をスクロールバーで表 示します。

メモ

Source エリア(②)に表示されていな設定項目を表示する には、設定項目表示を上下にスワイプして画面をスクロール します。

水色で点灯したLCDノブ5を回してスクロールすることも できます。

③ Destinationエリア

装着したIF-ST2110(ST 2110 カード)が受信しているストリー ムが一覧で表示されます。

 STATUS項目には、拡張カードIF-ST2110のメディア端子 (PORT 1 / PORT 2)のストリーム接続状況をアイコンで表示します。

表示状態	接続状態
	通信状態良好。
1	接続に問題がある状態。 問題の個数を数字で表示します。
2	接続できていない状態。 問題の個数を数字で表示します。

メモ

数字をタップすると、問題の詳細メッセージが表示されます。

ST 2110 SETUP		×
Audio Network Config.	Source (to ST 2110 SYSTEM) Destination (from ST 2110 SYSTEM) - STATUS- - ST	(M)
HOME (Source / Destination)	OM69_OUT_0 13 OM69_IN_0	
	O Port 2 OM69_IN_0	
	No packets being received	

- STREAM NAME項目には、Destinationストリームに割り当てられた名前が表示されます。
- スクロールノブ/スクロールバー表示 Destinationエリア(③)のストリーム一覧に対して、画面 内に表示されている設定項目の相対位置をスクロールバー で表示します。

メモ

Destinationエリア(③)に表示されていな設定項目を表示 するには、設定項目表示を上下にスワイプして画面をスク ロールします。

水色で点灯したLCDノブ8を回してスクロールすることも できます。

第14章 ネットワーク経由での外部制御

TASCAM Sonicview Controlで本機を制御する

本機は、専用アプリケーション「TASCAM Sonicview Control」からネットワーク経由でリモートコントロールすることができます。



本機と「TASCAM Sonicview Control」を接続するためのネットワーク設定は、Network Setup画面で行います。(→ 136 ページ「Network Setup画面」)

メモ

- •「TASCAM Sonicview Control」については、アプリケーションの取扱説明書をご参照ください。
- •「TASCAM Sonicview Control」およびアプリケーションの取扱説明書は、TASCAMのウェブサイトからダウンロードすることができます。

Sonicview 16

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_16/support

Sonicview 24

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_24/support

外部制御プロトコル(Ember+)で本機を制御する

Ember+デバイスの接続台数について

本機とEmber+デバイスは複数台接続が可能で、Ember+デバイス 12 台での接続動作確認を行っています。 ただし、実際の接続可能台数はネットワーク環境によって影響を受ける場合があります。

監視・制御について

本機の監視および制御は、Ember+によりネットワーク経由で行います。 詳細な操作方法については、「TASCAM Sonicview 16/24 外部制御仕様書(Ember+編)」をご参照ください。 本機に同時接続できる Ember+デバイスの最大数は 12 台です。

メモ

Ember+は、Lawoグループによって開発された制御プロトコルです。

メーターデータの取得について

Ember+ではメーターデータを取得できません。 メーターデータの取得に関する詳細な仕様は、「TASCAM Sonicview 16/24 外部制御仕様書(メータープロトコル編)」をご参照ください。 同時に最大 12 台まで本機に接続してメーターデータを取得できます。

仕様書の入手方法

これらの仕様書は、下記の TASCAM ウェブサイトからダウンロードできます。

- TASCAM Sonicview 16/24 外部制御仕様書(Ember+編)
- TASCAM Sonicview 16/24 外部制御仕様書(メータープロトコル編) Sonicview 16

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_16/support

Sonicview 24

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_24/support

SNMPで本機を 監視する

SNMP(Simple Network Management Protocol)は、MIBと呼ばれる管理情報データベースをもとに、ネットワーク上の通信機器を監視・ 制御するためのプロトコルです。

本機はSNMPv1 およびSNMPv2 に対応しており、ネットワーク経由で本機の状況を確認できます。 SNMP管理ソフトウェアが利用できる場合は、これをインストールしたコンピューターから本機の監視ができます。 詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

本機で対応する SNMP監視対象パラメーター一覧

Clock Status
Sampling Rate
Clock Master
Slot 1
Slot 2
Media SD
Media USB
Recorder Status
Player Status
System Temperature
System Temperature Status
CPU Temperature
CPU Temperature Status
DSP Temperature
DSP Temperature Status
FAN Speed (RPM)
FAN Status
MTR Status
System Version
error list

第 15 章 フェーダーとタッチパネルのキャリブレーション

フェーダーとタッチパネルの較正(キャリブレーション)を行う 特別な動作モードです。

使用環境によっては、フェーダーの読み取り位置や移動位置、タッ チスクリーンの検知位置にずれが生じる場合があります。 このずれは、キャリブレーションによって調節することができます。

キャリブレーションモードの起動と終了

キャリブレーションモードを起動するには

TALKBACK キーと SENDS ON FADER キーを押しながら、本機の電 源をオンにします。

TALKBACK キーと SENDS ON FADER キーは、右端のタッチスクリーンに CALIBRATION MODE画面が表示するまで押し続けます。



_	
	CALIBRATION MODE
	FADER CALIBRATION
Н	FADER SPEED CALIBRATION FADER CALIBRATION CHECK
	TOUCH PANEL CALIBRATION
-	TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK

キャリブレーションモードを終了するには 本機の電源をオフにします。

CALIBRATION MODE画面表示

CALIBRATION MODE画面は、右端のタッチスクリーンに表示されます。

下記項目のメニュー操作を除き、右端以外のタッチスクリーンは、 全画面オフ(黒表示)状態になります。

- TOUCH PANEL CALIBRATION
- TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK

キャリブレーションモードメニュー操作

 右端のタッチスクリーン下部のLCDノブ1を回して、 CALIBRATION MODE画面のカーソル「<<」を目的の項目に移 動させます。





- カーソル「<<」を目的の項目に移動後、LCDノブ1を押して 項目を選択します。
- 選択項目が正常に終了すると、該当するチェックボックスに チェックマーク「⊠」が付いて、次の項目にカーソルが移動 します。

メモ

各項目を実施中にHOMEキーが押されると、その項目を中断し、 CALIBRATION MODE画面に戻ります。

FADER CALIBRATION

各フェーダー位置の読み取り値(A/D変換値)とトップパネルの フェーダー目盛り位置との較正(キャリブレーション)を行います。

注意

FADER CALIBRATIONは、すべてのチャンネルフェーダーならびに MASTERフェーダーに対して下記手順2を実行する必要がありま す。個別の較正はできませんのでご注意ください。

 LCDノブ1を回して「FADER CALIBRATION」にカーソル「<<」 を移動させ、LCDノブ1を押します。 FADER CALIBRATIONの操作画面に切り換わります。



- 較正するフェーダーの位置を、操作画面の赤線で指示します。 操作画面の指示された目盛り位置に各フェーダーを手動で移 動させ、フェーダー位置合わせを目視にて行います。 位置合わせ完了ごとにLCDノブ1(ENCODER R-1)を押して、 目盛り位置を確定します。(本機の内部メモリーに記憶)
 - 較正するフェーダー目盛り位置の順番は、下記になります。
 -∞(BOTTOM) → -60dB → -20dB → 0dB → 10dB(TOP)
 - 各フェーダーの較正中は、各チャンネル画面に対応する フェーダーの読み取り値を表示します。
- フェーダーの位置合わせを「10dB(TOP)」まで、実行したら、 FADER CALIBRATIONは完了です。



LCDノブ1(ENCODER R-1)を押して、CALIBRATION MODE 画面に戻ります。

FADER CALIBRATION項目にチェックマーク「⊠」が付き、カー ソル「<<」が、次の項目に移動します。

メモ

キャリブレーションの実施中にHOMEキーが押されると、キャ リブレーションを中断し、CALIBRATION MODE画面に戻ります。 この場合、該当項目にチェックマーク「⊠」は付きません。

FADER SPEED CALIBRATION

各フェーダーの速度較正を自動で行います。

 LCD ノブ1を回して「FADER SPEED CALIBRATION」にカーソ ル「<<」を移動させ、LCD ノブ1を押します。
 各フェーダーのパラメーター画面に切り換わります。

FADER SPEED CALIBRATION								
Press HOME to cancel calibration.								
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8
Motor speed limit	344	352	358	382	352	338	352	352
Motor kick speed	277	289	286	318	308	274	303	277
	Cl	62	C3	C4	C5	C6	C7	C8
Motor speed limit	368	338	363	362	350	368	362	363
Motor kick speed	352	334	316	302	305	317	202	207
Motor Kick speed	552	554	510	500	505	31/	295	251
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
Motor speed limit	350	363	345	362	357	338	362	343
Motor kick speed	285	297	283	295	288	270	274	243
	MASTER							
Motor speed limit	386							
Motor kick speed	347							

機種	表示内容
Sonicview 16	L/R1 \sim 8、MASTER
Sonicview 24	L/C/R1 \sim 8、MASTER

- パラメーター画面でLCDノブ1(ENCODER R-1)を押すと、 フェーダーの速度較正を開始します。
 - 速度較正中は、パラメーター画面上部に「calibrating…」と 表示します。

FADER SPEED CALIBRATION								
calibrating								
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L/	L8
Motor speed limit	344	352	358	382	352	338	352	352
Motor kick speed	277	289	286	318	308	274	303	277
	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8
Motor speed limit	368	338	363	362	350	368	362	363
Motor kick speed	352	334	316	308	305	317	293	297
	RI	R2	R3	R4	R5	Rb	R7	R8
Motor speed limit	350	363	345	362	357	338	362	343
Motor kick speed	285	297	283	295	288	270	274	243
MASTER								
Motor speed limit	Motor speed limit 386							
Motor kick speed	Motor kick speed 347							

- 複数の較正フェーズがあるので、すべて完了するまでお待ちください。
- 較正処理の進行具合に合わせて、フェーダー上部のカラー バー LEDが以下のように点灯します。
 - 赤:該当較正フェーズの序盤 橙:該当較正フェーズの中盤
 - 緑:該当較正フェーズの完了
- すべてのフェーダー上部のカラーバー LEDが緑点灯になると 1つの較正フェーズが完了し、次の較正フェーズに自動的に 移行します。
- すべてのフェーダーの速度較正が終わると、CALIBRATION MODE画面に戻り、FADER SPEED CALIBRATION項目にチェッ クマーク「○」が付き、カーソル「<<」が、次の項目に移動 します。

メモ

キャリブレーションの実施中にHOMEキーが押されると、キャ リブレーションを中断し、CALIBRATION MODE画面に戻ります。 この場合、該当項目にチェックマーク「⊠」は付きません。

FADER CALIBRATION CHECK

FADER CALIBRATIONを行った各フェーダーが、正しい位置に移動 できるかの動作確認を行います。

 LCDノブ1を回して「FADER CALIBRATION CHECK」にカー ソル「<<」を移動させ、LCDノブ1を押します。 FADER CALIBRATION CHECKの操作画面に切り換わります。



動作確認するフェーダーの移動位置を、操作画面の赤線で指示します。
 最初に「∞ (BOTTOM)」位置に各フェーダーが自動的に移動

最初に「³³³(BOTTOM)」位置に谷フェーターが自動的に移動 します。

メモ

確認するフェーダーの移動位置の順番は、以下になります。

 $-\infty$ (BOTTOM) \rightarrow 0dB \rightarrow - 60dB \rightarrow 10dB (TOP) \rightarrow - 20dB

- 3. 各フェーダーの移動位置を目視で確認します。
 - フェーダーの移動位置に問題が無い場合は、LCDノブ1 (ENCODER R-1)を押します。
 - LCDノブ1 (ENCODER R-1) を押すごとに、操作画面で指示 する位置に各フェーダーが自動的に移動しますので、正し い位置に移動したかを目視で確認します。
 - フェーダーの移動位置に問題がある場合は、HOMEキーを押 して確認作業を中断し、331 ページ「FADER CALIBRATION」 をもう一度、実施してください。
 - 各フェーダーの確認中は、各チャンネル画面に対応する フェーダーの移動位置を表示します。
- **4.** フェーダーの移動位置の確認を「-20dB」まで実行したら、 FADER CALIBRATION CHECKは完了です。



LCDノブ1(ENCODER R-1)を押して、CALIBRATION MODE 画面に戻ります。

FADER CALIBRATION CHECK項目にチェックマーク「 🖂 」が 付き、カーソル「<<」が、次の項目に移動します。

メモ

動作確認の実施中にHOMEキーが押されると、動作確認を中断 し、CALIBRATION MODE画面に戻ります。この場合、該当項目 にチェックマーク「⊠」は付きません。

TOUCH PANEL CALIBRATION

タッチスクリーンのタッチパネル機能の較正を行います。

- Sonicview 16 の場合、タッチスクリーンは2面
- Sonicview 24 の場合、タッチスクリーンは3 面
- LCDノブ1を回して「TOUCH PANEL CALIBRATION」にカー ソル「<<」を移動させ、LCDノブ1を押します。 最初に左端のタッチスクリーンにTOUCH PANEL CALIBRATION 画面が開きます。

Touch the center of X mark.	
Touch panel calibra	tion

2. 画面に表示している「×」マークの中心をスタイラスペン*で、 タッチしてから離します。

離した瞬間の位置が、較正値として取り込まれます。

- * TOUCH PANEL用のスタイラスペン(タッチペン)で較正 を行ってください。
 タッチスクリーンの表面を金属製(精密ドライバーなど)の物で押したり、叩いたりすると表面が傷ついて、タッ チ操作ができなくなる恐れがあります。
- **3.** タッチパネル較正は、タッチスクリーンの3コーナーを下記の順序で行います。
 - ・ 左上(1つ目) → 右上(2つ目) → 右(3つ目)
 各コーナーに「×」マークが表示されますので、画面に表示される指示に従い「×」マークの中心をスタイラスペンでタッチしてから離します。
 1つのタッチスクリーンの較正が終わると、次のタッチスクリーンのコーナーに「×」マークが移動します。



 すべてのタッチパネルの較正が終了後、CALIBRATION MODE画 面に戻り、TOUCH PANEL CALIBRATION項目にチェックマーク「
 図」が付き、カーソル「<<」が、次の項目に移動します。

メモ

キャリブレーションの実施中にHOMEキーが押されると、キャ リブレーションを中断し、CALIBRATION MODE画面に戻ります。 この場合、該当項目にチェックマーク「⊠」は付きません。

TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK

- タッチパネル較正で取り込んだ位置の確認を行います。
- Sonicview 16 の場合、タッチスクリーンは2面
- Sonicview 24 の場合、タッチスクリーンは3面

注意

TOUCH PANEL CALIBRATION CHECKは、TOUCH PANEL CALIBRATION を行った後に実施してください。

TOUCH PANEL CALIBRATIONを実施していない場合、正確な位置の 確認が行えません。

- CALIBRATION MODE画面でLCDノブ1を回して、目的の項目 にカーソル「<<」を移動させ、LCDノブ1を押します。
- **2.** 最初に左端のタッチスクリーンに TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK 画面が開きます。



- **3.** 画面に表示している「X」マークの中心をスタイラスペン*で、 タッチします。
 - * TOUCH PANEL用のスタイラスペン(タッチペン)で較正 を行ってください。

金属製(精密ドライバーなど)の物で押したり、叩いた りするとタッチスクリーンの表面が傷ついて、タッチ操 作ができなくなる恐れがあります。

- タッチパネル較正の確認は、タッチスクリーンの3コーナー を下記の順序で行います。
 - ・ 左上(1つ目) → 右上(2つ目) → 右(3つ目)
 各コーナーに「×」マークが表示され、すべての較正が終わると、次のタッチスクリーンのコーナーに「×」マークが移動します。



- 5. タッチパネル較正を行った位置とタッチした位置が正しいと、 タッチした場所の「×」マークが消え、次の確認場所に「×」 マークを表示します。
 - タッチした位置が、「×」マークの中心からずれている場合、
 タッチしている間はX・Y方向にガイド線を表示します。
 - タッチした状態でガイド線を移動させ、「×」マークとガイ ドの交点が一致した場合、正しく較正ができている場合は、 ガイド線と「×」マークが消えます。
 - タッチした先端とガイド線の交点がずれている場合、タッ チパネル較正が、正しく終わらなかった可能性があります。
 その場合、タッチパネル較正を最初からやり直して、もう 一度、タッチパネル較正の確認を行ってください。
- すべてのタッチパネルの較正確認が終了後、CALIBRATION MODE画面に戻り、TOUCH PANEL CALIBRATION CHECK項目 にチェックマーク「⊠」が付き、カーソル「<<」が、次の項 目に移動します。

メモ

動作確認の実施中にHOMEキーが押されると、動作確認を中断 し、CALIBRATION MODE画面に戻ります。この場合、該当項目 にチェックマーク「⊠」は付きません。 本機には、キーやタッチスクリーンなどの同時操作により、特定の操作が簡単にできるショートカット操作が用意されています。 ● HOMEキーとの同時押し:対象パラメーターを基準値にリセットします。(輝度調節を除く)

ショートカット操作	内容
トップパネルのHOMEキーを押しながら、 任意の SELキーを押す	 トップパネルのSELキーを押されたチャンネルのFADERレベルを「0dB」に設定します。 トップパネルのSENDS ON FADERキーが押されているとき(Sends On Faderモードがオンのとき)は、SENDレベルを「0dB」に設定します。 GEQ画面のFADER Ctrl機能がオンの時は、対応する周波数のGEQゲインを「0dB」に設定します。
トップパネルのHOMEキーを押しながら、 タッチスクリーンの SEND レベルエリアを タップする	以下のパラメーターを「0dB」に設定します。 ・ホーム画面の SEND レベル MODULE (OVERVIEW) 画面の FADER レベル MODULE (SEND/PAN) 画面の SEND レベル SEND OVERVIEW画面の SEND LEVEL (INPUT) タブ画面および SEND LEVEL (BUS) タブ画 面の SEND レベル/ MASTER レベル SEND OVERVIEW画面の FADER LEVEL タブ画面の FADER レベルおよび MASTER レベル
トップパネルのHOMEキーを押しながら、 タッチスクリーンのPANエリアをタップす る	以下のパン/バランスの設定を中央(C)に設定します。 ・ホーム画面の PAN / BAL ・MODULE (OVERVIEW) 画面の PAN / BAL ・MODULE (SEND/PAN) 画面の PAN / BAL ・SEND OVERVIEW画面の SEND PAN (INPUT) タブ画面および SEND PAN (BUS) タブ画面の PAN / BAL
トップパネルのHOMEキーを押しながら、 タッチスクリーンのEQゲインエリアを タップする	各モジュールのMODULE (EQ) 画面のEQ ゲイン設定を「0dB」に設定します。
トップパネルの HOME キーを押しながら、 いずれかの LCD ノブを回す	タッチスクリーン/チャンネル画面/各種インジケーター/リアパネルのLAMP端子に接続 しているランプの輝度を一括で調節することができます。
トップパネルのHOMEキーを押しながら、 いずれかのLCDノブを押し回しする	タッチスクリーン/チャンネル画面の輝度を一括で調節することができます。

[●] MENU キーとの同時押し:該当するキーの設定画面を表示します。(コントラスト調節を除く)

ショートカット操作	内容				
トップパネルの MENU キーを 押しながら、 TALKBACK キーを 押す	タッチスクリーンの表 ブ画面に切り換えます	示を TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面の TALKBACK タ -。			
トップパネルの MENU キーを押しながら、 任意の SOLO キーまたは SOLO CLEAR キー を押す	タッチスクリーンの表 OSCILLATORタブ画面	示を TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面の SOLO / に切り換えます。			
トップパネルの MENU キーを 押しながら、 任意の LAYER KEYS 1-7 キーを 押す	タッチスクリーンの表示を選択したレイヤーのLayer Key SETUP画面に切り換えます。				
	タッチスクリーンの表 た機能に対応した下記	示を USER KEYS A-F キーおよび USER KEYS 1-12 キーにアサインされ 『画面に切り換えます。			
	USER + - Function	MENU+USERキーで呼び出す画面			
	未設定	押された USER キーの USER KEY設定画面			
	Snapshot	Snapshotリスト画面			
	Monitor	TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面のMONITOR 1 / 2 タブ画面			
	SOLO	TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面の SOLO / OSCILLATOR タブ画面			
トップパンIIのMENUIと_を押したがに	OSC	TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面の SOLO / OSCILLATOR タブ画面			
インシングス (Carlos Carlos) 任意のUSER KEY A-F キーまたは USER KEY 1-12 キーを 押す	Talkback	TALKBACK / MONITOR / SOLO / OSC SETUP画面の TALKBACK タブ 画面			
	LED Indication	何もしない			
	Sends On Fader	何もしない			
	Recorder/Player	RECORDER / PLAYER画面			
	MTR	MULTI TRACK RECORDER画面			
	Insert ON/OFF	MODULE (OVERVIEW) 画面			
	Send On/Off	Parameter1 で設定されたモジュールの MODULE (SEND/PAN) 画面			
	Mute	操作対象が Mute Group 1-8 の場合、Mute Group Assign画面。 操作対象が Mute Group 1-8 以外の場合、何もしない。			
	Тар Тетро	アサインされた 番号の FXの MODULE (FX) 画面			
	Screen	Parameter1、2 で設定された 画面			
トップパネルの MENU キーを 押しながら、 任意の LCD ノブを 回す	回したLCDノブに対応したチャンネル画面のコントラストを調節することができます。				

第 17 章 トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。 それでも改善しないときは、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)にご連絡ください。

電源がオンにならない

● 電源プラグなどがしっかりと差し込まれているか確認してくだ さい。

音が出ない

- 入出力のルーティングやバスアサインが正しく設定されていま すか?
- モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。また、 アンプの音量を確認してください。
- モニターソースが正しく 選択されていますか?
- チャンネルフェーダーは、適正なレベルまで上がっていますか?
- MASTERフェーダーは、適正なレベルまで上がっていますか?
- ヘッドホンボリュームまたはMONITOR OUTボリュームが適正 なレベルまで上がっていますか?
- 各チャンネルの MUTE キー(③) や SOLO キー(④) がオンに なっていませんか?

雑音がする

● 接続ケーブルが接続不良になっていないか、確認してください。

設定を変えたのに記憶されていない

本機では、1分間隔で設定の保存を行っています。 電源を切るタイミングによっては、保存を失敗してしまう場合 がありますので、電源を切る前にメニュー画面のSave Current Settings項目で現在の設定を内蔵メモリーに保存してください。

タッチスクリーン操作ができない

 ● タッチスクリーン操作ができなくなったことをシステムが検知 すると、以下のメッセージがチャンネル画面に点滅表示されます。
 Sonicview 16の場合

Sonicview 24 の場合

メッセージの指示にしたがってHOMEキーとMENUキーを5秒 以上押し続けると、システムが再起動してタッチスクリーン操 作ができるようになります。

この際、音声は途切れずに出力されますが、再起動中はフェー ダーやMUTEの操作ができなくなります。

再起動が完了するまでは時間がかかりますので、支障のないタ イミングで再起動を実施してください。

フェーダー、キー、LCDノブの操作ができない

 ●フェーダー、キー、LCDノブの操作ができなくなったことをシ ステムが検知すると、以下のメッセージがタッチスクリーンに 表示されます。



RESTARTボタンをタップすると、再度確認画面が表示されます。



確認画面でRESTARTボタンをタップすると、システムが再起動 してフェーダー、キー、LCDノブが操作できるようになります。 ただし、再起動中は音声出力が止まります。

再起動が完了するまでは時間がかかりますので、支障のないタ イミングで再起動を実施してください。

タッチスクリーン上のパラメーターは操作できるが音声に 反映されない

● 信号処理デバイスでトラブルが発生した可能性があります。信号処理制御デバイスのトラブルをシステムが検知すると、以下のメッセージがタッチスクリーンとチャンネル画面に表示されます。



Sonicview 16 の場合



Sonicview 24 の場合

b Designer (in the loss (in the loss of the loss (in the loss of the loss o

RESTARTボタンをタップすると、再度確認画面が表示されます。



確認画面でRESTARTボタンをタップすると、システムが再起動 して正常にLCDノブが操作できるようになります。また、チャ ンネル画面のメッセージの指示にしたがって、HOMEキーと MENUキーを5秒以上押し続けることでも、システムを再起動 させることができます。

ただし、再起動中は音声出力が止まります。

再起動が完了するまでは時間がかかりますので、支障のないタ イミングで再起動を実施してください。

内部処理

同時処理能力

- •入力:52
 - モノラル:40
 - ステレオ:2 ステレオ
 - FX Return:4 ステレオ
- バス:32
 - AUX/GROUP切り換え可能なMIXバス:22
 - MAIN L/Rバス:1ステレオ
 - FX SEND バス:4 ステレオ
- 内蔵 FX:4

入力ポート

96kHz:最大 160 ポート (Sonicview 24)、 最大 152 ポート (Sonicview 16) 48kHz:最大 256 ポート (Sonicview 24)、 最大 248 ポート (Sonicview 16)

- MIC/LINE: 24 (Sonicview 24)、16 (Sonicview 16)
- ST IN (RCA):4 (2 ステレオ)
- Dante: 32 (96kHz)、64 (48kHz)
- SLOT: 32x2 スロット (96kHz)、64x2 スロット (48kHz)
- USB AUDIO: 32
- 内蔵プレイヤー:2(1ステレオ)
- OSC:1
- TALKBACK:1

Signal Delay

出力ポート

96kHz:最大 148 ポート

- 48kHz:最大 244 ポート
- OUTPUT (アナログ):16
- Dante: 32 (96kHz)、64 (48kHz)
- SLOT:32x2スロット (96kHz)、64x2スロット (48kHz)
- USB AUDIO: 32
- MONITOR OUT (アナログ):2(1 ステレオ)
- 内蔵レコーダー:2(1ステレオ)

入出力ポート

 アナログ・インサートI/O:2I/O MIC/LINE入力15/16 (Sonicview 24) MIC/LINE入力7/8 (Sonicview 16)

信号処理

- ミキサーエンジン:96kHz /浮動小数点 54bit演算
- ADC: 96kHz / 32bit
- DAC: 96kHz / 24bit
- デジタル I/O サンプリング 周波数:96kHz、48kHz

48kHz	[ms]	経路詳細
A to A	0.510	MIC/LINE IN → CHモジュール → MAIN L/R BUS → MAIN L/R モジュール → OUTPUT(アナログ)
A to A	0.620	MIC/LINE IN → CHモジュール → MAIN L/R BUS → MAIN L/R モジュール → MONITOR OUT
D to D	0.498	SLOT MADI IN → CHモジュール → MAIN L/R BUS → MAIN L/R モジュール → SLOT MADI OUT
A to D	0.458	MIC/LINE IN → CHモジュール → MAIN L/R BUS → MAIN L/R モジュール → SLOT MADI OUT
D to A	0.571	SLOT MADI IN → CHモジュール → MAIN L/R BUS → MAIN L/R モジュール → OUTPUT(アナログ)
D to A	0.666	SLOT MADI IN → CHモジュール → MAIN L/R BUS → MAIN L/R モジュール → MONITOR OUT

96kHz	[ms]	経路詳細
A to A	0.510	MIC/LINE IN → CHモジュール → MAIN L/R BUS → MAIN L/Rモジュール → OUTPUT(アナログ)
A to A	0.620	MIC/LINE IN → CHモジュール → MAIN L/R BUS → MAIN L/Rモジュール → MONITOR OUT
D to D	0.104	SLOT MADI IN → CHモジュール → MAIN L/R BUS → MAIN L/Rモジュール → SLOT MADI OUT
A to D	0.261	MIC/LINE IN → CHモジュール → MAIN L/R BUS → MAIN L/Rモジュール → SLOT MADI OUT
D to A	0.374	SLOT MADI IN → CHモジュール → MAIN L/R BUS → MAIN L/Rモジュール → OUTPUT(アナログ)
D to A	0.468	SLOT MADI IN → CHモジュール → MAIN L/R BUS → MAIN L/Rモジュール → MONITOR OUT

オーディオ性能

0dBu = 0.775Vrms

マイクアンプEIN(入力換算雑音)

-128dBu以下

周波数特性

MIC/LINE IN → OUTPUT(アナログ) 20Hz - 40kHz:+0dB、-1.0dB(JEITA)

ダイナミックレンジ

- 108dB以上(MIC/LINE IN → OUTPUT(アナログ)、PAD = OFF、 TRIM最小、D.Ref = - 20dBFS、Clock Master = INT、 JEITA)
- 110dB以上(MIC/LINE IN → Dante OUT、PAD = OFF、TRIM最小、 JEITA)
- 112dB以上(Dante IN → OUTPUT(アナログ)、Clock Master = INT、JEITA)

歪率

0.002%以下	(MIC/L	INE IN →	OUTP	UT ()	アナロク	ブ)、	+4	4dBu入
	力時、	PAD = OFI	TRI	M最小	、 JEITA	7)		

- 0.002%以下(MIC/LINE IN → Dante OUT、+4dBu入力時、PAD = OFF、TRIM最小、JEITA)
- 0.002%以下(Dante IN → OUTPUT(アナログ)、0dBFS入力時、 JEITA)

クロストーク

100dB以上(MIC/LINE IN → OUTPUT(アナログ)、1kHzサイ ン波、JEITA)

D.Ref: Digital Reference Level設定

アナログオーディオ 入出力定格

0dBu = 0.775Vrms、0dBV = 1Vrms

MIC/LINE入力端子

```
Sonicview 16:1-16
Sonicview 24:1-24
コネクター:XLR-3-31 相当(1:GND、2:HOT、3:COLD)
入力レベル:
PADオフ時
最大入力レベル:+12dBu(TRIM最小)
最小入力レベル:-62dBu(TRIM最大)
PADオン時
最大入力レベル:+32dBu(TRIM最小)
最小入力レベル:-42dBu(TRIM最大)
入力インピーダンス:5.0kΩ以上
```

メモ

+ 48Vのファンタム電源を MIC/LINE入力端子ごとに供給可能です。

LINE IN (BAL) 端子

Sonicview 16:9-16 Sonicview 24:17-24 コネクター: φ 6.3mm (1/4") TRS フォンジャック (Tip:HOT、Ring:COLD、Sleeve:GND) 入力レベル: PADオフ時 最大入力レベル:+12dBu (TRIM最小) 最小入力レベル:-62dBu (TRIM最大) PADオン時 最大入力レベル:+32dBu (TRIM最小) 最小入力レベル:-42dBu (TRIM最大) 入力インピーダンス:5.0kΩ以上

INSERT端子

```
Sonicview 16:7-8
Sonicview 24:15-16
コネクター:φ6.3mm (1/4") TRSフォンジャック
(Tip:SEND、Ring:RETURN、Sleeve:GND)
RETURN (Ring)
最大入力レベル:+18dBu
規定入力レベル:-2dBu
入力インピーダンス:5kΩ以上
SEND (Tip)
最大出力レベル:+18dBu
規定出力レベル:-2dBu
出力インピーダンス:100 Ω以下
TALKBACK入力端子
```

コネクター:XLR-3-31 相当(1:GND、2:HOT、3:COLD) 最大入力レベル:+10dBu 最小入力レベル:- 65dBu ゲイン調節範囲:0~55dB 入力インピーダンス:5.0kΩ以上

メモ

+48Vのファンタム電源を供給可能です。

ST IN 1-2 L / R端子

コネクター:RCAピンジャック 最大入力レベル:+ 6dBV 規定入力レベル:- 10dBV ヘッドルーム:16dB 入力インピーダンス:10kΩ以上

OUTPUT 1-16 端子

```
コネクター:XLR-3-32 相当 (1:GND、2:HOT、3:COLD)

出力インピーダンス:100 Ω以下

規定出力レベル:

+6dBu (D.Ref: -9dBFS、A.Ref:+6dBu)

+4dBu (D.Ref: -14 / -16 / -18 / -20dBFS、A.Ref:

+4dBu)

0dBu (D.Ref: -18 / -20dBFS、A.Ref:0dBu)

最大出力レベル:

+15dBu (D.Ref: -9dBFS、A.Ref:+6dBu)

+18dBu (D.Ref: -18dBFS、A.Ref:0dBu)

+20dBu (D.Ref: -14dBFS、A.Ref:0dBu)

+18dBu (D.Ref: -14dBFS、A.Ref:0dBu)

+18dBu (D.Ref: -14dBFS、A.Ref:+4dBu)

+20dBu (D.Ref: -16dBFS、A.Ref:+4dBu)

+20dBu (D.Ref: -18dBFS、A.Ref:+4dBu)

+24dBu (D.Ref: -20dBFS、A.Ref:+4dBu)
```

D.Ref: Digital Reference Level設定

A.Ref: Analog Reference Level 設定

MONITOR OUT L / R端子

コネクター:XLR-3-32 相当(1:GND、2:HOT、3:COLD) 最大出力レベル:+24dBu 規定出力レベル:+4dBu 出力インピーダンス:100 Ω以下

PHONES端子

コネクター:φ 6.3mm(1/4")ステレオフォンジャック、 φ 3.5mm(1/8")ステレオミニジャック 最大出力:100mW + 100mW (32 Ω負荷、片側ジャックのみに接続時)

デジタルオーディオ入出力定格

Dante PRIMARY / SECONDARY端子

コネクター: etherCON Cat5e 互換コネクター* 伝送プロトコル: Dante Gigabit Ethernet規格: 1000BASE-T(IEEE 802.3ab) ケーブル:カテゴリー 5e以上の STP ケーブル * etherCONは、Neutrik AGの登録商標です。

USBオーディオ

サンプリングレート:48kHz、96kHz
 量子化ビット数:32bit / 24bit / 16bit
 入力数:32 チャンネル(本機への入力)
 出力数:32 チャンネル(本機からの出力)

コントロール入出力定格

FOOTSWITCH端子

コネクター:φ 6.3mm(1/4")TSフォンジャック (Tip:Hot、Sleeve:GND)

ETHERNET端子

コネクター:RJ-45 対応規格:100BASE-TX、1000BASE-T

GPIO端子

コネクター:D-sub 25 ピン

(8 イン/ 8 アウト、メス 型インチ 規格)

● GPIO端子のピンアサインは、15 ページ「GPIO端子につい て」をご参照ください。

その他の入出力定格

USB端子(トップパネル)

コネクター:USB Type-C プロトコル:USB2.0 HIGH SPEED(480Mbps)

USB端子(リアパネル)

コネクター:USB Type-B プロトコル:USB2.0 HIGH SPEED(480Mbps)

LAMP端子

コネクター:XLR4pinメス(4pin:+12V、3pin:GND) 供給電圧:0V~+12V 最大電力:5W

WORD IN端子

コネクター: BNC コネクター 入力レベル: 0.5V ~ 5V p-p 入力インピーダンス: 75 Ω± 10%(終端抵抗オン)* 入力周波数: 48k/96kHz 許容周波数偏差:± 100ppm * 終端抵抗のオン / オフ切り換えは、36ページ「SYNC CLOCK画面」の「④WORD OUT Modeボタン」を参照。

WORD THRU/OUT端子

コネクター: BNC コネクター 出力レベル: 5V TTL相当 出力周波数: 48k/96kHz

スルー/ワード出力の切り換えは、36ページ「SYNC CLOCK画面」の「④WORD OUT Modeボタン」を参照。

第18章 仕様/定格

レコーダー部仕様

記録メディア

SDHCカード (8GB ~ 32GB CLASS10 以上) SDXCカード (64GB ~ 128GB CLASS10 以上) USBメモリー (8GB ~ 128GB) (再生のみ)

メモ

本機にて動作が確認されたSDカード/USBメモリーのリストが、TASCAMのウェブサイトに掲載されています。

Sonicview 16

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_16/support

Sonicview 24

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_24/support

このリストに掲載されている SD カード/ USB メモリーをご使 用ください。もしくは、タスカム カスタマーサポートまでお問 い合わせください。

対応ファイルシステム

SDHCカード:FAT32 SDXCカード:exFAT USBメモリー:FAT32/exFAT

録音再生フォーマット

BWF/WAV 録音:48k/96kHz、24bit、2ch 再生:48k/96kHz、16/24bit、2ch MP3 再生:44.1k/48kHz 32k ~ 320kbps、2ch AAC 再生:44.1k/48kHz 64k ~ 320kbps、2ch

OS /動作条件

最新の対応OS状況については、TASCAMのウェブサイトをご確認 ください。

Sonicview 16

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_16/support

Sonicview 24

https://tascam.jp/jp/product/sonicview_24/support

注意

各OSでの動作確認は、下記のシステム条件を満たす標準的な環境 での結果になります。下記の条件を満たす環境であっても動作を 保証するものではありません。

Windows

対応OS

Windows 11 64 ビット Windows 10 64 ビット

対応パソコン

USB2.0 以上を装備した Windows 対応パソコン*

* 当社製ドライバー使用時ARM64 CPUは動作保証外

macOS

対応OS

macOS Ventura (13) macOS Monterey (12) macOS Big Sur (11) macOS Catalina (10.15)

対応パソコン

USB2.0 以上を装備した Mac

一般

電源

AC100-240V、50/60Hz

消費電力

Sonicview 16:65W Sonicview 24:85W

外形寸法

Sonicview 16:472.0 x 228.1 x 554.4mm Sonicview 24:690.8 x 228.1 x 554.4mm (幅 x 高さ x 奥行き)

質量

Sonicview 16:13kg Sonicview 24:18kg

動作温度

 $0\sim 40^\circ C$

- リファレンスマニュアルのイラストが一部製品と異なる場合が あります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することが あります。

第18章 仕様/定格

寸法図

Sonicview 16



Sonicview 24



Sonicview V2.2.0



Sonicview 16/Sonicview 24 Mixer Audio Block Diagram



Sonicview 16/24 Mixer Basic Parameters

Libraries

Name	User	Preset
Snapshot	128	1
MODULE INPUT	128	2
MODULE FX RTN	128	4
MODULE OUTPUT	128	1
EQ	128	18
GEQ	128	0
GATE/EXP/DE-ESSER	128	11
COMP/DUCKER	128	12
FX	128	14

Input Modules

Function		Parameter	steps	Fine Step (LCDノブを押さずに 回した場合)	Coarse Steps (LCDノブを押しなが ら回した場合)
		Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 20dBFS時 PAD OFF時:+12dB ~ +66dB PAD ON時:- 8dB ~ +46dB			
Pre Amp	Analog Gain	メモ 各種 Analog Reference Levelと Digital Reference Levelのときの 値域については、347 ページ「各 Reference Levelごとの Pre Amp Analog Gain」をご参照ください。	55	1dB/click	2dB/click
	PAD	OFF/ON			
	Phantom	OFF/ON			
OSC INPUT		OFF/ON			
Phase Sw		Normal/Reverse			
D.TRIM		– 50.0dB ~ +20.0dB	141	0.5dB ∕ click	2.0dB/click
	Switch	OFF/ON			
HPF	Freq	20 Hz \sim 1.0kHz	69	1point/click 1/12oct/click	3step/click 1/4oct/click
	Direct Out Switch	OFF/ON			
DIRECT OUT	Direct Out Point	INPUT/POST HPF/POST FADER			
	Direct Out Trim	– 20.0dB ~ +20.0dB	401	0.1dB/click	2.0dB/click
	Switch	OFF/ON			
INSERI	Insert Point	PRE EQ/PRE FADER			
GATE / EXP /	Dynamics1 Switch	OFF/ON			
DE-ESSER	Dynamics1 Type	GATE/EXPANDER/DE-ESSER			
	Gate Threshold	-80 dB \sim 0dB	81	1dB/click	4dB/click
	Gate Range	-60 dB ~ 0 dB	61	1dB/click	3dB/click
GATE	Gate Attack	0ms ~ 125ms	126	1ms/click	5ms/click
	Gate Hold	0ms ~ 990ms	100	10ms/click	50ms/click
	Gate Decay	5ms ~ 5.00s	100	1point/click	5point/click

Function		Parameter	steps	Fine Step (LCDノブを押さずに 回した場合)	Coarse Steps (LCDノブを押しなが ら回した場合)
	Expander Threshold	-60 dB ~ 0 dB	61	1dB/click	3dB/click
EVD	Expander Ratio	$\begin{array}{c} 1:1,\ 2:1,\ 4:1,\ 8:1,\ 16:1,\\ 32:1,\ 64:1 \end{array}$	7	1point/click	1point/click
EXP	Expander Knee	HARD/MID/SOFT	3	1point/click	1point/click
	Expander Attack	0ms ~ 125ms	126	1ms/click	5ms/click
	Expander ReleaseTime	$5 { m ms} \sim 5.00 { m s}$	100	1point/click	5point/click
	De-Esser Threshold	-40 dB ~ 0 dB	41	1dB/click	2dB/click
	De-Esser Knee	HARD/MID/SOFT	3	1point/click	1point/click
DE-ESSER	De-Esser CenterFreq	$1.0 \mathrm{kHz} \sim 10.0 \mathrm{kHz}$	91	0.1kHz/step	0.5kHz/step
	De-Esser Q	1.04 ~ 17.31	28	1point/click	1point/click
	Switch	OFF/ON			
	Band Switch	OFF/ON			
	Gain	- 18.0 ~ +18.0	361	0.1dB/click	1.0dB/click
4 BAND EQ	Freq	20Hz ~ 20.0kHz	121	1point/click 1/12oct/click	6 point/click 1/2oct/click
	Q	0.10 ~ 17.31	55	1point/click	3point/click
	Type (LO)	L.Shelf/Bell			
	Type (HI)	H.Shelf/Bell/LPF			
	Switch	OFF/ON			
31 BAND GEQ	Gain	- 18.0 ~ +18.0	361	0.1dB/click	1.0dB/click
	Switch	OFF/ON			
	Туре	COMP/DUCKER			
	Key In Source	SELF、CH 1-40、MIX 1-22、MAIN L/ R			
	Key In Filter Switch	OFF/ON			
DOCKER	Key In Filter Type	HPF/BPF/LPF			
	Key In Filter Freq	20Hz ~ 20.0kHz	121	1point/click 1/12oct/click	6point/click 1/2oct/click
	Key In Filter Q	0.10 ~ 17.31	55	1point/click	3point/click
	Comp Thresh	-49 dB \sim 0dB	50	1dB/click	2dB/click
	Comp Ratio	$1.00:1\sim\infty:1$	21	1point/click	1point/click
СОМР	Comp Knee	HARD HARD MID MID SOFT MID SOFT SMOOTH	6	1point/click	1point/click
	Comp Attack	0.02ms ~ 125ms	135	1point/click	5point/click
	Comp Release	5ms ~ 5.00s	100	1point/click	5point/click
	Comp Auto Makeup	OFF/ON			
	Comp Output Gain	0dB~+20dB	21	1dB/click	1dB/click
	Ducker Threshold	-60 dB ~ -6 dB	5	6dB/click	6dB/click
DUCKER	Ducker Attenuation	-∞, -24, -18, -12, -9, -6, - 3 (dB)	7	1point/click	1point/click
	Ducker HoldTime	0.1sec ~ 5.0sec	50	0.1sec/click	0.1sec/click
	Ducker Release Time	0.1sec ~ 5.0sec	50	0.1sec/click	0.1sec/click

Function		Parameter	steps	Fine Step (LCDノブを押さずに 回した場合)	Coarse Steps (LCDノブを押しなが ら回した場合)
	Delay Switch	OFF/ON			
DELAY	Delay Time	0.0 meter ~ 117.3meter 0.0 feet ~ 384.8feet 0.00 msec ~ 341.32msec		0.1meter/click 0.1feet/click 0.02msec/click	2.0meter/click 5.0feet/click 5.00msec/click
	Delay Point	INPUT/PRE FADER			
	Delay Edit Unit	meter/feet/msec			
FADER LEVEL		-∞dB、-120dB~+10.0dB	1024	1point/click (- 10dB ~ +10dB : 0.05dB/click)	40point/click (- 10dB ~ +10dB: 2dB/click)
MUTE		OFF/ON			
MAIN L/R Assign	n	OFF/ON			
PAN/BAL		$L100 \sim C \sim R100$	201	1point/click	10point/click
IMAGE		$\begin{array}{c} \text{STEREO 100\%} \sim \text{MONO} \sim \text{REVERSE} \\ 100\% \end{array}$	101	2%/click	10%/click
MODE		STEREO/L-MONO/R-MONO	3		
	Send Level	-∞dB、-120dB~+10.0dB	1024	1point/click (- 10dB ~ +10dB : 0.05dB/click)	40point/click (– 10dB ~ +10dB: 2dB/click)
Send	Send Pan	L100 ~ C ~ R100	201	1point/click	10point/click
	Send Switch	OFF/ON			
	Send Point	PRE/POST			
DCA		8 DCAs			
Mute Group		8 Groups			
Stereo Link		OFF/ON			
	Switch	OFF/ON			
	Top Priority Switch	OFF/ON			
	Top Priority Group	$A \sim D$	4		
	Group Switch	OFF/ON			
	Group Priority Switch	OFF/ON			
Auto Mixer	Group Lo Cut Switch	OFF/ON			
	Group Lo Cut Freq	125Hz ~ 4.00kHz	61	1point/click	3point/click
	Group Release Time	5 msec \sim 1.00sec	70	1point/click	5point/click
	Channel Group Assign	A ~ D,	5		
	Channel Priority	OFF/ON			
	Channel Weight	- 15 ~ +15	31	1dB/click	1dB/click

● 各 Reference Levelごとの Pre Amp Analog Gain

Analog Reference Level = +6dBu / Digital Reference Level = - 9dBFS時							
PAD OFF時	+3dB ~ +57dB						
PAD ON時	– 17dB ~ +37dB						
Analog Reference Level = +4dBu / Digital Reference Level = - 20dBFS時							
PAD OFF時	+12dB ~ +66dB						
PAD ON時	$-8 dB \sim +46 dB$						
Analog Reference Level = +4dBu / Digital F	Reference Level = - 18dBFS時						
PAD OFF時	+10dB \sim +64dB						
PAD ON時	-10 dB \sim +44dB						
Analog Reference Level = +4dBu / Digital F	Reference Level = - 16dBFS時						
PAD OFF時	+8dB ~ +62dB						
PAD ON時	− 12dB ~ +42dB						
Analog Reference Level = +4dBu / Digital F	Reference Level = - 14dBFS時						
PAD OFF時	+6dB ~ +60dB						
PAD ON時	-14 dB \sim +40dB						
Analog Reference Level = 0dBu / Digital Re	eference Level = - 20dBFS時						
PAD OFF時	+8dB ~ +62dB						
PAD ON時	− 12dB ~ +42dB						
Analog Reference Level = 0dBu時/ Digital	Reference Level = - 18dBFS時						
PAD OFF時	+6dB ~ +60dB						
PAD ON時	- 14dB ~ +40dB						

Output Modules

Function		Parameter	steps	Fine Step (LCD ノブを押さずに 回した場合)	Coarse Steps (LCDノブを押しながら 回した場合)
Insert	Switch	OFF/ON			
	Switch	OFF/ON			
	Band Switch	OFF/ON			
	Gain	- 18.0 ~ +18.0	361	0.1dB/click	1.0dB/click
4 BAND EQ	Freq	20Hz ~ 20.0kHz	121	1point/click 1/12oct/click	6point/click 1/2oct/click
	Q	$0.10 \sim 17.31$	55	1point/click	3point/click
	Type (LO)	L.Shelf/Bell			
	Type (HI)	H.Shelf/Bell/LPF			
	Switch	OFF/ON			
31 BAND GEQ	GAIN	- 18.0 ~ +18.0	361	0.1dB/click	1.0dB/click
	Switch	OFF/ON			
	Туре	COMP/DUCKER			
	Key In Source	SELF、CH 1-40、MIX 1-22、 MAIN L/R			
	Key In Filter Switch	OFF/ON			
DUCKER	Key In Filter Type	HPF/BPF/LPF			
	Key In Filter Freq	20Hz ~ 20.0kHz	121	1point/click 1/12oct/click	6point/click 1/2oct/click
	Key In Filter Q	0.10 ~ 17.31	55	1point/click	3point/click
	Comp Thresh	-49 dB \sim 0dB	50	1dB/click	2dB/click
	Comp Ratio	$1.00:1\sim\infty:1$	21	1point/click	1point/click
СОМР	Comp Knee	HARD HARD MID MID SOFT MID SOFT SMOOTH	6	1point/click	1point/click
	Comp Attack	0.02ms ~ 125ms	135	1point/click	5point/click
	Comp Release	5ms ~ 5.00s	100	1point/click	5 point/click
	Comp Auto Makeup	OFF/ON			
	Comp Output Gain	0dB~+20dB	21	1dB/click	1dB/click
	Ducker Threshold	-60 dB ~ -6 dB	5	6dB/click	6dB/click
DUCKER	Ducker Attenuation	$-\infty$, -24, -18, -12, -9, -6, -3 (dB)	7	1point/click	1point/click
	Ducker HoldTime	0.1sec、0.5 ~ 5.0sec	11	1point/click	1point/click
	Delay Switch	OFF/ON			
DELAY	Delay Time	0.0meter ~ 117.3meter 0.0feet ~ 384.8feet 0.00msec ~ 341.32msec		0.1meter/click 0.1feet/click 0.02msec/click	2.0meter/click 5.0feet/click 5.00msec/click
	Delay Point	INPUT/PRE FADER			
	Delay Edit Unit	meter/feet/msec			
FADER LEVEL		-∞dB、-120dB~+10.0dB	1024	1point/click (- 10dB ~ +10dB: 0.05dB/click)	40point/click (- 10dB ~ +10dB: 2dB/click)
MUTE		OFF/ON			
Phase Sw		Normal/Reverse			
Main L/R Assign		OFF/ON			
Pan Bal		$L100 \sim C \sim R100$	201	1point/click	10point/click

Function		Parameter	steps	Fine Step (LCDノブを押さずに 回した場合)	Coarse Steps (LCDノブを押しながら 回した場合)
MIX to Main	Send Level	-∞dB、- 120dB ~ +10.0dB	1024	1point/click (- 10dB ~ +10dB : 0.05dB/click)	40point/click (- 10dB ~ +10dB: 2dB/click)
L/R Send	Send Pan	$L100 \sim C \sim R100$	201	1point/click	10point/click
	Send Switch	OFF/ON			
DCA		8 DCAs			
Mute Group		8 Groups			
Stereo Link		OFF/ON			
Bus Mode		AUX/GROUP			
Pan Link		OFF/ON			
	OSC Switch	OFF/ON			
050	OSC Level	-36 dB \sim 0dB	37	1dB/click	2dB/click
030	OSC Type	Sine Wave/Pink Noise/White Noise			
MIX to Main L/R Send DCA Mute Group Stereo Link Bus Mode Pan Link OSC	OSC Freq	100Hz/440Hz/1kHz/10kHz			
	Monitor Mono	OFF/ON			
	Monitor Dimmer Switch	OFF/ON			
	Monitor Dimmer Level	-40 dB \sim 0dB	41	1dB/click	2dB/click
Monitor	Monitor Delay Switch	OFF/ON			
	Monitor Delay Time	0.0meter ~ 117.3meter 0.0feet ~ 384.8feet 0.00msec ~ 341.32msec		0.1meter/click 0.1feet/click 0.02msec/click	2.0meter/click 5.0feet/click 5.00msec/click

Sonicview 16/24 Mixer Basic Parameters (FX)

FX共通

Function		Parameter steps		Fine Step (LCDノブを押さずに回し た場合)	Coarse Steps (LCDノブを押しながら回 した場合)	
FX	FX Input Level	Level $-\infty dB$, $-120dB \sim +10.0dB$		1point/click (-10dB~+10dB:0.05dB/ click)	40point/click (- 10dB ~ +10dB:2dB/ click)	
	FX Output Level	Coutput Level $-\infty dB_{x} - 120 dB \sim +10.0 dB$		1point/click (-10dB~+10dB:0.05dB/ click)	40point/click (- 10dB ~ +10dB : 2dB/ click)	
	FX Mix Level	$0\% \sim 100\%$	101	1%/click	5%/click	

FX

Function		Parameter	steps	Fine Step (LCDノブを押さずに 回した場合)	Coarse Steps (LCDノブを押しなが ら回した場合)	Description
	ТҮРЕ	HALL/ROOM/ STUDIO/LIVE	4	1point/click	1point/click	残響の種類
	PRE DELAY	0msec ~ 200msec	201	1msec/click	10msec/click	音を入力してから 残響が始まるまでの 時間
REVERB	REVERB TIME	0.1sec ~ 10.0sec	61	0.1sec/click (0 ~ 5.0sec) 0.5sec/click (5.0 ~ 10.0sec)	0.2sec/click (0 ~ 5.0sec) 1.0sec/click (5.0 ~ 1 0.0sec)	残響時間
	SPREAD	0%~100%	101	1%/click	5%/click	残響の広がり具合
	TYPE	HALL/ROOM	2	1point/click	1point/click	残響の種類
	PRE DELAY	0msec ~ 200msec	201	1msec/click	10msec/click	音を入力してから 残響が始まるまでの 時間
	REVERB TIME	0.1sec ~ 20.0sec	71	0.1 sec/click (0 ~ 5.0 \text{sec}) 0.5 \text{sec/click} (5.0 ~ 10.0 \text{sec}) 1.0 \text{sec/click} (10.0 ~ 20.0 \text{sec})	0.2 sec/click (0 ~ 5.0 \text{sec}) 1.0 \text{sec/click} (5.0 ~ 10.0 \text{sec}) 2.0 \text{sec/click} (10.0 ~ 20.0 \text{sec})	残響時間
	SPREAD	0%~100%	101	1%/click	5%/click	残響の広がり具合
	LO/HIGH GAIN	- 12.0dB ~ +12.0dB	49	0.5dB/click	1.0dB/click	シェルビングフィル ターのゲイン
	LO FREQ	125Hz ~ 2.0kHz	49	1point/click	3point/click	ローシェルビング フィルター周波数の カットオフ周波数
	HIGH FREQ	1.00kHz ~ 16.00kHz	49	1point/click	3point/click	ハイシェルビング フィルター周波数の カットオフ周波数
	ТҮРЕ	WARM/HARD/ BRIGHT/DARK	4	1point/click	1point/click	残響の種類
	PRE DELAY	0msec ~ 200msec	201	1msec/click	10msec/click	音を入力してから 残響が始まるまでの 時間
PLATE REVERB	REVERB TIME	0.1sec ~ 10.0sec	61	0.1sec/click (0 ~ 5.0sec) 0.5sec/click (5.0 ~ 10.0sec)	0.2 sec/click (0 ~ 5.0 \text{sec}) 1.0 \text{sec/click} (5.0 ~ 10.0 \text{sec})	残響時間
	HI DAMP	500Hz ~ 16.0kHz	61	1point/click	3point/click	残響の高域減衰カッ トオフ周波数

350 TASCAM Sonicview 16/Sonicview 24 V2.2

				Fine Step	Coarse Steps	
Function		Parameter	steps	(LCDノブを押さずに 回した場合)	(LCDノブを押しなが ら回した場合)	Description
						ゲートの動作
GATE REVERB	ТҮРЕ	FAST / SLOW	2	1point/click	1point/click	Fast: Gate Levelを超え ると素早くゲー トが開く。Gate Timeで設定した 時間、開く。 Slow: Gate Levelを超え ると徐々にゲー トが開く。Gate Timeの設定時間 経過すると完全に 開く。
	GATE LEVEL	- 48dB ~ 0dB	49	1dB/click	2dB/click	ゲートが開くレベル
	GATE TIME	10msec ~ 3.0sec	201	$\frac{1 \text{msec/click}}{10 \text{msec}}$ $\frac{10 \text{msec/click}}{100 \text{msec}} \sim 1.0 \text{sec}$ $\frac{0.1 \text{sec/click}}{1.0 \sim 3.0 \text{sec}}$	10msec/click (0 ~ 100msec) 100msec/click (100msec ~ 1.0sec)	ゲートが開いている 時間
	DELAY TIME	1msec ~ 3000msec	3000	1msec/click	100msec/click	ディレイタイム
MONO DELAY	FEEDBACK	$0 \sim 100$	101	1point/click	5point/click	フィードバック量
	HI DAMP	500Hz \sim 16.0kHz	61	1point/click	3point/click	高域減衰のカットオ フ周波数
	DELAY TIME	1msec \sim 1500msec	1500	1msec/click	100msec/click	ディレイタイム
STEREO DELAY	FEEDBACK	$0 \sim 100$	101	1point/click	5point/click	フィードバック量
	HI DAMP	500Hz ~ 16.0kHz	61	1point/click	3point/click	高域減衰のカットオ フ周波数
	DELAY TIME	1msec ~ 1500msec	1500	1msec/click	100msec/click	ディレイタイム
PING-PONG	FEEDBACK	0~100	101	1point/click	5point/click	フィードバック量
DELAY	HI DAMP	500Hz ~ 16.0kHz	61	1point/click	3point/click	高域減衰のカットオ フ周波数
	HI DAMP	500Hz \sim 16.0kHz	61	1point/click	3point/click	高域減衰のカットオ フ周波数
DELAY LCR	DELAY TIME L/C/ R	1msec ~ 3000msec	3000	1msec/click	100msec/click	ディレイタイム
MONO DELAY STEREO DELAY PING-PONG DELAY DELAY LCR	FEEDBACK	$0 \sim 100$	101	1point/click	5point/click	フィードバック量
	WET LEVEL L/C/R	$0 \sim 100$	101	1point/click	5point/click	ウェット音レベル
	RATE	$0.05 \mathrm{Hz} \sim 10.0 \mathrm{Hz}$	101	1point/click	5point/click	コーラスの変調周期
	DEPTH	$0\% \sim 100\%$	101	1%/click	5%/click	コーラスの深さ
	DELAY TIME	0msec \sim 100msec	101	1msec/click	5msec/click	ウェット音が出力さ れるまでの時間
CHORUS	HI PASS	22Hz ~ 2.00kHz	79	1point/click	3point/click	入力信号の周波数 を限定するハイパス フィルター
	HI DAMP	500Hz ~ 16.0kHz	61	1point/click	3point/click	高域減衰のカットオ フ周波数
	SPREAD	$0\% \sim 100\%$	101	1%/click	5%/click	左右の広がり効果
	RATE	0.05 Hz ~ 10.0 Hz	101	1point/click	5point/click	フランジャーの変調 周期
	DEPTH	0%~100%	101	1%/click	5%/click	フランジャーの深さ
	DELAY TIME	0msec ~ 100msec	101	1msec/click	5msec/click	ウェット音が出力さ れるまでの時間
	PHASE	0deg \sim 180deg	181	1deg/click	10deg/click	左右の変調の位相差

Function		Parameter	steps	Fine Step (LCDノブを押さずに 回した場合)	Coarse Steps (LCDノブを押しなが ら回した場合)	Description
DUACED	RATE	0.05 Hz \sim 10.0Hz	101	1point/click	5point/click	フェイザーの変調周 期
	STAGE	4/8/12/16	4	1point/click	1point/click	フェーズ効果の段数
FRAJER	RESONANCE	$0 \sim 10$	11	1point/click	1point/click	フィードバック音に クセ付け
	PHASE	0deg \sim 180deg	181	1deg/click	10deg/click	左右の変調の位相差
	PITCH 1/2	- 24 ~ +24	49	1point/click	2point/click	シフト 量 (半音単位)
РІТСН	FINE TUNE 1/2	– 50Cent ~ +50Cent	101	1cent/click	5cent/click	シフト量 (セント単 位)

Sonicview 16/24 Preset List

Gate Library Preset List

No.	ТҮРЕ	NAME	Parameters				
D001	CATE		Threshold	Range	Attack	Hold	Decay
PUUI	GATE	Floor Iom	– 20dB	– 40dB	0msec	60msec	320msec
D002	CATE		Threshold	Range	Attack	Hold	Decay
P002	GATE	KICK IN	- 30dB	– 50dB	0msec	110msec	95msec
0002	CATE	Kielcout	Threshold	Range	Attack	Hold	Decay
P003	GATE	KICK OUL	– 35dB	– 50dB	0msec	100msec	85msec
D004	CATE	Naisa Cata	Threshold	Range	Attack	Hold	Decay
P004 GATE	Noise Gate	– 28dB	– 60dB	0msec	50msec	300msec	
	CATE	Deals Terre 1	Threshold	Range	Attack	Hold	Decay
P005	GATE		– 20dB	– 40dB	0msec	60msec	380msec
DOOC	CATE	De als Taura D	Threshold	Range	Attack	Hold	Decay
P006	GATE	RACK TOTT Z	– 20dB	– 40dB	0msec	60msec	300msec
D007	CATE	Correction to attack and	Threshold	Range	Attack	Hold	Decay
P007	GATE	Snare bottom	– 28dB	– 40dB	0msec	90msec	300msec
D000		EVD Creare bettern	Threshold	Ratio	Knee	Attack	Release
P008	EXP	EXP Share bottom	– 27dB	4:1	Mid	60msec	280msec
DOOD	EVD		Threshold	Ratio	Knee	Attack	Release
P009	EXP	EXP IOM	– 28dB	4:1	Mid	60msec	380msec
D010			Threshold	Knee	Center Feq	Q	
POID	DE-ESSER	DE-ESS VOCAL 2K	– 28dB	Mid	2.5kHz	3.45	
D011			Threshold	Knee	Center Feq	Q	
P011	DE-ESSER	DE-ESS VOCAL4K	– 28dB	Mid	4.2kHz	4.32	

EQ Library Preset List

No.	NAME	Parameters	;						
		Lo	w	Low	/ Mid	Hi	Mid	ŀ	łi
D001	A C+r 1	Q	-	Q	1.90	Q	-	Q	Hi Shelf
PUUI	A.GU I	Freq	-	Freq	397Hz	Freq	-	Freq	3.56kHz
		Gain	-	Gain	– 2.5dB	Gain	-	Gain	1.5dB
		Lo	w	Low	/ Mid	Hi	Mid	ŀ	li
P002	A Ctr 2	Q	4.94	Q	2.02	Q	2.02	Q	Hi Shelf
	A.Gtf 2	Freq	140Hz	Freq	375Hz	Freq	3.17kHz	Freq	5.04kHz
		Gain	– 3.0dB	Gain	– 3.0dB	Gain	+3.5dB	Gain	+1.0dB
		Low		Low Mid		Hi Mid		ŀ	li
0002	Bass Line	Q	7.99	Q	-	Q	2.14	Q	-
F003		Freq	132Hz	Freq	-	Freq	1.59kHz	Freq	-
		Gain	– 3.0dB	Gain	-	Gain	+4.0dB	Gain	-
		Lo	w	Low Mid		Hi Mid		Hi	
D004	Pace mic	Q	-	Q	2.02	Q	2.02	Q	-
P004	Dassinic	Freq	-	Freq	265Hz	Freq	3.00kHz	Freq	-
		Gain	-	Gain	– 5.0dB	Gain	+5.0dB	Gain	-
		Lo	w	Low	/ Mid	Hi	Mid	ł	li
DOOF	E C+r	Q	-	Q	1.90	Q	-	Q	Hi Shelf
FUUS	E.GU	Freq	-	Freq	397Hz	Freq	-	Freq	3.56kHz
		Gain	-	Gain	– 2.5dB	Gain	-	Gain	+1.5dB

No.	NAME	Parameters	;							
		Lo	w	Low	/ Mid	Hi	Mid	I	Hi	
Daga		Q	2.02	Q	1.41	Q	_	Q	1.80	
P006	Floor Iom	Freq	79Hz	Freq	420Hz	Freq	-	Freq	5.04kHz	
		Gain	+3.5dB	Gain	- 4.0dB	Gain	-	Gain	+3.0dB	
		Lo) W	Low	/ Mid	Hi Mid			Hi	
		Q	-	Q	0.92	Q	-	Q	-	
P007	Hi Hat	Freq	_	Freq	472Hz	Freq	_	Freq	_	
		Gain	_	Gain	- 8.0dB	Gain	_	Gain	_	
		Lo) W	Low	/ Mid	Hi	Mid		Hi	
		0	_	0	1.90	0	2.46	0	-	
P008	Kick in	Frea	_	Frea	315Hz	Frea	4.49kHz	Frea	_	
		Gain	_	Gain	- 4 0dB	Gain	+8.0dB	Gain	_	
			 W(Low	/ Mid	Hi	Mid	J	Hi	
		0	2.46	0	1 04	0	1 41	0	_	
P009	Kick out	Erea	6347	Erea	37547	Freq	3 78kHz	Erea	_	
		Gain	+3 04B	Gain	= 6 0dB	Gain	±7.0dB	Gain		
		Gain	13.00D	Gain		Gain Li:	Mid	Gain	;	
		0	_		1 20			0	Li Shalf	
P010	Over Head	- V		- V Frag	1.20	<u> </u>		- V Frag		
		Freq	-	Freq		Freq	-	Freq	4.24KHZ	
		Gain	_	Gain	- 6.00B	Gain	-	Gain	+1.50B	
	Rack Tom 1		bw I	LOV		HI			11	
P011		Q	-	Q	1.41	Q	-	Q	1.41	
		Freq	-	Freq	472Hz	Freq	-	Freq	4.76kHz	
		Gain	-	Gain	- 4.0dB	Gain	-	Gain	+6.0dB	
		Lo) W	Low	Mid	HI	Mid		HI	
P012	Rack Tom 2	Q	-	Q	1.41	Q	-	Q	1.04	
		Freq	-	Freq	397Hz	Freq	-	Freq	4.24kHz	
		Gain	-	Gain	- 4.0dB	Gain	-	Gain	+4.0dB	
		Lo	W	Low Mid		Hi Mid				
P013	Ride	Q	-	Q	1.41	Q	-	Q	Hi Shelf	
		Freq	-	Freq	397Hz	Freq	-	Freq	4.24kHz	
		Gain	-	Gain	- 8.0dB	Gain	-	Gain	+1.5dB	
		Lo	W	Low	/ Mid	HI	Mid		HI	
P014	Snare bottom	Q	-	Q	1.41	Q	2.02	Q	Hi Shelf	
		Freq	-	Freq	297Hz	Freq	3.36kHz	Freq	2.52kHz	
		Gain	-	Gain	– 4.0dB	Gain	+3.0dB	Gain	+2.0dB	
		Lo	w	Low	/ Mid	Hi	Mid		Hi	
P015	Snare top	Q	-	Q	1.90	Q	2.02	Q	Hi Shelf	
		Freq	-	Freq	445Hz	Freq	3.36kHz	Freq	2.00kHz	
		Gain	-	Gain	– 3.5dB	Gain	+3.0dB	Gain	+5.0dB	
		Lo	w	Low	/ Mid	Hi	Mid		Hi	
P016	Synth Bass	Q	4.32	Q	-	Q	3.84	Q	-	
		Freq	70Hz	Freq	-	Freq	3.17kHz	Freq	-	
		Gain	+3.0dB	Gain	-	Gain	- 3.0dB	Gain	-	
		Lo	w	Low	/ Mid	Hi	Mid		Hi	
P017	Vocal Female	Q	3.13	Q	1.80	Q	3.45	Q	Hi Shelf	
1.011		Freq	281Hz	Freq	595Hz	Freq	2.83kHz	Freq	5.04kHz	
		Gain	– 3.5dB	Gain	– 3.5dB	Gain	– 2.0dB	Gain	+2.0dB	

No.	NAME	Parameters	arameters										
P018	Vocal Male	Low		Low Mid		Hi Mid		Hi					
		Q	4.32	Q	2.87	Q	3.84	Q	Hi Shelf				
		Freq	210Hz	Freq	375Hz	Freq	4.49kHz	Freq	5.04kHz				
		Gain	– 3.0dB	Gain	– 3.5dB	Gain	– 2.0dB	Gain	+3.0dB				

Comp Library Preset List

No.	NAME	Parameters					
D001	A C+r	Threshold	Ratio	Knee	Attack	Release	Output Gain
PUUI	A.Gtr	– 29dB	2.50:1	Mid	1msec	200msec	+2dB
0000	Passlina	Threshold	Ratio	Knee	Attack	Release	Output Gain
P002	Dass Line	– 27dB	3.33:1	Mid	30msec	230msec	+2dB
002	Passmic	Threshold	Ratio	Knee	Attack	Release	Output Gain
P003	Dass IIIIC	– 30dB	3.33:1	Hard	20msec	125msec	+3dB
D004	Koyboard	Threshold	Ratio	Knee	Attack	Release	Output Gain
F004	Reyboard	– 17dB	2.50:1	Mid	50msec	200msec	+0dB
DOOF	Kickin	Threshold	Ratio	Knee	Attack	Release	Output Gain
P005	KICK IN	– 20dB	2.86:1	Mid	20msec	30msec	+3dB
DOOG	Kick out	Threshold	Ratio	Knee	Attack	Release	Output Gain
F000		– 19dB	2.50:1	Mid	20msec	40msec	+3dB
D007	Sparabottom	Threshold	Ratio	Knee	Attack	Release	Output Gain
FUUT	Share bottom	– 30dB	2.50:1	Mid	30msec	230msec	+0dB
000	Sparatop	Threshold	Ratio	Knee	Attack	Release	Output Gain
F006	Share top	– 26dB	3.33:1	Mid	15msec	65msec	+3dB
DOOO	Supth Dass	Threshold	Ratio	Knee	Attack	Release	Output Gain
F009	Synth Dass	– 28dB	3.33:1	Mid	30msec	150msec	+0dB
D010	Vocal Cho	Threshold	Ratio	Knee	Attack	Release	Output Gain
FUIU	Vocat Cho	– 28dB	3.33:1	Mid	30msec	150msec	+1dB
D011	Vocal Fomalo	Threshold	Ratio	Knee	Attack	Release	Output Gain
FUII	Vocal Female	– 25dB	2.50:1	Mid	25msec	150msec	+3dB
P012	Vocal Male	Threshold	Ratio	Knee	Attack	Release	Output Gain
1 012		– 24dB	2.50:1	Mid	25msec	200msec	+3dB

FX Library Preset List

No.	FX TYPE	Name	Paramete	rs						
D 001			TYPE	PRE DELAY	REVERB TIME	SPREAD				
P001	REVERB	Dr Rev	LIVE	6msec	2.0sec	70%				
D002		Cata Davi	TYPE	GATE LEVEL	GATE TIME					
P002	GI-REV	Gate Rev	Fast	– 20dB	810msec					
D002		Lust Davi	TYPE	PRE DELAY	REVERB TIME	SPREAD	LO GAIN	LO FREQ	HI GAIN	HI FREQ
P003	SI-REV	Inst Rev	HALL	20msec	2.2sec	80%	3.0dB	132Hz	2.0dB	1.89kHz
D004		CNID	TYPE	PRE DELAY	REVERB TIME	HI DAMP				
P004	PL-REV	SN Rev	BRIGHT	20msec	1.8sec	4.00kHz				
DOOF		V/- D 1	TYPE	PRE DELAY	REVERB TIME	HI DAMP				
P005	PL-REV	VO REV I	WARM	80msec	2.8sec	8.00kHz				
DOOC		Vo Rev 2	TYPE	PRE DELAY	REVERB TIME	SPREAD				
P006	REVERB		HALL	40msec	2.4sec	70%				
P007	LCR-DLY	Delay LCR	HI DAMP	DELAY TIME L	DELAY TIME C	DELAY TIME R	FEEDBACK	WET LEVEL L	WET LEVEL C	WET LEVEL R
			10.1kHz	250msec	750msec	500msec	40	80	80	80
P008	MN-DLY	Mono	DELAY TIME	FEEDBACK	HI DAMP					
		Delay	500msec	40	10.1kHz					
P009	PP-DLY	Ping- Pong	DELAY TIME	FEEDBACK	HI DAMP					
		Delay	500msec	60	10.1kHz					
P010	ST-DLY	Stereo	DELAY TIME	FEEDBACK	HI DAMP					
		Delay	500msec	40	10.1kHz					
D011		Chorus	RATE	DEPTH	DELAY TIME	HI PASS	HI DAMP	SPREAD		
PUII	СПОКОЗ	Chorus	0.25Hz	0%	40msec	125Hz	3.36kHz	100%		
012		Flanger	RATE	DEPTH	DELAY TIME	PHASE				
PUIZ	FLANGER	Flanger	0.20Hz	10%	40msec	180deg				
D012		Dhacor	RATE	STAGE	RESONANCE	PHASE				
FUIS	FHASER	Flidsel	0.40Hz	8	2	180deg				
D014	рітсн	Ditch	PITCH 1	FINE 1	PITCH 2	FINE 2				
1014	ГПСП	FILLI	0	– 10 cent	0	+10 cent				



0625.MA-3497K